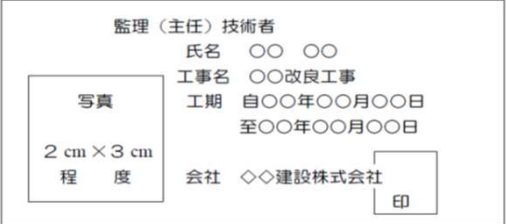



岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
第1編 共通編			
第1章 総則			
第1節 総則			
1-1-1-2 用語の定義			
	1. 監督員 本仕様で規定されている監督員とは、 契約書第9条 に規定する職員をいう。	1. 監督員 本仕様で規定されている監督員とは、 契約書第10条 に規定する職員をいう。	1-1
	18. 連絡 連絡とは、監督員と受注者または現場代理人の間で、 契約書第18条 に該当しない事項または緊急で伝達すべき事項について、口頭、ファクシミリ、電子メールなどの署名または押印が不要な手段により互いに知らせることをいう。 なお、後日書面による連絡内容の伝達は不要とする。	18. 連絡 連絡とは、監督員と受注者または現場代理人の間で、 契約書第19条 に該当しない事項または緊急で伝達すべき事項について、口頭、ファクシミリ、電子メールなどにより互いに知らせることをいう。 なお、後日書面による連絡内容の伝達は不要とする。	1-3
	22. 書面 書面とは、手書き、印刷物等による工事打合せ簿等の工事帳票をいい、発行年月日を記載し、 署名または押印 したものを有効とする。ただし、情報共有システムを用いて作成され、 指示、承諾、協議、提出、報告、通知 が行われた工事帳票については、 署名または押印 がなくても有効とする。	22. 書面 書面とは、手書き、印刷物等による工事打合せ簿等の工事帳票をいい、発行年月日を記載し、 記名（署名または押印を含む） したものを有効とする。ただし、情報共有システムを用いて作成され、 指示、承諾、協議、提出、報告、通知 が行われた工事帳票については、 記名 がなくても有効とする。	1-3
	26. 契約関係書類 契約関係書類とは、 契約書第9条第5項 の定めにより監督員を経由して受注者から発注者へ、または受注者へ 提出 される書類をいう。	26. 契約関係書類 契約関係書類とは、 契約書第10条第5項 の定めにより監督員を経由して受注者から発注者へ、または受注者へ 提出 される書類をいう。	1-3
		33. 段階確認 段階確認 とは、 設計図書 に示された施工段階において、監督員が臨場等により、 出来形、品質、規格、数値等を確認 することをいう。	1-4
	33. 工事検査 工事検査とは、検査員が 契約書第31条、第37条、第38条 に基づいて給付の完了の 確認 を行うことをいう。	34. 工事検査 工事検査とは、検査員が 契約書第33条、第39条、第40条 に基づいて給付の完了の 確認 を行うことをいう。	1-4
	34. 検査員 検査員とは、 契約書第31条第2項 の規定に基づき、工事検査を行うために発注者が定めた者をいう。	35. 検査員 検査員とは、 契約書第33条第2項 の規定に基づき、工事検査を行うために発注者が定めた者をいう。	1-4
	35. 同等以上の品質	36. 同等以上の品質	1-4
	36. 工期	37. 工期	1-4
	37. 工事開始日	38. 工事開始日	1-4
	38. 工事着手	39. 工事着手	1-4
		40. 準備期間 準備期間とは、工事開始日から本体工事または仮設工事の着手までの期間をいう。	1-5
	39. 工事	41. 工事	1-5
	40. 本体工事	42. 本体工事	1-5
	41. 仮設工事	43. 仮設工事	1-5
	42. 工事区域	44. 工事区域	1-5
	43. 現場	45. 現場	1-5
	44. SI	46. SI	1-5
	45. 現場発生品	47. 現場発生品	1-5
	46. JIS規格 JIS規格とは、日本 工業 規格をいう。	48. JIS規格 JIS規格とは、日本 産業 規格をいう。	1-5
1-1-1-3 設計図書の照査等	1. 図面原図の貸与 受注者からの要求があり、監督員が必要と認めた場合、受注者に 図面 の原図を貸与することができる。ただし、共通仕様書等市販・公開されているものについては、受注者が備えなければならない。	1. 図面原図の貸与 受注者からの要求があり、監督員が必要と認めた場合、受注者に 図面 の原図 若しくは電子データ を貸与することができる。ただし、共通仕様書等市販・公開されているものについては、受注者が備えなければならない。	1-5

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
	<p>2. 設計図書の照査</p> <p>受注者は、施工前及び施工途中において、自らの負担により契約書第18条第1項第1号から第5号に係る設計図書の照査を行い、照査報告書を提出しなければならない。</p> <p>契約書同条同項同号に該当する事実がある場合は、監督員にその事実が確認できる資料を提出し、確認を求めなければならない。</p> <p>なお、確認できる資料とは、現地地形図、設計図との対比図、取合い図、施工図等を含むものとする。また、受注者は、監督員から更に詳細な説明または資料の追加の要求があった場合は従わなければならない。</p>	<p>2. 設計図書の照査</p> <p>受注者は、施工前及び施工途中において、自らの負担により契約書第19条第1項第1号から第5号に係る設計図書の照査を行い、照査報告書を提出しなければならない。</p> <p>契約書同条同項同号に該当する事実がある場合は、監督員にその事実が確認できる資料を提出し、確認を求めなければならない。</p> <p>なお、確認できる資料とは、現地地形図、設計図との対比図、取合い図、施工図等を含むものとする。また、受注者は、監督員から更に詳細な説明または資料の追加の要求があった場合は従わなければならない。</p>	1-5
1-1-1-4 施工計画書	<p>1. 一般事項</p> <p>受注者は、工事着手前に工事的物を完成するために必要な手順や工法等についての施工計画書を監督員に提出しなければならない。</p> <p>受注者は、施工計画書を遵守し工事の施工にあたらなければならない。</p> <p>この場合、受注者は、施工計画書に以下の事項について記載しなければならない。また、監督員がその他の項目について補足を求めた場合には、追記するものとする。ただし、受注者は維持工事等簡易な工事においては監督員の承諾を得て記載内容の一部又は全部を省略することができる。</p>	<p>1. 一般事項</p> <p>受注者は、工事着手前又は施工方法が確定した時期に工事的物を完成するために必要な手順や工法等についての施工計画書を監督員に提出しなければならない。</p> <p>受注者は、施工計画書を遵守し工事の施工にあたらなければならない。</p> <p>この場合、受注者は、施工計画書に以下の事項について記載しなければならない。また、監督員がその他の項目について補足を求めた場合には、追記するものとする。ただし、受注者は維持工事等簡易な工事においては監督員の承諾を得て記載内容の一部又は全部を省略することができる。</p>	1-6
1-1-1-6 監督員	<p>1. 監督員の権限</p> <p>当該工事における監督員の権限は、契約書第9条第2項に規定した事項である。</p>	<p>1. 監督員の権限</p> <p>当該工事における監督員の権限は、契約書第10条第2項に規定した事項である。</p>	1-7
1-1-1-7 工事用地等の使用	<p>2. 用地の確保</p> <p>設計図書において受注者が確保するものとされる用地及び工事の施工上受注者が必要とする用地については、自ら準備し、確保するものとする。この場合において、工事の施工上受注者が必要とする用地とは、営繕用地（受注者の現場事務所、宿舎、駐車場）及び型枠または鉄筋作業場等専ら受注者が使用する用地並びに構造物掘削等に伴う借地等をいう。</p>	<p>2. 用地の確保</p> <p>設計図書において受注者が確保するものとされる用地及び工事の施工上受注者が必要とする用地については、自ら準備し、確保するものとする。この場合において、工事の施工上受注者が必要とする用地とは、営繕用地（受注者の現場事務所、宿舎、駐車場）及び型枠または鉄筋作業場等専ら受注者が使用する用地並びに発注者の負担により借地する範囲以外の構造物掘削等に伴う借地等をいう。</p>	1-7
1-1-1-9 工事の下請負	<p>(3) 下請負者は、当該下請負工事の施工能力を有すること。なお、下請契約を締結するときは、適正な額の請負代金での下請契約の締結に努めなければならない。</p>	<p>(3) 下請負者は、当該下請負工事の施工能力を有すること。なお、下請契約を締結するときは、下請負に使用される技術者、技能労働者等の賃金、労働時間その他の労働条件、安全衛生その他の労働環境が適正に整備されるよう、市場における労務の取引価格、保険料等を的確に反映した適正な額の請負代金及び適正な工期等を定める下請契約を締結しなければならない。</p>	1-8 1-9
1-1-1-10 施工体制台帳	<p>1. 一般事項</p> <p>受注者は、工事を施工するために下請契約を締結した場合、「施工体制台帳の取扱いについて（通知）」（平成27年3月13日付け技第344号）に従って記載した施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督員に提出しなければならない。</p> <p>3. 工事担当技術者台帳</p> <p>受注者は、「様式施-9の3（工事担当技術者台帳）」を追加して施工体制台帳を作成し工事現場に備えるとともに、監督員に提出するものとする。なお、様式には監理技術者、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）の顔写真、氏名、生年月日、所属会社名を記載するものとする。</p>	<p>1. 一般事項</p> <p>受注者は、工事を施工するために下請契約を締結した場合、「施工体制台帳の取扱いについて（通知）」（平成27年3月13日付け技第344号）に従って記載した施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督員に提出しなければならない。</p> <p>なお、施工体制台帳等は、原則として、電子データで作成・提出するものとする。</p>	1-9

項目	現行	改定【改定箇所：赤字】	頁番号
	<p>4. 名札等の着用 第1項の受注者は、監理技術者、主任技術者（下請負者を含む）及び第1項の受注者の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札等を着用させなければならない。名札は図1-1-1を標準とする。 受注者は、工事現場内において、名札もしくは、CPDS技術者証を着用させるものとする。（上記内容が明確になれば名札にはこだわらない。）なお、現場での立場（監理技術者等）が明確になるよう留意すること。</p>  <p>[注1] 用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。 [注2] 所属会社の社印とする。 図1-1-1 名札の標準図</p>	<p>3. 名札等の着用 第1項の受注者は、監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者（下請負者を含む）及び第1項の受注者の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内において、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札等を着用させなければならない。名札は図1-1-1を標準とする。（監理技術者補佐は、建設業法第26条第3項ただし書きに規定する者をいう。） 受注者は、工事現場内において、名札もしくは、CPDS技術者証を着用させるものとする。（上記内容が明確になれば名札にはこだわらない。）なお、現場での立場（監理技術者等）が明確になるよう留意すること。</p>  <p>[注1] 用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。 [注2] 所属会社の社印とする。 図1-1-1 名札の標準図</p>	<p>1-9</p>
	<p>5. 施工体制台帳等変更時の処置</p>	<p>4. 施工体制台帳等変更時の処置</p>	<p>1-10</p>
<p>1-1-1-11 受発注者間の情報共有</p>		<p>受発注者間の設計思想の伝達及び情報共有を図るため、設計者、受注者、発注者が一堂に会する会議を施工者が設計図書の照査を実施した後及びその他必要に応じて開催するものとする。なお、開催の詳細については、特記仕様書の定めによるものとする。</p>	<p>1-10</p>
<p>1-1-1-12 受注者相互の協力</p>			<p>1-10</p>
<p>1-1-1-13 調査・試験に対する協力</p>			<p>1-10</p>
<p>1-1-1-14 工事の一時中止</p>	<p>1. 一般事項 発注者は、契約書第20条の規定に基づき以下の各号に該当する場合においては、あらかじめ受注者に対して通知した上で、必要とする期間、工事の全部または一部の施工について一時中止をさせることができる。 なお、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地すべり、落盤、火災、騒乱、暴動その他自然的または人為的な事象による工事の中断については、1-1-1-41臨機の措置により、受注者は、適切に対応しなければならない。</p> <p>3. 基本計画書の作成 前1項及び2項の場合において、受注者は施工を一時中止する場合は、中止期間中の維持・管理に関する基本計画書を監督員を通じて発注者に提出し、承諾を得るものとする。また、受注者は工事の再開に備え工事現場を保全しなければならない。</p>	<p>1. 一般事項 発注者は、契約書第21条の規定に基づき以下の各号に該当する場合においては、あらかじめ受注者に対して通知した上で、必要とする期間、工事の全部または一部の施工について一時中止をさせることができる。 なお、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地すべり、落盤、火災、騒乱、暴動その他自然的または人為的な事象による工事の中断については、1-1-1-42臨機の措置により、受注者は、適切に対応しなければならない。</p> <p>3. 基本計画書の作成 前1項及び2項の場合において、受注者は施工を一時中止する場合は、中止期間中の維持・管理に関する基本計画書を監督員を通じて発注者に提出し、協議するものとする。また、受注者は工事の再開に備え工事現場を保全しなければならない。</p>	<p>1-11</p>
			<p>1-12</p>

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
<p>1-1-1-15 設計図書の変更</p>	<p>2. 契約内容の変更手続きの書面化の徹底 工事請負契約書第19条(設計図書の変更)の規定に基づく、設計図書の変更・工期若しくは請負代金の変更は、発注者又は受注者から書面による指示又は協議を交わしたもののみを対象とする。これ以外の口頭によるもの、署名・押印のないもの等は変更契約の対象としない。ただし、情報共有システムを用いて作成及び提出等を行った工事帳票については、署名または押印がなくても有効とする。</p> <p>3. 設計変更ガイドライン等の遵守義務づけについて 設計変更等については、工事請負契約書第18条～第24条及び岡山県土木工事共通仕様書共通編1-1-1-3～1-1-15に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「岡山県設計変更ガイドライン(土木工事編)」(岡山県農林水産部 岡山県土木部)によることとする。</p>	<p>2. 契約内容の変更手続きの書面化の徹底 工事請負契約書第20条(設計図書の変更)の規定に基づく、設計図書の変更・工期若しくは請負代金の変更は、発注者又は受注者から書面による指示又は協議を交わしたもののみを対象とする。これ以外の口頭によるもの、記名(署名または押印を含む)のないもの等は変更契約の対象としない。ただし、情報共有システムを用いて作成及び提出等を行った工事帳票については、記名がなくても有効とする。</p> <p>3. 設計変更ガイドライン等の遵守義務づけについて 設計変更等については、工事請負契約書第19条～第26条及び岡山県土木工事共通仕様書共通編1-1-1-4～1-1-16に記載しているところであるが、その具体的な考え方や手続きについては、「岡山県設計変更ガイドライン(土木工事編)」(岡山県農林水産部 岡山県土木部)によることとする。</p>	<p>1-12</p> <p>1-12</p>
<p>1-1-1-16 工期変更</p>	<p>1. 一般事項 契約書第15条第7項、第17条第1項、第18条第5項、第19条、第20条第3項、第21条及び第43条第2項の規定に基づく工期の変更について、契約書第23条の工期変更協議の対象であるか否かを監督員と受注者との間で確認する(本条において以下「事前協議」という。)ものとし、監督員はその結果を受注者に通知するものとする。</p> <p>2. 設計図書の変更等 受注者は、契約書第18条第5項及び第19条に基づき設計図書の変更または訂正が行われた場合、第1項に示す事前協議において工期変更協議の対象であると確認された事項について、必要とする変更日数の算出根拠、変更工程表その他必要な資料を添付の上、契約書第23条第2項に定める協議開始の日までに工期変更に関して監督員と協議しなければならない。</p> <p>3. 工事の一時中止 受注者は、契約書第20条に基づく工事の全部もしくは一部の施工が一時中止となった場合、第1項に示す事前協議において工期変更協議の対象であると確認された事項について、必要とする変更日数の算出根拠、変更工程表その他必要な資料を添付の上、契約書第23条第2項に定める協議開始の日までに工期変更に関して監督員と協議しなければならない。</p> <p>4. 工期の延長 受注者は、契約書第21条に基づき工期の延長を求める場合、第1項に示す事前協議において工期変更協議の対象であると確認された事項について、必要とする延長日数の算出根拠、変更工程表その他必要な資料を添付の上、契約書第23条第2項に定める協議開始の日までに工期変更に関して監督員と協議しなければならない。</p> <p>5. 工期の短縮 受注者は、契約書第22条第1項に基づき工期の短縮を求められた場合、可能な短縮日数の算出根拠、変更工程表その他必要な資料を添付し、契約書第23条第2項に定める協議開始の日までに工期変更に関して監督員と協議しなければならない。</p>	<p>1. 一般事項 契約書第16条第7項、第18条第1項、第19条第5項、第20条、第21条第3項、第23条及び第45条第2項の規定に基づく工期の変更について、契約書第25条の工期変更協議の対象であるか否かを監督員と受注者との間で確認する(本条において以下「事前協議」という。)ものとし、監督員はその結果を受注者に通知するものとする。</p> <p>2. 設計図書の変更等 受注者は、契約書第19条第5項及び第20条に基づき設計図書の変更または訂正が行われた場合、第1項に示す事前協議において工期変更協議の対象であると確認された事項について、必要とする変更日数の算出根拠、変更工程表その他必要な資料を添付の上、契約書第25条第2項に定める協議開始の日までに工期変更に関して監督員と協議しなければならない。</p> <p>3. 工事の一時中止 受注者は、契約書第21条に基づく工事の全部もしくは一部の施工が一時中止となった場合、第1項に示す事前協議において工期変更協議の対象であると確認された事項について、必要とする変更日数の算出根拠、変更工程表その他必要な資料を添付の上、契約書第25条第2項に定める協議開始の日までに工期変更に関して監督員と協議しなければならない。</p> <p>4. 工期の延長 受注者は、契約書第23条に基づき工期の延長を求める場合、第1項に示す事前協議において工期変更協議の対象であると確認された事項について、必要とする延長日数の算出根拠、変更工程表その他必要な資料を添付の上、契約書第25条第2項に定める協議開始の日までに工期変更に関して監督員と協議しなければならない。</p> <p>5. 工期の短縮 受注者は、契約書第24条第1項に基づき工期の短縮を求められた場合、可能な短縮日数の算出根拠、変更工程表その他必要な資料を添付し、契約書第25条第2項に定める協議開始の日までに工期変更に関して監督員と協議しなければならない。</p>	<p>1-12</p> <p>1-12</p> <p>1-13</p> <p>1-13</p> <p>1-13</p>

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
1-1-1-17 支給材料及び貸与品	1. 一般事項 受注者は、支給材料及び貸与品を 契約書第15条第8項 の規定に基づき善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。	1. 一般事項 受注者は、支給材料及び貸与品を 契約書第16条第8項 の規定に基づき善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。	1-13
	4. 引渡場所 契約書第15条第1項 に規定する「引渡場所」は、 設計図書 または 監督員の指示 によるものとする。	4. 引渡場所 契約書第16条第1項 に規定する「引渡場所」は、 設計図書 または 監督員の指示 によるものとする。	1-13
	5. 返還 受注者は、 契約書第15条第9項 「不用となった支給材料又は貸与品」の規定に基づき返還する場合、 監督員の指示 に従うものとする。 なお、受注者は、返還が完了するまで材料の損失に対する責任を免れることはできないものとする。	5. 返還 受注者は、 契約書第16条第9項 「不用となった支給材料又は貸与品」の規定に基づき返還する場合、 監督員の指示 に従うものとする。 なお、受注者は、返還が完了するまで材料の損失に対する責任を免れることはできないものとする。	1-13
1-1-1-18 工事現場発生品			1-14
1-1-1-19 建設副産物	6. 実施書の提出 受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、法令に基づき、工事完了後速やかに実施状況を記録した「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を 発注者 に提出しなければならない。	6. 実施書の提出 受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、法令に基づき、工事完了後速やかに実施状況を記録した「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」を 監督員 に提出しなければならない。	1-14
1-1-1-20 工事完成図			1-15
1-1-1-21 工事完成検査	1. 工事完成届の提出 受注者は、 契約書第31条 の規定に基づき、工事完成届を監督員に提出しなければならない。	1. 工事完成届の提出 受注者は、 契約書第33条 の規定に基づき、工事完成届を監督員に提出しなければならない。	1-15
	2. 工事完成検査の要件 (2) 契約書第17条第1項 の規定に基づき、監督員の請求した改造が完了していること。	2. 工事完成検査の要件 (2) 契約書第18条第1項 の規定に基づき、監督員の請求した改造が完了していること。	1-15
	6. 修補期間 修補の完了が 確認 された場合は、その 指示 の日から補修完了の 確認 の日までの期間は、 契約書第31条第2項 に規定する期間に含めないものとする。	6. 修補期間 修補の完了が 確認 された場合は、その 指示 の日から補修完了の 確認 の日までの期間は、 契約書第33条第2項 に規定する期間に含めないものとする。	1-15
	7. 適用規定 受注者は、当該工事完成検査については、 第3編3-1-1-6監督員による確認及び立会等第3項 の規定を準用する。	7. 適用規定 受注者は、当該工事完成検査については、 第3編3-1-1-4監督員による確認及び立会等第3項 の規定を準用する。	1-15
1-1-1-22 既済部分検査等	1. 一般事項 受注者は、 契約書第37条第2項 の部分払の 確認 の請求を行った場合、または、 契約書第38条第1項 の工事の完成の 通知 を行った場合は、既済部分に係わる検査を受けなければならない。	1. 一般事項 受注者は、 契約書第39条第2項 の部分払の 確認 の請求を行った場合、または、 契約書第40条第1項 の工事の完成の 通知 を行った場合は、既済部分に係わる検査を受けなければならない。	1-15
	2. 部分払いの請求 受注者は、 契約書第37条 に基づく部分払いの請求を行うときは、前項の検査を受ける前に工事の出来高に関する資料を作成し、監督員に 提出 しなければならない。	2. 部分払いの請求 受注者は、 契約書第39条 に基づく部分払いの請求を行うときは、前項の検査を受ける前に工事の出来高に関する資料を作成し、監督員に 提出 しなければならない。	1-16
	5. 適用規定 受注者は、当該既済部分検査については、 第3編3-1-1-6監督員による確認及び立会等第3項 の規定を準用する。	5. 適用規定 受注者は、当該既済部分検査については、 第3編3-1-1-4監督員による確認及び立会等第3項 の規定を準用する。	1-16
	7. 中間前払金の請求 受注者は、 契約書第34条 に基づく中間前払金の請求を行うときは、認定を受ける前に土木工事にあつては履行報告書を作成し、監督員に 提出 しなければならない。	7. 中間前払金の請求 受注者は、 契約書第36条 に基づく中間前払金の請求を行うときは、認定を受ける前に土木工事にあつては履行報告書を作成し、監督員に 提出 しなければならない。	1-16

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
1-1-1-23 部分使用	<p>2. 監督員による検査 受注者は、発注者が契約書第33条の規定に基づく当該工事に係る部分使用を行う場合には、監督員による品質及び出来形等の検査（確認を含む）を受けるものとする。 なお、土木工事にあつては、中間検査による検査（確認）でも良い。</p>	<p>2. 監督員による検査 受注者は、発注者が契約書第35条の規定に基づく当該工事に係る部分使用を行う場合には、監督員による品質及び出来形等の検査（確認を含む）を受けるものとする。 なお、土木工事にあつては、中間検査による検査（確認）でも良い。</p>	1-16
1-1-1-24 施工管理	<p>6. 労働環境の改善 受注者は、作業員の労働条件、安全衛生その他の労働環境の改善に努めなければならない。また、受注者は、作業員が健全な身体と精神を保持できるよう作業場所、現場事務所及び作業員宿舎等における良好な作業環境の確保に努めなければならない。</p>	<p>6. 労働環境等の改善 受注者は、工事の適正な実施に必要な技術的能力の向上、情報通信技術を活用した工事の実施の効率化等による生産性の向上並びに技術者、技能労働者等育成及び確保並びにこれらの者に係る賃金、労働時間、その他の労働条件、安全衛生その他の労働環境の改善に努めなければならない。 また、受注者は、作業員が健全な身体と精神を保持できるよう作業場所、現場事務所及び作業員宿舎等における良好な作業環境の確保に努めなければならない。</p>	1-17
1-1-1-25 履行報告	<p>受注者は、契約書第11条の規定に基づき、工事履行報告書を監督員に提出しなければならない。</p>	<p>受注者は、契約書第12条の規定に基づき、工事履行報告書を監督員に提出しなければならない。</p>	1-19
1-1-1-26 工事関係者に対する措置請求			1-19
1-1-1-27 工事中の安全確保	<p>1. 安全指針等の遵守 受注者は、土木工事安全施工技術指針（国土交通大臣官房技術審議官通達、平成29年3月31日）、建設機械施工安全技術指針（国土交通省大臣官房技術調査課長、国土交通省総合政策局建設施工企画課長通達、平成17年3月31日）、「港湾工事安全施工指針（社）日本埋立浚渫協会」、「潜水作業安全施工指針（社）日本潜水協会」及び「作業船団安全運航指針（社）日本海上起重技術協会」、JIS A 8972（斜面・法面工用仮設設備）を参考にして、常に工事の安全に留意し現場管理を行い災害の防止を図らなければならない。ただし、これらの指針は当該工事の契約条項を超えて受注者を拘束するものではない。</p>	<p>1. 安全指針等の遵守 受注者は、土木工事安全施工技術指針（国土交通大臣官房技術審議官通達、令和3年3月）、建設機械施工安全技術指針（国土交通省大臣官房技術調査課長、国土交通省総合政策局建設施工企画課長通達、平成17年3月31日）、「港湾工事安全施工指針（社）日本埋立浚渫協会」、「潜水作業安全施工指針（社）日本潜水協会」及び「作業船団安全運航指針（社）日本海上起重技術協会」、JIS A 8972（斜面・法面工用仮設設備）を参考にして、常に工事の安全に留意し現場管理を行い災害の防止を図らなければならない。ただし、これらの指針は当該工事の契約条項を超えて受注者を拘束するものではない。</p>	1-19
		<p>2. 建設工事公衆災害防止対策要綱 受注者は、建設工事公衆災害防止対策要綱（国土交通省告示第496号、令和元年9月2日）を遵守して災害の防止を図らなければならない。</p>	1-19
	<p>2. 支障行為等の防止</p>	<p>3. 支障行為等の防止</p>	1-19
		<p>4. 工用道路の維持管理 受注者は、土木工事に使用する建設機械の選定、使用等について、設計図書により建設機械が指定されている場合には、これに適合した建設機械を使用しなければならない。ただし、より条件に合った機械がある場合には、監督員の承諾を得て、それを使用することができる。</p>	1-19
	<p>3. 周辺への支障防止</p>	<p>5. 周辺への支障防止</p>	1-19
		<p>6. 架空線等事故防止対策 受注者は、架空線等上空施設の位置及び占有者を把握するため、工事現場、土取り場、建設発生土受入地、資材等仮置き場等、工事に係る全ての架空線等上空施設の現地調査（場所、種類、高さ等）を行い、その調査結果について、支障物件の有無に関わらず、監督員へ報告しなければならない。</p>	1-19
	<p>4. 防災体制</p>	<p>7. 防災体制</p>	1-20
	<p>5. 第三者の立入り禁止措置</p>	<p>8. 第三者の立入り禁止措置</p>	1-20

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
	6.安全巡視	9.安全巡視	1-20
	7.現場環境改善	10.現場環境改善	1-20
	8.定期安全研修・訓練等 受注者は、工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、半日以上時間を割当て、以下の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。	11.定期安全研修・訓練等 受注者は、工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、半日以上時間を割当て、以下の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。 なお、作業員全員の参加が困難な場合は、分割して実施する事も出来る。	1-20
	9.施工計画書	12.施工計画書	1-20
	10.安全教育・訓練等の記録	13.安全教育・訓練等の記録	1-21
	11.関係機関との連絡	14.関係機関との連絡	1-21
	12.工事関係者の連絡会議	15.工事関係者の連絡会議	1-21
	13.安全衛生協議会の設置 監督員が、労働安全衛生法（平成30年7月改正 法律第78号）第30条第1項に規定する措置を講じるものとして、同条第2項の規定に基づき、受注者を指名した場合には、受注者はこれに従うものとする。	16.安全衛生協議会の設置 監督員が、労働安全衛生法（令和元年6月改正 法律第37号）第30条第1項に規定する措置を講じるものとして、同条第2項の規定に基づき、受注者を指名した場合には、受注者はこれに従うものとする。	1-21
	14.安全優先 受注者は、工事中における安全の確保をすべてに優先させ、労働安全衛生法（平成30年7月改正 法律第78号）等関連法令に基づく措置を常に講じておくものとする。特に重機械の運転、電気設備等については、関係法令に基づいて適切な措置を講じておかなければならない。	17.安全優先 受注者は、工事中における安全の確保をすべてに優先させ、労働安全衛生法（令和元年6月改正 法律第37号）等関連法令に基づく措置を常に講じておくものとする。特に重機械の運転、電気設備等については、関係法令に基づいて適切な措置を講じておかなければならない。	1-21
	15.災害発生時の応急処置	18.災害発生時の応急処置	1-21
	16.地下埋設物等の調査	19.地下埋設物等の調査	1-21
	17.不明の地下埋設物等の処置	20.不明の地下埋設物等の処置	1-21
	18.地下埋設物件等損害時の措置	21.地下埋設物件等損害時の措置	1-21
1-1-1-28 爆発及び火災の防止			1-21
1-1-1-29 後片付け			1-22
1-1-1-30 事故報告書			1-22
1-1-1-31 環境対策	6.排出ガス対策型建設機械 「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領（最終改訂平成23年7月13日付国総環リ第1号）」 「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律施行規則」（平成28年11月11日経済産業省・国土交通省・環境省令第2号）	6.排出ガス対策型建設機械 「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領（最終改訂平成28年8月30日付国総環リ第6号）」 「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律施行規則」（令和元年6月改正経済産業省・国土交通省・環境省令第1号）	1-23
1-1-1-32 文化財の保護			1-25

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
1-1-1-33 交通安全管理	1. 一般事項 受注者は、工事用運搬路として、公衆に供する道路を使用する時は、積載物の落下等により、路面を損傷し、あるいは汚損することのないようにするとともに、特に第三者に工事公害による損害を与えないようにしなければならない。 なお、第三者に工事公害による損害を及ぼした場合は、 契約書第28条 によって処置するものとする。	1. 一般事項 受注者は、工事用運搬路として、公衆に供する道路を使用する時は、積載物の落下等により、路面を損傷し、あるいは汚損することのないようにするとともに、特に第三者に工事公害による損害を与えないようにしなければならない。 なお、第三者に工事公害による損害を及ぼした場合は、 契約書第30条 によって処置するものとする。	1-25
		2. 施工計画書 受注者は、指定された工事用道路の使用開始前に当該道路の維持管理、補修及び使用方法等を施工計画書に記載しなければならない。この場合において、受注者は、関係機関に所要の手続きをとるものとし、発注者が特に指示する場合を除き、標識の設置その他の必要な措置を行わなければならない。	1-26
	2. 輸送災害の防止	3. 輸送災害の防止	1-26
	3. 交通安全等輸送計画	4. 交通安全等輸送計画	1-26
	4. 交通安全法令の遵守 受注者は、供用中の公共道路に係る工事の施工にあたっては、交通の安全について、監督員、道路管理者及び所轄警察署と打合せを行うとともに、道路標識、区画線及び道路標示に関する命令（平成29年4月21日改正 内閣府・国土交通省令第3号）、道路工事現場における標示施設等の設置基準（建設省道路局長通知、昭和37年8月30日）、道路工事現場における表示施設等の設置基準の一部改正について（局長通知 平成18年3月31日 国道利37号・国道国防第205号）、道路工事現場における工事情報板及び工事説明看板の設置について（国土交通省道路局路政課長、国道・防災課長通知 平成18年3月31日 国道利38号・国道国防第206号）及び道路工事保安施設設置基準（案）（建設省道路局国道第一課通知昭和47年2月）に基づき、安全対策を講じなければならない。	5. 交通安全法令の遵守 受注者は、供用中の公共道路に係る工事の施工にあたっては、交通の安全について、監督員、道路管理者及び所轄警察署と打合せを行うとともに、道路標識、区画線及び道路標示に関する命令（令和2年3月改正 内閣府・国土交通省令第1号）、道路工事現場における標示施設等の設置基準（建設省道路局長通知、昭和37年8月30日）、道路工事現場における表示施設等の設置基準の一部改正について（局長通知 平成18年3月31日 国道利37号・国道国防第205号）、道路工事現場における工事情報板及び工事説明看板の設置について（国土交通省道路局路政課長、国道・防災課長通知 平成18年3月31日 国道利38号・国道国防第206号）及び道路工事保安施設設置基準（案）（建設省道路局国道第一課通知昭和47年2月）に基づき、安全対策を講じなければならない。	1-26
	5. 工事用道路使用の責任	6. 工事用道路使用の責任	1-26
	6. 工事用道路共用時の処置	7. 工事用道路共用時の処置	1-26
		8. 工事用道路の維持管理 受注者は、設計図書において指定された工事用道路を使用する場合は、設計図書の定めに従い、工事用道路の維持管理及び補修を行うものとする。	1-26
	7. 公共交通の確保	9. 公共交通の確保	1-26
	8. 水上輸送	10. 水上輸送	1-27
	9. 作業区域の標示等	11. 作業区域の標示等	1-27
	10. 水中落下支障物の処置	12. 水中落下支障物の処置	1-27
	11. 作業船舶機械故障時の処理	13. 作業船舶機械故障時の処理	1-27

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
	<p>12. 通行許可 受注者は、建設機械、資材等の運搬にあたり、車両制限令（平成26年5月28日改正 政令第187号）第3条における一般的制限値を超える車両を通行させるときは、道路法第47条の2に基づく通行許可を得ていることを確認しなければならない。また、道路交通法施行令（平成30年1月4日改正 政令第1号）第22条における制限を超えて建設機械、資材等を積載して運搬するときは、道路交通法（平成30年6月改正 法律第41号）第57条に基づく許可を得ていることを確認しなければならない。</p>	<p>14. 通行許可 受注者は、建設機械、資材等の運搬にあたり、車両制限令（平成31年3月改正 政令第41号）第3条における一般的制限値を超える車両を通行させるときは、道路法第47条の2に基づく通行許可を得ていることを確認しなければならない。また、道路交通法施行令（令和2年6月改正 政令第181号）第22条における制限を超えて建設機械、資材等を積載して運搬するときは、道路交通法（令和2年6月改正 法律第52号）第57条に基づく許可を得ていることを確認しなければならない。</p>	1-27
	<p>13. 適切な交通誘導</p>	<p>15. 適切な交通誘導</p>	1-28
	<p>14. 交通誘導警備員の配置計画</p>	<p>16. 交通誘導警備員の配置計画</p>	1-29
1-1-1-34 施設管理	<p>受注者は、工事現場における公物（各種公益企業施設を含む。）または部分使用施設（契約書第33条の適用部分）について、施工管理上、契約図書における規定の履行を以っても不都合が生ずるおそれがある場合には、その処置について監督員と協議できる。 なお、当該協議事項は、契約書第9条の規定に基づき処理されるものとする。</p>	<p>受注者は、工事現場における公物（各種公益企業施設を含む。）または部分使用施設（契約書第35条の適用部分）について、施工管理上、契約図書における規定の履行を以っても不都合が生ずるおそれがある場合には、その処置について監督員と協議できる。 なお、当該協議事項は、契約書第10条の規定に基づき処理されるものとする。</p>	1-29
1-1-1-35 諸法令の遵守	<p>1. 諸法令の遵守 受注者は、当該工事に関する諸法令を遵守し、工事の円滑な進捗を図るとともに、諸法令の適用運用は受注者の責任において行わなければならない。 なお、主な法令は以下に示す通りである。</p> <p>(1) 会計法（平成29年6月改正 法律第45号） (2) 建設業法（平成29年6月改正 法律第45号） (4) 労働基準法（平成30年7月改正 法律第71号） (5) 労働安全衛生法（平成30年7月改正 法律第78号） (6) 作業環境測定法（平成29年5月改正 法律第41号） (8) 雇用保険法（平成30年7月改正 法律第71号） (9) 労働者災害補償保険法（平成30年5月改正 法律第31号） (10) 健康保険法（平成30年7月改正 法律第79号） (11) 中小企業退職金共済法（平成29年6月改正 法律第45号） (12) 建設労働者の雇用の改善等に関する法律（平成30年7月改正 法律第71号） (13) 出入国管理及び難民認定法（平成30年7月改正 法律第71号） (14) 道路法（平成30年3月改正 法律第6号） (15) 道路交通法（平成30年6月改正 法律第41号） (16) 道路運送法（平成29年6月改正 法律第45号） (17) 道路運送車両法（平成29年5月改正 法律第40号） (21) 海岸法（平成29年6月改正 法律第45号） (22) 港湾法（平成29年6月改正 法律第55号） (24) 漁港漁場整備法（平成26年6月改正 法律第69号） (26) 航空法（平成29年6月改正 法律第45号） (28) 軌道法（平成29年6月改正 法律第45号） (29) 森林法（平成30年6月改正 法律第35号） (31) 火薬類取締法（平成27年6月改正 法律第50号） (32) 大気汚染防止法（平成29年6月改正 法律第45号） (37) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（平成29年6月改正 法律第61号） (38) 文化財保護法（平成30年6月改正 法律第42号） (40) 電気事業法（平成30年6月改正 法律第41号）</p>	<p>1. 諸法令の遵守 受注者は、当該工事に関する諸法令を遵守し、工事の円滑な進捗を図るとともに、諸法令の適用運用は受注者の責任において行わなければならない。 なお、主な法令は以下に示す通りである。</p> <p>(1) 会計法（令和元年5月改正 法律第16号） (2) 建設業法（令和元年6月改正 法律第37号） (4) 労働基準法（令和2年3月改正 法律第14号） (5) 労働安全衛生法（令和元年6月改正 法律第37号） (6) 作業環境測定法（令和元年6月改正 法律第37号） (8) 雇用保険法（令和2年6月改正 法律第54号） (9) 労働者災害補償保険法（令和2年6月改正 法律第40号） (10) 健康保険法（令和2年6月改正 法律第52号） (11) 中小企業退職金共済法（令和2年6月改正 法律第40号） (12) 建設労働者の雇用の改善等に関する法律（令和2年3月改正 法律第14号） (13) 出入国管理及び難民認定法（令和元年12月改正 法律第63号） (14) 道路法（令和2年6月改正 法律第49号） (15) 道路交通法（令和2年6月改正 法律第52号） (16) 道路運送法（令和2年6月改正 法律第36号） (17) 道路運送車両法（令和2年3月改正 法律第5号） (21) 海岸法（平成30年12月改正 法律第95号） (22) 港湾法（令和2年6月改正 法律第49号） (24) 漁港漁場整備法（平成30年12月改正 法律第95号） (26) 航空法（令和2年6月改正 法律第61号） (28) 軌道法（令和2年6月改正 法律第41号） (29) 森林法（令和2年6月改正 法律第41号） (31) 火薬類取締法（令和元年6月改正 法律第37号） (32) 大気汚染防止法（令和2年6月改正 法律第39号） (37) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律（令和元年6月改正 法律第37号） (38) 文化財保護法（令和2年6月改正 法律第41号） (40) 電気事業法（令和2年6月改正 法律第49号）</p>	1-29 1-30 1-31

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
	(42) 測量法 (平成29年5月改正 法律第41号) (43) 建築基準法 (平成30年6月改正 法律第67号) (50) 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律 (平成29年6月改正 法律第45号) (54) 自然環境保全法 (平成26年6月改正 法律第69号) (55) 自然公園法 (平成26年6月改正 法律第69号) (56) 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律 (平成27年9月改正 法律第66号) (59) 技術士法 (平成26年6月改正 法律第69号) (60) 漁業法 (平成30年7月改正 法律第75号) (61) 空港法 (平成25年6月改正 法律第76号) (63) 厚生年金保険法 (平成30年7月改正 法律第71号) (67) 職業安定法 (平成30年7月改正 法律第71号) (68) 所得税法 (平成30年6月改正 法律第41号) (69) 水産資源保護法 (平成27年9月改正 法律第70号) (70) 船員保険法 (平成29年6月改正 法律第52号) (71) 著作権法 (平成30年7月改正 法律第72号) (72) 電波法 (平成30年5月改正 法律第24号) (73) 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法 (平成27年6月改正 法律第40号) (74) 労働保険の保険料の徴収等に関する法律 (平成29年6月改正 法律第45号) (75) 農薬取締法 (平成30年6月改正 法律第53号) (78) 公共工事の品質確保の促進に関する法律 (平成26年6月改正 法律第56号) (79) 警備業法 (平成30年5月改正 法律第33号) (80) 行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律 (平成30年6月改正 法律第41号) (81) 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 (平成30年6月改正 法律第67号) (82) 地方自治法 (昭和22年 法律第67号)	(42) 測量法 (令和元年6月改正 法律第37号) (43) 建築基準法 (令和2年6月改正 法律第43号) (50) 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律 (令和元年5月改正 法律第18号) (54) 自然環境保全法 (平成31年4月改正 法律第20号) (55) 自然公園法 (令和元年6月改正 法律第37号) (56) 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律 (令和元年6月改正 法律第37号) (59) 技術士法 (令和元年6月改正 法律第37号) (60) 漁業法 (令和元年5月改正 法律第1号) (61) 空港法 (令和元年6月改正 法律第37号) (63) 厚生年金保険法 (令和2年6月改正 法律第40号) (67) 職業安定法 (令和元年6月改正 法律第37号) (68) 所得税法 (令和2年3月改正 法律第8号) (69) 水産資源保護法 (平成30年12月改正 法律第95号) (70) 船員保険法 (令和2年6月改正 法律第52号) (71) 著作権法 (令和2年6月改正 法律第48号) (72) 電波法 (令和2年4月改正 法律第23号) (73) 土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法 (令和2年6月改正 法律第42号) (74) 労働保険の保険料の徴収等に関する法律 (令和2年3月改正 法律第14号) (75) 農薬取締法 (令和元年12月改正 法律第62号) (78) 公共工事の品質確保の促進に関する法律 (令和元年6月改正 法律第35号) (79) 警備業法 (令和元年6月改正 法律第37号) (80) 行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律 (令和元年6月改正 法律第37号) (81) 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律 (令和2年6月改正 法律第42号) (82) 地方自治法 (令和3年2月改正 法律第5号)	
1-1-1-36 官公庁等への手続等			1-31
1-1-1-37 施工時期及び施工時間の変更			1-32
1-1-1-38 官公庁等への手続等		3. 仮設標識 受注者は、丁張、その他工事施工の基準となる仮設標識を、設置しなければならない。	1-33
	3. 工事用測量標の取扱い	4. 工事用測量標の取扱い	1-33
	4. 既存杭の保全	5. 既存杭の保全	1-33
	5. 水準測量・水深測量	6. 水準測量・水深測量	1-33

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
1-1-1-39 不可抗力による損害	1. 工事災害の報告 受注者は、災害発生後直ちに被害の詳細な状況を把握し、当該被害が 契約書第29条 の規定の適用を受けると思われる場合には、直ちに工事災害通知書を監督員を通じて発注者に 通知 しなければならない。	1. 工事災害の報告 受注者は、災害発生後直ちに被害の詳細な状況を把握し、当該被害が 契約書第31条 の規定の適用を受けると思われる場合には、直ちに工事災害通知書を監督員を通じて発注者に 通知 しなければならない。	1-33
	2. 設計図書で定めた基準 契約書第29条第1項 に規定する「設計図書で基準を定めたもの」とは、以下の各号に掲げるものをいう。	2. 設計図書で定めた基準 契約書第31条第1項 に規定する「設計図書で基準を定めたもの」とは、以下の各号に掲げるものをいう。	1-33
	3. その他 契約書第29条第2項 に規定する「受注者が善良な管理者の注意義務を怠ったことに基づくもの」とは、 設計図書 及び 契約書第26条 に規定する予防措置を行ったと認められないもの及び災害の一因が施工不良等受注者の責によるとされるものをいう。	3. その他 契約書第31条第2項 に規定する「受注者が善良な管理者の注意義務を怠ったことに基づくもの」とは、 設計図書 及び 契約書第28条 に規定する予防措置を行ったと認められないもの及び災害の一因が施工不良等受注者の責によるとされるものをいう。	1-34
1-1-1-40 特許権等	1. 一般事項 受注者は、特許権等を使用する場合、 設計図書 に特許権等の対象である旨明示が無く、その使用に関する費用負担を 契約書第8条 に基づき発注者に求める場合、権利を有する第三者と使用条件の交渉を行う前に、監督員と 協議 しなければならない。	1. 一般事項 受注者は、特許権等を使用する場合、 設計図書 に特許権等の対象である旨明示が無く、その使用に関する費用負担を 契約書第9条 に基づき発注者に求める場合、権利を有する第三者と使用条件の交渉を行う前に、監督員と 協議 しなければならない。	1-34
1-1-1-41 保険の付保及び事故の補償	5. 掛金収納書の提出 受注者は、建設業退職金共済制度に該当する場合は同制度に加入し、その掛金収納書（発注者用）を工事請負契約締結後原則1ヶ月以内に、発注者に 提出 しなければならない。	5. 建設業退職金共済制度の履行 受注者は、建設業退職金共済制度に該当する場合は同制度に加入し、その掛金収納書（発注者用）を工事請負契約締結後原則1ヶ月以内（ 電子申請方式による場合にあっては、工事請負契約後原則40日以内 ）に、発注者に提出しなければならない。 また、工事完成後、速やかに掛金充当実績給括表を作成し、検査員に提示しなければならない。	1-35
1-1-1-42 臨機の措置			1-35
第2章 土工			
第2節 適用すべき諸基準			
	国土交通省 道路土工構造物技術基準（平成27年3月）	日本道路協会 道路土工構造物技術基準・同解説（平成29年3月）	1-37
第3節 河川土工・海岸土工・砂防土工			
1-2-3-1 一般事項	2. 地山の土及び岩の分類 地山の土及び岩の分類は、表1-2-1によるものとする。 受注者は、 設計図書 に示された現地の土及び岩の分類の境界を定められた時点で、監督員の 確認 を受けなければならない。 また、受注者は、 設計図書 に示された土及び岩の分類の境界が現地の状況と一致しない場合は、 契約書第18条第1項 の規定により監督員の 指示 を受けなければならない。 なお、 確認 のための資料を整備及び保管し、監督員の請求があった場合は速やかに 提示 しなければならない。	2. 地山の土及び岩の分類 地山の土及び岩の分類は、表1-2-1によるものとする。 受注者は、 設計図書 に示された現地の土及び岩の分類の境界を定められた時点で、監督員の 確認 を受けなければならない。 また、受注者は、 設計図書 に示された土及び岩の分類の境界が現地の状況と一致しない場合は、 契約書第19条第1項 の規定により監督員の 指示 を受けなければならない。 なお、 確認 のための資料を整備及び保管し、監督員の請求があった場合は速やかに 提示 しなければならない。	1-37
	4. 適用規定 受注者は、建設発生土については、 第1編1-1-1-18建設副産物 の規定により適切に処理しなければならない。	4. 適用規定 受注者は、建設発生土については、 第1編1-1-1-19建設副産物 の規定により適切に処理しなければならない。	1-39
1-2-3-4 盛土補強工	3. 基盤面の排水処理 受注者は、 第1層 の補強材の敷設に先立ち、現地盤の伐間除根及び不陸の整地を行なうとともに、設計図書に関して監督員と協議のうえ、基盤面に排水処理工を行なわなければならない。	3. 基盤面の排水処理 受注者は、 第一層 の補強材の敷設に先立ち、現地盤の伐間除根及び不陸の整地を行なうとともに、設計図書に関して監督員と協議のうえ、基盤面に排水処理工を行なわなければならない。	1-43

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
第4節 道路土工			
1-2-4-1 一般事項	<p>3.構造物取付け部 受注者は、盛土と橋台や横断構造物との取付け部である裏込めや埋戻し部分は、供用開始後に構造物との間の路面の連続性を損なわないように、適切な材料を用いて入念な締固めと排水工の施工を行わなければならない。 なお、構造物取付け部の範囲は、「道路橋示方書・同解説 IV 下部構造編 7.9橋台背面アプローチ部」(日本道路協会、平成29年11月)及び「道路土工-盛土工指針4-10盛土と他の構造物との取付け部の構造」(日本道路協会、平成22年4月)を参考とする。</p> <p>6.湧水処理 受注者は、工事箇所に工事目的物に影響をおよぼすおそれがあるような予期できなかった湧水が発生した場合には、工事を中止し、監督員と協議しなければならない。ただし、緊急を要する場合には応急処置をとった後、直ちにその措置内容を監督員に通知しなければならない。</p>	<p>3.構造物取付け部 受注者は、盛土と橋台や横断構造物との取付け部である裏込めや埋戻し部分は、供用開始後に構造物との間の路面の連続性を損なわないように、適切な材料を用いて入念な締固めと排水工の施工を行わなければならない。 なお、構造物取付け部の範囲は、「道路橋示方書・同解説 (IV下部構造編) 7.9橋台背面アプローチ部」(日本道路協会、平成29年11月)及び「道路土工-盛土工指針 4-10盛土と他の構造物との取付け部の構造」(日本道路協会、平成22年4月)を参考とする。</p> <p>6.湧水処理 受注者は、工事箇所において工事目的物に影響をおよぼすおそれがあるような予期できなかった湧水が発生した場合には、工事を中止し、監督員と協議しなければならない。ただし、緊急を要する場合には応急処置をとった後、直ちにその措置内容を監督員に通知しなければならない。</p>	1-46
1-2-4-4 路床盛土工	<p>10.路床盛土の締固め度 路床盛土の締固め度については、第1編1-1-1-23施工管理第8項の規定による。</p>	<p>10.路床盛土の締固め度 路床盛土の締固め度については、第1編1-1-1-24施工管理第8項の規定による。</p>	1-51
第3章 無筋・鉄筋コンクリート			
第2節 適用すべき諸基準			
	土木学会 鉄筋定着・継手指針 (平成19年8月)	土木学会 鉄筋定着・継手指針 (令和2年3月)	1-54
第3節 レディーミクストコンクリート			
1-3-3-2 工場の選定	<p>1.一般事項 受注者は、レディーミクストコンクリートを用いる場合の工場選定は以下による。 (1) JISマーク表示認証製品を製造している工場(工業標準化法の一部を改正する法律(平成16年6月9日公布 法律第95号)に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により製品にJISマーク表示する認証を受けた製品を製造している工場)で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者(コンクリート主任技士等)が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場(全国生コンクリート品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等)から選定しなければならない。 (2) JISマーク表示認証製品を製造している工場(工業標準化法の一部を改正する法律(平成16年6月9日公布 法律第95号)に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により製品にJISマーク表示する認証を受けた製品を製造している工場)が工事現場近くに見あたらない場合は、使用する工場について、設計図書に指定したコンクリートの品質が得られることを確かめたうえで、その資料により監督員の確認を得なければならない。 なお、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者(コンクリート主任技士等)が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場から選定しなければならない。</p>	<p>1.一般事項 受注者は、レディーミクストコンクリートを用いる場合の工場選定は以下による。 (1) JISマーク表示認証製品を製造している工場(産業標準化法の一部を改正する法律(平成30年5月30日公布 法律第33号)に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により製品にJISマーク表示する認証を受けた製品を製造している工場)で、かつ、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者(コンクリート主任技士等)が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場(全国生コンクリート品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等)から選定しなければならない。 (2) JISマーク表示認証製品を製造している工場(産業標準化法の一部を改正する法律(平成30年5月30日公布 法律第33号)に基づき国に登録された民間の第三者機関(登録認証機関)により製品にJISマーク表示する認証を受けた製品を製造している工場)が工事現場近くに見あたらない場合は、使用する工場について、設計図書に指定したコンクリートの品質が得られることを確かめたうえで、その資料により監督員の確認を得なければならない。 なお、コンクリートの製造、施工、試験、検査及び管理などの技術的業務を実施する能力のある技術者(コンクリート主任技士等)が常駐しており、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場から選定しなければならない。</p>	1-55 1-56
1-3-3-3 配合	<p>1.一般事項 受注者は、コンクリートの配合において、設計図書の規定のほか、構造物の目的に必要な強度、耐久性、ひび割れ抵抗性、鋼材を保護する性能、水密性及び作業に適するワーカビリティをもつ範囲内で単位水量を少なくするように定めなければならない。</p>	<p>1.一般事項 受注者は、コンクリートの配合において、設計図書の規定のほか、構造物の目的に必要な強度、耐久性、ひび割れ抵抗性、鋼材を保護する性能、水密性及び作業に適するワーカビリティが得られる範囲内で単位水量を少なくするように定めなければならない。</p>	1-57

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
第5節 現場練りコンクリート			
1-3-5-2 材料の貯蔵	<p>3.骨材の貯蔵 受注者は、ゴミ、泥、その他の異物が混入しないよう、かつ、大小粒が分離しないように、排水設備の整った貯蔵施設に骨材を貯蔵しなければならない。</p>	<p>3.骨材の貯蔵 受注者は、ごみ、泥、その他の異物が混入しないよう、かつ、大小粒が分離しないように、排水設備の整った貯蔵施設に骨材を貯蔵しなければならない。</p>	1-58
1-3-5-4 材料の計量及び練混ぜ	<p>2.材料の計量 (6) 受注者は、各材料を、一練り分ずつ重量で計量しなければならない。ただし、水及び混和剤溶液は容積で計量してもよいものとする。 なお、一練りの量は、工事の種類、コンクリートの打込み量、練りまぜ設備、運搬方法等を考慮して定めなければならない。</p> <p>3.練混ぜ (1) 受注者は、コンクリートの練混ぜに際し、可傾式、強制練りバッチミキサまたは連続ミキサを使用するものとする。 (2) 受注者は、ミキサの練混ぜ試験を、JIS A 8603-2（練混ぜ性能試験方法）及び土木学会規準「連続ミキサの練混ぜ性能試験方法」により行わなければならない。 (3) 受注者は、JIS A 8603-1（コンクリートミキサー第1部：用語及び仕様項目）、JIS A 8603-2（コンクリートミキサー第2部：練混ぜ性能試験方法）に適合するか、または同等以上の性能を有するミキサを使用しなければならない。ただし、機械練りが不可能でかつ簡易な構造物の場合で、手練りで行う場合には、受注者は、設計図書に関して監督員に協議しなければならない。 (4) 受注者は、練混ぜ時間を試験練りによって定めなければならない。 やむを得ず、練り混ぜ時間の試験を行わない場合は、その最小時間を可傾式バッチミキサを用いる場合1分30秒、強制練りバッチミキサを用いる場合1分とするものとする。 (6) 受注者は、ミキサ内のコンクリートを排出し終わった後でなければ、ミキサ内に新たに材料を投入してはならない。 (7) 受注者は、使用の前後にミキサを清掃しなければならない。 (8) ミキサは、練上げコンクリートを排出する時に材料の分離を起こさない構造でなければならない。 (9) 受注者は、連続ミキサを用いる場合、練混ぜ開始後、最初に排出されるコンクリートを用いてはならない。 なお、この場合の廃棄するコンクリート量は、ミキサ部の容積以上とする。</p>	<p>2.材料の計量 (6) 受注者は、各材料を、一バッチ分ずつ質量で計量しなければならない。ただし、水及び混和剤溶液については、表1-3-2に示した許容差内である場合には、容積で計量してもよいものとする。 なお、一バッチの量は、工事の種類、コンクリートの打込み量、練りまぜ設備、運搬方法等を考慮して定めなければならない。</p> <p>3.練混ぜ (1) 受注者は、コンクリートの練混ぜに際し、可傾式、強制練りバッチミキサーまたは連続ミキサーを使用するものとする。 (2) 受注者は、ミキサーの練混ぜ試験を、JIS A 8603-2（練混ぜ性能試験方法）及び土木学会規準「連続ミキサーの練混ぜ性能試験方法」により行わなければならない。 (3) 受注者は、JIS A 8603-1（コンクリートミキサー第1部：用語及び仕様項目）、JIS A 8603-2（コンクリートミキサー第2部：練混ぜ性能試験方法）に適合するか、または同等以上の性能を有するミキサーを使用しなければならない。ただし、機械練りが不可能でかつ簡易な構造物の場合で、手練りで行う場合には、受注者は、設計図書に関して監督員に協議しなければならない。 (4) 受注者は、練混ぜ時間を試験練りによって定めなければならない。 やむを得ず、練り混ぜ時間の試験を行わない場合は、その最小時間を可傾式バッチミキサーを用いる場合1分30秒、強制練りバッチミキサーを用いる場合1分とするものとする。 (6) 受注者は、ミキサー内のコンクリートを排出し終わった後でなければ、ミキサー内に新たに材料を投入してはならない。 (7) 受注者は、使用の前後にミキサーを清掃しなければならない。 (8) ミキサーは、練上げコンクリートを排出する時に材料の分離を起こさない構造でなければならない。 (9) 受注者は、連続ミキサーを用いる場合、練混ぜ開始後、最初に排出されるコンクリートを用いてはならない。 なお、この場合の廃棄するコンクリート量は、ミキサー部の容積以上とする。</p>	1-58
			1-59 1-60

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
第6節 運搬・打設			
1-3-6-4 打設	<p>2.適用気温 受注者は、コンクリートの打込みを、日平均気温が4℃を超え25℃以下の範囲に予想されるときに実施しなければならない。日平均気温の予想がこの範囲にない場合には、第1編第3章第9節暑中コンクリート、10節寒中コンクリートの規定による。</p> <p>11.水平打設 受注者は、コンクリートの打上り面が一区画内でほぼ水平となるように打設しなければならない。また、締固め能力等を考慮して、コンクリート打設の1層の高さを定めなければならない。</p> <p>12.打設計画書 受注者は、コンクリートの打設作業に際しては、あらかじめ打設計画書を作成し、適切な高さに設定してこれに基づき、打設作業を行わなければならない。また、受注者は、型枠の高さが高い場合には、型枠にコンクリートが付着して硬化するのを防ぐため、型枠に投入口を設けるか、縦シュートあるいはポンプ配管の吐出口を打込み面近くまで下げてコンクリートを打ち込まなければならない。この場合、シュート、ポンプ配管、バケット、ホッパー等の吐出口と打込み面までの自由落下高さは1.5m以下とするものとする。</p> <p>14.上層下層一体の締固め 受注者は、コンクリートを2層以上に分けて打込む場合、上層のコンクリートの打込みは、下層のコンクリートが固まり始める前に行い、上層と下層が一体になるように施工しなければならない。</p> <p>16.壁又は柱の連続打設時の注意</p>	<p>2.適用気温 受注者は、コンクリートの打込みを、日平均気温が4℃を超え25℃以下の範囲に予想されるときに実施しなければならない。日平均気温の予想がこの範囲にない場合には、第1編第3章第9節暑中コンクリート、第10節寒中コンクリートの規定による。</p> <p>11.水平打設 受注者は、コンクリートの打上り面が一区画内でほぼ水平となるように打設しなければならない。また、締固め能力等を考慮して、コンクリート打設の一層の高さを定めなければならない。</p> <p>12.打設計画書 受注者は、コンクリートの打設作業に際しては、あらかじめ打設計画書を作成し、適切な高さに設定してこれに基づき、打設作業を行わなければならない。また、受注者は、型枠の高さが高い場合には、型枠にコンクリートが付着して硬化するのを防ぐため、型枠に投入口を設けるか、縦シュートあるいはポンプ配管の吐出口を打込み面近くまで下げてコンクリートを打ち込まなければならない。この場合、シュート、ポンプ配管、バケット、ホッパ等の吐出口と打込み面までの自由落下高さは1.5m以下とするものとする。</p> <p>14.上層下層一体の締固め 受注者は、コンクリートを二層以上に分けて打込む場合、上層のコンクリートの打込みは、下層のコンクリートが固まり始める前に行い、上層と下層が一体になるように施工しなければならない。</p> <p>16.壁または柱の連続打設時の注意</p>	1-61
1-3-6-5 締固め	<p>3.上層下層一体の締固め 受注者は、コンクリートを2層以上に分けて打設する場合、パイプレータを下層のコンクリート中に10cm程度挿入し、上層と下層が一体となるように入念に締固めなければならない。</p>	<p>3.上層下層一体の締固め 受注者は、コンクリートを二層以上に分けて打設する場合、パイプレータを下層のコンクリート中に10cm程度挿入し、上層と下層が一体となるように入念に締固めなければならない。</p>	1-62
1-3-6-7 打継目	<p>2.打継目を設ける位置 受注者は、打継目を設ける場合には、せん断力の小さい位置に設け、PC鋼材定着部背面等の常時引張応力が作用する断面を避け、打継目を部材の圧縮力の作用する方向と直角になるよう施工することを原則とする。</p> <p>5.床と一体になった柱又は壁の打継目</p>	<p>2.打継目を設ける位置 受注者は、打継目を設ける場合には、せん断力の小さい位置に設け、PC鋼材定着部背面等の常時引張応力が作用する断面を避け、打継目を部材に圧縮力が作用する方向と直角になるよう施工することを原則とする。</p> <p>5.床と一体になった柱または壁の打継目</p>	1-63
1-3-7-4 組立て	<p>2.配筋・組立て (2) 受注者は、鉄筋の交点の要所を、直径 0.8mm以上の焼なまし鉄線、またはクリップ等で鉄筋が移動しないように緊結し、使用した焼きなまし鉄線、クリップ等はかぶり内に残してはならない。また、設計図書に特別な組立用架台等が指定されている場合は、それに従うものとする。</p> <p>3.鉄筋かぶりの確保 受注者は、設計図書に特に定めのない限り、鉄筋のかぶりを保つよう、スペーサーを設置するものとし、構造物の側面については1m2あたり2個以上、構造物の底面については、1m2あたり4個以上設置し、個数について、鉄筋組立て完了時の段階確認時に確認を受けなければならない。鉄筋のかぶりとはコンクリート表面から鉄筋までの最短距離をいい、設計上のコンクリート表面から主鉄筋の中心までの距離とは異なる。また、受注者は、型枠に接するスペーサーについてはコンクリート製あるいはモルタル製で本体コンクリートと同等以上の品質を有するものを使用しなければならない。 なお、これ以外のスペーサーを使用する場合は監督員と協議しなければならない。</p>	<p>2.配筋・組立て (2) 受注者は、鉄筋の交点の要所を、直径0.8mm以上の焼なまし鉄線、またはクリップ等で鉄筋が移動しないように緊結し、使用した焼なまし鉄線、クリップ等はかぶり内に残してはならない。また、設計図書に特別な組立用架台等が指定されている場合は、それに従うものとする。</p> <p>3.鉄筋かぶりの確保 受注者は、設計図書に特に定めのない限り、鉄筋のかぶりを保つよう、スペーサを設置するものとし、構造物の側面については1m2あたり2個以上、構造物の底面については、1m2あたり4個以上設置し、個数について、鉄筋組立て完了時の段階確認時に確認を受けなければならない。鉄筋のかぶりとはコンクリート表面から鉄筋までの最短距離をいい、設計上のコンクリート表面から主鉄筋の中心までの距離とは異なる。また、受注者は、型枠に接するスペーサについてはコンクリート製あるいはモルタル製で本体コンクリートと同等以上の品質を有するものを使用しなければならない。 なお、これ以外のスペーサを使用する場合は監督員と協議しなければならない。</p>	1-64
			1-67
			1-67

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
1-3-7-5 継手	2.重ね継手 受注者は、鉄筋の重ね継手を行う場合は、 設計図書 に示す長さを重ね合わせて、直径 0.8mm以上の焼なまし鉄線で数ヶ所緊結しなければならない。 なお、エポキシ系樹脂塗装鉄筋の重ね継手長さは、「 エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針【改訂版】H15.11土木学会 」により、コンクリートの付着強度を無塗装鉄筋の85%として求めてよい。	2.重ね継手 受注者は、鉄筋の重ね継手を行う場合は、 設計図書 に示す長さを重ね合わせて、直径 0.8mm以上の焼なまし鉄線で数ヶ所緊結しなければならない。 なお、エポキシ系樹脂塗装鉄筋の重ね継手長さは、「 エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針【改訂版】 」(土木学会、平成15年11月)により、コンクリートの付着強度を無塗装鉄筋の85%として求めてよい。	1-68
	3.継手位置 受注者は、原則、継手を同一断面に集めてはならない。また、受注者は、継手を同一断面に集めないため、継手位置を軸方向に 相互 にずらす距離は、継手の長さ鉄筋直径の25倍を加えた長さ以上としなければならない。継手が同一断面となる場合は、継手が確実に施工でき、継手付近のコンクリートが確実に充填され、継手としての性能が発揮されるとともに、構造物や部材に求められる性能を満たしていることを 確認 しなければならない。	3.継手位置 受注者は、原則、継手を同一断面に集めてはならない。また、受注者は、継手を同一断面に集めないため、継手位置を軸方向に 互い にずらす距離は、継手の長さ鉄筋直径の25倍を加えた長さ以上としなければならない。継手が同一断面となる場合は、継手が確実に施工でき、継手付近のコンクリートが確実に充填され、継手としての性能が発揮されるとともに、構造物や部材に求められる性能を満たしていることを 確認 しなければならない。	1-68
		8.機械式鉄筋継手 (1) 機械式鉄筋継手工法を採用する場合は、「現場打ちコンクリート構造物に適用する機械式鉄筋継手工法ガイドライン(平成29年3月)」に基づき実施するものとする。受注者は、施工する工法について必要な性能に関し、公的機関等(所定の試験、評価が可能な大学や自治体、民間の試験機関を含む)による技術的な確認を受け交付された証明書の写しを監督員の承諾を得なければならない。また、機械式鉄筋継手の施工について、以下の各号の規程によるものとする。 ① 使用する工法に応じた施工要領を施工計画書に記載し、施工を行わなければならない。 ② 機械式鉄筋継手工法の品質管理は、使用する工法に応じた確認項目や頻度、方法、合否判定基準等を施工計画書に明示した上で、施工管理や検査時においては、これに従って確認を行わなければならない。また、機械式鉄筋継手工法の信頼度は、土木学会鉄筋定着・継手指針(令和2年3月 土木学会)の信頼度Ⅱ種を基本とするが、設計時にⅠ種を適用している場合は、設計時の信頼度に従って施工管理を行わなければならない。 (2) 設計時に機械式鉄筋継手工法が適用されていない継手において、機械式鉄筋継手工法を適用する場合は、別途、監督員と協議し、設計で要求した性能を満足していることや性能を確保するために必要な継手等級を三者会議等を利用し、設計者に確認した上で適用すること。	1-69
第10節 寒中コンクリート			
1-3-10-2 施工	4.材料投入順序の設定 受注者は、セメントが急結を起こさないように、加熱した材料を ミキサ に投入する順序を設定しなければならない。	4.材料投入順序の設定 受注者は、セメントが急結を起こさないように、加熱した材料を ミキサー に投入する順序を設定しなければならない。	1-73
1-3-10-3 養生	5.養生中のコンクリート温度 受注者は、 養生中のコンクリートの温度 を5℃以上に保たなければならない。また、養生期間については、表1-3-4の値以上とするのを標準とする。 なお、表1-3-4の養生期間の後、さらに2日間はコンクリート温度を0℃以上に保たなければならない。また、湿潤養生に保つ養生日数として表1-3-3に示す期間も満足する必要がある。	5.養生温度 受注者は、 養生温度 を5℃以上に保たなければならない。また、養生期間については、表1-3-4の値以上とするのを標準とする。 なお、表1-3-4の養生期間の後、さらに2日間はコンクリート温度を0℃以上に保たなければならない。また、湿潤養生に保つ養生日数として表1-3-3に示す期間も満足する必要がある。	1-74

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
第13節 水中不分離性コンクリート			
1-3-13-3 コンクリートの製造	4.練混ぜ (2) 受注者は、強制練りパッチミキサを用いてコンクリートを練り混ぜるものとする。 (5) 受注者は、練混ぜ開始にあたって、あらかじめミキサにモルタルを付着させなければならない。	4.練混ぜ (2) 受注者は、強制練りパッチミキサーを用いてコンクリートを練り混ぜるものとする。 (5) 受注者は、練混ぜ開始にあたって、あらかじめミキサーにモルタルを付着させなければならない。	1-78
	5.ミキサ、運搬機器の洗浄及び洗浄排水の処理 (1) 受注者は、ミキサ及び運搬機器を使用の前後に十分洗浄しなければならない。	5.ミキサー、運搬機器の洗浄及び洗浄排水の処理 (1) 受注者は、ミキサー及び運搬機器を使用の前後に十分洗浄しなければならない。	1-78
第14節 プレパックドコンクリート			
1-3-14-2 施工機器	1.施工機械 (1) 受注者は、5分以内に規定の品質の注入モルタルを練り混ぜることのできるモルタルミキサを使用しなければならない。	1.施工機械 (1) 受注者は、5分以内に規定の品質の注入モルタルを練り混ぜることのできるモルタルミキサーを使用しなければならない。	1-79
1-3-14-3 施工	5.練混ぜ (1) 受注者は、練混ぜをモルタルミキサで行うものとし、均一なモルタルが得られるまで練り混ぜなければならない。 (3) 受注者は、モルタルミキサ1パッチの練混ぜを、ミキサの定められた練混ぜ容量に適した量で練り混ぜなければならない。	5.練混ぜ (1) 受注者は、練混ぜをモルタルミキサーで行うものとし、均一なモルタルが得られるまで練り混ぜなければならない。 (3) 受注者は、モルタルミキサー1パッチの練混ぜを、ミキサーの定められた練混ぜ容量に適した量で練り混ぜなければならない。	1-80

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																																																															
第2編 材料編																																																																		
第1章 一般事項																																																																		
第2節 工事材料の品質																																																																		
	<p>2. 中等の品質 契約書第13条第1項に規定する「中等の品質」とは、JIS規格に適合したものとまたは、これと同等以上の品質を有するものをいう。</p>	<p>2. 中等の品質 契約書第14条第1項に規定する「中等の品質」とは、JIS規格に適合したものとまたは、これと同等以上の品質を有するものをいう。</p>	2-1																																																															
第2章 土木工事材料																																																																		
第3節 骨材																																																																		
2-2-3-3 アスファルト舗装用骨材	<p>5. 鉄鋼スラグの規格（路盤材用） 路盤材に用いる鉄鋼スラグは、表2-2-9の規格に適合するものとする。</p> <p style="text-align: center;">表2-2-9 鉄鋼スラグの規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>呼び名</th> <th>修正 C B R (%)</th> <th>一軸圧縮 強 さ (MPa)</th> <th>単位容積 質 量 (kg/l)</th> <th>呈 色 判定試験</th> <th>水浸膨張比 (%)</th> <th>エージング 期 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MS</td> <td>80 以上</td> <td>—</td> <td>1.5 以上</td> <td>呈色なし</td> <td>1.5 以下</td> <td>6 ヶ月以上</td> </tr> <tr> <td>HMS</td> <td>80 以上</td> <td>1.2 以上</td> <td>1.5 以上</td> <td>呈色なし</td> <td>1.5 以下</td> <td>6 ヶ月以上</td> </tr> <tr> <td>CS</td> <td>30 以上</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>呈色なし</td> <td>1.5 以下</td> <td>6 ヶ月以上</td> </tr> </tbody> </table>	呼び名	修正 C B R (%)	一軸圧縮 強 さ (MPa)	単位容積 質 量 (kg/l)	呈 色 判定試験	水浸膨張比 (%)	エージング 期 間	MS	80 以上	—	1.5 以上	呈色なし	1.5 以下	6 ヶ月以上	HMS	80 以上	1.2 以上	1.5 以上	呈色なし	1.5 以下	6 ヶ月以上	CS	30 以上	—	—	呈色なし	1.5 以下	6 ヶ月以上	<p>5. 鉄鋼スラグの規格（路盤材用） 路盤材に用いる鉄鋼スラグは、表2-2-9の規格に適合するものとする。</p> <p style="text-align: center;">表2-2-9 鉄鋼スラグの規格</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>呼び名</th> <th>修正 C B R (%)</th> <th>一軸圧縮 強 さ (MPa)</th> <th>単位容積 質 量 (kg/l)</th> <th>呈 色 判定試験</th> <th>水浸膨張比 (%)</th> <th>エージング 期 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>MS</td> <td>80 以上</td> <td>—</td> <td>1.5 以上</td> <td>呈色なし</td> <td>1.0 以下</td> <td>6 ヶ月以上</td> </tr> <tr> <td>HMS</td> <td>80 以上</td> <td>1.2 以上</td> <td>1.5 以上</td> <td>呈色なし</td> <td>1.0 以下</td> <td>6 ヶ月以上</td> </tr> <tr> <td>CS</td> <td>30 以上</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>呈色なし</td> <td>1.0 以下</td> <td>6 ヶ月以上</td> </tr> <tr> <td>試験法</td> <td>E001</td> <td>E003</td> <td>A023</td> <td>E002</td> <td>E004</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	呼び名	修正 C B R (%)	一軸圧縮 強 さ (MPa)	単位容積 質 量 (kg/l)	呈 色 判定試験	水浸膨張比 (%)	エージング 期 間	MS	80 以上	—	1.5 以上	呈色なし	1.0 以下	6 ヶ月以上	HMS	80 以上	1.2 以上	1.5 以上	呈色なし	1.0 以下	6 ヶ月以上	CS	30 以上	—	—	呈色なし	1.0 以下	6 ヶ月以上	試験法	E001	E003	A023	E002	E004		2-13
呼び名	修正 C B R (%)	一軸圧縮 強 さ (MPa)	単位容積 質 量 (kg/l)	呈 色 判定試験	水浸膨張比 (%)	エージング 期 間																																																												
MS	80 以上	—	1.5 以上	呈色なし	1.5 以下	6 ヶ月以上																																																												
HMS	80 以上	1.2 以上	1.5 以上	呈色なし	1.5 以下	6 ヶ月以上																																																												
CS	30 以上	—	—	呈色なし	1.5 以下	6 ヶ月以上																																																												
呼び名	修正 C B R (%)	一軸圧縮 強 さ (MPa)	単位容積 質 量 (kg/l)	呈 色 判定試験	水浸膨張比 (%)	エージング 期 間																																																												
MS	80 以上	—	1.5 以上	呈色なし	1.0 以下	6 ヶ月以上																																																												
HMS	80 以上	1.2 以上	1.5 以上	呈色なし	1.0 以下	6 ヶ月以上																																																												
CS	30 以上	—	—	呈色なし	1.0 以下	6 ヶ月以上																																																												
試験法	E001	E003	A023	E002	E004																																																													
第5節 鋼材																																																																		
2-2-5-17 ガードケーブル（路側用、分離帯用）	<p>(1) ケーブル JIS G 3525（ワイヤロープ） ケーブルの径は18mm、構造は3×7G/φとする。 なお、ケーブル一本当りの破断強度は160kN以上の強さを持つものとする。</p> <p>(4) 索端金具 ソケットはケーブルと調整ねじを取付けた状態において、ケーブルの一本当りの破断強度以上の強さを持つものとする。</p>	<p>(1) ケーブル JIS G 3525（ワイヤロープ） ケーブルの径は18mm、構造は3×7G/φとする。 なお、ケーブル一本当りの破断強度は160kN以上の強さを持つものとする</p> <p>(4) 索端金具 ソケットはケーブルと調整ねじを取付けた状態において、ケーブルの一本当りの破断強度以上の強さを持つものとする。</p>	2-21																																																															
第8節 瀝青材料																																																																		
2-2-8-3 再生用添加剤	<p>再生用添加剤の品質は、労働安全衛生法施行令（平成30年6月8日改正 政令第184号）に規定されている特定化学物質を含まないものとし、表2-2-24、表2-2-25、表2-2-26の規格に適合するものとする。</p>	<p>再生用添加剤の品質は、労働安全衛生法施行令（令和2年4月改正 政令第148号）に規定されている特定化学物質を含まないものとし、表2-2-24、表2-2-25、表2-2-26の規格に適合するものとする。</p>	2-31																																																															
第10節 目地材料																																																																		
2-2-10-1 注入目地材	<p>1. 一般事項 注入目地材は、コンクリート版の膨張、収縮に順応し、コンクリートとよく付着し、しかもひびわれが入らないものとする。</p>	<p>1. 一般事項 注入目地材は、コンクリート版の膨張、収縮に順応し、コンクリートとよく付着し、しかもひび割れが入らないものとする。</p>	2-32																																																															
第12節 道路標識及び区画線																																																																		
2-2-12-1 道路標識	<p>(2) 支 柱 JIS G 3452（配管用炭素鋼鋼管） JIS G 3444（一般構造用炭素鋼鋼管） JIS G 3192（熱間圧延形鋼の形状、寸法、質量及びその許容差） JIS G 3101（一般構造用圧延鋼材）</p>	<p>(2) 支 柱 JIS G 3452（配管用炭素鋼鋼管） JIS G 3444（一般構造用炭素鋼鋼管） JIS G 3192（熱間圧延形鋼の形状、寸法、質量及びその許容差） JIS G 3101（一般構造用圧延鋼材） JIS G 3106（溶接構造用圧延鋼材） JIS G 3136（建築構造用圧延鋼材）</p>	2-34 2-35																																																															

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																																																																																																																																																																																																																																																																																			
	<p>(4) 反射シート 標示板に使用する反射シートは、ガラスビーズをプラスチックの中に封入したレンズ型反射シートまたは、空気層の中にガラスビーズをプラスチックで覆ったカプセルレンズ型反射シートとし、その性能は表2-2-27、表2-2-28に示す規格以上のものとする。 また、反射シートは、屋外にさらされても、著しい色の変化、ひび割れ、剥れが生じないものとする。 なお、受注者は、表2-2-27、表2-2-28に示した品質以外の反射シートを用いる場合には、監督員の確認を受けなければならない。</p> <p style="text-align: center;">表2-2-27 封入レンズ型反射シートの反射性能</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>観測角°</th> <th>入射角°</th> <th>白</th> <th>黄</th> <th>赤</th> <th>青</th> <th>緑</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">12' (0.2°)</td> <td>5°</td> <td>70</td> <td>50</td> <td>15</td> <td>4.0</td> <td>9.0</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>30</td> <td>22</td> <td>6.0</td> <td>1.7</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">20' (0.33°)</td> <td>5°</td> <td>50</td> <td>35</td> <td>10</td> <td>2.0</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>24</td> <td>16</td> <td>4.0</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2°</td> <td>5°</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> <td>0.8</td> <td>0.2</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>2.5</td> <td>1.5</td> <td>0.4</td> <td>0.1</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表2-2-28 カプセルレンズ型反射シートの反射性能</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>観測角°</th> <th>入射角°</th> <th>白</th> <th>黄</th> <th>赤</th> <th>青</th> <th>緑</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">12' (0.2°)</td> <td>5°</td> <td>250</td> <td>170</td> <td>45</td> <td>20</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>150</td> <td>100</td> <td>25</td> <td>11</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">20' (0.33°)</td> <td>5°</td> <td>180</td> <td>122</td> <td>25</td> <td>14</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>100</td> <td>67</td> <td>14</td> <td>8.0</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2°</td> <td>5°</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> <td>0.8</td> <td>0.3</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>2.5</td> <td>1.8</td> <td>0.4</td> <td>0.1</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table>	観測角°	入射角°	白	黄	赤	青	緑	12' (0.2°)	5°	70	50	15	4.0	9.0	30°	30	22	6.0	1.7	3.5	20' (0.33°)	5°	50	35	10	2.0	7.0	30°	24	16	4.0	1.0	3.0	2°	5°	5.0	3.0	0.8	0.2	0.6	30°	2.5	1.5	0.4	0.1	0.3	観測角°	入射角°	白	黄	赤	青	緑	12' (0.2°)	5°	250	170	45	20	45	30°	150	100	25	11	25	20' (0.33°)	5°	180	122	25	14	21	30°	100	67	14	8.0	12	2°	5°	5.0	3.0	0.8	0.3	0.6	30°	2.5	1.8	0.4	0.1	0.3	<p>(4) 反射シート 標示板に使用する反射シートは、ガラスビーズをプラスチックの中に封入したレンズ型反射シートまたは、空気層の中にガラスビーズをプラスチックで覆ったカプセルレンズ型反射シートとし、その性能は表2-2-27、表2-2-28に示す規格以上のものとする。 また、反射シートは、屋外にさらされても、著しい色の変化、ひび割れ、剥れが生じないものとする。 なお、受注者は、表2-2-27、表2-2-28に示した品質以外の反射シートを用いる場合には、監督員の確認を受けなければならない。</p> <p style="text-align: center;">表2-2-27 封入レンズ型反射シートの反射性能</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>観測角°</th> <th>入射角°</th> <th>白</th> <th>黄</th> <th>赤</th> <th>青</th> <th>緑</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">12' (0.2°)</td> <td>5°</td> <td>70</td> <td>50</td> <td>15</td> <td>4.0</td> <td>9.0</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>30</td> <td>22</td> <td>6.0</td> <td>1.7</td> <td>3.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">20' (0.33°)</td> <td>5°</td> <td>50</td> <td>35</td> <td>10</td> <td>2.0</td> <td>7.0</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>24</td> <td>16</td> <td>4.0</td> <td>1.0</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2.0°</td> <td>5°</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> <td>0.8</td> <td>0.2</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>2.5</td> <td>1.5</td> <td>0.4</td> <td>0.1</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2.0°</td> <td>5°</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> <td>0.8</td> <td>0.2</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>2.5</td> <td>1.5</td> <td>0.4</td> <td>0.1</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2.0°</td> <td>5°</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> <td>0.8</td> <td>0.2</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>2.5</td> <td>1.5</td> <td>0.4</td> <td>0.1</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2.0°</td> <td>5°</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> <td>0.8</td> <td>0.2</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>2.5</td> <td>1.5</td> <td>0.4</td> <td>0.1</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2.0°</td> <td>5°</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> <td>0.8</td> <td>0.2</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>2.5</td> <td>1.5</td> <td>0.4</td> <td>0.1</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表2-2-28 カプセルレンズ型反射シートの反射性能</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>観測角°</th> <th>入射角°</th> <th>白</th> <th>黄</th> <th>赤</th> <th>青</th> <th>緑</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">12' (0.2°)</td> <td>5°</td> <td>250</td> <td>170</td> <td>45</td> <td>20</td> <td>45</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>150</td> <td>100</td> <td>25</td> <td>11</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">20' (0.33°)</td> <td>5°</td> <td>180</td> <td>122</td> <td>25</td> <td>14</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>100</td> <td>67</td> <td>14</td> <td>8.0</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2.0°</td> <td>5°</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> <td>0.8</td> <td>0.3</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>2.5</td> <td>1.8</td> <td>0.4</td> <td>0.1</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2.0°</td> <td>5°</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> <td>0.8</td> <td>0.3</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>2.5</td> <td>1.8</td> <td>0.4</td> <td>0.1</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2.0°</td> <td>5°</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> <td>0.8</td> <td>0.3</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>2.5</td> <td>1.8</td> <td>0.4</td> <td>0.1</td> <td>0.3</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2.0°</td> <td>5°</td> <td>5.0</td> <td>3.0</td> <td>0.8</td> <td>0.3</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>30°</td> <td>2.5</td> <td>1.8</td> <td>0.4</td> <td>0.1</td> <td>0.3</td> </tr> </tbody> </table>	観測角°	入射角°	白	黄	赤	青	緑	12' (0.2°)	5°	70	50	15	4.0	9.0	30°	30	22	6.0	1.7	3.5	20' (0.33°)	5°	50	35	10	2.0	7.0	30°	24	16	4.0	1.0	3.0	2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.2	0.6	30°	2.5	1.5	0.4	0.1	0.3	2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.2	0.6	30°	2.5	1.5	0.4	0.1	0.3	2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.2	0.6	30°	2.5	1.5	0.4	0.1	0.3	2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.2	0.6	30°	2.5	1.5	0.4	0.1	0.3	2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.2	0.6	30°	2.5	1.5	0.4	0.1	0.3	観測角°	入射角°	白	黄	赤	青	緑	12' (0.2°)	5°	250	170	45	20	45	30°	150	100	25	11	25	20' (0.33°)	5°	180	122	25	14	21	30°	100	67	14	8.0	12	2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.3	0.6	30°	2.5	1.8	0.4	0.1	0.3	2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.3	0.6	30°	2.5	1.8	0.4	0.1	0.3	2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.3	0.6	30°	2.5	1.8	0.4	0.1	0.3	2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.3	0.6	30°	2.5	1.8	0.4	0.1	0.3	
観測角°	入射角°	白	黄	赤	青	緑																																																																																																																																																																																																																																																																																
12' (0.2°)	5°	70	50	15	4.0	9.0																																																																																																																																																																																																																																																																																
	30°	30	22	6.0	1.7	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																
20' (0.33°)	5°	50	35	10	2.0	7.0																																																																																																																																																																																																																																																																																
	30°	24	16	4.0	1.0	3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																
2°	5°	5.0	3.0	0.8	0.2	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																
	30°	2.5	1.5	0.4	0.1	0.3																																																																																																																																																																																																																																																																																
観測角°	入射角°	白	黄	赤	青	緑																																																																																																																																																																																																																																																																																
12' (0.2°)	5°	250	170	45	20	45																																																																																																																																																																																																																																																																																
	30°	150	100	25	11	25																																																																																																																																																																																																																																																																																
20' (0.33°)	5°	180	122	25	14	21																																																																																																																																																																																																																																																																																
	30°	100	67	14	8.0	12																																																																																																																																																																																																																																																																																
2°	5°	5.0	3.0	0.8	0.3	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																
	30°	2.5	1.8	0.4	0.1	0.3																																																																																																																																																																																																																																																																																
観測角°	入射角°	白	黄	赤	青	緑																																																																																																																																																																																																																																																																																
12' (0.2°)	5°	70	50	15	4.0	9.0																																																																																																																																																																																																																																																																																
	30°	30	22	6.0	1.7	3.5																																																																																																																																																																																																																																																																																
20' (0.33°)	5°	50	35	10	2.0	7.0																																																																																																																																																																																																																																																																																
	30°	24	16	4.0	1.0	3.0																																																																																																																																																																																																																																																																																
2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.2	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																
	30°	2.5	1.5	0.4	0.1	0.3																																																																																																																																																																																																																																																																																
2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.2	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																
	30°	2.5	1.5	0.4	0.1	0.3																																																																																																																																																																																																																																																																																
2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.2	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																
	30°	2.5	1.5	0.4	0.1	0.3																																																																																																																																																																																																																																																																																
2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.2	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																
	30°	2.5	1.5	0.4	0.1	0.3																																																																																																																																																																																																																																																																																
2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.2	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																
	30°	2.5	1.5	0.4	0.1	0.3																																																																																																																																																																																																																																																																																
観測角°	入射角°	白	黄	赤	青	緑																																																																																																																																																																																																																																																																																
12' (0.2°)	5°	250	170	45	20	45																																																																																																																																																																																																																																																																																
	30°	150	100	25	11	25																																																																																																																																																																																																																																																																																
20' (0.33°)	5°	180	122	25	14	21																																																																																																																																																																																																																																																																																
	30°	100	67	14	8.0	12																																																																																																																																																																																																																																																																																
2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.3	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																
	30°	2.5	1.8	0.4	0.1	0.3																																																																																																																																																																																																																																																																																
2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.3	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																
	30°	2.5	1.8	0.4	0.1	0.3																																																																																																																																																																																																																																																																																
2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.3	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																
	30°	2.5	1.8	0.4	0.1	0.3																																																																																																																																																																																																																																																																																
2.0°	5°	5.0	3.0	0.8	0.3	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																
	30°	2.5	1.8	0.4	0.1	0.3																																																																																																																																																																																																																																																																																

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
第3編 土木工事共通編			
第1章 総則			
第1節 総則			
3-1-1-1 用語の定義	<p>1. 一般事項 土木工事にあつては、第1編の1-1-1-2用語の定義の規定に加え以下の用語の定義に従うものとする。</p> <p>2. 段階確認 段階確認とは、設計図書に示された施工段階において、監督員が臨場等により、出来形、品質、規格、数値等を確認することをいう。</p>		
3-1-1-1 請負代金内訳書	<p>3. 請負代金内訳書の提出 受注者は、請負代金内訳書を監督員へ提出する際には、紙で出力した請負代金内訳書に捺印したものを発注者に提出しなければならない。</p>	<p>3. 請負代金内訳書の提出 受注者は、請負代金内訳書を電子データで作成し、発注者に提出しなければならない。</p>	3-1
3-1-1-2 工程表			3-1
3-1-1-3 現場技術員	<p>3. 請負代金内訳書の提出 (2) 現場技術員は、契約書第9条に規定する監督員ではなく、指示、承諾、協議及び確認の適否等を行う権限は有しないものである。ただし、監督員から受注者に対する指示または、通知等を現場技術員を通じて行うことがある。 また、受注者が監督員に対して行う報告または通知は、現場技術員を通じて行うことができる。</p>	<p>3. 請負代金内訳書の提出 (2) 現場技術員は、契約書第10条に規定する監督員ではなく、指示、承諾、協議及び確認の適否等を行う権限は有しないものである。ただし、監督員から受注者に対する指示または、通知等を現場技術員を通じて行うことがある。 また、受注者が監督員に対して行う報告または通知は、現場技術員を通じて行うことができる。</p>	3-1
3-1-1-4 監督員による確認及び立会等	<p>5. 遵守義務 受注者は、契約書第9条第2項第3号、第13条第2項または第14条第1項もしくは同条第2項の規定に基づき、監督員の立会を受け、材料の確認を受けた場合に、契約書第17条及び第31条に規定する義務を免れないものとする。</p>	<p>5. 遵守義務 受注者は、契約書第10条第2項第3号、第14条第2項または第15条第1項もしくは同条第2項の規定に基づき、監督員の立会を受け、材料の確認を受けた場合に、契約書第18条及び第33条に規定する義務を免れないものとする。</p>	3-2
3-1-1-5 数量の算出			3-5
3-1-1-6 工事完成図書の納品	<p>1. 一般事項 受注者は、工事目的物の供用開始後の維持管理、後工事や復旧工事施工に必要な情報など、施設を供用する限り施設管理者が保有すべき資料をとりまとめた以下の書類を工事完成図書として納品しなければならない。 ① 発注図面（変更図面を含む） ② 工事打合せ簿（出来形、品質管理資料を含む） ③ 施工計画書 ④ 完成図面 ⑤ 工事写真 ⑥ 段階確認書</p>	<p>1. 一般事項 受注者は、工事目的物の供用開始後の維持管理、後工事や復旧工事施工に必要な情報など、施設を供用する限り施設管理者が保有すべき資料をとりまとめた以下の書類を工事完成図書として納品しなければならない。 ① 工事打合せ簿（出来形、品質管理資料を含む） ② 施工計画書 ③ 完成図面 ④ 工事写真 ⑤ 段階確認書</p>	3-6
3-1-1-8 工事中の安全確保	<p>1. 適用規定 土木工事にあつては、第1編の1-1-1-26工事中の安全確保の規定に加え以下の規定による。</p> <p>2. 建設工事公衆災害防止対策要綱 受注者は、建設工事公衆災害防止対策要綱（建設事務次官通達、平成5年1月12日）を遵守して災害の防止を図らなければならない。</p> <p>3. 使用する建設機械 受注者は、土木工事に使用する建設機械の選定、使用等について、設計図書により建設機械が指定されている場合には、これに適合した建設機械を使用しなければならない。ただし、より条件に合った機械がある場合には、監督員の承諾を得て、それを使用することができる。</p>		

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
	<p>4. 架空線等事故防止対策 受注者は、架空線等上空施設の位置及び占有者を把握するため、工事現場、土取り場、建設発生土受入地、資材等置き場等、工事に係わる全ての架空線等上空施設の現地調査（場所、種類、高さ等）を行い、その調査結果について、支障物件の有無に関わらず、監督員へ報告しなければならない。</p>		
3-1-1-9 交通安全管理	<p>1. 適用規定 土木工事にあつては、第1編の1-1-1-32交通安全管理の規定に加え以下の規定による。</p>		
	<p>2. 工事用道路の維持管理 受注者は、設計図書において指定された工事用道路を使用する場合は、設計図書の定めに従い、工事用道路の維持管理及び補修を行うものとする。</p>		
	<p>3. 施工計画書 受注者は、指定された工事用道路の使用開始前に当該道路の維持管理、補修及び使用方法等を施工計画書に記載しなければならない。この場合において、受注者は、関係機関に所要の手续をとるものとし、発注者が特に指示する場合を除き、標識の設置その他の必要な措置を行わなければならない。</p>		
3-1-1-10 工事測量	<p>1. 適用規定 土木工事にあつては、第1編の1-1-1-37工事測量の規定に加え以下の規定による。</p>		
	<p>2. 仮設標識 受注者は、丁張、その他工事施工の基準となる仮設標識を、設置しなければならない。</p>		
3-1-1-7 提出書類	<p>2. 設計図書に定めるもの 契約書第9条第5項に規定する「設計図書に定めるもの」とは請負代金額に係わる請求書、代金代理受領諾申請書、遅延利息請求書、監督員に関する措置請求に係わる書類及びその他現場説明の際指定した書類をいう。</p>	<p>2. 設計図書に定めるもの 契約書第10条第5項に規定する「設計図書に定めるもの」とは請負代金額に係わる請求書、代金代理受領諾申請書、遅延利息請求書、監督員に関する措置請求に係わる書類及びその他現場説明の際指定した書類をいう。</p>	3-6
第2章 一般施工			
第2節 適用すべき諸基準	<p>日本道路協会 鋼道路橋施工便覧（平成27年3月） 日本道路協会 舗装調査・試験法便覧（平成19年6月） 環境省 水質汚濁に係る環境基準について（平成28年3月） 日本道路協会 杭基礎施工便覧（平成27年3月） 日本道路協会 道路標識設置基準・同解説（昭和62年1月） 厚生労働省 ずい道等建設工事における粉じん対策に関するガイドライン（平成29年6月）</p>	<p>日本道路協会 鋼道路橋施工便覧（令和2年9月） 日本道路協会 舗装調査・試験法便覧（平成31年3月） 環境省 水質汚濁に係る環境基準について（平成31年3月） 日本道路協会 杭基礎施工便覧（令和2年9月） 日本道路協会 道路標識設置基準・同解説（令和2年6月） 厚生労働省 ずい道等建設工事における粉じん対策に関するガイドライン（令和2年7月）</p>	3-7
第3節 共通の工種			
3-2-3-4 矢板工	<p>14. 落錘による打込み 受注者は、落錐によりコンクリート矢板を打込む場合、落錐の重量は矢板の質量以上、錘の落下高は2m程度として施工しなければならない。</p>	<p>14. 落錐による打込み 受注者は、落錐によりコンクリート矢板を打込む場合、落錐の質量は矢板の質量以上、錘の落下高は2m程度として施工しなければならない。</p>	3-14

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
3-2-3-6 小型標識工	1. 一般事項 受注者は、認識上適切な反射 特性 を持ち、耐久性があり、維持管理が容易な反射材料を用いなければならない。	1. 一般事項 受注者は、 視認 上適切な反射 性能 を持ち、耐久性があり、維持管理が 確実かつ 容易な反射材料を用いなければならない。	3-15
	2. 反射標識の取扱い 受注者は、全面反射の標識を用いるものとする が 、警戒標識及び補助標識の黒色部分は無反射としなければならない。	2. 反射標識の取扱い 受注者は、全面反射の標識を用いるものとする。 ただし 、警戒標識及び補助標識の黒色部分は無反射としなければならない。	3-15
	3. 標示板基板の表面状態 受注者は、標示板基板表面を機械的に研磨（サウディング処理）シラッカーシンナーまたは、表面処理液（弱アルカリ性 処理液 ）で脱脂洗浄を施した後乾燥を行い、反射シートを貼付けるのに最適な表面状態を保たなければならない。	3. 標示板基板の表面状態 受注者は、標示板基板表面を サンドペーパー や機械的に研磨（サウディング処理）シラッカーシンナーまたは、表面処理液（弱アルカリ性 界面活性剤 ）で脱脂洗浄を施した後乾燥を行い、反射シートを貼付けるのに最適な表面状態を保たなければならない。	3-15
	5. 反射シートの貼付け方式 受注者は、重ね貼り方式または、スクリーン印刷方式により、反射シートの貼付けを行わなければならない。	5. 反射シートの貼付け方式 受注者は、重ね貼り方式または、スクリーン印刷方式により、反射シートの貼付けを行わなければならない。 印刷乾燥後は色むら・にじみ・ピンホールなどが無いことを確認 しなければならない。また、必要がある場合は インク保護 などを目的とした、 クリアー や ラミネート加工 を行うものとする。	3-16
	8. 2枚以上の反射シートの重ね合わせ 受注者は、2枚以上の反射シートを接合して使用する場合には、 5～10mm程度 重ね合わせなければならない。	8. 2枚以上の反射シートの重ね合わせ 受注者は、2枚以上の反射シートを接合して使用する場合には、 10mm以上 重ね合わせなければならない。	3-16
	10. 素材加工 受注者は、素材加工に際し、縁曲げ加工をする標示板については、基板の端部を円弧に切断し、 グラインダー などで表面を滑らかにしなければならない。	10. 素材加工 受注者は、素材加工に際し、縁曲げ加工をする標示板については、基板の端部を円弧に切断し、 グラインダ などで表面を滑らかにしなければならない。	3-16
	12. 錆止めの実施 受注者は、標示板の素材に鋼板を用いる場合には、塗装に先立ち脱錆（酸洗い）などの下地処理を行った後、 磷酸塩 被膜法などによる錆止めを施さなければならない。	12. 錆止めの実施 受注者は、標示板の素材に鋼板を用いる場合には、塗装に先立ち脱錆（酸洗い）などの下地処理を行った後、 リン酸塩 被膜法などによる錆止めを施さなければならない。	3-16
15. 溶融亜鉛めっきの基準 受注者は、支柱用鋼管及び 取付け 鋼板などに溶融亜鉛めっきする場合、その付着量をJIS H 8641（溶融亜鉛めっき）2種の（HDZ55）550g/m ² （片面の付着量）以上としなければならない。ただし、厚さ3.2mm以上、6mm未満の鋼材については2種（HDZ45）450 g/m ² 以上、厚さ3.2mm未満の鋼材については2種（HDZ35）350g/m ² （片面の付着量）以上としなければならない。	15. 溶融亜鉛めっきの基準 受注者は、支柱用鋼管及び 取付 鋼板などに溶融亜鉛めっきする場合、その付着量をJIS H 8641（溶融亜鉛めっき）2種の（HDZ55）550g/m ² （片面の付着量）以上としなければならない。ただし、厚さ3.2mm以上、6mm未満の鋼材については2種（HDZ45）450g/m ² 以上、厚さ3.2mm未満の鋼材については2種（HDZ35）350g/m ² （片面の付着量）以上としなければならない。	3-17	

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																																																								
3-2-3-9 区画線工	9. 区画線の施工 区画線の施工は、下表によるものとする。 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">施工厚 (標準)</th> <th colspan="2">塗布量 (100㎡当たり標準量)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>トラフィックペイント</th> <th>ガラスビース</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よう融用</td> <td>JIS K 5665</td> <td>3種</td> <td>1.5 (mm)</td> <td>380 (kg)</td> <td>17 (kg)</td> <td rowspan="3">ロスを含 んだ量</td> </tr> <tr> <td>加熱用</td> <td>JIS K 5665</td> <td>2種</td> <td></td> <td>47 (ℓ)</td> <td>39 (kg)</td> </tr> <tr> <td>常温用</td> <td>JIS K 5665</td> <td>1種</td> <td></td> <td>33 (ℓ)</td> <td>26 (kg)</td> </tr> </tbody> </table> <p>かし担保 契約書第44条2項の期間は、溶融式1ヶ年、ペイント式(加熱用、常温用)6ヶ月とする。</p>	種別		規格	施工厚 (標準)	塗布量 (100㎡当たり標準量)		備考	トラフィックペイント	ガラスビース	よう融用	JIS K 5665	3種	1.5 (mm)	380 (kg)	17 (kg)	ロスを含 んだ量	加熱用	JIS K 5665	2種		47 (ℓ)	39 (kg)	常温用	JIS K 5665	1種		33 (ℓ)	26 (kg)	9. 区画線の施工 区画線の施工は、下表によるものとする。 <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">規格</th> <th rowspan="2">施工厚 (標準)</th> <th colspan="2">塗布量 (100㎡当たり標準量)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>トラフィックペイント</th> <th>ガラスビース</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よう融用</td> <td>JIS K 5665</td> <td>3種</td> <td>1.5 (mm)</td> <td>380 (kg)</td> <td>17 (kg)</td> <td rowspan="3">ロスを含 んだ量</td> </tr> <tr> <td>加熱用</td> <td>JIS K 5665</td> <td>2種</td> <td></td> <td>47 (ℓ)</td> <td>39 (kg)</td> </tr> <tr> <td>常温用</td> <td>JIS K 5665</td> <td>1種</td> <td></td> <td>33 (ℓ)</td> <td>26 (kg)</td> </tr> </tbody> </table> <p>かし担保 契約書第46条2項の期間は、溶融式1ヶ年、ペイント式(加熱用、常温用)6ヶ月とする。</p>	種別		規格	施工厚 (標準)	塗布量 (100㎡当たり標準量)		備考	トラフィックペイント	ガラスビース	よう融用	JIS K 5665	3種	1.5 (mm)	380 (kg)	17 (kg)	ロスを含 んだ量	加熱用	JIS K 5665	2種		47 (ℓ)	39 (kg)	常温用	JIS K 5665	1種		33 (ℓ)	26 (kg)	3-19
種別						規格	施工厚 (標準)		塗布量 (100㎡当たり標準量)		備考																																																
		トラフィックペイント	ガラスビース																																																								
よう融用	JIS K 5665	3種	1.5 (mm)	380 (kg)	17 (kg)	ロスを含 んだ量																																																					
加熱用	JIS K 5665	2種		47 (ℓ)	39 (kg)																																																						
常温用	JIS K 5665	1種		33 (ℓ)	26 (kg)																																																						
種別		規格	施工厚 (標準)	塗布量 (100㎡当たり標準量)		備考																																																					
				トラフィックペイント	ガラスビース																																																						
よう融用	JIS K 5665	3種	1.5 (mm)	380 (kg)	17 (kg)	ロスを含 んだ量																																																					
加熱用	JIS K 5665	2種		47 (ℓ)	39 (kg)																																																						
常温用	JIS K 5665	1種		33 (ℓ)	26 (kg)																																																						
3-2-3-14 プレキャストセグメント主 桁組立工	2. ブロック組立て施工 (1) プレキャストブロックの接合に用いる接着剤の使用にあたり材質がエポキシ樹脂系接着剤で強度、耐久性及び水密性がブロック同等以上のものを使用するものとする。エポキシ樹脂系接着剤を使用する場合は、室内で 密封し 、原則として製造後6ヶ月以上経過したものは使用してはならない。また、水分を含むと品質が劣化するので、雨天の時の作業は中止しなければならない。これ以外の場合は、 設計図書 によるものとする。	2. ブロック組立て施工 (1) プレキャストブロックの接合に用いる接着剤の使用にあたり材質がエポキシ樹脂系接着剤で強度、耐久性及び水密性がブロック同等以上のものを使用するものとする。エポキシ樹脂系接着剤を使用する場合は、室内で 密封して保管し 、原則として製造後6ヶ月以上経過したものは使用してはならない。また、水分を含むと品質が劣化するので、雨天の時の作業は中止しなければならない。これ以外の場合は、 設計図書 によるものとする。	3-25																																																								
3-2-3-23 現場継手工	3. ボルトの締付け (4) ボルトの締付けを回転法によって行う場合、接触面の肌すきがなくなる程度にトルクレンチで締めた状態、または組立て用スパナで力いっぱい締めた状態から、以下に示す回転角を与えなければならない。ただし、回転法はF8T、B8Tのみに用いるものとする。 ① ボルト長が径の5倍以下の場合：1/3回転(120度)±30度 ② ボルト長が径の5倍を 越える 場合：施工条件に一致した予備試験によって目標回転数を決定する。 (6) ボルトの締付け機、 測量器具 などの検定は、下記に示す時期に行いその精度を確認しなければならない。	3. ボルトの締付け (4) ボルトの締付けを回転法によって行う場合、接触面の肌すきがなくなる程度にトルクレンチで締めた状態、または組立て用スパナで力いっぱい締めた状態から、以下に示す回転角を与えなければならない。ただし、回転法はF8T、B8Tのみに用いるものとする。 ① ボルト長が径の5倍以下の場合：1/3回転(120度)±30度 ② ボルト長が径の5倍を 超える 場合：施工条件に一致した予備試験によって目標回転数を決定する。 (6) ボルトの締付け機、 測定器具 などの検定は、下記に示す時期に行いその精度を確認しなければならない。	3-32																																																								
	7. 締付け確認 (3) 回転法及び耐力点法による場合は、 全般 についてマーキングによる外観確認を行わなければならない。	7. 締付け確認 (3) 回転法及び耐力点法による場合は、 全数 についてマーキングによる外観確認を行わなければならない。	3-34																																																								

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
<p>3-2-3-25 銘板工</p>	<p>1. 一般事項 受注者は、橋歴板の作成については、材質はJIS H 2202（鋳物用銅合金地金）を使用し、寸法及び記載事項は、図3-2-2によらなければならない。ただし、記載する技術者等の氏名について、これにより難い場合は監督員と協議しなければならない。</p>	<p>1. 一般事項 受注者は、橋歴板の作成については、材質はJIS H 2202（鋳物用銅合金地金）を使用し、寸法及び記載事項は、図3-2-2によらなければならない。ただし、記載する技術者等の氏名について、これにより難い場合は監督員と協議しなければならない。 銘板への工事関係技術者の表示については、以下のとおりとする。 1. 対象構造物 擁壁、カルバート、橋梁上部工、橋梁下部工、トンネル、堰、水門、樋門（樋管）、砂防堰堤、シェッド、大規模法面、（揚）排水機場 2. 表示技術者 〔設計〕 会社名、設計責任者氏名 〔施工〕 元請会社：会社名、監理（主任）技術者氏名、現場代理人氏名、担当技術者氏名 下請会社：会社名、専任の主任技術者氏名 ※現場代理人、担当技術者及び専任の主任技術者については、施工会社の希望により、本人の了解が得られた技術者のみ記載する。</p>	<p>3-36</p>
<p>3-2-3-30 集水樹工</p>	<p>14. 中塗、上塗 (2) 受注者は、海岸地域、大気汚染の著しい地域などの特殊環境における鋼橋の塗装については、素地調整終了から上塗り完了までを速やかに行わなければならない。</p>	<p>14. 中塗、上塗 (2) 受注者は、海岸地域、大気汚染の著しい地域などの特殊環境における鋼橋の塗装については、素地調整終了から上塗り完了までを速やかに行わなければならない。 受注者は、コンクリートとの接触面の塗装を行ってはならない。ただしプライマーは除くものとする。また、主桁や縦桁上フランジなどのコンクリート接触部は、さび汁による汚れを考慮し無機ジンクリッチペイントを30μm塗布するものとする。</p>	<p>3-44</p>

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																																																																																						
<p>3-2-3-32 かごマット工</p>	<p>3. 表示標の提出 受注者は、納入された製品について監督員が指定する表示標（底網、蓋網、側網及び仕切網毎に網線に使用した線材の製造工場名及び表示番号、製造年月日を記載したもの）を監督員に提出しなければならない。 また、監督員が指定する各網の表示標に記載された番号に近い線材の公的機関における試験結果を提出しなければならない。</p> <p style="text-align: center;">表3-2-10 要求性能の確認方法</p> <table border="1" data-bbox="479 395 1151 1077"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">要求性能</th> <th colspan="3">確認方法</th> </tr> <tr> <th>試験方法</th> <th>試験条件</th> <th>基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">緑材に要求される性能</td> <td>母材の健全性</td> <td>JIS H 0401 の間接法で使用する試験液によるメッキ溶解後の母材鉄線の写真撮影</td> <td>メッキを剥いだ状態での母材鉄線の表面撮影</td> <td>母材に傷が付いていないこと</td> </tr> <tr> <td>強度</td> <td>洗濯時の破断抵抗及び洗濯に追従する屈とう性を有する鉄線籠本体の一部として機能するために必要な強度を有すること</td> <td>引張試験 (JIS G 3547 に準拠)</td> <td>— 引張強さ 290N/mm²以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐久性</td> <td rowspan="2">淡水中での耐用年数30年程度を確保すること</td> <td>腐食促進試験 (JIS G 0594 に準拠)</td> <td>塩素イオン濃度 0ppm 試験時間 1,000時間</td> <td rowspan="2">メッキ残存量 30g/m²以上</td> </tr> <tr> <td>線材摩耗試験</td> <td>回転数 20,000回転</td> </tr> <tr> <td>均質性</td> <td>性能を担保する品質の均質性を確保していること</td> <td colspan="3">鉄線籠型基準「8. 線材の品質管理」に基づくこと</td> </tr> <tr> <td>環境適合性</td> <td>周辺環境に影響を与える有害成分を溶出しないこと</td> <td colspan="3">鉄線籠型基準「1. 適用河川」に基づくこと</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上記性能に加えて蓋材に要求される性能</td> <td>摩擦抵抗(短期性能型)</td> <td>作業中の安全のために必要な滑りにくさ有すること</td> <td>面的摩擦試験 または 線的摩擦試験</td> <td>— 摩擦係数 0.90以上</td> </tr> <tr> <td>摩擦抵抗(長期性能型)</td> <td>供用後における水辺の安全な利用のために必要な滑りにくさを有すること</td> <td>線材摩耗試験の 線的摩擦試験 または 面材摩耗試験の 面的摩擦試験</td> <td>[線材摩耗試験の場合] 回転数 2,500 回転 [面材摩耗試験の場合] 回転数 100 回転 摩擦係数 0.90 以上 (初期摩耗後)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	要求性能	確認方法			試験方法	試験条件	基準値	緑材に要求される性能	母材の健全性	JIS H 0401 の間接法で使用する試験液によるメッキ溶解後の母材鉄線の写真撮影	メッキを剥いだ状態での母材鉄線の表面撮影	母材に傷が付いていないこと	強度	洗濯時の破断抵抗及び洗濯に追従する屈とう性を有する鉄線籠本体の一部として機能するために必要な強度を有すること	引張試験 (JIS G 3547 に準拠)	— 引張強さ 290N/mm ² 以上	耐久性	淡水中での耐用年数30年程度を確保すること	腐食促進試験 (JIS G 0594 に準拠)	塩素イオン濃度 0ppm 試験時間 1,000時間	メッキ残存量 30g/m ² 以上	線材摩耗試験	回転数 20,000回転	均質性	性能を担保する品質の均質性を確保していること	鉄線籠型基準「8. 線材の品質管理」に基づくこと			環境適合性	周辺環境に影響を与える有害成分を溶出しないこと	鉄線籠型基準「1. 適用河川」に基づくこと			上記性能に加えて蓋材に要求される性能	摩擦抵抗(短期性能型)	作業中の安全のために必要な滑りにくさ有すること	面的摩擦試験 または 線的摩擦試験	— 摩擦係数 0.90以上	摩擦抵抗(長期性能型)	供用後における水辺の安全な利用のために必要な滑りにくさを有すること	線材摩耗試験の 線的摩擦試験 または 面材摩耗試験の 面的摩擦試験	[線材摩耗試験の場合] 回転数 2,500 回転 [面材摩耗試験の場合] 回転数 100 回転 摩擦係数 0.90 以上 (初期摩耗後)	<p>3. 表示標の提出 受注者は、納入された製品について監督員が指定する表示標（底網、蓋網、側網及び仕切網毎に網線に使用した線材の製造工場名及び表示番号、製造年月日を記載したもの）を監督員に提出しなければならない。 また、監督員が指定する各網の表示標に記載された番号に近い線材の公的機関における試験結果を提出しなければならない。</p> <p style="text-align: center;">表3-2-10 要求性能の確認方法</p> <table border="1" data-bbox="1227 395 1899 1077"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th rowspan="2">要求性能</th> <th colspan="3">確認方法</th> </tr> <tr> <th>試験方法</th> <th>試験条件</th> <th>基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">緑材に要求される性能</td> <td>母材の健全性</td> <td>JIS H 0401 の間接法で使用する試験液によるメッキ溶解後の母材鉄線の写真撮影</td> <td>メッキを剥いだ状態での母材鉄線の表面撮影</td> <td>母材に傷が付いていないこと</td> </tr> <tr> <td>強度</td> <td>洗濯時の破断抵抗及び洗濯に追従する屈とう性を有する鉄線籠本体の一部として機能するために必要な強度を有すること</td> <td>引張試験 (JIS G 3547 に準拠)</td> <td>— 引張強さ 290N/mm²以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">耐久性</td> <td rowspan="2">淡水中での耐用年数30年程度を確保すること</td> <td>腐食促進試験 (JIS G 0594 に準拠)</td> <td>塩化物イオン濃度 0ppm 試験時間 1,000時間</td> <td rowspan="2">メッキ残存量 30g/m²以上</td> </tr> <tr> <td>線材摩耗試験</td> <td>回転数 20,000回転</td> </tr> <tr> <td>均質性</td> <td>性能を担保する品質の均質性を確保していること</td> <td colspan="3">鉄線籠型基準「8. 線材の品質管理」に基づくこと</td> </tr> <tr> <td>環境適合性</td> <td>周辺環境に影響を与える有害成分を溶出しないこと</td> <td colspan="3">鉄線籠型基準「1. 適用河川」に基づくこと</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上記性能に加えて蓋材に要求される性能</td> <td>摩擦抵抗(短期性能型)</td> <td>作業中の安全のために必要な滑りにくさ有すること</td> <td>面的摩擦試験 または 線的摩擦試験</td> <td>— 摩擦係数 0.90以上</td> </tr> <tr> <td>摩擦抵抗(長期性能型)</td> <td>供用後における水辺の安全な利用のために必要な滑りにくさを有すること</td> <td>線材摩耗試験の 線的摩擦試験 または 面材摩耗試験の 面的摩擦試験</td> <td>[線材摩耗試験の場合] 回転数 2,500 回転 [面材摩耗試験の場合] 回転数 100 回転 摩擦係数 0.90 以上 (初期摩耗後)</td> </tr> </tbody> </table>	項目	要求性能	確認方法			試験方法	試験条件	基準値	緑材に要求される性能	母材の健全性	JIS H 0401 の間接法で使用する試験液によるメッキ溶解後の母材鉄線の写真撮影	メッキを剥いだ状態での母材鉄線の表面撮影	母材に傷が付いていないこと	強度	洗濯時の破断抵抗及び洗濯に追従する屈とう性を有する鉄線籠本体の一部として機能するために必要な強度を有すること	引張試験 (JIS G 3547 に準拠)	— 引張強さ 290N/mm ² 以上	耐久性	淡水中での耐用年数30年程度を確保すること	腐食促進試験 (JIS G 0594 に準拠)	塩化物イオン濃度 0ppm 試験時間 1,000時間	メッキ残存量 30g/m ² 以上	線材摩耗試験	回転数 20,000回転	均質性	性能を担保する品質の均質性を確保していること	鉄線籠型基準「8. 線材の品質管理」に基づくこと			環境適合性	周辺環境に影響を与える有害成分を溶出しないこと	鉄線籠型基準「1. 適用河川」に基づくこと			上記性能に加えて蓋材に要求される性能	摩擦抵抗(短期性能型)	作業中の安全のために必要な滑りにくさ有すること	面的摩擦試験 または 線的摩擦試験	— 摩擦係数 0.90以上	摩擦抵抗(長期性能型)	供用後における水辺の安全な利用のために必要な滑りにくさを有すること	線材摩耗試験の 線的摩擦試験 または 面材摩耗試験の 面的摩擦試験	[線材摩耗試験の場合] 回転数 2,500 回転 [面材摩耗試験の場合] 回転数 100 回転 摩擦係数 0.90 以上 (初期摩耗後)	<p>3-47</p>
項目	要求性能			確認方法																																																																																					
		試験方法	試験条件	基準値																																																																																					
緑材に要求される性能	母材の健全性	JIS H 0401 の間接法で使用する試験液によるメッキ溶解後の母材鉄線の写真撮影	メッキを剥いだ状態での母材鉄線の表面撮影	母材に傷が付いていないこと																																																																																					
	強度	洗濯時の破断抵抗及び洗濯に追従する屈とう性を有する鉄線籠本体の一部として機能するために必要な強度を有すること	引張試験 (JIS G 3547 に準拠)	— 引張強さ 290N/mm ² 以上																																																																																					
	耐久性	淡水中での耐用年数30年程度を確保すること	腐食促進試験 (JIS G 0594 に準拠)	塩素イオン濃度 0ppm 試験時間 1,000時間	メッキ残存量 30g/m ² 以上																																																																																				
			線材摩耗試験	回転数 20,000回転																																																																																					
	均質性	性能を担保する品質の均質性を確保していること	鉄線籠型基準「8. 線材の品質管理」に基づくこと																																																																																						
	環境適合性	周辺環境に影響を与える有害成分を溶出しないこと	鉄線籠型基準「1. 適用河川」に基づくこと																																																																																						
上記性能に加えて蓋材に要求される性能	摩擦抵抗(短期性能型)	作業中の安全のために必要な滑りにくさ有すること	面的摩擦試験 または 線的摩擦試験	— 摩擦係数 0.90以上																																																																																					
	摩擦抵抗(長期性能型)	供用後における水辺の安全な利用のために必要な滑りにくさを有すること	線材摩耗試験の 線的摩擦試験 または 面材摩耗試験の 面的摩擦試験	[線材摩耗試験の場合] 回転数 2,500 回転 [面材摩耗試験の場合] 回転数 100 回転 摩擦係数 0.90 以上 (初期摩耗後)																																																																																					
項目	要求性能	確認方法																																																																																							
		試験方法	試験条件	基準値																																																																																					
緑材に要求される性能	母材の健全性	JIS H 0401 の間接法で使用する試験液によるメッキ溶解後の母材鉄線の写真撮影	メッキを剥いだ状態での母材鉄線の表面撮影	母材に傷が付いていないこと																																																																																					
	強度	洗濯時の破断抵抗及び洗濯に追従する屈とう性を有する鉄線籠本体の一部として機能するために必要な強度を有すること	引張試験 (JIS G 3547 に準拠)	— 引張強さ 290N/mm ² 以上																																																																																					
	耐久性	淡水中での耐用年数30年程度を確保すること	腐食促進試験 (JIS G 0594 に準拠)	塩化物イオン濃度 0ppm 試験時間 1,000時間	メッキ残存量 30g/m ² 以上																																																																																				
			線材摩耗試験	回転数 20,000回転																																																																																					
	均質性	性能を担保する品質の均質性を確保していること	鉄線籠型基準「8. 線材の品質管理」に基づくこと																																																																																						
	環境適合性	周辺環境に影響を与える有害成分を溶出しないこと	鉄線籠型基準「1. 適用河川」に基づくこと																																																																																						
上記性能に加えて蓋材に要求される性能	摩擦抵抗(短期性能型)	作業中の安全のために必要な滑りにくさ有すること	面的摩擦試験 または 線的摩擦試験	— 摩擦係数 0.90以上																																																																																					
	摩擦抵抗(長期性能型)	供用後における水辺の安全な利用のために必要な滑りにくさを有すること	線材摩耗試験の 線的摩擦試験 または 面材摩耗試験の 面的摩擦試験	[線材摩耗試験の場合] 回転数 2,500 回転 [面材摩耗試験の場合] 回転数 100 回転 摩擦係数 0.90 以上 (初期摩耗後)																																																																																					
<p>第4節 基礎工 3-2-4-4 既製杭工</p>	<p>16. セメントミルクの水セメント比 受注者は、既製コンクリート杭の施工を行うにあたり、根固め球根を造成するセメントミルクの水セメント比は設計図書に示されていない場合は、60%以上かつ70%以下としなければならない。掘削時及びオーガ引上げ時に負圧を発生させてポイリングを起こす可能性がある場合は、杭中空部の孔内水位を常に地下水位より低下させないよう十分注意して掘削しなければならない。 また、攪拌完了後のオーガの引上げに際して、吸引現象を防止する必要がある場合には、セメントミルクを噴出しながら、ゆっくりと引上げなければならない。</p>	<p>16. セメントミルクの水セメント比 受注者は、既製コンクリート杭の施工を行うにあたり、根固め球根を造成するセメントミルクの水セメント比は設計図書に示されていない場合は、60%以上かつ70%以下としなければならない。掘削時及びオーガ引上げ時に負圧を発生させてポイリングを起こす可能性がある場合は、杭中空部の孔内水位を常に地下水位より低下させないよう十分注意して掘削しなければならない。 また、攪拌完了後のオーガの引上げに際して、吸引現象を防止する必要がある場合には、セメントミルクを噴出しながら、ゆっくりと引き上げなければならない。</p>	<p>3-56</p>																																																																																						

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
	<p>21. 鋼管杭・H鋼杭の現場継手</p> <p>(1) 受注者は、鋼管杭及びH鋼杭の現場継手を溶接継手による場合については、アーク溶接継手とし、現場溶接に際しては溶接工の選定及び溶接の管理、指導、検査及び記録を行う溶接施工管理技術者を常駐させるとともに、以下の規定による。</p> <p>(2) 受注者は、鋼管杭及びH鋼杭の溶接は、JIS Z 3801（手溶接技術検定における試験方法及び判定基準）に定められた試験のうち、その作業に該当する試験（または同等以上の検定試験）に合格した者でかつ現場溶接の施工経験が6ヶ月以上の者に行わさせなければならない。ただし半自動溶接を行う場合は、JIS Z 3841（半自動溶接技術検定における試験方法及び判定基準）に定められた試験の種類のうち、その作業に該当する試験（またはこれと同等以上の検定試験）に合格した者でなければならない。</p> <p>(8) 受注者は、鋼管杭及びH鋼杭の溶接完了後、溶接箇所について、欠陥の有無の確認を行わなければならない。 なお、確認の結果、発見された欠陥のうち手直しを要するものについては、グラインダーまたはガウジングなどで完全にはつとり、再溶接して補修しなければならない。</p>	<p>21. 鋼管杭・H鋼杭の現場継手</p> <p>(1) 受注者は、鋼管杭及びH鋼杭の現場継手を溶接継手による場合については、アーク溶接継手とし、現場溶接に際しては溶接工の選定及び溶接の管理、指導、検査及び記録を行う溶接施工技術者を常駐させるとともに、以下の規定による。</p> <p>(2) 受注者は、鋼管杭及びH鋼杭の溶接は、JIS Z 3801（手溶接技術検定における試験方法及び判定基準）に定められた試験のうち、その作業に該当する試験（または同等以上の検定試験）に合格した者でかつ現場溶接の施工経験が6ヶ月以上の者に行わさせなければならない。ただし半自動溶接を行う場合は、JIS Z 3841（半自動溶接技術検定における試験方法及び判定基準）に定められた試験の種類のうち、その作業に該当する試験（またはこれと同等以上の検定試験）に合格した者でかつ現場溶接の施工経験が6ヶ月以上の者に行わさせなければならない。</p> <p>(8) 受注者は、鋼管杭及びH鋼杭の溶接完了後、溶接箇所について、欠陥の有無の確認を行わなければならない。 なお、確認の結果、発見された欠陥のうち手直しを要するものについては、グラインダまたはガウジングなどで完全にはつとり、再溶接して補修しなければならない。</p>	3-57
3-2-4-5 場所打杭工	<p>9. 鉄筋かごの建込み</p> <p>受注者は、場所打杭工における鉄筋かごの建込み中及び建込み後に、湾曲、脱落座屈などを防止するとともに、鉄筋かごには、設計図書に示されたかぶり確保できるように、スペーサーを同一深さ位置に4ヶ所以上、深さ方向3m間隔程度で取り付けなければならない。特に杭頭部は、位置がずれやすいことから鉄筋かご円周長に対して500～700mmの間隔で設置するものとする。</p>	<p>9. 鉄筋かごの建込み</p> <p>受注者は、場所打杭工における鉄筋かごの建込み中及び建込み後に、湾曲、脱落座屈などを防止するとともに、鉄筋かごには、設計図書に示されたかぶり確保できるように、スペーサを同一深さ位置に4ヶ所以上、深さ方向3m間隔程度で取り付けなければならない。特に杭頭部は、位置がずれやすいことから鉄筋かご円周長に対して500～700mmの間隔で設置するものとする。</p>	3-60
	<p>13. 杭頭の処理</p> <p>受注者は、場所打杭工の杭頭処理に際して、杭の本体を損傷させないように行わなければならない。また、受注者は、場所打杭工の施工にあたり、連続してコンクリートを打込み、レイタンス部分を除いて品質不良のコンクリート部分を見込んで設計図書に示す打上り面より孔内水を使用しない場合で50cm以上、孔内水を使用する場合で80cm以上高く打込み、硬化後、設計図書に示す高さまで取り壊さなければならない。オールケーシング工法による場所打杭の施工にあたっては、鉄筋天端高さまでコンクリートを打ち込み、硬化後、設計図書に示す高さまで取り壊すものとする。</p>	<p>13. 杭頭の処理</p> <p>受注者は、場所打杭工の杭頭処理に際して、杭の本体を損傷させないように行わなければならない。また、受注者は、場所打杭工の施工にあたり、連続してコンクリートを打込み、レイタンス部分を除いて品質不良のコンクリート部分を見込んで設計図書に示す打上り面より孔内水を使用しない場合で50cm以上、孔内水を使用する場合で80cm以上高く打込み、硬化後、設計図書に示す高さまで取り壊さなければならない。オールケーシング工法による場所打杭の施工にあたっては、鉄筋天端高さまでコンクリートを打ち込み、硬化後、設計図書に示す高さまで取り壊すものとする。</p>	3-60
	<p>14. オールケーシング工法の施工</p> <p>受注者は、オールケーシング工法の施工におけるケーシングチューブの引抜きにあたり、鉄筋かごの共上りを起こさないようにするとともに、引抜き最終時を除き、ケーシングチューブ下端をコンクリート打設面より2m以上コンクリート内に挿入しておかななければならない。</p>	<p>14. オールケーシング工法の施工</p> <p>受注者は、オールケーシング工法の施工におけるケーシングチューブの引抜きにあたり、鉄筋かごの共上りを起こさないようにするとともに、引抜き最終時を除き、ケーシングチューブ下端をコンクリートの上面から2m以上コンクリート内に挿入しておかななければならない。</p>	3-60
	<p>17. 鉄筋かご建込み時の薄壁崩壊防止</p>	<p>17. 鉄筋かご建込み時の孔壁崩壊防止</p>	3-61
3-2-4-6 深礎工	<p>6. 鉄筋組立て</p> <p>受注者は、深礎工において鉄筋を組立てる場合は、適切な仮設計画のもと所定の位置に堅固に組立てるとともに、曲がりやよじれが生じないように、土留材に固定しなければならない。ただし、鉄筋の組立てにおいては、組立て上の形状保持等のための溶接を構造設計上考慮する鉄筋に対しては行っていない。</p>	<p>6. 鉄筋組立て</p> <p>受注者は、深礎工において鉄筋を組み立てる場合は、適切な仮設計画のもと所定の位置に堅固に組み立てるとともに、曲がりやよじれが生じないように、土留材に固定しなければならない。ただし、鉄筋の組立てにおいては、組立て上の形状保持等のための溶接を構造設計上考慮する鉄筋に対しては行っていない。</p>	3-62

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
3-2-4-9 鋼管矢板基礎工	11. 鋼管矢板の溶接 (2) 受注者は、鋼管矢板の溶接については、JIS Z 3801（手溶接技術検定における試験方法及び判定基準）に定められた試験のうち、その作業に該当する試験（または同等以上の検定試験）に合格した者で、かつ現場溶接の施工経験が6ヶ月以上の者に行わさせなければならない。ただし半自動溶接を行う場合は、JIS Z 3841（半自動溶接技術検定における試験方法及び判定基準）に定められた試験の種類のうち、その作業に該当する試験（またはこれと同等以上の検定試験）に合格した者でなければならない。	11. 鋼管矢板の溶接 (2) 受注者は、鋼管矢板の溶接については、JIS Z 3801（手溶接技術検定における試験方法及び判定基準）に定められた試験のうち、その作業に該当する試験（または同等以上の検定試験）に合格した者で、かつ現場溶接の施工経験が6ヶ月以上の者に行わさせなければならない。ただし半自動溶接を行う場合は、JIS Z 3841（半自動溶接技術検定における試験方法及び判定基準）に定められた試験の種類のうち、その作業に該当する試験（またはこれと同等以上の検定試験）に合格した者で、 かつ現場溶接の施工経験が6ヶ月以上の者に行わさせなければならない。	3-67
第5節 石・ブロック積（張）工			
3-2-5-3 コンクリートブロック工	5. コンクリートブロック工の練積又は練張の施工	5. コンクリートブロック工の練積または練張の施工	3-72
第6節 一般舗装工			
3-2-6-2 材料	4. 試験練り 受注者は、舗設に先だつて決定した配合の混合物について、混合所で試験練りを行い、設計図書に示す物性と照合し、異なる場合は、骨材粒度及びアスファルト量の修正を行わなければならない。	4. 試験練り 受注者は、舗設に先立って決定した配合の混合物について、混合所で試験練りを行い、設計図書に示す物性と照合し、異なる場合は、骨材粒度及びアスファルト量の修正を行わなければならない。	3-75
3-2-6-7 アスファルト舗装工	3. セメント及び石灰安定処理の規定 (2) 受注者は、施工に先だつて、「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会、平成19年6月）に示される「E013 安定処理混合物の一軸圧縮試験方法」により一軸圧縮試験を行い、使用するセメント量及び石灰量について監督員の承諾を得なければならない。 (4) 受注者は、「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会、平成19年6月）に示される「F007 突固め試験方法」によりセメント及び石灰安定処理路盤材の最大乾燥密度を求め、監督員の承諾を得なければならない。	3. セメント及び石灰安定処理の規定 (2) 受注者は、施工に先立って、「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会、平成31年3月）に示される「E013安定処理混合物の一軸圧縮試験方法」により一軸圧縮試験を行い、使用するセメント量及び石灰量について監督員の承諾を得なければならない。 (4) 受注者は、「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会、平成31年3月）に示される「F007突固め試験方法」によりセメント及び石灰安定処理路盤材の最大乾燥密度を求め、監督員の承諾を得なければならない。	3-86
3-2-6-11 ゲースアスファルト舗装工	11. 混合物の製造 (2) ミキサ排出時の混合物の温度は、180～220℃とする。	11. 混合物の製造 (2) ミキサー排出時の混合物の温度は、180～220℃とする。	3-101
3-2-6-12 コンクリート舗装工	3. セメント及び石灰安定処理の規定 (2) 受注者は、施工に先立って、「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会、平成19年6月）に示される「E013 安定処理混合物の一軸圧縮試験方法」により一軸圧縮試験を行い、使用するセメント量及び石灰量について監督員の承諾を得なければならない。 (4) 受注者は、「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会、平成19年6月）に示される「F007 突固め試験方法」によりセメント及び石灰安定処理路盤材の最大乾燥密度を求め、監督員の承諾を得なければならない。	3. セメント及び石灰安定処理の規定 (2) 受注者は、施工に先立って、「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会、平成31年3月）に示される「E013安定処理混合物の一軸圧縮試験方法」により一軸圧縮試験を行い、使用するセメント量及び石灰量について監督員の承諾を得なければならない。 (4) 受注者は、「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会、平成31年3月）に示される「F007突固め試験方法」によりセメント及び石灰安定処理路盤材の最大乾燥密度を求め、監督員の承諾を得なければならない。	3-102
	8. コンクリート舗装の規定 (1) 受注者は、セメントコンクリート舗装の施工にあたって使用する現場練りコンクリートの練りませには、 強制練りミキサ または 可傾式ミキサ を使用しなければならない。	8. コンクリート舗装の規定 (1) 受注者は、セメントコンクリート舗装の施工にあたって使用する現場練りコンクリートの練りませには、 強制練りミキサー または 可傾式ミキサー を使用しなければならない。	3-108
	13. 転圧コンクリート舗装の規定 (7) 受注者は、転圧コンクリートの施工にあたって 練りませ用ミキサ として、2軸バグミル型、水平回転型、あるいは可傾式のいずれかの ミキサ を使用しなければならない。	13. 転圧コンクリート舗装の規定 (7) 受注者は、転圧コンクリートの施工にあたって 練りませ用ミキサー として、2軸バグミル型、水平回転型、あるいは可傾式のいずれかの ミキサー を使用しなければならない。	3-111
3-2-6-18 アスファルト舗装補修工	12. クラック処理の施工 受注者は、クラック処理の施工に先立ち、ひび割れ中の ゴミ 、泥などを圧縮空気で吹き飛ばすなどの方法により清掃するものとし、ひび割れの周囲で動く破損部分は取り除かなければならない。また、湿っている部分については、バーナーなどで加熱し乾燥させなければならない。	12. クラック処理の施工 受注者は、クラック処理の施工に先立ち、ひび割れ中の ごみ 、泥などを圧縮空気で吹き飛ばすなどの方法により清掃するものとし、ひび割れの周囲で動く破損部分は取り除かなければならない。また、湿っている部分については、バーナーなどで加熱し乾燥させなければならない。	3-117

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

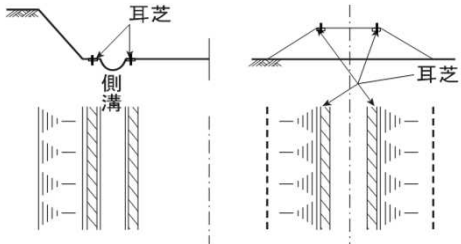
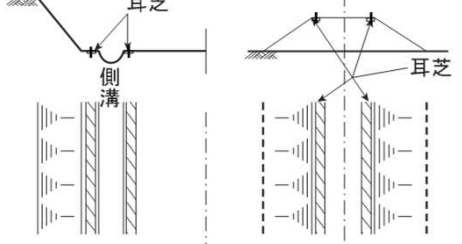
項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
第7節 地盤改良工			
3-2-7-9 固結工	<p>1. 攪拌 攪拌とは、粉体噴射攪拌、高圧噴射攪拌及びスラリー攪拌及び中層混合処理を示すものとする。</p> <p>7. 薬液注入工法 〔注入時の管理〕 2) 削孔検尺写真は、削孔長が確認できるように削孔開始前及び完了後に受注者において撮影するものとする。 5) 当初設計量（試験注入等により設計量に変更が生じた場合は、変更後の設計量）を目標として注入するものとする。注入にあたっては、注入量－注入圧の状況及び施工時の周辺状況を常時監視して、以下の場合に留意しつつ適正に注入するものとする。</p>	<p>1. 攪拌 攪拌とは、粉体噴射攪拌、高圧噴射攪拌、スラリー攪拌及び中層混合処理を示すものとする。</p> <p>7. 薬液注入工法 〔注入時の管理〕 2) 削孔検尺写真は、削孔長が確認できるように削孔開始前及び完了後に受注者において撮影するものとする。 5) 当初設計量（試験注入等により設計量に変更が生じた場合は、変更後の設計量）を目標として注入するものとする。注入にあたっては、注入量－注入圧の状況及び施工時の周辺状況を常時監視して、以下の場合に留意しつつ適切に注入するものとする。</p>	3-123
			3-124
第9節 構造物撤去工			
3-2-9-3 構造物取壊し工	<p>6. 根固めブロック撤去 受注者は、根固めブロック撤去を行うにあたっては、根固めブロックに付着した土砂、泥土、ゴミを現場内において取り除いた後、運搬しなければならない。</p>	<p>6. 根固めブロック撤去 受注者は、根固めブロック撤去を行うにあたっては、根固めブロックに付着した土砂、泥土、ごみを現場内において取り除いた後、運搬しなければならない。</p>	3-127
3-2-9-13 冬季安全施設撤去工	<p>3. 道路交通への支障防止</p>	<p>3. 道路交通への支障の防止</p>	3-130
3-2-9-14 骨材再生工	<p>1. 骨材再生工の施工 骨材再生工の施工については、設計図書に明示した場合を除き、第1編1-1-1-18建設副産物の規定による。</p>	<p>1. 骨材再生工の施工 骨材再生工の施工については、設計図書に明示した場合を除き、第1編1-1-1-19建設副産物の規定による。</p>	3-131
3-2-9-15 運搬処理工	<p>1. 工事現場発生品の規定 工事の施工に伴い生じた工事現場発生品については、第1編1-1-1-17工事現場発生品の規定による。</p> <p>2. 建設副産物の規定 工事の施工に伴い生じた建設副産物については、第1編1-1-1-18建設副産物の規定による。</p>	<p>1. 工事現場発生品の規定 工事の施工に伴い生じた工事現場発生品については、第1編1-1-1-18工事現場発生品の規定による。</p> <p>2. 建設副産物の規定 工事の施工に伴い生じた建設副産物については、第1編1-1-1-19建設副産物の規定による。</p>	3-132
			3-132
第10節 仮設工			
3-2-10-5 土留・仮締切工	<p>3. 適用規定 受注者は、河川堤防の開削をともなう施工にあたり、仮締切を設置する場合には、国土交通省 仮締切堤設置基準（案）の規定による。</p>	<p>3. 適用規定 受注者は、河川堤防の開削をともなう施工にあたり、仮締切を設置する場合には、「仮締切堤設置基準（案）」（国土交通省、平成22年6月）の規定による。</p>	3-134
3-2-10-15 コンクリート製造設備工	<p>2. コンクリートの練りまぜ 受注者は、コンクリートの練りまぜにおいてはパッチミキサを用いなければならない。</p>	<p>2. コンクリートの練りまぜ 受注者は、コンクリートの練りまぜにおいてはパッチミキサーを用いなければならない。</p>	3-140
3-2-10-16 トンネル仮設備工	<p>10. 換気等の効果確認 受注者は、換気の実施等の効果を確認するにあたって、半月以内ごとに1回、定期的に、定められた方法に従って、空気中の粉じん濃度等について測定を行わなければならない。この際、粉じん濃度（吸入性粉じん濃度）目標レベルは3mg/m3以下とし、掘削断面積が小さいため、3mg/m3を達成するのに必要な大きさ（口径）の風管又は必要な本数の風管の設置、必要な容量の集じん装置の設置等が施工上極めて困難であるものについては、可能な限り、3mg/m3に近い値を粉じん濃度目標レベルとして設定し、当該値を記録しておくこと。また、各測定点における測定値の平均値が目標レベルを超える場合には、作業環境を改善するための必要な措置を講じなければならない。 粉じん濃度等の測定結果は関係労働者の閲覧できる措置を講じなければならない。</p>	<p>10. 換気等の効果確認 受注者は、換気の実施等の効果を確認するにあたって、半月以内ごとに1回、定期的に、定められた方法に従って、空気中の粉じん濃度等について測定を行わなければならない。この際、粉じん濃度（吸入性粉じん濃度）目標レベルは2mg/m³以下とし、掘削断面積が小さいため、2mg/m³を達成するのに必要な大きさ（口径）の風管または必要な本数の風管の設置、必要な容量の集じん装置の設置等が施工上極めて困難であるものについては、可能な限り、2mg/m³に近い値を粉じん濃度目標レベルとして設定し、当該値を記録しておくこと。また、各測定点における測定値の平均値が目標レベルを超える場合には、作業環境を改善するための必要な措置を講じなければならない。 粉じん濃度等の測定結果は関係労働者の閲覧できる措置を講じなければならない。</p>	3-141

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
第12節 工場製作工（共通）			
3-2-12-2 材料	3. 溶接材料 (2) SM490、SM490Y、SM520、SBHS400、SM570及びSBHS50以上の鋼材を溶接する場合	3. 溶接材料 (2) SM490、SM490Y、SM520、SBHS400、SM570及び SBHS500 を溶接する場合	3-146
	6. CO₂ガスシールドアーク溶接に用いるCO₂ガス CO ₂ ガスシールドアーク溶接に用いるCO ₂ ガスは、JIS K 1106（液化二酸化炭素（液化炭酸ガス））に規定された第3種を使用するものとする。	6. CO₂ガスシールドアーク溶接に用いるCO₂ガス CO ₂ ガスシールドアーク溶接に用いるCO ₂ ガスは、JIS K 1106（液化二酸化炭素（液化炭酸ガス））に規定された3種を使用するものとする。	3-147
	7. 工場塗装工の材料 (5) 受注者は、塗料の有効期限を、ジンクリッチペイントは製造後6ヶ月以内、その他の塗料は製造後12ヶ月とし、有効期限を超過した塗料は使用してはならない。	7. 工場塗装工の材料 (5) 受注者は、塗料の有効期限を、ジンクリッチペイントは製造後6ヶ月以内、その他の塗料は製造後12ヶ月とし、有効期限を超過した塗料は使用してはならない。 工期延期等やむを得ない理由によって使用期間が、ジンクリッチペイントは6ヶ月を超えた場合、その他の塗料は12ヶ月を超えた場合は、抜き取り試験を行って品質を確認し、正常の場合使用することができる。	3-148

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																																
3-2-12-3 桁製作工	<p>1. 製作加工</p> <p>(1) 原 寸</p> <p>① 受注者は、工作に着手する前に原寸図を作成し、図面の不備や製作上に支障がないかどうかを確認しなければならない。</p> <p>② 受注者は、原寸図の一部または全部を省略する場合は、設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。</p> <p>(2) 工 作</p> <p>① 受注者は、主要部材の板取りにあたっては、主たる応力の方向と圧延方向とが一致することを確認しなければならない。</p> <p>③ 受注者は、主要部材の切断を自動ガス切断法、プラズマアーク切断法またはレーザー切断法により行わなければならない。また、フィラー・タイプレート、形鋼、板厚10mm以下のガセット・プレート及び補剛材等は、せん断により切断してよいが、切断線に肩落ち、かえり、不揃い等のある場合は縁削りまたはグラインダ仕上げを行って平滑に仕上げるものとする。</p> <p>④ 受注者は、塗装等の防錆防食を行う部材において、組立てた後に自由縁となる部材の角は面取りを行うものとし、半径2mm以上の曲面仕上げを行うものとする。</p> <p>(4) 溶接施工試験</p> <p>3) 被覆アーク溶接法(手溶接のみ)、ガスシールドアーク溶接法(CO₂ガスまたはArとCO₂の混合ガス)、サブマージアーク溶接法以外の溶接を行う場合</p> <p>(8) 予 熱</p> <p>受注者は、鋼種及び溶接方法に応じて、溶接線の両側100mm及びアークの前方100mm範囲の母材を表3-2-51の条件を満たす場合に限り、表3-2-50により予熱することを標準とする。</p> <p>(11) 溶接の検査</p> <p>⑥ 外部きずの検査について、磁粉探傷試験または浸透探傷試験を行う者は、それぞれの試験の種類に応じたJIS Z 2305(非破壊試験技術者の資格及び認証)に規定するレベル2以上の資格を有していなければならない。なお、極間法を適用する場合には、磁粉探傷試験の資格のうち、極間法に限定された磁粉探傷試験のレベル2以上の資格を有するものとする。</p> <p>(12) 欠陥部の補修</p> <p style="text-align: center;">表3-2-55 欠陥の補修方法</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">欠 陥 の 種 類</th> <th style="width: 70%;">補 修 方 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 アークストライク</td> <td>母材表面に凹みを生じた部分は肉盛り溶接の後グラインダ仕上げする。わずかな痕跡のある程度のはグラインダ仕上げのみでよい。</td> </tr> <tr> <td>2 組立溶接の欠陥</td> <td>欠陥部をエアアークガウジング等で除去し、必要であれば再度組立溶接を行う。</td> </tr> <tr> <td>3 溶接われ</td> <td>われ部分を完全に除去し、発生原因を究明して、それに応じた再溶接を行う。</td> </tr> <tr> <td>4 溶接ビード表面のビット</td> <td>エアアークガウジングでその部分を除去し、再溶接する。</td> </tr> <tr> <td>5 オーバーラップ</td> <td>グラインダで削りを整形する。</td> </tr> <tr> <td>6 溶接ビード表面の凸凹</td> <td>グラインダ仕上げする。</td> </tr> <tr> <td>7 アンダーカット</td> <td>程度に応じて、グラインダ仕上げのみ、または溶接後、グラインダ仕上げする。</td> </tr> </tbody> </table>	欠 陥 の 種 類	補 修 方 法	1 アークストライク	母材表面に凹みを生じた部分は肉盛り溶接の後グラインダ仕上げする。わずかな痕跡のある程度のはグラインダ仕上げのみでよい。	2 組立溶接の欠陥	欠陥部をエアアークガウジング等で除去し、必要であれば再度組立溶接を行う。	3 溶接われ	われ部分を完全に除去し、発生原因を究明して、それに応じた再溶接を行う。	4 溶接ビード表面のビット	エアアークガウジングでその部分を除去し、再溶接する。	5 オーバーラップ	グラインダで削りを整形する。	6 溶接ビード表面の凸凹	グラインダ仕上げする。	7 アンダーカット	程度に応じて、グラインダ仕上げのみ、または溶接後、グラインダ仕上げする。	<p>1. 製作加工</p> <p>(1) 原 寸</p> <p>① 受注者は、工作に着手する前にコンピュータによる原寸システム等により図面の不備や製作上に支障がないかどうかを確認しなければならない。</p> <p>② 受注者は、上記①においてコンピュータによる原寸システム等を使用しない場合は監督員の承諾を得なければならない。</p> <p>(2) 工 作</p> <p>① 受注者は、主要部材の板取にあたっては、主たる応力の方向と圧延方向とが一致することを確認しなければならない。</p> <p>③ 受注者は、主要部材の切断を自動ガス切断法、プラズマアーク切断法またはレーザー切断法により行わなければならない。また、フィラー・タイプレート、形鋼、板厚10mm以下のガセットプレート及び補剛材等は、せん断により切断してよいが、切断線に肩落ち、かえり、不揃い等のある場合は縁削りまたはグラインダ仕上げを行って平滑に仕上げるものとする。</p> <p>④ 受注者は、塗装等の防錆・防食を行う部材において、組立てた後に自由縁となる部材の角は面取りを行うものとし、半径2mm以上の曲面仕上げを行うものとする。</p> <p>(4) 溶接施工試験</p> <p>3) 被覆アーク溶接法(手溶接のみ)、ガスシールドアーク溶接法(CO₂ガスまたはArとCO₂の混合ガス)、サブマージアーク溶接法以外の溶接を行う場合</p> <p>(8) 予 熱</p> <p>受注者は、鋼種及び溶接方法に応じて、溶接線の両側100mm範囲の母材を表3-2-51の条件を満たす場合に限り、表3-2-50により予熱することを標準とする。 なお、鋼材のPCM値を低減すれば予熱温度を低減できる。この場合の予熱温度は表3-2-52とする。</p> <p>(11) 溶接の検査</p> <p>⑥ 外部きずの検査について、磁粉探傷試験または浸透探傷試験を行う者は、それぞれの試験の種類に応じたJIS Z 2305(非破壊試験一技術者の資格及び認証)に規定するレベル2以上の資格を有していなければならない。なお、極間法を適用する場合には、磁粉探傷試験の資格のうち、極間法に限定された磁粉探傷試験のレベル2以上の資格を有するものとする。</p> <p>(12) 欠陥部の補修</p> <p style="text-align: center;">表3-2-55 欠陥の補修方法</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">欠 陥 の 種 類</th> <th style="width: 70%;">補 修 方 法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 アークストライク</td> <td>母材表面に凹みを生じた部分は肉盛り溶接の後グラインダー仕上げする。わずかな痕跡のある程度のはグラインダー仕上げのみでよい。</td> </tr> <tr> <td>2 組立溶接の欠陥</td> <td>欠陥部をエアアークガウジング等で除去し、必要であれば再度組立溶接を行う。</td> </tr> <tr> <td>3 溶接われ</td> <td>われ部分を完全に除去し、発生原因を究明して、それに応じた再溶接を行う。</td> </tr> <tr> <td>4 溶接ビード表面のビット</td> <td>エアアークガウジングでその部分を除去し、再溶接する。</td> </tr> <tr> <td>5 オーバーラップ</td> <td>グラインダーで削りを整形する。</td> </tr> <tr> <td>6 溶接ビード表面の凸凹</td> <td>グラインダー仕上げする。</td> </tr> <tr> <td>7 アンダーカット</td> <td>程度に応じて、グラインダー仕上げのみ、または溶接後、グラインダー仕上げする。</td> </tr> </tbody> </table>	欠 陥 の 種 類	補 修 方 法	1 アークストライク	母材表面に凹みを生じた部分は肉盛り溶接の後 グラインダー 仕上げする。わずかな痕跡のある程度のは グラインダー 仕上げのみでよい。	2 組立溶接の欠陥	欠陥部をエアアークガウジング等で除去し、必要であれば再度組立溶接を行う。	3 溶接われ	われ部分を完全に除去し、発生原因を究明して、それに応じた再溶接を行う。	4 溶接ビード表面のビット	エアアークガウジングでその部分を除去し、再溶接する。	5 オーバーラップ	グラインダー で削りを整形する。	6 溶接ビード表面の凸凹	グラインダー 仕上げする。	7 アンダーカット	程度に応じて、 グラインダー 仕上げのみ、または溶接後、 グラインダー 仕上げする。	<p>3-149 ～ 3-159</p>
欠 陥 の 種 類	補 修 方 法																																		
1 アークストライク	母材表面に凹みを生じた部分は肉盛り溶接の後グラインダ仕上げする。わずかな痕跡のある程度のはグラインダ仕上げのみでよい。																																		
2 組立溶接の欠陥	欠陥部をエアアークガウジング等で除去し、必要であれば再度組立溶接を行う。																																		
3 溶接われ	われ部分を完全に除去し、発生原因を究明して、それに応じた再溶接を行う。																																		
4 溶接ビード表面のビット	エアアークガウジングでその部分を除去し、再溶接する。																																		
5 オーバーラップ	グラインダで削りを整形する。																																		
6 溶接ビード表面の凸凹	グラインダ仕上げする。																																		
7 アンダーカット	程度に応じて、グラインダ仕上げのみ、または溶接後、グラインダ仕上げする。																																		
欠 陥 の 種 類	補 修 方 法																																		
1 アークストライク	母材表面に凹みを生じた部分は肉盛り溶接の後 グラインダー 仕上げする。わずかな痕跡のある程度のは グラインダー 仕上げのみでよい。																																		
2 組立溶接の欠陥	欠陥部をエアアークガウジング等で除去し、必要であれば再度組立溶接を行う。																																		
3 溶接われ	われ部分を完全に除去し、発生原因を究明して、それに応じた再溶接を行う。																																		
4 溶接ビード表面のビット	エアアークガウジングでその部分を除去し、再溶接する。																																		
5 オーバーラップ	グラインダー で削りを整形する。																																		
6 溶接ビード表面の凸凹	グラインダー 仕上げする。																																		
7 アンダーカット	程度に応じて、 グラインダー 仕上げのみ、または溶接後、 グラインダー 仕上げする。																																		

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																												
	<p>2. ボルトナット (3) 仮組立て時のボルト孔の精度 ① 受注者は摩擦接合を行う材片を組み合わせた場合、孔のずれは1.0mm以下としなければならない。 ② 受注者は、支圧接合を行う材片を組合わせた場合、孔のずれは0.5mm以下としなければならない。 ③ 受注者は、ボルト孔において貫通ゲージの貫通率及び停止ゲージの停止率を、表3-2-59のとおりとしなければならない。</p>	<p>2. ボルトナット (3) 仮組立て時のボルト孔の精度 ① 受注者は、支圧接合を行う材片を組合わせた場合、孔のずれは0.5mm以下としなければならない。 ② 受注者は、ボルト孔において貫通ゲージの貫通率及び停止ゲージの停止率を、表3-2-59のとおりとしなければならない。</p>	3-161																												
<p>3-2-12-7 橋梁用防護柵製作工</p>	<p>1. 製作加工 (1) 亜鉛めっき後に塗装仕上げをする場合 ① 受注者は、ビーム、パイプ、ブラケット、パドル及び支柱に溶融亜鉛めっきを施し、その上に工場で仕上げ塗装を行わなければならない。この場合、受注者は、めっき面にリン酸塩処理などの下地処理を行わなければならない。</p>	<p>1. 製作加工 (1) 亜鉛めっき後に塗装仕上げをする場合 ① 受注者は、ビーム、パイプ、ブラケット、パドル及び支柱に溶融亜鉛めっきを施し、その上に工場で仕上げ塗装を行わなければならない。この場合、受注者は、めっき面にリン酸塩処理などの下地処理を行わなければならない。</p>	3-162																												
<p>3-2-12-8 アンカーフレーム製作工</p>	<p>2. アンカーボルトのねじの種類 ピッチ及び精度 受注者は、アンカーボルトのねじの種類、ピッチ及び精度は、表3-2-60によらなければならない。 表3-2-60 ねじの種類、ピッチ及び精度</p> <table border="1" data-bbox="472 643 1137 895"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">ボルトの呼び径</th> </tr> <tr> <th>68mm 以下</th> <th>68mm をこえるもの</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ねじの種類</td> <td>メートル並目ねじ JIS B 0205 (一般用メートルねじ)</td> <td>メートル細目ねじ JIS B 0205 (一般用メートルねじ)</td> </tr> <tr> <td>ピッチ</td> <td>JIS 規格による</td> <td>6 mm</td> </tr> <tr> <td>精度</td> <td>3 級 JIS B 0209 (一般用メートルねじ-公差)</td> <td>3 級 JIS B 0209 (一般用メートルねじ-公差)</td> </tr> </tbody> </table>		ボルトの呼び径		68mm 以下	68mm をこえるもの	ねじの種類	メートル並目ねじ JIS B 0205 (一般用メートルねじ)	メートル細目ねじ JIS B 0205 (一般用メートルねじ)	ピッチ	JIS 規格による	6 mm	精度	3 級 JIS B 0209 (一般用メートルねじ-公差)	3 級 JIS B 0209 (一般用メートルねじ-公差)	<p>2. アンカーボルトのねじの種類 ピッチ及び精度 受注者は、アンカーボルトのねじの種類、ピッチ及び精度は、表3-2-60によらなければならない。 表3-2-60 ねじの種類、ピッチ及び精度</p> <table border="1" data-bbox="1205 643 1906 906"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">ボルトの呼び径</th> </tr> <tr> <th>68mm 以下</th> <th>68mm を超えるもの</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ねじの種類</td> <td>メートル並目ねじ JIS B 0205 (一般用メートルねじ)</td> <td>メートル細目ねじ JIS B 0205 (一般用メートルねじ)</td> </tr> <tr> <td>ピッチ</td> <td>JIS 規格による</td> <td>6 mm</td> </tr> <tr> <td>精度</td> <td>3 級 JIS B 0209 (一般用メートルねじ-公差)</td> <td>3 級 JIS B 0209 (一般用メートルねじ-公差)</td> </tr> </tbody> </table>		ボルトの呼び径		68mm 以下	68mm を超えるもの	ねじの種類	メートル並目ねじ JIS B 0205 (一般用メートルねじ)	メートル細目ねじ JIS B 0205 (一般用メートルねじ)	ピッチ	JIS 規格による	6 mm	精度	3 級 JIS B 0209 (一般用メートルねじ-公差)	3 級 JIS B 0209 (一般用メートルねじ-公差)	3-163
	ボルトの呼び径																														
	68mm 以下	68mm をこえるもの																													
ねじの種類	メートル並目ねじ JIS B 0205 (一般用メートルねじ)	メートル細目ねじ JIS B 0205 (一般用メートルねじ)																													
ピッチ	JIS 規格による	6 mm																													
精度	3 級 JIS B 0209 (一般用メートルねじ-公差)	3 級 JIS B 0209 (一般用メートルねじ-公差)																													
	ボルトの呼び径																														
	68mm 以下	68mm を超えるもの																													
ねじの種類	メートル並目ねじ JIS B 0205 (一般用メートルねじ)	メートル細目ねじ JIS B 0205 (一般用メートルねじ)																													
ピッチ	JIS 規格による	6 mm																													
精度	3 級 JIS B 0209 (一般用メートルねじ-公差)	3 級 JIS B 0209 (一般用メートルねじ-公差)																													
<p>第14節 法面工 (共通)</p>																															
<p>3-2-14-2 植生工</p>	<p>6. 耳芝 受注者は、張芝、筋芝の法肩に耳芝を施工しなければならない。耳芝とは、堤防等の法肩の崩れを防ぐために、法肩に沿って天端に巾10～15cm程度の芝を立てて入れたものとする。</p>  <p style="text-align: center;">3-2-6 耳芝</p>	<p>6. 耳芝 受注者は、張芝、筋芝の法肩に耳芝を施工しなければならない。耳芝とは、堤防等の法肩の崩れを防ぐために、法肩に沿って天端に巾10～15cm程度の芝を立てて入れたものとする。</p>  <p style="text-align: center;">図3-2-6 耳芝</p>	3-171																												

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
	<p>8. 芝串 受注者は張芝の脱落を防止するため、1m2当たり20～30本の芝串で固定するものとする。また、張付けにあたっては芝の長手を水平方向とし、縦目地を通さず施工しなければならない。</p>	<p>8. 芝串 受注者は張芝の脱落を防止するため、1㎡あたり20～30本の芝串で固定するものとする。また、張付けにあたっては芝の長手を水平方向とし、縦目地を通さず施工しなければならない。</p>	3-171
3-2-14-4 法枠工	<p>4. 法枠工の基面処理の施工 受注者は、法枠工の基面処理の施工にあたり、緩んだ転石、岩塊等は基面の安定のために除去しなければならない。 なお、浮石が大きく取除くことが困難な場合には、設計図書に関して監督員と協議しなければならない。</p>	<p>4. 法枠工の基面処理の施工 受注者は、法枠工の基面処理の施工にあたり、緩んだ転石、岩塊等は基面の安定のために除去しなければならない。 なお、浮石が大きく取り除くことが困難な場合には、設計図書に関して監督員と協議しなければならない。</p>	3-175
第17節 植栽維持工			
3-2-17-2 材料	<p>1. 一般事項 受注者は、樹木・芝生管理工の施工に使用する肥料、薬剤については、施工前に監督員に品質を証明する資料等の、確認を受けなければならない。 なお、薬剤については農薬取締法（平成30年6月改正 法律第53号）に基づくものでなければならない。</p>	<p>1. 一般事項 受注者は、樹木・芝生管理工の施工に使用する肥料、薬剤については、施工前に監督員に品質を証明する資料等の、確認を受けなければならない。 なお、薬剤については農薬取締法（令和元年12月改正 法律第62号）に基づくものでなければならない。</p>	3-183
3-2-17-3 樹木・芝生管理工	<p>2. 剪定の施工 受注者は、剪定の施工については、各樹種の特性及び施工箇所合った剪定形式により行なわなければならない。</p>	<p>2. 剪定の施工 受注者は、剪定の施工にあたり、「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」の策定について（厚生労働省令和2年1月）によるものとし、各樹種の特性及び施工箇所合った剪定形式により行なわなければならない。 なお、剪定形式について監督員より指示があった場合は、その指示によらなければならない。</p>	3-184
	<p>15. 幹巻き 受注者は、幹巻きする場合は、こもまたはわらを使用する場合、わら縄またはシュロ縄で巻き上げるものとし、緑化テープを使用する場合は緑化テープを重ねながら巻き上げた後、幹に緊結しなければならない。</p>	<p>15. 幹巻き 受注者は、幹巻きする場合は、こもまたはわらを使用する場合、わら縄またはしゅろ縄で巻き上げるものとし、緑化テープを使用する場合は緑化テープを重ねながら巻き上げた後、幹に緊結しなければならない。</p>	3-185
	<p>16. 支柱の設置 受注者は、支柱の設置については、ぐらつきのないよう設置しなければならない。また、樹幹と支柱との取付け部については、杉皮等を巻きシュロ縄を用いて動かぬよう結束しなければならない。</p>	<p>16. 支柱の設置 受注者は、支柱の設置については、ぐらつきのないよう設置しなければならない。 また、樹幹と支柱との取付け部については、杉皮等を巻きしゅろ縄を用いて動かぬよう結束しなければならない。</p>	3-185
第18節 床版工			
3-2-18-2 床版工	<p>1. 鉄筋コンクリート床版 (4) 受注者は、スぺーサーについては、コンクリート製もしくはモルタル製を使用するのを原則とし、本体コンクリートと同等の品質を有するものとしなければならない。 なお、それ以外のスぺーサーを使用する場合はあらかじめ設計図書に関して監督員と協議しなければならない。スぺーサーは、1m2当たり4個を配置の目安とし、組立及びコンクリートの打込中、その形状を保つものとする。</p>	<p>1. 鉄筋コンクリート床版 (4) 受注者は、スぺーサについては、コンクリート製もしくはモルタル製を使用するのを原則とし、本体コンクリートと同等の品質を有するものとしなければならない。 なお、それ以外のスぺーサを使用する場合はあらかじめ設計図書に関して監督員と協議しなければならない。スぺーサは、1㎡あたり4個を配置の目安とし、組立及びコンクリートの打込中、その形状を保つものとする。</p>	3-187

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																																
第6編 河川編																																			
第1章 築堤・護岸																																			
第7節 法覆護岸工																																			
6-1-7-2 材料	1. 遮水シート <div style="text-align: center;">表6-1-4 止水材の品質規格</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>試験項目</th> <th>単位</th> <th>規格値</th> <th>試験方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>漏水量</td> <td>(ml/sec) /(1.8m²)</td> <td>25 以下</td> <td>建設省土木研究資料 第 3103 号の小型浸透試験による。</td> </tr> <tr> <td>引張強さ</td> <td>N/mm² (kgf/m)</td> <td>11.8 以上</td> <td>日本工業規格(JIS) で規定され ている各材料ごとの試験方法による。</td> </tr> <tr> <td>摩擦係数</td> <td></td> <td>0.8 以上</td> <td>平成 4 年度建設省告示第 1324 号 に基づく摩擦試験方法による。</td> </tr> </tbody> </table>	試験項目	単位	規格値	試験方法	漏水量	(ml/sec) /(1.8m ²)	25 以下	建設省土木研究資料 第 3103 号の小型浸透試験による。	引張強さ	N/mm ² (kgf/m)	11.8 以上	日本工業規格(JIS) で規定され ている各材料ごとの試験方法による。	摩擦係数		0.8 以上	平成 4 年度建設省告示第 1324 号 に基づく摩擦試験方法による。	1. 遮水シート <div style="text-align: center;">表6-1-4 止水材の品質規格</div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>試験項目</th> <th>単位</th> <th>規格値</th> <th>試験方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>漏水量</td> <td>(ml/sec) /(1.8m²)</td> <td>25 以下</td> <td>建設省土木研究資料 第 3103 号の小型浸透試験による。</td> </tr> <tr> <td>引張強さ</td> <td>N/mm² (kgf/m)</td> <td>11.8 以上</td> <td>日本産業規格(JIS) で規定され ている各材料ごとの試験方法による。</td> </tr> <tr> <td>摩擦係数</td> <td></td> <td>0.8 以上</td> <td>平成 4 年度建設省告示第 1324 号 に基づく摩擦試験方法による。</td> </tr> </tbody> </table>	試験項目	単位	規格値	試験方法	漏水量	(ml/sec) /(1.8m ²)	25 以下	建設省土木研究資料 第 3103 号の小型浸透試験による。	引張強さ	N/mm ² (kgf/m)	11.8 以上	日本産業規格 (JIS) で規定され ている各材料ごとの試験方法による。	摩擦係数		0.8 以上	平成 4 年度建設省告示第 1324 号 に基づく摩擦試験方法による。	6-6
試験項目	単位	規格値	試験方法																																
漏水量	(ml/sec) /(1.8m ²)	25 以下	建設省土木研究資料 第 3103 号の小型浸透試験による。																																
引張強さ	N/mm ² (kgf/m)	11.8 以上	日本工業規格(JIS) で規定され ている各材料ごとの試験方法による。																																
摩擦係数		0.8 以上	平成 4 年度建設省告示第 1324 号 に基づく摩擦試験方法による。																																
試験項目	単位	規格値	試験方法																																
漏水量	(ml/sec) /(1.8m ²)	25 以下	建設省土木研究資料 第 3103 号の小型浸透試験による。																																
引張強さ	N/mm ² (kgf/m)	11.8 以上	日本産業規格 (JIS) で規定され ている各材料ごとの試験方法による。																																
摩擦係数		0.8 以上	平成 4 年度建設省告示第 1324 号 に基づく摩擦試験方法による。																																
第13節 光ケーブル配管工																																			
6-1-13-3 配管工	2. 単管の配管 受注者は、単管の場合には、 スペーサー 等を用いて敷設間隔が均一となるよう施工しなければならない。	2. 単管の配管 受注者は、単管の場合には、 スペーサ 等を用いて敷設間隔が均一となるよう施工しなければならない。	6-11																																
第3章 樋門・樋管																																			
第2節 適用すべき諸基準																																			
	国土交通省 河川砂防技術基準（案） 国土交通省 機械工事共通仕様書（案）（平成29年3月） 国土交通省 機械工事施工管理基準（案）（平成29年3月）	国土交通省 河川砂防技術基準（令和元年7月） 国土交通省 機械工事共通仕様書（案）（令和2年3月） 国土交通省 機械工事施工管理基準（案）（令和元年10月）	6-17																																
第5節 樋門・樋管本体工																																			
6-3-5-6 函渠工	8. ダクタイル鋳鉄管の布設 (4) 受注者は、管の据付け前に管の内外に異物等がないことを 確かめた 上で、メーカーの表示マークの中心部分を管頂にして据付けなければならない。	8. ダクタイル鋳鉄管の布設 受注者は、管の据付け前に管の内外に異物等がないことを 確認した 上で、メーカーの表示マークの中心部分を管頂にして据付けなければならない。	6-21																																
第4章 水門																																			
第2節 適用すべき諸基準																																			
	国土交通省 機械工事施工管理基準（案）（平成29年3月） 日本道路協会 道路橋支承便覧（平成16年4月）	国土交通省 機械工事施工管理基準（案）（令和元年10月） 日本道路協会 道路橋支承便覧（平成31年2月）	6-25																																
第9節 鋼管理橋上部工																																			
6-4-9-10 支承工	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」（日本道路協会、平成16年4月）による。これにより難い場合は、監督員の 承諾 を得なければならない。	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」（日本道路協会、平成31年2月）による。これにより難い場合は、監督員の 承諾 を得なければならない。	6-32																																
第14節 コンクリート管理橋上部工（PC橋）																																			
6-4-14-6 支承工	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」（日本道路協会、平成16年4月）による。これにより難い場合は、監督員の 承諾 を得なければならない。	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」（日本道路協会、平成31年2月）による。これにより難い場合は、監督員の 承諾 を得なければならない。	6-34																																
6-4-14-8 架設工（架設桁架設）	桁架設については、 第3編3-2-13-6架設工（架設桁架設） の規定による。	桁架設については、 第3編3-2-13-3架設工（クレーン架設） の規定による。	6-34																																

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
第14節 コンクリート管理橋上部工 (PCホロースラブ橋)			
6-4-15-3 支承工	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」(日本道路協会、平成16年4月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」(日本道路協会、平成31年2月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	6-35
第18節 舗装工			
6-4-18-1 一般事項	2. 舗装工 受注者は、舗装工において、使用する材料のうち、試験が伴う材料については、「舗装調査・試験法便覧」(日本道路協会、平成19年6月)の規定に基づき試験を実施しなければならない。	2. 舗装工 受注者は、舗装工において、使用する材料のうち、試験が伴う材料については、「舗装調査・試験法便覧」(日本道路協会、平成31年3月)の規定に基づき試験を実施しなければならない。	6-36
第5章 堰			
第1節 適用			
	5. 適用規定 (3) 受注者は、扉体、戸当り及び開閉装置の製作、据付けは「機械工事共通仕様書(案)」(国土交通省、平成29年3月)の規定による。	5. 適用規定 (3) 受注者は、扉体、戸当り及び開閉装置の製作、据付けは「機械工事共通仕様書(案)」(国土交通省、令和2年3月)の規定による。	6-38
第2節 適用すべき諸基準			
	日本道路協会 鋼道路橋施工便覧 (平成27年3月) 日本道路協会 道路橋支承便覧 (平成16年4月)	日本道路協会 鋼道路橋施工便覧 (令和2年9月) 日本道路協会 道路橋支承便覧 (平成31年2月)	6-38
第6節 可動堰本体工			
6-5-6-1 一般事項	2. 適用規定 受注者は、可動堰本体工の施工にあたっては、「ダム・堰施設技術協会 ダム・堰施設技術基準(案)(基準解説編・設備計画マニュアル編)」(ダム・堰施設技術協会、平成28年10月)及び、「ダム・堰施設技術基準(案)第7章 施工」(国土交通省、平成28年3月)の規定による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	2. 適用規定 受注者は、可動堰本体工の施工にあたっては、「ダム・堰施設技術基準(案)(基準解説編・設備計画マニュアル編)」(ダム・堰施設技術協会、平成28年10月)及び、「ダム・堰施設技術基準(案)第7章 施工」(国土交通省、平成28年3月)の規定による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	6-40
第7節 固定堰本体工			
6-5-7-1 一般事項	2. 適用規定 受注者は、固定堰本体工の施工にあたっては、「ダム・堰施設技術協会 ダム・堰施設技術基準(案)(基準解説編・設備計画マニュアル編)」(ダム・堰施設技術協会、平成28年10月)及び、「ダム・堰施設技術基準(案)第7章 施工」(国土交通省、平成28年3月)の規定による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	2. 適用規定 受注者は、固定堰本体工の施工にあたっては、「ダム・堰施設技術基準(案)(基準解説編・設備計画マニュアル編)」(ダム・堰施設技術協会、平成28年10月)及び、「ダム・堰施設技術基準(案)第7章 施工」(国土交通省、平成28年3月)の規定による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	6-42
第8節 魚道工			
6-5-8-1 一般事項	2. 適用規定 受注者は、魚道工の施工にあたっては、「ダム・堰施設技術協会 ダム・堰施設技術基準(案)(基準解説編・設備計画マニュアル編)」(ダム・堰施設技術協会、平成28年10月)及び、「ダム・堰施設技術基準(案)第7章 施工」(国土交通省、平成28年3月)の規定による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	2. 適用規定 受注者は、魚道工の施工にあたっては、「ダム・堰施設技術基準(案)(基準解説編・設備計画マニュアル編)」(ダム・堰施設技術協会、平成28年10月)及び、「ダム・堰施設技術基準(案)第7章 施工」(国土交通省、平成28年3月)の規定による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	6-43
第10節 鋼管理橋上部工			
6-5-10-10 支承工	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」(日本道路協会、平成16年4月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」(日本道路協会、平成31年2月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	6-44
第15節 コンクリート管理橋上部工 (PC橋)			
6-5-15-6 支承工	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」(日本道路協会、平成16年4月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」(日本道路協会、平成31年2月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	6-46

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
第16節 コンクリート管理橋上部工 (PCホロースラブ橋)			
6-5-16-3 支承工	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」(日本道路協会、平成16年4月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」(日本道路協会、平成31年2月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	6-47
第17節 コンクリート管理橋上部工 (PC箱桁橋)			
6-5-17-3 支承工	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」(日本道路協会、平成16年4月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」(日本道路協会、平成31年2月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	6-48
第6章 排水機場			
第2節 適用すべき諸基準			
	河川ポンプ施設技術協会 揚排水ポンプ設備技術基準(案)・同解説 (平成27年2月)	河川ポンプ施設技術協会 揚排水ポンプ設備技術基準(案) 同解説 (令和2年1月)	6-51
第7章 床止め・床固め			
第6節 山留擁壁工			
6-7-6-3 コンクリート擁壁工	1. 一般事項 受注者は、コンクリート擁壁工の施工に先だって設計図書に示す厚さに砕石、割栗石、または、クラッシュランを敷設し、締め固めを行わなければならない。	1. 一般事項 受注者は、コンクリート擁壁工の施工に先立って設計図書に示す厚さに砕石、割栗石、または、クラッシュランを敷設し、締め固めを行わなければならない。	6-63
第8章 河川維持			
第4節 除草工			
6-8-4-2 堤防除草工	1. 草刈りの範囲 受注者は、兼用道路区間について、肩及びのり先(小段が兼用道路)より1mは草刈りをしない。 4. 自走式除草機械 受注者は、自走式除草機械を使用して施工する場合は、のり面の状況を把握して、堤防に損傷を与えないよう施工しなければならない。	1. 草刈りの範囲 受注者は、兼用道路区間について、のり肩及びのり先(小段が兼用道路)より1mは草刈りをしない。 4. 自走式除草機械 受注者は、自走式除草機械を使用して施工する場合は、のり面の状況を把握して、堤防等の河川管理施設(許可工作物を含む)に損傷を与えないよう施工しなければならない。	6-65 6-65
第5節 堤防養生工			
6-8-5-2 芝養生工	1. 草等の処理 受注者は、抜き取りした草等をすべて処理しなければならない。ただし、設計図書及び監督員の指示した場合はこの限りではない。 3. 雑草 受注者は、人力により雑草の抜き取りを施工しなければならない。	1. 草等の処理 受注者は、抜き取り(抜根)した草等をすべて処理しなければならない。ただし、設計図書及び監督員の指示した場合はこの限りではない。 3. 雑草の抜き取り(抜根) 受注者は、人力により雑草の抜き取り(抜根)を施工しなければならない。	6-65 6-66
第6節 構造物補修工			
6-8-6-2 材料	クラック補修工、ポーリンググラウト工、欠損部補修工に使用するコンクリート及びセメントミルクについては設計図書によらなければならない。	クラック補修工、ポーリンググラウト工、欠損部補修工に使用するコンクリート及びセメントミルク等については設計図書によらなければならない。	6-66
6-8-6-4 ポーリンググラウト工	13. 一時中断の処置 受注者は、注入中に異常が認められ、やむを得ず注入を一時中断する場合には、設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。	13. 一時中断の処置 受注者は、注入中に異常が認められ、やむを得ず注入を一時中断する場合には、設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。	6-67
第9章 河川修繕			
第2節 適用すべき諸基準			
	河川ポンプ施設技術協会 揚排水ポンプ設備技術基準(案)・同解説 (平成27年2月)	河川ポンプ施設技術協会 揚排水ポンプ設備技術基準(案) 同解説 (令和2年1月)	6-72

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
第7編 河川海岸編			
第1章 堤防・護岸			
第5節 護岸基礎工			
7-1-5-1 一般事項	6. 裏込め材の注入 受注者は、護岸基礎の施工にあたっては、裏込め材の締固め機械を用いて施工しなければならない。	6. 裏込め材の施工 受注者は、護岸基礎の施工にあたっては、裏込め材の締固めは締固め機械を用いて施工しなければならない。	7-3
第11節 カルバート工			
7-1-11-1 一般事項	2. 一般事項 (2) 受注者は、カルバートの施工にあたっては、「道路土工-カルバート工指針 7-1 基本方針、道路土工要綱 2-7 排水施設の施工の規定」(日本道路協会、平成22年3月)によらなければならない。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	2. 一般事項 (2) 受注者は、カルバートの施工にあたっては、「道路土工-カルバート工指針 7-1基本方針」(日本道路協会、平成22年3月)、「道路土工要綱 2-7排水施設の施工」(日本道路協会、平成22年3月)の規定によらなければならない。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	7-9
第2章 突堤・人工岬			
第4節 突堤基礎工			
7-2-4-5 吸出し防止工	1. 粗朶沈床工 受注者は、粗朶沈床工にあたって、連柴は梢を一方に向け径15cmを標準とし、緊結は長さ約60cm毎に連柴縮金を用いて締付け、亜鉛引鉄線または、 棕侶なわ 等にて結束し、この間2ヶ所を二子なわ等をもって結束するものとし、連柴の長さは格子を結んだとき端にそれぞれ約15cmを残すようにしなければならない。	1. 粗朶沈床工 受注者は、粗朶沈床工にあたって、連柴は梢を一方に向け径15cmを標準とし、緊結は長さ約60cm毎に連柴縮金を用いて締付け、亜鉛引鉄線または、 しゅろ縄 等にて結束し、この間2ヶ所を二子なわ等をもって結束するものとし、連柴の長さは格子を結んだとき端にそれぞれ約15cmを残すようにしなければならない。	7-16
第4章 浚渫(海岸)			
第4節 浚渫工(グラブ船)			
7-4-4-1 一般事項	3. 避難場所の確保及び退避設備の対策 受注者は、浚渫工の施工については、施工前に台風等の異常気象に備えて作業船及び作業に使用する機械の避難場所の確保及び退避設備の対策を講じなければならない。	3. 避難場所の確保及び退避設備 受注者は、浚渫工の施工については、施工前に台風等の異常気象に備えて作業船及び作業に使用する機械の避難場所の確保及び退避設備の対策を講じなければならない。	7-27

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
第8編 砂防編			
第1章 砂防堰堤			
第8節 コンクリート堰堤工			
8-1-8-4 コンクリート堰堤本体工	<p>7.1層の厚さ 受注者は、1リフトを数層に分けて打込むときには、締固めた後の1層の厚さが、40～50cm以下を標準となるように打込まなければならない。</p>	<p>7.一層の厚さ 受注者は、1リフトを数層に分けて打込むときには、締固めた後の一層の厚さが、40～50cm以下を標準となるように打込まなければならない。</p> <p>12. 砂防ソイルセメント 受注者は、砂防ソイルセメントの施工にあたって、設計図書において特に定めのない事項については、「砂防ソイルセメント施工便覧」（砂防・地すべり技術センター、平成28年9月）、現位置攪拌混合固化工法（ISM工法）設計・施工マニュアル第1回改訂版（先端建設技術センターISM工法研究会、平成19年3月）の規定による。 なお、これにより難しい場合は、監督職員の承諾を得なければならない。</p>	8-5
	12. 吸出し防止材の施工	13. 吸出し防止材の施工	8-6
第3章 斜面对策			
第2節 適用すべき諸基準	<p>全国治水砂防協会 新・斜面崩壊防止工事の設計と実例 （平成19年9月）</p>	<p>全国治水砂防協会 新・斜面崩壊防止工事の設計と実例 （令和元年5月）</p>	8-15

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
第7節 埋設物設置工 9-1-7-3 継目グラウチング設備設置	3. 通気又は通水試験 受注者は、コンクリートの打込み完了後には、通気または通水試験を行い、パイプづまり等がないようにしなければならない。	3. 通気または通水試験 受注者は、コンクリートの打込み完了後には、通気または通水試験を行い、パイプづまり等がないようにしなければならない。	9-12

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
第10編 道路編			
第1章 道路改良			
第2節 適用すべき諸基準			
	国土交通省 道路土工構造物技術基準 (平成27年3月)	日本道路協会 道路土工構造物技術基準・同解説 (平成29年3月)	10-1
第9節 カルバート工			
10-1-9-1 一般事項	4. コンクリート構造物非破壊試験 (2) 非破壊試験は「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領(以下、「要領」という。)」(国土交通省、平成24年3月)に従い行わなければならない。	4. コンクリート構造物非破壊試験 (2) 非破壊試験は「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領(以下、「要領」という。)」(国土交通省、平成30年10月)に従い行わなければならない。	10-5
第2章 舗装			
第1節 適用			
	1. 適用工種 本章は、道路工事における道路土工、地盤改良工、舗装工、排水構造物工、緑石工、踏掛版工、防護柵工、標識工、区画線工、道路植栽工、道路附属施設工、橋梁附属物工、仮設工、その他これらに類する工種について適用する。	1. 適用工種 本章は、道路工事における道路土工、地盤改良工、舗装工、排水構造物工、緑石工、踏掛版工、防護柵工、標識工、区画線工、道路植栽工、道路付属施設工、橋梁付属物工、仮設工、その他これらに類する工種について適用する。	10-12
第2節 適用すべき諸基準			
	日本道路協会 舗装調査・試験法便覧 (平成19年6月) 国土交通省 道路標識設置基準、道路緑化技術基準の改正について (平成27年3月) 日本道路協会 道路標識設置基準・同解説 (昭和62年1月) 日本道路協会 鋼道路橋防食便覧 (平成26年5月)	日本道路協会 舗装調査・試験法便覧 (平成31年3月) 日本道路協会 道路標識設置基準・同解説 (令和2年6月)	10-12
第4節 舗装工			
10-2-4-1 一般事項	2. 適用規定 受注者は、舗装工において、使用する材料のうち、試験が伴う材料については、「舗装調査・試験法便覧」(日本道路協会、平成19年6月)の規定に基づき試験を実施する。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	2. 適用規定 受注者は、舗装工において、使用する材料のうち、試験が伴う材料については、「舗装調査・試験法便覧」(日本道路協会、平成31年3月)の規定に基づき試験を実施する。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	10-13
第8節 防護柵工			
10-2-8-1 一般事項	3. 適用規定 受注者は、防護柵工の施工にあたって、「防護柵の設置基準・同解説4-1. 施工の規定」(日本道路協会、平成28年12月改訂)の規定、「道路土工要綱 第5章施工計画」(日本道路協会、平成21年6月)の規定及び第3編3-2-3-8路側防護柵工、3-2-3-7防止柵工の規定による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	3. 適用規定 受注者は、防護柵工の施工にあたって、「防護柵の設置基準・同解説 ポラードの設置便覧」(日本道路協会、令和3年3月)の規定、「道路土工要綱 第5章施工計画」(日本道路協会、平成21年6月)の規定及び第3編3-2-3-8路側防護柵工、3-2-3-7防止柵工の規定による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	10-18
第9節 標識工			
10-2-9-1 一般事項	3. 適用規定 受注者は、標識工の施工にあたって、「道路標識設置基準・同解説第4章基礎及び施工」(日本道路協会、昭和62年1月)の規定、「道路土工要綱 第5章施工計画」(日本道路協会、平成21年6月)の規定、第3編3-2-3-6小型標識工、3-2-3-3作業土工(床掘り・埋戻し)、3-2-10-5土留・仮締切工の規定、及び「道路標識ハンドブック」(全国道路標識・標示業協会、平成25年2月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	3. 適用規定 受注者は、標識工の施工にあたって、「道路標識設置基準・同解説 第4章道路標識の設計、施工」(日本道路協会、令和2年6月)の規定、「道路土工要綱 第5章施工計画」(日本道路協会、平成21年6月)の規定、第3編3-2-3-6小型標識工、3-2-3-3作業土工(床掘り・埋戻し)、3-2-10-5土留・仮締切工の規定、及び「道路標識ハンドブック」(全国道路標識・標示業協会、令和元年8月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	10-19

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
10-2-9-2 材料	4. リブの取付 受注者は、標示板には設計図書に示す位置にリブを標示板の表面にヒズミの出ないようにスポット溶接をしなければならない。	4. 補強材の取付 受注者は、標示板には設計図書に示す位置に補強材を標示板の表面にひずみ出ないようスポット溶接をしなければならない。アルミニウム合金材の溶接作業は(一社)軽金属溶接協会規格LWS P7903-1979「スポット溶接作業標準(アルミニウム及びアルミニウム合金)」(一社)日本溶接協会規格WE57302と同一規格を参考に行うことが望ましい。	10-20
	5. 下地処理 受注者は、標示板の下地処理にあつては脱脂処理を行い、必ず洗浄を行わなければならない。	5. 下地処理 受注者は、標示板の下地処理にあつては脱脂処理を行い、必ず洗浄を行わなければならない。	10-20
	6. 文字・記号等 受注者は、標示板の文字・記号等を「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令」(標識令)及び「道路標識設置基準・同解説」(日本道路協会、昭和62年1月)による色彩と寸法で、標示する。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	6. 文字・記号等 受注者は、標示板の文字・記号等を「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令」(標識令)及び「道路標識設置基準・同解説」(日本道路協会 令和2年6月)による色彩と寸法で、標示する。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	10-20
第11節 道路植栽工 10-2-11-3 道路植栽工	10. 添木の設置 受注者は、添木の設置について、ぐらつきのないよう設置しなければならない。樹幹と添木との取付け部は、杉皮等を巻きシュロ縄を用いて動かぬよう結束するものとする。	10. 添木の設置 10. 添木の設置 受注者は、添木の設置について、ぐらつきのないよう設置しなければならない。樹幹と添木との取付け部は、杉皮等を巻きしゅろ縄を用いて動かぬよう結束するものとする。	10-24
	13. 幹巻き 受注者は、幹巻きする場合は、こもまたは、わらを使用する場合、わら縄または、シュロ縄で巻き上げるものとし、天然繊維材を使用する場合は天然繊維材を重ねながら巻き上げた後、幹に緊結しなければならない。	13. 幹巻き 受注者は、幹巻きする場合は、こもまたは、わらを使用する場合、わら縄または、しゅろ縄で巻き上げるものとし、天然繊維材を使用する場合は天然繊維材を重ねながら巻き上げた後、幹に緊結しなければならない。	10-24
	14. 支柱の設置 受注者は、支柱の設置については、ぐらつきのないよう設置しなければならない。また、樹幹と支柱との取付け部は、杉皮等を巻きシュロ縄を用いて動かぬよう結束する。	14. 支柱の設置 受注者は、支柱の設置については、ぐらつきのないよう設置しなければならない。また、樹幹と支柱との取付け部は、杉皮等を巻きしゅろ縄を用いて動かぬよう結束する。	10-24
	16. 除草 受注者は、施肥の施工については、施工前に樹木の根元周辺に散乱する堆積土砂やゴミ等を取り除いたり、きれいに除草しなければならない。	16. 除草 受注者は、施肥の施工については、施工前に樹木の根元周辺に散乱する堆積土砂やごみ等を取り除いたり、きれいに除草しなければならない。	10-24
	18. 植栽植樹の植替え (3) 枯死または、形姿不良の判定は、発注者と受注者が立会の上行うものとし、植替えの時期については、発注者と協議するものとする。	18. 植栽植樹の植替え (3) 枯死、または形姿不良の判定は、発注者と受注者が立会の上行うものとし、植替えの時期について、発注者と協議しなければならない。	10-24
第3章 橋梁下部 第2節 適用すべき諸基準	日本道路協会 鋼道路橋施工便覧 (平成27年3月) 日本道路協会 道路橋支承便覧 (平成16年4月) 日本道路協会 杭基礎施工便覧 (平成27年3月) 日本道路協会 杭基礎設計便覧 (平成27年3月)	日本道路協会 鋼道路橋施工便覧 (令和2年9月) 日本道路協会 道路橋支承便覧 (平成31年2月) 日本道路協会 杭基礎施工便覧 (令和2年9月) 日本道路協会 杭基礎設計便覧 (令和2年9月)	10-27
第6節 橋台工 10-3-6-8 橋台躯体工	4. 適用規定 受注者は、支承部等の箱抜き等の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」(日本道路協会、平成16年4月)の規定による。これ以外の施工方法による場合は、設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。	4. 適用規定 受注者は、支承部の箱抜きの施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」(日本道路協会、平成31年2月)の規定による。これ以外の施工方法による場合は、設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。	10-30

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
第8節 鋼製橋脚工			
10-3-8-9 橋脚フーチング工	<p>4. 適用規定 受注者は、アンカーフレームの架設については、「鋼道路橋施工便覧Ⅲ現場施工編第3章架設」（日本道路協会、平成27年3月）による。コンクリートの打込みによって移動することがないように据付け方法を定め、施工計画書に記載しなければならない。 また、フーチングのコンクリート打設が終了するまでの間、アンカーボルト・ナットが損傷を受けないように保護しなければならない。</p> <p>6. フーチングの箱抜き施工 受注者は、フーチングの箱抜きの施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」（日本道路協会、平成16年4月）の規定による。これ以外の施工方法による場合は、設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。</p>	<p>4. 適用規定 受注者は、アンカーフレームの架設については、「鋼道路橋施工便覧Ⅲ現場施工編第3章架設」（日本道路協会、令和2年9月）による。コンクリートの打込みによって移動することがないように据付け方法を定め、施工計画書に記載しなければならない。 また、フーチングのコンクリート打設が終了するまでの間、アンカーボルト・ナットが損傷を受けないように保護しなければならない。</p> <p>6. フーチングの箱抜きの施工 受注者は、フーチングの箱抜きの施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」（日本道路協会、平成31年2月）の規定による。これ以外の施工方法による場合は、設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。</p>	10-32
10-3-8-11 現場継手工	<p>2. 適用規定 (2) 受注者は、現場継手工の施工については、「道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）20章施工」（日本道路協会、平成29年11月）、「鋼道路橋施工便覧Ⅲ現場施工編第3章架設」（日本道路協会、平成27年3月）の規定による。これ以外による場合は、設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。</p>	<p>2. 適用規定 (2) 受注者は、現場継手工の施工については、「道路橋示方書・同解説（Ⅱ鋼橋・鋼部材編）第20章 施工」（日本道路協会、平成29年11月）、「鋼道路橋施工便覧Ⅲ現場施工編 第3章架設」（日本道路協会、令和2年9月）の規定による。これ以外による場合は、設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。</p>	10-33
第4章 鋼橋上部			
第2節 適用すべき諸基準			
	<p>日本道路協会 鋼道路橋施工便覧（平成27年3月） 日本道路協会 道路橋支承便覧（平成16年4月）</p>	<p>日本道路協会 鋼道路橋施工便覧（令和2年9月） 日本道路協会 道路橋支承便覧（平成31年2月）</p>	10-37
第3節 工場製作工			
10-4-3-1 一般事項	<p>2. 施工計画書 受注者は、原寸、工作、溶接、仮組立に関する事項を施工計画書へ記載しなければならない。 なお、設計図書に示されている場合または設計図書に関して監督員の承諾を得た場合は、上記項目の全部または一部を省略することができるものとする。</p>	<p>2. 施工計画書 受注者は、原寸、工作、溶接、仮組立に関する事項を施工計画書へ記載しなければならない。 なお、設計図書に示されている場合または設計図書に関して監督員の承諾を得た場合は、上記項目の全部または一部の記載を省略することができるものとする。</p>	10-38
10-4-5-10 支承工	<p>受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」（日本道路協会、平成16年4月）による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。 支承据付の沓座モルタルは無収縮モルタルとし、プレミックスタイプのものを使用する。 また、モルタルの材料及び配合については、設計図書に関して監督員の承諾を得るものとする。</p>	<p>受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」（日本道路協会、平成31年2月）による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。 支承据付の沓座モルタルは無収縮モルタルとし、プレミックスタイプのものを使用する。 また、モルタルの材料及び配合については、設計図書に関して監督員の承諾を得るものとする。</p>	10-40
第5章 コンクリート橋上部			
第1節 適用			
	<p>4. コンクリート構造物非破壊試験 (2) 非破壊試験は「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領（以下、「要領」という。）」（国土交通省、平成30年10月）に従い行わなければならない。</p> <p>5. 強度測定 (2) 微破壊・非破壊試験は「微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定要領（以下、「要領」という。）」（国土交通省、平成24年3月）に従い行わなければならない。</p>	<p>4. コンクリート構造物非破壊試験 (2) 非破壊試験は「非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領」（以下、「要領」という。）（国土交通省、平成30年10月）に従い行わなければならない。</p> <p>5. 強度測定 (2) 微破壊・非破壊試験は「微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定要領」（以下、「要領」という。）（国土交通省、平成30年10月）に従い行わなければならない。</p>	10-46
			10-46

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
第2節 適用すべき諸基準			
	日本道路協会 道路橋支承便覧 (平成16年4月) 日本道路協会 コンクリート道路橋設計便覧 (平成6年2月) 日本道路協会 コンクリート道路橋施工便覧 (平成10年1月) 国土開発技術研究センター プレベーム合成 げた 橋設計施工指針 (平成9年7月)	日本道路協会 道路橋支承便覧 (平成31年2月) 日本道路協会 コンクリート道路橋設計便覧 (令和2年9月) 日本道路協会 コンクリート道路橋施工便覧 (令和2年9月) 国土技術研究センター プレベーム合成 桁 橋設計施工指針 (平成30年8月)	10-46
第5節 PC橋工			
10-5-5-6 支承工	4. コンクリート構造物非破壊試験 受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」(日本道路協会、平成16年4月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	4. コンクリート構造物非破壊試験 受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」(日本道路協会、平成31年2月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	10-49
10-5-6-2 プレベーム桁製作工(現場)	2. リリース(応力解放)の施工 リリース(応力解放)の施工については、下記の規定による。 (1) リリースを行うときの下フランジコンクリートの圧縮強度は、リリース直後にコンクリートに生じる最大圧縮応力度の 1.7倍以上 で、かつ 設計基準強度 の90%以上であることを確認する。	2. リリース(応力解放)の施工 リリース(応力解放)の施工については、下記の規定による。 (1) リリースを行うときの下フランジコンクリートは、リリース直後にコンクリートに生じる最大圧縮応力度が 圧縮強度の0.6倍以下 で、かつ 圧縮強度 が設計基準強度の90%以上であることを 確認 する。	10-51
10-5-6-3 支承工	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」(日本道路協会、平成16年4月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」(日本道路協会、平成31年2月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	10-51
第7節 PCホロースラブ橋工			
10-5-7-3 支承工	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」(日本道路協会、平成16年4月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」(日本道路協会、平成31年2月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	10-53
第8節 RCホロースラブ橋工			
10-5-8-3 支承工	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」(日本道路協会、平成16年4月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」(日本道路協会、平成31年2月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	10-54
第10節 PC箱桁橋工			
10-5-10-3 支承工	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」(日本道路協会、平成16年4月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」(日本道路協会、平成31年2月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	10-56
第11節 PC片持箱桁橋工			
10-5-11-3 支承工	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」(日本道路協会、平成16年4月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	受注者は、支承工の施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」(日本道路協会、平成31年2月)による。これにより難い場合は、監督員の承諾を得なければならない。	10-57
第6章 トンネル(NATM)			
第2節 適用すべき諸基準			
	日本道路協会 道路トンネル非常用施設設置基準・同解説 (平成13年10月) 建設省 道路トンネル非常用施設設置基準 (昭和56年4月) 厚生労働省 ずい道等建設工事における粉じん対策に関するガイドライン (平成29年6月)	日本道路協会 道路トンネル非常用施設設置基準・同解説 (令和元年9月) 国土交通省 道路トンネル非常用施設設置基準 (平成31年3月) 厚生労働省 ずい道等建設工事における粉じん対策に関するガイドライン (令和2年7月)	10-62

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
第5節 覆工 10-6-5-3 覆工コンクリート工	3. コンクリートの締固め 受注者は、コンクリートの締固めにあたっては、棒状バイブレータを用い、打込み後速やかに締め固めなければならない。ただし、棒状バイブレータの使用が困難で、かつ型枠に近い場所には型枠 バイブレーター を使用して確実に締め固めなければならない。 なお、流動性を向上させた中流動コンクリート等を使用した場合は、材料分離を防止するために内部振動機ではなく型枠 バイブレーター を使用するものとする。	3. コンクリートの締固め 受注者は、コンクリートの締固めにあたっては、棒状バイブレータを用い、打込み後速やかに締め固めなければならない。ただし、棒状バイブレータの使用が困難で、かつ型枠に近い場所には型枠 バイブレータ を使用して確実に締め固めなければならない。 なお、流動性を向上させた中流動コンクリート等を使用した場合は、材料分離を防止するために内部振動機ではなく型枠 バイブレータ を使用するものとする。	10-67
第6節 インパート工 10-6-6-4 インパート本体工	5. 適用規定 インパート盛土の締固め度については、第1編1-1-1-23 施工管理第8項 の規定による。	5. 適用規定 インパート盛土の締固め度については、第1編1-1-1-24 施工管理第8項 の規定による。	10-69
第8節 坑門工 10-6-8-3 作業土工（床掘り・埋戻し）	作業土工の施工については、第3編3-2-3-3作業土工（床掘り・埋戻し）の規定による ものとする 。	作業土工の施工については、第3編3-2-3-3作業土工（床掘り・埋戻し）の規定による。	10-70
第7章 コンクリートシェッド 第2節 適用すべき諸基準	日本道路協会 杭基礎施工便覧（平成27年3月） 日本道路協会 杭基礎設計便覧（平成27年3月） 日本道路協会 コンクリート道路橋設計便覧（平成6年2月） 日本道路協会 道路橋支承便覧（平成16年4月） 国土交通省 道路標識設置基準、道路緑化技術基準の改正について（平成27年3月）	日本道路協会 杭基礎施工便覧（令和2年9月） 日本道路協会 杭基礎設計便覧（令和2年9月） 日本道路協会 コンクリート道路橋設計便覧（令和2年9月） 日本道路協会 道路橋支承便覧（平成31年2月）	10-72
第4節 プレキャストシェッド上部工 10-7-4-3 架設工	2. 適用規定（2） 受注者は、支承工の施工については、「 道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工 」（日本道路協会、平成16年4月）の規定による。これにより難しい場合は、監督員の 承諾 を得なければならない。	2. 適用規定（2） 受注者は、支承工の施工については、「 道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工 」（日本道路協会、平成31年2月）の規定による。これにより難しい場合は、監督員の 承諾 を得なければならない。	10-74
10-7-4-7 防水工	2. 防水工の接合部や隅角部 受注者は、防水工の接合部や隅角部における 増張り部 等において、防水材相互が充分密着するよう施工しなければならない。	2. 防水工の接合部や隅角部 受注者は、防水工の接合部や隅角部における 増貼部 等において、防水材相互が充分密着するよう施工しなければならない。	10-75

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
第8章 鋼製シェッド			
第2節 適用すべき諸基準			
	<p>受注者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の承諾を得なければならない。</p> <p>日本道路協会 鋼道路橋施工便覧 (平成27年3月) 日本道路協会 道路橋支承便覧 (平成16年4月) 日本道路協会 杭基礎施工便覧 (平成27年3月) 日本道路協会 杭基礎設計便覧 (平成27年3月) 国土交通省 道路標識設置基準、道路緑化技術基準の改正について (平成27年3月)</p>	<p>受注者は、設計図書において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の承諾を得なければならない。</p> <p>日本道路協会 鋼道路橋施工便覧 (令和2年9月) 日本道路協会 道路橋支承便覧 (平成31年2月) 日本道路協会 杭基礎施工便覧 (令和2年9月) 日本道路協会 杭基礎設計便覧 (令和2年9月)</p>	10-77
第5節 鋼製シェッド下部工			
10-8-5-6 受台工	<p>5. 支承部の箱抜き施工</p> <p>受注者は、支承部の箱抜きの施工については、「道路橋支承便覧 第5章 支承部の施工」(日本道路協会、平成16年4月)の規定による。これ以外の施工方法による場合は、設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。</p>	<p>5. 支承部の箱抜きの施工</p> <p>受注者は、支承部の箱抜きの施工については、「道路橋支承便覧 第6章 支承部の施工」(日本道路協会、平成31年2月)の規定による。これ以外の施工方法による場合は、設計図書に関して監督員の承諾を得なければならない。</p>	10-79
第6節 鋼製シェッド上部工			
10-8-6-4 現場継手工	<p>現場継手の施工については、第3編3-2-3-23現場継手工の規定による。</p>	<p>現場継手工の施工については、第3編3-2-3-23現場継手工の規定による。</p>	10-80
第9章 地下横断歩道			
第2節 適用すべき諸基準	<p>日本道路協会 杭基礎設計便覧 (平成27年3月)</p>	<p>日本道路協会 杭基礎設計便覧 (令和2年9月)</p>	10-82
第10章 地下駐車場			
第2節 適用すべき諸基準	<p>受注者は、設計図書において特に定めのない事項については、以下の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の承諾を得なければならない。</p>	<p>受注者は、設計図書において特に定めのない事項については、下記の基準類による。これにより難しい場合は、監督員の承諾を得なければならない。</p>	10-85
第11章 地下駐車場			
第2節 適用すべき諸基準	<p>道路保全技術センター プレキャストコンクリート共同溝設計・施工要領(案) (平成6年3月)</p>		10-88
第12章 電線共同溝			
第2節 適用すべき諸基準	<p>道路保全技術センター 電線共同溝 (平成7年11月)</p>		10-92
第5節 電線共同溝工			
10-12-5-2 管路工(管路部)	<p>2. 単管を用いる場合の施工</p> <p>受注者は、単管を用いる場合には、スペーサー等を用いて敷設間隔が均一となるよう施工しなければならない。</p>	<p>2. 単管を用いる場合の施工</p> <p>受注者は、単管を用いる場合には、スペーサ等を用いて敷設間隔が均一となるよう施工しなければならない。</p>	10-93
第13章 情報ボックス工			
第2節 適用すべき諸基準	<p>道路保全技術センター 電線共同溝 (平成7年11月)</p>		10-95
第14章 道路維持			
第1節 適用	<p>5. 臨機の措置</p> <p>受注者は、工事区間内での事故防止のため、やむを得ず臨機の措置を行う必要がある場合は、第1編総則1-1-1-41臨機の措置の規定に基づき処置しなければならない。</p>	<p>5. 臨機の措置</p> <p>受注者は、工事区間内での事故防止のため、やむを得ず臨機の措置を行う必要がある場合は、第1編総則1-1-1-42臨機の措置の規定に基づき処置しなければならない。</p>	10-97

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
第2節 適用すべき諸基準	日本道路協会 舗装調査・試験法便覧（平成19年6月） 日本道路協会 道路トンネル維持管理便覧（本体工編）（平成27年6月） 国土技術研究センター 景観に配慮した防護柵の整備ガイドライン（平成16年5月）	日本道路協会 舗装調査・試験法便覧（平成31年3月） 日本道路協会 道路トンネル維持管理便覧（本体工編）（令和2年8月）	10-97
第3節 巡視・巡回工			
10-14-3-2 道路巡回工	3. 交通異常の場合の処置 受注者は、通常巡回中に道路交通に異常が生じている場合または異常が生ずる 恐 おそれがある場合は、直ちに監督員へ 連絡 し、その処置について 指示 を受けなければならない。	3. 交通異常の場合の処置 受注者は、通常巡回中に道路交通に異常が生じている場合または異常が生ずるおそれがある場合は、直ちに監督員へ 連絡 し、その処置について 指示 を受けなければならない。	10-98
第4節 舗装工			
10-14-4-7 路上再生工	1. 路上路盤再生工 (2) 添加材料の使用量 ① セメント、アスファルト乳剤、補足材などの使用量は設計図書によらなければならない。 ② 受注者は、施工に先立って「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会、平成19年6月）の「5-3再生路盤材料に関する試験」に示される試験法により一軸圧縮試験を行い、使用するセメント量について監督員の承諾を得なければならない。ただし、これまでの実績がある場合で、設計図書に示すセメント量の混合物が基準を満足し、施工前に使用するセメント量について監督員が承諾した場合には、一軸圧縮試験を省略することができるものとする。 ③ セメント量決定の基準とする一軸圧縮試験基準値は、設計図書に示す場合を除き表10-14-1に示す値とするものとする。 (3) 最大乾燥密度 受注者は、施工開始日に採取した破砕混合直後の試料を用い、「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会、平成19年6月）に示される「G021 砂置換法による路床の密度の測定方法」により路上再生安定処理材料の最大乾燥密度を求め、監督員の承諾を得なければならない。	1. 路上路盤再生工 (2) 添加材料の使用量 ① セメント、アスファルト乳剤、補足材などの使用量は設計図書によらなければならない。 ② 受注者は、施工に先立って「舗装調査・試験法便覧 5-3再生路盤材料に関する試験 」（日本道路協会、平成31年3月）に示される試験法により一軸圧縮試験を行い、使用するセメント量について監督員の承諾を得なければならない。ただし、これまでの実績がある場合で、設計図書に示すセメント量の混合物が基準を満足し、施工前に使用するセメント量について監督員が承諾した場合には、一軸圧縮試験を省略することができるものとする。 ③ セメント量決定の基準とする一軸圧縮試験基準値は、設計図書に示す場合を除き表10-14-1に示す値とするものとする。 (3) 最大乾燥密度 受注者は、施工開始日に採取した破砕混合直後の試料を用い、「舗装調査・試験法便覧」（日本道路協会、平成31年3月）に示される「G021砂置換法による路床の密度の測定方法」により路上再生安定処理材料の最大乾燥密度を求め、監督員の承諾を得なければならない。	10-100
第7節 標識工			
10-14-7-2 材料	4. 標示板 受注者は、標示板には設計図書に示す位置に リブ を標示板の表面に ヒズミ の出ないようにスポット溶接をしなければならない。	4. 標示板 受注者は、標示板には設計図書に示す位置に 補強材 を標示板の表面に ひずみ の出ないようにスポット溶接をしなければならない。 アルミニウム合金材の溶接作業は（一社）軽金属溶接協会規格LWS P7903-1979「スポット溶接作業標準（アルミニウム及びアルミニウム合金）」（（一社）日本溶接協会規格WES7302と同一規格）を参考に行うことが望ましい。	10-104
	6. 標示板の文字・記号等 受注者は、標示板の文字・記号等を「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令」（標識令）及び 道路標識設置基準・同解説（日本道路協会、昭和62年1月） による色彩と寸法で、標示する。 これにより難い場合は、監督員の 承諾 を得なければならない。	6. 標示板の文字・記号等 受注者は、標示板の文字・記号等を「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令」（標識令）及び「 道路標識設置基準・同解説（日本道路協会 令和2年6月） 」による色彩と寸法で、標示する。 これにより難い場合は、監督員の 承諾 を得なければならない。	10-105
第14節 橋梁床版工			
10-14-14-3 床版補強工（鋼板接着工法）	5. 油脂等の除去 受注者は、鋼板及びコンクリートの接合面の油脂及び ゴミ をアセトン等により除去しなければならない。	5. 油脂等の除去 受注者は、鋼板及びコンクリートの接合面の油脂及び ごみ をアセトン等により除去しなければならない。	10-108
10-14-14-4 床版補強工（増桁架設工法）	4. 清掃 受注者は、床版部を増桁フランジ接触幅以上の範囲を サンダ 等でレイタンス、遊離石灰を除去した後、シンナー等で清掃しなければならない。 6. スペーサの打込み 受注者は、床版の振動を樹脂剤の硬化時に与えないため スペーサ を50cm程度の間隔で千鳥に打込まなければならない。	4. 清掃 受注者は、床版部を増桁フランジ接触幅以上の範囲を サンダー 等でレイタンス、遊離石灰を除去した後、シンナー等で清掃しなければならない。 6. スペーサの打込み 受注者は、床版の振動を樹脂剤の硬化時に与えないため スペーサ を50cm程度の間隔で千鳥に打込まなければならない。	10-109
			10-109

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
第22節 除草工 10-14-22-2 道路除草工	2. 飛散防止 受注者は、道路除草工の施工にあたり、路面への草等の飛散防止に努めるものとし、刈り取った草等を交通に支障のないように、速やかに処理しなければならない。	2. 飛散防止 受注者は、道路除草工の施工にあたり、路面への草等の飛散防止に努めるものとし、刈り取った草等を交通に支障のないように、速やかに処理しなければならない。 受注者は、周辺の作業員の安全を確保するために必要な防護具等による安全対策を実施することとする。 受注者は、肩掛け式草刈機等で行う除草作業で、飛び石により一般交通に対して影響を及ぼすおそれのある箇所（中央分離帯、路肩及び法面等）での作業の場合は、飛散防止ネットに加え、刈払機用安定板または、上下刃逆回転ハサミ刈り方式の刈払機を使用すること。ただし、施工条件・現場条件等により、これにより難しい場合は監督員と協議すること。	10-118
第15章 雪害 第3節 除雪工 10-15-3-6 歩道除雪工	2. 適用規定 受注者は、クローラ・ハンドガイド型除雪機により施工を行う場合は、「歩道除雪機安全対策指針（案）」を参考とする。	2. 適用規定 受注者は、クローラ・ハンドガイド型除雪機により施工を行う場合は、「歩道除雪機安全対策指針（案）」（建設省、昭和63年10月）を参考とする。	10-123
第16章 道路修繕 第2節 適用すべき諸基準	日本道路協会 鋼道路橋防食便覧（平成26年5月） 日本道路協会 舗装調査・試験法便覧（平成19年6月）	日本道路協会 鋼道路橋防食便覧（平成26年3月） 日本道路協会 舗装調査・試験法便覧（平成31年3月）	10-125
第3節 工場製作工 10-16-3-6 RC橋脚巻立て鋼板製作工	3. 型钢製作 (2) 型钢の加工は、工場で行うものとする。	3. 形鋼製作 (2) 形鋼の加工は、工場で行うものとする。	10-127
第9節 標識工 10-16-9-2 材料	4. リブの取付 受注者は、標示板には設計図書に示す位置にリブを標示板の表面にヒズミの出ないようスポット溶接をしなければならない。 6. 標示板の文字・記号等 受注者は、標示板の文字・記号等を「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令」（標識令）及び「道路標識設置基準・同解説」（日本道路協会、昭和62年1月）による色彩と寸法で、標示しなければならない。これにより難しい場合は、監督員の承諾を得なければならない。	4. 補強材の取付 受注者は、標示板には設計図書に示す位置に補強材を標示板の表面にひずみの出ないようスポット溶接をしなければならない。 6. 標示板の文字・記号等 受注者は、標示板の文字・記号等を「道路標識、区画線及び道路標示に関する命令」（標識令）及び「道路標識設置基準・同解説」（日本道路協会 令和2年6月）による色彩と寸法で、標示しなければならない。これにより難しい場合は、監督員の承諾を得なければならない。	10-130 10-130
第12節 道路付属施設工 10-16-12-2 材料	4. 適用規定 (3) 組立歩道工でプレキャスト床版を用いる場合、床版の品質等は、第2編2-2-7-2セメントコンクリート製品の規定もしくは、設計図書によるものとする。	4. 適用規定 (3) 組立歩道工でプレキャスト床版を用いる場合、床版の品質等は、第2編2-2-7-2セメントコンクリート製品の規定もしくは、設計図書による。	10-131
第18節 落石雪害防護工 第24節 橋脚巻立て工 10-16-24-4 RC橋脚鋼板巻立て工	27. 騒音と粉じん 受注者は、施工中、特にコンクリートへのアンカー孔の穿孔と橋脚面の下地処理のために発生する騒音と粉じんについては、第1編1-1-1-30環境対策の規定によらなければならない。 なお、環境対策のために工法の変更等が必要な場合は、設計図書に関して監督員と協議しなければならない。	27. 騒音と粉じん 受注者は、施工中、特にコンクリートへのアンカー孔の穿孔と橋脚面の下地処理のために発生する騒音と粉じんについては、第1編1-1-1-31環境対策の規定によらなければならない。 なお、環境対策のために工法の変更等が必要な場合は、設計図書に関して監督員と協議しなければならない。	10-142

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版)改定内容

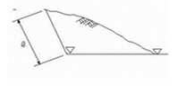
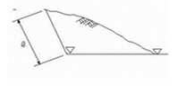
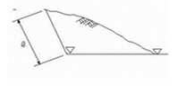



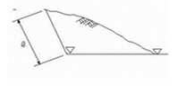
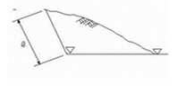
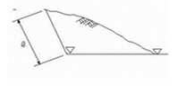



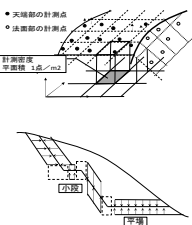
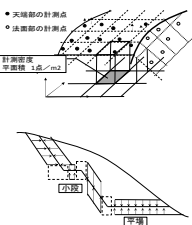
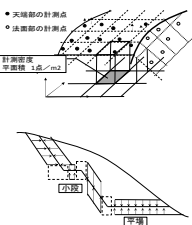
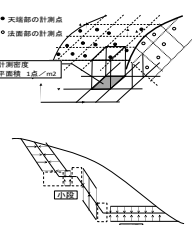
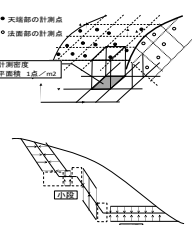
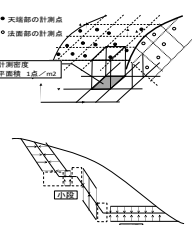
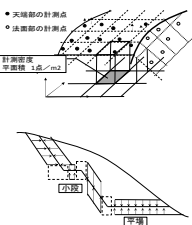
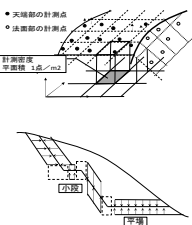
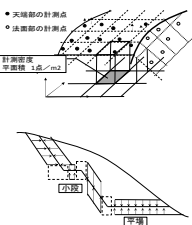
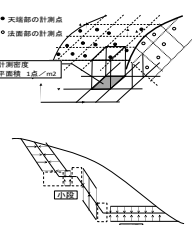
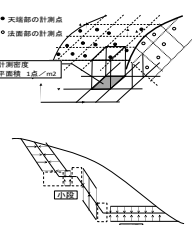
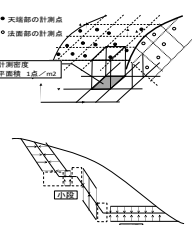
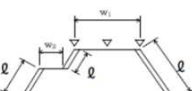
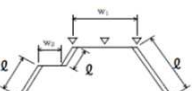
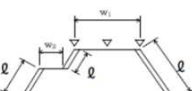
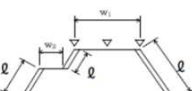
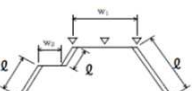
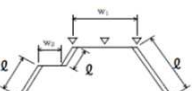
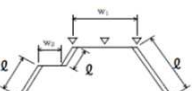
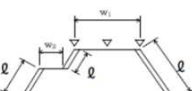
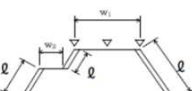
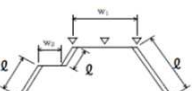
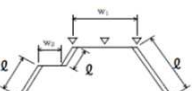
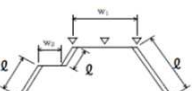
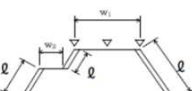
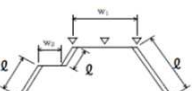
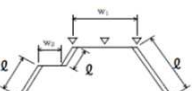
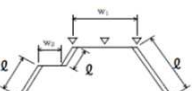
項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
10-16-24-5 橋脚コンクリート巻立て工	<p>6. 騒音と粉じん対策 施工中、特にコンクリートへの削孔と橋脚面の下地処理のために発生する騒音と粉じんについては、第1編1-1-1-30環境対策の規定による。 なお、環境対策のために工法の変更等が必要な場合は、設計図書に関して監督員と協議するものとする。</p>	<p>6. 騒音と粉じん対策 施工中、特にコンクリートへの削孔と橋脚面の下地処理のために発生する騒音と粉じんについては、第1編1-1-1-31環境対策の規定による。 なお、環境対策のために工法の変更等が必要な場合は、設計図書に関して監督員と協議するものとする。</p>	10-144

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
土木工事施工管理基準	この土木工事施工管理基準(以下、「管理基準」とする。)は、土木工事共通仕様書第1編1-1-23「施工管理」に規定する土木工事の施工管理及び規格値の基準を定めたものである。	この土木工事施工管理基準(以下、「管理基準」とする。)は、土木工事共通仕様書第1編1-1-24「施工管理」に規定する土木工事の施工管理及び規格値の基準を定めたものである。	1
7 その他	<p>(2) 3次元データによる出来形管理</p> <p>土工において、3次元データを用いた出来形管理を行う場合は、管理基準のほか、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」の規定によるものとする。</p> <p>なお、ここでいう3次元データとは、工事目的物あるいは現地地形の形状を3次元空間上に再現するために必要なデータである。</p>	<p>(2) 3次元データによる出来形管理</p> <p>土工において、3次元データを用いた出来形管理を行う場合は、管理基準のほか、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)土工編 多点計測技術(面管理の場合)」または「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)土工編 計測技術(断面管理の場合)」の規定によるものとする。</p> <p>また、舗装工において、3次元データを用いた出来形管理を行う場合は、管理基準のほか、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」または「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 計測技術(断面管理の場合)」の規定によるものとする。</p> <p>河川浚渫工においては、3次元データを用いた出来形管理を行う場合は、管理基準のほか、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)河川浚渫工編」の規定によるものとする。</p> <p>なお、ここでいう3次元データとは、工事目的物あるいは現地地形の形状を3次元空間上に再現するために必要なデータである。</p>	2 3

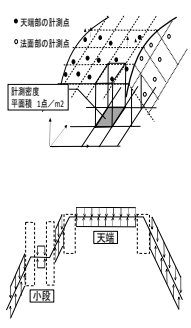
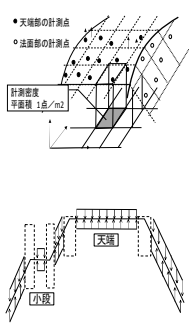
岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

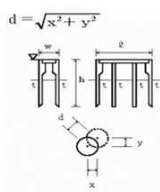
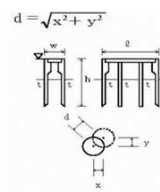
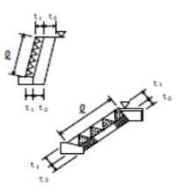
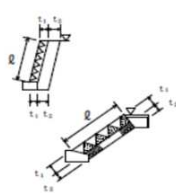
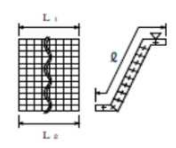
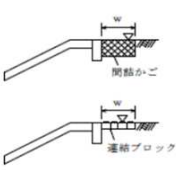
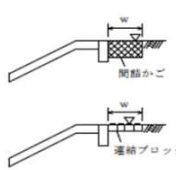
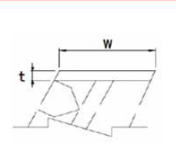
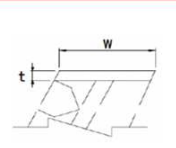
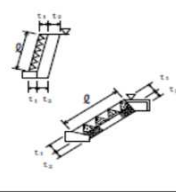
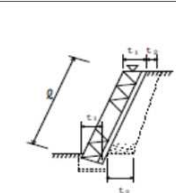
出来形管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所：赤字】	頁番号																																											
出来形管理基準																																														
第1編 共通編																																														
第2章 土工																																														
第3節 河川・海岸・砂防土工																																														
1-2-3-2 掘削工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1 共通編</td> <td style="width: 5%;">2 土工</td> <td style="width: 5%;">3 河川・海岸・砂防土工</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 10%;">掘削工</td> <td style="width: 10%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高▽</td> <td style="width: 5%;">±50</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」の規定により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は掘削部の両端で測定。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-2 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">歩長L</td> <td style="width: 5%;">L<5m</td> <td style="width: 5%;">±200</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">L≥5m</td> <td style="width: 5%;">歩長-4%</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	2	1	掘削工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高▽</td> <td style="width: 5%;">±50</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」の規定により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は掘削部の両端で測定。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-2 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">歩長L</td> <td style="width: 5%;">L<5m</td> <td style="width: 5%;">±200</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">L≥5m</td> <td style="width: 5%;">歩長-4%</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> </table>	基準高▽	±50	掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」の規定により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は掘削部の両端で測定。	1-2-3-2 	歩長L	L<5m	±200	L≥5m	歩長-4%		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1 共通編</td> <td style="width: 5%;">2 土工</td> <td style="width: 5%;">3 河川・海岸・砂防土工</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 10%;">掘削工</td> <td style="width: 10%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高▽</td> <td style="width: 5%;">±50</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合は、設計図書の特記事項。基準高は掘削部の両端で測定。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-2 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">歩長L</td> <td style="width: 5%;">L<5m</td> <td style="width: 5%;">±200</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">L≥5m</td> <td style="width: 5%;">歩長-4%</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	2	1	掘削工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高▽</td> <td style="width: 5%;">±50</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合は、設計図書の特記事項。基準高は掘削部の両端で測定。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-2 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">歩長L</td> <td style="width: 5%;">L<5m</td> <td style="width: 5%;">±200</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">L≥5m</td> <td style="width: 5%;">歩長-4%</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> </table>	基準高▽	±50	掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合は、設計図書の特記事項。基準高は掘削部の両端で測定。	1-2-3-2 	歩長L	L<5m	±200	L≥5m	歩長-4%		I-1									
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	2	1	掘削工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高▽</td> <td style="width: 5%;">±50</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」の規定により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は掘削部の両端で測定。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-2 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">歩長L</td> <td style="width: 5%;">L<5m</td> <td style="width: 5%;">±200</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">L≥5m</td> <td style="width: 5%;">歩長-4%</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> </table>	基準高▽	±50	掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」の規定により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は掘削部の両端で測定。	1-2-3-2 			歩長L	L<5m	±200	L≥5m	歩長-4%																													
基準高▽	±50	掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」の規定により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は掘削部の両端で測定。	1-2-3-2 																																											
歩長L	L<5m			±200																																										
L≥5m	歩長-4%																																													
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	2	1	掘削工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高▽</td> <td style="width: 5%;">±50</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合は、設計図書の特記事項。基準高は掘削部の両端で測定。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-2 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">歩長L</td> <td style="width: 5%;">L<5m</td> <td style="width: 5%;">±200</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">L≥5m</td> <td style="width: 5%;">歩長-4%</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> </table>	基準高▽	±50	掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合は、設計図書の特記事項。基準高は掘削部の両端で測定。	1-2-3-2 	歩長L	L<5m	±200	L≥5m	歩長-4%																															
基準高▽	±50	掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合は、設計図書の特記事項。基準高は掘削部の両端で測定。	1-2-3-2 																																											
歩長L	L<5m			±200																																										
L≥5m	歩長-4%																																													
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1 共通編</td> <td style="width: 5%;">2 土工</td> <td style="width: 5%;">3 河川・海岸・砂防土工</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 10%;">掘削工 (面管理の場合)</td> <td style="width: 10%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">平均値</td> <td style="width: 5%;">個々の計測値</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">1. 3次元データによる出来形管理において地上型レーザースキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案)、「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」(無人航空機搭載型レーザースキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案))、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「地上移動体搭載型レーザースキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。 3. 計測は平面面と法面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面との標高較差または水平較差を算出する。計測密度は1点/m²(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 法面、法底から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。同様に、標高方向に±5cm以内にある計測点は水平較差の評価から除く。 5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-2 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">平面</td> <td style="width: 5%;">標高較差</td> <td style="width: 5%;">±50</td> <td style="width: 5%;">±150</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">法面 (小段含む)</td> <td style="width: 5%;">水平または標高較差</td> <td style="width: 5%;">±70</td> <td style="width: 5%;">±160</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	2	2	掘削工 (面管理の場合)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">平均値</td> <td style="width: 5%;">個々の計測値</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">1. 3次元データによる出来形管理において地上型レーザースキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案)、「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」(無人航空機搭載型レーザースキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案))、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「地上移動体搭載型レーザースキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。 3. 計測は平面面と法面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面との標高較差または水平較差を算出する。計測密度は1点/m²(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 法面、法底から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。同様に、標高方向に±5cm以内にある計測点は水平較差の評価から除く。 5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-2 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">平面</td> <td style="width: 5%;">標高較差</td> <td style="width: 5%;">±50</td> <td style="width: 5%;">±150</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">法面 (小段含む)</td> <td style="width: 5%;">水平または標高較差</td> <td style="width: 5%;">±70</td> <td style="width: 5%;">±160</td> </tr> </table>	平均値	個々の計測値	1. 3次元データによる出来形管理において地上型レーザースキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案)、「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」(無人航空機搭載型レーザースキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案))、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「地上移動体搭載型レーザースキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。 3. 計測は平面面と法面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面との標高較差または水平較差を算出する。計測密度は1点/m ² (平面投影面積当たり)以上とする。 4. 法面、法底から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。同様に、標高方向に±5cm以内にある計測点は水平較差の評価から除く。 5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。	1-2-3-2 	平面	標高較差	±50	±150	法面 (小段含む)	水平または標高較差	±70	±160	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1 共通編</td> <td style="width: 5%;">2 土工</td> <td style="width: 5%;">3 河川・海岸・砂防土工</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 10%;">掘削工 (面管理の場合)</td> <td style="width: 10%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">平均値</td> <td style="width: 5%;">個々の計測値</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。 3. 計測は平面面と法面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面との標高較差または水平較差を算出する。計測密度は1点/m²(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 法面、法底から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。同様に、標高方向に±5cm以内にある計測点は水平較差の評価から除く。 5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-2 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">平面</td> <td style="width: 5%;">標高較差</td> <td style="width: 5%;">±50</td> <td style="width: 5%;">±150</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">法面 (小段含む)</td> <td style="width: 5%;">水平または標高較差</td> <td style="width: 5%;">±70</td> <td style="width: 5%;">±160</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	2	2	掘削工 (面管理の場合)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">平均値</td> <td style="width: 5%;">個々の計測値</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。 3. 計測は平面面と法面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面との標高較差または水平較差を算出する。計測密度は1点/m²(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 法面、法底から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。同様に、標高方向に±5cm以内にある計測点は水平較差の評価から除く。 5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-2 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">平面</td> <td style="width: 5%;">標高較差</td> <td style="width: 5%;">±50</td> <td style="width: 5%;">±150</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">法面 (小段含む)</td> <td style="width: 5%;">水平または標高較差</td> <td style="width: 5%;">±70</td> <td style="width: 5%;">±160</td> </tr> </table>	平均値	個々の計測値	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。 3. 計測は平面面と法面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面との標高較差または水平較差を算出する。計測密度は1点/m ² (平面投影面積当たり)以上とする。 4. 法面、法底から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。同様に、標高方向に±5cm以内にある計測点は水平較差の評価から除く。 5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。	1-2-3-2 	平面	標高較差	±50	±150	法面 (小段含む)	水平または標高較差	±70	±160	I-1					
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	2	2	掘削工 (面管理の場合)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">平均値</td> <td style="width: 5%;">個々の計測値</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">1. 3次元データによる出来形管理において地上型レーザースキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案)、「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」(無人航空機搭載型レーザースキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案))、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「地上移動体搭載型レーザースキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。 3. 計測は平面面と法面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面との標高較差または水平較差を算出する。計測密度は1点/m²(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 法面、法底から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。同様に、標高方向に±5cm以内にある計測点は水平較差の評価から除く。 5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-2 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">平面</td> <td style="width: 5%;">標高較差</td> <td style="width: 5%;">±50</td> <td style="width: 5%;">±150</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">法面 (小段含む)</td> <td style="width: 5%;">水平または標高較差</td> <td style="width: 5%;">±70</td> <td style="width: 5%;">±160</td> </tr> </table>	平均値	個々の計測値	1. 3次元データによる出来形管理において地上型レーザースキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案)、「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」(無人航空機搭載型レーザースキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案))、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「地上移動体搭載型レーザースキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。 3. 計測は平面面と法面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面との標高較差または水平較差を算出する。計測密度は1点/m ² (平面投影面積当たり)以上とする。 4. 法面、法底から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。同様に、標高方向に±5cm以内にある計測点は水平較差の評価から除く。 5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。	1-2-3-2 			平面	標高較差	±50	±150	法面 (小段含む)	水平または標高較差	±70	±160																										
平均値	個々の計測値	1. 3次元データによる出来形管理において地上型レーザースキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案)、「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」(無人航空機搭載型レーザースキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案))、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「地上移動体搭載型レーザースキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。 3. 計測は平面面と法面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面との標高較差または水平較差を算出する。計測密度は1点/m ² (平面投影面積当たり)以上とする。 4. 法面、法底から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。同様に、標高方向に±5cm以内にある計測点は水平較差の評価から除く。 5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。	1-2-3-2 																																											
平面	標高較差			±50	±150																																									
法面 (小段含む)	水平または標高較差			±70	±160																																									
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	2	2	掘削工 (面管理の場合)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">平均値</td> <td style="width: 5%;">個々の計測値</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。 3. 計測は平面面と法面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面との標高較差または水平較差を算出する。計測密度は1点/m²(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 法面、法底から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。同様に、標高方向に±5cm以内にある計測点は水平較差の評価から除く。 5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-2 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">平面</td> <td style="width: 5%;">標高較差</td> <td style="width: 5%;">±50</td> <td style="width: 5%;">±150</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">法面 (小段含む)</td> <td style="width: 5%;">水平または標高較差</td> <td style="width: 5%;">±70</td> <td style="width: 5%;">±160</td> </tr> </table>	平均値	個々の計測値	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。 3. 計測は平面面と法面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面との標高較差または水平較差を算出する。計測密度は1点/m ² (平面投影面積当たり)以上とする。 4. 法面、法底から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。同様に、標高方向に±5cm以内にある計測点は水平較差の評価から除く。 5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。	1-2-3-2 	平面	標高較差	±50	±150	法面 (小段含む)	水平または標高較差	±70	±160																												
平均値	個々の計測値	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。 3. 計測は平面面と法面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面との標高較差または水平較差を算出する。計測密度は1点/m ² (平面投影面積当たり)以上とする。 4. 法面、法底から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。同様に、標高方向に±5cm以内にある計測点は水平較差の評価から除く。 5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。	1-2-3-2 																																											
平面	標高較差			±50	±150																																									
法面 (小段含む)	水平または標高較差			±70	±160																																									
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1 共通編</td> <td style="width: 5%;">2 土工</td> <td style="width: 5%;">3 河川・海岸・砂防土工</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 5%;">3</td> <td style="width: 10%;">掘削工 (大中部 面管理の場合)</td> <td style="width: 10%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">平均値</td> <td style="width: 5%;">個々の計測値</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」河川渡工事編)に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±100mmが含まれている。 3. 計測は平面面と法面の全面とし、すべての点で設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点/m²(平面投影面積当たり)以上とする。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-2</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">平面</td> <td style="width: 5%;">標高較差</td> <td style="width: 5%;">±50</td> <td style="width: 5%;">±300</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">法面 (小段含む)</td> <td style="width: 5%;">水平または標高較差</td> <td style="width: 5%;">±70</td> <td style="width: 5%;">±300</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	2	3	掘削工 (大中部 面管理の場合)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">平均値</td> <td style="width: 5%;">個々の計測値</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」河川渡工事編)に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±100mmが含まれている。 3. 計測は平面面と法面の全面とし、すべての点で設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点/m²(平面投影面積当たり)以上とする。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-2</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">平面</td> <td style="width: 5%;">標高較差</td> <td style="width: 5%;">±50</td> <td style="width: 5%;">±300</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">法面 (小段含む)</td> <td style="width: 5%;">水平または標高較差</td> <td style="width: 5%;">±70</td> <td style="width: 5%;">±300</td> </tr> </table>	平均値	個々の計測値	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」河川渡工事編)に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±100mmが含まれている。 3. 計測は平面面と法面の全面とし、すべての点で設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点/m ² (平面投影面積当たり)以上とする。	1-2-3-2	平面	標高較差	±50	±300	法面 (小段含む)	水平または標高較差	±70	±300	I-1																									
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	2	3	掘削工 (大中部 面管理の場合)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">平均値</td> <td style="width: 5%;">個々の計測値</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」河川渡工事編)に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±100mmが含まれている。 3. 計測は平面面と法面の全面とし、すべての点で設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点/m²(平面投影面積当たり)以上とする。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-2</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">平面</td> <td style="width: 5%;">標高較差</td> <td style="width: 5%;">±50</td> <td style="width: 5%;">±300</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">法面 (小段含む)</td> <td style="width: 5%;">水平または標高較差</td> <td style="width: 5%;">±70</td> <td style="width: 5%;">±300</td> </tr> </table>	平均値	個々の計測値	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」河川渡工事編)に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±100mmが含まれている。 3. 計測は平面面と法面の全面とし、すべての点で設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点/m ² (平面投影面積当たり)以上とする。	1-2-3-2			平面	標高較差	±50	±300	法面 (小段含む)	水平または標高較差	±70	±300																										
平均値	個々の計測値	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」河川渡工事編)に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±100mmが含まれている。 3. 計測は平面面と法面の全面とし、すべての点で設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点/m ² (平面投影面積当たり)以上とする。	1-2-3-2																																											
平面	標高較差			±50	±300																																									
法面 (小段含む)	水平または標高較差			±70	±300																																									
1-2-3-3 盛土工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">2 土工</td> <td style="width: 5%;">3 河川・海岸・砂防土工</td> <td style="width: 5%;">3</td> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 10%;">盛土工</td> <td style="width: 10%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高▽</td> <td style="width: 5%;">-50</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」の規定により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は各法面で測定。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-3 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">歩長L</td> <td style="width: 5%;">L<5m</td> <td style="width: 5%;">-100</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">L≥5m</td> <td style="width: 5%;">歩長-2%</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="width: 10%;">幅 w₁, w₂</td> <td style="width: 5%;">-100</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> </table> </td> <td> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1 共通編</td> <td style="width: 5%;">2 土工</td> <td style="width: 5%;">3 河川・海岸・砂防土工</td> <td style="width: 5%;">3</td> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 10%;">盛土工</td> <td style="width: 10%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高▽</td> <td style="width: 5%;">-50</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は各法面で測定。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-3 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">歩長L</td> <td style="width: 5%;">L<5m</td> <td style="width: 5%;">-100</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">L≥5m</td> <td style="width: 5%;">歩長-2%</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="width: 10%;">幅 w₁, w₂</td> <td style="width: 5%;">-100</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> </table> </td> </tr> </table> </td> <td style="text-align: center;">I-2</td> </tr> </table>	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	3	1	盛土工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高▽</td> <td style="width: 5%;">-50</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」の規定により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は各法面で測定。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-3 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">歩長L</td> <td style="width: 5%;">L<5m</td> <td style="width: 5%;">-100</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">L≥5m</td> <td style="width: 5%;">歩長-2%</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="width: 10%;">幅 w₁, w₂</td> <td style="width: 5%;">-100</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> </table>	基準高▽	-50	掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」の規定により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は各法面で測定。	1-2-3-3 	歩長L	L<5m	-100	L≥5m	歩長-2%		幅 w ₁ , w ₂		-100		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1 共通編</td> <td style="width: 5%;">2 土工</td> <td style="width: 5%;">3 河川・海岸・砂防土工</td> <td style="width: 5%;">3</td> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 10%;">盛土工</td> <td style="width: 10%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高▽</td> <td style="width: 5%;">-50</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は各法面で測定。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-3 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">歩長L</td> <td style="width: 5%;">L<5m</td> <td style="width: 5%;">-100</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">L≥5m</td> <td style="width: 5%;">歩長-2%</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="width: 10%;">幅 w₁, w₂</td> <td style="width: 5%;">-100</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	3	1	盛土工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高▽</td> <td style="width: 5%;">-50</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は各法面で測定。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-3 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">歩長L</td> <td style="width: 5%;">L<5m</td> <td style="width: 5%;">-100</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">L≥5m</td> <td style="width: 5%;">歩長-2%</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="width: 10%;">幅 w₁, w₂</td> <td style="width: 5%;">-100</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> </table>	基準高▽	-50	掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は各法面で測定。	1-2-3-3 	歩長L	L<5m	-100	L≥5m	歩長-2%		幅 w ₁ , w ₂		-100		I-2		
2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	3	1	盛土工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高▽</td> <td style="width: 5%;">-50</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」の規定により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は各法面で測定。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-3 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">歩長L</td> <td style="width: 5%;">L<5m</td> <td style="width: 5%;">-100</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">L≥5m</td> <td style="width: 5%;">歩長-2%</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="width: 10%;">幅 w₁, w₂</td> <td style="width: 5%;">-100</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> </table>	基準高▽	-50	掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」の規定により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は各法面で測定。	1-2-3-3 			歩長L	L<5m	-100	L≥5m	歩長-2%		幅 w ₁ , w ₂		-100		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">1 共通編</td> <td style="width: 5%;">2 土工</td> <td style="width: 5%;">3 河川・海岸・砂防土工</td> <td style="width: 5%;">3</td> <td style="width: 5%;">1</td> <td style="width: 10%;">盛土工</td> <td style="width: 10%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高▽</td> <td style="width: 5%;">-50</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は各法面で測定。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-3 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">歩長L</td> <td style="width: 5%;">L<5m</td> <td style="width: 5%;">-100</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">L≥5m</td> <td style="width: 5%;">歩長-2%</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="width: 10%;">幅 w₁, w₂</td> <td style="width: 5%;">-100</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	3	1	盛土工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高▽</td> <td style="width: 5%;">-50</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は各法面で測定。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-3 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">歩長L</td> <td style="width: 5%;">L<5m</td> <td style="width: 5%;">-100</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">L≥5m</td> <td style="width: 5%;">歩長-2%</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="width: 10%;">幅 w₁, w₂</td> <td style="width: 5%;">-100</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> </table>	基準高▽	-50			掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は各法面で測定。	1-2-3-3 	歩長L	L<5m	-100	L≥5m	歩長-2%		幅 w ₁ , w ₂		-100		I-2
基準高▽	-50	掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」の規定により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は各法面で測定。	1-2-3-3 																																											
歩長L	L<5m			-100																																										
L≥5m	歩長-2%																																													
幅 w ₁ , w ₂		-100																																												
1 共通編	2 土工	3 河川・海岸・砂防土工	3	1	盛土工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高▽</td> <td style="width: 5%;">-50</td> <td rowspan="3" style="width: 15%;">掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は各法面で測定。</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">1-2-3-3 </td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">歩長L</td> <td style="width: 5%;">L<5m</td> <td style="width: 5%;">-100</td> </tr> <tr> <td style="width: 5%;">L≥5m</td> <td style="width: 5%;">歩長-2%</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="width: 10%;">幅 w₁, w₂</td> <td style="width: 5%;">-100</td> <td style="width: 5%;"></td> </tr> </table>	基準高▽	-50	掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は各法面で測定。	1-2-3-3 	歩長L	L<5m	-100	L≥5m	歩長-2%		幅 w ₁ , w ₂		-100																											
基準高▽	-50	掘削延長40m(測点間隔20mの場合)は50m)につき1箇所、延長40m(又は50m)以下のものは1掘削箇所につき2箇所、ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により測点による管理を行う場合は、設計図書の特記事項。基準高は各法面で測定。	1-2-3-3 																																											
歩長L	L<5m			-100																																										
L≥5m	歩長-2%																																													
幅 w ₁ , w ₂		-100																																												

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

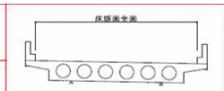
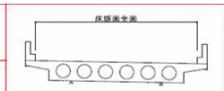
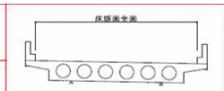
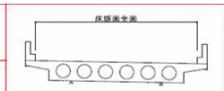
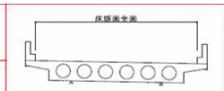
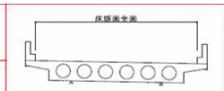
出来形管理基準及び規格値

項目	現行										改定【改定箇所：赤字】										頁番号		
	1 共通編	2 土工	4 道路土工	3 4	2		平均値	個々の計測値	1. 3次元データによる出来形管理において「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TSS等光点方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TSS等光点方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」に基づき出来形管理を現場で実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。 3. 計測は天端面と法面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 法面、法尺から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。 5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。		1-2-4-3 1-2-4-4	1 共通編	2 土工	4 道路土工	3 4	2		平均値	個々の計測値	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」、「地上型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(案)」、「無人航空機搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(案)」、「TSS等光点方式を用いた出来形管理要領(案)」、「TSS等光点方式を用いた出来形管理要領(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(案)」または「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を現場で実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。 3. 計測は天端面と法面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 法面、法尺から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。 5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。		1-2-4-3 1-2-4-4	I-5
第3編 土木工事共通編																							
第2章 一般施工																							
第3節 共通の工程																							
3-2-3-5 縁石工	3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工程	5	1	縁石工 (縁石・アスターフ)	延長 L	-200	1ヶ所/1施工箇所	3-2-3-5	3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工程	5	1	縁石工 (縁石・アスターフ)	延長 L	-200	1ヶ所/1施工箇所	3-2-3-5	I-7		
3-2-3-9 区画線工	3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工程	9	1	区画線工 (塗料式・塗線)	幅 W	設計値以上 (1.0mm以上)	塗線幅に、1箇所テストピースにより測定。	3-2-3-9区画線工に塗線	3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工程	9	1	区画線工 (塗料式・塗線)	幅 W	設計値以上 (1.0mm以上)	塗線幅に、1箇所テストピースにより測定。	3-2-3-9区画線工に塗線	I-9		
3-2-3-10 道路付属物工	3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工程	10	1	道路付属物工 (防草シート)	重なり幅 W	設計値以上	1施工箇所100	3-2-3-10	3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工程	10	1	道路付属物工 (防草シート)	重なり幅 W	設計値以上	1施工箇所100	3-2-3-10	I-9		
3-2-3-24 伸縮装置工	3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工程	24	1	伸縮装置工 (ゴムジョイント)	掘付け高さ	±3	高さについては車道端部及び中央部付近の3点	3-2-3-24	3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工程	24	1	伸縮装置工 (ゴムジョイント)	掘付け高さ	±3	高さについては車道端部及び中央部付近の3点	3-2-3-24	I-14		
	3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工程	24	3	伸縮装置工 (埋設型ジョイント)	表面の凹凸	3	高さについては車道端部及び中央部付近の3点	3-2-3-24	3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工程	24	3	伸縮装置工 (埋設型ジョイント)	表面の凹凸	3	高さについては車道端部及び中央部付近の3点	3-2-3-24	I-15		
3-2-3-29 側溝工	3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工程	29	1	側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝工) (自由勾配側溝) (管溝)	基準高 H	±30	施工延長40m(測点間隔20m)の標高は50mmにつき1ヶ所。施工延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。	3-2-3-29	3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通の工程	29	1	側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝工) (自由勾配側溝) (管溝)	基準高 H	±30	施工延長40m(測点間隔20m)の標高は50mmにつき1ヶ所。施工延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナーを用いた出来形管理要領(案)」の規定により管理を行う場合は、延長の変化点で測定。	3-2-3-29	I-17		

項目	現行						改定【改定箇所：赤字】						頁番号																																			
3-2-4-8 ニューマチックケーソン基礎工	3 土木工事 2 一般 4 基礎 5 H	3 ニューマチックケーソン基礎工	<table border="1"> <tr><td>基礎高 ∇</td><td>±100</td></tr> <tr><td>ケーソンの長さ l</td><td>-50</td></tr> <tr><td>ケーソンの幅 w</td><td>-50</td></tr> <tr><td>ケーソンの高さ h</td><td>-100</td></tr> <tr><td>ケーソンの壁厚 t</td><td>-20</td></tr> <tr><td>偏心量 d</td><td>300以内</td></tr> </table>	基礎高 ∇	±100	ケーソンの長さ l	-50	ケーソンの幅 w	-50	ケーソンの高さ h	-100	ケーソンの壁厚 t	-20	偏心量 d	300以内	<table border="1"> <tr><td>基礎高 ∇</td><td>±100</td></tr> <tr><td>ケーソンの長さ l</td><td>-50</td></tr> <tr><td>ケーソンの幅 w</td><td>-50</td></tr> <tr><td>ケーソンの高さ h</td><td>-100</td></tr> <tr><td>ケーソンの壁厚 t</td><td>-20</td></tr> <tr><td>偏心量 d</td><td>300以内</td></tr> </table>	基礎高 ∇	±100	ケーソンの長さ l	-50	ケーソンの幅 w	-50	ケーソンの高さ h	-100	ケーソンの壁厚 t	-20	偏心量 d	300以内	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$ 	3-2-4-8	3 土木工事 2 一般 4 基礎 5 H	3 ニューマチックケーソン基礎工	<table border="1"> <tr><td>基礎高 ∇</td><td>±100</td></tr> <tr><td>ケーソンの長さ l</td><td>-50</td></tr> <tr><td>ケーソンの幅 w</td><td>-50</td></tr> <tr><td>ケーソンの高さ h</td><td>-100</td></tr> <tr><td>ケーソンの壁厚 t</td><td>-20</td></tr> <tr><td>偏心量 d</td><td>300以内</td></tr> </table>	基礎高 ∇	±100	ケーソンの長さ l	-50	ケーソンの幅 w	-50	ケーソンの高さ h	-100	ケーソンの壁厚 t	-20	偏心量 d	300以内	基礎高、長さ、幅、偏心量については各打設ロットごとに測定。 	3-2-4-8	I-22
基礎高 ∇	±100																																															
ケーソンの長さ l	-50																																															
ケーソンの幅 w	-50																																															
ケーソンの高さ h	-100																																															
ケーソンの壁厚 t	-20																																															
偏心量 d	300以内																																															
基礎高 ∇	±100																																															
ケーソンの長さ l	-50																																															
ケーソンの幅 w	-50																																															
ケーソンの高さ h	-100																																															
ケーソンの壁厚 t	-20																																															
偏心量 d	300以内																																															
基礎高 ∇	±100																																															
ケーソンの長さ l	-50																																															
ケーソンの幅 w	-50																																															
ケーソンの高さ h	-100																																															
ケーソンの壁厚 t	-20																																															
偏心量 d	300以内																																															
第5節 石・ブロック積(張)工																																																
3-2-5-3 コンクリートブロック工	3 土木工事 2 一般 4 基礎 5 H	3 1 コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積) (コンクリートブロック積)	<table border="1"> <tr><td>基礎高 ∇</td><td>±50</td></tr> <tr><td>歩長 l</td><td>4<3m 4≧3m</td><td>-50 -100</td></tr> <tr><td>厚さ(ブロック積) t_1</td><td>-50</td></tr> <tr><td>厚さ(基礎) t_2</td><td>-50</td></tr> <tr><td>延長 L</td><td>-200</td></tr> </table>	基礎高 ∇	±50	歩長 l	4<3m 4≧3m	-50 -100	厚さ(ブロック積) t_1	-50	厚さ(基礎) t_2	-50	延長 L	-200	施工延長40m(測点間隔20mの割合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所、厚さは上端部及び下端部の2ヶ所を測定。 	3-2-5-3	3 土木工事 2 一般 4 基礎 5 H	3 1 コンクリートブロック工 (コンクリートブロック積) (コンクリートブロック積)	<table border="1"> <tr><td>基礎高 ∇</td><td>±50</td></tr> <tr><td>歩長 l</td><td>4<3m 4≧3m</td><td>-50 -100</td></tr> <tr><td>厚さ(ブロック積) t_1</td><td>-50</td></tr> <tr><td>厚さ(基礎) t_2</td><td>-50</td></tr> <tr><td>延長 L</td><td>-200</td></tr> </table>	基礎高 ∇	±50	歩長 l	4<3m 4≧3m	-50 -100	厚さ(ブロック積) t_1	-50	厚さ(基礎) t_2	-50	延長 L	-200	施工延長40m(測点間隔20mの割合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所、厚さは上端部及び下端部の2ヶ所を測定。 「3次元計測技術を用いた出来形管理業務(張)標準工法」の規定による測定の管理方法を用いることができる。 	3-2-5-3	I-23															
基礎高 ∇	±50																																															
歩長 l	4<3m 4≧3m	-50 -100																																														
厚さ(ブロック積) t_1	-50																																															
厚さ(基礎) t_2	-50																																															
延長 L	-200																																															
基礎高 ∇	±50																																															
歩長 l	4<3m 4≧3m	-50 -100																																														
厚さ(ブロック積) t_1	-50																																															
厚さ(基礎) t_2	-50																																															
延長 L	-200																																															
	3 土木工事 2 一般 4 基礎 5 H	3 2 コンクリートブロック工 (透筋ブロック積)	<table border="1"> <tr><td>基礎高 ∇</td><td>±50</td></tr> <tr><td>歩長 l</td><td>-100</td></tr> <tr><td>延長 L_1, L_2</td><td>-200</td></tr> </table>	基礎高 ∇	±50	歩長 l	-100	延長 L_1, L_2	-200	施工延長40m(測点間隔20mの割合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 	3-2-5-3	3 土木工事 2 一般 4 基礎 5 H	3 2 コンクリートブロック工 (透筋ブロック積)	<table border="1"> <tr><td>基礎高 ∇</td><td>±50</td></tr> <tr><td>歩長 l</td><td>-100</td></tr> <tr><td>延長 L_1, L_2</td><td>-200</td></tr> </table>	基礎高 ∇	±50	歩長 l	-100	延長 L_1, L_2	-200	施工延長40m(測点間隔20mの割合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 「3次元計測技術を用いた出来形管理業務(張)標準工法」の規定による測定の管理方法を用いることができる。 	3-2-5-3	I-23																									
基礎高 ∇	±50																																															
歩長 l	-100																																															
延長 L_1, L_2	-200																																															
基礎高 ∇	±50																																															
歩長 l	-100																																															
延長 L_1, L_2	-200																																															
	3 土木工事 2 一般 4 基礎 5 H	3 3 コンクリートブロック工 (天端積ブロック)	<table border="1"> <tr><td>基礎高 ∇</td><td>±50</td></tr> <tr><td>幅 w</td><td>-100</td></tr> <tr><td>延長 L</td><td>-200</td></tr> </table>	基礎高 ∇	±50	幅 w	-100	延長 L	-200	施工延長40m(測点間隔20mの割合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 	3-2-5-3	3 土木工事 2 一般 4 基礎 5 H	3 3 コンクリートブロック工 (天端積ブロック)	<table border="1"> <tr><td>基礎高 ∇</td><td>±50</td></tr> <tr><td>幅 w</td><td>-100</td></tr> <tr><td>延長 L</td><td>-200</td></tr> </table>	基礎高 ∇	±50	幅 w	-100	延長 L	-200	施工延長40m(測点間隔20mの割合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 「3次元計測技術を用いた出来形管理業務(張)標準工法」の規定による測定の管理方法を用いることができる。 	3-2-5-3	I-24																									
基礎高 ∇	±50																																															
幅 w	-100																																															
延長 L	-200																																															
基礎高 ∇	±50																																															
幅 w	-100																																															
延長 L	-200																																															
	3 土木工事 2 一般 4 基礎 5 H	3 4 コンクリートブロック工 (天端コンクリート)	<table border="1"> <tr><td>幅 w</td><td>-50</td></tr> <tr><td>厚さ t</td><td>-20</td></tr> <tr><td>延長 L</td><td>-200</td></tr> </table>	幅 w	-50	厚さ t	-20	延長 L	-200	施工延長40m(測点間隔20mの割合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 1施工箇所 	3-2-5-3	3 土木工事 2 一般 4 基礎 5 H	3 4 コンクリートブロック工 (天端コンクリート)	<table border="1"> <tr><td>幅 w</td><td>-50</td></tr> <tr><td>厚さ t</td><td>-20</td></tr> <tr><td>延長 L</td><td>-200</td></tr> </table>	幅 w	-50	厚さ t	-20	延長 L	-200	施工延長40m(測点間隔20mの割合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 1施工箇所 	3-2-5-3	I-24																									
幅 w	-50																																															
厚さ t	-20																																															
延長 L	-200																																															
幅 w	-50																																															
厚さ t	-20																																															
延長 L	-200																																															
3-2-5-4 緑化ブロック工	3 土木工事 2 一般 4 基礎 5 H	3 4 緑化ブロック工	<table border="1"> <tr><td>基礎高 ∇</td><td>±50</td></tr> <tr><td>歩長 l</td><td>4<3m 4≧3m</td><td>-50 -100</td></tr> <tr><td>厚さ(ブロック) t_1</td><td>-50</td></tr> <tr><td>厚さ(基礎) t_2</td><td>-50</td></tr> <tr><td>延長 L</td><td>-200</td></tr> </table>	基礎高 ∇	±50	歩長 l	4<3m 4≧3m	-50 -100	厚さ(ブロック) t_1	-50	厚さ(基礎) t_2	-50	延長 L	-200	施工延長40m(測点間隔20mの割合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所、厚さは上端部及び下端部の2ヶ所を測定。 	3-2-5-4	3 土木工事 2 一般 4 基礎 5 H	3 4 緑化ブロック工	<table border="1"> <tr><td>基礎高 ∇</td><td>±50</td></tr> <tr><td>歩長 l</td><td>4<3m 4≧3m</td><td>-50 -100</td></tr> <tr><td>厚さ(ブロック) t_1</td><td>-50</td></tr> <tr><td>厚さ(基礎) t_2</td><td>-50</td></tr> <tr><td>延長 L</td><td>-200</td></tr> </table>	基礎高 ∇	±50	歩長 l	4<3m 4≧3m	-50 -100	厚さ(ブロック) t_1	-50	厚さ(基礎) t_2	-50	延長 L	-200	施工延長40m(測点間隔20mの割合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所、厚さは上端部及び下端部の2ヶ所を測定。 「3次元計測技術を用いた出来形管理業務(張)標準工法」の規定による測定の管理方法を用いることができる。 	3-2-5-4	I-24															
基礎高 ∇	±50																																															
歩長 l	4<3m 4≧3m	-50 -100																																														
厚さ(ブロック) t_1	-50																																															
厚さ(基礎) t_2	-50																																															
延長 L	-200																																															
基礎高 ∇	±50																																															
歩長 l	4<3m 4≧3m	-50 -100																																														
厚さ(ブロック) t_1	-50																																															
厚さ(基礎) t_2	-50																																															
延長 L	-200																																															
3-2-5-5 石積(張)工	3 土木工事 2 一般 4 基礎 5 H	3 5 石積(張)工	<table border="1"> <tr><td>基礎高 ∇</td><td>±50</td></tr> <tr><td>歩長 l</td><td>4<3m 4≧3m</td><td>-50 -100</td></tr> <tr><td>厚さ(石積・張) t_1</td><td>-50</td></tr> <tr><td>厚さ(基礎) t_2</td><td>-50</td></tr> <tr><td>延長 L</td><td>-200</td></tr> </table>	基礎高 ∇	±50	歩長 l	4<3m 4≧3m	-50 -100	厚さ(石積・張) t_1	-50	厚さ(基礎) t_2	-50	延長 L	-200	施工延長40m(測点間隔20mの割合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所、厚さは上端部及び下端部の2ヶ所を測定。 	3-2-5-5	3 土木工事 2 一般 4 基礎 5 H	3 5 石積(張)工	<table border="1"> <tr><td>基礎高 ∇</td><td>±50</td></tr> <tr><td>歩長 l</td><td>4<3m 4≧3m</td><td>-50 -100</td></tr> <tr><td>厚さ(石積・張) t_1</td><td>-50</td></tr> <tr><td>厚さ(基礎) t_2</td><td>-50</td></tr> <tr><td>延長 L</td><td>-200</td></tr> </table>	基礎高 ∇	±50	歩長 l	4<3m 4≧3m	-50 -100	厚さ(石積・張) t_1	-50	厚さ(基礎) t_2	-50	延長 L	-200	施工延長40m(測点間隔20mの割合は50m)につき1ヶ所、延長40m(又は50m)以下のものは1施工箇所につき2ヶ所、厚さは上端部及び下端部の2ヶ所を測定。 「3次元計測技術を用いた出来形管理業務(張)標準工法」の規定による測定の管理方法を用いることができる。 	3-2-5-5	I-25															
基礎高 ∇	±50																																															
歩長 l	4<3m 4≧3m	-50 -100																																														
厚さ(石積・張) t_1	-50																																															
厚さ(基礎) t_2	-50																																															
延長 L	-200																																															
基礎高 ∇	±50																																															
歩長 l	4<3m 4≧3m	-50 -100																																														
厚さ(石積・張) t_1	-50																																															
厚さ(基礎) t_2	-50																																															
延長 L	-200																																															

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

出来形管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所：赤字】	頁番号																																					
第6節 一般舗装工																																								
3-2-6-6 橋面防水工		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">7</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 15%;">橋面防水工</td> <td style="width: 15%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">コンクリート床版面の 乾燥状態</td> <td style="width: 20%;">良好</td> <td style="width: 20%;">全面 目視確認</td> <td rowspan="6" style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> <td rowspan="6" style="width: 30%; vertical-align: top;"> 道路橋床防水工 「要領」(注)を 参照 </td> </tr> <tr> <td>凍結状態</td> <td>良好</td> <td>全面 目視確認</td> </tr> <tr> <td>水分量(%)</td> <td>10%以下</td> <td>30%を超えない範囲で1日1回実施。量に幅の 標準値を10%とする。</td> </tr> <tr> <td>床面防水層の はがれ</td> <td>異常なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シワ</td> <td>異常なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>異音</td> <td>異常なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>キズ</td> <td>異常なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>量に幅(%)</td> <td>-10</td> <td>+50</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">I-25</td> </tr> </table>	3	2	6	7	1	橋面防水工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">コンクリート床版面の 乾燥状態</td> <td style="width: 20%;">良好</td> <td style="width: 20%;">全面 目視確認</td> <td rowspan="6" style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> <td rowspan="6" style="width: 30%; vertical-align: top;"> 道路橋床防水工 「要領」(注)を 参照 </td> </tr> <tr> <td>凍結状態</td> <td>良好</td> <td>全面 目視確認</td> </tr> <tr> <td>水分量(%)</td> <td>10%以下</td> <td>30%を超えない範囲で1日1回実施。量に幅の 標準値を10%とする。</td> </tr> <tr> <td>床面防水層の はがれ</td> <td>異常なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シワ</td> <td>異常なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>異音</td> <td>異常なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>キズ</td> <td>異常なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>量に幅(%)</td> <td>-10</td> <td>+50</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	コンクリート床版面の 乾燥状態	良好	全面 目視確認		道路橋床防水工 「要領」(注)を 参照	凍結状態	良好	全面 目視確認	水分量(%)	10%以下	30%を超えない範囲で1日1回実施。量に幅の 標準値を10%とする。	床面防水層の はがれ	異常なし		シワ	異常なし		異音	異常なし		キズ	異常なし			量に幅(%)	-10	+50			I-25	
3	2	6	7	1	橋面防水工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">コンクリート床版面の 乾燥状態</td> <td style="width: 20%;">良好</td> <td style="width: 20%;">全面 目視確認</td> <td rowspan="6" style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;">  </td> <td rowspan="6" style="width: 30%; vertical-align: top;"> 道路橋床防水工 「要領」(注)を 参照 </td> </tr> <tr> <td>凍結状態</td> <td>良好</td> <td>全面 目視確認</td> </tr> <tr> <td>水分量(%)</td> <td>10%以下</td> <td>30%を超えない範囲で1日1回実施。量に幅の 標準値を10%とする。</td> </tr> <tr> <td>床面防水層の はがれ</td> <td>異常なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>シワ</td> <td>異常なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>異音</td> <td>異常なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td>キズ</td> <td>異常なし</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>量に幅(%)</td> <td>-10</td> <td>+50</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	コンクリート床版面の 乾燥状態	良好	全面 目視確認		道路橋床防水工 「要領」(注)を 参照	凍結状態			良好	全面 目視確認	水分量(%)	10%以下	30%を超えない範囲で1日1回実施。量に幅の 標準値を10%とする。	床面防水層の はがれ	異常なし		シワ	異常なし		異音	異常なし		キズ	異常なし			量に幅(%)	-10	+50			I-25		
コンクリート床版面の 乾燥状態	良好	全面 目視確認		道路橋床防水工 「要領」(注)を 参照																																				
凍結状態	良好	全面 目視確認																																						
水分量(%)	10%以下	30%を超えない範囲で1日1回実施。量に幅の 標準値を10%とする。																																						
床面防水層の はがれ	異常なし																																							
シワ	異常なし																																							
異音	異常なし																																							
キズ	異常なし																																							
量に幅(%)	-10	+50																																						
3-2-6-7 アスファルト舗装工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">7</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 15%;">アスファルト舗装工 (下層路盤工)</td> <td style="width: 15%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">基準高▽</td> <td style="width: 20%;">±40 ±50</td> <td style="width: 20%;">—</td> <td style="width: 20%;">—</td> <td rowspan="3" style="width: 30%; vertical-align: top;"> 工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた 上での管理が可能な工事を行い、舗装施工 面積が10,000㎡以上あるいは使用する基層お よび表層用混合物の総使用量が、3,000㎡以 上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規 模は小さいものの、管理結果を施工管理に 反映できる規模の工事を行い、同一工種の施 工が数日連続する場合で、次のいずれかに該 当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用 量が3,000㎡未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の 割合で規格値を満足しなければならないこと と、10個の測定値の平均値 (X₁₀) につい て満足しなければならない。ただし、厚さの データ数が10個未満の場合は測定値の平均値 は適用しない。 </td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>-45 -45 -15 -15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>-50 -50</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">I-26</td> </tr> </table>	3	2	6	7	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">基準高▽</td> <td style="width: 20%;">±40 ±50</td> <td style="width: 20%;">—</td> <td style="width: 20%;">—</td> <td rowspan="3" style="width: 30%; vertical-align: top;"> 工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた 上での管理が可能な工事を行い、舗装施工 面積が10,000㎡以上あるいは使用する基層お よび表層用混合物の総使用量が、3,000㎡以 上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規 模は小さいものの、管理結果を施工管理に 反映できる規模の工事を行い、同一工種の施 工が数日連続する場合で、次のいずれかに該 当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用 量が3,000㎡未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の 割合で規格値を満足しなければならないこと と、10個の測定値の平均値 (X₁₀) につい て満足しなければならない。ただし、厚さの データ数が10個未満の場合は測定値の平均値 は適用しない。 </td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>-45 -45 -15 -15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>-50 -50</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	基準高▽	±40 ±50	—	—	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた 上での管理が可能な工事を行い、舗装施工 面積が10,000㎡以上あるいは使用する基層お よび表層用混合物の総使用量が、3,000㎡以 上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規 模は小さいものの、管理結果を施工管理に 反映できる規模の工事を行い、同一工種の施 工が数日連続する場合で、次のいずれかに該 当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用 量が3,000㎡未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の 割合で規格値を満足しなければならないこと と、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) につい て満足しなければならない。ただし、厚さの データ数が10個未満の場合は測定値の平均値 は適用しない。	厚さ	-45 -45 -15 -15			幅	-50 -50			I-26																		
3	2	6	7	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">基準高▽</td> <td style="width: 20%;">±40 ±50</td> <td style="width: 20%;">—</td> <td style="width: 20%;">—</td> <td rowspan="3" style="width: 30%; vertical-align: top;"> 工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた 上での管理が可能な工事を行い、舗装施工 面積が10,000㎡以上あるいは使用する基層お よび表層用混合物の総使用量が、3,000㎡以 上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規 模は小さいものの、管理結果を施工管理に 反映できる規模の工事を行い、同一工種の施 工が数日連続する場合で、次のいずれかに該 当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用 量が3,000㎡未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の 割合で規格値を満足しなければならないこと と、10個の測定値の平均値 (X₁₀) につい て満足しなければならない。ただし、厚さの データ数が10個未満の場合は測定値の平均値 は適用しない。 </td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>-45 -45 -15 -15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>-50 -50</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	基準高▽	±40 ±50	—	—	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた 上での管理が可能な工事を行い、舗装施工 面積が10,000㎡以上あるいは使用する基層お よび表層用混合物の総使用量が、3,000㎡以 上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規 模は小さいものの、管理結果を施工管理に 反映できる規模の工事を行い、同一工種の施 工が数日連続する場合で、次のいずれかに該 当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用 量が3,000㎡未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の 割合で規格値を満足しなければならないこと と、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) につい て満足しなければならない。ただし、厚さの データ数が10個未満の場合は測定値の平均値 は適用しない。	厚さ		-45 -45 -15 -15			幅	-50 -50			I-26																			
基準高▽	±40 ±50	—	—	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた 上での管理が可能な工事を行い、舗装施工 面積が10,000㎡以上あるいは使用する基層お よび表層用混合物の総使用量が、3,000㎡以 上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規 模は小さいものの、管理結果を施工管理に 反映できる規模の工事を行い、同一工種の施 工が数日連続する場合で、次のいずれかに該 当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用 量が3,000㎡未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の 割合で規格値を満足しなければならないこと と、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) につい て満足しなければならない。ただし、厚さの データ数が10個未満の場合は測定値の平均値 は適用しない。																																				
厚さ	-45 -45 -15 -15																																							
幅	-50 -50																																							
3-2-6-7 アスファルト舗装工		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">7</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 15%;">アスファルト舗装工 (下層路盤工)</td> <td style="width: 15%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">基準高▽</td> <td style="width: 20%;">±40 ±50</td> <td style="width: 20%;">—</td> <td style="width: 20%;">—</td> <td rowspan="3" style="width: 30%; vertical-align: top;"> 工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた 上での管理が可能な工事を行い、舗装施工 面積が10,000㎡以上あるいは使用する基層お よび表層用混合物の総使用量が、3,000㎡以 上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規 模は小さいものの、管理結果を施工管理に 反映できる規模の工事を行い、同一工種の施 工が数日連続する場合で、次のいずれかに該 当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用 量が3,000㎡未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の 割合で規格値を満足しなければならないこと と、10個の測定値の平均値 (X₁₀) につい て満足しなければならない。ただし、厚さの データ数が10個未満の場合は測定値の平均値 は適用しない。 </td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>-45 -45 -15 -15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>-50 -50</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">I-26</td> </tr> </table>	3	2	6	7	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">基準高▽</td> <td style="width: 20%;">±40 ±50</td> <td style="width: 20%;">—</td> <td style="width: 20%;">—</td> <td rowspan="3" style="width: 30%; vertical-align: top;"> 工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた 上での管理が可能な工事を行い、舗装施工 面積が10,000㎡以上あるいは使用する基層お よび表層用混合物の総使用量が、3,000㎡以 上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規 模は小さいものの、管理結果を施工管理に 反映できる規模の工事を行い、同一工種の施 工が数日連続する場合で、次のいずれかに該 当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用 量が3,000㎡未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の 割合で規格値を満足しなければならないこと と、10個の測定値の平均値 (X₁₀) につい て満足しなければならない。ただし、厚さの データ数が10個未満の場合は測定値の平均値 は適用しない。 </td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>-45 -45 -15 -15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>-50 -50</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	基準高▽	±40 ±50	—	—	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた 上での管理が可能な工事を行い、舗装施工 面積が10,000㎡以上あるいは使用する基層お よび表層用混合物の総使用量が、3,000㎡以 上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規 模は小さいものの、管理結果を施工管理に 反映できる規模の工事を行い、同一工種の施 工が数日連続する場合で、次のいずれかに該 当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用 量が3,000㎡未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の 割合で規格値を満足しなければならないこと と、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) につい て満足しなければならない。ただし、厚さの データ数が10個未満の場合は測定値の平均値 は適用しない。	厚さ	-45 -45 -15 -15			幅	-50 -50			I-26																	
3	2	6	7	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">基準高▽</td> <td style="width: 20%;">±40 ±50</td> <td style="width: 20%;">—</td> <td style="width: 20%;">—</td> <td rowspan="3" style="width: 30%; vertical-align: top;"> 工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた 上での管理が可能な工事を行い、舗装施工 面積が10,000㎡以上あるいは使用する基層お よび表層用混合物の総使用量が、3,000㎡以 上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規 模は小さいものの、管理結果を施工管理に 反映できる規模の工事を行い、同一工種の施 工が数日連続する場合で、次のいずれかに該 当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用 量が3,000㎡未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の 割合で規格値を満足しなければならないこと と、10個の測定値の平均値 (X₁₀) につい て満足しなければならない。ただし、厚さの データ数が10個未満の場合は測定値の平均値 は適用しない。 </td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>-45 -45 -15 -15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>-50 -50</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	基準高▽	±40 ±50	—	—	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた 上での管理が可能な工事を行い、舗装施工 面積が10,000㎡以上あるいは使用する基層お よび表層用混合物の総使用量が、3,000㎡以 上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規 模は小さいものの、管理結果を施工管理に 反映できる規模の工事を行い、同一工種の施 工が数日連続する場合で、次のいずれかに該 当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用 量が3,000㎡未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の 割合で規格値を満足しなければならないこと と、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) につい て満足しなければならない。ただし、厚さの データ数が10個未満の場合は測定値の平均値 は適用しない。	厚さ	-45 -45 -15 -15				幅	-50 -50			I-26																			
基準高▽	±40 ±50	—	—	工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた 上での管理が可能な工事を行い、舗装施工 面積が10,000㎡以上あるいは使用する基層お よび表層用混合物の総使用量が、3,000㎡以 上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規 模は小さいものの、管理結果を施工管理に 反映できる規模の工事を行い、同一工種の施 工が数日連続する場合で、次のいずれかに該 当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用 量が3,000㎡未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の 割合で規格値を満足しなければならないこと と、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) につい て満足しなければならない。ただし、厚さの データ数が10個未満の場合は測定値の平均値 は適用しない。																																				
厚さ	-45 -45 -15 -15																																							
幅	-50 -50																																							
3-2-6-7 アスファルト舗装工		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">7</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 15%;">アスファルト舗装工 (下層路盤工) (面管理の場合)</td> <td style="width: 15%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">基準高▽</td> <td style="width: 20%;">±90 ±90</td> <td style="width: 20%;">+40</td> <td style="width: 20%;">+50</td> <td rowspan="3" style="width: 30%; vertical-align: top;"> 1. 3次元データによる出来形管理において 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (要) 舗装工種多量計測技術(面管理の場 合)」に基づき出来形管理を実施する場合、 その他基準に規定する計測精度・計測密度 を満たす計測方法により出来形管理を実施 する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度とし て±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての 点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡ (平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高 値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、 直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値 +設計厚さから求める高さとの差とする。こ の場合、基準値の評価は省略する。 </td> </tr> <tr> <td>厚さあるいは標高較差</td> <td>±90 ±90</td> <td>+40 -15</td> <td>+50 -15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">I-27</td> </tr> </table>	3	2	6	7	2	アスファルト舗装工 (下層路盤工) (面管理の場合)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">基準高▽</td> <td style="width: 20%;">±90 ±90</td> <td style="width: 20%;">+40</td> <td style="width: 20%;">+50</td> <td rowspan="3" style="width: 30%; vertical-align: top;"> 1. 3次元データによる出来形管理において 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (要) 舗装工種多量計測技術(面管理の場 合)」に基づき出来形管理を実施する場合、 その他基準に規定する計測精度・計測密度 を満たす計測方法により出来形管理を実施 する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度とし て±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての 点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡ (平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高 値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、 直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値 +設計厚さから求める高さとの差とする。こ の場合、基準値の評価は省略する。 </td> </tr> <tr> <td>厚さあるいは標高較差</td> <td>±90 ±90</td> <td>+40 -15</td> <td>+50 -15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	基準高▽	±90 ±90	+40	+50	1. 3次元データによる出来形管理において 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (要) 舗装工種多量計測技術(面管理の場 合)」に基づき出来形管理を実施する場合、 その他基準に規定する計測精度・計測密度 を満たす計測方法により出来形管理を実施 する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度とし て±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての 点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡ (平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高 値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、 直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値 +設計厚さから求める高さとの差とする。こ の場合、基準値の評価は省略する。	厚さあるいは標高較差	±90 ±90	+40 -15	+50 -15					I-27																	
3	2	6	7	2	アスファルト舗装工 (下層路盤工) (面管理の場合)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">基準高▽</td> <td style="width: 20%;">±90 ±90</td> <td style="width: 20%;">+40</td> <td style="width: 20%;">+50</td> <td rowspan="3" style="width: 30%; vertical-align: top;"> 1. 3次元データによる出来形管理において 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (要) 舗装工種多量計測技術(面管理の場 合)」に基づき出来形管理を実施する場合、 その他基準に規定する計測精度・計測密度 を満たす計測方法により出来形管理を実施 する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度とし て±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての 点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡ (平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高 値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、 直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値 +設計厚さから求める高さとの差とする。こ の場合、基準値の評価は省略する。 </td> </tr> <tr> <td>厚さあるいは標高較差</td> <td>±90 ±90</td> <td>+40 -15</td> <td>+50 -15</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	基準高▽	±90 ±90	+40	+50	1. 3次元データによる出来形管理において 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (要) 舗装工種多量計測技術(面管理の場 合)」に基づき出来形管理を実施する場合、 その他基準に規定する計測精度・計測密度 を満たす計測方法により出来形管理を実施 する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度とし て±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての 点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡ (平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高 値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、 直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値 +設計厚さから求める高さとの差とする。こ の場合、基準値の評価は省略する。	厚さあるいは標高較差	±90 ±90		+40 -15	+50 -15					I-27																			
基準高▽	±90 ±90	+40	+50	1. 3次元データによる出来形管理において 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領 (要) 舗装工種多量計測技術(面管理の場 合)」に基づき出来形管理を実施する場合、 その他基準に規定する計測精度・計測密度 を満たす計測方法により出来形管理を実施 する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度とし て±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての 点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡ (平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高 値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、 直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値 +設計厚さから求める高さとの差とする。こ の場合、基準値の評価は省略する。																																				
厚さあるいは標高較差	±90 ±90	+40 -15	+50 -15																																					
3-2-6-7 アスファルト舗装工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">7</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 15%;">アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工</td> <td style="width: 15%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">厚さ</td> <td style="width: 20%;">-25 -30</td> <td style="width: 20%;">-8</td> <td style="width: 20%;">-10</td> <td rowspan="2" style="width: 30%; vertical-align: top;"> 幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合とし、厚さは 各車線200m毎に1ヶ所を隔り起して測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80 m以下の間隔で測定することができる。 工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた 上での管理が可能な工事を行い、舗装施工 面積が10,000㎡以上あるいは使用する基層お よび表層用混合物の総使用量が、3,000㎡以 上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規 模は小さいものの、管理結果を施工管理に 反映できる規模の工事を行い、同一工種の施 工が数日連続する場合で、次のいずれかに該 当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用 量が3,000㎡未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の 割合で規格値を満足しなければならないこと と、10個の測定値の平均値 (X₁₀) につい て満足しなければならない。ただし、厚さの データ数が10個未満の場合は測定値の平均値 は適用しない。 </td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>-50 -50</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">I-27</td> </tr> </table>	3	2	6	7	2	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">厚さ</td> <td style="width: 20%;">-25 -30</td> <td style="width: 20%;">-8</td> <td style="width: 20%;">-10</td> <td rowspan="2" style="width: 30%; vertical-align: top;"> 幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合とし、厚さは 各車線200m毎に1ヶ所を隔り起して測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80 m以下の間隔で測定することができる。 工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた 上での管理が可能な工事を行い、舗装施工 面積が10,000㎡以上あるいは使用する基層お よび表層用混合物の総使用量が、3,000㎡以 上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規 模は小さいものの、管理結果を施工管理に 反映できる規模の工事を行い、同一工種の施 工が数日連続する場合で、次のいずれかに該 当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用 量が3,000㎡未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の 割合で規格値を満足しなければならないこと と、10個の測定値の平均値 (X₁₀) につい て満足しなければならない。ただし、厚さの データ数が10個未満の場合は測定値の平均値 は適用しない。 </td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>-50 -50</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	厚さ	-25 -30	-8	-10	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合とし、厚さは 各車線200m毎に1ヶ所を隔り起して測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80 m以下の間隔で測定することができる。 工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた 上での管理が可能な工事を行い、舗装施工 面積が10,000㎡以上あるいは使用する基層お よび表層用混合物の総使用量が、3,000㎡以 上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規 模は小さいものの、管理結果を施工管理に 反映できる規模の工事を行い、同一工種の施 工が数日連続する場合で、次のいずれかに該 当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用 量が3,000㎡未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の 割合で規格値を満足しなければならないこと と、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) につい て満足しなければならない。ただし、厚さの データ数が10個未満の場合は測定値の平均値 は適用しない。	幅	-50 -50			I-27																						
3	2	6	7	2	アスファルト舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">厚さ</td> <td style="width: 20%;">-25 -30</td> <td style="width: 20%;">-8</td> <td style="width: 20%;">-10</td> <td rowspan="2" style="width: 30%; vertical-align: top;"> 幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合とし、厚さは 各車線200m毎に1ヶ所を隔り起して測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80 m以下の間隔で測定することができる。 工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた 上での管理が可能な工事を行い、舗装施工 面積が10,000㎡以上あるいは使用する基層お よび表層用混合物の総使用量が、3,000㎡以 上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規 模は小さいものの、管理結果を施工管理に 反映できる規模の工事を行い、同一工種の施 工が数日連続する場合で、次のいずれかに該 当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用 量が3,000㎡未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の 割合で規格値を満足しなければならないこと と、10個の測定値の平均値 (X₁₀) につい て満足しなければならない。ただし、厚さの データ数が10個未満の場合は測定値の平均値 は適用しない。 </td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>-50 -50</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	厚さ	-25 -30	-8	-10	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合とし、厚さは 各車線200m毎に1ヶ所を隔り起して測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80 m以下の間隔で測定することができる。 工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた 上での管理が可能な工事を行い、舗装施工 面積が10,000㎡以上あるいは使用する基層お よび表層用混合物の総使用量が、3,000㎡以 上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規 模は小さいものの、管理結果を施工管理に 反映できる規模の工事を行い、同一工種の施 工が数日連続する場合で、次のいずれかに該 当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用 量が3,000㎡未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の 割合で規格値を満足しなければならないこと と、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) につい て満足しなければならない。ただし、厚さの データ数が10個未満の場合は測定値の平均値 は適用しない。	幅		-50 -50			I-27																							
厚さ	-25 -30	-8	-10	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合とし、厚さは 各車線200m毎に1ヶ所を隔り起して測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず延長80 m以下の間隔で測定することができる。 工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を描いた 上での管理が可能な工事を行い、舗装施工 面積が10,000㎡以上あるいは使用する基層お よび表層用混合物の総使用量が、3,000㎡以 上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規 模は小さいものの、管理結果を施工管理に 反映できる規模の工事を行い、同一工種の施 工が数日連続する場合で、次のいずれかに該 当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用 量が3,000㎡未満 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の 割合で規格値を満足しなければならないこと と、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) につい て満足しなければならない。ただし、厚さの データ数が10個未満の場合は測定値の平均値 は適用しない。																																				
幅	-50 -50																																							

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

出来形管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所：赤字】	頁番号								
3 土木 工事 共通 仕様	2 一般 施工 工事 共通 仕様	6 一般 舗装 工事	7 1	5 アスファルト舗装工 (表層工)	厚さ	-9 -12 -3 -4	幅	-25 -25 — —	3-2-6-7	1 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(表) 舗装工種各表計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。	I-30
	2 一般 施工 工事 共通 仕様	6 一般 舗装 工事	7 1	5 アスファルト舗装工 (表層工)	厚さ	-9 -12 -3 -4	幅	-25 -25 — —	3-2-6-7	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(表) 舗装工種各表計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。	I-31
3 土木 工事 共通 仕様	2 一般 施工 工事 共通 仕様	6 一般 舗装 工事	7 1	5 アスファルト舗装工 (表層工)	厚さ	-9 -12 -3 -4	幅	-25 -25 — —	3-2-6-7	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(表) 舗装工種各表計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。	I-32
	2 一般 施工 工事 共通 仕様	6 一般 舗装 工事	7 1	5 アスファルト舗装工 (表層工)	厚さ	-9 -12 -3 -4	幅	-25 -25 — —	3-2-6-7	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(表) 舗装工種各表計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。	I-33

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

出来形管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所：赤字】	頁番号													
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td> <td style="width: 2%;">2</td> <td style="width: 2%;">6</td> <td style="width: 2%;">7</td> <td style="width: 2%;">12</td> <td style="width: 10%;">アスファルト舗装工 (表層工) (面管理の場合)</td> <td style="width: 10%;">厚さあるいは標高較差 —</td> <td style="width: 10%;">-17</td> <td style="width: 10%;">-20</td> <td style="width: 10%;">-2</td> <td style="width: 10%;">-8</td> <td style="width: 40%;"> <p>1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(※)舗装工種多量計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。</p> <p>2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。</p> <p>3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。</p> <p>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。</p> <p>5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。</p> </td> <td style="width: 5%;">3-2-6-7</td> </tr> </table>	3	2	6	7	12	アスファルト舗装工 (表層工) (面管理の場合)	厚さあるいは標高較差 —	-17	-20	-2	-8	<p>1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(※)舗装工種多量計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。</p> <p>2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。</p> <p>3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。</p> <p>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。</p> <p>5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。</p>	3-2-6-7	I-34
3	2	6	7	12	アスファルト舗装工 (表層工) (面管理の場合)	厚さあるいは標高較差 —	-17	-20	-2	-8	<p>1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(※)舗装工種多量計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。</p> <p>2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。</p> <p>3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。</p> <p>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。</p> <p>5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。</p>	3-2-6-7				
3-2-6-8 半たわみ性舗装工		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td> <td style="width: 2%;">2</td> <td style="width: 2%;">6</td> <td style="width: 2%;">8</td> <td style="width: 2%;">2</td> <td style="width: 10%;">半たわみ性舗装工 (下層路盤工) (面管理の場合)</td> <td style="width: 10%;">基準高ワ ±90 ±90 +40 +50 -15 -15</td> <td style="width: 10%;">±90</td> <td style="width: 10%;">±90</td> <td style="width: 10%;">+40</td> <td style="width: 10%;">+50</td> <td style="width: 40%;"> <p>1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(※)舗装工種多量計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。</p> <p>2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。</p> <p>3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。</p> <p>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。</p> <p>5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。この場合、基準値の評価は省略する。</p> </td> <td style="width: 5%;">3-2-6-8</td> </tr> </table>	3	2	6	8	2	半たわみ性舗装工 (下層路盤工) (面管理の場合)	基準高ワ ±90 ±90 +40 +50 -15 -15	±90	±90	+40	+50	<p>1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(※)舗装工種多量計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。</p> <p>2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。</p> <p>3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。</p> <p>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。</p> <p>5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。この場合、基準値の評価は省略する。</p>	3-2-6-8	I-35
3	2	6	8	2	半たわみ性舗装工 (下層路盤工) (面管理の場合)	基準高ワ ±90 ±90 +40 +50 -15 -15	±90	±90	+40	+50	<p>1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(※)舗装工種多量計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。</p> <p>2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。</p> <p>3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。</p> <p>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。</p> <p>5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。この場合、基準値の評価は省略する。</p>	3-2-6-8				
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td> <td style="width: 2%;">2</td> <td style="width: 2%;">6</td> <td style="width: 2%;">8</td> <td style="width: 2%;">2</td> <td style="width: 10%;">半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 改良調整路盤工</td> <td style="width: 10%;">厚さ 幅</td> <td style="width: 10%;">-25</td> <td style="width: 10%;">-30</td> <td style="width: 10%;">-8</td> <td style="width: 10%;">-10</td> <td style="width: 40%;"> <p>幅は、延長80m毎に1ヶ所を割とし、厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を割り起して測定。ただし、幅は設計図書測点により延長80m以下の区間で測定することができる。</p> <p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。</p> </td> <td style="width: 5%;">3-2-6-8</td> </tr> </table>	3	2	6	8	2	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 改良調整路盤工	厚さ 幅	-25	-30	-8	-10	<p>幅は、延長80m毎に1ヶ所を割とし、厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を割り起して測定。ただし、幅は設計図書測点により延長80m以下の区間で測定することができる。</p> <p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。</p>	3-2-6-8	I-35	
3	2	6	8	2	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 改良調整路盤工	厚さ 幅	-25	-30	-8	-10	<p>幅は、延長80m毎に1ヶ所を割とし、厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を割り起して測定。ただし、幅は設計図書測点により延長80m以下の区間で測定することができる。</p> <p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。</p>	3-2-6-8				
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td> <td style="width: 2%;">2</td> <td style="width: 2%;">6</td> <td style="width: 2%;">8</td> <td style="width: 2%;">3</td> <td style="width: 10%;">半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 改良調整路盤工</td> <td style="width: 10%;">厚さ 幅</td> <td style="width: 10%;">-25</td> <td style="width: 10%;">-30</td> <td style="width: 10%;">-8</td> <td style="width: 10%;">-10</td> <td style="width: 40%;"> <p>幅は、延長80m毎に1ヶ所を割とし、厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を割り起して測定。ただし、幅は設計図書測点により延長80m以下の区間で測定することができる。</p> <p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。</p> </td> <td style="width: 5%;">3-2-6-8</td> </tr> </table>	3	2	6	8	3	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 改良調整路盤工	厚さ 幅	-25	-30	-8	-10	<p>幅は、延長80m毎に1ヶ所を割とし、厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を割り起して測定。ただし、幅は設計図書測点により延長80m以下の区間で測定することができる。</p> <p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。</p>	3-2-6-8	I-35
3	2	6	8	3	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 改良調整路盤工	厚さ 幅	-25	-30	-8	-10	<p>幅は、延長80m毎に1ヶ所を割とし、厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を割り起して測定。ただし、幅は設計図書測点により延長80m以下の区間で測定することができる。</p> <p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。</p>	3-2-6-8				
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td> <td style="width: 2%;">2</td> <td style="width: 2%;">6</td> <td style="width: 2%;">8</td> <td style="width: 2%;">4</td> <td style="width: 10%;">半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 改良調整路盤工 (面管理の場合)</td> <td style="width: 10%;">厚さあるいは標高較差</td> <td style="width: 10%;">-54</td> <td style="width: 10%;">-63</td> <td style="width: 10%;">-8</td> <td style="width: 10%;">-10</td> <td style="width: 40%;"> <p>1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(※)舗装工種多量計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。</p> <p>2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。</p> <p>3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。</p> <p>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。</p> <p>5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。</p> </td> <td style="width: 5%;">3-2-6-8</td> </tr> </table>	3	2	6	8	4	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 改良調整路盤工 (面管理の場合)	厚さあるいは標高較差	-54	-63	-8	-10	<p>1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(※)舗装工種多量計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。</p> <p>2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。</p> <p>3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。</p> <p>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。</p> <p>5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。</p>	3-2-6-8	I-36
3	2	6	8	4	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 改良調整路盤工 (面管理の場合)	厚さあるいは標高較差	-54	-63	-8	-10	<p>1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(※)舗装工種多量計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。</p> <p>2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。</p> <p>3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。</p> <p>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。</p> <p>5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。</p>	3-2-6-8				

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

出来形管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所：赤字】	頁番号														
3 土木 工事 共通 仕様	2 一般 施工 共通 仕様	6 一般 舗装 工	8 3	3	<p>平たわみ性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>厚さ</th> <th>-25</th> <th>-30</th> <th>-8</th> <th>-10</th> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>-50</td> <td>-50</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、100m²に1個の割でコアを採取もしくは掘り起こして測定。ただし、幅は設計図書の数値の割点によらず延長80m以下の区間で測定することができる。</p> <p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コア採取について 横面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によること出来る。</p>	厚さ	-25	-30	-8	-10	幅	-50	-50	—	—	3-2-6-8	I-36
	厚さ	-25	-30	-8	-10												
幅	-50	-50	—	—													
2 一般 施工 共通 仕様	6 一般 舗装 工	8 3	5	<p>平たわみ性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>厚さ</th> <th>-25</th> <th>-30</th> <th>-8</th> <th>-10</th> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>-50</td> <td>-50</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、100m²に1個の割でコアを採取もしくは掘り起こして測定。ただし、幅は設計図書の数値の割点によらず延長80m以下の区間で測定することができる。</p> <p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コア採取について 横面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によること出来る。</p>	厚さ	-25	-30	-8	-10	幅	-50	-50	—	—	3-2-6-8	I-36	
厚さ	-25	-30	-8	-10													
幅	-50	-50	—	—													
3 土木 工事 共通 仕様	2 一般 施工 共通 仕様	6 一般 舗装 工	8 4	4	<p>平たわみ性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>厚さ</th> <th>-15</th> <th>-20</th> <th>-5</th> <th>-7</th> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>-50</td> <td>-50</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、100m²に1個の割でコアを採取して測定。ただし、幅は設計図書の数値の割点によらず延長80m以下の区間で測定することができる。</p> <p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コア採取について 横面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によること出来る。</p>	厚さ	-15	-20	-5	-7	幅	-50	-50	—	—	3-2-6-8	I-37
	厚さ	-15	-20	-5	-7												
幅	-50	-50	—	—													
2 一般 施工 共通 仕様	6 一般 舗装 工	8 4	6	<p>平たわみ性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工) (面管理の場合)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>厚さあるいは標高較差</th> <th>-54</th> <th>-63</th> <th>-8</th> <th>-10</th> </tr> </table> <p>1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理(面管理)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計図書の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。</p> <p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。</p>	厚さあるいは標高較差	-54	-63	-8	-10	3-2-6-8	I-37						
厚さあるいは標高較差	-54	-63	-8	-10													
3 土木 工事 共通 仕様	2 一般 施工 共通 仕様	6 一般 舗装 工	8 8	7	<p>平たわみ性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>厚さ</th> <th>-15</th> <th>-20</th> <th>-5</th> <th>-7</th> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>-50</td> <td>-50</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、100m²に1個の割でコアを採取して測定。ただし、幅は設計図書の数値の割点によらず延長80m以下の区間で測定することができる。</p> <p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コア採取について 横面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によること出来る。</p>	厚さ	-15	-20	-5	-7	幅	-50	-50	—	—	3-2-6-8	I-38
	厚さ	-15	-20	-5	-7												
幅	-50	-50	—	—													
2 一般 施工 共通 仕様	6 一般 舗装 工	8 8	8	<p>平たわみ性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工) (面管理の場合)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>厚さあるいは標高較差</th> <th>-36</th> <th>-45</th> <th>-5</th> <th>-7</th> </tr> </table> <p>1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理(面管理)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計図書の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。</p> <p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。</p>	厚さあるいは標高較差	-36	-45	-5	-7	3-2-6-8	I-38						
厚さあるいは標高較差	-36	-45	-5	-7													
3 土木 工事 共通 仕様	2 一般 施工 共通 仕様	6 一般 舗装 工	8 5	5	<p>平たわみ性舗装工 (高層工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>厚さ</th> <th>-9</th> <th>-12</th> <th>-3</th> <th>-4</th> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>-25</td> <td>-25</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、100m²に1個の割でコアを採取して測定。ただし、幅は設計図書の数値の割点によらず延長80m以下の区間で測定することができる。</p> <p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コア採取について 横面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によること出来る。</p>	厚さ	-9	-12	-3	-4	幅	-25	-25	—	—	3-2-6-8	I-38
	厚さ	-9	-12	-3	-4												
幅	-25	-25	—	—													
2 一般 施工 共通 仕様	6 一般 舗装 工	8 5	9	<p>平たわみ性舗装工 (高層工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th>厚さ</th> <th>-9</th> <th>-12</th> <th>-3</th> <th>-4</th> </tr> <tr> <td>幅</td> <td>-25</td> <td>-25</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、100m²に1個の割でコアを採取して測定。ただし、幅は設計図書の数値の割点によらず延長80m以下の区間で測定することができる。</p> <p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コア採取について 横面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によること出来る。</p>	厚さ	-9	-12	-3	-4	幅	-25	-25	—	—	3-2-6-8	I-38	
厚さ	-9	-12	-3	-4													
幅	-25	-25	—	—													

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

出来形管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所：赤字】	頁番号										
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工 編	6 一般 舗装 工	9 3	3	排水性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	厚 さ	-25	-30	-8	-10	<p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は該当する。 コア採取について 横面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。</p>	3-2-6-9	I-42
	幅	-50	-50	—	—	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合とし、厚さは、1000㎓に1個の割合でコアを採取し、幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合とし、厚さは、1000㎓に1個の割合でコアを採取し、幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合で測定。ただし、幅は設計図書との差により延長80m以下の間隔で測定することができる。	幅	-50	-50	—		—	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工 編	6 一般 舗装 工	9 3	3	排水性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	厚 さ	-25	-30	-8	-10	<p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は該当する。 コア採取について 横面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。</p>	3-2-6-9	I-42
	幅	-50	-50	—	—	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合とし、厚さは、1000㎓に1個の割合でコアを採取し、幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合で測定。ただし、幅は設計図書との差により延長80m以下の間隔で測定することができる。	幅	-50	-50	—		—	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工 編	6 一般 舗装 工	9 3	4	排水性舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	厚 さ	-15	-20	-5	-7	<p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は該当する。 コア採取について 横面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。</p>	3-2-6-9	I-43
	幅	-50	-50	—	—	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合とし、厚さは、1000㎓に1個の割合でコアを採取し、幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合で測定。ただし、幅は設計図書との差により延長80m以下の間隔で測定することができる。	幅	-50	-50	—		—	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工 編	6 一般 舗装 工	9 3	4	排水性舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	厚 さ	-15	-20	-5	-7	<p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は該当する。 コア採取について 横面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。</p>	3-2-6-9	I-43
	幅	-50	-50	—	—	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合とし、厚さは、1000㎓に1個の割合でコアを採取し、幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合で測定。ただし、幅は設計図書との差により延長80m以下の間隔で測定することができる。	幅	-50	-50	—		—	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工 編	6 一般 舗装 工	9 3	8	排水性舗装工 (加熱アスファルト安定処理工) (面管理の場合)	厚 さあるいは標高較差	-36	-45	-5	-7	<p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は該当する。 コア採取について 横面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。</p>	3-2-6-9	I-44
	幅	-25	-25	—	—	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合とし、厚さは、1000㎓に1個の割合でコアを採取し、幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合で測定。ただし、幅は設計図書との差により延長80m以下の間隔で測定することができる。	幅	-25	-25	—		—	
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工 編	6 一般 舗装 工	9 3	9	排水性舗装工 (基層工)	厚 さ	-9	-12	-3	-4	<p>工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は該当する。 コア採取について 横面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることができる。</p>	3-2-6-9	I-44
	幅	-25	-25	—	—	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合とし、厚さは、1000㎓に1個の割合でコアを採取し、幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合で測定。ただし、幅は設計図書との差により延長80m以下の間隔で測定することができる。	幅	-25	-25	—		—	

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

出来形管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所：赤字】	頁番号																										
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">3</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 5%;">6</td> <td style="width: 5%;">9</td> <td style="width: 5%;">6</td> <td style="width: 15%;">排水性舗装工 (表層工)</td> <td style="width: 15%;">厚さ 幅 平坦性</td> <td style="width: 10%;">-7 -25 -</td> <td style="width: 10%;">-9 -25 -</td> <td style="width: 10%;">-2 - -</td> <td style="width: 10%;">-3 - -</td> <td style="width: 15%;">幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡毎に1個の割でコープを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す長さ80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。</td> <td style="width: 5%;">3-2-6-9</td> </tr> </table>	3	2	6	9	6	排水性舗装工 (表層工)	厚さ 幅 平坦性	-7 -25 -	-9 -25 -	-2 - -	-3 - -	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡毎に1個の割でコープを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す長さ80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	3-2-6-9	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">3</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 5%;">6</td> <td style="width: 5%;">9</td> <td style="width: 5%;">10</td> <td style="width: 15%;">排水性舗装工 (表層工)</td> <td style="width: 15%;">厚さ 幅 平坦性</td> <td style="width: 10%;">-10 -25 -</td> <td style="width: 10%;">-25 -25 -</td> <td style="width: 10%;">-3 - -</td> <td style="width: 10%;">-4 - -</td> <td style="width: 15%;">1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(表) 舗装工種多量計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計職員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。</td> <td style="width: 5%;">3-2-6-9</td> </tr> </table>	3	2	6	9	10	排水性舗装工 (表層工)	厚さ 幅 平坦性	-10 -25 -	-25 -25 -	-3 - -	-4 - -	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(表) 舗装工種多量計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計職員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	3-2-6-9	I-45
3	2	6	9	6	排水性舗装工 (表層工)	厚さ 幅 平坦性	-7 -25 -	-9 -25 -	-2 - -	-3 - -	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡毎に1個の割でコープを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す長さ80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	3-2-6-9																	
3	2	6	9	10	排水性舗装工 (表層工)	厚さ 幅 平坦性	-10 -25 -	-25 -25 -	-3 - -	-4 - -	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(表) 舗装工種多量計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計職員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	3-2-6-9																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">3</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 5%;">6</td> <td style="width: 5%;">9</td> <td style="width: 5%;">6</td> <td style="width: 15%;">排水性舗装工 (表層工)</td> <td style="width: 15%;">厚さ 幅 平坦性</td> <td style="width: 10%;">-7 -25 -</td> <td style="width: 10%;">-9 -25 -</td> <td style="width: 10%;">-2 - -</td> <td style="width: 10%;">-3 - -</td> <td style="width: 15%;">幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡毎に1個の割でコープを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す長さ80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。</td> <td style="width: 5%;">3-2-6-9</td> </tr> </table>	3	2	6	9	6	排水性舗装工 (表層工)	厚さ 幅 平坦性	-7 -25 -	-9 -25 -	-2 - -	-3 - -	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡毎に1個の割でコープを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す長さ80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	3-2-6-9	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">3</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 5%;">6</td> <td style="width: 5%;">9</td> <td style="width: 5%;">11</td> <td style="width: 15%;">排水性舗装工 (表層工)</td> <td style="width: 15%;">厚さ 幅 平坦性</td> <td style="width: 10%;">-7 -25 -</td> <td style="width: 10%;">-9 -25 -</td> <td style="width: 10%;">-2 - -</td> <td style="width: 10%;">-3 - -</td> <td style="width: 15%;">幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡毎に1個の割でコープを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す長さ80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。</td> <td style="width: 5%;">3-2-6-9</td> </tr> </table>	3	2	6	9	11	排水性舗装工 (表層工)	厚さ 幅 平坦性	-7 -25 -	-9 -25 -	-2 - -	-3 - -	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡毎に1個の割でコープを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す長さ80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	3-2-6-9	I-45
3	2	6	9	6	排水性舗装工 (表層工)	厚さ 幅 平坦性	-7 -25 -	-9 -25 -	-2 - -	-3 - -	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡毎に1個の割でコープを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す長さ80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	3-2-6-9																	
3	2	6	9	11	排水性舗装工 (表層工)	厚さ 幅 平坦性	-7 -25 -	-9 -25 -	-2 - -	-3 - -	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡毎に1個の割でコープを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す長さ80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	3-2-6-9																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">3</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 5%;">6</td> <td style="width: 5%;">9</td> <td style="width: 5%;">6</td> <td style="width: 15%;">排水性舗装工 (表層工)</td> <td style="width: 15%;">厚さ 幅 平坦性</td> <td style="width: 10%;">-7 -25 -</td> <td style="width: 10%;">-9 -25 -</td> <td style="width: 10%;">-2 - -</td> <td style="width: 10%;">-3 - -</td> <td style="width: 15%;">幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡毎に1個の割でコープを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す長さ80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。</td> <td style="width: 5%;">3-2-6-9</td> </tr> </table>	3	2	6	9	6	排水性舗装工 (表層工)	厚さ 幅 平坦性	-7 -25 -	-9 -25 -	-2 - -	-3 - -	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡毎に1個の割でコープを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す長さ80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	3-2-6-9	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">3</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 5%;">6</td> <td style="width: 5%;">9</td> <td style="width: 5%;">12</td> <td style="width: 15%;">排水性舗装工 (表層工)</td> <td style="width: 15%;">厚さ 幅 平坦性</td> <td style="width: 10%;">-7 -25 -</td> <td style="width: 10%;">-20 -25 -</td> <td style="width: 10%;">-2 - -</td> <td style="width: 10%;">-3 - -</td> <td style="width: 15%;">1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(表) 舗装工種多量計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計職員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。</td> <td style="width: 5%;">3-2-6-9</td> </tr> </table>	3	2	6	9	12	排水性舗装工 (表層工)	厚さ 幅 平坦性	-7 -25 -	-20 -25 -	-2 - -	-3 - -	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(表) 舗装工種多量計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計職員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	3-2-6-9	I-46
3	2	6	9	6	排水性舗装工 (表層工)	厚さ 幅 平坦性	-7 -25 -	-9 -25 -	-2 - -	-3 - -	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1000㎡毎に1個の割でコープを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す長さ80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	3-2-6-9																	
3	2	6	9	12	排水性舗装工 (表層工)	厚さ 幅 平坦性	-7 -25 -	-20 -25 -	-2 - -	-3 - -	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(表) 舗装工種多量計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計職員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	3-2-6-9																	
3-2-6-10 透水性舗装工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">3</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 5%;">6</td> <td style="width: 5%;">10</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 15%;">透水性舗装工 (表層工)</td> <td style="width: 15%;">厚さ 幅 平坦性</td> <td style="width: 10%;">-9 -25 -</td> <td style="width: 10%;">- - -</td> <td style="width: 10%;">-3 - -</td> <td style="width: 10%;">- - -</td> <td style="width: 15%;">幅は、片側延長90m毎に1ヶ所の割で測定。厚さは、片側延長90m毎に1ヶ所コープを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す長さ80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。</td> <td style="width: 5%;">3-2-6-10</td> </tr> </table>	3	2	6	10	2	透水性舗装工 (表層工)	厚さ 幅 平坦性	-9 -25 -	- - -	-3 - -	- - -	幅は、片側延長90m毎に1ヶ所の割で測定。厚さは、片側延長90m毎に1ヶ所コープを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す長さ80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	3-2-6-10	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">3</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 5%;">6</td> <td style="width: 5%;">10</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 15%;">透水性舗装工 (表層工)</td> <td style="width: 15%;">厚さ 幅 平坦性</td> <td style="width: 10%;">-9 -25 -</td> <td style="width: 10%;">- - -</td> <td style="width: 10%;">-3 - -</td> <td style="width: 10%;">- - -</td> <td style="width: 15%;">1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(表) 舗装工種多量計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計職員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。 ※歩道舗装に適用する。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。</td> <td style="width: 5%;">3-2-6-10</td> </tr> </table>	3	2	6	10	2	透水性舗装工 (表層工)	厚さ 幅 平坦性	-9 -25 -	- - -	-3 - -	- - -	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(表) 舗装工種多量計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計職員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。 ※歩道舗装に適用する。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	3-2-6-10	I-47
3	2	6	10	2	透水性舗装工 (表層工)	厚さ 幅 平坦性	-9 -25 -	- - -	-3 - -	- - -	幅は、片側延長90m毎に1ヶ所の割で測定。厚さは、片側延長90m毎に1ヶ所コープを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す長さ80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	3-2-6-10																	
3	2	6	10	2	透水性舗装工 (表層工)	厚さ 幅 平坦性	-9 -25 -	- - -	-3 - -	- - -	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(表) 舗装工種多量計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計職員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。 ※歩道舗装に適用する。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	3-2-6-10																	
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">3</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 5%;">6</td> <td style="width: 5%;">10</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 15%;">透水性舗装工 (表層工)</td> <td style="width: 15%;">厚さ 幅 平坦性</td> <td style="width: 10%;">-9 -25 -</td> <td style="width: 10%;">- - -</td> <td style="width: 10%;">-3 - -</td> <td style="width: 10%;">- - -</td> <td style="width: 15%;">幅は、片側延長90m毎に1ヶ所の割で測定。厚さは、片側延長90m毎に1ヶ所コープを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す長さ80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。</td> <td style="width: 5%;">3-2-6-10</td> </tr> </table>	3	2	6	10	2	透水性舗装工 (表層工)	厚さ 幅 平坦性	-9 -25 -	- - -	-3 - -	- - -	幅は、片側延長90m毎に1ヶ所の割で測定。厚さは、片側延長90m毎に1ヶ所コープを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す長さ80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	3-2-6-10	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">3</td> <td style="width: 5%;">2</td> <td style="width: 5%;">6</td> <td style="width: 5%;">10</td> <td style="width: 5%;">3</td> <td style="width: 15%;">透水性舗装工 (表層工)</td> <td style="width: 15%;">厚さ 幅 平坦性</td> <td style="width: 10%;">-9 -25 -</td> <td style="width: 10%;">- - -</td> <td style="width: 10%;">-3 - -</td> <td style="width: 10%;">- - -</td> <td style="width: 15%;">幅は、片側延長90m毎に1ヶ所の割で測定。厚さは、片側延長90m毎に1ヶ所コープを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す長さ80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。</td> <td style="width: 5%;">3-2-6-10</td> </tr> </table>	3	2	6	10	3	透水性舗装工 (表層工)	厚さ 幅 平坦性	-9 -25 -	- - -	-3 - -	- - -	幅は、片側延長90m毎に1ヶ所の割で測定。厚さは、片側延長90m毎に1ヶ所コープを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す長さ80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	3-2-6-10	I-47
3	2	6	10	2	透水性舗装工 (表層工)	厚さ 幅 平坦性	-9 -25 -	- - -	-3 - -	- - -	幅は、片側延長90m毎に1ヶ所の割で測定。厚さは、片側延長90m毎に1ヶ所コープを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す長さ80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	3-2-6-10																	
3	2	6	10	3	透水性舗装工 (表層工)	厚さ 幅 平坦性	-9 -25 -	- - -	-3 - -	- - -	幅は、片側延長90m毎に1ヶ所の割で測定。厚さは、片側延長90m毎に1ヶ所コープを採取して測定。ただし、幅は設計図書に示す長さ80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上で管理可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事は、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合は、同一工種の施工が数日連続する場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することができる。	3-2-6-10																	

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

出来形管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所：赤字】	頁番号																																																																																																		
		<table border="1"> <tr> <td>3</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>4</td> <td>透水性舗装工 (表層工) (面管理の場合)</td> <td>厚さあるいは標高較差</td> <td>-20</td> <td>-5</td> <td>1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(第3版)舗装工編」多面計測技術(面管理の場合)に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。 ※歩道舗装に適用する。</td> <td>3-2-6-10</td> </tr> </table>	3	2	6	10	4	透水性舗装工 (表層工) (面管理の場合)	厚さあるいは標高較差	-20	-5	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(第3版)舗装工編」多面計測技術(面管理の場合)に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。 ※歩道舗装に適用する。	3-2-6-10	I-48																																																																																							
3	2	6	10	4	透水性舗装工 (表層工) (面管理の場合)	厚さあるいは標高較差	-20	-5	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(第3版)舗装工編」多面計測技術(面管理の場合)に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。 ※歩道舗装に適用する。	3-2-6-10																																																																																											
		<table border="1"> <tr> <td>3</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>透水性舗装工 ひのり層</td> <td>基本値以下</td> <td>±50</td> <td></td> <td>基本値は、片側延長50m以下に計測し、片側延長50m以下に計測し、幅は、片側延長50m以下の区間。 3-2-6-10-1透水性舗装工(表層工)に準ずる。</td> <td>3-2-6-10</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>厚さ(t)</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅(B)</td> <td>-100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	10	5	透水性舗装工 ひのり層	基本値以下	±50		基本値は、片側延長50m以下に計測し、片側延長50m以下に計測し、幅は、片側延長50m以下の区間。 3-2-6-10-1透水性舗装工(表層工)に準ずる。	3-2-6-10							厚さ(t)	-30										幅(B)	-100				I-48																																																																	
3	2	6	10	5	透水性舗装工 ひのり層	基本値以下	±50		基本値は、片側延長50m以下に計測し、片側延長50m以下に計測し、幅は、片側延長50m以下の区間。 3-2-6-10-1透水性舗装工(表層工)に準ずる。	3-2-6-10																																																																																											
						厚さ(t)	-30																																																																																														
						幅(B)	-100																																																																																														
<p>3-2-6-11 ゲースアスファルト舗装工</p>		<table border="1"> <tr> <td>3</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>2</td> <td>ゲースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工) (面管理の場合)</td> <td>厚さあるいは標高較差</td> <td>-36</td> <td>-45</td> <td>-5</td> <td>-7</td> <td>1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(第3版)舗装工編多面計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。</td> <td>3-2-6-11</td> </tr> </table>	3	2	6	11	2	ゲースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工) (面管理の場合)	厚さあるいは標高較差	-36	-45	-5	-7	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(第3版)舗装工編多面計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。	3-2-6-11	I-49																																																																																					
3	2	6	11	2	ゲースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工) (面管理の場合)	厚さあるいは標高較差	-36	-45	-5	-7	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(第3版)舗装工編多面計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。	3-2-6-11																																																																																									
	<table border="1"> <tr> <td>3</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>2</td> <td>ゲースアスファルト舗装工 (表層工)</td> <td>厚さ</td> <td>-9</td> <td>-12</td> <td>-3</td> <td>-4</td> <td>幅は、延長80m毎に1ヶ所の測りとし、厚さは、100m毎に1ヶ所の測りにて測定。ただし、幅は設計位置の測点により片側延長80m以下の区間で測定することができる。 工事現場の考え方は、管理図等を備えた上で、中規模以上の工事は、管理図および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合は該当する。小規模工事は、中規模以上の工事より規格値は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をい、同一工種の施工が毎日連続する場合に該当する。 コープ採取について 橋面舗装等でコープ採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</td> <td>3-2-6-11</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>-25</td> <td>-25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	11	2	ゲースアスファルト舗装工 (表層工)	厚さ	-9	-12	-3	-4	幅は、延長80m毎に1ヶ所の測りとし、厚さは、100m毎に1ヶ所の測りにて測定。ただし、幅は設計位置の測点により片側延長80m以下の区間で測定することができる。 工事現場の考え方は、管理図等を備えた上で、中規模以上の工事は、管理図および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合は該当する。小規模工事は、中規模以上の工事より規格値は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をい、同一工種の施工が毎日連続する場合に該当する。 コープ採取について 橋面舗装等でコープ採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-11							幅	-25	-25	-	-		<table border="1"> <tr> <td>3</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>ゲースアスファルト舗装工 (表層工)</td> <td>厚さ</td> <td>-9</td> <td>-12</td> <td>-3</td> <td>-4</td> <td>幅は、延長80m毎に1ヶ所の測りとし、厚さは、100m毎に1ヶ所の測りにて測定。ただし、幅は設計位置の測点により片側延長80m以下の区間で測定することができる。 工事現場の考え方は、管理図等を備えた上で、中規模以上の工事は、管理図および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合は該当する。小規模工事は、中規模以上の工事より規格値は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をい、同一工種の施工が毎日連続する場合に該当する。 コープ採取について 橋面舗装等でコープ採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</td> <td>3-2-6-11</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>-25</td> <td>-25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	11	3	ゲースアスファルト舗装工 (表層工)	厚さ	-9	-12	-3	-4	幅は、延長80m毎に1ヶ所の測りとし、厚さは、100m毎に1ヶ所の測りにて測定。ただし、幅は設計位置の測点により片側延長80m以下の区間で測定することができる。 工事現場の考え方は、管理図等を備えた上で、中規模以上の工事は、管理図および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合は該当する。小規模工事は、中規模以上の工事より規格値は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をい、同一工種の施工が毎日連続する場合に該当する。 コープ採取について 橋面舗装等でコープ採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-11							幅	-25	-25	-	-		I-49																																																
3	2	6	11	2	ゲースアスファルト舗装工 (表層工)	厚さ	-9	-12	-3	-4	幅は、延長80m毎に1ヶ所の測りとし、厚さは、100m毎に1ヶ所の測りにて測定。ただし、幅は設計位置の測点により片側延長80m以下の区間で測定することができる。 工事現場の考え方は、管理図等を備えた上で、中規模以上の工事は、管理図および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合は該当する。小規模工事は、中規模以上の工事より規格値は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をい、同一工種の施工が毎日連続する場合に該当する。 コープ採取について 橋面舗装等でコープ採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-11																																																																																									
						幅	-25	-25	-	-																																																																																											
3	2	6	11	3	ゲースアスファルト舗装工 (表層工)	厚さ	-9	-12	-3	-4	幅は、延長80m毎に1ヶ所の測りとし、厚さは、100m毎に1ヶ所の測りにて測定。ただし、幅は設計位置の測点により片側延長80m以下の区間で測定することができる。 工事現場の考え方は、管理図等を備えた上で、中規模以上の工事は、管理図および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合は該当する。小規模工事は、中規模以上の工事より規格値は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をい、同一工種の施工が毎日連続する場合に該当する。 コープ採取について 橋面舗装等でコープ採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-11																																																																																									
						幅	-25	-25	-	-																																																																																											
		<table border="1"> <tr> <td>3</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>ゲースアスファルト舗装工 (表層工) (面管理の場合)</td> <td>厚さあるいは標高較差</td> <td>-20</td> <td>-25</td> <td>-3</td> <td>-4</td> <td>1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(第3版)舗装工編多面計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。</td> <td>3-2-6-11</td> </tr> </table>	3	2	6	11	4	ゲースアスファルト舗装工 (表層工) (面管理の場合)	厚さあるいは標高較差	-20	-25	-3	-4	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(第3版)舗装工編多面計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。	3-2-6-11	I-50																																																																																					
3	2	6	11	4	ゲースアスファルト舗装工 (表層工) (面管理の場合)	厚さあるいは標高較差	-20	-25	-3	-4	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(第3版)舗装工編多面計測技術(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。	3-2-6-11																																																																																									
	<table border="1"> <tr> <td>3</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>3</td> <td>ゲースアスファルト舗装工 (表層工)</td> <td>厚さ</td> <td>-7</td> <td>-9</td> <td>-2</td> <td>-3</td> <td>幅は、延長80m毎に1ヶ所の測りとし、厚さは、100m毎に1ヶ所の測りにて測定。ただし、幅は設計位置の測点により片側延長80m以下の区間で測定することができる。 工事現場の考え方は、管理図等を備えた上で、中規模以上の工事は、管理図および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合は該当する。小規模工事は、中規模以上の工事より規格値は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をい、同一工種の施工が毎日連続する場合に該当する。 コープ採取について 橋面舗装等でコープ採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。</td> <td>3-2-6-11</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>-25</td> <td>-25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>平坦性</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3σ/σ₁以下 (σ)2.4mm以下直読式(見付き)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3σ/σ₁以下 (σ)1.75mm以下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	11	3	ゲースアスファルト舗装工 (表層工)	厚さ	-7	-9	-2	-3	幅は、延長80m毎に1ヶ所の測りとし、厚さは、100m毎に1ヶ所の測りにて測定。ただし、幅は設計位置の測点により片側延長80m以下の区間で測定することができる。 工事現場の考え方は、管理図等を備えた上で、中規模以上の工事は、管理図および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合は該当する。小規模工事は、中規模以上の工事より規格値は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をい、同一工種の施工が毎日連続する場合に該当する。 コープ採取について 橋面舗装等でコープ採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	3-2-6-11							幅	-25	-25	-	-								平坦性	-	-	3σ/σ ₁ 以下 (σ)2.4mm以下直読式(見付き)	-	-										3σ/σ ₁ 以下 (σ)1.75mm以下			<table border="1"> <tr> <td>3</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>11</td> <td>5</td> <td>ゲースアスファルト舗装工 (表層工)</td> <td>厚さ</td> <td>-7</td> <td>-9</td> <td>-2</td> <td>-3</td> <td>幅は、延長80m毎に1ヶ所の測りとし、厚さは、100m毎に1ヶ所の測りにて測定。ただし、幅は設計位置の測点により片側延長80m以下の区間で測定することができる。 工事現場の考え方は、管理図等を備えた上で、中規模以上の工事は、管理図および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合は該当する。小規模工事は、中規模以上の工事より規格値は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をい、同一工種の施工が毎日連続する場合に該当する。 コープ採取について 橋面舗装等でコープ採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。</td> <td>3-2-6-11</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>-25</td> <td>-25</td> <td>-</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>平坦性</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>3σ/σ₁以下 (σ)2.4mm以下直読式(見付き)</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3σ/σ₁以下 (σ)1.75mm以下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	11	5	ゲースアスファルト舗装工 (表層工)	厚さ	-7	-9	-2	-3	幅は、延長80m毎に1ヶ所の測りとし、厚さは、100m毎に1ヶ所の測りにて測定。ただし、幅は設計位置の測点により片側延長80m以下の区間で測定することができる。 工事現場の考え方は、管理図等を備えた上で、中規模以上の工事は、管理図および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合は該当する。小規模工事は、中規模以上の工事より規格値は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をい、同一工種の施工が毎日連続する場合に該当する。 コープ採取について 橋面舗装等でコープ採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	3-2-6-11							幅	-25	-25	-	-								平坦性	-	-	3σ/σ ₁ 以下 (σ)2.4mm以下直読式(見付き)	-	-										3σ/σ ₁ 以下 (σ)1.75mm以下			I-50
3	2	6	11	3	ゲースアスファルト舗装工 (表層工)	厚さ	-7	-9	-2	-3	幅は、延長80m毎に1ヶ所の測りとし、厚さは、100m毎に1ヶ所の測りにて測定。ただし、幅は設計位置の測点により片側延長80m以下の区間で測定することができる。 工事現場の考え方は、管理図等を備えた上で、中規模以上の工事は、管理図および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合は該当する。小規模工事は、中規模以上の工事より規格値は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をい、同一工種の施工が毎日連続する場合に該当する。 コープ採取について 橋面舗装等でコープ採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	3-2-6-11																																																																																									
						幅	-25	-25	-	-																																																																																											
						平坦性	-	-	3σ/σ ₁ 以下 (σ)2.4mm以下直読式(見付き)	-	-																																																																																										
									3σ/σ ₁ 以下 (σ)1.75mm以下																																																																																												
3	2	6	11	5	ゲースアスファルト舗装工 (表層工)	厚さ	-7	-9	-2	-3	幅は、延長80m毎に1ヶ所の測りとし、厚さは、100m毎に1ヶ所の測りにて測定。ただし、幅は設計位置の測点により片側延長80m以下の区間で測定することができる。 工事現場の考え方は、管理図等を備えた上で、中規模以上の工事は、管理図および表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合は該当する。小規模工事は、中規模以上の工事より規格値は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をい、同一工種の施工が毎日連続する場合に該当する。 コープ採取について 橋面舗装等でコープ採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	3-2-6-11																																																																																									
						幅	-25	-25	-	-																																																																																											
						平坦性	-	-	3σ/σ ₁ 以下 (σ)2.4mm以下直読式(見付き)	-	-																																																																																										
									3σ/σ ₁ 以下 (σ)1.75mm以下																																																																																												

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

出来形管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所：赤字】	頁番号																																																																				
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">11</td><td style="width: 2%;">6</td> <td style="width: 15%;">グーラスファルト舗装工 (表層工) (面管理の場合)</td> <td style="width: 15%;">厚さあるいは標高較差</td> <td style="width: 5%;">-17</td> <td style="width: 5%;">-20</td> <td style="width: 5%;">-2</td> <td style="width: 5%;">-3</td> <td style="width: 30%;"> 1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。 </td> <td style="width: 10%;">3-2-6-11</td> </tr> </table>	3	2	6	11	6	グーラスファルト舗装工 (表層工) (面管理の場合)	厚さあるいは標高較差	-17	-20	-2	-3	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。	3-2-6-11	I-51																																																							
3	2	6	11	6	グーラスファルト舗装工 (表層工) (面管理の場合)	厚さあるいは標高較差	-17	-20	-2	-3	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。	3-2-6-11																																																											
3-2-6-12 コンクリート舗装工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">12</td><td style="width: 2%;">1</td> <td style="width: 15%;">コンクリート舗装工 (下層路盤工)</td> <td style="width: 15%;">基準高</td> <td style="width: 5%;">±40</td> <td style="width: 5%;">±50</td> <td style="width: 5%;">—</td> <td style="width: 30%;"> 工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基礎の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 横断舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 </td> <td style="width: 10%;">3-2-6-12</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>-45</td> <td>-15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>-50</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	12	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	基準高	±40	±50	—	工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基礎の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X ₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 横断舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-12							厚さ	-45	-15									幅	-50				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">12</td><td style="width: 2%;">1</td> <td style="width: 15%;">コンクリート舗装工 (下層路盤工)</td> <td style="width: 15%;">基準高</td> <td style="width: 5%;">±40</td> <td style="width: 5%;">±50</td> <td style="width: 5%;">—</td> <td style="width: 30%;"> 基準高は延長40m毎に1ヶ所の割合とし、道路中心線および路肩で測定。厚さは各車線200m毎に1ヶ所を繰り返して測定。幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合に規定。ただし、幅は設計図書の高さによらず延長80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基礎の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 横断舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 </td> <td style="width: 10%;">3-2-6-12</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>-45</td> <td>-15</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>-50</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	12	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	基準高	±40	±50	—	基準高は延長40m毎に1ヶ所の割合とし、道路中心線および路肩で測定。厚さは各車線200m毎に1ヶ所を繰り返して測定。幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合に規定。ただし、幅は設計図書の高さによらず延長80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基礎の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X ₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 横断舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-12							厚さ	-45	-15									幅	-50				I-51
3	2	6	12	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	基準高	±40	±50	—	工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基礎の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X ₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 横断舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-12																																																												
						厚さ	-45	-15																																																															
						幅	-50																																																																
3	2	6	12	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	基準高	±40	±50	—	基準高は延長40m毎に1ヶ所の割合とし、道路中心線および路肩で測定。厚さは各車線200m毎に1ヶ所を繰り返して測定。幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合に規定。ただし、幅は設計図書の高さによらず延長80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基礎の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X ₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 横断舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-12																																																												
						厚さ	-45	-15																																																															
						幅	-50																																																																
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">12</td><td style="width: 2%;">2</td> <td style="width: 15%;">コンクリート舗装工 (仮設調整路盤工)</td> <td style="width: 15%;">基準高</td> <td style="width: 5%;">±90</td> <td style="width: 5%;">±90</td> <td style="width: 5%;">+40</td> <td style="width: 5%;">+50</td> <td style="width: 30%;"> 1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。この場合、基準高の評価は省略する。 </td> <td style="width: 10%;">3-2-6-12</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>厚さあるいは標高較差</td> <td>±90</td> <td>±90</td> <td>+40</td> <td>+50</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>-15</td> <td>-15</td> </tr> </table>	3	2	6	12	2	コンクリート舗装工 (仮設調整路盤工)	基準高	±90	±90	+40	+50	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。この場合、基準高の評価は省略する。	3-2-6-12							厚さあるいは標高較差	±90	±90	+40	+50										-15	-15	I-52																																	
3	2	6	12	2	コンクリート舗装工 (仮設調整路盤工)	基準高	±90	±90	+40	+50	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。この場合、基準高の評価は省略する。	3-2-6-12																																																											
						厚さあるいは標高較差	±90	±90	+40	+50																																																													
									-15	-15																																																													
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">12</td><td style="width: 2%;">3</td> <td style="width: 15%;">コンクリート舗装工 (仮設調整路盤工)</td> <td style="width: 15%;">厚さ</td> <td style="width: 5%;">-25</td> <td style="width: 5%;">-30</td> <td style="width: 5%;">-8</td> <td style="width: 30%;"> 幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合とし、厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を繰り返して測定。ただし、幅は設計図書の高さによらず延長80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基礎の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 横断舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。 </td> <td style="width: 10%;">3-2-6-12</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>-50</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	12	3	コンクリート舗装工 (仮設調整路盤工)	厚さ	-25	-30	-8	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合とし、厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を繰り返して測定。ただし、幅は設計図書の高さによらず延長80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基礎の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X ₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 横断舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-12							幅	-50				I-52																																													
3	2	6	12	3	コンクリート舗装工 (仮設調整路盤工)	厚さ	-25	-30	-8	幅は、延長80m毎に1ヶ所の割合とし、厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を繰り返して測定。ただし、幅は設計図書の高さによらず延長80m以下の間隔で測定することができる。 工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基礎の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X ₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コアー採取について 横断舗装等でコアー採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。	3-2-6-12																																																												
						幅	-50																																																																
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">12</td><td style="width: 2%;">4</td> <td style="width: 15%;">コンクリート舗装工 (仮設調整路盤工)</td> <td style="width: 15%;">厚さあるいは標高較差</td> <td style="width: 5%;">-55</td> <td style="width: 5%;">-66</td> <td style="width: 5%;">-8</td> <td style="width: 30%;"> 1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。 </td> <td style="width: 10%;">3-2-6-12</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	12	4	コンクリート舗装工 (仮設調整路盤工)	厚さあるいは標高較差	-55	-66	-8	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。	3-2-6-12												I-53																																													
3	2	6	12	4	コンクリート舗装工 (仮設調整路盤工)	厚さあるいは標高較差	-55	-66	-8	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理(面管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。 3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求める高さとの差とする。	3-2-6-12																																																												

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

出来形管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所：赤字】	頁番号																								
3 土木 工事 共通 仕様	2 一般 施工 工程	6 一般 舗装 工	12 8	3-2-6-12	I-58																						
	<p style="text-align: center;">(転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定地 理工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">厚さ</td> <td style="width: 10%;">-25</td> <td style="width: 10%;">-30</td> <td style="width: 10%;">-8</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">-50</td> </tr> </table> <p>幅は、延長80m毎に1ヶ所の測し、厚さは、1,000mmに1個の測でコアを採取もしくは、掘り起こして測定。ただし、幅は設計図書の高さにより延長80m以下の間隔で測定することができる。</p> <p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500 t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コア採取について 舗装舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>		厚さ	-25	-30	-8	幅	-50			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">厚さ</td> <td style="width: 10%;">-25</td> <td style="width: 10%;">-30</td> <td style="width: 10%;">-8</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">-50</td> </tr> </table> <p>幅は、延長80m毎に1ヶ所の測し、厚さは、1,000mmに1個の測でコアを採取もしくは、掘り起こして測定。ただし、幅は設計図書の高さにより延長80m以下の間隔で測定することができる。</p> <p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500 t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コア採取について 舗装舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>		厚さ	-25	-30	-8	幅	-50									
厚さ	-25	-30	-8																								
幅	-50																										
厚さ	-25	-30	-8																								
幅	-50																										
3 土木 工事 共通 仕様	2 一般 施工 工程	6 一般 舗装 工	12 16	3-2-6-12	I-59																						
	<p style="text-align: center;">(転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定地 理工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">厚さ</td> <td style="width: 10%;">-55</td> <td style="width: 10%;">-66</td> <td style="width: 10%;">-8</td> </tr> </table> <p>1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理(新)舗装工(多分計測技術(管理の場合))」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測精度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。</p> <p>2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。</p> <p>3. 計測は設計図書の内面全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測精度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。</p> <p>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。</p> <p>5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。</p>		厚さ	-55	-66	-8	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">厚さ</td> <td style="width: 10%;">-55</td> <td style="width: 10%;">-66</td> <td style="width: 10%;">-8</td> </tr> </table> <p>1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理(新)舗装工(多分計測技術(管理の場合))」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測精度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。</p> <p>2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±10mmが含まれている。</p> <p>3. 計測は設計図書の内面全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測精度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。</p> <p>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。</p> <p>5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。</p>		厚さ	-55	-66	-8															
厚さ	-55	-66	-8																								
厚さ	-55	-66	-8																								
3 土木 工事 共通 仕様	2 一般 施工 工程	6 一般 舗装 工	12 9	3-2-6-12	I-59																						
	<p style="text-align: center;">(転圧コンクリート版工) アスファルト中間層</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">厚さ</td> <td style="width: 10%;">-9</td> <td style="width: 10%;">-12</td> <td style="width: 10%;">-3</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">-25</td> </tr> </table> <p>幅は、延長80m毎に1ヶ所の測し、厚さは、1,000mmに1個の測でコアを採取して測定。ただし、幅は設計図書の高さにより延長80m以下の間隔で測定することができる。</p> <p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500 t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コア採取について 舗装舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>		厚さ	-9	-12	-3	幅	-25			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">厚さ</td> <td style="width: 10%;">-9</td> <td style="width: 10%;">-12</td> <td style="width: 10%;">-3</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">-25</td> </tr> </table> <p>幅は、延長80m毎に1ヶ所の測し、厚さは、1,000mmに1個の測でコアを採取して測定。ただし、幅は設計図書の高さにより延長80m以下の間隔で測定することができる。</p> <p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500 t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コア採取について 舗装舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>		厚さ	-9	-12	-3	幅	-25									
厚さ	-9	-12	-3																								
幅	-25																										
厚さ	-9	-12	-3																								
幅	-25																										
3 土木 工事 共通 仕様	2 一般 施工 工程	6 一般 舗装 工	12 18	3-2-6-12	I-60																						
	<p style="text-align: center;">(転圧コンクリート版工) アスファルト中間層</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">厚さ</td> <td style="width: 10%;">-20</td> <td style="width: 10%;">-27</td> <td style="width: 10%;">-3</td> </tr> </table> <p>1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理(新)舗装工(多分計測技術(管理の場合))」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測精度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。</p> <p>2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。</p> <p>3. 計測は設計図書の内面全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測精度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。</p> <p>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。</p> <p>5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。</p>		厚さ	-20	-27	-3	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">厚さ</td> <td style="width: 10%;">-20</td> <td style="width: 10%;">-27</td> <td style="width: 10%;">-3</td> </tr> </table> <p>1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理(新)舗装工(多分計測技術(管理の場合))」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測精度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。</p> <p>2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±4mmが含まれている。</p> <p>3. 計測は設計図書の内面全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測精度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。</p> <p>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。</p> <p>5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。</p>		厚さ	-20	-27	-3															
厚さ	-20	-27	-3																								
厚さ	-20	-27	-3																								
3 土木 工事 共通 仕様	2 一般 施工 工程	6 一般 舗装 工	12 10	3-2-6-12	I-60																						
	<p style="text-align: center;">(転圧コンクリート版工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">厚さ</td> <td style="width: 10%;">-15</td> <td style="width: 10%;">-4.5</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td style="width: 10%;">-35</td> <td style="width: 10%;">-</td> </tr> <tr> <td>平坦性</td> <td style="width: 10%;">-</td> <td style="width: 10%;">-</td> </tr> <tr> <td>目地较差</td> <td colspan="2" style="width: 20%; text-align: center;">±2</td> </tr> </table> <p>幅は、各車線を中心付定で型枠側付後各車線300mm毎に水糸又はレベルにより1測線当たり横断方向に3ヶ所以上測定。幅は、延長80m毎に1ヶ所の測で測定。平坦性は各車線毎に幅縁から1mの線上、全延長とする。ただし、幅は設計図書の高さにより延長80m以下の間隔で測定することができる。</p> <p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500 t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コア採取について 舗装舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p> <p>維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。</p>		厚さ	-15	-4.5	幅	-35	-	平坦性	-	-	目地较差	±2		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">厚さ</td> <td style="width: 10%;">-15</td> <td style="width: 10%;">-4.5</td> </tr> <tr> <td>幅</td> <td style="width: 10%;">-35</td> <td style="width: 10%;">-</td> </tr> <tr> <td>平坦性</td> <td style="width: 10%;">-</td> <td style="width: 10%;">-</td> </tr> <tr> <td>目地较差</td> <td colspan="2" style="width: 20%; text-align: center;">±2</td> </tr> </table> <p>幅は、各車線を中心付定で型枠側付後各車線300mm毎に水糸又はレベルにより1測線当たり横断方向に3ヶ所以上測定。幅は、延長80m毎に1ヶ所の測で測定。平坦性は各車線毎に幅縁から1mの線上、全延長とする。ただし、幅は設計図書の高さにより延長80m以下の間隔で測定することができる。</p> <p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500 t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X10) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 コア採取について 舗装舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p> <p>維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。</p>		厚さ	-15	-4.5	幅	-35	-	平坦性	-	-	目地较差	±2
厚さ	-15	-4.5																									
幅	-35	-																									
平坦性	-	-																									
目地较差	±2																										
厚さ	-15	-4.5																									
幅	-35	-																									
平坦性	-	-																									
目地较差	±2																										

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

出来形管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所：赤字】	頁番号																					
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">12</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">20</td> <td style="width: 20%;">コンクリート舗装工 (舗装コンクリート版工) (前管理の場合)</td> <td style="width: 10%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">厚さあるいは標高較差</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-32</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-4.5</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">平坦性</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">日地較差</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">±2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 20%;"> <p>1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(第2)舗装工施工点検指針(前管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。</p> <p>2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±2mmが含まれている。</p> <p>3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。</p> <p>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。</p> <p>5. 厚さを標高較差として計算する場合は、直下層の標高値と直下層の標高較差平均値+設計厚さから算出する。</p> <p>6. 隣接する各日地に対して、道路中心線及び内端で測定。</p> </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">3-2-6-12</td> </tr> </table>	3	2	6	12	20	コンクリート舗装工 (舗装コンクリート版工) (前管理の場合)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">厚さあるいは標高較差</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-32</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-4.5</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">平坦性</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">日地較差</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">±2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>	厚さあるいは標高較差	-32	-4.5	平坦性	—	—	日地較差	±2	—	<p>1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(第2)舗装工施工点検指針(前管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。</p> <p>2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±2mmが含まれている。</p> <p>3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。</p> <p>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。</p> <p>5. 厚さを標高較差として計算する場合は、直下層の標高値と直下層の標高較差平均値+設計厚さから算出する。</p> <p>6. 隣接する各日地に対して、道路中心線及び内端で測定。</p>	3-2-6-12	I-60			
3	2	6	12	20	コンクリート舗装工 (舗装コンクリート版工) (前管理の場合)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">厚さあるいは標高較差</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-32</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-4.5</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">平坦性</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">日地較差</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">±2</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>	厚さあるいは標高較差	-32	-4.5	平坦性	—	—	日地較差	±2	—	<p>1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(第2)舗装工施工点検指針(前管理の場合)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。</p> <p>2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±2mmが含まれている。</p> <p>3. 計測は設計幅員の内側全面とし、全ての点で標高値を算出する。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。</p> <p>4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。</p> <p>5. 厚さを標高較差として計算する場合は、直下層の標高値と直下層の標高較差平均値+設計厚さから算出する。</p> <p>6. 隣接する各日地に対して、道路中心線及び内端で測定。</p>	3-2-6-12							
厚さあるいは標高較差	-32	-4.5																						
平坦性	—	—																						
日地較差	±2	—																						
3-2-6-13 薄層カラー舗装工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">13</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 20%;">薄層カラー舗装工 (下層路盤工)</td> <td style="width: 10%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">基準高ワ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">±40</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">±50</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">厚さ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—45</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—15</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">幅</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—50</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 20%;"> <p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">3-2-6-13</td> </tr> </table>	3	2	6	13	1	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">基準高ワ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">±40</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">±50</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">厚さ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—45</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—15</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">幅</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—50</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>	基準高ワ	±40	±50	—	厚さ	—45	—15	—	幅	—50	—	—	<p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	3-2-6-13	I-61	
3	2	6	13	1	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">基準高ワ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">±40</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">±50</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">厚さ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—45</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—15</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">幅</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—50</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>	基準高ワ	±40	±50	—	厚さ	—45	—15	—	幅	—50	—	—	<p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	3-2-6-13				
基準高ワ	±40	±50	—																					
厚さ	—45	—15	—																					
幅	—50	—	—																					
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">13</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 20%;">薄層カラー舗装工 (下層路盤工)</td> <td style="width: 10%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">基準高ワ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">±40</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">±50</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">厚さ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—45</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—15</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">幅</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—50</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 20%;"> <p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">3-2-6-13</td> </tr> </table>	3	2	6	13	1	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">基準高ワ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">±40</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">±50</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">厚さ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—45</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—15</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">幅</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—50</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>	基準高ワ	±40	±50	—	厚さ	—45	—15	—	幅	—50	—	—	<p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	3-2-6-13	I-62
3	2	6	13	1	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">基準高ワ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">±40</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">±50</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">厚さ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—45</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—15</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">幅</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—50</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>	基準高ワ	±40	±50	—	厚さ	—45	—15	—	幅	—50	—	—	<p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	3-2-6-13				
基準高ワ	±40	±50	—																					
厚さ	—45	—15	—																					
幅	—50	—	—																					
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">13</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 20%;">薄層カラー舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工</td> <td style="width: 10%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">厚さ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-25</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-30</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-8</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">幅</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—50</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 20%;"> <p>幅は、延長80m毎に1ヶ所を測り、厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を測り起して測定。</p> <p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">3-2-6-13</td> </tr> </table>	3	2	6	13	2	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">厚さ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-25</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-30</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-8</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">幅</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—50</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>	厚さ	-25	-30	-8	幅	—50	—	—	<p>幅は、延長80m毎に1ヶ所を測り、厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を測り起して測定。</p> <p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	3-2-6-13	I-62				
3	2	6	13	2	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">厚さ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-25</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-30</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-8</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">幅</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—50</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>	厚さ	-25	-30	-8	幅	—50	—	—	<p>幅は、延長80m毎に1ヶ所を測り、厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を測り起して測定。</p> <p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p>	3-2-6-13								
厚さ	-25	-30	-8																					
幅	—50	—	—																					
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">13</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 20%;">薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント(石粉)安定処理工</td> <td style="width: 10%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">厚さ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-25</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-30</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-8</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">幅</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—50</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 20%;"> <p>幅は、延長80m毎に1ヶ所を測り、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアを採取もしくは掘り起して測定。</p> <p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> <p>コア採取について 路面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p> </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">3-2-6-13</td> </tr> </table>	3	2	6	13	3	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント(石粉)安定処理工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">厚さ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-25</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-30</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-8</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">幅</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—50</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>	厚さ	-25	-30	-8	幅	—50	—	—	<p>幅は、延長80m毎に1ヶ所を測り、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアを採取もしくは掘り起して測定。</p> <p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> <p>コア採取について 路面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>	3-2-6-13	I-62				
3	2	6	13	3	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) セメント(石粉)安定処理工	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">厚さ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-25</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-30</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-8</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">幅</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—50</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>	厚さ	-25	-30	-8	幅	—50	—	—	<p>幅は、延長80m毎に1ヶ所を測り、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアを採取もしくは掘り起して測定。</p> <p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> <p>コア採取について 路面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>	3-2-6-13								
厚さ	-25	-30	-8																					
幅	—50	—	—																					
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">13</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 20%;">薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)</td> <td style="width: 10%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">厚さ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-15</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-20</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-5</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">幅</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—50</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 20%;"> <p>幅は、延長80m毎に1ヶ所を測り、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。</p> <p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> <p>コア採取について 路面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p> </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">3-2-6-13</td> </tr> </table>	3	2	6	13	4	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">厚さ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-15</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-20</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-5</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">幅</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—50</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>	厚さ	-15	-20	-5	幅	—50	—	—	<p>幅は、延長80m毎に1ヶ所を測り、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。</p> <p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> <p>コア採取について 路面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>	3-2-6-13	I-63				
3	2	6	13	4	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">厚さ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-15</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-20</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-5</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">幅</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—50</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>	厚さ	-15	-20	-5	幅	—50	—	—	<p>幅は、延長80m毎に1ヶ所を測り、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。</p> <p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> <p>コア採取について 路面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>	3-2-6-13								
厚さ	-15	-20	-5																					
幅	—50	—	—																					
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">6</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">13</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">5</td> <td style="width: 20%;">薄層カラー舗装工 (基層工)</td> <td style="width: 10%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">厚さ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-9</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-12</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-3</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">幅</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—25</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 20%;"> <p>幅は、延長80m毎に1ヶ所を測り、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。</p> <p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> <p>コア採取について 路面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p> </td> <td style="width: 5%; text-align: center;">3-2-6-13</td> </tr> </table>	3	2	6	13	5	薄層カラー舗装工 (基層工)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">厚さ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-9</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-12</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-3</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">幅</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—25</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>	厚さ	-9	-12	-3	幅	—25	—	—	<p>幅は、延長80m毎に1ヶ所を測り、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。</p> <p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> <p>コア採取について 路面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>	3-2-6-13	I-63				
3	2	6	13	5	薄層カラー舗装工 (基層工)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">厚さ</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-9</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-12</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-3</td> </tr> <tr> <td style="width: 10%;">幅</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—25</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>	厚さ	-9	-12	-3	幅	—25	—	—	<p>幅は、延長80m毎に1ヶ所を測り、厚さは、1,000㎡に1個の割でコアを採取して測定。</p> <p>工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。</p> <p>コア採取について 路面舗装等でコア採取により床版等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。</p>	3-2-6-13								
厚さ	-9	-12	-3																					
幅	—25	—	—																					

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

出来形管理基準及び規格値

項目	現行										改定【改定箇所：赤字】										頁番号				
3-2-6-14 ブロック舗装工	3	2	6	14	1	ブロック舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—	工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	3-2-6-14	3	2	6	14	1	ブロック舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	—	工事現場の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500t未満あるいは施工面積が2,000㎡未満。 厚さは、個々の測定値が10個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	3-2-6-14	I-64
							厚さ	—	-45	-15									幅	—	—	—			
	3	2	6	14	2	ブロック舗装工 (上層路盤工) 和成調整路盤工	厚さ	-25	-30	-8	幅は、延長80m毎に1ヶ所を測り、厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を測り起して測定。	3-2-6-14	3	2	6	14	2	ブロック舗装工 (上層路盤工) 和成調整路盤工	厚さ	-25	-30	-8	幅は、延長80m毎に1ヶ所を測り、厚さは、各車線200m毎に1ヶ所を測り起して測定。	3-2-6-14	I-64
							幅	—	-50	—									幅	—	—				
3-2-6-15 路面切削工	3	2	6	15	1	路面切削工	厚さ t	—	-7	-2	厚さ1240mm毎に機械式路面切削後の基準高の値で算出する。 測定点は車道中心線、車道縁及びその中心とする。 延長40m未満の場合は、2ヶ所/施工箇所とする。 測定状況で、間隔、測定数を定めることが出来る。 測定方法は自動標高測定法によること出来る。	3-2-6-15	3	2	6	15	1	路面切削工	厚さ t	—	-7	-2	厚さ1240mm毎に機械式路面切削後の基準高の値で算出する。 測定点は車道中心線、車道縁及びその中心とする。 延長40m未満の場合は、2ヶ所/施工箇所とする。 測定状況で、間隔、測定数を定めることが出来る。 測定方法は自動標高測定法によること出来る。	3-2-6-15	I-67
							幅 w	—	-25	—									幅 w	—	—				
	3	2	6	15	2	路面切削工 (道路幅の確保) 標高調整または厚さ t のみ	厚さ t (標高調整)	—	-17 (17) 調整値として 使用)	-2 (2)	1. 施工後数ヶ月を要した出来形管理標準値(標高調整)に基づき出来形管理標準値を算出する。 2. 許容は切削面の全量とし、すべての点で設計厚さ t または標高調整値を算出する。許容値は t 点 w (平面形調整値) 以上とする。 3. 厚さ t または標高調整値は、機械式路面切削後の基準高の値で算出する。 4. 幅は、延長40m毎に測定するものとし、延長40m未満の場合は、2箇所/施工箇所とする。	3-2-6-15	3	2	6	15	2	路面切削工 (道路幅の確保) 標高調整または厚さ t のみ	厚さ t (標高調整)	—	-17 (17) 調整値として 使用)	-2 (2)	1. 施工後数ヶ月を要した出来形管理標準値(標高調整)に基づき出来形管理標準値を算出する。 2. 許容は切削面の全量とし、すべての点で設計厚さ t または標高調整値を算出する。許容値は t 点 w (平面形調整値) 以上とする。 3. 厚さ t または標高調整値は、機械式路面切削後の基準高の値で算出する。 4. 幅は、延長40m毎に測定するものとし、延長40m未満の場合は、2箇所/施工箇所とする。	3-2-6-15	I-67
							幅 w	—	-25	—									幅 w	—	—				

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

出来形管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所：赤字】	頁番号																																		
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">3 土木 工事 共通 仕様</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2 一般 施工</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7 地盤 改良 工</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">9</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2</td> <td style="width: 10%;"> 鋼締工 (スクリュー締付工) 「施工履歴データを用いた出来形管理標準(鋼締工(スクリュー締付工)編)」による管理の場合 </td> <td style="width: 10%;"> 基準高▽ 0以上 </td> <td style="width: 10%;"> 位置 D/8以内 </td> <td style="width: 10%;"> 杭芯位置管理表により基準値を確認 全断面 施工履歴データから作成した杭芯位置管理表により設計杭芯位置と施工した杭芯位置との距離を確認 (杭芯位置による実測値は不要) </td> <td style="width: 10%;"> </td> <td style="width: 10%;">3-2-7-9</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="width: 10%;"> 杭径D 設計値以上 </td> <td></td> <td style="width: 10%;"> 工事架に1回 施工時の最終架の寸法実測により確認 (架径による実測値は不要) </td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="width: 10%;"> 改良表L 設計値以上 </td> <td style="width: 10%;"> 全断面 施工履歴データから作成した杭打取付表表により確認 (改良表による実測値は不要) </td> <td style="width: 10%;"> </td> <td></td> </tr> </table>	3 土木 工事 共通 仕様	2 一般 施工	7 地盤 改良 工	9	2	鋼締工 (スクリュー締付工) 「施工履歴データを用いた出来形管理標準(鋼締工(スクリュー締付工)編)」による管理の場合	基準高▽ 0以上	位置 D/8以内	杭芯位置管理表により基準値を確認 全断面 施工履歴データから作成した杭芯位置管理表により設計杭芯位置と施工した杭芯位置との距離を確認 (杭芯位置による実測値は不要)		3-2-7-9							杭径D 設計値以上		工事架に1回 施工時の最終架の寸法実測により確認 (架径による実測値は不要)											改良表L 設計値以上	全断面 施工履歴データから作成した杭打取付表表により確認 (改良表による実測値は不要)			I-73
3 土木 工事 共通 仕様	2 一般 施工	7 地盤 改良 工	9	2	鋼締工 (スクリュー締付工) 「施工履歴データを用いた出来形管理標準(鋼締工(スクリュー締付工)編)」による管理の場合	基準高▽ 0以上	位置 D/8以内	杭芯位置管理表により基準値を確認 全断面 施工履歴データから作成した杭芯位置管理表により設計杭芯位置と施工した杭芯位置との距離を確認 (杭芯位置による実測値は不要)		3-2-7-9																											
						杭径D 設計値以上		工事架に1回 施工時の最終架の寸法実測により確認 (架径による実測値は不要)																													
								改良表L 設計値以上	全断面 施工履歴データから作成した杭打取付表表により確認 (改良表による実測値は不要)																												
					<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">3 土木 工事 共通 仕様</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2 一般 施工</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">7 地盤 改良 工</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">9</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">3</td> <td style="width: 10%;"> 鋼締工 (中層混合処理) </td> <td style="width: 10%;"> 基準高▽ 設計値以上 </td> <td style="width: 10%;"> 施工厚さt 設計値以上 </td> <td style="width: 10%;"> 幅w 設計値以上 </td> <td style="width: 10%;"> 延長L 設計値以上 </td> <td style="width: 10%;"> 1,000㎡～4,000㎡につき1ヶ所、又は施工延長40m(鋼筋間隔5mの場合は50m)につき1ヶ所、1,000㎡以下、又は施工延長40m(50m以下)のものは施工箇所につき2ヶ所、施工厚さは施工時の改良履歴確認を出来形とする。 「3次元計測技術を用いた出来形管理標準(鋼締工(中層混合処理)編)」による管理の場合は、全体改良範囲内において、施工厚さt、幅w、延長Lを確認(実測は不要)。 </td> <td style="width: 10%;"> </td> <td style="width: 10%;">3-2-7-9</td> </tr> </table>	3 土木 工事 共通 仕様	2 一般 施工	7 地盤 改良 工	9	3	鋼締工 (中層混合処理)	基準高▽ 設計値以上	施工厚さt 設計値以上	幅w 設計値以上	延長L 設計値以上	1,000㎡～4,000㎡につき1ヶ所、又は施工延長40m(鋼筋間隔5mの場合は50m)につき1ヶ所、1,000㎡以下、又は施工延長40m(50m以下)のものは施工箇所につき2ヶ所、施工厚さは施工時の改良履歴確認を出来形とする。 「3次元計測技術を用いた出来形管理標準(鋼締工(中層混合処理)編)」による管理の場合は、全体改良範囲内において、施工厚さt、幅w、延長Lを確認(実測は不要)。		3-2-7-9	I-73																		
3 土木 工事 共通 仕様	2 一般 施工	7 地盤 改良 工	9	3	鋼締工 (中層混合処理)	基準高▽ 設計値以上	施工厚さt 設計値以上	幅w 設計値以上	延長L 設計値以上	1,000㎡～4,000㎡につき1ヶ所、又は施工延長40m(鋼筋間隔5mの場合は50m)につき1ヶ所、1,000㎡以下、又は施工延長40m(50m以下)のものは施工箇所につき2ヶ所、施工厚さは施工時の改良履歴確認を出来形とする。 「3次元計測技術を用いた出来形管理標準(鋼締工(中層混合処理)編)」による管理の場合は、全体改良範囲内において、施工厚さt、幅w、延長Lを確認(実測は不要)。		3-2-7-9																									
第12節 工場製作工(共通)																																					
3-2-12-1 鋳造費(金属支承工)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">3 土木 工事 共通 仕様</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2 一般 施工</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">12 工場 製作 工 共通</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%;"> 鋳造費(金属支承工) </td> <td style="width: 10%;"> 孔の直径差 +2 -0 センターボスを基準とした孔位置のずれ ≤1000mm 1以下 センターボスを基準とした孔位置のずれ >100mm 1.5以下 </td> <td style="width: 10%;"> アンカーボルト用孔(終放し) 孔の直径 ≤100mm +3 -1 >100mm +4 -2 孔の中心距離 JIS B 0403 CT13 </td> <td style="width: 10%;"> センスタ ボスの直径 +0 -1 ボスの高さ +1 -0 </td> <td style="width: 10%;"> 上唇の橋軸及び橋軸角方向の長さ寸法 JIS B 0403 CT13 </td> <td style="width: 10%;"> 全移動量 H H≤300mm ±2 H>300mm ±0.1/100 </td> <td style="width: 10%;"> 組立高さH コンクリート H≤300mm ±3 H>300mm 0L/200+3)小散点以下切り捨て </td> <td style="width: 10%;"> 普通寸法 終放し長さ寸法(※1)、(※2) JIS B 0403 CT14 終放し肉厚寸法(※1) JIS B 0403 CT15 削り加工寸法 JIS B 0405 粗研 ガス切断寸法 JIS B 0417 B級 </td> <td style="width: 10%;"> 製品全数を確認。 製品全数を確認。 ※1) 片面削り加工も含む。 ※2) ただし、ソールプレート接合面の橋軸及び橋軸角方向の長さ寸法に対してはCT13を適用する。 </td> <td style="width: 10%;">3-2-12-1</td> </tr> </table>	3 土木 工事 共通 仕様	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	1	1	鋳造費(金属支承工)	孔の直径差 +2 -0 センターボスを基準とした孔位置のずれ ≤1000mm 1以下 センターボスを基準とした孔位置のずれ >100mm 1.5以下	アンカーボルト用孔(終放し) 孔の直径 ≤100mm +3 -1 >100mm +4 -2 孔の中心距離 JIS B 0403 CT13	センスタ ボスの直径 +0 -1 ボスの高さ +1 -0	上唇の橋軸及び橋軸角方向の長さ寸法 JIS B 0403 CT13	全移動量 H H≤300mm ±2 H>300mm ±0.1/100	組立高さH コンクリート H≤300mm ±3 H>300mm 0L/200+3)小散点以下切り捨て	普通寸法 終放し長さ寸法(※1)、(※2) JIS B 0403 CT14 終放し肉厚寸法(※1) JIS B 0403 CT15 削り加工寸法 JIS B 0405 粗研 ガス切断寸法 JIS B 0417 B級	製品全数を確認。 製品全数を確認。 ※1) 片面削り加工も含む。 ※2) ただし、ソールプレート接合面の橋軸及び橋軸角方向の長さ寸法に対してはCT13を適用する。	3-2-12-1	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">3 土木 工事 共通 仕様</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">2 一般 施工</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">12 工場 製作 工 共通</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> <td style="width: 10%;"> 鋳造費(金属支承工) </td> <td style="width: 10%;"> 孔の直径差 +2 -0 ボスの突起を基準とした孔の位置ずれ ≤1000mm 1以下 ボスの突起を基準とした孔の位置ずれ >100mm 1.5以下 </td> <td style="width: 10%;"> アンカーボルト用孔(終放し) ドリル加工孔 ≤100mm +3 -1 >100mm +4 -2 孔の中心距離(※1) JIS B 0403-1995 CT13 </td> <td style="width: 10%;"> センスタ ボスの直径 +0 -1 ボスの高さ +1 -0 ボスの直径 +0 -1 ボスの高さ +1 -1 </td> <td style="width: 10%;"> 上唇の橋軸及び橋軸角方向の長さ寸法 JIS B 0403-1995 CT13 </td> <td style="width: 10%;"> 全移動量 H H≤300mm ±2 H>300mm ±0.1/100 </td> <td style="width: 10%;"> 組立高さH コンクリート H≤300mm ±3 H>300mm 0L/200+3)小散点以下切り捨て </td> <td style="width: 10%;"> 普通寸法 終放し長さ寸法(※1)、(※2) JIS B 0403-1995 CT14 終放し肉厚寸法(※1) JIS B 0403-1995 CT15 削り加工寸法 JIS B 0405-1991 粗研 ガス切断寸法 JIS B 0417-1979 B級 </td> <td style="width: 10%;"> 製品全数を確認。 ※1) ガス切断寸法を準備する。 ※2) 片面のみの削り加工の場合も含む。 ※3) ソールプレートの橋軸及び橋軸角方向の長さ寸法に対してはCT13を適用するものとする。 ※4) 全移動量分の遊隙が確保されているのかを。 ※5) 組立て後に測定 </td> <td style="width: 10%;">3-2-12-1</td> </tr> </table>	3 土木 工事 共通 仕様	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	1	1	鋳造費(金属支承工)	孔の直径差 +2 -0 ボスの突起を基準とした孔の位置ずれ ≤1000mm 1以下 ボスの突起を基準とした孔の位置ずれ >100mm 1.5以下	アンカーボルト用孔(終放し) ドリル加工孔 ≤100mm +3 -1 >100mm +4 -2 孔の中心距離(※1) JIS B 0403-1995 CT13	センスタ ボスの直径 +0 -1 ボスの高さ +1 -0 ボスの直径 +0 -1 ボスの高さ +1 -1	上唇の橋軸及び橋軸角方向の長さ寸法 JIS B 0403-1995 CT13	全移動量 H H≤300mm ±2 H>300mm ±0.1/100	組立高さH コンクリート H≤300mm ±3 H>300mm 0L/200+3)小散点以下切り捨て	普通寸法 終放し長さ寸法(※1)、(※2) JIS B 0403-1995 CT14 終放し肉厚寸法(※1) JIS B 0403-1995 CT15 削り加工寸法 JIS B 0405-1991 粗研 ガス切断寸法 JIS B 0417-1979 B級	製品全数を確認。 ※1) ガス切断寸法を準備する。 ※2) 片面のみの削り加工の場合も含む。 ※3) ソールプレートの橋軸及び橋軸角方向の長さ寸法に対してはCT13を適用するものとする。 ※4) 全移動量分の遊隙が確保されているのかを。 ※5) 組立て後に測定	3-2-12-1	(次頁に続く)	I-76 I-77			
3 土木 工事 共通 仕様	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	1	1	鋳造費(金属支承工)	孔の直径差 +2 -0 センターボスを基準とした孔位置のずれ ≤1000mm 1以下 センターボスを基準とした孔位置のずれ >100mm 1.5以下	アンカーボルト用孔(終放し) 孔の直径 ≤100mm +3 -1 >100mm +4 -2 孔の中心距離 JIS B 0403 CT13	センスタ ボスの直径 +0 -1 ボスの高さ +1 -0	上唇の橋軸及び橋軸角方向の長さ寸法 JIS B 0403 CT13	全移動量 H H≤300mm ±2 H>300mm ±0.1/100	組立高さH コンクリート H≤300mm ±3 H>300mm 0L/200+3)小散点以下切り捨て	普通寸法 終放し長さ寸法(※1)、(※2) JIS B 0403 CT14 終放し肉厚寸法(※1) JIS B 0403 CT15 削り加工寸法 JIS B 0405 粗研 ガス切断寸法 JIS B 0417 B級	製品全数を確認。 製品全数を確認。 ※1) 片面削り加工も含む。 ※2) ただし、ソールプレート接合面の橋軸及び橋軸角方向の長さ寸法に対してはCT13を適用する。	3-2-12-1																							
3 土木 工事 共通 仕様	2 一般 施工	12 工場 製作 工 共通	1	1	鋳造費(金属支承工)	孔の直径差 +2 -0 ボスの突起を基準とした孔の位置ずれ ≤1000mm 1以下 ボスの突起を基準とした孔の位置ずれ >100mm 1.5以下	アンカーボルト用孔(終放し) ドリル加工孔 ≤100mm +3 -1 >100mm +4 -2 孔の中心距離(※1) JIS B 0403-1995 CT13	センスタ ボスの直径 +0 -1 ボスの高さ +1 -0 ボスの直径 +0 -1 ボスの高さ +1 -1	上唇の橋軸及び橋軸角方向の長さ寸法 JIS B 0403-1995 CT13	全移動量 H H≤300mm ±2 H>300mm ±0.1/100	組立高さH コンクリート H≤300mm ±3 H>300mm 0L/200+3)小散点以下切り捨て	普通寸法 終放し長さ寸法(※1)、(※2) JIS B 0403-1995 CT14 終放し肉厚寸法(※1) JIS B 0403-1995 CT15 削り加工寸法 JIS B 0405-1991 粗研 ガス切断寸法 JIS B 0417-1979 B級	製品全数を確認。 ※1) ガス切断寸法を準備する。 ※2) 片面のみの削り加工の場合も含む。 ※3) ソールプレートの橋軸及び橋軸角方向の長さ寸法に対してはCT13を適用するものとする。 ※4) 全移動量分の遊隙が確保されているのかを。 ※5) 組立て後に測定	3-2-12-1																							

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

出来形管理基準及び規格値

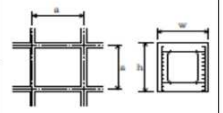
| 項目 | 現行
 | 改定【改定箇所：赤字】 | 頁番号 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

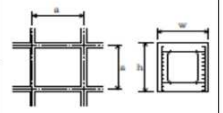
--|--|--|---|----------------------------------|---|-----------------------------
---|--|--|---|--|---|-----------------------------|-----------------------------|---|----------------------------|----------------------------|----------------------------|-------------------|-----|--------|---|--------|-------------|---|---------|-------------|--|-----------|------------
--

--
---|----------------------------|----------------------------|------------------|-------------|---------------|---|---|-----------------------------|---|-----------------------------
---|---|-----------------------|-----------------------------|-------------|-------------------|-----------------------------|---|-------------------|-----------|-------------|--|---|--|-------------|--------------|---|-------------|--|----------|-----|---|-------------|--|----------|-----|---|-------------|------|----------|------------|--------------|-------------|------|-----------|-----|--------------|-----------|-------------|-----------|-----|--|-----------------------------|----------------------|--|--------------------------
--|-----------------------------|-------------|---|----------------------------------|--|----------|--|--|-------------|---|---------|-----|--------------|-----------|-----|-------------|------|--------------|-----|-------------|-----------|-----|--|----------|--------------|---|---------|--|----------|-----|---|-------------|------|-------------|------|--------|--|----------|-----|---|--------------|-----------|----------|-----------|-----|--------------|------|-------------|-----------|--------|--|----------|-------------|---|--------------|--|----------|-----------|---|-------------|------|----------|-----|-------------|-------------|------
--|----------|--------------|---|---------|-----------|----------|--------------|-----|-------------|-----------|-----|--|----------|-------------|---|---------|--|--------------|-----|---|-------------|------|-----------|-----|--------|-------------|-------------|------|--|--|-----------|-----|---|---------|--------------|----------|-------------|-----------|-------------|--|----------|-------------|---|-----------|--|----------|-----|---|-------------|--------------|----------|-----|-----------|-------------|------|--|-------------|--------------|-----------|--|-----------|-----|---|---------|-------------|-----------|-----
--|-------------|-------------|---|---------|--|-----------|-----|---|-------------|------|----------|--------------|--------|-------------|-----------|-----|--|--------------|-------------|------|-----------|--|--------------|-----|---|-----------|-----|--|----------|-------------|---|---------|--|----------|--------|---|-------------|-----------|----------|-----|--------|--------------|------|--|-----------|--------------|-----------|-----|-------------|------|--------------|--|-------------|-----------|---|--|----------|-------------|---|---------|--|----------|-----
---|-------------|------|----------|-----------|--------|-------------|------|--------------|-----|--------------|-----------|-----|-----------|-----|--------------|------|-------------|--|----------|--|---|-------------|---|----------|--|----------|-------------|---|-------------|------|----------|-----|--------|-------------|------|--|--|--------------|-----------|-----|-----------|-----|--------------|-----|-------------|-----------|-----|--|----------|-------------|---|---------|--|----------|-----|---|-------------|------|-------------|------|--------|-------------|--------|-----------|-----|--------------|-----------|--------------|-----------|-----|--------------|-----|-------------|-----------|-------------|--|----------|--|---|---------
--|----------|-----|---|-------------|----------|----------|-----|-------------|-------------|------|--|--------|--------------|-----------|-----|-----------|--------------|--------------|-----|-------------|-----------|-----|--|-------------|-------------|---|--|--|----------|---|---|-------------|---------|----------|----------|--------|-------------|-------------|------|--|--------------|-----------|-----------|-----------|-----|--------------|--------------|-------------|-----------|-----------|--|----------|-------------|---|---------|--|--|----------|---|-------------|------|---|---------|--------|-------------|------|--|-------------|--------------|-----------|-----|-----------|-----------|--------------|-----|-------------|--------------|-----|--|-----------|-------------|-----------------------------------|--
--|----------|-----|---|---------|--|----------|-----|---|-------------|------|----------|-----|--------|-------------|------|--|--|--------------|-----------|-----|-----------|-----|--------------|-----|-------------|-----------|-----|--|----------|-------------|-----------------------------------|
| 3-2-14-4
法枠工 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3
土木
工事
共通
編</td> <td style="width: 2%;">2
一
般
施
工</td> <td style="width: 2%;">14
法
架
工
共
通</td> <td style="width: 2%;">4</td> <td style="width: 2%;">1</td> <td style="width: 10%;">法枠工
(既設付法枠工)
(既設付法枠工)</td> <td style="width: 15%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">法架
a</td> <td style="width: 10%;">$a < 10m$</td> <td style="width: 10%;">-100</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

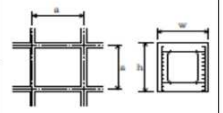
 枠延長100mにつき1ヶ所、枠延長100m以下
のものは1施工箇所につき 2ヶ所。

 1施工箇所毎 </td> <td rowspan="2" style="width: 15%; text-align: center;">  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">3-2-14-4
曲線部は設計図書
による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 10m$</td> <td>-200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>幅
w</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>高
h</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>枠中心間隔
a</td> <td>± 100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 10%;">3-2-14-4
曲線部は設計図書
による</td> </tr> </table>
 | 3
土木
工事
共通
編 | 2
一
般
施
工 | 14
法
架
工
共
通 | 4 | 1 | 法枠工
(既設付法枠工)
(既設付法枠工) | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">法架
a</td> <td style="width: 10%;">$a < 10m$</td> <td style="width: 10%;">-100</td>
<td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

 枠延長100mにつき1ヶ所、枠延長100m以下
のものは1施工箇所につき 2ヶ所。

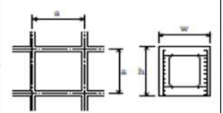
 1施工箇所毎 </td> <td rowspan="2" style="width: 15%; text-align: center;">  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">3-2-14-4
曲線部は設計図書
による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 10m$</td> <td>-200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>幅
w</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>高
h</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>枠中心間隔
a</td> <td>± 100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 法架
a | $a < 10m$ | -100 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

枠延長100mにつき1ヶ所、枠延長100m以下
のものは1施工箇所につき 2ヶ所。

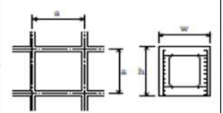
1施工箇所毎 |  | 3-2-14-4
曲線部は設計図書
による | | $a \geq 10m$ | -200 | | 幅
w | -30 | | | | | 高
h | -30 | | | | | 枠中心間隔
a | ± 100

 |
 | | | | 延
長
L | -200 | | | |
 | 3-2-14-4
曲線部は設計図書
による | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3
土木
工事
共通
編</td> <td style="width: 2%;">2
一
般
施
工</td> <td style="width: 2%;">14
法
架
工
共
通</td> <td style="width: 2%;">4</td> <td style="width: 2%;">1</td> <td style="width: 10%;">法枠工
(既設付法枠工)
(既設付法枠工)</td> <td style="width: 15%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">法架
a</td> <td style="width: 10%;">$a < 10m$</td> <td style="width: 10%;">-100</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

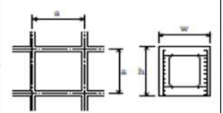
 枠延長100mにつき1ヶ所、枠延長100m以下
のものは1施工箇所につき 2ヶ所。

 1施工箇所毎 </td> <td rowspan="2" style="width: 15%; text-align: center;">  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">3-2-14-4
曲線部は設計図書
による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 10m$</td> <td>-200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>幅
w</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>高
h</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>枠中心間隔
a</td> <td>± 100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 10%;">3-2-14-4
曲線部は設計図書
による</td> </tr> </table> | 3
土木
工事
共通
編 | 2
一
般
施
工 | 14
法
架
工
共
通 | 4 | 1 | 法枠工
(既設付法枠工)
(既設付法枠工) | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">法架
a</td> <td style="width: 10%;">$a < 10m$</td> <td style="width: 10%;">-100</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

 枠延長100mにつき1ヶ所、枠延長100m以下
のものは1施工箇所につき 2ヶ所。

 1施工箇所毎 </td> <td rowspan="2" style="width: 15%; text-align: center;">  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">3-2-14-4
曲線部は設計図書
による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 10m$</td> <td>-200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>幅
w</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>高
h</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>枠中心間隔
a</td> <td>± 100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 法架
a | $a < 10m$ | -100 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

枠延長100mにつき1ヶ所、枠延長100m以下
のものは1施工箇所につき 2ヶ所。

1施工箇所毎 |  | 3-2-14-4
曲線部は設計図書
による | | $a \geq 10m$ | -200 | | 幅
w | -30 | | | | | 高
h | -30 | | | | | 枠中心間隔
a | ± 100 | | | | | 延
長
L | -200 | | | | | 3-2-14-4
曲線部は設計図書
による | 第16節 浚渫工 (共通) | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3
土木
工事
共通
編</td> <td style="width: 2%;">2
一
般
施
工</td> <td style="width: 2%;">16
浚
渫
工
共
通</td> <td style="width: 2%;">3</td> <td style="width: 2%;">3</td> <td style="width: 10%;">浚渫船運転工
(バックホウ浚渫船)
(前管理の場合)</td> <td style="width: 15%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">平均値</td> <td style="width: 5%;">個々の計
測値</td> <td style="width: 10%;"> 1. 3次元データによる出来形管理において「3
次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
浚渫工事編」に基づき出来形管理を前管理で実施
する場合、その他本基準に規定する計測精度・計
測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施
する場合に適用する。

 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±
10mmが含まれている。

 3. 計測は3平面と法面の全面とし、全ての点で
設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点
/㎡ (平面投影面積当たり) 以上とする。 </td> <td style="width: 10%;">3-2-16-3</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 10%;">I-94</td> </tr> </table> | 3
土木
工事
共通
編 | 2
一
般
施
工
 | 16
浚
渫
工
共
通 | 3 | 3 | 浚渫船運転工
(バックホウ浚渫船)
(前管理の場合) | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">平均値</td> <td style="width: 5%;">個々の計
測値</td> <td style="width: 10%;"> 1. 3次元データによる出来形管理において「3
次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
浚渫工事編」に基づき出来形管理を前管理で実施
する場合、その他本基準に規定する計測精度・計
測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施
する場合に適用する。

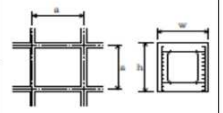
 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±
10mmが含まれている。

 3. 計測は3平面と法面の全面とし、全ての点で
設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点
/㎡ (平面投影面積当たり) 以上とする。 </td> <td style="width: 10%;">3-2-16-3</td> </tr> </table> | 平均値 | 個々の計
測値 | 1. 3次元データによる出来形管理において「3
次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
浚渫工事編」に基づき出来形管理を前管理で実施
する場合、その他本基準に規定する計測精度・計
測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施
する場合に適用する。

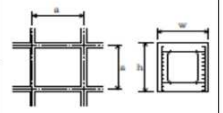
2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±
10mmが含まれている。

3. 計測は3平面と法面の全面とし、全ての点で
設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点
/㎡ (平面投影面積当たり) 以上とする。 | 3-2-16-3 | I-94 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | |
| 3
土木
工事
共通
編 | 2
一
般
施
工
 | 14
法
架
工
共
通 | 4 | 1 | 法枠工
(既設付法枠工)
(既設付法枠工) | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">法架
a</td> <td style="width: 10%;">$a < 10m$</td> <td style="width: 10%;">-100</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

 枠延長100mにつき1ヶ所、枠延長100m以下
のものは1施工箇所につき 2ヶ所。

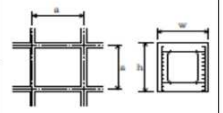
 1施工箇所毎 </td> <td rowspan="2" style="width: 15%; text-align: center;">  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">3-2-14-4
曲線部は設計図書
による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 10m$</td> <td>-200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>幅
w</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>高
h</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>枠中心間隔
a</td> <td>± 100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 法架
a | $a < 10m$
 | -100 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

枠延長100mにつき1ヶ所、枠延長100m以下
のものは1施工箇所につき 2ヶ所。

1施工箇所毎 |  | | | | 3-2-14-4
曲線部は設計図書
による | | $a \geq 10m$ | -200 | | 幅
w | -30 | | | | | 高
h | -30 | | | | | 枠中心間隔
a

 | ± 100
 | | | | | 延
長
L | -200 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | 3-2-14-4
曲線部は設計図書
による | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法架
a | $a < 10m$
 | -100 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

枠延長100mにつき1ヶ所、枠延長100m以下
のものは1施工箇所につき 2ヶ所。

1施工箇所毎 |  | 3-2-14-4
曲線部は設計図書
による | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | $a \geq 10m$
 | -200 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 幅
w
 | -30 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

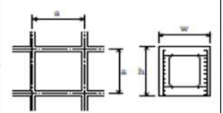
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高
h
 | -30 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 枠中心間隔
a
 | ± 100 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

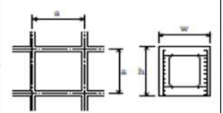
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 延
長
L
 | -200 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3
土木
工事
共通
編 | 2
一
般
施
工
 | 14
法
架
工
共
通 | 4 | 1 | 法枠工
(既設付法枠工)
(既設付法枠工) | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">法架
a</td> <td style="width: 10%;">$a < 10m$</td> <td style="width: 10%;">-100</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

 枠延長100mにつき1ヶ所、枠延長100m以下
のものは1施工箇所につき 2ヶ所。

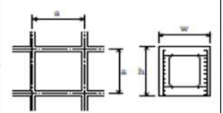
 1施工箇所毎 </td> <td rowspan="2" style="width: 15%; text-align: center;">  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">3-2-14-4
曲線部は設計図書
による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 10m$</td> <td>-200</td> </tr> <tr> <td></td> <td>幅
w</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>高
h</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>枠中心間隔
a</td> <td>± 100</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 法架
a | $a < 10m$
 | -100 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

枠延長100mにつき1ヶ所、枠延長100m以下
のものは1施工箇所につき 2ヶ所。

1施工箇所毎 |  | 3-2-14-4
曲線部は設計図書
による | | $a \geq 10m$ | -200 | | 幅
w | -30 | | | | | 高
h | -30 | | | | | 枠中心間隔
a | ± 100 | |

 |
 | | 延
長
L | -200 | | | | | 3-2-14-4
曲線部は設計図書
による | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法架
a | $a < 10m$
 | -100 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

枠延長100mにつき1ヶ所、枠延長100m以下
のものは1施工箇所につき 2ヶ所。

1施工箇所毎 |  | 3-2-14-4
曲線部は設計図書
による | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | $a \geq 10m$
 | -200 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 幅
w
 | -30 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高
h
 | -30 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 枠中心間隔
a
 | ± 100 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 延
長
L
 | -200 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3
土木
工事
共通
編 | 2
一
般
施
工
 | 16
浚
渫
工
共
通 | 3 | 3 | 浚渫船運転工
(バックホウ浚渫船)
(前管理の場合) | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">平均値</td> <td style="width: 5%;">個々の計
測値</td> <td style="width: 10%;"> 1. 3次元データによる出来形管理において「3
次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
浚渫工事編」に基づき出来形管理を前管理で実施
する場合、その他本基準に規定する計測精度・計
測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施
する場合に適用する。

 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±
10mmが含まれている。

 3. 計測は3平面と法面の全面とし、全ての点で
設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点
/㎡ (平面投影面積当たり) 以上とする。 </td> <td style="width: 10%;">3-2-16-3</td> </tr> </table> | 平均値 | 個々の計
測値
 | 1. 3次元データによる出来形管理において「3
次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
浚渫工事編」に基づき出来形管理を前管理で実施
する場合、その他本基準に規定する計測精度・計
測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施
する場合に適用する。

2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±
10mmが含まれている。

3. 計測は3平面と法面の全面とし、全ての点で
設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点
/㎡ (平面投影面積当たり) 以上とする。 | 3-2-16-3 | I-94 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平均値 | 個々の計
測値
 | 1. 3次元データによる出来形管理において「3
次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
浚渫工事編」に基づき出来形管理を前管理で実施
する場合、その他本基準に規定する計測精度・計
測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施
する場合に適用する。

2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±
10mmが含まれている。

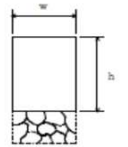
3. 計測は3平面と法面の全面とし、全ての点で
設計面との標高較差を算出する。計測密度は1点
/㎡ (平面投影面積当たり) 以上とする。 | 3-2-16-3 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

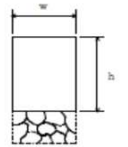
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第6編 河川編 |
 | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

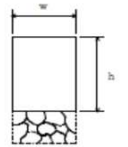
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第1章 築堤・護岸 |
 | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

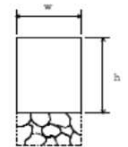
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第7節 法覆護岸工 |
 | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

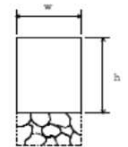
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6-1-7-4
護岸付属物工 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">6
河
川
護
岸
編</td> <td style="width: 2%;">1
築
堤
・
護
岸</td> <td style="width: 2%;">7
法
覆
護
岸
工</td> <td style="width: 2%;">4</td> <td style="width: 2%;">1</td> <td style="width: 10%;">護岸付属物工</td> <td style="width: 15%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">幅
w</td> <td style="width: 10%;">-30</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 6-1-7-4

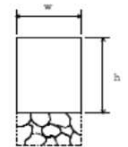
  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">6-1-7-4</td> </tr> <tr> <td>高
h</td> <td>-30</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 10%;">I-95</td> </tr> </table>
 | 6
河
川
護
岸
編 | 1
築
堤
・
護
岸 | 7
法
覆
護
岸
工 | 4 | 1 | 護岸付属物工 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">幅
w</td> <td style="width: 10%;">-30</td> <td
rowspan="2" style="width: 15%;"> 6-1-7-4

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">6-1-7-4</td> </tr> <tr> <td>高
h</td> <td>-30</td> </tr> </table> | 幅
w | -30 | 6-1-7-4

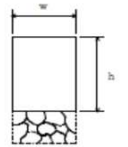
 | 6-1-7-4 | 高
h | -30 | I-95 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">6
河
川
護
岸
編</td> <td style="width: 2%;">1
築
堤
・
護
岸</td> <td style="width: 2%;">7
法
覆
護
岸
工</td> <td style="width: 2%;">4</td> <td style="width: 2%;">1</td> <td style="width: 10%;">護岸付属物工</td> <td style="width: 15%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">幅
w</td> <td style="width: 10%;">-30</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

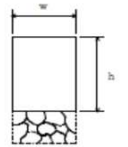
  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">6-1-7-4</td> </tr> <tr> <td>高
h</td> <td>-30</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 10%;">I-95</td> </tr> </table> | 6
河
川
護
岸
編 | 1
築
堤
・
護
岸 | 7
法
覆
護
岸
工 | 4 | 1 | 護岸付属物工 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">幅
w</td> <td style="width: 10%;">-30</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">6-1-7-4</td> </tr> <tr> <td>高
h</td> <td>-30</td> </tr> </table> | 幅
w | -30 | 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

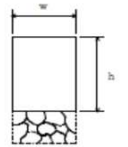
 | 6-1-7-4 | 高
h | -30 | I-95 | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | |
| 6
河
川
護
岸
編 | 1
築
堤
・
護
岸
 | 7
法
覆
護
岸
工 | 4 | 1 | 護岸付属物工 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">幅
w</td> <td style="width: 10%;">-30</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 6-1-7-4

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">6-1-7-4</td> </tr> <tr> <td>高
h</td> <td>-30</td> </tr> </table> | 幅
w | -30
 | 6-1-7-4

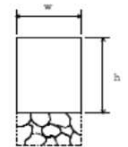
 | 6-1-7-4 | | | 高
h | -30 | I-95 | | | | | | | | | | | | | | | | |

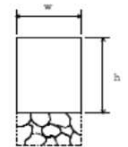
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 幅
w | -30
 | 6-1-7-4

 | 6-1-7-4 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

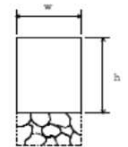
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高
h | -30
 | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6
河
川
護
岸
編 | 1
築
堤
・
護
岸
 | 7
法
覆
護
岸
工 | 4 | 1 | 護岸付属物工 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">幅
w</td> <td style="width: 10%;">-30</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">6-1-7-4</td> </tr> <tr> <td>高
h</td> <td>-30</td> </tr> </table> | 幅
w | -30
 | 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 6-1-7-4 | 高
h | -30 | I-95 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 幅
w | -30
 | 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 6-1-7-4 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高
h | -30
 | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |


 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第7編 河川海岸編 |
 | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第1章 堤防・護岸 |
 | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |


 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第6節 護岸工 |
 | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7-1-6-4
海岸コンクリートブロック工 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">7
河
川
海
岸
編</td> <td style="width: 2%;">1
堤
防
・
護
岸</td> <td style="width: 2%;">6
護
岸
工</td> <td style="width: 2%;">4</td> <td style="width: 2%;">1</td> <td style="width: 10%;">海岸コンクリートブロック工</td> <td style="width: 15%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

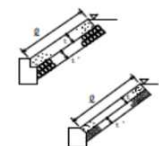
 1施工箇所につき 2ヶ所。

 1施工箇所毎 </td> <td rowspan="2" style="width: 15%; text-align: center;">  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 5m$</td> <td>-100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 5m$</td> <td>$a \times (-2\%)$</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">7
河
川
海
岸
編</td> <td style="width: 2%;">1
堤
防
・
護
岸</td> <td style="width: 2%;">6
護
岸
工</td> <td style="width: 2%;">4</td> <td style="width: 2%;">1</td> <td style="width: 10%;">海岸コンクリートブロック工</td> <td style="width: 15%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

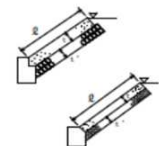
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 5m$</td> <td>-100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 5m$</td> <td>$a \times (-2\%)$</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

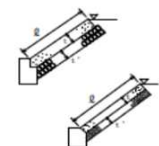
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

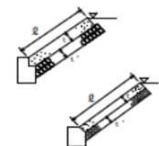
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

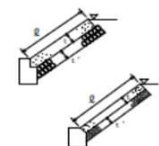
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

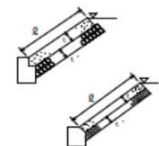
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

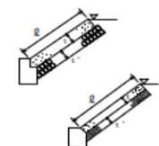
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

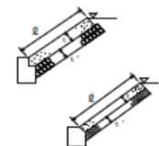
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

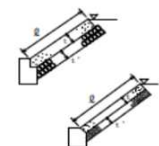
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td>
<td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

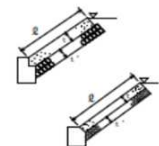
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

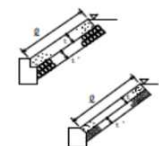
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

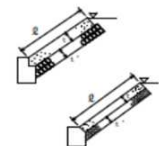
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

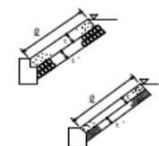
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

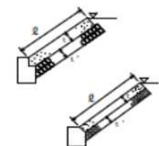
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

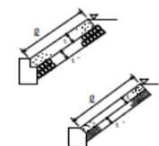
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。


 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。


 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長</td></tr></table></td></tr></table></td></tr></table> | 7
河
川
海
岸
編 | 1
堤
防
・
護
岸 | 6
護
岸
工 | 4 | 1
 | 海岸コンクリートブロック工 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。


 1施工箇所につき 2ヶ所。

 1施工箇所毎 </td> <td rowspan="2" style="width: 15%; text-align: center;">  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 5m$</td> <td>-100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 5m$</td> <td>$a \times (-2\%)$</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

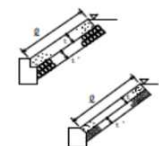
1施工箇所につき 2ヶ所。

1施工箇所毎 |  | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 5m$ | -100 | | $a \geq 5m$ | $a \times (-2\%)$ | | | | 厚
t | -30 | | | | 延
長
L | -200 | | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">7
河
川
海
岸
編</td> <td style="width: 2%;">1
堤
防
・
護
岸</td> <td style="width: 2%;">6
護
岸
工</td> <td style="width: 2%;">4</td> <td style="width: 2%;">1</td> <td style="width: 10%;">海岸コンクリートブロック工</td> <td style="width: 15%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

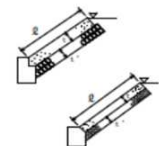
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 5m$</td> <td>-100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 5m$</td> <td>$a \times (-2\%)$</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

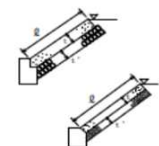
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

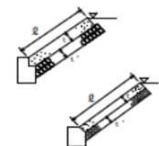
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

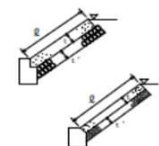
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

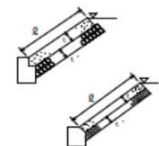
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

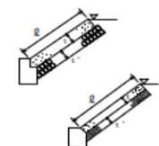
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

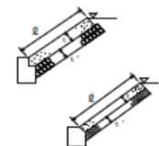
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

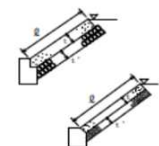
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

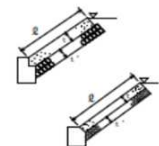
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

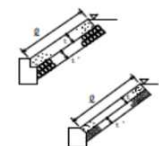
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

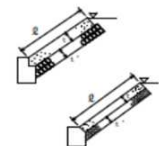
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

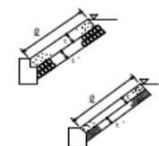
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

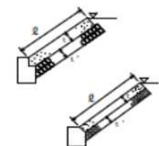
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

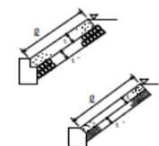
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td>
<td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。


 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。


 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長</td></tr></table></td></tr></table> | 7
河
川
海
岸
編
 | 1
堤
防
・
護
岸 | 6
護
岸
工 | 4 | 1 | 海岸コンクリートブロック工 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

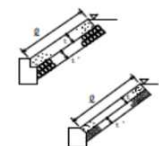
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr>
<td>法架a</td> <td>$a < 5m$</td> <td>-100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 5m$</td> <td>$a \times (-2\%)$</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

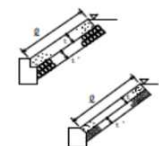
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 5m$ | -100 | | $a \geq 5m$ | $a \times (-2\%)$ | | | | 厚
t | -30 | | | | 延
長
L | -200 | | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

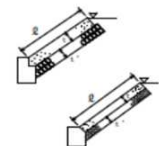
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

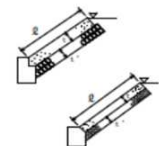
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200
 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

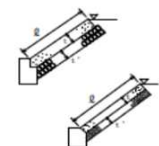
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

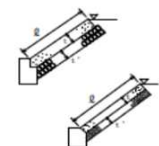
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

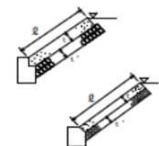
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

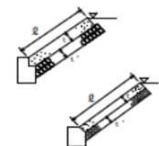
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width:
15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

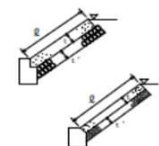
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

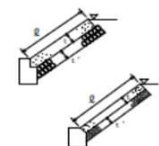
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

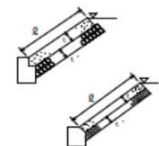
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

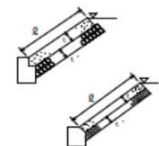
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

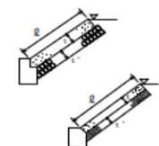
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

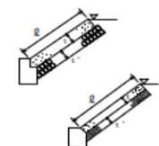
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20
 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

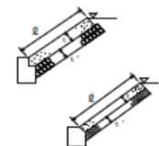
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

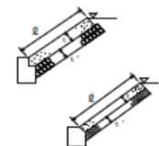
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

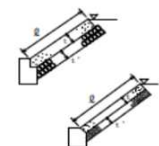
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

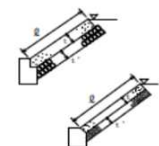
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき
2ヶ所。

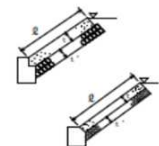
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

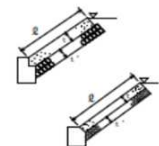
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

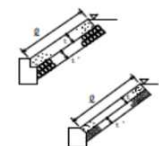
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

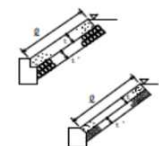
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

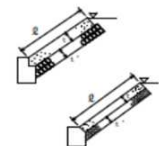
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

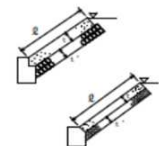
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L
| -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

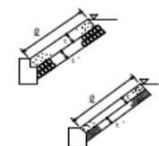
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

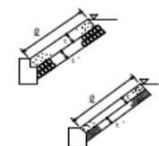
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

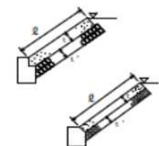
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

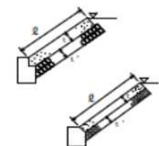
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

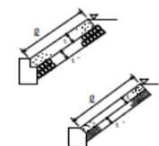
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

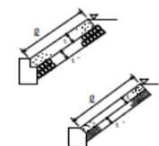
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 |
 | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。


 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。


「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長</td></tr></table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長 |
| 7
河
川
海
岸
編 | 1
堤
防
・
護
岸
 | 6
護
岸
工 | 4 | 1 | 海岸コンクリートブロック工 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

 1施工箇所につき 2ヶ所。


 1施工箇所毎 </td> <td rowspan="2" style="width: 15%; text-align: center;">  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 5m$</td> <td>-100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 5m$</td> <td>$a \times (-2\%)$</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50
 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

1施工箇所につき 2ヶ所。

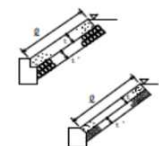
1施工箇所毎 |  | | | | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 5m$ | -100 | | $a \geq 5m$ | $a \times (-2\%)$ | | | | 厚
t | -30 | | | | 延
長
L | -200 | |

 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">7
河
川
海
岸
編</td> <td style="width: 2%;">1
堤
防
・
護
岸</td> <td style="width: 2%;">6
護
岸
工</td> <td style="width: 2%;">4</td> <td style="width: 2%;">1</td> <td style="width: 10%;">海岸コンクリートブロック工</td> <td style="width: 15%;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

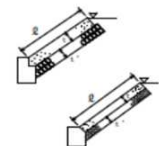
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 5m$</td> <td>-100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 5m$</td> <td>$a \times (-2\%)$</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

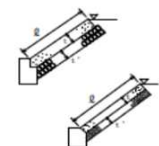
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

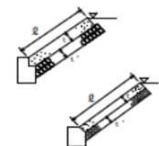
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

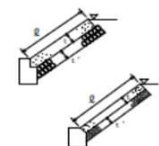
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

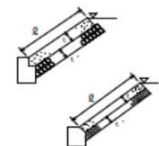
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

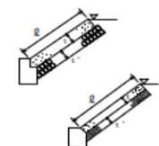
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

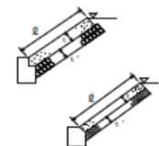
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

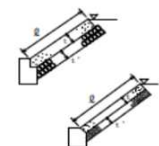
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td
style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

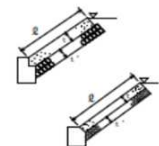
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

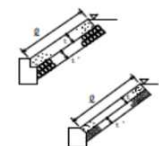
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

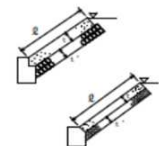
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

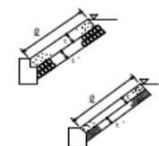
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

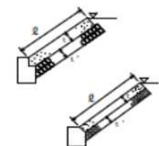
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

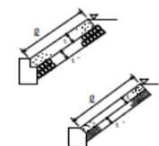
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。


 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。


 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td style="vertical-align: top;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長</td></tr></table></td></tr></table> | 7
河
川
海
岸
編 | 1
堤
防
・
護
岸 | 6
護
岸
工 | 4 | 1 | 海岸コンクリートブロック工 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

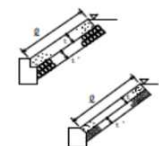
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。


 </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 5m$</td> <td>-100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 5m$</td> <td>$a \times (-2\%)$</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | | | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

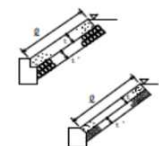
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 5m$ | -100 | | $a \geq 5m$ | $a \times (-2\%)$ | | | | 厚
t | -30 | | | | 延
長
L | -200 | | | | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

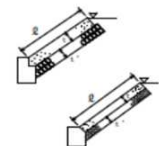
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

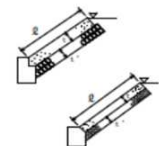
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t
 | -50 | | | 延
長
L | | | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

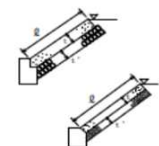
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

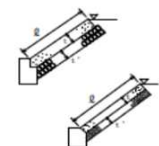
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

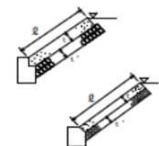
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

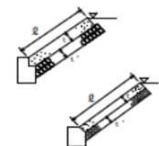
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30
| | 高さ材厚
t | | | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

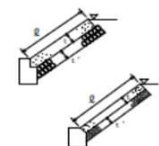
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

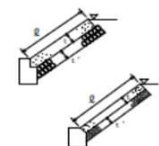
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

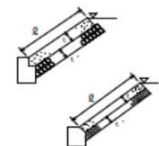
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

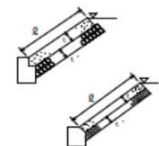
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

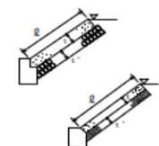
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

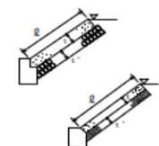
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 |
 | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

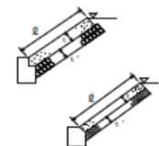
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

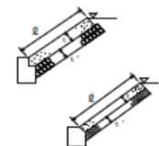
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | | | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

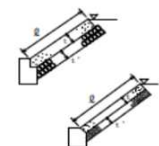
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

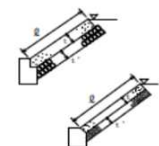
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | |
 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

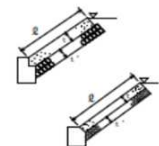
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

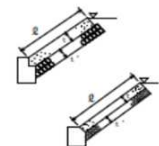
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | | | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

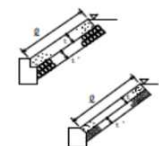
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

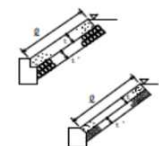
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

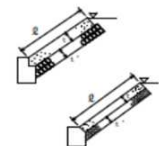
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

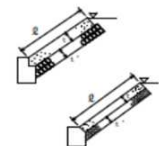
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。


 | 7-1-6-4 | 法架a | | | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

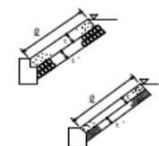
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

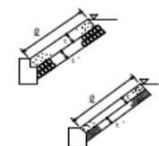
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | | | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

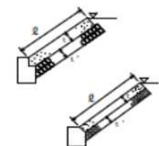
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | | | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

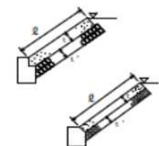
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L
 | -200 | | | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。


 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | |
| 基準高
▽ | ±50
 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

1施工箇所につき 2ヶ所。

1施工箇所毎 |  | 7-1-6-4 | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法架a | $a < 5m$
 | | | | -100 | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |


 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | $a \geq 5m$
 | $a \times (-2\%)$ | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 厚
t
 | -30 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |


 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 延
長
L
 | -200 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7
河
川
海
岸
編 | 1
堤
防
・
護
岸
 | 6
護
岸
工 | 4 | 1 | 海岸コンクリートブロック工 | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

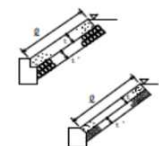
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 5m$</td> <td>-100</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 5m$</td> <td>$a \times (-2\%)$</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>-30</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50
 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

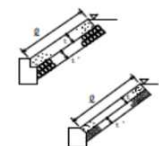
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 5m$ | -100 | | $a \geq 5m$ | $a \times (-2\%)$ | | | | 厚
t | -30 | | | | 延
長
L | -200 | | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

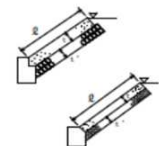
  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

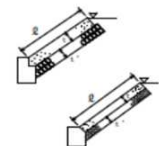


 | 7-1-6-4
 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t
 | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

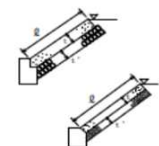
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

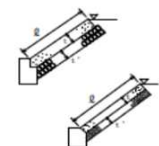
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

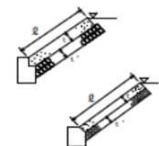
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

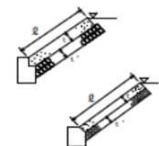
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a
 | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

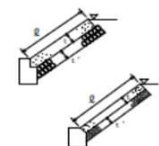
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

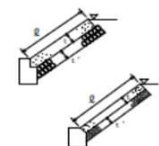
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

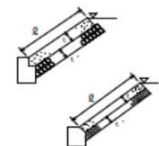
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

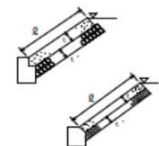
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 |
 | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

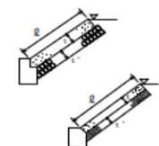
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

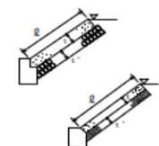
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

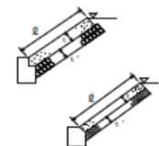
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

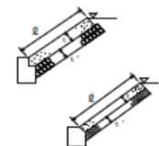
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

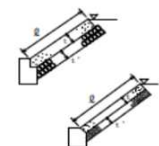
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq
100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

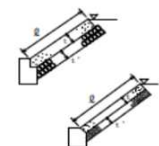
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

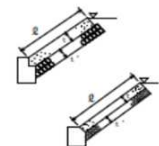
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

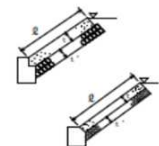
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

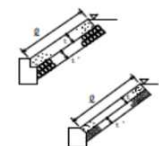
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

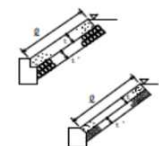
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200
 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

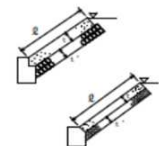
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

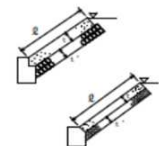
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

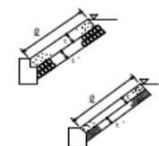
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

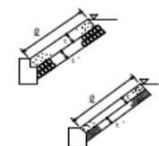
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

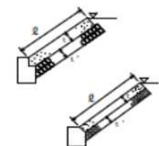
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

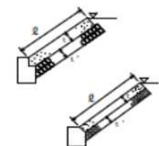
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

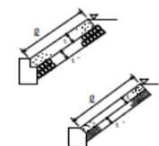
 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

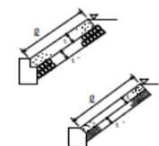
「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。


 「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

  </td> <td rowspan="2" style="width: 10%;">7-1-6-4</td> </tr> <tr> <td>法架a</td> <td>$a < 3m$</td> <td>-50</td> </tr> <tr> <td></td> <td>$a \geq 3m$</td> <td>-100</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚
t</td> <td>$t < 100$</td> <td>-20</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>$t \geq 100$</td> <td>-30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高さ材厚
t</td> <td>-50</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>延
長
L</td> <td>-200</td> <td></td> </tr> </table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | 法架a | $a < 3m$ | -50 | | $a \geq 3m$ | -100 | | | 厚
t | $t < 100$ | -20 | | | $t \geq 100$ | -30 | | 高さ材厚
t | -50 | | | 延
長
L | -200 | | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">基準高
▽</td> <td style="width: 10%;">±50</td> <td rowspan="2" style="width: 15%;"> 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長</td></tr></table> | 基準高
▽ | ±50 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長 | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基準高
▽ | ±50
 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法架a | $a < 5m$
 | | | -100 | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

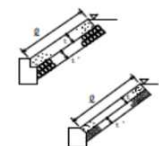
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | $a \geq 5m$
 | $a \times (-2\%)$ | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 厚
t
 | -30 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 延
長
L
 | -200 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基準高
▽ | ±50
 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法架a | $a < 3m$
 | | | -50 | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | $a \geq 3m$
 | -100 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 厚
t
 | $t < 100$ | -20 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

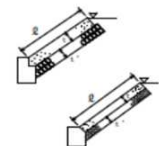
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| |
 | $t \geq 100$ | -30 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高さ材厚
t
 | -50 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 延
長
L
 | -200 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基準高
▽ | ±50
 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法架a | $a < 3m$
 | | | -50 | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | $a \geq 3m$
 | -100 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 厚
t
 | $t < 100$ | -20 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

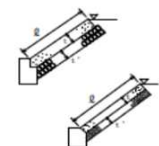
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| |
 | $t \geq 100$ | -30 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高さ材厚
t
 | -50 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 延
長
L
 | -200 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基準高
▽ | ±50
 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法架a | $a < 3m$
 | | | -50 | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | $a \geq 3m$
 | -100 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 厚
t
 | $t < 100$ | -20 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

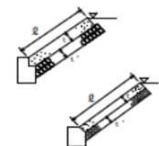
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| |
 | $t \geq 100$ | -30 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高さ材厚
t
 | -50 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 延
長
L
 | -200 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基準高
▽ | ±50
 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法架a | $a < 3m$
 | | | -50 | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | $a \geq 3m$
 | -100 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 厚
t
 | $t < 100$ | -20 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

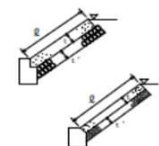
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| |
 | $t \geq 100$ | -30 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高さ材厚
t
 | -50 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 延
長
L
 | -200 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基準高
▽ | ±50
 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法架a | $a < 3m$
 | | | -50 | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | $a \geq 3m$
 | -100 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 厚
t
 | $t < 100$ | -20 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

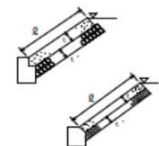
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| |
 | $t \geq 100$ | -30 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高さ材厚
t
 | -50 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 延
長
L
 | -200 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基準高
▽ | ±50
 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法架a | $a < 3m$
 | | | -50 | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | $a \geq 3m$
 | -100 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 厚
t
 | $t < 100$ | -20 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

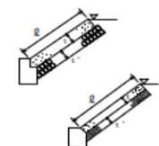
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| |
 | $t \geq 100$ | -30 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高さ材厚
t
 | -50 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 延
長
L
 | -200 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基準高
▽ | ±50
 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法架a | $a < 3m$
 | | | -50 | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | $a \geq 3m$
 | -100 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 厚
t
 | $t < 100$ | -20 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

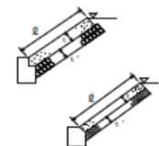
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| |
 | $t \geq 100$ | -30 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高さ材厚
t
 | -50 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 延
長
L
 | -200 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基準高
▽ | ±50
 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法架a | $a < 3m$
 | | | -50 | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | $a \geq 3m$
 | -100 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 厚
t
 | $t < 100$ | -20 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

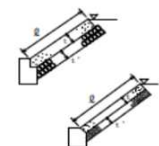
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| |
 | $t \geq 100$ | -30 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高さ材厚
t
 | -50 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 延
長
L
 | -200 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基準高
▽ | ±50
 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法架a | $a < 3m$
 | | | -50 | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | $a \geq 3m$
 | -100 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 厚
t
 | $t < 100$ | -20 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

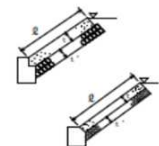
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| |
 | $t \geq 100$ | -30 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高さ材厚
t
 | -50 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 延
長
L
 | -200 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基準高
▽ | ±50
 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法架a | $a < 3m$
 | | | -50 | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | $a \geq 3m$
 | -100 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 厚
t
 | $t < 100$ | -20 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

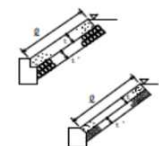
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| |
 | $t \geq 100$ | -30 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高さ材厚
t
 | -50 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 延
長
L
 | -200 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基準高
▽ | ±50
 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法架a | $a < 3m$
 | | | -50 | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | $a \geq 3m$
 | -100 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 厚
t
 | $t < 100$ | -20 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

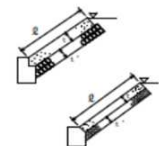
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| |
 | $t \geq 100$ | -30 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高さ材厚
t
 | -50 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 延
長
L
 | -200 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基準高
▽ | ±50
 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法架a | $a < 3m$
 | | | -50 | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | $a \geq 3m$
 | -100 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 厚
t
 | $t < 100$ | -20 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

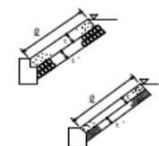
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| |
 | $t \geq 100$ | -30 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高さ材厚
t
 | -50 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 延
長
L
 | -200 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基準高
▽ | ±50
 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法架a | $a < 3m$
 | | | -50 | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | $a \geq 3m$
 | -100 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 厚
t
 | $t < 100$ | -20 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

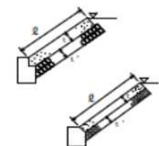
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| |
 | $t \geq 100$ | -30 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高さ材厚
t
 | -50 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 延
長
L
 | -200 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基準高
▽ | ±50
 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法架a | $a < 3m$
 | | | -50 | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | $a \geq 3m$
 | -100 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 厚
t
 | $t < 100$ | -20 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

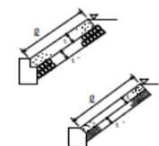
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| |
 | $t \geq 100$ | -30 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高さ材厚
t
 | -50 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 延
長
L
 | -200 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基準高
▽ | ±50
 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1
施工箇所につき 2ヶ所。

「3次元計測技術を用いた出来形管理基準 (3D)
護岸工事編」の規定による測定の管理方法を用いる
ことができる。

 | 7-1-6-4 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 法架a | $a < 3m$
 | | | -50 | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | $a \geq 3m$
 | -100 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 厚
t
 | $t < 100$ | -20 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

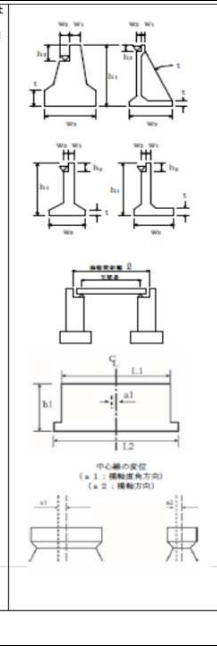
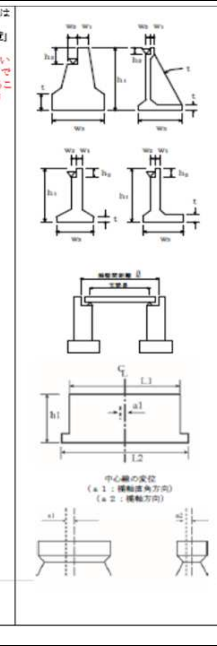
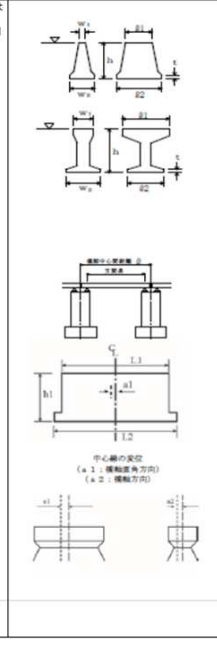
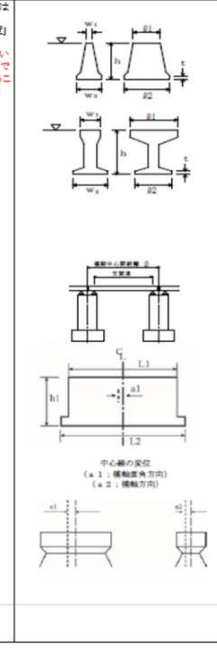
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| |
 | $t \geq 100$ | -30 | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高さ材厚
t
 | -50 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 延
長
L
 | -200 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

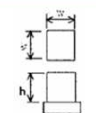
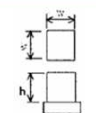
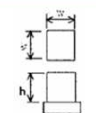
 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基準高
▽ | ±50
 | 施工延長40m (測点間隔2mの場合) につ
き1ヶ所、延長 | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

 |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

項目	現行										改定【改定箇所：赤字】										頁番号																																																								
<p>第3章 橋梁下部 第6節 橋台工</p>																																																																													
<p>10-3-6-8 橋台躯体工</p>	10 道路橋	3 橋梁下部	6 橋台工	8	橋台躯体工	<table border="1"> <tr><td>基準高 ∇</td><td>±20</td></tr> <tr><td>厚さ t</td><td>-20</td></tr> <tr><td>天端幅 w_1 (橋軸方向)</td><td>-10</td></tr> <tr><td>天端幅 w_2 (橋軸方向)</td><td>-10</td></tr> <tr><td>墩幅 w_3 (橋軸方向)</td><td>-50</td></tr> <tr><td>高さ h_1</td><td>-50</td></tr> <tr><td>脚壁の高さ h_2</td><td>-30</td></tr> <tr><td>天端長さ a_1</td><td>-50</td></tr> <tr><td>墩長さ a_2</td><td>-50</td></tr> <tr><td>脚壁間隔 a</td><td>±30</td></tr> <tr><td>支間長及び 中心線の位置</td><td>±50</td></tr> <tr><td rowspan="3">支床部アンカースポルトの埋設規格値</td><td>計画高</td><td>+10~-20</td></tr> <tr><td>平面位置</td><td>±20</td></tr> <tr><td>アナゴシ孔の 鉛直度</td><td>1/50以下</td></tr> </table>	基準高 ∇	±20	厚さ t	-20	天端幅 w_1 (橋軸方向)	-10	天端幅 w_2 (橋軸方向)	-10	墩幅 w_3 (橋軸方向)	-50	高さ h_1	-50	脚壁の高さ h_2	-30	天端長さ a_1	-50	墩長さ a_2	-50	脚壁間隔 a	±30	支間長及び 中心線の位置	±50	支床部アンカースポルトの埋設規格値	計画高	+10~-20	平面位置	±20	アナゴシ孔の 鉛直度	1/50以下	<p>橋軸方向の断面寸法は中央及び脚壁部、その他は 寸法表示箇所。 埋設形状の詳細については「道路橋文字改定」 による。</p>		10-3-6-8	10 道路橋	3 橋梁下部	6 橋台工	8	橋台躯体工	<table border="1"> <tr><td>基準高 ∇</td><td>±20</td></tr> <tr><td>厚さ t</td><td>-20</td></tr> <tr><td>天端幅 w_1 (橋軸方向)</td><td>-10</td></tr> <tr><td>天端幅 w_2 (橋軸方向)</td><td>-10</td></tr> <tr><td>墩幅 w_3 (橋軸方向)</td><td>-50</td></tr> <tr><td>高さ h_1</td><td>-50</td></tr> <tr><td>脚壁の高さ h_2</td><td>-30</td></tr> <tr><td>天端長さ a_1</td><td>-50</td></tr> <tr><td>墩長さ a_2</td><td>-50</td></tr> <tr><td>脚壁間隔 a</td><td>±30</td></tr> <tr><td>支間長及び 中心線の位置</td><td>±50</td></tr> <tr><td rowspan="3">支床部アンカースポルトの埋設規格値</td><td>計画高</td><td>+10~-20</td></tr> <tr><td>平面位置</td><td>±20</td></tr> <tr><td>アナゴシ孔の 鉛直度</td><td>1/50以下</td></tr> </table>	基準高 ∇	±20	厚さ t	-20	天端幅 w_1 (橋軸方向)	-10	天端幅 w_2 (橋軸方向)	-10	墩幅 w_3 (橋軸方向)	-50	高さ h_1	-50	脚壁の高さ h_2	-30	天端長さ a_1	-50	墩長さ a_2	-50	脚壁間隔 a	±30	支間長及び 中心線の位置	±50	支床部アンカースポルトの埋設規格値	計画高	+10~-20	平面位置	±20	アナゴシ孔の 鉛直度	1/50以下	<p>橋軸方向の断面寸法は中央及び脚壁部、その他は 寸法表示箇所。 埋設形状の詳細については「道路橋文字改定」 による。 なお、従来仕様との違いは「3次元計測技術を用いた 出来形管理基準(高)構造物工事(歩行)」で 規定する出来形計測精度を有する機器を用いること ができる。(アンカースポルト孔の鉛直度を除く)</p>		10-3-6-8	I-124
基準高 ∇	±20																																																																												
厚さ t	-20																																																																												
天端幅 w_1 (橋軸方向)	-10																																																																												
天端幅 w_2 (橋軸方向)	-10																																																																												
墩幅 w_3 (橋軸方向)	-50																																																																												
高さ h_1	-50																																																																												
脚壁の高さ h_2	-30																																																																												
天端長さ a_1	-50																																																																												
墩長さ a_2	-50																																																																												
脚壁間隔 a	±30																																																																												
支間長及び 中心線の位置	±50																																																																												
支床部アンカースポルトの埋設規格値	計画高	+10~-20																																																																											
	平面位置	±20																																																																											
	アナゴシ孔の 鉛直度	1/50以下																																																																											
基準高 ∇	±20																																																																												
厚さ t	-20																																																																												
天端幅 w_1 (橋軸方向)	-10																																																																												
天端幅 w_2 (橋軸方向)	-10																																																																												
墩幅 w_3 (橋軸方向)	-50																																																																												
高さ h_1	-50																																																																												
脚壁の高さ h_2	-30																																																																												
天端長さ a_1	-50																																																																												
墩長さ a_2	-50																																																																												
脚壁間隔 a	±30																																																																												
支間長及び 中心線の位置	±50																																																																												
支床部アンカースポルトの埋設規格値	計画高	+10~-20																																																																											
	平面位置	±20																																																																											
	アナゴシ孔の 鉛直度	1/50以下																																																																											
<p>第7節 RC橋脚工</p>																																																																													
<p>10-3-7-9 橋脚躯体工</p>	10 道路橋	3 橋梁下部	7 RC橋脚工	9	橋脚躯体工 (橋脚) (半重力的)	<table border="1"> <tr><td>基準高 ∇</td><td>±20</td></tr> <tr><td>厚さ t</td><td>-20</td></tr> <tr><td>天端幅 w_1 (橋軸方向)</td><td>-20</td></tr> <tr><td>墩幅 w_2 (橋軸方向)</td><td>-50</td></tr> <tr><td>高さ h</td><td>-50</td></tr> <tr><td>天端長さ a_1</td><td>-50</td></tr> <tr><td>墩長さ a_2</td><td>-50</td></tr> <tr><td>橋脚中心間隔 a</td><td>±30</td></tr> <tr><td>支間長及び 中心線の位置</td><td>±50</td></tr> <tr><td rowspan="3">支床部アンカースポルトの埋設規格値</td><td>計画高</td><td>+10~-20</td></tr> <tr><td>平面位置</td><td>±20</td></tr> <tr><td>アナゴシ孔の 鉛直度</td><td>1/50以下</td></tr> </table>	基準高 ∇	±20	厚さ t	-20	天端幅 w_1 (橋軸方向)	-20	墩幅 w_2 (橋軸方向)	-50	高さ h	-50	天端長さ a_1	-50	墩長さ a_2	-50	橋脚中心間隔 a	±30	支間長及び 中心線の位置	±50	支床部アンカースポルトの埋設規格値	計画高	+10~-20	平面位置	±20	アナゴシ孔の 鉛直度	1/50以下	<p>橋軸方向の断面寸法は中央及び脚壁部、その他は 寸法表示箇所。 埋設形状の詳細については「道路橋文字改定」 による。</p>		10-3-7-9	10 道路橋	3 橋梁下部	7 RC橋脚工	9	橋脚躯体工 (橋脚) (半重力的)	<table border="1"> <tr><td>基準高 ∇</td><td>±20</td></tr> <tr><td>厚さ t</td><td>-20</td></tr> <tr><td>天端幅 w_1 (橋軸方向)</td><td>-20</td></tr> <tr><td>墩幅 w_2 (橋軸方向)</td><td>-50</td></tr> <tr><td>高さ h</td><td>-50</td></tr> <tr><td>天端長さ a_1</td><td>-50</td></tr> <tr><td>墩長さ a_2</td><td>-50</td></tr> <tr><td>橋脚中心間隔 a</td><td>±30</td></tr> <tr><td>支間長及び 中心線の位置</td><td>±50</td></tr> <tr><td rowspan="3">支床部アンカースポルトの埋設規格値</td><td>計画高</td><td>+10~-20</td></tr> <tr><td>平面位置</td><td>±20</td></tr> <tr><td>アナゴシ孔の 鉛直度</td><td>1/50以下</td></tr> </table>	基準高 ∇	±20	厚さ t	-20	天端幅 w_1 (橋軸方向)	-20	墩幅 w_2 (橋軸方向)	-50	高さ h	-50	天端長さ a_1	-50	墩長さ a_2	-50	橋脚中心間隔 a	±30	支間長及び 中心線の位置	±50	支床部アンカースポルトの埋設規格値	計画高	+10~-20	平面位置	±20	アナゴシ孔の 鉛直度	1/50以下	<p>橋軸方向の断面寸法は中央及び脚壁部、その他は 寸法表示箇所。 埋設形状の詳細については「道路橋文字改定」 による。 なお、従来仕様との違いは「3次元計測技術を用いた 出来形管理基準(高)構造物工事(歩行)」で 規定する出来形計測精度を有する機器を用いること ができる。(アンカースポルト孔の鉛直度を除く)</p>		10-3-7-9	I-125								
基準高 ∇	±20																																																																												
厚さ t	-20																																																																												
天端幅 w_1 (橋軸方向)	-20																																																																												
墩幅 w_2 (橋軸方向)	-50																																																																												
高さ h	-50																																																																												
天端長さ a_1	-50																																																																												
墩長さ a_2	-50																																																																												
橋脚中心間隔 a	±30																																																																												
支間長及び 中心線の位置	±50																																																																												
支床部アンカースポルトの埋設規格値	計画高	+10~-20																																																																											
	平面位置	±20																																																																											
	アナゴシ孔の 鉛直度	1/50以下																																																																											
基準高 ∇	±20																																																																												
厚さ t	-20																																																																												
天端幅 w_1 (橋軸方向)	-20																																																																												
墩幅 w_2 (橋軸方向)	-50																																																																												
高さ h	-50																																																																												
天端長さ a_1	-50																																																																												
墩長さ a_2	-50																																																																												
橋脚中心間隔 a	±30																																																																												
支間長及び 中心線の位置	±50																																																																												
支床部アンカースポルトの埋設規格値	計画高	+10~-20																																																																											
	平面位置	±20																																																																											
	アナゴシ孔の 鉛直度	1/50以下																																																																											

項目	現行										改定【改定箇所：赤字】										頁番号						
	10 道路 幅	3 橋 脚 下 部	7 R C 橋 脚 工	9	2	橋脚躯体工 (ラーメン式)	基礎高 ∇	± 20	±20	橋脚方向の新断面寸法は中央及び側溝部、その他は が表示される。 規格を別表の詳規については「道路橋支保工改定」 による。		10-3-7-9		10 道路 幅	3 橋 脚 下 部	7 R C 橋 脚 工	9	2	橋脚躯体工 (ラーメン式)	基礎高 ∇	± 20	±20	橋脚方向の新断面寸法は中央及び側溝部、その他は が表示される。 規格を別表の詳規については「道路橋支保工改定」 による。 なお、旧規管理の法に「3次元計測技術を用い た形状管理(形状管理)機能」で 管理する形状計測精度を増加する機能を備えるこ とができる。(アンダーボルト孔の鉛直度を除く)		10-3-7-9		I-126
第4章 鋼橋上部 第5節 鋼橋架設工																											
10-4-5-10 支承工	10 道路 幅	4 鋼 橋 上 部	5 鋼 橋 架 設 工	10	2	支承工 (ゴム支承)	据付け高さ (注1)	± 5	±5	支承全数を測定 B: 支承中心間隔 (m)	上部構造部材下面とゴム支承面との接触面及びゴ ム支承と台座モルタルとの接触面に嵌りすぎが無い ことを確認。 支承の平面寸法が300mm 以下の場合、水平面の 高低差を1mm 以下とする。なお、支承を均等に に据付ける場合を除く。 注1) 先固定の場合は、支承上面で測定する。 注2) 可動支承の遊間 (A, L) を計測し、支承 据付け時のオフセット量 δ を考慮して、移動可能 量の道路橋支保工の規格値を満たすことを確認す る。 注3) 可動支承の移動量検査は、架設完了後に実 施する。 詳細は、道路橋支保工参照。	10-4-5-10		10 道路 幅	4 鋼 橋 上 部	5 鋼 橋 架 設 工	10	2	支承工 (ゴム支承)	据付け高さ (注1)	± 5	±5	支承全数を測定 B: 支承中心間隔 (m)	上部構造部材下面とゴム支承面との接触面及びゴ ム支承と台座モルタルとの接触面に嵌りすぎが無い ことを確認。 支承の平面寸法が300mm 以下の場合、水平面の 高低差を1mm 以下とする。なお、支承を均等に に据付ける場合を除く。 注1) 先固定の場合は、支承上面で測定する。 注2) 可動支承の遊間 (A, L) を計測し、支承 据付け時のオフセット量 δ を考慮して、移動可能 量の道路橋支保工の規格値を満たすことを確認す る。 注3) 可動支承の移動量検査は、架設完了後に実 施する。 詳細は、道路橋支保工参照。	10-4-5-10		I-128
第12章 電線共同溝 第5節 電線共同溝工																											
10-12-5-2 管路工	10 道路 幅	12 電 線 共 同 溝	5 電 線 共 同 溝 工	10	2	管路工(管箱部)	埋設深 t	0~+30	0~+30	埋設部(地上埋設部) 間隔に1ヶ所。		10-12-5-2		10 道路 幅	12 電 線 共 同 溝	5 電 線 共 同 溝 工	10	2	管路工(管箱部)	埋設深 t	0~+30	0~+30	埋設部(地上埋設部) 間隔に1ヶ所。		10-12-5-2		I-135
	10 道路 幅	12 電 線 共 同 溝	5 電 線 共 同 溝 工	10	2	管路工(管箱部)	敷き砂厚さ t	-10	-10	埋設部(地上埋設部) 間隔に1ヶ所。		10-12-5-2		10 道路 幅	12 電 線 共 同 溝	5 電 線 共 同 溝 工	10	2	管路工(管箱部)	敷き砂厚さ t	-10	-10	埋設部(地上埋設部) 間隔に1ヶ所。		10-12-5-2	10-12-5-2 土木技 術工(管箱部)に 関係	I-136
10-12-5-3 プレキャストボックス工	10 道路 幅	12 電 線 共 同 溝	5 電 線 共 同 溝 工	10	3	プレキャストボックス工(特殊部)	基礎高 ∇	± 30	±30	埋設部(地上埋設部) 間隔に1ヶ所。		10-12-5-3		10 道路 幅	12 電 線 共 同 溝	5 電 線 共 同 溝 工	10	3	プレキャストボックス工(特殊部)	基礎高 ∇	± 30	±30	埋設部(地上埋設部) 間隔に1ヶ所。		10-12-5-3		I-136
	10 道路 幅	12 電 線 共 同 溝	5 電 線 共 同 溝 工	10	3	プレキャストボックス工(特殊部) (地下マンホール)	内径幅 ϕ	-30	-30	埋設部		10-12-5-3		10 道路 幅	12 電 線 共 同 溝	5 電 線 共 同 溝 工	10	3	プレキャストボックス工(特殊部) (地下マンホール)	内径幅 ϕ	-30	-30	埋設部		10-12-5-3 ハンド ブック(埋設部)に 関係		I-136

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行	改定【改定箇所：赤字】	頁番号																												
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: small;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">10 改正 欄</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">12 標準 共通 仕様</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">5 要 求 共 同 準 則 工</td> <td style="width: 5%; text-align: center;">4</td> <td style="width: 20%;">既設打ちボックス工 (特注品)</td> <td style="width: 10%;">コンクリート養生</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">-30</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1 標準品</td> <td rowspan="3" style="width: 15%; text-align: center;">  </td> <td style="width: 10%; text-align: center;">トラスボルト固定工事 に適用</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>コンクリート幅</td> <td style="text-align: center;">-30</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	10 改正 欄	12 標準 共通 仕様	5 要 求 共 同 準 則 工	4	既設打ちボックス工 (特注品)	コンクリート養生	-30	1 標準品		トラスボルト固定工事 に適用						コンクリート幅	-30												I-136
10 改正 欄	12 標準 共通 仕様	5 要 求 共 同 準 則 工	4	既設打ちボックス工 (特注品)	コンクリート養生	-30	1 標準品		トラスボルト固定工事 に適用																						
					コンクリート幅	-30																									

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号	
品質管理基準				
1 セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く)	種別：製造（プラント）、試験区分：その他		II-2	
	エキゾの練混ぜ性能試験 パンチミキサの場合 JIS A 1119 JIS A 8603-1 JIS A 8603-2	コンクリートの練混ぜ量 公称容量の場合： コンクリート内のモルタル量の偏差率：0.8%以下 コンクリート内の粗骨材量の偏差率：5%以下 圧縮強度の偏差率：7.5%以下 コンクリート内空気量の偏差率：10%以下 コンスタンシー（スランプ）の偏差率：15%以下		小規模工種で1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種1回以上の試験、またはレディーミキストコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。 ※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。（橋台、橋脚、杭型（場所打杭、井筒基礎等）、橋梁上部工（桁、床版、高欄等）、橋脚工（高さ1m以上）、側道工、橋門、樋管、水門、水路（内幅2.0m以上）、護岸、ダム及び堰、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種）
	連続ミキサの場合 土木学会標準JISCE 1 502-2013	コンクリート中のモルタル単位容積質量差：0.8%以下 コンクリート中の単位粗骨材量の差：5%以下 圧縮強度差：7.5%以下 空気量差：1%以下 スランプ差：3cm以下	○	
	コンクリート中のモルタル単位容積質量差：0.8%以下 コンクリート中の単位粗骨材量の差：5%以下 圧縮強度差：7.5%以下 空気量差：1%以下 スランプ差：3cm以下	コンクリート中のモルタル単位容積質量差：0.8%以下 コンクリート中の単位粗骨材量の差：5%以下 圧縮強度差：7.5%以下 空気量差：1%以下 スランプ差：3cm以下	○	
種別：施工、試験区分：必須				
塩化物総量規制 「コンクリートの耐久性向上」	原則0.3kg/m ³ 以下	コンクリートの打設が午前と午後にまたがる場合は、午前1回コンクリート打設前に行い、その試験結果が塩化物総量の規制値の1/2以下の場合は、午後の試験を省略することができる。 （1試験の測定回数は3回とする）試験の判定は3回の測定値の平均値。	小規模工種で1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種1回以上の試験、またはレディーミキストコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」(JISCE-C502-2018, 503-2018) または設計図書の規定により行う。 ・用心数鉄筋等を有さない無筋構造物の場合は省略できる。 ※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。（橋台、橋脚、杭型（場所打杭、井筒基礎等）、橋梁上部工（桁、床版、高欄等）、橋脚工（高さ1m以上）、側道工、橋門、樋管、水門、水路（内幅2.0m以上）、護岸、ダム及び堰、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種）	○
種別：施工、試験区分：必須				
塩化物総量規制 「コンクリートの耐久性向上」	原則0.3kg/m ³ 以下	コンクリートの打設が午前と午後にまたがる場合は、午前1回コンクリート打設前に行い、その試験結果が塩化物総量の規制値の1/2以下の場合は、午後の試験を省略することができる。 （1試験の測定回数は3回とする）試験の判定は3回の測定値の平均値。	小規模工種で1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種1回以上の試験、またはレディーミキストコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」(JISCE-C502-2018, 503-2018) または設計図書の規定により行う。 ・用心数鉄筋等を有さない無筋構造物の場合は省略できる。	○
種別：施工、試験区分：必須				
単位水量測定	「レディーミキストコンクリート単位水量測定要領（案）（平成16年8月8日事務連絡）」 1) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工してよい。 2) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m ³ を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示し、その運転車の生コンは打設する。その後、配合設計±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運転車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 なお、「15kg/m ³ 以内で安定するまで」とは、2回連続して15kg/m ³ 以内の値を観測することをいう。 3) 配合設計±20kg/m ³ の指示値を超える場合は、生コンを打込まずに、持ち帰らせ、水量変動の原因を調査し、生コン製造業者に改善を指示しなければならない。その後の配合設計±15kg/m ³ 以内になるまで全運転車の測定を行う。 なお、測定値が管理値または指示値を超えた場合は1回に限り再試験を実施することができる。再試験を実施した場合は2回の測定結果のうち、配合設計との差の絶対値の小さい方で評価してよい。	100m ³ /日以上の場合： 2回/日（午前1回、午後1回）以上、重要構造物の場合は重要度に応じて、100m ³ ～150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められたときとし、測定回数は多い方を採用する。	立方配合の単位水量の上限値は、粗骨材の最大寸法が20mm～25mmの場合は175kg/m ³ 、40mmの場合は165kg/m ³ を基本とする。	○
種別：施工、試験区分：必須				
単位水量測定	「レディーミキストコンクリート単位水量測定要領（案）（平成16年8月8日事務連絡）」 1) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工してよい。 2) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m ³ を超え±20kg/m ³ の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示し、その運転車の生コンは打設する。その後、配合設計±15kg/m ³ 以内で安定するまで、運転車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 なお、「15kg/m ³ 以内で安定するまで」とは、2回連続して15kg/m ³ 以内の値を観測することをいう。 3) 配合設計±20kg/m ³ の指示値を超える場合は、生コンを打込まずに、持ち帰らせ、水量変動の原因を調査し、生コン製造業者に改善を指示しなければならない。その後の配合設計±15kg/m ³ 以内になるまで全運転車の測定を行う。 なお、測定値が管理値または指示値を超えた場合は1回に限り再試験を実施することができる。再試験を実施した場合は2回の測定結果のうち、配合設計との差の絶対値の小さい方で評価してよい。	100m ³ /日以上の場合： 2回/日（午前1回、午後1回）以上、重要構造物の場合は重要度に応じて、100m ³ ～150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められたときとし、測定回数は多い方を採用する。	立方配合の単位水量の上限値は、粗骨材の最大寸法が20mm～25mmの場合は175kg/m ³ 、40mmの場合は165kg/m ³ を基本とする。	○

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号											
	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">スランプ試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1101</td> <td style="width: 15%;">スランプ5cm以上8cm未満：許容差±1.5cm スランプ8cm以上18cm以下：許容差±0.5cm スランプ2.5cm：許容差±1.0cm</td> <td style="width: 15%;">・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m³~150m³ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。ただし、道路橋鉄筋コンクリート床版にレディミキストコンクリートを用いる場合は原則として全運搬車測定を行う。 ・道路橋床版の場合、全運搬車試験を行うが、スランプ試験の結果が安定し良好な場合はその後スランプ試験の頻度について監督員と協議し低減することができる。</td> <td style="width: 15%;">・小規模工種で1工種当りの総使用量が50m³未満の場合は1工種1回以上の試験、またはレディミキストコンクリート工種の品質証明書等のなすことができる。1工種当りの総使用量が50m³以上の場合は、50m³ごとに1回の試験を行う。 ・小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。(橋台、橋脚、桁類(場所打杭、井筒基礎等)、橋梁上部工(桁、床版、高欄等)、擁壁工(高さ1m以上)、掘削工、陸門、陸管、水門、水路(内幅2.0m以上)、護岸、ダム及び堤、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種)</td> </tr> </table>	スランプ試験	JIS A 1101	スランプ5cm以上8cm未満：許容差±1.5cm スランプ8cm以上18cm以下：許容差±0.5cm スランプ2.5cm：許容差±1.0cm	・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。ただし、道路橋鉄筋コンクリート床版にレディミキストコンクリートを用いる場合は原則として全運搬車測定を行う。 ・道路橋床版の場合、全運搬車試験を行うが、スランプ試験の結果が安定し良好な場合はその後スランプ試験の頻度について監督員と協議し低減することができる。	・小規模工種で1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種1回以上の試験、またはレディミキストコンクリート工種の品質証明書等のなすことができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ・小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。(橋台、橋脚、桁類(場所打杭、井筒基礎等)、橋梁上部工(桁、床版、高欄等)、擁壁工(高さ1m以上)、掘削工、陸門、陸管、水門、水路(内幅2.0m以上)、護岸、ダム及び堤、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種)	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">スランプ試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1101</td> <td style="width: 15%;">スランプ5cm以上8cm未満：許容差±1.5cm スランプ8cm以上18cm以下：許容差±0.5cm スランプ2.5cm：許容差±1.0cm</td> <td style="width: 15%;">・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m³~150m³ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。ただし、道路橋鉄筋コンクリート床版にレディミキストコンクリートを用いる場合は原則として全運搬車測定を行う。 ・道路橋床版の場合、全運搬車試験を行うが、スランプ試験の結果が安定し良好な場合はその後スランプ試験の頻度について監督員と協議し低減することができる。 ・小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。(橋台、橋脚、桁類(場所打杭、井筒基礎等)、橋梁上部工(桁、床版、高欄等)、擁壁工(高さ1m以上)、掘削工、陸門、陸管、水門、水路(内幅2.0m以上)、護岸、ダム及び堤、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種)</td> <td style="width: 15%;">・小規模工種で1工種当りの総使用量が50m³未満の場合は1工種1回以上の試験、またはレディミキストコンクリート工種の品質証明書等のなすことができる。1工種当りの総使用量が50m³以上の場合は、50m³ごとに1回の試験を行う。 ・小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。(橋台、橋脚、桁類(場所打杭、井筒基礎等)、橋梁上部工(桁、床版、高欄等)、擁壁工(高さ1m以上)、掘削工、陸門、陸管、水門、水路(内幅2.0m以上)、護岸、ダム及び堤、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種)</td> </tr> </table>	スランプ試験	JIS A 1101	スランプ5cm以上8cm未満：許容差±1.5cm スランプ8cm以上18cm以下：許容差±0.5cm スランプ2.5cm：許容差±1.0cm	・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。ただし、道路橋鉄筋コンクリート床版にレディミキストコンクリートを用いる場合は原則として全運搬車測定を行う。 ・道路橋床版の場合、全運搬車試験を行うが、スランプ試験の結果が安定し良好な場合はその後スランプ試験の頻度について監督員と協議し低減することができる。 ・小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。(橋台、橋脚、桁類(場所打杭、井筒基礎等)、橋梁上部工(桁、床版、高欄等)、擁壁工(高さ1m以上)、掘削工、陸門、陸管、水門、水路(内幅2.0m以上)、護岸、ダム及び堤、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種)	・小規模工種で1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種1回以上の試験、またはレディミキストコンクリート工種の品質証明書等のなすことができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ・小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。(橋台、橋脚、桁類(場所打杭、井筒基礎等)、橋梁上部工(桁、床版、高欄等)、擁壁工(高さ1m以上)、掘削工、陸門、陸管、水門、水路(内幅2.0m以上)、護岸、ダム及び堤、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種)	II-3	
スランプ試験	JIS A 1101	スランプ5cm以上8cm未満：許容差±1.5cm スランプ8cm以上18cm以下：許容差±0.5cm スランプ2.5cm：許容差±1.0cm	・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。ただし、道路橋鉄筋コンクリート床版にレディミキストコンクリートを用いる場合は原則として全運搬車測定を行う。 ・道路橋床版の場合、全運搬車試験を行うが、スランプ試験の結果が安定し良好な場合はその後スランプ試験の頻度について監督員と協議し低減することができる。	・小規模工種で1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種1回以上の試験、またはレディミキストコンクリート工種の品質証明書等のなすことができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ・小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。(橋台、橋脚、桁類(場所打杭、井筒基礎等)、橋梁上部工(桁、床版、高欄等)、擁壁工(高さ1m以上)、掘削工、陸門、陸管、水門、水路(内幅2.0m以上)、護岸、ダム及び堤、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種)										
スランプ試験	JIS A 1101	スランプ5cm以上8cm未満：許容差±1.5cm スランプ8cm以上18cm以下：許容差±0.5cm スランプ2.5cm：許容差±1.0cm	・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。ただし、道路橋鉄筋コンクリート床版にレディミキストコンクリートを用いる場合は原則として全運搬車測定を行う。 ・道路橋床版の場合、全運搬車試験を行うが、スランプ試験の結果が安定し良好な場合はその後スランプ試験の頻度について監督員と協議し低減することができる。 ・小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。(橋台、橋脚、桁類(場所打杭、井筒基礎等)、橋梁上部工(桁、床版、高欄等)、擁壁工(高さ1m以上)、掘削工、陸門、陸管、水門、水路(内幅2.0m以上)、護岸、ダム及び堤、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種)	・小規模工種で1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種1回以上の試験、またはレディミキストコンクリート工種の品質証明書等のなすことができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ・小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。(橋台、橋脚、桁類(場所打杭、井筒基礎等)、橋梁上部工(桁、床版、高欄等)、擁壁工(高さ1m以上)、掘削工、陸門、陸管、水門、水路(内幅2.0m以上)、護岸、ダム及び堤、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種)										
	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">コンクリートの圧縮強度試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1108</td> <td style="width: 15%;">1回の試験結果は指定した呼び強度の85%以上であること。 3回の試験結果の平均値は、指定した呼び強度以上であること。 (1回の試験結果は、3個の供試体の試験値の平均値)</td> <td style="width: 15%;">・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m³~150m³ごとに1回、又は、テストペースは打設場所毎に採取し、1回につき6個(φ7~3個、φ28~3個)とする。 ・早強セメントを使用する場合には、必要に応じて1回につき3個(φ3)を追加で採取する。</td> <td style="width: 15%;">・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m³~150m³ごとに1回、又は、テストペースは打設場所毎に採取し、1回につき6個(φ7~3個、φ28~3個)とする。 ・早強セメントを使用する場合には、必要に応じて1回につき3個(φ3)を追加で採取する。</td> </tr> </table>	コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1108	1回の試験結果は指定した呼び強度の85%以上であること。 3回の試験結果の平均値は、指定した呼び強度以上であること。 (1回の試験結果は、3個の供試体の試験値の平均値)	・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、又は、テストペースは打設場所毎に採取し、1回につき6個(φ7~3個、φ28~3個)とする。 ・早強セメントを使用する場合には、必要に応じて1回につき3個(φ3)を追加で採取する。	・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、又は、テストペースは打設場所毎に採取し、1回につき6個(φ7~3個、φ28~3個)とする。 ・早強セメントを使用する場合には、必要に応じて1回につき3個(φ3)を追加で採取する。	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">コンクリートの圧縮強度試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1108</td> <td style="width: 15%;">1回の試験結果は指定した呼び強度の85%以上であること。 3回の試験結果の平均値は、指定した呼び強度以上であること。 (1回の試験結果は、3個の供試体の試験値の平均値)</td> <td style="width: 15%;">・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m³~150m³ごとに1回、又は、テストペースは打設場所毎に採取し、1回につき6個(φ7~3個、φ28~3個)とする。 ・早強セメントを使用する場合には、必要に応じて1回につき3個(φ3)を追加で採取する。</td> <td style="width: 15%;">・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m³~150m³ごとに1回、又は、テストペースは打設場所毎に採取し、1回につき6個(φ7~3個、φ28~3個)とする。 ・早強セメントを使用する場合には、必要に応じて1回につき3個(φ3)を追加で採取する。</td> </tr> </table>	コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1108	1回の試験結果は指定した呼び強度の85%以上であること。 3回の試験結果の平均値は、指定した呼び強度以上であること。 (1回の試験結果は、3個の供試体の試験値の平均値)	・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、又は、テストペースは打設場所毎に採取し、1回につき6個(φ7~3個、φ28~3個)とする。 ・早強セメントを使用する場合には、必要に応じて1回につき3個(φ3)を追加で採取する。	・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、又は、テストペースは打設場所毎に採取し、1回につき6個(φ7~3個、φ28~3個)とする。 ・早強セメントを使用する場合には、必要に応じて1回につき3個(φ3)を追加で採取する。	II-3	
コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1108	1回の試験結果は指定した呼び強度の85%以上であること。 3回の試験結果の平均値は、指定した呼び強度以上であること。 (1回の試験結果は、3個の供試体の試験値の平均値)	・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、又は、テストペースは打設場所毎に採取し、1回につき6個(φ7~3個、φ28~3個)とする。 ・早強セメントを使用する場合には、必要に応じて1回につき3個(φ3)を追加で採取する。	・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、又は、テストペースは打設場所毎に採取し、1回につき6個(φ7~3個、φ28~3個)とする。 ・早強セメントを使用する場合には、必要に応じて1回につき3個(φ3)を追加で採取する。										
コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1108	1回の試験結果は指定した呼び強度の85%以上であること。 3回の試験結果の平均値は、指定した呼び強度以上であること。 (1回の試験結果は、3個の供試体の試験値の平均値)	・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、又は、テストペースは打設場所毎に採取し、1回につき6個(φ7~3個、φ28~3個)とする。 ・早強セメントを使用する場合には、必要に応じて1回につき3個(φ3)を追加で採取する。	・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、又は、テストペースは打設場所毎に採取し、1回につき6個(φ7~3個、φ28~3個)とする。 ・早強セメントを使用する場合には、必要に応じて1回につき3個(φ3)を追加で採取する。										
	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">空気量測定</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128</td> <td style="width: 15%;">±1.5% (許容差)</td> <td style="width: 15%;">・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m³~150m³ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。</td> <td style="width: 15%;">・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m³~150m³ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。</td> </tr> </table>	空気量測定	JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128	±1.5% (許容差)	・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">空気量測定</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128</td> <td style="width: 15%;">±1.5% (許容差)</td> <td style="width: 15%;">・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m³~150m³ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。</td> <td style="width: 15%;">・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m³~150m³ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。</td> </tr> </table>	空気量測定	JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128	±1.5% (許容差)	・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	II-3	
空気量測定	JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128	±1.5% (許容差)	・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。										
空気量測定	JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128	±1.5% (許容差)	・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	・荷卸し時 1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。										
	<p>種別：施工後試験、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">ひび割れ調査</td> <td style="width: 15%;">スケールによる測定</td> <td style="width: 15%;">0.2mm</td> <td style="width: 15%;">本数 総延長 最大ひび割れ幅等</td> <td style="width: 15%;">高さが、5m以上の鉄筋コンクリート構、内空断面積が25m²以上の鉄筋コンクリートカルパード類、橋梁上・下部工及び高さが3m以上の覆、水門・陸門を対象(ただしいずれの工種についてもプレキャスト製品及びプレレストコンクリートは対象としない)とし構造物本体の地盤や他の構造物との接触面を除く全表面とする。ワーキング・底版等で竣工時に地中、水中にある部位については竣工前に調査する。ひび割れ幅が0.2mm以上の場合は、「ひび割れ発生状況の調査」を実施する。</td> <td style="width: 15%;">高さが、5m以上の鉄筋コンクリート構、内空断面積が25m²以上の鉄筋コンクリートカルパード類、橋梁上・下部工及び高さが3m以上の覆、水門・陸門を対象(ただしいずれの工種についてもプレキャスト製品及びプレレストコンクリートは対象としない)とし構造物本体の地盤や他の構造物との接触面を除く全表面とする。ワーキング・底版等で竣工時に地中、水中にある部位については竣工前に調査する。ひび割れ幅が0.2mm以上の場合は、「ひび割れ発生状況の調査」を実施する。</td> </tr> </table>	ひび割れ調査	スケールによる測定	0.2mm	本数 総延長 最大ひび割れ幅等	高さが、5m以上の鉄筋コンクリート構、内空断面積が25m ² 以上の鉄筋コンクリートカルパード類、橋梁上・下部工及び高さが3m以上の覆、水門・陸門を対象(ただしいずれの工種についてもプレキャスト製品及びプレレストコンクリートは対象としない)とし構造物本体の地盤や他の構造物との接触面を除く全表面とする。ワーキング・底版等で竣工時に地中、水中にある部位については竣工前に調査する。ひび割れ幅が0.2mm以上の場合は、「ひび割れ発生状況の調査」を実施する。	高さが、5m以上の鉄筋コンクリート構、内空断面積が25m ² 以上の鉄筋コンクリートカルパード類、橋梁上・下部工及び高さが3m以上の覆、水門・陸門を対象(ただしいずれの工種についてもプレキャスト製品及びプレレストコンクリートは対象としない)とし構造物本体の地盤や他の構造物との接触面を除く全表面とする。ワーキング・底版等で竣工時に地中、水中にある部位については竣工前に調査する。ひび割れ幅が0.2mm以上の場合は、「ひび割れ発生状況の調査」を実施する。	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">ひび割れ調査</td> <td style="width: 15%;">スケールによる測定</td> <td style="width: 15%;">0.2mm</td> <td style="width: 15%;">本数 総延長 最大ひび割れ幅等</td> <td style="width: 15%;">高さが、5m以上の鉄筋コンクリート構、内空断面積が25m²以上の鉄筋コンクリートカルパード類、橋梁上・下部工及び高さが3m以上の覆、水門・陸門を対象(ただしいずれの工種についてもプレキャスト製品及びプレレストコンクリートは対象としない)とし構造物本体の地盤や他の構造物との接触面を除く全表面とする。ワーキング・底版等で竣工時に地中、水中にある部位については竣工前に調査する。ひび割れ幅が0.2mm以上の場合は、「ひび割れ発生状況の調査」を実施する。</td> </tr> </table>	ひび割れ調査	スケールによる測定	0.2mm	本数 総延長 最大ひび割れ幅等	高さが、5m以上の鉄筋コンクリート構、内空断面積が25m ² 以上の鉄筋コンクリートカルパード類、橋梁上・下部工及び高さが3m以上の覆、水門・陸門を対象(ただしいずれの工種についてもプレキャスト製品及びプレレストコンクリートは対象としない)とし構造物本体の地盤や他の構造物との接触面を除く全表面とする。ワーキング・底版等で竣工時に地中、水中にある部位については竣工前に調査する。ひび割れ幅が0.2mm以上の場合は、「ひび割れ発生状況の調査」を実施する。	II-3
ひび割れ調査	スケールによる測定	0.2mm	本数 総延長 最大ひび割れ幅等	高さが、5m以上の鉄筋コンクリート構、内空断面積が25m ² 以上の鉄筋コンクリートカルパード類、橋梁上・下部工及び高さが3m以上の覆、水門・陸門を対象(ただしいずれの工種についてもプレキャスト製品及びプレレストコンクリートは対象としない)とし構造物本体の地盤や他の構造物との接触面を除く全表面とする。ワーキング・底版等で竣工時に地中、水中にある部位については竣工前に調査する。ひび割れ幅が0.2mm以上の場合は、「ひび割れ発生状況の調査」を実施する。	高さが、5m以上の鉄筋コンクリート構、内空断面積が25m ² 以上の鉄筋コンクリートカルパード類、橋梁上・下部工及び高さが3m以上の覆、水門・陸門を対象(ただしいずれの工種についてもプレキャスト製品及びプレレストコンクリートは対象としない)とし構造物本体の地盤や他の構造物との接触面を除く全表面とする。ワーキング・底版等で竣工時に地中、水中にある部位については竣工前に調査する。ひび割れ幅が0.2mm以上の場合は、「ひび割れ発生状況の調査」を実施する。									
ひび割れ調査	スケールによる測定	0.2mm	本数 総延長 最大ひび割れ幅等	高さが、5m以上の鉄筋コンクリート構、内空断面積が25m ² 以上の鉄筋コンクリートカルパード類、橋梁上・下部工及び高さが3m以上の覆、水門・陸門を対象(ただしいずれの工種についてもプレキャスト製品及びプレレストコンクリートは対象としない)とし構造物本体の地盤や他の構造物との接触面を除く全表面とする。ワーキング・底版等で竣工時に地中、水中にある部位については竣工前に調査する。ひび割れ幅が0.2mm以上の場合は、「ひび割れ発生状況の調査」を実施する。										

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
	<p>種別：施工後試験、試験区分：必須</p> <p>ASTMハンマーによる強度推定調査</p> <p>JSCB-G 504-2013</p> <p>設計基準強度</p> <p>鉄筋コンクリート構壁及びカルバート類で行う。その他の構造物については強度が同じコアを1構造物の単位とし、各単位につき3ヶ所の調査を実施。また、調査の結果、平均値が設計基準強度を下回った場合、1回の試験結果が設計基準強度の85%以下となった場合は、その箇所の周辺において、再調査を5ヶ所実施。材齢28日～91日の間に試験を行う。</p>	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <p>ASTMハンマーによる強度推定調査</p> <p>JSCB-G 504-2013</p> <p>設計基準強度</p> <p>鉄筋コンクリート構壁及びカルバート類で行う。その他の構造物については強度が同じコアを1構造物の単位とし、各単位につき3ヶ所の調査を実施。また、調査の結果、平均値が設計基準強度を下回った場合、1回の試験結果が設計基準強度の85%以下となった場合は、その箇所の周辺において、再調査を5ヶ所実施。材齢28日～91日の間に試験を行う。</p>	II-3
	<p>種別：施工後試験、試験区分：その他</p> <p>配筋状態及びひびき</p> <p>「非破壊試験によるコア」構造物中の配筋状態及びひびき測定要領・解説」（平成24年3月国土交通省大臣官房技術調査課）による</p>	<p>「非破壊試験によるコア」構造物中の配筋状態及びひびき測定要領・解説」（平成24年3月国土交通省大臣官房技術調査課）による</p>	II-3
	<p>種別：施工後試験、試験区分：その他</p> <p>強度測定</p> <p>「非破壊・非破壊試験によるコア」構造物の強度測定要領・解説」（平成24年3月国土交通省大臣官房技術調査課）による</p>	<p>「非破壊・非破壊試験によるコア」構造物の強度測定要領・解説」による</p>	II-3
5 ガス圧接	<p>種別：施工後試験、試験区分：必須</p> <p>熱間押接の場合 ①ふくらみを押抜いた後の圧接面に対応する位置の割れ、へこみがない ②ふくらみの長さが鉄筋径の1.1倍以上。ただし、SD490の場合は1.2倍以上。 ③鉄筋表面にオーバーヒートによる表面不整があってはならない。 ④その他有害と認められる欠陥があってはならない。</p>	<p>種別：施工後試験、試験区分：必須</p> <p>外観検査</p> <p>目視 圧接面の研磨状況 垂れ下がり 割れ割れ 端心の腐心 ノブス等による計測 (詳細外観検査) 端心の腐心 ふくらみ ふくらみの長さ 圧接部のずれ 所り曲がり等</p> <p>熱間押接の場合 ①ふくらみを押抜いた後の圧接面に対応する位置の割れ、へこみがない ②ふくらみの長さが鉄筋径の1.1倍以上。ただし、SD490の場合は1.2倍以上。 ③鉄筋表面にオーバーヒートによる表面不整があってはならない。 ④その他有害と認められる欠陥があってはならない。</p> <p>目視は全数実施する。 割れを除外した場合には以下による。いずれの場合も監督員の承認を得る。 ①②③は、再加熱、再加圧、押抜きを行う。ただし、SD490の場合は1.2倍以上。 ④は、再加熱して修正し、修正後外観検査を行う。</p>	II-6
6 既製杭工	<p>種別：施工、試験区分：その他</p> <p>鋼管杭・コンクリート杭 (限定的) セメントミルクの圧縮強度試験 JIS A 1108</p> <p>設計図書による。</p> <p>供試体の採取回数一般に単杭で120本に1回、継杭では20本に1回とし、採取本数は1回につき3本とすることが多い。 なお、供試体はセメントミルクの供試体の作成方法に従って作成したφ5×10cmの円柱供試体によって求めるものとする。</p> <p>参考値：20N/mm²</p>	<p>種別：施工、試験区分：その他</p> <p>鋼管杭・コンクリート杭 (限定的) セメントミルクの圧縮強度試験 JIS A 1108</p> <p>設計図書による。</p> <p>供試体の採取回数一般に単杭では30本に1回、継杭では20本に1回とし、採取本数は1回につき3本とすることが多い。 なお、供試体はセメントミルクの供試体の作成方法に従って作成したφ5×10cmの円柱供試体によって求めるものとする。</p> <p>参考値：20N/mm²</p>	II-7
7 下層路盤	<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <p>修正CBR試験</p> <p>舗装調査・試験法 便覧 [4] -5</p> <p>現状路盤：修正CBR20%以上(クワッシュン鉄鋼スラグは修正CBR30%以上) アスファルトコンクリート再生骨材を含む再生クワッシュンを用いる場合で、上層路盤、基層、表層の合計厚が以下に示す数値より小さい場合は30%以上とする。 北海道地方・・・・・・20cm 東北地方・・・・・・30cm その他の地方・・・・・・40cm</p> <p>・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前</p> <p>・中規模以上の工事とは、管理区を描いた上でその管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積が10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡未満(コンクリートでは1,000㎡未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100㎡以上のもの</p>	<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <p>修正CBR試験</p> <p>舗装調査・試験法 便覧 [4] -6</p> <p>現状路盤：修正CBR20%以上(クワッシュン鉄鋼スラグは修正CBR30%以上) アスファルトコンクリート再生骨材を含む再生クワッシュンを用いる場合で、上層路盤、基層、表層の合計厚が以下に示す数値より小さい場合は30%以上とする。 北海道地方・・・・・・20cm 東北地方・・・・・・30cm その他の地方・・・・・・40cm</p> <p>・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前</p> <p>・中規模以上の工事とは、管理区を描いた上でその管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積が1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500㎡以上3,000㎡未満(コンクリートでは400㎡以上1,000㎡未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100㎡以上のもの</p>	II-7

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号								
	<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">土の液性限界・塑性限界試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1205</td> <td style="width: 15%;">塑性指数PI：6以下</td> <td style="width: 55%;"></td> </tr> </table> <p>・鉄鋼スラグには適用しない。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</p>	土の液性限界・塑性限界試験	JIS A 1205	塑性指数PI：6以下		<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">土の液性限界・塑性限界試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1205</td> <td style="width: 15%;">塑性指数PI：6以下</td> <td style="width: 55%;"></td> </tr> </table> <p>・鉄鋼スラグには適用しない。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎥以上1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</p>	土の液性限界・塑性限界試験	JIS A 1205	塑性指数PI：6以下		II-7
土の液性限界・塑性限界試験	JIS A 1205	塑性指数PI：6以下									
土の液性限界・塑性限界試験	JIS A 1205	塑性指数PI：6以下									
	<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">鉄鋼スラグの赤液膠濁性試験</td> <td style="width: 15%;">舗装調査・試験法 検査【4】-16</td> <td style="width: 15%;">1.5%以下</td> <td style="width: 55%;"></td> </tr> </table> <p>・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前</p> <p>・CS：クラッシュラン鉄鋼スラグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</p>	鉄鋼スラグの赤液膠濁性試験	舗装調査・試験法 検査【4】-16	1.5%以下		<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">鉄鋼スラグの赤液膠濁性試験</td> <td style="width: 15%;">舗装調査・試験法 検査【4】-16a</td> <td style="width: 15%;">1.5%以下</td> <td style="width: 55%;"></td> </tr> </table> <p>・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前</p> <p>・CS：クラッシュラン鉄鋼スラグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎥以上1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</p>	鉄鋼スラグの赤液膠濁性試験	舗装調査・試験法 検査【4】-16a	1.5%以下		II-8
鉄鋼スラグの赤液膠濁性試験	舗装調査・試験法 検査【4】-16	1.5%以下									
鉄鋼スラグの赤液膠濁性試験	舗装調査・試験法 検査【4】-16a	1.5%以下									
	<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">道路用スラグの望色判定試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 5015</td> <td style="width: 15%;">黒色なし</td> <td style="width: 55%;"></td> </tr> </table> <p>・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</p>	道路用スラグの望色判定試験	JIS A 5015	黒色なし		<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">道路用スラグの望色判定試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 5015</td> <td style="width: 15%;">黒色なし</td> <td style="width: 55%;"></td> </tr> </table> <p>・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎥以上1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</p>	道路用スラグの望色判定試験	JIS A 5015	黒色なし		II-8
道路用スラグの望色判定試験	JIS A 5015	黒色なし									
道路用スラグの望色判定試験	JIS A 5015	黒色なし									

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
	種別：材料、試験区分：その他 粗骨材のすりへり試験 JIS A 1121 再生クワッシュランに用いるセメントコンクリート再生骨材は、すり減り量が50%以下とする。	種別：材料、試験区分：その他 粗骨材のすりへり試験 JIS A 1121 再生クワッシュランに用いるセメントコンクリート再生骨材は、すり減り量が50%以下とする。	II-8
	種別：施工、試験区分：必須 現場密度の測定 測定調査・試験法 検定【4】-185 砂置換法 (JIS A 1214) X3 97%以上 砂置換法は、最大粒径が50mm以下の場合のみ適用できる 歩道箇所：設計図書による	種別：施工、試験区分：必須 現場密度の測定 測定調査・試験法 検定【4】-206 X6 96%以上 X3 97%以上 砂置換法は、最大粒径が50mm以下の場合のみ適用できる 歩道箇所：設計図書による	II-8
	種別：施工、試験区分：必須 ブルーフローリング 測定調査・試験法 検定【4】-210	種別：施工、試験区分：必須 ブルーフローリング 測定調査・試験法 検定【4】-208	II-8
	種別：施工、試験区分：その他 平板載荷試験 JIS A 1215	種別：施工、試験区分：その他 平板載荷試験 JIS A 1215	II-8

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号												
8 上層路盤	種別：材料、試験区分：必須	種別：材料、試験区分：必須	II-9												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">修正CBR試験</td> <td style="width: 15%;">舗装調査・試験法 使覧【4】-5</td> <td style="width: 15%;">修正CBR 80%以上 アスファルトコンクリート再生骨材含有 率90%以上 40℃で行った場合80%以上</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	修正CBR試験		舗装調査・試験法 使覧【4】-5	修正CBR 80%以上 アスファルトコンクリート再生骨材含有 率90%以上 40℃で行った場合80%以上	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの	○	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">修正CBR試験</td> <td style="width: 15%;">舗装調査・試験法 使覧【4】-6[*]</td> <td style="width: 15%;">修正CBR 80%以上 アスファルトコンクリート再生骨材含有 率90%以上 40℃で行った場合80%以上</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎡以上1,000㎡未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	修正CBR試験	舗装調査・試験法 使覧【4】-6 [*]	修正CBR 80%以上 アスファルトコンクリート再生骨材含有 率90%以上 40℃で行った場合80%以上	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎡以上1,000㎡未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの	○
	修正CBR試験	舗装調査・試験法 使覧【4】-5		修正CBR 80%以上 アスファルトコンクリート再生骨材含有 率90%以上 40℃で行った場合80%以上	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの	○								
修正CBR試験	舗装調査・試験法 使覧【4】-6 [*]	修正CBR 80%以上 アスファルトコンクリート再生骨材含有 率90%以上 40℃で行った場合80%以上	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎡以上1,000㎡未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの	○										
種別：材料、試験区分：必須	種別：材料、試験区分：必須	II-9													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">鉄鋼スラッグの修正 CBR試験</td> <td style="width: 15%;">舗装調査・試験法 使覧【4】-5</td> <td style="width: 15%;">修正CBR 80%以上</td> <td style="width: 15%;">・MS：精度調整鉄鋼スラッグ及びHMS：水硬性精度調整鉄鋼スラッグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	鉄鋼スラッグの修正 CBR試験		舗装調査・試験法 使覧【4】-5	修正CBR 80%以上	・MS：精度調整鉄鋼スラッグ及びHMS：水硬性精度調整鉄鋼スラッグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの	○	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">鉄鋼スラッグの修正 CBR試験</td> <td style="width: 15%;">舗装調査・試験法 使覧【4】-6[*]</td> <td style="width: 15%;">修正CBR 80%以上</td> <td style="width: 15%;">・MS：精度調整鉄鋼スラッグ及びHMS：水硬性精度調整鉄鋼スラッグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎡以上1,000㎡未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	鉄鋼スラッグの修正 CBR試験	舗装調査・試験法 使覧【4】-6 [*]	修正CBR 80%以上	・MS：精度調整鉄鋼スラッグ及びHMS：水硬性精度調整鉄鋼スラッグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎡以上1,000㎡未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの	○			
鉄鋼スラッグの修正 CBR試験	舗装調査・試験法 使覧【4】-5	修正CBR 80%以上	・MS：精度調整鉄鋼スラッグ及びHMS：水硬性精度調整鉄鋼スラッグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの	○											
鉄鋼スラッグの修正 CBR試験	舗装調査・試験法 使覧【4】-6 [*]	修正CBR 80%以上	・MS：精度調整鉄鋼スラッグ及びHMS：水硬性精度調整鉄鋼スラッグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎡以上1,000㎡未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの	○											
種別：材料、試験区分：必須	種別：材料、試験区分：必須	II-9													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">骨材のふるい分け 試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1102</td> <td style="width: 15%;">JIS A 5001 表2参照</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	骨材のふるい分け 試験		JIS A 1102	JIS A 5001 表2参照	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの	○	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">骨材のふるい分け 試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1102</td> <td style="width: 15%;">JIS A 5001 表2参照</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎡以上1,000㎡未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	骨材のふるい分け 試験	JIS A 1102	JIS A 5001 表2参照	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎡以上1,000㎡未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの	○			
骨材のふるい分け 試験	JIS A 1102	JIS A 5001 表2参照	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの	○											
骨材のふるい分け 試験	JIS A 1102	JIS A 5001 表2参照	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎡以上1,000㎡未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの	○											

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
	<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <p>土の液性限界・塑性限界試験</p> <p>JIS A 1205</p> <p>塑性指数PI：4以下</p> <p>ただし、鉄鋼スラグには適用しない。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</p>	<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <p>土の液性限界・塑性限界試験</p> <p>JIS A 1205</p> <p>塑性指数PI：4以下</p> <p>ただし、鉄鋼スラグには適用しない。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎥以上1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</p>	II-9
	<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <p>鉄鋼スラグの呈色判定試験</p> <p>JIS A 5015</p> <p>舗装調査・試験法 便覧 [4] -10</p> <p>呈色なし</p> <p>・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前</p> <p>・MS：粒度調整鉄鋼スラグ及びHMS：水硬性粒度調整鉄鋼スラグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</p>	<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <p>鉄鋼スラグの呈色判定試験</p> <p>JIS A 5015</p> <p>舗装調査・試験法 便覧 [4] -13</p> <p>呈色なし</p> <p>・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前</p> <p>・MS：粒度調整鉄鋼スラグ及びHMS：水硬性粒度調整鉄鋼スラグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎥以上1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</p>	II-10
	<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <p>鉄鋼スラグの水浸膨張性試験</p> <p>舗装調査・試験法 便覧 [4] -16</p> <p>1.5%以下</p>	<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <p>鉄鋼スラグの水浸膨張性試験</p> <p>舗装調査・試験法 便覧 [4] -80</p> <p>1.5%以下</p>	II-10

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号								
	種別：材料、試験区分：必須	種別：材料、試験区分：必須	II-10								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">鉄鋼スラグの軸圧縮試験</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【4】-12</td> <td style="width: 25%;">1.2Mpa以上(14日)</td> <td style="width: 25%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・HMS：水硬性粘度調整鉄鋼スラグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの </td> </tr> </table>	鉄鋼スラグの軸圧縮試験	舗装調査・試験法 便覧【4】-12	1.2Mpa以上(14日)	<ul style="list-style-type: none"> ・HMS：水硬性粘度調整鉄鋼スラグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">鉄鋼スラグの軸圧縮試験</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【4】-75</td> <td style="width: 25%;">1.2Mpa以上(14日)</td> <td style="width: 25%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・HMS：水硬性粘度調整鉄鋼スラグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎥以上1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの </td> </tr> </table>	鉄鋼スラグの軸圧縮試験	舗装調査・試験法 便覧【4】-75	1.2Mpa以上(14日)	<ul style="list-style-type: none"> ・HMS：水硬性粘度調整鉄鋼スラグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎥以上1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの 	○
鉄鋼スラグの軸圧縮試験	舗装調査・試験法 便覧【4】-12	1.2Mpa以上(14日)	<ul style="list-style-type: none"> ・HMS：水硬性粘度調整鉄鋼スラグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの 								
鉄鋼スラグの軸圧縮試験	舗装調査・試験法 便覧【4】-75	1.2Mpa以上(14日)	<ul style="list-style-type: none"> ・HMS：水硬性粘度調整鉄鋼スラグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎥以上1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの 								
	種別：材料、試験区分：必須	種別：材料、試験区分：必須	II-10								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">鉄鋼スラグの単位容積質量試験</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【2】-106</td> <td style="width: 25%;">1.50kg/L以上</td> <td style="width: 25%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・MS：粘度調整鉄鋼スラグ及びHMS：水硬性粘度調整鉄鋼スラグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの </td> </tr> </table>	鉄鋼スラグの単位容積質量試験	舗装調査・試験法 便覧【2】-106	1.50kg/L以上	<ul style="list-style-type: none"> ・MS：粘度調整鉄鋼スラグ及びHMS：水硬性粘度調整鉄鋼スラグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">鉄鋼スラグの単位容積質量試験</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【2】-131</td> <td style="width: 25%;">1.50kg/L以上</td> <td style="width: 25%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・MS：粘度調整鉄鋼スラグ及びHMS：水硬性粘度調整鉄鋼スラグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎥以上1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの </td> </tr> </table>	鉄鋼スラグの単位容積質量試験	舗装調査・試験法 便覧【2】-131	1.50kg/L以上	<ul style="list-style-type: none"> ・MS：粘度調整鉄鋼スラグ及びHMS：水硬性粘度調整鉄鋼スラグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎥以上1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの 	○
鉄鋼スラグの単位容積質量試験	舗装調査・試験法 便覧【2】-106	1.50kg/L以上	<ul style="list-style-type: none"> ・MS：粘度調整鉄鋼スラグ及びHMS：水硬性粘度調整鉄鋼スラグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの 								
鉄鋼スラグの単位容積質量試験	舗装調査・試験法 便覧【2】-131	1.50kg/L以上	<ul style="list-style-type: none"> ・MS：粘度調整鉄鋼スラグ及びHMS：水硬性粘度調整鉄鋼スラグに適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎥以上1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの 								
	種別：材料、試験区分：その他	種別：材料、試験区分：その他	II-10								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">粗骨材のすりへり試験</td> <td style="width: 25%;">JIS A 1121</td> <td style="width: 25%;">50%以下</td> <td style="width: 25%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 <ul style="list-style-type: none"> ・粘度調整及びセメントコンクリート再生骨材を使用した再生粘度調整に適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの </td> </tr> </table>	粗骨材のすりへり試験	JIS A 1121	50%以下	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 <ul style="list-style-type: none"> ・粘度調整及びセメントコンクリート再生骨材を使用した再生粘度調整に適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの 	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">粗骨材のすりへり試験</td> <td style="width: 25%;">JIS A 1121</td> <td style="width: 25%;">50%以下</td> <td style="width: 25%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 <ul style="list-style-type: none"> ・粘度調整及びセメントコンクリート再生骨材を使用した再生粘度調整に適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎥以上1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの </td> </tr> </table>	粗骨材のすりへり試験	JIS A 1121	50%以下	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 <ul style="list-style-type: none"> ・粘度調整及びセメントコンクリート再生骨材を使用した再生粘度調整に適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎥以上1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの 	○
粗骨材のすりへり試験	JIS A 1121	50%以下	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 <ul style="list-style-type: none"> ・粘度調整及びセメントコンクリート再生骨材を使用した再生粘度調整に適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの 								
粗骨材のすりへり試験	JIS A 1121	50%以下	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 <ul style="list-style-type: none"> ・粘度調整及びセメントコンクリート再生骨材を使用した再生粘度調整に適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは400㎥以上1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの 								

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																				
	<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1122</td> <td style="width: 15%;">20%以下</td> <td style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 </td> <td style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡未満(コンクリートでは1,000㎡未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100㎡以上のもの </td> <td style="width: 15%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験	JIS A 1122	20%以下	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡未満(コンクリートでは1,000㎡未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100㎡以上のもの 	○	<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1122</td> <td style="width: 15%;">20%以下</td> <td style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 </td> <td style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500㎡以上3,000㎡未満(コンクリートでは400㎡以上1,000㎡未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100㎡以上のもの </td> <td style="width: 15%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験	JIS A 1122	20%以下	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500㎡以上3,000㎡未満(コンクリートでは400㎡以上1,000㎡未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100㎡以上のもの 	○	II-11								
硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験	JIS A 1122	20%以下	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡未満(コンクリートでは1,000㎡未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100㎡以上のもの 	○																		
硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験	JIS A 1122	20%以下	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500㎡以上3,000㎡未満(コンクリートでは400㎡以上1,000㎡未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100㎡以上のもの 	○																		
	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">現場密度の測定</td> <td style="width: 15%;"> 経路調査・試験法 便覧【4】-185 砂置換法(JIS A 1214) 経路調査法は、最大粒径が53mm以下の場合のみ適用できる </td> <td style="width: 15%;"> 最大乾燥密度の93%以上 X10 95%以上 X6 95.5%以上 X3 96.5%以上 </td> <td style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・締固め度は、個々の測定値が最大乾燥密度の93%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10個の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10個の測定値が得たい場合は3個の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10個(10孔)で測定する。 <p style="text-align: center;">(例)</p> 3,001~10,000㎡：10個 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10個追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10個、合計20個 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3個(3孔)以上で測定する。 </td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> </table>	現場密度の測定	経路調査・試験法 便覧【4】-185 砂置換法(JIS A 1214) 経路調査法は、最大粒径が53mm以下の場合のみ適用できる	最大乾燥密度の93%以上 X10 95%以上 X6 95.5%以上 X3 96.5%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・締固め度は、個々の測定値が最大乾燥密度の93%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10個の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10個の測定値が得たい場合は3個の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10個(10孔)で測定する。 <p style="text-align: center;">(例)</p> 3,001~10,000㎡：10個 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10個追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10個、合計20個 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3個(3孔)以上で測定する。		<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">現場密度の測定</td> <td style="width: 15%;"> 経路調査・試験法 便覧【4】-256 砂置換法(JIS A 1214) 砂置換法は、最大粒径が53mm以下の場合のみ適用できる </td> <td style="width: 15%;"> 最大乾燥密度の93%以上 X10 95%以上 X6 95.5%以上 X3 96.5%以上 </td> <td style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・締固め度は、個々の測定値が最大乾燥密度の93%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10孔の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10孔の測定値が得たい場合は3孔の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3孔のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10孔で測定する。 <p style="text-align: center;">(例)</p> 3,001~10,000㎡：10孔 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10孔追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10孔、合計20孔 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3孔以上で測定する。 </td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> </table>	現場密度の測定	経路調査・試験法 便覧【4】-256 砂置換法(JIS A 1214) 砂置換法は、最大粒径が53mm以下の場合のみ適用できる	最大乾燥密度の93%以上 X10 95%以上 X6 95.5%以上 X3 96.5%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・締固め度は、個々の測定値が最大乾燥密度の93%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10孔の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10孔の測定値が得たい場合は3孔の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3孔のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10孔で測定する。 <p style="text-align: center;">(例)</p> 3,001~10,000㎡：10孔 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10孔追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10孔、合計20孔 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3孔以上で測定する。		II-11										
現場密度の測定	経路調査・試験法 便覧【4】-185 砂置換法(JIS A 1214) 経路調査法は、最大粒径が53mm以下の場合のみ適用できる	最大乾燥密度の93%以上 X10 95%以上 X6 95.5%以上 X3 96.5%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・締固め度は、個々の測定値が最大乾燥密度の93%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10個の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10個の測定値が得たい場合は3個の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10個(10孔)で測定する。 <p style="text-align: center;">(例)</p> 3,001~10,000㎡：10個 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10個追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10個、合計20個 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3個(3孔)以上で測定する。																				
現場密度の測定	経路調査・試験法 便覧【4】-256 砂置換法(JIS A 1214) 砂置換法は、最大粒径が53mm以下の場合のみ適用できる	最大乾燥密度の93%以上 X10 95%以上 X6 95.5%以上 X3 96.5%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・締固め度は、個々の測定値が最大乾燥密度の93%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10孔の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10孔の測定値が得たい場合は3孔の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3孔のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10孔で測定する。 <p style="text-align: center;">(例)</p> 3,001~10,000㎡：10孔 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10孔追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10孔、合計20孔 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3孔以上で測定する。																				
	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"> 粒度(2.36mmフルイ) 経路調査・試験法 便覧【2】-14 </td> <td style="width: 15%;"> 2.36mmふるい：±15%以内 </td> <td style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：定期的または随時(1回~2回/日) </td> <td style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 </td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 15%;"> 粒度(75μmフルイ) 経路調査・試験法 便覧【2】-14 </td> <td style="width: 15%;"> 75μmふるい：±6%以内 </td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> </table>	粒度(2.36mmフルイ) 経路調査・試験法 便覧【2】-14	2.36mmふるい：±15%以内	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：定期的または随時(1回~2回/日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 		粒度(75μmフルイ) 経路調査・試験法 便覧【2】-14	75μmふるい：±6%以内				<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;"> 粒度(2.36mmフルイ) 経路調査・試験法 便覧【2】-16 </td> <td style="width: 15%;"> 2.36mmふるい：±15%以内 </td> <td style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：定期的または随時(1回~2回/日) </td> <td style="width: 15%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 </td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 15%;"> 粒度(75μmフルイ) 経路調査・試験法 便覧【2】-16 </td> <td style="width: 15%;"> 75μmふるい：±6%以内 </td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> </table>	粒度(2.36mmフルイ) 経路調査・試験法 便覧【2】-16	2.36mmふるい：±15%以内	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：定期的または随時(1回~2回/日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 		粒度(75μmフルイ) 経路調査・試験法 便覧【2】-16	75μmふるい：±6%以内				II-11
粒度(2.36mmフルイ) 経路調査・試験法 便覧【2】-14	2.36mmふるい：±15%以内	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：定期的または随時(1回~2回/日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 																				
粒度(75μmフルイ) 経路調査・試験法 便覧【2】-14	75μmふるい：±6%以内																						
粒度(2.36mmフルイ) 経路調査・試験法 便覧【2】-16	2.36mmふるい：±15%以内	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：定期的または随時(1回~2回/日) 	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 																				
粒度(75μmフルイ) 経路調査・試験法 便覧【2】-16	75μmふるい：±6%以内																						
	<p>種別：施工、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">平板載荷試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1215</td> <td style="width: 15%;">1,000㎡につき2回の割合で行う。</td> <td style="width: 15%;">セメントコンクリートの路盤に適用する。</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> </table>	平板載荷試験	JIS A 1215	1,000㎡につき2回の割合で行う。	セメントコンクリートの路盤に適用する。		<p>種別：施工、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">平板載荷試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1215</td> <td style="width: 15%;">1,000㎡につき2回の割合で行う。</td> <td style="width: 15%;">セメントコンクリートの路盤に適用する。</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> </table>	平板載荷試験	JIS A 1215	1,000㎡につき2回の割合で行う。	セメントコンクリートの路盤に適用する。		II-11										
平板載荷試験	JIS A 1215	1,000㎡につき2回の割合で行う。	セメントコンクリートの路盤に適用する。																				
平板載荷試験	JIS A 1215	1,000㎡につき2回の割合で行う。	セメントコンクリートの路盤に適用する。																				

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																		
10 セメント安定処理路盤	種別：材料、試験区分：必須	種別：材料、試験区分：必須	II-11																		
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">一軸圧縮試験</td> <td style="width: 15%;">舗装調査・試験法 便覧【4】-38</td> <td style="width: 15%;">下層路盤：一軸圧縮強さ〔7日間〕 0.98Mpa 上層路盤：一軸圧縮強さ〔7日間〕 2.94Mpa（アスファルト舗装）、2.08Mpa（セメントコンクリート舗装）。</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前</td> <td style="width: 15%;">・安定処理材に適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満（コンクリートでは1,000t未満） ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</td> </tr> </table>	一軸圧縮試験		舗装調査・試験法 便覧【4】-38	下層路盤：一軸圧縮強さ〔7日間〕 0.98Mpa 上層路盤：一軸圧縮強さ〔7日間〕 2.94Mpa（アスファルト舗装）、2.08Mpa（セメントコンクリート舗装）。	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前	・安定処理材に適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満（コンクリートでは1,000t未満） ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">一軸圧縮試験</td> <td style="width: 15%;">舗装調査・試験法 便覧【4】-102</td> <td style="width: 15%;">下層路盤：一軸圧縮強さ〔7日間〕 0.98Mpa 上層路盤：一軸圧縮強さ〔7日間〕 2.94Mpa（アスファルト舗装）、2.08Mpa（セメントコンクリート舗装）。</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前</td> <td style="width: 15%;">・安定処理材に適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満（コンクリートでは400t以上1,000t未満）。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</td> </tr> </table>	一軸圧縮試験	舗装調査・試験法 便覧【4】-102	下層路盤：一軸圧縮強さ〔7日間〕 0.98Mpa 上層路盤：一軸圧縮強さ〔7日間〕 2.94Mpa（アスファルト舗装）、2.08Mpa（セメントコンクリート舗装）。	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前	・安定処理材に適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満（コンクリートでは400t以上1,000t未満）。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの								
	一軸圧縮試験	舗装調査・試験法 便覧【4】-38		下層路盤：一軸圧縮強さ〔7日間〕 0.98Mpa 上層路盤：一軸圧縮強さ〔7日間〕 2.94Mpa（アスファルト舗装）、2.08Mpa（セメントコンクリート舗装）。	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前	・安定処理材に適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満（コンクリートでは1,000t未満） ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの															
一軸圧縮試験	舗装調査・試験法 便覧【4】-102	下層路盤：一軸圧縮強さ〔7日間〕 0.98Mpa 上層路盤：一軸圧縮強さ〔7日間〕 2.94Mpa（アスファルト舗装）、2.08Mpa（セメントコンクリート舗装）。	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前	・安定処理材に適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満（コンクリートでは400t以上1,000t未満）。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの																	
種別：材料、試験区分：必須	種別：材料、試験区分：必須	II-12																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">骨材の修正CBR試験</td> <td style="width: 15%;">舗装調査・試験法 便覧【4】-5</td> <td style="width: 15%;">下層路盤：10%以上 上層路盤：20%以上</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満（コンクリートでは1,000t未満） ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</td> </tr> </table>	骨材の修正CBR試験		舗装調査・試験法 便覧【4】-5	下層路盤：10%以上 上層路盤：20%以上	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満（コンクリートでは1,000t未満） ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">骨材の修正CBR試験</td> <td style="width: 15%;">舗装調査・試験法 便覧【4】-68</td> <td style="width: 15%;">下層路盤：10%以上 上層路盤：20%以上</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満（コンクリートでは400t以上1,000t未満）。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</td> </tr> </table>	骨材の修正CBR試験	舗装調査・試験法 便覧【4】-68	下層路盤：10%以上 上層路盤：20%以上	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満（コンクリートでは400t以上1,000t未満）。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの									
骨材の修正CBR試験	舗装調査・試験法 便覧【4】-5	下層路盤：10%以上 上層路盤：20%以上	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満（コンクリートでは1,000t未満） ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの																	
骨材の修正CBR試験	舗装調査・試験法 便覧【4】-68	下層路盤：10%以上 上層路盤：20%以上	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満（コンクリートでは400t以上1,000t未満）。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの																	
種別：材料、試験区分：必須	種別：材料、試験区分：必須	II-12																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">土の塑性限界・塑性限界試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1205 舗装調査・試験法 便覧【4】-103</td> <td style="width: 15%;">下層路盤 塑性指数PI：9以下 上層路盤 塑性指数PI：9以下</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事：定期的または随時（1回～2回/日）</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満（コンクリートでは1,000t未満） ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</td> </tr> </table>	土の塑性限界・塑性限界試験		JIS A 1205 舗装調査・試験法 便覧【4】-103	下層路盤 塑性指数PI：9以下 上層路盤 塑性指数PI：9以下	・中規模以上の工事：定期的または随時（1回～2回/日）	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満（コンクリートでは1,000t未満） ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">土の塑性限界・塑性限界試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1205 舗装調査・試験法 便覧【4】-167</td> <td style="width: 15%;">下層路盤 塑性指数PI：9以下 上層路盤 塑性指数PI：9以下</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事：定期的または随時（1回～2回/日）</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満（コンクリートでは400t以上1,000t未満）。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの</td> </tr> </table>	土の塑性限界・塑性限界試験	JIS A 1205 舗装調査・試験法 便覧【4】-167	下層路盤 塑性指数PI：9以下 上層路盤 塑性指数PI：9以下	・中規模以上の工事：定期的または随時（1回～2回/日）	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満（コンクリートでは400t以上1,000t未満）。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの									
土の塑性限界・塑性限界試験	JIS A 1205 舗装調査・試験法 便覧【4】-103	下層路盤 塑性指数PI：9以下 上層路盤 塑性指数PI：9以下	・中規模以上の工事：定期的または随時（1回～2回/日）	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満（コンクリートでは1,000t未満） ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの																	
土の塑性限界・塑性限界試験	JIS A 1205 舗装調査・試験法 便覧【4】-167	下層路盤 塑性指数PI：9以下 上層路盤 塑性指数PI：9以下	・中規模以上の工事：定期的または随時（1回～2回/日）	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満（コンクリートでは400t以上1,000t未満）。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの																	
種別：施工、試験区分：必須	種別：施工、試験区分：必須	II-12																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">粒度（2.36mm以下）</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1102</td> <td style="width: 15%;">2.36mmふるい：±15%以内</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事：定期的または随時（1回～2回/日）</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%;">粒度（75μm以下）</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1102</td> <td style="width: 15%;">75μmふるい：±6%以内</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事：異常が認められたとき。</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。</td> </tr> </table>	粒度（2.36mm以下）		JIS A 1102	2.36mmふるい：±15%以内	・中規模以上の工事：定期的または随時（1回～2回/日）	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。	粒度（75μm以下）	JIS A 1102	75μmふるい：±6%以内	・中規模以上の工事：異常が認められたとき。	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">粒度（2.36mm以下）</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1102</td> <td style="width: 15%;">2.36mmふるい：±15%以内</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事：定期的または随時（1回～2回/日）</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。</td> </tr> <tr> <td style="width: 15%;">粒度（75μm以下）</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1102</td> <td style="width: 15%;">75μmふるい：±6%以内</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事：異常が認められたとき。</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。</td> </tr> </table>	粒度（2.36mm以下）	JIS A 1102	2.36mmふるい：±15%以内	・中規模以上の工事：定期的または随時（1回～2回/日）	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。	粒度（75μm以下）	JIS A 1102	75μmふるい：±6%以内	・中規模以上の工事：異常が認められたとき。
粒度（2.36mm以下）	JIS A 1102	2.36mmふるい：±15%以内	・中規模以上の工事：定期的または随時（1回～2回/日）	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。																	
粒度（75μm以下）	JIS A 1102	75μmふるい：±6%以内	・中規模以上の工事：異常が認められたとき。	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。																	
粒度（2.36mm以下）	JIS A 1102	2.36mmふるい：±15%以内	・中規模以上の工事：定期的または随時（1回～2回/日）	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。																	
粒度（75μm以下）	JIS A 1102	75μmふるい：±6%以内	・中規模以上の工事：異常が認められたとき。	・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上で管理可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。																	

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号										
	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">現場密度の測定</td> <td style="width: 15%;"> 舗装調査・試験法 便覧【4】-185 砂置換法（JIS A 1214） 砂置換法は、最大粒径が53mm以下の場合のみ適用できる </td> <td style="width: 15%;"> 最大乾燥密度の93%以上。 X10 95%以上 X6 95.5%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による </td> <td style="width: 15%;"> ・締固め度は、個々の測定値が最大乾燥密度の93%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10個の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工区あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10個（10孔）で測定する。 (例) 3,001～10,000㎡：10個 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10個追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10個、合計20個 なお、1工区あたり3,000㎡以下の場合（維持工事を除く）は、1工区あたり3個（3孔）以上で測定する。 </td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>	現場密度の測定	舗装調査・試験法 便覧【4】-185 砂置換法（JIS A 1214） 砂置換法は、最大粒径が53mm以下の場合のみ適用できる	最大乾燥密度の93%以上。 X10 95%以上 X6 95.5%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による	・締固め度は、個々の測定値が最大乾燥密度の93%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10個の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工区あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10個（10孔）で測定する。 (例) 3,001～10,000㎡：10個 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10個追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10個、合計20個 なお、1工区あたり3,000㎡以下の場合（維持工事を除く）は、1工区あたり3個（3孔）以上で測定する。		<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">現場密度の測定</td> <td style="width: 15%;"> 舗装調査・試験法 便覧【4】-256 砂置換法（JIS A 1214） 砂置換法は、最大粒径が53mm以下の場合のみ適用できる </td> <td style="width: 15%;"> 最大乾燥密度の93%以上。 X10 95%以上 X6 95.5%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による </td> <td style="width: 15%;"> ・締固め度は、個々の測定値が最大乾燥密度の93%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10孔の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10孔の測定値が得がたい場合は3孔の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3孔のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工区あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10孔で測定する。 (例) 3,001～10,000㎡：10孔 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10孔追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10孔、合計20孔 なお、1工区あたり3,000㎡以下の場合（維持工事を除く）は、1工区あたり3孔以上で測定する。 </td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>	現場密度の測定	舗装調査・試験法 便覧【4】-256 砂置換法（JIS A 1214） 砂置換法は、最大粒径が53mm以下の場合のみ適用できる	最大乾燥密度の93%以上。 X10 95%以上 X6 95.5%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による	・締固め度は、個々の測定値が最大乾燥密度の93%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10孔の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10孔の測定値が得がたい場合は3孔の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3孔のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工区あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10孔で測定する。 (例) 3,001～10,000㎡：10孔 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10孔追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10孔、合計20孔 なお、1工区あたり3,000㎡以下の場合（維持工事を除く）は、1工区あたり3孔以上で測定する。		II-12
現場密度の測定	舗装調査・試験法 便覧【4】-185 砂置換法（JIS A 1214） 砂置換法は、最大粒径が53mm以下の場合のみ適用できる	最大乾燥密度の93%以上。 X10 95%以上 X6 95.5%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による	・締固め度は、個々の測定値が最大乾燥密度の93%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10個の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工区あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10個（10孔）で測定する。 (例) 3,001～10,000㎡：10個 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10個追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10個、合計20個 なお、1工区あたり3,000㎡以下の場合（維持工事を除く）は、1工区あたり3個（3孔）以上で測定する。										
現場密度の測定	舗装調査・試験法 便覧【4】-256 砂置換法（JIS A 1214） 砂置換法は、最大粒径が53mm以下の場合のみ適用できる	最大乾燥密度の93%以上。 X10 95%以上 X6 95.5%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による	・締固め度は、個々の測定値が最大乾燥密度の93%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10孔の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10孔の測定値が得がたい場合は3孔の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3孔のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工区あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10孔で測定する。 (例) 3,001～10,000㎡：10孔 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10孔追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10孔、合計20孔 なお、1工区あたり3,000㎡以下の場合（維持工事を除く）は、1工区あたり3孔以上で測定する。										
	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">セメント量試験</td> <td style="width: 15%;"> 舗装調査・試験法 便覧【4】-213、 【4】-218 </td> <td style="width: 15%;"> ±1.2%以内 </td> <td style="width: 15%;"> ・中規模以上の工事：異常が認められたとき（1～2回/日） ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 </td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>	セメント量試験	舗装調査・試験法 便覧【4】-213、 【4】-218	±1.2%以内	・中規模以上の工事：異常が認められたとき（1～2回/日） ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。		<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">セメント量試験</td> <td style="width: 15%;"> 舗装調査・試験法 便覧【4】-293、 【4】-297 </td> <td style="width: 15%;"> ±1.2%以内 </td> <td style="width: 15%;"> ・中規模以上の工事：異常が認められたとき（1～2回/日） ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 </td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>	セメント量試験	舗装調査・試験法 便覧【4】-293、 【4】-297	±1.2%以内	・中規模以上の工事：異常が認められたとき（1～2回/日） ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。		II-12
セメント量試験	舗装調査・試験法 便覧【4】-213、 【4】-218	±1.2%以内	・中規模以上の工事：異常が認められたとき（1～2回/日） ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。										
セメント量試験	舗装調査・試験法 便覧【4】-293、 【4】-297	±1.2%以内	・中規模以上の工事：異常が認められたとき（1～2回/日） ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。										
11 アスファルト舗装	<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">骨材のふるい分け試験</td> <td style="width: 15%;"> JIS A 1102 </td> <td style="width: 15%;"> JIS A 5001 表2参照 </td> <td style="width: 15%;"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理図による施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満（コンクリートでは1,000m³未満） ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの </td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>	骨材のふるい分け試験	JIS A 1102	JIS A 5001 表2参照	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理図による施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満（コンクリートでは1,000m ³ 未満） ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの		<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">骨材のふるい分け試験</td> <td style="width: 15%;"> JIS A 1102 </td> <td style="width: 15%;"> JIS A 5001 表2参照 </td> <td style="width: 15%;"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理図による施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満（コンクリートでは100㎡以上1,000㎡未満） ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの </td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>	骨材のふるい分け試験	JIS A 1102	JIS A 5001 表2参照	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理図による施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満（コンクリートでは100㎡以上1,000㎡未満） ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの		II-13
骨材のふるい分け試験	JIS A 1102	JIS A 5001 表2参照	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理図による施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満（コンクリートでは1,000m ³ 未満） ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの										
骨材のふるい分け試験	JIS A 1102	JIS A 5001 表2参照	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理図による施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満（コンクリートでは100㎡以上1,000㎡未満） ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの										
	<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">骨材の密度及び吸水率試験</td> <td style="width: 15%;"> JIS A 1109 JIS A 1110 </td> <td style="width: 15%;"> 表層・基層 表乾密度：2.45g/cm³以上 吸水率：3.0%以下 </td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>	骨材の密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表層・基層 表乾密度：2.45g/cm ³ 以上 吸水率：3.0%以下			<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">骨材の密度及び吸水率試験</td> <td style="width: 15%;"> JIS A 1109 JIS A 1110 </td> <td style="width: 15%;"> 表層・基層 表乾密度：2.45g/cm³以上 吸水率：3.0%以下 </td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>	骨材の密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表層・基層 表乾密度：2.45g/cm ³ 以上 吸水率：3.0%以下			II-13
骨材の密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表層・基層 表乾密度：2.45g/cm ³ 以上 吸水率：3.0%以下											
骨材の密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表層・基層 表乾密度：2.45g/cm ³ 以上 吸水率：3.0%以下											

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号								
	<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">ファイラーの塑性指数試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1205</td> <td style="width: 15%;">4以下</td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 <ul style="list-style-type: none"> ・火成岩類を粉砕した石粉を用いる場合に適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの </td> </tr> </table>	ファイラーの塑性指数試験	JIS A 1205	4以下	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 <ul style="list-style-type: none"> ・火成岩類を粉砕した石粉を用いる場合に適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの 	<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">ファイラーの塑性指数試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1205</td> <td style="width: 15%;">4以下</td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 <ul style="list-style-type: none"> ・火成岩類を粉砕した石粉を用いる場合に適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは100㎥以上1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの </td> </tr> </table>	ファイラーの塑性指数試験	JIS A 1205	4以下	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 <ul style="list-style-type: none"> ・火成岩類を粉砕した石粉を用いる場合に適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは100㎥以上1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの 	II-13
ファイラーの塑性指数試験	JIS A 1205	4以下	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 <ul style="list-style-type: none"> ・火成岩類を粉砕した石粉を用いる場合に適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの 								
ファイラーの塑性指数試験	JIS A 1205	4以下	<ul style="list-style-type: none"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 <ul style="list-style-type: none"> ・火成岩類を粉砕した石粉を用いる場合に適用する。 ・中規模以上の工事とは、管理図を描いた上での管理が可能な工事を行い、舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を行い、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 <ul style="list-style-type: none"> ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500t以上3,000t未満(コンクリートでは100㎥以上1,000㎥未満) ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 <ul style="list-style-type: none"> 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が100t以上のもの 								
	<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">ファイラーのフロー試験</td> <td style="width: 15%;">舗装調査・試験法 規程【2】-65</td> <td style="width: 15%;">50%以下</td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ </td> </tr> </table>	ファイラーのフロー試験	舗装調査・試験法 規程【2】-65	50%以下	<ul style="list-style-type: none"> ○ 	<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">ファイラーのフロー試験</td> <td style="width: 15%;">舗装調査・試験法 規程【2】-83</td> <td style="width: 15%;">50%以下</td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ </td> </tr> </table>	ファイラーのフロー試験	舗装調査・試験法 規程【2】-83	50%以下	<ul style="list-style-type: none"> ○ 	II-13
ファイラーのフロー試験	舗装調査・試験法 規程【2】-65	50%以下	<ul style="list-style-type: none"> ○ 								
ファイラーのフロー試験	舗装調査・試験法 規程【2】-83	50%以下	<ul style="list-style-type: none"> ○ 								
	<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">ファイラーの水浸率試験</td> <td style="width: 15%;">舗装調査・試験法 規程【2】-59</td> <td style="width: 15%;">3%以下</td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ </td> </tr> </table>	ファイラーの水浸率試験	舗装調査・試験法 規程【2】-59	3%以下	<ul style="list-style-type: none"> ○ 	<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">ファイラーの水浸率試験</td> <td style="width: 15%;">舗装調査・試験法 規程【2】-74</td> <td style="width: 15%;">3%以下</td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ </td> </tr> </table>	ファイラーの水浸率試験	舗装調査・試験法 規程【2】-74	3%以下	<ul style="list-style-type: none"> ○ 	II-13
ファイラーの水浸率試験	舗装調査・試験法 規程【2】-59	3%以下	<ul style="list-style-type: none"> ○ 								
ファイラーの水浸率試験	舗装調査・試験法 規程【2】-74	3%以下	<ul style="list-style-type: none"> ○ 								

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号								
	<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">ファイラーの剥離抵抗性試験</td> <td style="width: 20%;">舗装調査・試験法 規程【2】-61</td> <td style="width: 20%;">1/4以下</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> </table>	ファイラーの剥離抵抗性試験	舗装調査・試験法 規程【2】-61	1/4以下		<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">ファイラーの剥離抵抗性試験</td> <td style="width: 20%;">舗装調査・試験法 規程【2】-78</td> <td style="width: 20%;">1/4以下</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> </table>	ファイラーの剥離抵抗性試験	舗装調査・試験法 規程【2】-78	1/4以下		II-13
ファイラーの剥離抵抗性試験	舗装調査・試験法 規程【2】-61	1/4以下									
ファイラーの剥離抵抗性試験	舗装調査・試験法 規程【2】-78	1/4以下									
	<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">既製スラッグの水浸膨張性試験</td> <td style="width: 20%;">舗装調査・試験法 規程【2】-77</td> <td style="width: 20%;">水浸膨張比：2.0%以下</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> </table>	既製スラッグの水浸膨張性試験	舗装調査・試験法 規程【2】-77	水浸膨張比：2.0%以下		<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">既製スラッグの水浸膨張性試験</td> <td style="width: 20%;">舗装調査・試験法 規程【2】-94</td> <td style="width: 20%;">水浸膨張比：2.0%以下</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> </table>	既製スラッグの水浸膨張性試験	舗装調査・試験法 規程【2】-94	水浸膨張比：2.0%以下		II-13
既製スラッグの水浸膨張性試験	舗装調査・試験法 規程【2】-77	水浸膨張比：2.0%以下									
既製スラッグの水浸膨張性試験	舗装調査・試験法 規程【2】-94	水浸膨張比：2.0%以下									
	<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">既製スラッグの密度及び吸水率試験</td> <td style="width: 20%;">JIS A 1110</td> <td style="width: 20%;">SS 表乾密度：2.45g/cm3以上 吸水率：3.0%以下</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> </table>	既製スラッグの密度及び吸水率試験	JIS A 1110	SS 表乾密度：2.45g/cm3以上 吸水率：3.0%以下		<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">既製スラッグの密度及び吸水率試験</td> <td style="width: 20%;">JIS A 1110</td> <td style="width: 20%;">SS 表乾密度：2.45g/cm3以上 吸水率：3.0%以下</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> </table>	既製スラッグの密度及び吸水率試験	JIS A 1110	SS 表乾密度：2.45g/cm3以上 吸水率：3.0%以下		II-13
既製スラッグの密度及び吸水率試験	JIS A 1110	SS 表乾密度：2.45g/cm3以上 吸水率：3.0%以下									
既製スラッグの密度及び吸水率試験	JIS A 1110	SS 表乾密度：2.45g/cm3以上 吸水率：3.0%以下									
	<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">既製アクリル系による骨材の安定性試験</td> <td style="width: 20%;">JIS A 1122</td> <td style="width: 20%;">損失量：12%以下</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> </table>	既製アクリル系による骨材の安定性試験	JIS A 1122	損失量：12%以下		<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">既製アクリル系による骨材の安定性試験</td> <td style="width: 20%;">JIS A 1122</td> <td style="width: 20%;">損失量：12%以下</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> </table>	既製アクリル系による骨材の安定性試験	JIS A 1122	損失量：12%以下		II-14
既製アクリル系による骨材の安定性試験	JIS A 1122	損失量：12%以下									
既製アクリル系による骨材の安定性試験	JIS A 1122	損失量：12%以下									

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号								
	<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">高流動粘度試験</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【2】-180</td> <td style="width: 25%;">舗装施工便覧参照 ・セキプロンアスファルト：表 3.3.4</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	高流動粘度試験	舗装調査・試験法 便覧【2】-180	舗装施工便覧参照 ・セキプロンアスファルト：表 3.3.4	○	<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">高流動粘度試験</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【2】-212</td> <td style="width: 25%;">舗装施工便覧参照 ・セキプロンアスファルト：表 3.3.4</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	高流動粘度試験	舗装調査・試験法 便覧【2】-212	舗装施工便覧参照 ・セキプロンアスファルト：表 3.3.4	○	II-14
高流動粘度試験	舗装調査・試験法 便覧【2】-180	舗装施工便覧参照 ・セキプロンアスファルト：表 3.3.4	○								
高流動粘度試験	舗装調査・試験法 便覧【2】-212	舗装施工便覧参照 ・セキプロンアスファルト：表 3.3.4	○								
	<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">10℃粘度試験</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【2】-192</td> <td></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	10℃粘度試験	舗装調査・試験法 便覧【2】-192		○	<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">10℃粘度試験</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【2】-224</td> <td></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	10℃粘度試験	舗装調査・試験法 便覧【2】-224		○	II-14
10℃粘度試験	舗装調査・試験法 便覧【2】-192		○								
10℃粘度試験	舗装調査・試験法 便覧【2】-224		○								
	<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">タフネス・テナシ アイ試験</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【2】-244</td> <td style="width: 25%;">舗装施工便覧参照 ・ポリマー改質アスファルト：表3.3.3</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	タフネス・テナシ アイ試験	舗装調査・試験法 便覧【2】-244	舗装施工便覧参照 ・ポリマー改質アスファルト：表3.3.3	○	<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">タフネス・テナシ アイ試験</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【2】-289</td> <td style="width: 25%;">舗装施工便覧参照 ・ポリマー改質アスファルト：表3.3.3</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	タフネス・テナシ アイ試験	舗装調査・試験法 便覧【2】-289	舗装施工便覧参照 ・ポリマー改質アスファルト：表3.3.3	○	II-14
タフネス・テナシ アイ試験	舗装調査・試験法 便覧【2】-244	舗装施工便覧参照 ・ポリマー改質アスファルト：表3.3.3	○								
タフネス・テナシ アイ試験	舗装調査・試験法 便覧【2】-289	舗装施工便覧参照 ・ポリマー改質アスファルト：表3.3.3	○								
	<p>種別：プラント、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">粘度（2.36mmフル イ）</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【2】-14</td> <td style="width: 25%;">2.36mmふるい：±12%以内基準粘度 ・中規模以上の工事：定期的または随 時。 ・小規模以下の工事：異常が認められ たとき。 印字記録の場合：全数または抽出・ふ らい分け試験 1～2回/日 ・中規模以上の工事とは、管理図を描い た上での管理が可能な工事をいい、舗装 層上面積が10,000㎡あるいは使用する基 層及び表層用混合物の総使用量が3,000t 以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反 映できる規模の工事をいい、同一工種の 施工が数回連続する場合で、以下のいず れかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使 用量が3,000t未満（コンクリートでは 1,000㎥未満） ただし、以下に該当するものについても 小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が 100t以上のもの</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	粘度（2.36mmフル イ）	舗装調査・試験法 便覧【2】-14	2.36mmふるい：±12%以内基準粘度 ・中規模以上の工事：定期的または随 時。 ・小規模以下の工事：異常が認められ たとき。 印字記録の場合：全数または抽出・ふ らい分け試験 1～2回/日 ・中規模以上の工事とは、管理図を描い た上での管理が可能な工事をいい、舗装 層上面積が10,000㎡あるいは使用する基 層及び表層用混合物の総使用量が3,000t 以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反 映できる規模の工事をいい、同一工種の 施工が数回連続する場合で、以下のいず れかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使 用量が3,000t未満（コンクリートでは 1,000㎥未満） ただし、以下に該当するものについても 小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が 100t以上のもの	○	<p>種別：プラント、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">粘度（2.36mmフル イ）</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【2】-16</td> <td style="width: 25%;">2.36mmふるい：±12%以内基準粘度 ・中規模以上の工事：定期的または随 時。 ・小規模以下の工事：異常が認められ たとき。 印字記録の場合：全数または抽出・ふ らい分け試験 1～2回/日 ・中規模以上の工事とは、管理図を描い た上での管理が可能な工事をいい、舗装 層上面積が10,000㎡あるいは使用する基 層及び表層用混合物の総使用量が3,000t 以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反 映できる規模の工事をいい、同一工種の 施工が数回連続する場合で、以下のいず れかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使 用量が500t以上2,000t未満（コンクリ ートでは400㎡以上1,000㎡未満）。 ただし、以下に該当するものについても 小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が 100t以上のもの</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	粘度（2.36mmフル イ）	舗装調査・試験法 便覧【2】-16	2.36mmふるい：±12%以内基準粘度 ・中規模以上の工事：定期的または随 時。 ・小規模以下の工事：異常が認められ たとき。 印字記録の場合：全数または抽出・ふ らい分け試験 1～2回/日 ・中規模以上の工事とは、管理図を描い た上での管理が可能な工事をいい、舗装 層上面積が10,000㎡あるいは使用する基 層及び表層用混合物の総使用量が3,000t 以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反 映できる規模の工事をいい、同一工種の 施工が数回連続する場合で、以下のいず れかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使 用量が500t以上2,000t未満（コンクリ ートでは400㎡以上1,000㎡未満）。 ただし、以下に該当するものについても 小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が 100t以上のもの	○	II-14
粘度（2.36mmフル イ）	舗装調査・試験法 便覧【2】-14	2.36mmふるい：±12%以内基準粘度 ・中規模以上の工事：定期的または随 時。 ・小規模以下の工事：異常が認められ たとき。 印字記録の場合：全数または抽出・ふ らい分け試験 1～2回/日 ・中規模以上の工事とは、管理図を描い た上での管理が可能な工事をいい、舗装 層上面積が10,000㎡あるいは使用する基 層及び表層用混合物の総使用量が3,000t 以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反 映できる規模の工事をいい、同一工種の 施工が数回連続する場合で、以下のいず れかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使 用量が3,000t未満（コンクリートでは 1,000㎥未満） ただし、以下に該当するものについても 小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が 100t以上のもの	○								
粘度（2.36mmフル イ）	舗装調査・試験法 便覧【2】-16	2.36mmふるい：±12%以内基準粘度 ・中規模以上の工事：定期的または随 時。 ・小規模以下の工事：異常が認められ たとき。 印字記録の場合：全数または抽出・ふ らい分け試験 1～2回/日 ・中規模以上の工事とは、管理図を描い た上での管理が可能な工事をいい、舗装 層上面積が10,000㎡あるいは使用する基 層及び表層用混合物の総使用量が3,000t 以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反 映できる規模の工事をいい、同一工種の 施工が数回連続する場合で、以下のいず れかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使 用量が500t以上2,000t未満（コンクリ ートでは400㎡以上1,000㎡未満）。 ただし、以下に該当するものについても 小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の合材が 100t以上のもの	○								

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																								
	<p>種別：プラント、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">粒度 (75μmフルイ)</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【2】-14</td> <td style="width: 25%;">75μmふるい：±5%以内基準粒度</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> </table>	粒度 (75μmフルイ)	舗装調査・試験法 便覧【2】-14	75μmふるい：±5%以内基準粒度		<p>種別：プラント、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">粒度 (75μmフルイ)</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【2】-16</td> <td style="width: 25%;">75μmふるい：±5%以内基準粒度</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> </table>	粒度 (75μmフルイ)	舗装調査・試験法 便覧【2】-16	75μmふるい：±5%以内基準粒度		II-14																
粒度 (75μmフルイ)	舗装調査・試験法 便覧【2】-14	75μmふるい：±5%以内基準粒度																									
粒度 (75μmフルイ)	舗装調査・試験法 便覧【2】-16	75μmふるい：±5%以内基準粒度																									
	<p>種別：プラント、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">水浸ホイールトラック試験</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【3】-57</td> <td style="width: 25%;">設計図書による。</td> <td style="width: 25%;">設計図書による。</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;">ホイールトラック試験</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【3】-39</td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;">アスファルト混合物の耐摩耗性の確認</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;">フベリング試験</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【3】-17</td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;">アスファルト混合物の耐摩耗性の確認</td> </tr> </table>	水浸ホイールトラック試験	舗装調査・試験法 便覧【3】-57	設計図書による。	設計図書による。	ホイールトラック試験	舗装調査・試験法 便覧【3】-39		アスファルト混合物の耐摩耗性の確認	フベリング試験	舗装調査・試験法 便覧【3】-17		アスファルト混合物の耐摩耗性の確認	<p>種別：プラント、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">水浸ホイールトラック試験</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【3】-65</td> <td style="width: 25%;">設計図書による。</td> <td style="width: 25%;">設計図書による。</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;">ホイールトラック試験</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【3】-44</td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;">アスファルト混合物の耐摩耗性の確認</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;">フベリング試験</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【3】-18</td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;">アスファルト混合物の耐摩耗性の確認</td> </tr> </table>	水浸ホイールトラック試験	舗装調査・試験法 便覧【3】-65	設計図書による。	設計図書による。	ホイールトラック試験	舗装調査・試験法 便覧【3】-44		アスファルト混合物の耐摩耗性の確認	フベリング試験	舗装調査・試験法 便覧【3】-18		アスファルト混合物の耐摩耗性の確認	II-15
水浸ホイールトラック試験	舗装調査・試験法 便覧【3】-57	設計図書による。	設計図書による。																								
ホイールトラック試験	舗装調査・試験法 便覧【3】-39		アスファルト混合物の耐摩耗性の確認																								
フベリング試験	舗装調査・試験法 便覧【3】-17		アスファルト混合物の耐摩耗性の確認																								
水浸ホイールトラック試験	舗装調査・試験法 便覧【3】-65	設計図書による。	設計図書による。																								
ホイールトラック試験	舗装調査・試験法 便覧【3】-44		アスファルト混合物の耐摩耗性の確認																								
フベリング試験	舗装調査・試験法 便覧【3】-18		アスファルト混合物の耐摩耗性の確認																								
	<p>種別：舗装現場、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">現場密度の測定</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【3】-91</td> <td style="width: 25%;">基準密度の94%以上。 X10 96%以上 X6 96%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による</td> <td style="width: 25%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・締固め度は、個々の測定値が基準密度の94%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10個の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10個（10孔）で測定する。 <p>【例】 3,001～10,000㎡：10個 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10個追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10個、合計20個 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合は（維持工事を除く）は、1工事あたり3個（3孔）以上で測定する。</p> </td> </tr> </table>	現場密度の測定	舗装調査・試験法 便覧【3】-91	基準密度の94%以上。 X10 96%以上 X6 96%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による	<ul style="list-style-type: none"> ・締固め度は、個々の測定値が基準密度の94%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10個の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10個（10孔）で測定する。 <p>【例】 3,001～10,000㎡：10個 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10個追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10個、合計20個 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合は（維持工事を除く）は、1工事あたり3個（3孔）以上で測定する。</p>	<p>種別：舗装現場、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">現場密度の測定</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【3】-218</td> <td style="width: 25%;">基準密度の94%以上。 X10 96%以上 X6 96%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による</td> <td style="width: 25%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・締固め度は、個々の測定値が基準密度の94%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10孔の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10孔の測定値が得がたい場合は3孔の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3孔のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10孔で測定する。 <p>【例】 3,001～10,000㎡：10孔 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10孔追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10孔、合計20孔 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合は（維持工事を除く）は、1工事あたり3孔以上で測定する。</p> </td> </tr> </table>	現場密度の測定	舗装調査・試験法 便覧【3】-218	基準密度の94%以上。 X10 96%以上 X6 96%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による	<ul style="list-style-type: none"> ・締固め度は、個々の測定値が基準密度の94%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10孔の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10孔の測定値が得がたい場合は3孔の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3孔のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10孔で測定する。 <p>【例】 3,001～10,000㎡：10孔 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10孔追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10孔、合計20孔 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合は（維持工事を除く）は、1工事あたり3孔以上で測定する。</p>	II-15																
現場密度の測定	舗装調査・試験法 便覧【3】-91	基準密度の94%以上。 X10 96%以上 X6 96%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による	<ul style="list-style-type: none"> ・締固め度は、個々の測定値が基準密度の94%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10個の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10個の測定値が得がたい場合は3個の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3個のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10個（10孔）で測定する。 <p>【例】 3,001～10,000㎡：10個 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10個追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10個、合計20個 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合は（維持工事を除く）は、1工事あたり3個（3孔）以上で測定する。</p>																								
現場密度の測定	舗装調査・試験法 便覧【3】-218	基準密度の94%以上。 X10 96%以上 X6 96%以上 X3 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による	<ul style="list-style-type: none"> ・締固め度は、個々の測定値が基準密度の94%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締固め度は、10孔の測定値の平均値X10が規格値を満足するものとする。また、10孔の測定値が得がたい場合は3孔の測定値の平均値X3が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をはずれた場合は、さらに3孔のデータを加えた平均値X6が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10孔で測定する。 <p>【例】 3,001～10,000㎡：10孔 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10孔追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10孔、合計20孔 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合は（維持工事を除く）は、1工事あたり3孔以上で測定する。</p>																								
	<p>種別：舗装現場、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">予ベリ抵抗試験</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【1】-84</td> <td style="width: 25%;">設計図書による</td> <td style="width: 25%;">舗装車線毎200m毎に1回</td> </tr> </table>	予ベリ抵抗試験	舗装調査・試験法 便覧【1】-84	設計図書による	舗装車線毎200m毎に1回	<p>種別：舗装現場、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">予ベリ抵抗試験</td> <td style="width: 25%;">舗装調査・試験法 便覧【1】-101</td> <td style="width: 25%;">設計図書による</td> <td style="width: 25%;">舗装車線毎200m毎に1回</td> </tr> </table>	予ベリ抵抗試験	舗装調査・試験法 便覧【1】-101	設計図書による	舗装車線毎200m毎に1回	II-15																
予ベリ抵抗試験	舗装調査・試験法 便覧【1】-84	設計図書による	舗装車線毎200m毎に1回																								
予ベリ抵抗試験	舗装調査・試験法 便覧【1】-101	設計図書による	舗装車線毎200m毎に1回																								
12 転圧コンクリート	<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">ランマー突き固め試験</td> <td style="width: 25%;">舗装施工便覧8-3-31による。 目標値 締固め率：97%</td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> </table>	ランマー突き固め試験	舗装施工便覧8-3-31による。 目標値 締固め率：97%			<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">ランマー突き固め試験</td> <td style="width: 25%;">転圧コンクリート 舗装技術指針(案) ※いずれか2方法 目標値 締固め率：97%</td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> </table>	ランマー突き固め試験	転圧コンクリート 舗装技術指針(案) ※いずれか2方法 目標値 締固め率：97%			II-15																
ランマー突き固め試験	舗装施工便覧8-3-31による。 目標値 締固め率：97%																										
ランマー突き固め試験	転圧コンクリート 舗装技術指針(案) ※いずれか2方法 目標値 締固め率：97%																										
	<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">骨材のふるい分け試験</td> <td style="width: 25%;">JIS A 1102 舗装施工便覧 粗骨材表-3.3.20 粗骨材表-3.3.22</td> <td style="width: 25%;">粗骨材300μ、粗骨材500μごとに1回、あるいは1回/日。</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> </table>	骨材のふるい分け試験	JIS A 1102 舗装施工便覧 粗骨材表-3.3.20 粗骨材表-3.3.22	粗骨材300 μ 、粗骨材500 μ ごとに1回、あるいは1回/日。		<p>種別：材料、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">骨材のふるい分け試験</td> <td style="width: 25%;">JIS A 1102 舗装施工便覧 粗骨材表-3.3.20 粗骨材表-3.3.22</td> <td style="width: 25%;">粗骨材300μ、粗骨材500μごとに1回、あるいは1回/日。</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> </table>	骨材のふるい分け試験	JIS A 1102 舗装施工便覧 粗骨材表-3.3.20 粗骨材表-3.3.22	粗骨材300 μ 、粗骨材500 μ ごとに1回、あるいは1回/日。		II-15																
骨材のふるい分け試験	JIS A 1102 舗装施工便覧 粗骨材表-3.3.20 粗骨材表-3.3.22	粗骨材300 μ 、粗骨材500 μ ごとに1回、あるいは1回/日。																									
骨材のふるい分け試験	JIS A 1102 舗装施工便覧 粗骨材表-3.3.20 粗骨材表-3.3.22	粗骨材300 μ 、粗骨材500 μ ごとに1回、あるいは1回/日。																									

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																								
	<p>種別：製造（プラント）、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">ミキサの練混ぜ性能試験</td> <td style="width: 15%;">パッチミキサの場合： JIS A 1119 JIS A 8603-1 JIS A 8603-2</td> <td style="width: 15%;">コンクリートの練混ぜ量 公称容量の場合： コンクリート内のモルタル量の偏差率：0.8%以下 コンクリート内の粗骨材量の偏差率： 5%以下 圧縮強度の偏差率：7.5%以下 コンクリート中の気量の偏差率： 10%以下 コンシステンシー（スランプ）の偏差率：15%以下</td> <td style="width: 15%;">工事開始前及び工事中1回/年以上。</td> <td style="width: 15%;">・総使用量が50m³未満の場合は1回以上の試験、またはレディミキストコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	ミキサの練混ぜ性能試験	パッチミキサの場合： JIS A 1119 JIS A 8603-1 JIS A 8603-2	コンクリートの練混ぜ量 公称容量の場合： コンクリート内のモルタル量の偏差率：0.8%以下 コンクリート内の粗骨材量の偏差率： 5%以下 圧縮強度の偏差率：7.5%以下 コンクリート中の気量の偏差率： 10%以下 コンシステンシー（スランプ）の偏差率：15%以下	工事開始前及び工事中1回/年以上。	・総使用量が50m ³ 未満の場合は1回以上の試験、またはレディミキストコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。	○	<p>種別：製造（プラント）、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">ミキサの練混ぜ性能試験</td> <td style="width: 15%;">パッチミキサの場合： JIS A 1119 JIS A 8603-1 JIS A 8603-2</td> <td style="width: 15%;">コンクリートの練混ぜ量 公称容量の場合： コンクリート内のモルタル量の偏差率：0.8%以下 コンクリート内の粗骨材量の偏差率： 5%以下 圧縮強度の偏差率：7.5%以下 コンクリート中の気量の偏差率： 10%以下 コンシステンシー（スランプ）の偏差率：15%以下</td> <td style="width: 15%;">工事開始前及び工事中1回/年以上。</td> <td style="width: 15%;">・総使用量が50m³未満の場合は1回以上の試験、またはレディミキストコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	ミキサの練混ぜ性能試験	パッチミキサの場合： JIS A 1119 JIS A 8603-1 JIS A 8603-2	コンクリートの練混ぜ量 公称容量の場合： コンクリート内のモルタル量の偏差率：0.8%以下 コンクリート内の粗骨材量の偏差率： 5%以下 圧縮強度の偏差率：7.5%以下 コンクリート中の気量の偏差率： 10%以下 コンシステンシー（スランプ）の偏差率：15%以下	工事開始前及び工事中1回/年以上。	・総使用量が50m ³ 未満の場合は1回以上の試験、またはレディミキストコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。	○	II-16												
ミキサの練混ぜ性能試験	パッチミキサの場合： JIS A 1119 JIS A 8603-1 JIS A 8603-2	コンクリートの練混ぜ量 公称容量の場合： コンクリート内のモルタル量の偏差率：0.8%以下 コンクリート内の粗骨材量の偏差率： 5%以下 圧縮強度の偏差率：7.5%以下 コンクリート中の気量の偏差率： 10%以下 コンシステンシー（スランプ）の偏差率：15%以下	工事開始前及び工事中1回/年以上。	・総使用量が50m ³ 未満の場合は1回以上の試験、またはレディミキストコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。	○																						
ミキサの練混ぜ性能試験	パッチミキサの場合： JIS A 1119 JIS A 8603-1 JIS A 8603-2	コンクリートの練混ぜ量 公称容量の場合： コンクリート内のモルタル量の偏差率：0.8%以下 コンクリート内の粗骨材量の偏差率： 5%以下 圧縮強度の偏差率：7.5%以下 コンクリート中の気量の偏差率： 10%以下 コンシステンシー（スランプ）の偏差率：15%以下	工事開始前及び工事中1回/年以上。	・総使用量が50m ³ 未満の場合は1回以上の試験、またはレディミキストコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。	○																						
	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">マーシャル突き固め試験</td> <td style="width: 15%;">舗装調査・試験法 規程【3】-290 ※いすれか1方法</td> <td style="width: 15%;">目標値の±1.5%</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>ランマー突き固め試験</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	マーシャル突き固め試験	舗装調査・試験法 規程【3】-290 ※いすれか1方法	目標値の±1.5%				ランマー突き固め試験						<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">マーシャル突き固め試験</td> <td style="width: 15%;">舗装調査・試験法 規程【3】-344 ※いすれか1方法</td> <td style="width: 15%;">目標値の±1.5%</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td>ランマー突き固め試験</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	マーシャル突き固め試験	舗装調査・試験法 規程【3】-344 ※いすれか1方法	目標値の±1.5%				ランマー突き固め試験						II-17
マーシャル突き固め試験	舗装調査・試験法 規程【3】-290 ※いすれか1方法	目標値の±1.5%																									
ランマー突き固め試験																											
マーシャル突き固め試験	舗装調査・試験法 規程【3】-344 ※いすれか1方法	目標値の±1.5%																									
ランマー突き固め試験																											
	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">コアによる密度測定</td> <td style="width: 15%;">舗装調査・試験法 規程【3】-300</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">1,000m²に1個の割合でコアを採取して測定</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>	コアによる密度測定	舗装調査・試験法 規程【3】-300		1,000m ² に1個の割合でコアを採取して測定			<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">コアによる密度測定</td> <td style="width: 15%;">舗装調査・試験法 規程【3】-353</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">1,000m²に1個の割合でコアを採取して測定</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>	コアによる密度測定	舗装調査・試験法 規程【3】-353		1,000m ² に1個の割合でコアを採取して測定			II-17												
コアによる密度測定	舗装調査・試験法 規程【3】-300		1,000m ² に1個の割合でコアを採取して測定																								
コアによる密度測定	舗装調査・試験法 規程【3】-353		1,000m ² に1個の割合でコアを採取して測定																								
13 グラスアスファルト舗装	<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">骨材のふるい分け試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1102</td> <td style="width: 15%;">JIS A 5001 表2参照</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事とは、管理圏を備いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m²あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000m³以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000m²未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000m³未満（コンクリートでは1,000m³未満） ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1) アスファルト舗装：同一配合の骨材が100以上のもの</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	骨材のふるい分け試験	JIS A 1102	JIS A 5001 表2参照	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前	・中規模以上の工事とは、管理圏を備いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m ² あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000m ³ 以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000m ² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000m ³ 未満（コンクリートでは1,000m ³ 未満） ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1) アスファルト舗装：同一配合の骨材が100以上のもの	○	<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">骨材のふるい分け試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1102</td> <td style="width: 15%;">JIS A 5001 表2参照</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前</td> <td style="width: 15%;">・中規模以上の工事とは、管理圏を備いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m²あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000m³以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000m²以上10,000m²未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500m³以上3,000m³未満（コンクリートでは400m³以上1,000m³未満） ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1) アスファルト舗装：同一配合の骨材が100以上のもの</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	骨材のふるい分け試験	JIS A 1102	JIS A 5001 表2参照	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前	・中規模以上の工事とは、管理圏を備いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m ² あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000m ³ 以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000m ² 以上10,000m ² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500m ³ 以上3,000m ³ 未満（コンクリートでは400m ³ 以上1,000m ³ 未満） ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1) アスファルト舗装：同一配合の骨材が100以上のもの	○	II-17												
骨材のふるい分け試験	JIS A 1102	JIS A 5001 表2参照	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前	・中規模以上の工事とは、管理圏を備いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m ² あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000m ³ 以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000m ² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000m ³ 未満（コンクリートでは1,000m ³ 未満） ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1) アスファルト舗装：同一配合の骨材が100以上のもの	○																						
骨材のふるい分け試験	JIS A 1102	JIS A 5001 表2参照	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前	・中規模以上の工事とは、管理圏を備いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が10,000m ² あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000m ³ 以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000m ² 以上10,000m ² 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が500m ³ 以上3,000m ³ 未満（コンクリートでは400m ³ 以上1,000m ³ 未満） ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1) アスファルト舗装：同一配合の骨材が100以上のもの	○																						
	<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">骨材の密度及び吸水率試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1109 JIS A 1110</td> <td style="width: 15%;">表層・基層 表層密度：2.45g/cm³以上 吸水率：3.0%以下</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	骨材の密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表層・基層 表層密度：2.45g/cm ³ 以上 吸水率：3.0%以下			○	<p>種別：材料、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">骨材の密度及び吸水率試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1109 JIS A 1110</td> <td style="width: 15%;">表層・基層 表層密度：2.45g/cm³以上 吸水率：3.0%以下</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">○</td> </tr> </table>	骨材の密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表層・基層 表層密度：2.45g/cm ³ 以上 吸水率：3.0%以下			○	II-17												
骨材の密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表層・基層 表層密度：2.45g/cm ³ 以上 吸水率：3.0%以下			○																						
骨材の密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表層・基層 表層密度：2.45g/cm ³ 以上 吸水率：3.0%以下			○																						

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所：赤字】	頁番号		
15 表層安定処理工(表層混合処理)	種別：施工、試験区分：必須		II-20		
	現場密度の測定 ※右記試験方法 (3種類)のいずれかを実施する。 最大粒径 ≤ 53mm : 砂置換法 (JIS A 1214) 最大粒径 > 53mm : 舗装調査・試験 法便覧 [4] -185 条抄法	設計図書による。 500mmにつき1回の割合で行う。ただし、1,500mm未満の工事は1工事当たり3回以上、1回の試験につき3孔で測定し、3孔の最低値で判定を行う。		設計図書による。 500mmにつき1回の割合で行う。ただし、1,500mm未満の工事は1工事当たり3回以上、1回の試験につき3孔で測定し、3孔の最低値で判定を行う。	
	または、 設計図書を用いた盛土の締固め管理要領(案)	盛土を管理する単位(以下「管理単位」)に分割して管理単位ごとに管理を行うものとする。 1日の1層あたりの施工面積を基準とする。管理単位の面積は1,500m ² を標準とし、1日の施工面積が2,000m ² 以上の場合、その施工面積を2管理単位以上に分割するものとする。1管理単位あたりの測定点数の日安を以下に示す。 ・500m ² 未満：5点 ・500m ² 以上1000m ² 未満：10点 ・1000m ² 以上2000m ² 未満：15点		設計図書による。 盛土を管理する単位(以下「管理単位」)に分割して管理単位ごとに管理を行うものとする。 1日の1層あたりの施工面積を基準とする。管理単位の面積は1,500m ² を標準とし、1日の施工面積が2,000m ² 以上の場合、その施工面積を2管理単位以上に分割するものとする。1管理単位あたりの測定点数の日安を以下に示す。 ・500m ² 未満：5点 ・500m ² 以上1000m ² 未満：10点 ・1000m ² 以上2000m ² 未満：15点	
または、「T S・GSSを用いた盛土の締固め管理要領」による	1. 盛土を管理する単位(以下「管理単位」)に分割して管理単位毎に管理を行う。 2. 管理単位は現場、路体路所とも1日の1層あたりの施工面積は1,500m ² を標準とする。また、1日の施工面積が2,000m ² 以上の場合、その施工面積を2管理単位以上に分割するものとする。 3. 1日の施工が複数層に及ぶ場合でも1管理単位を複数層にまたがらせることはしないものとする。 4. 土取り場の状況や土質状況が変わる場合には、新規の管理単位として取り扱うものとする。	1. 盛土を管理する単位(以下「管理単位」)に分割して管理単位毎に管理を行う。 2. 管理単位は現場、路体路所とも1日の1層あたりの施工面積は1,500m ² を標準とする。また、1日の施工面積が2,000m ² 以上の場合、その施工面積を2管理単位以上に分割するものとする。 3. 1日の施工が複数層に及ぶ場合でも1管理単位を複数層にまたがらせることはしないものとする。 4. 土取り場の状況や土質状況が変わる場合には、新規の管理単位として取り扱うものとする。			
種別：施工、試験区分：必須		種別：施工、試験区分：その他			
	ブルーフローリング 舗装調査・試験法便覧 [4] -210	路体仕上げ後、全層、全区域で実施する。 ・荷重車については、施工時に用いた転圧機と同等以上の締固め効果を持つローラーやトラック等を用いるものとする。	ブルーフローリング 舗装調査・試験法便覧 [4] -208	路体仕上げ後、全層、全区域で実施する。 ・荷重車については、施工時に用いた転圧機と同等以上の締固め効果を持つローラーやトラック等を用いるものとする。	II-20
17 アンカー工	種別：施工、試験区分：必須		II-20		
	モルタルのフロー一括試験 JIS R 5201	締め上げ開始前に試験は2回行い、その平均値をフロー一括とする。		JIS R 521-2018 (R-18抄)フロー一括 (クワン)アンカー設計施工マニュアル(4/44頁付録)	締め上げ開始前に試験は2回行い、その平均値をフロー一括とする。

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所：赤字】	頁番号																						
18 補強土壁工	種別：施工、試験区分：必須	種別：施工、試験区分：必須	II-21																						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> 現場測定の方法 ※右記試験方法（3種）のうちいずれかを実施する。 最大粒径$\leq 5\text{mm}$： 経路調査・試験法（表） [4]-185 突刺法 </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> 次の測定への編組が可能な範囲の含水比（以下）において、最大乾燥密度の95%以上（前期の試験結果） 【IS A 1210 A・B】 ただし、JIS A 1210 C・D・E法での管理は、標準の施工仕様よりも編組のエネルギーの大きな測定方法（例えば、標準よりも測定力の大きな機械を使用する場合や1層あたりの仕上り厚を薄くする場合は、設計図書による。 </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> 300mmにつき1箇所/割合で行う。ただし、L 900以上の工種は1工事当たり3箇所以上、1箇所/試験につき3穴で測定し、3穴の最低値で判定を行う。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上 </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> 500mm（に21箇所の割合で行う。ただし、L 900以上の工種は1工事当たり3箇所以上、1箇所/試験につき3穴で測定し、3穴の最低値で判定を行う。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> または、 【1】計器を用いた盛土の編組の管理要領（表） </td> <td style="padding: 5px;"> 次の測定への編組が可能な範囲の含水比（以下）において、管理単位の現場乾燥密度の平均値が最大乾燥密度の97%以上（前期の試験結果） 【IS A 1210 A・B】 ただし、JIS A 1210 C・D・E法での管理は、標準の施工仕様よりも編組のエネルギーの大きな測定方法（例えば、標準よりも測定力の大きな機械を使用する場合や1層あたりの仕上り厚を薄くする場合は、設計図書による。 </td> <td style="padding: 5px;"> ・最大粒径$\leq 100\text{mm}$の場合に適用する。 ・左記の規格値を満足しているも、規格値を著しく下回っている点が存在する場合は、監督員と協議の上で、（例）検査を行うものとする。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上 </td> <td style="padding: 5px;"> ・最大粒径$\leq 100\text{mm}$の場合に適用する。 ・左記の規格値を満足しているも、規格値を著しく下回っている点が存在する場合は、監督員と協議の上で、（例）検査を行うものとする。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> または、【IS・GSSを用いた盛土の編組の管理要領】による </td> <td style="padding: 5px;"> 施工範囲を小分割した管理アゴの全てを規定回数に分けて管理単位の管理を行う。ただし、高層から1m以内と編組の機械が定常的な構造物等に接触しない。 </td> <td style="padding: 5px;"> 1. 盛土を管理する単位（以下「管理単位」）に分割して管理単位の管理を行う。 2. 管理単位は、躯体厚とも1日の1層当たりの施工面積は、500m^2を標準とする。また、1日の施工面積が$2,000\text{m}^2$以上の場合は、その施工面積を管理単位以上に分割するものとする。 3. 1日の施工面積が$2,000\text{m}^2$以上の場合でも1管理単位を複数層にまたがらせることはしないものとする。 4. 土取り場の状況や土質が異なる場合は、新規の管理単位として取り扱うものとする。 </td> <td style="padding: 5px;"> 1. 盛土を管理する単位（以下「管理単位」）に分割して管理単位の管理を行う。 2. 管理単位は、躯体厚とも1日の1層当たりの施工面積は、500m^2を標準とする。また、1日の施工面積が$2,000\text{m}^2$以上の場合は、その施工面積を管理単位以上に分割するものとする。 3. 1日の施工面積が$2,000\text{m}^2$以上の場合でも1管理単位を複数層にまたがらせることはしないものとする。 4. 土取り場の状況や土質が異なる場合は、新規の管理単位として取り扱うものとする。 </td> </tr> </table>	現場測定の方法 ※右記試験方法（3種）のうちいずれかを実施する。 最大粒径 $\leq 5\text{mm}$ ： 経路調査・試験法（表） [4]-185 突刺法	次の測定への編組が可能な範囲の含水比（以下）において、最大乾燥密度の95%以上（前期の試験結果） 【IS A 1210 A・B】 ただし、JIS A 1210 C・D・E法での管理は、標準の施工仕様よりも編組のエネルギーの大きな測定方法（例えば、標準よりも測定力の大きな機械を使用する場合や1層あたりの仕上り厚を薄くする場合は、設計図書による。	300mmにつき1箇所/割合で行う。ただし、L 900以上の工種は1工事当たり3箇所以上、1箇所/試験につき3穴で測定し、3穴の最低値で判定を行う。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上	500mm（に21箇所の割合で行う。ただし、L 900以上の工種は1工事当たり3箇所以上、1箇所/試験につき3穴で測定し、3穴の最低値で判定を行う。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上	または、 【1】計器を用いた盛土の編組の管理要領（表）	次の測定への編組が可能な範囲の含水比（以下）において、管理単位の現場乾燥密度の平均値が最大乾燥密度の97%以上（前期の試験結果） 【IS A 1210 A・B】 ただし、JIS A 1210 C・D・E法での管理は、標準の施工仕様よりも編組のエネルギーの大きな測定方法（例えば、標準よりも測定力の大きな機械を使用する場合や1層あたりの仕上り厚を薄くする場合は、設計図書による。	・最大粒径 $\leq 100\text{mm}$ の場合に適用する。 ・左記の規格値を満足しているも、規格値を著しく下回っている点が存在する場合は、監督員と協議の上で、（例）検査を行うものとする。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上	・最大粒径 $\leq 100\text{mm}$ の場合に適用する。 ・左記の規格値を満足しているも、規格値を著しく下回っている点が存在する場合は、監督員と協議の上で、（例）検査を行うものとする。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上	または、【IS・GSSを用いた盛土の編組の管理要領】による	施工範囲を小分割した管理アゴの全てを規定回数に分けて管理単位の管理を行う。ただし、高層から1m以内と編組の機械が定常的な構造物等に接触しない。	1. 盛土を管理する単位（以下「管理単位」）に分割して管理単位の管理を行う。 2. 管理単位は、躯体厚とも1日の1層当たりの施工面積は、 500m^2 を標準とする。また、1日の施工面積が $2,000\text{m}^2$ 以上の場合は、その施工面積を管理単位以上に分割するものとする。 3. 1日の施工面積が $2,000\text{m}^2$ 以上の場合でも1管理単位を複数層にまたがらせることはしないものとする。 4. 土取り場の状況や土質が異なる場合は、新規の管理単位として取り扱うものとする。	1. 盛土を管理する単位（以下「管理単位」）に分割して管理単位の管理を行う。 2. 管理単位は、躯体厚とも1日の1層当たりの施工面積は、 500m^2 を標準とする。また、1日の施工面積が $2,000\text{m}^2$ 以上の場合は、その施工面積を管理単位以上に分割するものとする。 3. 1日の施工面積が $2,000\text{m}^2$ 以上の場合でも1管理単位を複数層にまたがらせることはしないものとする。 4. 土取り場の状況や土質が異なる場合は、新規の管理単位として取り扱うものとする。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> 現場測定の方法 ※右記試験方法（3種）のうちいずれかを実施する。 最大粒径$\leq 5\text{mm}$： 経路調査・試験法（表） [4]-256 突刺法 </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> 次の測定への編組が可能な範囲の含水比（以下）において、最大乾燥密度の95%以上（前期の試験結果） 【IS A 1210 A・B】 ただし、JIS A 1210 C・D・E法での管理は、標準の施工仕様よりも編組のエネルギーの大きな測定方法（例えば、標準よりも測定力の大きな機械を使用する場合や1層あたりの仕上り厚を薄くする場合は、設計図書による。 </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> 300mm（に21箇所の割合で行う。ただし、L 900以上の工種は1工事当たり3箇所以上、1箇所/試験につき3穴で測定し、3穴の最低値で判定を行う。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上 </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> 500mm（に21箇所の割合で行う。ただし、L 900以上の工種は1工事当たり3箇所以上、1箇所/試験につき3穴で測定し、3穴の最低値で判定を行う。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> または、 【1】計器を用いた盛土の編組の管理要領（表） </td> <td style="padding: 5px;"> 次の測定への編組が可能な範囲の含水比（以下）において、管理単位の現場乾燥密度の平均値が最大乾燥密度の97%以上（前期の試験結果） 【IS A 1210 A・B】 ただし、JIS A 1210 C・D・E法での管理は、標準の施工仕様よりも編組のエネルギーの大きな測定方法（例えば、標準よりも測定力の大きな機械を使用する場合や1層あたりの仕上り厚を薄くする場合は、設計図書による。 </td> <td style="padding: 5px;"> ・最大粒径$\leq 100\text{mm}$の場合に適用する。 ・左記の規格値を満足しているも、規格値を著しく下回っている点が存在する場合は、監督員と協議の上で、（例）検査を行うものとする。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上 </td> <td style="padding: 5px;"> ・最大粒径$\leq 100\text{mm}$の場合に適用する。 ・左記の規格値を満足しているも、規格値を著しく下回っている点が存在する場合は、監督員と協議の上で、（例）検査を行うものとする。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;"> または、【IS・GSSを用いた盛土の編組の管理要領】による </td> <td style="padding: 5px;"> 施工範囲を小分割した管理アゴの全てを規定回数に分けて管理単位の管理を行う。ただし、高層から1m以内と編組の機械が定常的な構造物等に接触しない。 </td> <td style="padding: 5px;"> 1. 盛土を管理する単位（以下「管理単位」）に分割して管理単位の管理を行う。 2. 管理単位は、躯体厚とも1日の1層当たりの施工面積は、500m^2を標準とする。また、1日の施工面積が$2,000\text{m}^2$以上の場合は、その施工面積を管理単位以上に分割するものとする。 3. 1日の施工面積が$2,000\text{m}^2$以上の場合でも1管理単位を複数層にまたがらせることはしないものとする。 4. 土取り場の状況や土質が異なる場合は、新規の管理単位として取り扱うものとする。 </td> <td style="padding: 5px;"> 1. 盛土を管理する単位（以下「管理単位」）に分割して管理単位の管理を行う。 2. 管理単位は、躯体厚とも1日の1層当たりの施工面積は、500m^2を標準とする。また、1日の施工面積が$2,000\text{m}^2$以上の場合は、その施工面積を管理単位以上に分割するものとする。 3. 1日の施工面積が$2,000\text{m}^2$以上の場合でも1管理単位を複数層にまたがらせることはしないものとする。 4. 土取り場の状況や土質が異なる場合は、新規の管理単位として取り扱うものとする。 </td> </tr> </table>	現場測定の方法 ※右記試験方法（3種）のうちいずれかを実施する。 最大粒径 $\leq 5\text{mm}$ ： 経路調査・試験法（表） [4]-256 突刺法	次の測定への編組が可能な範囲の含水比（以下）において、最大乾燥密度の95%以上（前期の試験結果） 【IS A 1210 A・B】 ただし、JIS A 1210 C・D・E法での管理は、標準の施工仕様よりも編組のエネルギーの大きな測定方法（例えば、標準よりも測定力の大きな機械を使用する場合や1層あたりの仕上り厚を薄くする場合は、設計図書による。	300mm（に21箇所の割合で行う。ただし、L 900以上の工種は1工事当たり3箇所以上、1箇所/試験につき3穴で測定し、3穴の最低値で判定を行う。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上	500mm（に21箇所の割合で行う。ただし、L 900以上の工種は1工事当たり3箇所以上、1箇所/試験につき3穴で測定し、3穴の最低値で判定を行う。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上	または、 【1】計器を用いた盛土の編組の管理要領（表）	次の測定への編組が可能な範囲の含水比（以下）において、管理単位の現場乾燥密度の平均値が最大乾燥密度の97%以上（前期の試験結果） 【IS A 1210 A・B】 ただし、JIS A 1210 C・D・E法での管理は、標準の施工仕様よりも編組のエネルギーの大きな測定方法（例えば、標準よりも測定力の大きな機械を使用する場合や1層あたりの仕上り厚を薄くする場合は、設計図書による。	・最大粒径 $\leq 100\text{mm}$ の場合に適用する。 ・左記の規格値を満足しているも、規格値を著しく下回っている点が存在する場合は、監督員と協議の上で、（例）検査を行うものとする。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上	・最大粒径 $\leq 100\text{mm}$ の場合に適用する。 ・左記の規格値を満足しているも、規格値を著しく下回っている点が存在する場合は、監督員と協議の上で、（例）検査を行うものとする。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上	または、【IS・GSSを用いた盛土の編組の管理要領】による	施工範囲を小分割した管理アゴの全てを規定回数に分けて管理単位の管理を行う。ただし、高層から1m以内と編組の機械が定常的な構造物等に接触しない。	1. 盛土を管理する単位（以下「管理単位」）に分割して管理単位の管理を行う。 2. 管理単位は、躯体厚とも1日の1層当たりの施工面積は、 500m^2 を標準とする。また、1日の施工面積が $2,000\text{m}^2$ 以上の場合は、その施工面積を管理単位以上に分割するものとする。 3. 1日の施工面積が $2,000\text{m}^2$ 以上の場合でも1管理単位を複数層にまたがらせることはしないものとする。 4. 土取り場の状況や土質が異なる場合は、新規の管理単位として取り扱うものとする。
現場測定の方法 ※右記試験方法（3種）のうちいずれかを実施する。 最大粒径 $\leq 5\text{mm}$ ： 経路調査・試験法（表） [4]-185 突刺法	次の測定への編組が可能な範囲の含水比（以下）において、最大乾燥密度の95%以上（前期の試験結果） 【IS A 1210 A・B】 ただし、JIS A 1210 C・D・E法での管理は、標準の施工仕様よりも編組のエネルギーの大きな測定方法（例えば、標準よりも測定力の大きな機械を使用する場合や1層あたりの仕上り厚を薄くする場合は、設計図書による。	300mmにつき1箇所/割合で行う。ただし、L 900以上の工種は1工事当たり3箇所以上、1箇所/試験につき3穴で測定し、3穴の最低値で判定を行う。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上	500mm（に21箇所の割合で行う。ただし、L 900以上の工種は1工事当たり3箇所以上、1箇所/試験につき3穴で測定し、3穴の最低値で判定を行う。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上																						
または、 【1】計器を用いた盛土の編組の管理要領（表）	次の測定への編組が可能な範囲の含水比（以下）において、管理単位の現場乾燥密度の平均値が最大乾燥密度の97%以上（前期の試験結果） 【IS A 1210 A・B】 ただし、JIS A 1210 C・D・E法での管理は、標準の施工仕様よりも編組のエネルギーの大きな測定方法（例えば、標準よりも測定力の大きな機械を使用する場合や1層あたりの仕上り厚を薄くする場合は、設計図書による。	・最大粒径 $\leq 100\text{mm}$ の場合に適用する。 ・左記の規格値を満足しているも、規格値を著しく下回っている点が存在する場合は、監督員と協議の上で、（例）検査を行うものとする。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上	・最大粒径 $\leq 100\text{mm}$ の場合に適用する。 ・左記の規格値を満足しているも、規格値を著しく下回っている点が存在する場合は、監督員と協議の上で、（例）検査を行うものとする。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上																						
または、【IS・GSSを用いた盛土の編組の管理要領】による	施工範囲を小分割した管理アゴの全てを規定回数に分けて管理単位の管理を行う。ただし、高層から1m以内と編組の機械が定常的な構造物等に接触しない。	1. 盛土を管理する単位（以下「管理単位」）に分割して管理単位の管理を行う。 2. 管理単位は、躯体厚とも1日の1層当たりの施工面積は、 500m^2 を標準とする。また、1日の施工面積が $2,000\text{m}^2$ 以上の場合は、その施工面積を管理単位以上に分割するものとする。 3. 1日の施工面積が $2,000\text{m}^2$ 以上の場合でも1管理単位を複数層にまたがらせることはしないものとする。 4. 土取り場の状況や土質が異なる場合は、新規の管理単位として取り扱うものとする。	1. 盛土を管理する単位（以下「管理単位」）に分割して管理単位の管理を行う。 2. 管理単位は、躯体厚とも1日の1層当たりの施工面積は、 500m^2 を標準とする。また、1日の施工面積が $2,000\text{m}^2$ 以上の場合は、その施工面積を管理単位以上に分割するものとする。 3. 1日の施工面積が $2,000\text{m}^2$ 以上の場合でも1管理単位を複数層にまたがらせることはしないものとする。 4. 土取り場の状況や土質が異なる場合は、新規の管理単位として取り扱うものとする。																						
現場測定の方法 ※右記試験方法（3種）のうちいずれかを実施する。 最大粒径 $\leq 5\text{mm}$ ： 経路調査・試験法（表） [4]-256 突刺法	次の測定への編組が可能な範囲の含水比（以下）において、最大乾燥密度の95%以上（前期の試験結果） 【IS A 1210 A・B】 ただし、JIS A 1210 C・D・E法での管理は、標準の施工仕様よりも編組のエネルギーの大きな測定方法（例えば、標準よりも測定力の大きな機械を使用する場合や1層あたりの仕上り厚を薄くする場合は、設計図書による。	300mm（に21箇所の割合で行う。ただし、L 900以上の工種は1工事当たり3箇所以上、1箇所/試験につき3穴で測定し、3穴の最低値で判定を行う。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上	500mm（に21箇所の割合で行う。ただし、L 900以上の工種は1工事当たり3箇所以上、1箇所/試験につき3穴で測定し、3穴の最低値で判定を行う。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上																						
または、 【1】計器を用いた盛土の編組の管理要領（表）	次の測定への編組が可能な範囲の含水比（以下）において、管理単位の現場乾燥密度の平均値が最大乾燥密度の97%以上（前期の試験結果） 【IS A 1210 A・B】 ただし、JIS A 1210 C・D・E法での管理は、標準の施工仕様よりも編組のエネルギーの大きな測定方法（例えば、標準よりも測定力の大きな機械を使用する場合や1層あたりの仕上り厚を薄くする場合は、設計図書による。	・最大粒径 $\leq 100\text{mm}$ の場合に適用する。 ・左記の規格値を満足しているも、規格値を著しく下回っている点が存在する場合は、監督員と協議の上で、（例）検査を行うものとする。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上	・最大粒径 $\leq 100\text{mm}$ の場合に適用する。 ・左記の規格値を満足しているも、規格値を著しく下回っている点が存在する場合は、監督員と協議の上で、（例）検査を行うものとする。 ・構造面アゴ部における規格値は、下記の通りとする。 【前期の試験（IS A 1210 C・D・E法）】 平均92%以上、かつ最小90%以上 【インテグラルアバウト構造の場合】 平均97%以上、かつ最小96%以上																						
または、【IS・GSSを用いた盛土の編組の管理要領】による	施工範囲を小分割した管理アゴの全てを規定回数に分けて管理単位の管理を行う。ただし、高層から1m以内と編組の機械が定常的な構造物等に接触しない。	1. 盛土を管理する単位（以下「管理単位」）に分割して管理単位の管理を行う。 2. 管理単位は、躯体厚とも1日の1層当たりの施工面積は、 500m^2 を標準とする。また、1日の施工面積が $2,000\text{m}^2$ 以上の場合は、その施工面積を管理単位以上に分割するものとする。 3. 1日の施工面積が $2,000\text{m}^2$ 以上の場合でも1管理単位を複数層にまたがらせることはしないものとする。 4. 土取り場の状況や土質が異なる場合は、新規の管理単位として取り扱うものとする。	1. 盛土を管理する単位（以下「管理単位」）に分割して管理単位の管理を行う。 2. 管理単位は、躯体厚とも1日の1層当たりの施工面積は、 500m^2 を標準とする。また、1日の施工面積が $2,000\text{m}^2$ 以上の場合は、その施工面積を管理単位以上に分割するものとする。 3. 1日の施工面積が $2,000\text{m}^2$ 以上の場合でも1管理単位を複数層にまたがらせることはしないものとする。 4. 土取り場の状況や土質が異なる場合は、新規の管理単位として取り扱うものとする。																						
19 吹付工	種別：施工、試験区分：その他	種別：施工、試験区分：その他	II-23																						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> 塩化物量規程 コンクリートの耐久性向上 </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> 前期: 3kg/m^3以下 ※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。（橋台、橋脚、杭型（橋脚打尺、井筒基礎等）、橋梁上部工（桁、床版、高欄等）、擁壁工（高さ1m以上）、道路工、橋門、橋脚、水門、水路（内橋なし以上）、溝、ダム及堤防、トンネル、舗装、その他これらに関する工種及び特定仕様書で指定された工種 </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> ・小規模工種を除く工種当りの総使用量が50m^3未満の場合は、1工種当たり以上の試験。またはレディーミクスコンクリート工場の品質管理書のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が50m^3以上の場合は、50m^3ごとに1箇所/試験を行う。 ・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」（JSE-C302-2018, S30-2018）または設計図書の規定により行う。 ・用心数筋等を有さない無筋構造物の場合は省略できる。 </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> ・小規模工種を除く工種当りの総使用量が50m^3未満の場合は、1工種当たり以上の試験。またはレディーミクスコンクリート工場の品質管理書のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が50m^3以上の場合は、50m^3ごとに1箇所/試験を行う。 ・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」（JSE-C302-2018, S30-2018）または設計図書の規定により行う。 ・用心数筋等を有さない無筋構造物の場合は省略できる。 </td> </tr> </table>	塩化物量規程 コンクリートの耐久性向上	前期: 3kg/m^3 以下 ※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。（橋台、橋脚、杭型（橋脚打尺、井筒基礎等）、橋梁上部工（桁、床版、高欄等）、擁壁工（高さ1m以上）、道路工、橋門、橋脚、水門、水路（内橋なし以上）、溝、ダム及堤防、トンネル、舗装、その他これらに関する工種及び特定仕様書で指定された工種	・小規模工種を除く工種当りの総使用量が 50m^3 未満の場合は、1工種当たり以上の試験。またはレディーミクスコンクリート工場の品質管理書のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が 50m^3 以上の場合は、 50m^3 ごとに1箇所/試験を行う。 ・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」（JSE-C302-2018, S30-2018）または設計図書の規定により行う。 ・用心数筋等を有さない無筋構造物の場合は省略できる。	・小規模工種を除く工種当りの総使用量が 50m^3 未満の場合は、1工種当たり以上の試験。またはレディーミクスコンクリート工場の品質管理書のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が 50m^3 以上の場合は、 50m^3 ごとに1箇所/試験を行う。 ・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」（JSE-C302-2018, S30-2018）または設計図書の規定により行う。 ・用心数筋等を有さない無筋構造物の場合は省略できる。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> 塩化物量規程 コンクリートの耐久性向上 </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> 前期: 3kg/m^3以下 ※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。（橋台、橋脚、杭型（橋脚打尺、井筒基礎等）、橋梁上部工（桁、床版、高欄等）、擁壁工（高さ1m以上）、道路工、橋門、橋脚、水門、水路（内橋なし以上）、溝、ダム及堤防、トンネル、舗装、その他これらに関する工種及び特定仕様書で指定された工種 </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> ・小規模工種を除く工種当りの総使用量が50m^3未満の場合は、1工種当たり以上の試験。またはレディーミクスコンクリート工場の品質管理書のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が50m^3以上の場合は、50m^3ごとに1箇所/試験を行う。 ・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」（JSE-C302-2018, S30-2018）または設計図書の規定により行う。 ・用心数筋等を有さない無筋構造物の場合は省略できる。 </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> ・小規模工種を除く工種当りの総使用量が50m^3未満の場合は、1工種当たり以上の試験。またはレディーミクスコンクリート工場の品質管理書のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が50m^3以上の場合は、50m^3ごとに1箇所/試験を行う。 ・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」（JSE-C302-2018, S30-2018）または設計図書の規定により行う。 ・用心数筋等を有さない無筋構造物の場合は省略できる。 </td> </tr> </table>	塩化物量規程 コンクリートの耐久性向上	前期: 3kg/m^3 以下 ※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。（橋台、橋脚、杭型（橋脚打尺、井筒基礎等）、橋梁上部工（桁、床版、高欄等）、擁壁工（高さ1m以上）、道路工、橋門、橋脚、水門、水路（内橋なし以上）、溝、ダム及堤防、トンネル、舗装、その他これらに関する工種及び特定仕様書で指定された工種	・小規模工種を除く工種当りの総使用量が 50m^3 未満の場合は、1工種当たり以上の試験。またはレディーミクスコンクリート工場の品質管理書のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が 50m^3 以上の場合は、 50m^3 ごとに1箇所/試験を行う。 ・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」（JSE-C302-2018, S30-2018）または設計図書の規定により行う。 ・用心数筋等を有さない無筋構造物の場合は省略できる。	・小規模工種を除く工種当りの総使用量が 50m^3 未満の場合は、1工種当たり以上の試験。またはレディーミクスコンクリート工場の品質管理書のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が 50m^3 以上の場合は、 50m^3 ごとに1箇所/試験を行う。 ・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」（JSE-C302-2018, S30-2018）または設計図書の規定により行う。 ・用心数筋等を有さない無筋構造物の場合は省略できる。															
塩化物量規程 コンクリートの耐久性向上	前期: 3kg/m^3 以下 ※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。（橋台、橋脚、杭型（橋脚打尺、井筒基礎等）、橋梁上部工（桁、床版、高欄等）、擁壁工（高さ1m以上）、道路工、橋門、橋脚、水門、水路（内橋なし以上）、溝、ダム及堤防、トンネル、舗装、その他これらに関する工種及び特定仕様書で指定された工種	・小規模工種を除く工種当りの総使用量が 50m^3 未満の場合は、1工種当たり以上の試験。またはレディーミクスコンクリート工場の品質管理書のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が 50m^3 以上の場合は、 50m^3 ごとに1箇所/試験を行う。 ・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」（JSE-C302-2018, S30-2018）または設計図書の規定により行う。 ・用心数筋等を有さない無筋構造物の場合は省略できる。	・小規模工種を除く工種当りの総使用量が 50m^3 未満の場合は、1工種当たり以上の試験。またはレディーミクスコンクリート工場の品質管理書のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が 50m^3 以上の場合は、 50m^3 ごとに1箇所/試験を行う。 ・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」（JSE-C302-2018, S30-2018）または設計図書の規定により行う。 ・用心数筋等を有さない無筋構造物の場合は省略できる。																						
塩化物量規程 コンクリートの耐久性向上	前期: 3kg/m^3 以下 ※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。（橋台、橋脚、杭型（橋脚打尺、井筒基礎等）、橋梁上部工（桁、床版、高欄等）、擁壁工（高さ1m以上）、道路工、橋門、橋脚、水門、水路（内橋なし以上）、溝、ダム及堤防、トンネル、舗装、その他これらに関する工種及び特定仕様書で指定された工種	・小規模工種を除く工種当りの総使用量が 50m^3 未満の場合は、1工種当たり以上の試験。またはレディーミクスコンクリート工場の品質管理書のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が 50m^3 以上の場合は、 50m^3 ごとに1箇所/試験を行う。 ・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」（JSE-C302-2018, S30-2018）または設計図書の規定により行う。 ・用心数筋等を有さない無筋構造物の場合は省略できる。	・小規模工種を除く工種当りの総使用量が 50m^3 未満の場合は、1工種当たり以上の試験。またはレディーミクスコンクリート工場の品質管理書のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が 50m^3 以上の場合は、 50m^3 ごとに1箇所/試験を行う。 ・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」（JSE-C302-2018, S30-2018）または設計図書の規定により行う。 ・用心数筋等を有さない無筋構造物の場合は省略できる。																						
種別：施工、試験区分：その他	種別：施工、試験区分：その他	種別：施工、試験区分：その他	II-23																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> スランプ試験（モルタル除く） </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> JIS A 1101 スランプ7cm以上18cm未満：許容差$\pm 1.5\text{cm}$ スランプ7cm以上18cm以下：許容差$\pm 2.5\text{cm}$ </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> ・前期試験項目/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m^3～10m^3ごとに1回、及び発注時に品質変化が認められた時。 ※小規模工種については、塩化物量規程項目を参照 </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> ・前期試験項目/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m^3～10m^3ごとに1回、及び発注時に品質変化が認められた時。 ※小規模工種については、塩化物量規程項目を参照 </td> </tr> </table>	スランプ試験（モルタル除く）	JIS A 1101 スランプ 7cm 以上 18cm 未満：許容差 $\pm 1.5\text{cm}$ スランプ 7cm 以上 18cm 以下：許容差 $\pm 2.5\text{cm}$	・前期試験項目/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて 20m^3 ～ 10m^3 ごとに1回、及び発注時に品質変化が認められた時。 ※小規模工種については、塩化物量規程項目を参照	・前期試験項目/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて 20m^3 ～ 10m^3 ごとに1回、及び発注時に品質変化が認められた時。 ※小規模工種については、塩化物量規程項目を参照	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> スランプ試験（モルタル除く） </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> JIS A 1101 スランプ6cm以上18cm未満：許容差$\pm 1.5\text{cm}$ スランプ7cm以上18cm以下：許容差$\pm 2.5\text{cm}$ </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> ・前期試験項目/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m^3～10m^3ごとに1回、及び発注時に品質変化が認められた時。 ※小規模工種については、塩化物量規程項目を参照 </td> <td style="width: 25%; padding: 5px;"> ・前期試験項目/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m^3～10m^3ごとに1回、及び発注時に品質変化が認められた時。 ※小規模工種については、塩化物量規程項目を参照 </td> </tr> </table>	スランプ試験（モルタル除く）	JIS A 1101 スランプ 6cm 以上 18cm 未満：許容差 $\pm 1.5\text{cm}$ スランプ 7cm 以上 18cm 以下：許容差 $\pm 2.5\text{cm}$	・前期試験項目/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて 20m^3 ～ 10m^3 ごとに1回、及び発注時に品質変化が認められた時。 ※小規模工種については、塩化物量規程項目を参照	・前期試験項目/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて 20m^3 ～ 10m^3 ごとに1回、及び発注時に品質変化が認められた時。 ※小規模工種については、塩化物量規程項目を参照																
スランプ試験（モルタル除く）	JIS A 1101 スランプ 7cm 以上 18cm 未満：許容差 $\pm 1.5\text{cm}$ スランプ 7cm 以上 18cm 以下：許容差 $\pm 2.5\text{cm}$	・前期試験項目/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて 20m^3 ～ 10m^3 ごとに1回、及び発注時に品質変化が認められた時。 ※小規模工種については、塩化物量規程項目を参照	・前期試験項目/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて 20m^3 ～ 10m^3 ごとに1回、及び発注時に品質変化が認められた時。 ※小規模工種については、塩化物量規程項目を参照																						
スランプ試験（モルタル除く）	JIS A 1101 スランプ 6cm 以上 18cm 未満：許容差 $\pm 1.5\text{cm}$ スランプ 7cm 以上 18cm 以下：許容差 $\pm 2.5\text{cm}$	・前期試験項目/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて 20m^3 ～ 10m^3 ごとに1回、及び発注時に品質変化が認められた時。 ※小規模工種については、塩化物量規程項目を参照	・前期試験項目/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて 20m^3 ～ 10m^3 ごとに1回、及び発注時に品質変化が認められた時。 ※小規模工種については、塩化物量規程項目を参照																						

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号								
	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="398 204 481 331">コンクリートの圧縮強度試験</td> <td data-bbox="481 204 757 331">JIS A 1107 JIS A 1108 土木学会規程[SCE F561-2013]</td> <td data-bbox="757 204 929 331">3本の強度の平均値が材容積28日で設計強度以上かつ1日につき1回行う。 なお、テストピースは現場に配置された型枠に工事で使用すると同じコンクリート（セルタ）を切り取り、現場で28日養生し、直径50mmのコアを切り取りキャッピングを行う。原則として1回3本とする。</td> <td data-bbox="929 204 1144 331">*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m³未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m³以上の場合は、50m³ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、塩化物含量規程の項目を参照</td> </tr> </table>	コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1107 JIS A 1108 土木学会規程[SCE F561-2013]	3本の強度の平均値が材容積28日で設計強度以上かつ1日につき1回行う。 なお、テストピースは現場に配置された型枠に工事で使用すると同じコンクリート（セルタ）を切り取り、現場で28日養生し、直径50mmのコアを切り取りキャッピングを行う。原則として1回3本とする。	*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、塩化物含量規程の項目を参照	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1189 204 1272 331">コンクリートの圧縮強度試験</td> <td data-bbox="1272 204 1547 331">JIS A 1107 JIS A 1108 土木学会規程[SCE F561-2013]</td> <td data-bbox="1547 204 1720 331">3本の強度の平均値が材容積28日で設計強度以上かつ1日につき1回行う。 なお、テストピースは現場に配置された型枠に工事で使用すると同じコンクリート（セルタ）を切り取り、現場で28日養生し、直径50mmのコアを切り取りキャッピングを行う。原則として1回3本とする。</td> <td data-bbox="1720 204 1935 331">*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m³未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m³以上の場合は、50m³ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、塩化物含量規程の項目を参照</td> </tr> </table>	コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1107 JIS A 1108 土木学会規程[SCE F561-2013]	3本の強度の平均値が材容積28日で設計強度以上かつ1日につき1回行う。 なお、テストピースは現場に配置された型枠に工事で使用すると同じコンクリート（セルタ）を切り取り、現場で28日養生し、直径50mmのコアを切り取りキャッピングを行う。原則として1回3本とする。	*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、塩化物含量規程の項目を参照	II-23
コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1107 JIS A 1108 土木学会規程[SCE F561-2013]	3本の強度の平均値が材容積28日で設計強度以上かつ1日につき1回行う。 なお、テストピースは現場に配置された型枠に工事で使用すると同じコンクリート（セルタ）を切り取り、現場で28日養生し、直径50mmのコアを切り取りキャッピングを行う。原則として1回3本とする。	*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、塩化物含量規程の項目を参照								
コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1107 JIS A 1108 土木学会規程[SCE F561-2013]	3本の強度の平均値が材容積28日で設計強度以上かつ1日につき1回行う。 なお、テストピースは現場に配置された型枠に工事で使用すると同じコンクリート（セルタ）を切り取り、現場で28日養生し、直径50mmのコアを切り取りキャッピングを行う。原則として1回3本とする。	*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、塩化物含量規程の項目を参照								
	<p>種別：施工、試験区分：その他</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="398 528 481 740">空気量測定</td> <td data-bbox="481 528 757 740">JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128</td> <td data-bbox="757 528 929 740">±1.5% (許容差) * 荷卸し時 1日/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m³~150m³ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。</td> <td data-bbox="929 528 1144 740">*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m³未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m³以上の場合は、50m³ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、塩化物含量規程の項目を参照</td> </tr> </table>	空気量測定	JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128	±1.5% (許容差) * 荷卸し時 1日/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、塩化物含量規程の項目を参照	<p>種別：施工、試験区分：その他</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1189 528 1272 740">空気量測定</td> <td data-bbox="1272 528 1547 740">JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128</td> <td data-bbox="1547 528 1720 740">±1.5% (許容差) * 荷卸し時 1日/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m³~150m³ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。</td> <td data-bbox="1720 528 1935 740">*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m³未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m³以上の場合は、50m³ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、塩化物含量規程の項目を参照</td> </tr> </table>	空気量測定	JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128	±1.5% (許容差) * 荷卸し時 1日/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、塩化物含量規程の項目を参照	II-23
空気量測定	JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128	±1.5% (許容差) * 荷卸し時 1日/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、塩化物含量規程の項目を参照								
空気量測定	JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128	±1.5% (許容差) * 荷卸し時 1日/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、塩化物含量規程の項目を参照								
20 現場吹付法砕工	<p>種別：施工、試験区分：その他</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="398 772 481 916">スランピング試験 (セルタル除く)</td> <td data-bbox="481 772 757 916">JIS A 1101</td> <td data-bbox="757 772 929 916">スランピング7cm以上8cm未満：許容差±1.5cm スランピング7cm以上18cm以下：許容差±2.5cm * 荷卸し時 1日/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m³~150m³ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。</td> <td data-bbox="929 772 1144 916">*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m³未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m³以上の場合は、50m³ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。(橋台、橋脚、杭類(橋脚打杭、井筒基礎等)、橋梁上部工(桁、梁、高欄等)、橋梁工(橋さばり以上)、高架工、橋脚、橋脚、水門、水路(岸壁2.0m以上)、護岸、ダム及び堤、トンネル、舗装、その他これらに関する工種及び特別仕様書で指定された工種)</td> </tr> </table>	スランピング試験 (セルタル除く)	JIS A 1101	スランピング7cm以上8cm未満：許容差±1.5cm スランピング7cm以上18cm以下：許容差±2.5cm * 荷卸し時 1日/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。(橋台、橋脚、杭類(橋脚打杭、井筒基礎等)、橋梁上部工(桁、梁、高欄等)、橋梁工(橋さばり以上)、高架工、橋脚、橋脚、水門、水路(岸壁2.0m以上)、護岸、ダム及び堤、トンネル、舗装、その他これらに関する工種及び特別仕様書で指定された工種)	<p>種別：施工、試験区分：その他</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1189 772 1272 916">スランピング試験 (セルタル除く)</td> <td data-bbox="1272 772 1547 916">JIS A 1101</td> <td data-bbox="1547 772 1720 916">スランピング7cm以上8cm未満：許容差±1.5cm スランピング7cm以上18cm以下：許容差±2.5cm * 荷卸し時 1日/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m³~150m³ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。</td> <td data-bbox="1720 772 1935 916">*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m³未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m³以上の場合は、50m³ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。(橋台、橋脚、杭類(橋脚打杭、井筒基礎等)、橋梁上部工(桁、梁、高欄等)、橋梁工(橋さばり以上)、高架工、橋脚、橋脚、水門、水路(岸壁2.0m以上)、護岸、ダム及び堤、トンネル、舗装、その他これらに関する工種及び特別仕様書で指定された工種)</td> </tr> </table>	スランピング試験 (セルタル除く)	JIS A 1101	スランピング7cm以上8cm未満：許容差±1.5cm スランピング7cm以上18cm以下：許容差±2.5cm * 荷卸し時 1日/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。(橋台、橋脚、杭類(橋脚打杭、井筒基礎等)、橋梁上部工(桁、梁、高欄等)、橋梁工(橋さばり以上)、高架工、橋脚、橋脚、水門、水路(岸壁2.0m以上)、護岸、ダム及び堤、トンネル、舗装、その他これらに関する工種及び特別仕様書で指定された工種)	II-25
スランピング試験 (セルタル除く)	JIS A 1101	スランピング7cm以上8cm未満：許容差±1.5cm スランピング7cm以上18cm以下：許容差±2.5cm * 荷卸し時 1日/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。(橋台、橋脚、杭類(橋脚打杭、井筒基礎等)、橋梁上部工(桁、梁、高欄等)、橋梁工(橋さばり以上)、高架工、橋脚、橋脚、水門、水路(岸壁2.0m以上)、護岸、ダム及び堤、トンネル、舗装、その他これらに関する工種及び特別仕様書で指定された工種)								
スランピング試験 (セルタル除く)	JIS A 1101	スランピング7cm以上8cm未満：許容差±1.5cm スランピング7cm以上18cm以下：許容差±2.5cm * 荷卸し時 1日/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。(橋台、橋脚、杭類(橋脚打杭、井筒基礎等)、橋梁上部工(桁、梁、高欄等)、橋梁工(橋さばり以上)、高架工、橋脚、橋脚、水門、水路(岸壁2.0m以上)、護岸、ダム及び堤、トンネル、舗装、その他これらに関する工種及び特別仕様書で指定された工種)								
	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="398 959 481 1102">コンクリートの圧縮強度試験</td> <td data-bbox="481 959 757 1102">JIS A 1107 JIS A 1108 土木学会規程[SCE F561-2013]</td> <td data-bbox="757 959 929 1102">1回3本 吹付日につき1回行う。 なお、テストピースは現場に配置された型枠に工事で使用すると同じコンクリート（セルタ）を切り取り、現場で7日間及び90日間放置後、φ50mmのコアを切り取りキャッピングを行う。1回3本（a 7・3本、a 28・3本、）とする。</td> <td data-bbox="929 959 1144 1102">*参考値：18N/mm²以上（材容積28日） *小規模工種での1工種当りの総使用量が50m³未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m³以上の場合は、50m³ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、スランピング試験の項目を参照</td> </tr> </table>	コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1107 JIS A 1108 土木学会規程[SCE F561-2013]	1回3本 吹付日につき1回行う。 なお、テストピースは現場に配置された型枠に工事で使用すると同じコンクリート（セルタ）を切り取り、現場で7日間及び90日間放置後、φ50mmのコアを切り取りキャッピングを行う。1回3本（a 7・3本、a 28・3本、）とする。	*参考値：18N/mm ² 以上（材容積28日） *小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、スランピング試験の項目を参照	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1189 959 1272 1102">コンクリートの圧縮強度試験</td> <td data-bbox="1272 959 1547 1102">JIS A 1107 JIS A 1108 土木学会規程[SCE F561-2013]</td> <td data-bbox="1547 959 1720 1102">1回3本 吹付日につき1回行う。 なお、テストピースは現場に配置された型枠に工事で使用すると同じコンクリート（セルタ）を切り取り、現場で7日間及び90日間放置後、φ50mmのコアを切り取りキャッピングを行う。1回3本（a 7・3本、a 28・3本、）とする。</td> <td data-bbox="1720 959 1935 1102">*参考値：18N/mm²以上（材容積28日） *小規模工種での1工種当りの総使用量が50m³未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m³以上の場合は、50m³ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、スランピング試験の項目を参照</td> </tr> </table>	コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1107 JIS A 1108 土木学会規程[SCE F561-2013]	1回3本 吹付日につき1回行う。 なお、テストピースは現場に配置された型枠に工事で使用すると同じコンクリート（セルタ）を切り取り、現場で7日間及び90日間放置後、φ50mmのコアを切り取りキャッピングを行う。1回3本（a 7・3本、a 28・3本、）とする。	*参考値：18N/mm ² 以上（材容積28日） *小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、スランピング試験の項目を参照	II-25
コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1107 JIS A 1108 土木学会規程[SCE F561-2013]	1回3本 吹付日につき1回行う。 なお、テストピースは現場に配置された型枠に工事で使用すると同じコンクリート（セルタ）を切り取り、現場で7日間及び90日間放置後、φ50mmのコアを切り取りキャッピングを行う。1回3本（a 7・3本、a 28・3本、）とする。	*参考値：18N/mm ² 以上（材容積28日） *小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、スランピング試験の項目を参照								
コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1107 JIS A 1108 土木学会規程[SCE F561-2013]	1回3本 吹付日につき1回行う。 なお、テストピースは現場に配置された型枠に工事で使用すると同じコンクリート（セルタ）を切り取り、現場で7日間及び90日間放置後、φ50mmのコアを切り取りキャッピングを行う。1回3本（a 7・3本、a 28・3本、）とする。	*参考値：18N/mm ² 以上（材容積28日） *小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、スランピング試験の項目を参照								
	<p>種別：施工、試験区分：その他</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="398 1161 481 1305">塩化物含量規程</td> <td data-bbox="481 1161 757 1305">「コンクリートの耐久性向上」 取組0.3kg/m³以下</td> <td data-bbox="757 1161 929 1305">コンクリートの打設が午前と午後にまたがる場合は、午前と1回コンクリート打設後に行い、その試験結果が塩化物含量が規程値の0.2以下の場合、午後の試験を省略することができる。(1試験の測定回数3回) 試験の判定は3回の測定値の平均値。</td> <td data-bbox="929 1161 1144 1305">*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m³未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m³以上の場合は、50m³ごとに1回の試験を行う。 *骨材に塩素を使用する場合は、「塩素の塩化物イオン含有率試験方法」(SCE-C92-2018, S03-2018) または設計図書の規定により行う。 ※小規模工種については、スランピング試験の項目を参照</td> </tr> </table>	塩化物含量規程	「コンクリートの耐久性向上」 取組0.3kg/m ³ 以下	コンクリートの打設が午前と午後にまたがる場合は、午前と1回コンクリート打設後に行い、その試験結果が塩化物含量が規程値の0.2以下の場合、午後の試験を省略することができる。(1試験の測定回数3回) 試験の判定は3回の測定値の平均値。	*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 *骨材に塩素を使用する場合は、「塩素の塩化物イオン含有率試験方法」(SCE-C92-2018, S03-2018) または設計図書の規定により行う。 ※小規模工種については、スランピング試験の項目を参照	<p>種別：施工、試験区分：その他</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1189 1161 1272 1305">塩化物含量規程</td> <td data-bbox="1272 1161 1547 1305">「コンクリートの耐久性向上」 取組0.3kg/m³以下</td> <td data-bbox="1547 1161 1720 1305">コンクリートの打設が午前と午後にまたがる場合は、午前と1回コンクリート打設後に行い、その試験結果が塩化物含量が規程値の0.2以下の場合、午後の試験を省略することができる。(1試験の測定回数3回) 試験の判定は3回の測定値の平均値。</td> <td data-bbox="1720 1161 1935 1305">*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m³未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m³以上の場合は、50m³ごとに1回の試験を行う。 *骨材に塩素を使用する場合は、「塩素の塩化物イオン含有率試験方法」(SCE-C92-2018, S03-2018) または設計図書の規定により行う。 ※小規模工種については、スランピング試験の項目を参照</td> </tr> </table>	塩化物含量規程	「コンクリートの耐久性向上」 取組0.3kg/m ³ 以下	コンクリートの打設が午前と午後にまたがる場合は、午前と1回コンクリート打設後に行い、その試験結果が塩化物含量が規程値の0.2以下の場合、午後の試験を省略することができる。(1試験の測定回数3回) 試験の判定は3回の測定値の平均値。	*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 *骨材に塩素を使用する場合は、「塩素の塩化物イオン含有率試験方法」(SCE-C92-2018, S03-2018) または設計図書の規定により行う。 ※小規模工種については、スランピング試験の項目を参照	II-25
塩化物含量規程	「コンクリートの耐久性向上」 取組0.3kg/m ³ 以下	コンクリートの打設が午前と午後にまたがる場合は、午前と1回コンクリート打設後に行い、その試験結果が塩化物含量が規程値の0.2以下の場合、午後の試験を省略することができる。(1試験の測定回数3回) 試験の判定は3回の測定値の平均値。	*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 *骨材に塩素を使用する場合は、「塩素の塩化物イオン含有率試験方法」(SCE-C92-2018, S03-2018) または設計図書の規定により行う。 ※小規模工種については、スランピング試験の項目を参照								
塩化物含量規程	「コンクリートの耐久性向上」 取組0.3kg/m ³ 以下	コンクリートの打設が午前と午後にまたがる場合は、午前と1回コンクリート打設後に行い、その試験結果が塩化物含量が規程値の0.2以下の場合、午後の試験を省略することができる。(1試験の測定回数3回) 試験の判定は3回の測定値の平均値。	*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 *骨材に塩素を使用する場合は、「塩素の塩化物イオン含有率試験方法」(SCE-C92-2018, S03-2018) または設計図書の規定により行う。 ※小規模工種については、スランピング試験の項目を参照								
	<p>種別：施工、試験区分：その他</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="398 1351 481 1495">空気量測定</td> <td data-bbox="481 1351 757 1495">JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128</td> <td data-bbox="757 1351 929 1495">±1.5% (許容差) * 荷卸し時 1日/日以上または構造物の重要度と工事の規模に応じて20m³~150m³ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。</td> <td data-bbox="929 1351 1144 1495">*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m³未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m³以上の場合は、50m³ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、スランピング試験の項目を参照</td> </tr> </table>	空気量測定	JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128	±1.5% (許容差) * 荷卸し時 1日/日以上または構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、スランピング試験の項目を参照	<p>種別：施工、試験区分：その他</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1189 1351 1272 1495">空気量測定</td> <td data-bbox="1272 1351 1547 1495">JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128</td> <td data-bbox="1547 1351 1720 1495">±1.5% (許容差) * 荷卸し時 1日/日以上または構造物の重要度と工事の規模に応じて20m³~150m³ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。</td> <td data-bbox="1720 1351 1935 1495">*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m³未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m³以上の場合は、50m³ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、スランピング試験の項目を参照</td> </tr> </table>	空気量測定	JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128	±1.5% (許容差) * 荷卸し時 1日/日以上または構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、スランピング試験の項目を参照	II-25
空気量測定	JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128	±1.5% (許容差) * 荷卸し時 1日/日以上または構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、スランピング試験の項目を参照								
空気量測定	JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128	±1.5% (許容差) * 荷卸し時 1日/日以上または構造物の重要度と工事の規模に応じて20m ³ ~150m ³ ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。	*小規模工種での1工種当りの総使用量が50m ³ 未満の場合は1工種以上の試験。またはレディーミクストコンクリート工場の品質証明書のみとすることができる。1工種当りの総使用量が50m ³ 以上の場合は、50m ³ ごとに1回の試験を行う。 ※小規模工種については、スランピング試験の項目を参照								

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行				改定【改定箇所:赤字】				頁番号	
<p>24 道路土工</p>	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <p>現場乾度の測定 ※右記試験方法（B種）のいずれかを実施する。 砂置換法（JIS A 1210） 最大粒径≦5mm： 細粒調査・試験法（表4）-185 実用法。 最大粒径≦5mm： 細粒調査・試験法（表4）-185 実用法。 【砂置土】 ・路床：次の密度への締固めが可能な締固めの含水比において、最大乾燥密度の90%以上（締固め試験（JIS A 1210）A・B級） ・路床及び構造物付打部：次の密度への締固めが可能な締固めの含水比において、最大乾燥密度の90%以上（締固め試験（JIS A 1210）A・B級）もしくは20%以上（締固め試験（JIS A 1210）C・D・E級） ただし、JIS A 1210 C・D・E法での管理は、標準の施工法よりも締固めのエネルギーの大きな配圧方法（例えば、標準よりも配圧力の大きな機械を使用する場合や1層あたりの仕上り厚を薄くする場合）に適用する。 【砕石土】 ・路床：自然含水比またはトワフィカビリティが確保できる含水比において、空気間隙率Vaが2%≦Va≦10%または飽和飽和Srが85%≦Sr≦95% ・路床及び構造物付打部：トワフィカビリティが確保できる含水比において、空気間隙率Vaが2%≦Va≦8% ただし、締固め可能な場合は、砂質土の基準を適用することができる。 または、設計図書による。</p> <p>または、 【砕石土】 ・路床：次の密度への締固めが可能な締固めの含水比において、1管理単位の現場乾燥密度の平均値が最大乾燥密度の92%以上（締固め試験（JIS A 1210）A・B級） ・路床及び構造物付打部：次の密度への締固めが可能な締固めの含水比において、1管理単位の現場乾燥密度の平均値が最大乾燥密度の90%以上（締固め試験（JIS A 1210）A・B級）もしくは85%以上（締固め試験（JIS A 1210）C・D・E級） ただし、JIS A 1210 C・D・E法での管理は、標準の施工法よりも締固めのエネルギーの大きな配圧方法（例えば、標準よりも配圧力の大きな機械を使用する場合や1層あたりの仕上り厚を薄くする場合）に適用する。 【砕石土】 ・路床、路床及び構造物付打部：自然含水比またはトワフィカビリティが確保できる含水比において、1管理単位の現場空気間隙率の平均値が8%以上。 ただし、締固め可能な場合は、砂質土の基準を適用することができる。 または、設計図書による。</p>				<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <p>現場乾度の測定 ※右記試験方法（B種）のいずれかを実施する。 砂置換法（JIS A 1210） 最大粒径≦5mm： 細粒調査・試験法（表4）-210 実用法。 最大粒径≦5mm： 細粒調査・試験法（表4）-210 実用法。 【砂置土】 ・路床：次の密度への締固めが可能な締固めの含水比において、最大乾燥密度の90%以上（締固め試験（JIS A 1210）A・B級） ・路床及び構造物付打部：次の密度への締固めが可能な締固めの含水比において、最大乾燥密度の90%以上（締固め試験（JIS A 1210）A・B級）もしくは20%以上（締固め試験（JIS A 1210）C・D・E級） ただし、JIS A 1210 C・D・E法での管理は、標準の施工法よりも締固めのエネルギーの大きな配圧方法（例えば、標準よりも配圧力の大きな機械を使用する場合や1層あたりの仕上り厚を薄くする場合）に適用する。 【砕石土】 ・路床、路床及び構造物付打部：自然含水比またはトワフィカビリティが確保できる含水比において、空気間隙率Vaが2%≦Va≦10%または飽和飽和Srが85%≦Sr≦95% ・路床及び構造物付打部：トワフィカビリティが確保できる含水比において、空気間隙率Vaが2%≦Va≦8% ただし、締固め可能な場合は、砂質土の基準を適用することができる。 または、設計図書による。</p> <p>または、 【砕石土】 ・路床：次の密度への締固めが可能な締固めの含水比において、1管理単位の現場乾燥密度の平均値が最大乾燥密度の92%以上（締固め試験（JIS A 1210）A・B級） ・路床及び構造物付打部：次の密度への締固めが可能な締固めの含水比において、1管理単位の現場乾燥密度の平均値が最大乾燥密度の90%以上（締固め試験（JIS A 1210）A・B級）もしくは85%以上（締固め試験（JIS A 1210）C・D・E級） ただし、JIS A 1210 C・D・E法での管理は、標準の施工法よりも締固めのエネルギーの大きな配圧方法（例えば、標準よりも配圧力の大きな機械を使用する場合や1層あたりの仕上り厚を薄くする場合）に適用する。 【砕石土】 ・路床、路床及び構造物付打部：自然含水比またはトワフィカビリティが確保できる含水比において、空気間隙率Vaが2%≦Va≦10%または飽和飽和Srが85%≦Sr≦95% ・路床及び構造物付打部：トワフィカビリティが確保できる含水比において、空気間隙率Vaが2%≦Va≦8% ただし、締固め可能な場合は、砂質土の基準を適用することができる。 または、設計図書による。</p>				<p>II-29</p>	
<p>種別：施工、試験区分：必須</p>										
<p>ブルーローリング</p>	<p>細粒調査・試験法（表4）-210</p>	<p>路床仕上り後全層、全区間について実施する。ただし、現道打換工事、仮設用道路維持工事は除く。</p>	<p>・荷重車については、施工時に用いた転圧機械と同等以上の締固め効果を持つローマックトラック等を用いるものとする。</p>	<p>ブルーローリング</p>	<p>細粒調査・試験法（表4）-210</p>	<p>II-29</p>				
<p>種別：施工、試験区分：その他</p>										
<p>含水比試験</p>	<p>JIS A 1203</p>	<p>路床の場合、1,000㎝につき1回の割合で行う。ただし、5,000㎝3本測の工事は、1工事当たり3回以上、 路床の場合、500㎝につき1回の割合で行う。ただし、1,500㎝3本測の工事は1工事当たり3回以上、</p>	<p>路床の場合、1,000㎝につき1回の割合で行う。ただし、5,000㎝3本測の工事は、1工事当たり3回以上、 路床の場合、500㎝につき1回の割合で行う。ただし、1,500㎝3本測の工事は1工事当たり3回以上、</p>	<p>含水比試験</p>	<p>JIS A 1203</p>	<p>II-29 II-30</p>				
<p>コーン指数の測定</p>	<p>細粒調査・試験法（表1）-216</p>	<p>必要に応じて実施（例）トワフィカビリティが悪い時</p>	<p>必要に応じて実施（例）トワフィカビリティが悪い時</p>	<p>コーン指数の測定</p>	<p>細粒調査・試験法（表1）-216</p>	<p>II-29 II-30</p>				
<p>たまり量</p>	<p>細粒調査・試験法（表1）-227 (トワフィカビリティ)</p>	<p>ブルーローリングでの不良箇所について実施</p>	<p>ブルーローリングでの不良箇所について実施</p>	<p>たまり量</p>	<p>細粒調査・試験法（表1）-227 (トワフィカビリティ)</p>	<p>II-29 II-30</p>				
<p>25 捨石工</p>										
<p>種別：施工、試験区分：必須</p>										
<p>捨石の見積比重</p>	<p>JIS A 5006</p>	<p>原則として密地毎に当初及び配圧の硬化時。 ・500㎝以下は監督員承認を得て省略できる。 ・参考値： ・ 硬石：約2.7g/cm³~2.5g/cm³ ・ 埋石：約2.5g/cm³~2.2g/cm³ ・ 軟石：約2g/cm³未満</p>	<p>原則として密地毎に当初及び配圧の硬化時。 ・500㎝以下は監督員承認を得て省略できる。 ・参考値： ・ 硬石：約2.7g/cm³~2.5g/cm³ ・ 埋石：約2.5g/cm³~2.2g/cm³ ・ 軟石：約2g/cm³未満</p>	<p>捨石の見積比重</p>	<p>JIS A 5006</p>	<p>II-30</p>				

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行				改定【改定箇所:赤字】				頁番号																						
	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="389 209 477 308">岩石の圧縮強さ</td> <td data-bbox="483 209 748 308">JIS A 5006</td> <td data-bbox="754 209 929 308"></td> <td data-bbox="936 209 1160 308"> <ul style="list-style-type: none"> ・500㎓以下は監督員承認を得て省略できる。 ・参考値： <ul style="list-style-type: none"> ・硬石：480N/cm²以上 ・軟石：380, 400N/cm²以上-800N/cm²未満 ・軟石：380, 400N/cm²未満 </td> <td data-bbox="1115 209 1160 308">○</td> </tr> </table> <p>種別：施工、試験区分：その他</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="389 352 477 400">岩石の形状</td> <td data-bbox="483 352 571 400">JIS A 5006</td> <td data-bbox="577 352 929 400">うずつらなもの、細長いものであってはならない。</td> <td data-bbox="936 352 1111 400">5,000㎓につき1回の測定を行う。ただし、5,000㎓以下のものは1工事区画実施する。</td> <td data-bbox="1115 352 1160 400">500㎓以下は監督員承認を得て省略できる。</td> <td data-bbox="1115 352 1160 400">○</td> </tr> </table>				岩石の圧縮強さ	JIS A 5006		<ul style="list-style-type: none"> ・500㎓以下は監督員承認を得て省略できる。 ・参考値： <ul style="list-style-type: none"> ・硬石：480N/cm²以上 ・軟石：380, 400N/cm²以上-800N/cm²未満 ・軟石：380, 400N/cm²未満 	○	岩石の形状	JIS A 5006	うずつらなもの、細長いものであってはならない。	5,000㎓につき1回の測定を行う。ただし、5,000㎓以下のものは1工事区画実施する。	500㎓以下は監督員承認を得て省略できる。	○	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1180 209 1267 308">岩石の圧縮強さ</td> <td data-bbox="1274 209 1538 308">JIS A 5006</td> <td data-bbox="1545 209 1720 308"></td> <td data-bbox="1727 209 1904 308"> <ul style="list-style-type: none"> ・500㎓以下は監督員承認を得て省略できる。 ・参考値： <ul style="list-style-type: none"> ・硬石：480N/cm²以上 ・軟石：380, 400N/cm²以上-800N/cm²未満 ・軟石：380, 400N/cm²未満 </td> <td data-bbox="1910 209 1955 308">○</td> </tr> </table> <p>種別：施工、試験区分：その他</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1180 352 1267 400">岩石の形状</td> <td data-bbox="1274 352 1361 400">JIS A 5006</td> <td data-bbox="1368 352 1720 400">うずつらなもの、細長いものであってはならない。</td> <td data-bbox="1727 352 1901 400">5,000㎓につき1回の測定を行う。ただし、5,000㎓以下のものは1工事区画実施する。</td> <td data-bbox="1910 352 1955 400">500㎓以下は監督員承認を得て省略できる。</td> <td data-bbox="1910 352 1955 400">○</td> </tr> </table>				岩石の圧縮強さ	JIS A 5006		<ul style="list-style-type: none"> ・500㎓以下は監督員承認を得て省略できる。 ・参考値： <ul style="list-style-type: none"> ・硬石：480N/cm²以上 ・軟石：380, 400N/cm²以上-800N/cm²未満 ・軟石：380, 400N/cm²未満 	○	岩石の形状	JIS A 5006	うずつらなもの、細長いものであってはならない。	5,000㎓につき1回の測定を行う。ただし、5,000㎓以下のものは1工事区画実施する。	500㎓以下は監督員承認を得て省略できる。	○	II-30
岩石の圧縮強さ	JIS A 5006		<ul style="list-style-type: none"> ・500㎓以下は監督員承認を得て省略できる。 ・参考値： <ul style="list-style-type: none"> ・硬石：480N/cm²以上 ・軟石：380, 400N/cm²以上-800N/cm²未満 ・軟石：380, 400N/cm²未満 	○																											
岩石の形状	JIS A 5006	うずつらなもの、細長いものであってはならない。	5,000㎓につき1回の測定を行う。ただし、5,000㎓以下のものは1工事区画実施する。	500㎓以下は監督員承認を得て省略できる。	○																										
岩石の圧縮強さ	JIS A 5006		<ul style="list-style-type: none"> ・500㎓以下は監督員承認を得て省略できる。 ・参考値： <ul style="list-style-type: none"> ・硬石：480N/cm²以上 ・軟石：380, 400N/cm²以上-800N/cm²未満 ・軟石：380, 400N/cm²未満 	○																											
岩石の形状	JIS A 5006	うずつらなもの、細長いものであってはならない。	5,000㎓につき1回の測定を行う。ただし、5,000㎓以下のものは1工事区画実施する。	500㎓以下は監督員承認を得て省略できる。	○																										
26 コンクリートダム	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="389 456 477 770">塩化物含量規程</td> <td data-bbox="483 456 748 770">コンクリートの耐久性能向上</td> <td data-bbox="754 456 929 770"> <p>コンクリートの打設が午前と午後に分かれる場合は、午前と1回コンクリート打設前に行い、その試験結果が塩化物含量の規格値の1/2以下となる場合は、午後の試験を省略することができる。（1試験の測定回数と同数とする）試験の判定は2回の測定値の平均値。</p> </td> <td data-bbox="936 456 1160 770"> <p>・小規模工種での1工種当りの総使用量が500㎓未満の場合は1工種目以上の試験。またレディーミクストコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が500㎓以上の場合は、50㎓ごとに1回の試験を行う。</p> <p>・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」(JSCC-C502-2018, S03-2018) または設計図書の規定により行う。</p> <p>※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。（橋台、橋脚、杭脚（場所打杭、井筒基礎等）、橋梁上部工（桁、拱脚、高欄等）、橋梁工（橋き1m以上）、鋼筋工、橋門、橋管、水門、水路（伊幅2.0m以上）、護岸、ダム及び堰、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種）</p> </td> <td data-bbox="1115 456 1160 770">○</td> </tr> </table>				塩化物含量規程	コンクリートの耐久性能向上	<p>コンクリートの打設が午前と午後に分かれる場合は、午前と1回コンクリート打設前に行い、その試験結果が塩化物含量の規格値の1/2以下となる場合は、午後の試験を省略することができる。（1試験の測定回数と同数とする）試験の判定は2回の測定値の平均値。</p>	<p>・小規模工種での1工種当りの総使用量が500㎓未満の場合は1工種目以上の試験。またレディーミクストコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が500㎓以上の場合は、50㎓ごとに1回の試験を行う。</p> <p>・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」(JSCC-C502-2018, S03-2018) または設計図書の規定により行う。</p> <p>※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。（橋台、橋脚、杭脚（場所打杭、井筒基礎等）、橋梁上部工（桁、拱脚、高欄等）、橋梁工（橋き1m以上）、鋼筋工、橋門、橋管、水門、水路（伊幅2.0m以上）、護岸、ダム及び堰、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種）</p>	○	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1180 456 1267 770">塩化物含量規程</td> <td data-bbox="1274 456 1538 770">コンクリートの耐久性能向上</td> <td data-bbox="1545 456 1720 770"> <p>コンクリートの打設が午前と午後に分かれる場合は、午前と1回コンクリート打設前に行い、その試験結果が塩化物含量の規格値の1/2以下となる場合は、午後の試験を省略することができる。（1試験の測定回数と同数とする）試験の判定は2回の測定値の平均値。</p> </td> <td data-bbox="1727 456 1904 770"> <p>・小規模工種での1工種当りの総使用量が500㎓未満の場合は1工種目以上の試験。またレディーミクストコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が500㎓以上の場合は、50㎓ごとに1回の試験を行う。</p> <p>・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」(JSCC-C502-2018, S03-2018) または設計図書の規定により行う。</p> <p>※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。（橋台、橋脚、杭脚（場所打杭、井筒基礎等）、橋梁上部工（桁、拱脚、高欄等）、橋梁工（橋き1m以上）、鋼筋工、橋門、橋管、水門、水路（伊幅2.0m以上）、護岸、ダム及び堰、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種）</p> </td> <td data-bbox="1910 456 1955 770">○</td> </tr> </table>				塩化物含量規程	コンクリートの耐久性能向上	<p>コンクリートの打設が午前と午後に分かれる場合は、午前と1回コンクリート打設前に行い、その試験結果が塩化物含量の規格値の1/2以下となる場合は、午後の試験を省略することができる。（1試験の測定回数と同数とする）試験の判定は2回の測定値の平均値。</p>	<p>・小規模工種での1工種当りの総使用量が500㎓未満の場合は1工種目以上の試験。またレディーミクストコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が500㎓以上の場合は、50㎓ごとに1回の試験を行う。</p> <p>・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」(JSCC-C502-2018, S03-2018) または設計図書の規定により行う。</p> <p>※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。（橋台、橋脚、杭脚（場所打杭、井筒基礎等）、橋梁上部工（桁、拱脚、高欄等）、橋梁工（橋き1m以上）、鋼筋工、橋門、橋管、水門、水路（伊幅2.0m以上）、護岸、ダム及び堰、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種）</p>	○	II-32												
塩化物含量規程	コンクリートの耐久性能向上	<p>コンクリートの打設が午前と午後に分かれる場合は、午前と1回コンクリート打設前に行い、その試験結果が塩化物含量の規格値の1/2以下となる場合は、午後の試験を省略することができる。（1試験の測定回数と同数とする）試験の判定は2回の測定値の平均値。</p>	<p>・小規模工種での1工種当りの総使用量が500㎓未満の場合は1工種目以上の試験。またレディーミクストコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が500㎓以上の場合は、50㎓ごとに1回の試験を行う。</p> <p>・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」(JSCC-C502-2018, S03-2018) または設計図書の規定により行う。</p> <p>※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。（橋台、橋脚、杭脚（場所打杭、井筒基礎等）、橋梁上部工（桁、拱脚、高欄等）、橋梁工（橋き1m以上）、鋼筋工、橋門、橋管、水門、水路（伊幅2.0m以上）、護岸、ダム及び堰、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種）</p>	○																											
塩化物含量規程	コンクリートの耐久性能向上	<p>コンクリートの打設が午前と午後に分かれる場合は、午前と1回コンクリート打設前に行い、その試験結果が塩化物含量の規格値の1/2以下となる場合は、午後の試験を省略することができる。（1試験の測定回数と同数とする）試験の判定は2回の測定値の平均値。</p>	<p>・小規模工種での1工種当りの総使用量が500㎓未満の場合は1工種目以上の試験。またレディーミクストコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が500㎓以上の場合は、50㎓ごとに1回の試験を行う。</p> <p>・骨材に海砂を使用する場合は、「海砂の塩化物イオン含有率試験方法」(JSCC-C502-2018, S03-2018) または設計図書の規定により行う。</p> <p>※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。（橋台、橋脚、杭脚（場所打杭、井筒基礎等）、橋梁上部工（桁、拱脚、高欄等）、橋梁工（橋き1m以上）、鋼筋工、橋門、橋管、水門、水路（伊幅2.0m以上）、護岸、ダム及び堰、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種）</p>	○																											
	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="389 799 477 1114">単位水量測定</td> <td data-bbox="483 799 748 1114"> <p>レディーミクストコンクリート単位水量測定要領（昭）（平成16年3月8日事務連絡）</p> <p>1) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工してよい。</p> <p>2) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m³を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査し、生コン製造業者に改善を指示し、その試験車の生コンは打設する。その後、配合設計±15kg/m³以内で安定するまで、試験車2台毎に1回、単位水量の測定を行う。なお、「15kg/m³以内で安定するまで」とは、2回連続して15kg/m³以内の値を観測することという。</p> <p>3) 配合設計±20kg/m³の指示値を超える場合は、生コンを打込水平に、持ち帰るが、水量変動の原因を調査し、生コン製造業者に改善を指示しなければならない。その後の配合設計±15kg/m³以内で安定するまで、試験車2台毎に1回、単位水量の測定を行う。なお、測定値が管理値または指示値を超えた場合は1回限り再試験を実施することができる。再試験を実施した場合は2回の測定結果のうち、配合設計との差の絶対値の小さい方で評価してよい。</p> </td> <td data-bbox="754 799 929 1114">100㎓/日以上の場合、2回/日（午前1回、午後1回）以上、重要構造物の場合は重要区画に応じて100㎓～150㎓ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められたときとし、測定回数2回以上を採用する。</td> <td data-bbox="936 799 1160 1114">示配合設計の単位水量の1.0倍とし、他骨材の最大示が20mm～25mmの場合1175kg/m³、40mmの場合1165kg/m³を基本とする。</td> <td data-bbox="1115 799 1160 1114">○</td> </tr> </table>				単位水量測定	<p>レディーミクストコンクリート単位水量測定要領（昭）（平成16年3月8日事務連絡）</p> <p>1) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工してよい。</p> <p>2) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m³を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査し、生コン製造業者に改善を指示し、その試験車の生コンは打設する。その後、配合設計±15kg/m³以内で安定するまで、試験車2台毎に1回、単位水量の測定を行う。なお、「15kg/m³以内で安定するまで」とは、2回連続して15kg/m³以内の値を観測することという。</p> <p>3) 配合設計±20kg/m³の指示値を超える場合は、生コンを打込水平に、持ち帰るが、水量変動の原因を調査し、生コン製造業者に改善を指示しなければならない。その後の配合設計±15kg/m³以内で安定するまで、試験車2台毎に1回、単位水量の測定を行う。なお、測定値が管理値または指示値を超えた場合は1回限り再試験を実施することができる。再試験を実施した場合は2回の測定結果のうち、配合設計との差の絶対値の小さい方で評価してよい。</p>	100㎓/日以上の場合、2回/日（午前1回、午後1回）以上、重要構造物の場合は重要区画に応じて100㎓～150㎓ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められたときとし、測定回数2回以上を採用する。	示配合設計の単位水量の1.0倍とし、他骨材の最大示が20mm～25mmの場合1175kg/m ³ 、40mmの場合1165kg/m ³ を基本とする。	○	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1180 799 1267 1114">単位水量測定</td> <td data-bbox="1274 799 1538 1114"> <p>レディーミクストコンクリート単位水量測定要領（昭）（平成16年3月8日事務連絡）</p> <p>1) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工してよい。</p> <p>2) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m³を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査し、生コン製造業者に改善を指示し、その試験車の生コンは打設する。その後、配合設計±15kg/m³以内で安定するまで、試験車2台毎に1回、単位水量の測定を行う。なお、「15kg/m³以内で安定するまで」とは、2回連続して15kg/m³以内の値を観測することという。</p> <p>3) 配合設計±20kg/m³の指示値を超える場合は、生コンを打込水平に、持ち帰るが、水量変動の原因を調査し、生コン製造業者に改善を指示しなければならない。その後の配合設計±15kg/m³以内で安定するまで、試験車2台毎に1回、単位水量の測定を行う。なお、測定値が管理値または指示値を超えた場合は1回限り再試験を実施することができる。再試験を実施した場合は2回の測定結果のうち、配合設計との差の絶対値の小さい方で評価してよい。</p> </td> <td data-bbox="1545 799 1720 1114">100㎓/日以上の場合、2回/日（午前1回、午後1回）以上、重要構造物の場合は重要区画に応じて100㎓～150㎓ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められたときとし、測定回数2回以上を採用する。</td> <td data-bbox="1727 799 1904 1114">示配合設計の単位水量の1.0倍とし、他骨材の最大示が20mm～25mmの場合1175kg/m³、40mmの場合1165kg/m³を基本とする。</td> <td data-bbox="1910 799 1955 1114">○</td> </tr> </table>				単位水量測定	<p>レディーミクストコンクリート単位水量測定要領（昭）（平成16年3月8日事務連絡）</p> <p>1) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工してよい。</p> <p>2) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m³を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査し、生コン製造業者に改善を指示し、その試験車の生コンは打設する。その後、配合設計±15kg/m³以内で安定するまで、試験車2台毎に1回、単位水量の測定を行う。なお、「15kg/m³以内で安定するまで」とは、2回連続して15kg/m³以内の値を観測することという。</p> <p>3) 配合設計±20kg/m³の指示値を超える場合は、生コンを打込水平に、持ち帰るが、水量変動の原因を調査し、生コン製造業者に改善を指示しなければならない。その後の配合設計±15kg/m³以内で安定するまで、試験車2台毎に1回、単位水量の測定を行う。なお、測定値が管理値または指示値を超えた場合は1回限り再試験を実施することができる。再試験を実施した場合は2回の測定結果のうち、配合設計との差の絶対値の小さい方で評価してよい。</p>	100㎓/日以上の場合、2回/日（午前1回、午後1回）以上、重要構造物の場合は重要区画に応じて100㎓～150㎓ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められたときとし、測定回数2回以上を採用する。	示配合設計の単位水量の1.0倍とし、他骨材の最大示が20mm～25mmの場合1175kg/m ³ 、40mmの場合1165kg/m ³ を基本とする。	○	II-32												
単位水量測定	<p>レディーミクストコンクリート単位水量測定要領（昭）（平成16年3月8日事務連絡）</p> <p>1) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工してよい。</p> <p>2) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m³を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査し、生コン製造業者に改善を指示し、その試験車の生コンは打設する。その後、配合設計±15kg/m³以内で安定するまで、試験車2台毎に1回、単位水量の測定を行う。なお、「15kg/m³以内で安定するまで」とは、2回連続して15kg/m³以内の値を観測することという。</p> <p>3) 配合設計±20kg/m³の指示値を超える場合は、生コンを打込水平に、持ち帰るが、水量変動の原因を調査し、生コン製造業者に改善を指示しなければならない。その後の配合設計±15kg/m³以内で安定するまで、試験車2台毎に1回、単位水量の測定を行う。なお、測定値が管理値または指示値を超えた場合は1回限り再試験を実施することができる。再試験を実施した場合は2回の測定結果のうち、配合設計との差の絶対値の小さい方で評価してよい。</p>	100㎓/日以上の場合、2回/日（午前1回、午後1回）以上、重要構造物の場合は重要区画に応じて100㎓～150㎓ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められたときとし、測定回数2回以上を採用する。	示配合設計の単位水量の1.0倍とし、他骨材の最大示が20mm～25mmの場合1175kg/m ³ 、40mmの場合1165kg/m ³ を基本とする。	○																											
単位水量測定	<p>レディーミクストコンクリート単位水量測定要領（昭）（平成16年3月8日事務連絡）</p> <p>1) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工してよい。</p> <p>2) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m³を超え±20kg/m³の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査し、生コン製造業者に改善を指示し、その試験車の生コンは打設する。その後、配合設計±15kg/m³以内で安定するまで、試験車2台毎に1回、単位水量の測定を行う。なお、「15kg/m³以内で安定するまで」とは、2回連続して15kg/m³以内の値を観測することという。</p> <p>3) 配合設計±20kg/m³の指示値を超える場合は、生コンを打込水平に、持ち帰るが、水量変動の原因を調査し、生コン製造業者に改善を指示しなければならない。その後の配合設計±15kg/m³以内で安定するまで、試験車2台毎に1回、単位水量の測定を行う。なお、測定値が管理値または指示値を超えた場合は1回限り再試験を実施することができる。再試験を実施した場合は2回の測定結果のうち、配合設計との差の絶対値の小さい方で評価してよい。</p>	100㎓/日以上の場合、2回/日（午前1回、午後1回）以上、重要構造物の場合は重要区画に応じて100㎓～150㎓ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められたときとし、測定回数2回以上を採用する。	示配合設計の単位水量の1.0倍とし、他骨材の最大示が20mm～25mmの場合1175kg/m ³ 、40mmの場合1165kg/m ³ を基本とする。	○																											
	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="389 1142 477 1409">スランピング試験</td> <td data-bbox="483 1142 748 1409">JIS A 1101</td> <td data-bbox="754 1142 929 1409"> <p>スランピング試験：許容差は1.5cm スランピング試験：許容差は2.5cm</p> <p>・荷卸し時 ・1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20㎓～150㎓ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。</p> </td> <td data-bbox="936 1142 1160 1409"> <p>・小規模工種での1工種当りの総使用量が500㎓未満の場合は1工種目以上の試験。またレディーミクストコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が500㎓以上の場合は、50㎓ごとに1回の試験を行う。</p> <p>※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。（橋台、橋脚、杭脚（場所打杭、井筒基礎等）、橋梁上部工（桁、拱脚、高欄等）、橋梁工（橋き1m以上）、鋼筋工、橋門、橋管、水門、水路（伊幅2.0m以上）、護岸、ダム及び堰、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種）</p> </td> <td data-bbox="1115 1142 1160 1409">○</td> </tr> </table>				スランピング試験	JIS A 1101	<p>スランピング試験：許容差は1.5cm スランピング試験：許容差は2.5cm</p> <p>・荷卸し時 ・1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20㎓～150㎓ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。</p>	<p>・小規模工種での1工種当りの総使用量が500㎓未満の場合は1工種目以上の試験。またレディーミクストコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が500㎓以上の場合は、50㎓ごとに1回の試験を行う。</p> <p>※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。（橋台、橋脚、杭脚（場所打杭、井筒基礎等）、橋梁上部工（桁、拱脚、高欄等）、橋梁工（橋き1m以上）、鋼筋工、橋門、橋管、水門、水路（伊幅2.0m以上）、護岸、ダム及び堰、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種）</p>	○	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1180 1142 1267 1409">スランピング試験</td> <td data-bbox="1274 1142 1538 1409">JIS A 1101</td> <td data-bbox="1545 1142 1720 1409"> <p>スランピング試験：許容差は1.5cm スランピング試験：許容差は2.5cm</p> <p>・荷卸し時 ・1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20㎓～150㎓ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。</p> </td> <td data-bbox="1727 1142 1904 1409"> <p>・小規模工種での1工種当りの総使用量が500㎓未満の場合は1工種目以上の試験。またレディーミクストコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が500㎓以上の場合は、50㎓ごとに1回の試験を行う。</p> <p>※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。（橋台、橋脚、杭脚（場所打杭、井筒基礎等）、橋梁上部工（桁、拱脚、高欄等）、橋梁工（橋き1m以上）、鋼筋工、橋門、橋管、水門、水路（伊幅2.0m以上）、護岸、ダム及び堰、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種）</p> </td> <td data-bbox="1910 1142 1955 1409">○</td> </tr> </table>				スランピング試験	JIS A 1101	<p>スランピング試験：許容差は1.5cm スランピング試験：許容差は2.5cm</p> <p>・荷卸し時 ・1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20㎓～150㎓ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。</p>	<p>・小規模工種での1工種当りの総使用量が500㎓未満の場合は1工種目以上の試験。またレディーミクストコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が500㎓以上の場合は、50㎓ごとに1回の試験を行う。</p> <p>※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。（橋台、橋脚、杭脚（場所打杭、井筒基礎等）、橋梁上部工（桁、拱脚、高欄等）、橋梁工（橋き1m以上）、鋼筋工、橋門、橋管、水門、水路（伊幅2.0m以上）、護岸、ダム及び堰、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種）</p>	○	II-32												
スランピング試験	JIS A 1101	<p>スランピング試験：許容差は1.5cm スランピング試験：許容差は2.5cm</p> <p>・荷卸し時 ・1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20㎓～150㎓ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。</p>	<p>・小規模工種での1工種当りの総使用量が500㎓未満の場合は1工種目以上の試験。またレディーミクストコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が500㎓以上の場合は、50㎓ごとに1回の試験を行う。</p> <p>※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。（橋台、橋脚、杭脚（場所打杭、井筒基礎等）、橋梁上部工（桁、拱脚、高欄等）、橋梁工（橋き1m以上）、鋼筋工、橋門、橋管、水門、水路（伊幅2.0m以上）、護岸、ダム及び堰、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種）</p>	○																											
スランピング試験	JIS A 1101	<p>スランピング試験：許容差は1.5cm スランピング試験：許容差は2.5cm</p> <p>・荷卸し時 ・1回/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて20㎓～150㎓ごとに1回、及び荷卸し時に品質変化が認められた時。</p>	<p>・小規模工種での1工種当りの総使用量が500㎓未満の場合は1工種目以上の試験。またレディーミクストコンクリート工場の品質証明書等のみとすることができる。1工種当たりの総使用量が500㎓以上の場合は、50㎓ごとに1回の試験を行う。</p> <p>※小規模工種とは、以下の工種を除く工種とする。（橋台、橋脚、杭脚（場所打杭、井筒基礎等）、橋梁上部工（桁、拱脚、高欄等）、橋梁工（橋き1m以上）、鋼筋工、橋門、橋管、水門、水路（伊幅2.0m以上）、護岸、ダム及び堰、トンネル、舗装、その他これらに類する工種及び特記仕様書で指定された工種）</p>	○																											

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																
	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">コンクリートの圧縮強度試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1108</td> <td style="width: 40%;"> (a)圧縮強度の変動係数が、設計基準強度の80%を1/200以上の確率で下回らない。 (b)圧縮強度の変動係数が、設計基準強度を1/4以上の確率で下回らない。 </td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> </table>	コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1108	(a)圧縮強度の変動係数が、設計基準強度の80%を1/200以上の確率で下回らない。 (b)圧縮強度の変動係数が、設計基準強度を1/4以上の確率で下回らない。		<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">コンクリートの圧縮強度試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1108</td> <td style="width: 40%;"> (a)圧縮強度の変動係数が、設計基準強度の80%を1/200以上の確率で下回らない。 (b)圧縮強度の変動係数が、設計基準強度を1/4以上の確率で下回らない。 </td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> </table>	コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1108	(a)圧縮強度の変動係数が、設計基準強度の80%を1/200以上の確率で下回らない。 (b)圧縮強度の変動係数が、設計基準強度を1/4以上の確率で下回らない。		II-32								
コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1108	(a)圧縮強度の変動係数が、設計基準強度の80%を1/200以上の確率で下回らない。 (b)圧縮強度の変動係数が、設計基準強度を1/4以上の確率で下回らない。																	
コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1108	(a)圧縮強度の変動係数が、設計基準強度の80%を1/200以上の確率で下回らない。 (b)圧縮強度の変動係数が、設計基準強度を1/4以上の確率で下回らない。																	
	<p>種別：施工、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">コンクリートの単位容積質量試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1116</td> <td style="width: 40%;">設計図書による</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> </table>	コンクリートの単位容積質量試験	JIS A 1116	設計図書による		<p>種別：施工、試験区分：その他</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">コンクリートの単位容積質量試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1116</td> <td style="width: 40%;">設計図書による</td> <td style="width: 30%;">参考値：2.3t/m³以上</td> </tr> </table>	コンクリートの単位容積質量試験	JIS A 1116	設計図書による	参考値：2.3t/m ³ 以上	II-33								
コンクリートの単位容積質量試験	JIS A 1116	設計図書による																	
コンクリートの単位容積質量試験	JIS A 1116	設計図書による	参考値：2.3t/m ³ 以上																
27 覆工コンクリート(NATM)	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">スラング試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1101</td> <td style="width: 40%;"> スラング5cm以上15cm未満：許容差±1.5cm スラング6cm以上18cm以下：許容差±2.5cm </td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 15%;">単位水量測定</td> <td style="width: 15%;">「レディミキストコンクリート単位水量測定要領(第) (平成16年3月8日事務連絡)」</td> <td style="width: 40%;"> 1) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工してよい。 2) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m³を超え±20kg/m³を超える場合は、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示し、その調整車の生コンは打設する。その後、配合設計±15kg/m³以内で安定するまで、調整車の台数に1回、単位水量の測定を行う。なお、「15kg/m³以内で安定するまで」とは、2回連続して15kg/m³以内の値を観測することをいう。 3) 配合設計±20kg/m³の指し値を超える場合は、生コンを打込まず、持ち帰らせ、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示しなければならぬ。その後の配合設計±15kg/m³以内になるまで調整車の測定を行う。 なお、測定値が管理値または指し値を超えた場合は1回限り再試験を実施することができる。再試験を実施した場合2回の測定結果のうち、配合設計との差が絶対値の小さい方で評価してよい。 </td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> </table>	スラング試験	JIS A 1101	スラング5cm以上15cm未満：許容差±1.5cm スラング6cm以上18cm以下：許容差±2.5cm		単位水量測定	「レディミキストコンクリート単位水量測定要領(第) (平成16年3月8日事務連絡)」	1) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工してよい。 2) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m ³ を超え±20kg/m ³ を超える場合は、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示し、その調整車の生コンは打設する。その後、配合設計±15kg/m ³ 以内で安定するまで、調整車の台数に1回、単位水量の測定を行う。なお、「15kg/m ³ 以内で安定するまで」とは、2回連続して15kg/m ³ 以内の値を観測することをいう。 3) 配合設計±20kg/m ³ の指し値を超える場合は、生コンを打込まず、持ち帰らせ、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示しなければならぬ。その後の配合設計±15kg/m ³ 以内になるまで調整車の測定を行う。 なお、測定値が管理値または指し値を超えた場合は1回限り再試験を実施することができる。再試験を実施した場合2回の測定結果のうち、配合設計との差が絶対値の小さい方で評価してよい。		<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">スラング試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1101</td> <td style="width: 40%;"> スラング5cm以上15cm未満：許容差±1.5cm スラング6cm以上18cm以下：許容差±2.5cm </td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 15%;">単位水量測定</td> <td style="width: 15%;">「レディミキストコンクリート単位水量測定要領(第) (平成16年3月8日事務連絡)」</td> <td style="width: 40%;"> 1) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m³の範囲にある場合はそのまま施工してよい。 2) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m³を超え±20kg/m³を超える場合は、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示し、その調整車の生コンは打設する。その後、配合設計±15kg/m³以内で安定するまで、調整車の台数に1回、単位水量の測定を行う。なお、「15kg/m³以内で安定するまで」とは、2回連続して15kg/m³以内の値を観測することをいう。 3) 配合設計±20kg/m³の指し値を超える場合は、生コンを打込まず、持ち帰らせ、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示しなければならぬ。その後の配合設計±15kg/m³以内になるまで調整車の測定を行う。 なお、測定値が管理値または指し値を超えた場合は1回限り再試験を実施することができる。再試験を実施した場合2回の測定結果のうち、配合設計との差が絶対値の小さい方で評価してよい。 </td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> </table>	スラング試験	JIS A 1101	スラング5cm以上15cm未満：許容差±1.5cm スラング6cm以上18cm以下：許容差±2.5cm		単位水量測定	「レディミキストコンクリート単位水量測定要領(第) (平成16年3月8日事務連絡)」	1) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工してよい。 2) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m ³ を超え±20kg/m ³ を超える場合は、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示し、その調整車の生コンは打設する。その後、配合設計±15kg/m ³ 以内で安定するまで、調整車の台数に1回、単位水量の測定を行う。なお、「15kg/m ³ 以内で安定するまで」とは、2回連続して15kg/m ³ 以内の値を観測することをいう。 3) 配合設計±20kg/m ³ の指し値を超える場合は、生コンを打込まず、持ち帰らせ、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示しなければならぬ。その後の配合設計±15kg/m ³ 以内になるまで調整車の測定を行う。 なお、測定値が管理値または指し値を超えた場合は1回限り再試験を実施することができる。再試験を実施した場合2回の測定結果のうち、配合設計との差が絶対値の小さい方で評価してよい。		II-34
スラング試験	JIS A 1101	スラング5cm以上15cm未満：許容差±1.5cm スラング6cm以上18cm以下：許容差±2.5cm																	
単位水量測定	「レディミキストコンクリート単位水量測定要領(第) (平成16年3月8日事務連絡)」	1) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工してよい。 2) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m ³ を超え±20kg/m ³ を超える場合は、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示し、その調整車の生コンは打設する。その後、配合設計±15kg/m ³ 以内で安定するまで、調整車の台数に1回、単位水量の測定を行う。なお、「15kg/m ³ 以内で安定するまで」とは、2回連続して15kg/m ³ 以内の値を観測することをいう。 3) 配合設計±20kg/m ³ の指し値を超える場合は、生コンを打込まず、持ち帰らせ、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示しなければならぬ。その後の配合設計±15kg/m ³ 以内になるまで調整車の測定を行う。 なお、測定値が管理値または指し値を超えた場合は1回限り再試験を実施することができる。再試験を実施した場合2回の測定結果のうち、配合設計との差が絶対値の小さい方で評価してよい。																	
スラング試験	JIS A 1101	スラング5cm以上15cm未満：許容差±1.5cm スラング6cm以上18cm以下：許容差±2.5cm																	
単位水量測定	「レディミキストコンクリート単位水量測定要領(第) (平成16年3月8日事務連絡)」	1) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m ³ の範囲にある場合はそのまま施工してよい。 2) 測定した単位水量が、配合設計±15kg/m ³ を超え±20kg/m ³ を超える場合は、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示し、その調整車の生コンは打設する。その後、配合設計±15kg/m ³ 以内で安定するまで、調整車の台数に1回、単位水量の測定を行う。なお、「15kg/m ³ 以内で安定するまで」とは、2回連続して15kg/m ³ 以内の値を観測することをいう。 3) 配合設計±20kg/m ³ の指し値を超える場合は、生コンを打込まず、持ち帰らせ、水量変動の原因を調査し、生コン製造者に改善を指示しなければならぬ。その後の配合設計±15kg/m ³ 以内になるまで調整車の測定を行う。 なお、測定値が管理値または指し値を超えた場合は1回限り再試験を実施することができる。再試験を実施した場合2回の測定結果のうち、配合設計との差が絶対値の小さい方で評価してよい。																	
	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">コンクリートの圧縮強度試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1108</td> <td style="width: 40%;"> 1)試験の結果は指定した圧縮強度の80%以上であること。 2)試験の結果の平均値は、指定した圧縮強度以上であること。 3)試験の結果は、3回の供試体の試験値の平均値とする。 </td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> </table>	コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1108	1)試験の結果は指定した圧縮強度の80%以上であること。 2)試験の結果の平均値は、指定した圧縮強度以上であること。 3)試験の結果は、3回の供試体の試験値の平均値とする。		<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">コンクリートの圧縮強度試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1108</td> <td style="width: 40%;"> 1)試験の結果は指定した圧縮強度の80%以上であること。 2)試験の結果の平均値は、指定した圧縮強度以上であること。 3)試験の結果は、3回の供試体の試験値の平均値とする。 </td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> </table>	コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1108	1)試験の結果は指定した圧縮強度の80%以上であること。 2)試験の結果の平均値は、指定した圧縮強度以上であること。 3)試験の結果は、3回の供試体の試験値の平均値とする。		II-35								
コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1108	1)試験の結果は指定した圧縮強度の80%以上であること。 2)試験の結果の平均値は、指定した圧縮強度以上であること。 3)試験の結果は、3回の供試体の試験値の平均値とする。																	
コンクリートの圧縮強度試験	JIS A 1108	1)試験の結果は指定した圧縮強度の80%以上であること。 2)試験の結果の平均値は、指定した圧縮強度以上であること。 3)試験の結果は、3回の供試体の試験値の平均値とする。																	
	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">塩化物含量規程</td> <td style="width: 15%;">「コンクリートの耐久性向上」</td> <td style="width: 40%;"> 塩分3kg/m³以下 コンクリートの打設が午前と午後にまたがる場合は、午前と1回コンクリート打設が行われ、その調整車は塩化物含量の規程値の2/3以下の場合は、午後の試験を省略することができる。(1試験の測定回数2回とする) 試験の判定は部の測定値の平均値。 </td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> </table>	塩化物含量規程	「コンクリートの耐久性向上」	塩分3kg/m ³ 以下 コンクリートの打設が午前と午後にまたがる場合は、午前と1回コンクリート打設が行われ、その調整車は塩化物含量の規程値の2/3以下の場合は、午後の試験を省略することができる。(1試験の測定回数2回とする) 試験の判定は部の測定値の平均値。		<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">塩化物含量規程</td> <td style="width: 15%;">「コンクリートの耐久性向上」</td> <td style="width: 40%;"> 原則3kg/m³以下 コンクリートの打設が午前と午後にまたがる場合は、午前と1回コンクリート打設が行われ、その調整車は塩化物含量の規程値の2/3以下の場合は、午後の試験を省略することができる。(1試験の測定回数2回とする) 試験の判定は部の測定値の平均値。 </td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> </table>	塩化物含量規程	「コンクリートの耐久性向上」	原則3kg/m ³ 以下 コンクリートの打設が午前と午後にまたがる場合は、午前と1回コンクリート打設が行われ、その調整車は塩化物含量の規程値の2/3以下の場合は、午後の試験を省略することができる。(1試験の測定回数2回とする) 試験の判定は部の測定値の平均値。										
塩化物含量規程	「コンクリートの耐久性向上」	塩分3kg/m ³ 以下 コンクリートの打設が午前と午後にまたがる場合は、午前と1回コンクリート打設が行われ、その調整車は塩化物含量の規程値の2/3以下の場合は、午後の試験を省略することができる。(1試験の測定回数2回とする) 試験の判定は部の測定値の平均値。																	
塩化物含量規程	「コンクリートの耐久性向上」	原則3kg/m ³ 以下 コンクリートの打設が午前と午後にまたがる場合は、午前と1回コンクリート打設が行われ、その調整車は塩化物含量の規程値の2/3以下の場合は、午後の試験を省略することができる。(1試験の測定回数2回とする) 試験の判定は部の測定値の平均値。																	
	<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">空気量測定</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128</td> <td style="width: 40%;">±1.5% (許容差)</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> </table>	空気量測定	JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128	±1.5% (許容差)		<p>種別：施工、試験区分：必須</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">空気量測定</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128</td> <td style="width: 40%;">±1.5% (許容差)</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> </table>	空気量測定	JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128	±1.5% (許容差)										
空気量測定	JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128	±1.5% (許容差)																	
空気量測定	JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128	±1.5% (許容差)																	

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行	改定【改定箇所：赤字】	頁番号
28 吹付けコンクリート(NATM)	種別：施工、試験区分：必須 吹付けコンクリートの初期強度（引抜きせん断強度） (JSGE-F561-2010)引抜き方法による吹付けコンクリートの初期強度試験方法 (JSGE-G561-2010)	トンネル施工長 40m ごとに1回	II-37
	種別：施工、試験区分：必須 吹付けコンクリートの初期強度（引抜きせん断強度） (JSGE-F561-2010)引抜き方法による吹付けコンクリートの初期強度試験方法 (JSGE-G561-2010)	1日強度で 50N/mm^2 以上	
	種別：施工、試験区分：その他 スランプレ試験 JIS A 1101 スランプレ 5cm 以上 18cm 未満：許容差 $\pm 1.5\text{cm}$ スランプレ 5cm 以上 18cm 以下：許容差 $\pm 2.5\text{cm}$	・荷重し時 1日/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて $20\text{m}^2 \sim 100\text{m}^2$ ごとに1回、及び荷重し時に品質変化が認められた時。	II-37
	空気量測定 JIS A 1116 JIS A 1118 JIS A 1128	・荷重し時 1日/日以上、構造物の重要度と工事の規模に応じて $20\text{m}^2 \sim 100\text{m}^2$ ごとに1回、及び荷重し時に品質変化が認められた時。	
30 路上再生路盤工	種別：材料、試験区分：必須 修正CBR試験 舗装調査・試験法規程 [4]-5 修正CBR 20% 以上	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 ・中規模以上の工事又は、管理区を備えた上での管理が可能な工事を含む、舗装施工面積が $10,000\text{m}^2$ あるいは使用する基礎及び充填用混合物の総使用量が $3,000\text{t}$ 以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理記録簿で記録できる規模の工事であり、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいふ。 ①施工面積で $10,000\text{m}^2$ 未満 ②使用する基礎及び充填用混合物の総使用量が $3,000\text{t}$ 未満(コンクリートでは $1,000\text{m}^3$ 未満)。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の材料が 100t 以上のもの	II-37
	種別：材料、試験区分：必須 修正CBR試験 舗装調査・試験法規程 [4]-6 修正CBR 20% 以上	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 ・中規模以上の工事又は、管理区を備えた上での管理が可能な工事を含む、舗装施工面積が $10,000\text{m}^2$ あるいは使用する基礎及び充填用混合物の総使用量が $3,000\text{t}$ 以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理記録簿で記録できる規模の工事であり、同一工種の施工が数日連続する場合で、以下のいずれかに該当するものをいふ。 ①施工面積で $10,000\text{m}^2$ 以上 $110,000\text{m}^2$ 未満 ②使用する基礎及び充填用混合物の総使用量が $3,000\text{t}$ 以上 $3,000\text{t}$ 未満(コンクリートでは $1,000\text{m}^3$ 以上 $1,000\text{m}^3$ 未満)。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 1)アスファルト舗装：同一配合の材料が 100t 以上のもの	
	種別：施工、試験区分：必須 現場密度の測定 舗装調査・試験法規程 [4]-5 砂置換法 (JIS A 1214) 砂置換法は、最大粒径が 3mm 以下の場合のみ適用できる	・細粒の値は、個々の測定値が基準密度の 90% 以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・細粒の値は、10個の測定値の平均値が10個の測定値を満足するものとする。また、10個の測定値が得られない場合は当該の測定値の平均値が規格外値を満足するものとするが、33が規格外値をはずれた場合は、さらに当該のデータを除外した平均値が規格外値を満足してはばい。 ・1工事あたり $3,000\text{m}^2$ を超える場合は、 $10,000\text{m}^2$ 以下を1ロットとし、1ロットあたり10個(50孔)で測定する。(9) 3,001～ $10,000\text{m}^2$ ：10個 $10,001\text{m}^2$ 以上の場合は、 $10,000\text{m}^2$ 毎に10個追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば、 $12,000\text{m}^2$ の場合は、 $6,000\text{m}^2$ /1ロット毎に10個、合計20個 なお、1工事あたり $3,000\text{m}^2$ 以下の場合は(舗装工事を除く)は、1工事あたり3個(5孔)以上で測定する。	II-38
	種別：施工、試験区分：必須 現場密度の測定 舗装調査・試験法規程 [4]-5 砂置換法 (JIS A 1214) 砂置換法は、最大粒径が 3mm 以下の場合のみ適用できる	・細粒の値は、個々の測定値が基準密度の 90% 以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・細粒の値は、10個の測定値の平均値が10個の測定値を満足するものとする。また、10個の測定値が得られない場合は当該の測定値の平均値が規格外値を満足するものとするが、33が規格外値をはずれた場合は、さらに当該のデータを除外した平均値が規格外値を満足してはばい。 ・1工事あたり $3,000\text{m}^2$ を超える場合は、 $10,000\text{m}^2$ 以下を1ロットとし、1ロットあたり10孔で測定する。(9) 3,001～ $10,000\text{m}^2$ ：10孔 $10,001\text{m}^2$ 以上の場合は、 $10,000\text{m}^2$ 毎に10孔追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例えば $12,000\text{m}^2$ の場合は、 $6,000\text{m}^2$ /1ロット毎に10孔、合計20孔 なお、1工事あたり $3,000\text{m}^2$ 以下の場合は(舗装工事を除く)は、1工事あたり3孔以上で測定する。	

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所：赤字】	頁番号								
31 路上表層再生工	種別：施工、試験区分：必須	種別：施工、試験区分：必須	II-38								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">現場密度の測定</td> <td style="width: 15%;"> 測定回数・試験区分 (3) -9H 310 98%以上 319 98%以上 33 98.5%以上 </td> <td style="width: 15%;"> 基準密度の98%以上 310 98%以上 319 98%以上 33 98.5%以上 </td> <td style="width: 55%;"> ・締りめ度は、個々の測定値が基準密度の96%以上を満足するものとし、かつ平均値(3つで)以下を満足するものとする。 ・締りめ度は、10回の測定値の平均値(10個)規格値を満足するものとする。また、10回の測定値が異なる場合、10回の測定値の平均値(3個)が規格値を満足するものとするが、3回の測定値が異なる場合は、さらに3回のデータを加えた平均値が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10個(10回)で測定する。 (例) 3,000～10,000㎡：10個 10,000㎡以上の場合、10,000㎡毎に10個追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例又は12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10個、合計20個 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合は(維持工事を除く)は、1工事あたり3回(3回)以上で測定する。 </td> </tr> </table>	現場密度の測定	測定回数・試験区分 (3) -9H 310 98%以上 319 98%以上 33 98.5%以上	基準密度の98%以上 310 98%以上 319 98%以上 33 98.5%以上	・締りめ度は、個々の測定値が基準密度の96%以上を満足するものとし、かつ平均値(3つで)以下を満足するものとする。 ・締りめ度は、10回の測定値の平均値(10個)規格値を満足するものとする。また、10回の測定値が異なる場合、10回の測定値の平均値(3個)が規格値を満足するものとするが、3回の測定値が異なる場合は、さらに3回のデータを加えた平均値が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10個(10回)で測定する。 (例) 3,000～10,000㎡：10個 10,000㎡以上の場合、10,000㎡毎に10個追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例又は12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10個、合計20個 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合は(維持工事を除く)は、1工事あたり3回(3回)以上で測定する。	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">現場密度の測定</td> <td style="width: 15%;"> 測定回数・試験区分 (3) -21H </td> <td style="width: 15%;"> 基準密度の98%以上 310 98%以上 319 98%以上 33 98.5%以上 </td> <td style="width: 55%;"> ・締りめ度は、個々の測定値が基準密度の96%以上を満足するものとし、かつ平均値(3つで)以下を満足するものとする。 ・締りめ度は、10回の測定値の平均値(10個)規格値を満足するものとする。また、10回の測定値が異なる場合、10回の測定値の平均値(3個)が規格値を満足するものとするが、3回の測定値が異なる場合は、さらに3回のデータを加えた平均値が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10回(10回)で測定する。 (例) 3,000～10,000㎡：10回 10,000㎡以上の場合、10,000㎡毎に10回追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例又は12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10回、合計20回 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合は(維持工事を除く)は、1工事あたり3回以上で測定する。 </td> </tr> </table>	現場密度の測定	測定回数・試験区分 (3) -21H	基準密度の98%以上 310 98%以上 319 98%以上 33 98.5%以上	・締りめ度は、個々の測定値が基準密度の96%以上を満足するものとし、かつ平均値(3つで)以下を満足するものとする。 ・締りめ度は、10回の測定値の平均値(10個)規格値を満足するものとする。また、10回の測定値が異なる場合、10回の測定値の平均値(3個)が規格値を満足するものとするが、3回の測定値が異なる場合は、さらに3回のデータを加えた平均値が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10回(10回)で測定する。 (例) 3,000～10,000㎡：10回 10,000㎡以上の場合、10,000㎡毎に10回追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例又は12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10回、合計20回 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合は(維持工事を除く)は、1工事あたり3回以上で測定する。	II-39
	現場密度の測定	測定回数・試験区分 (3) -9H 310 98%以上 319 98%以上 33 98.5%以上	基準密度の98%以上 310 98%以上 319 98%以上 33 98.5%以上	・締りめ度は、個々の測定値が基準密度の96%以上を満足するものとし、かつ平均値(3つで)以下を満足するものとする。 ・締りめ度は、10回の測定値の平均値(10個)規格値を満足するものとする。また、10回の測定値が異なる場合、10回の測定値の平均値(3個)が規格値を満足するものとするが、3回の測定値が異なる場合は、さらに3回のデータを加えた平均値が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10個(10回)で測定する。 (例) 3,000～10,000㎡：10個 10,000㎡以上の場合、10,000㎡毎に10個追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例又は12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10個、合計20個 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合は(維持工事を除く)は、1工事あたり3回(3回)以上で測定する。							
現場密度の測定	測定回数・試験区分 (3) -21H	基準密度の98%以上 310 98%以上 319 98%以上 33 98.5%以上	・締りめ度は、個々の測定値が基準密度の96%以上を満足するものとし、かつ平均値(3つで)以下を満足するものとする。 ・締りめ度は、10回の測定値の平均値(10個)規格値を満足するものとする。また、10回の測定値が異なる場合、10回の測定値の平均値(3個)が規格値を満足するものとするが、3回の測定値が異なる場合は、さらに3回のデータを加えた平均値が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10回(10回)で測定する。 (例) 3,000～10,000㎡：10回 10,000㎡以上の場合、10,000㎡毎に10回追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例又は12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10回、合計20回 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合は(維持工事を除く)は、1工事あたり3回以上で測定する。								
種別：施工、試験区分：必須	種別：施工、試験区分：必須	II-39									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">かさばり深さ</td> <td style="width: 15%;">「舗装再生機」付 除-6に準じる</td> <td style="width: 15%;">1,000㎜</td> <td style="width: 55%;"></td> </tr> </table>	かさばり深さ	「舗装再生機」付 除-6に準じる	1,000㎜		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">かさばり深さ</td> <td style="width: 15%;">「舗装再生機」付 除-6に準じる</td> <td style="width: 15%;">1,000㎜</td> <td style="width: 55%;"></td> </tr> </table>	かさばり深さ	「舗装再生機」付 除-6に準じる	1,000㎜		II-39	
かさばり深さ	「舗装再生機」付 除-6に準じる	1,000㎜									
かさばり深さ	「舗装再生機」付 除-6に準じる	1,000㎜									
32 排水性舗装工・透水性舗装工	種別：材料、試験区分：必須	種別：材料、試験区分：必須	II-39								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">骨材のふるい分け試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1102</td> <td style="width: 15%;">「舗装施工機」3-3-2(3)による。</td> <td style="width: 55%;"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 ・中規模以上の工事とは、管理区を備えた上での管理が可能な工事を含む。舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が30,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を含む。同一工種が毎日連続する場合は、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満)。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の割合が100%以上のもの </td> </tr> </table>	骨材のふるい分け試験	JIS A 1102	「舗装施工機」3-3-2(3)による。	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 ・中規模以上の工事とは、管理区を備えた上での管理が可能な工事を含む。舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が30,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を含む。同一工種が毎日連続する場合は、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満)。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の割合が100%以上のもの	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">骨材のふるい分け試験</td> <td style="width: 15%;">JIS A 1102</td> <td style="width: 15%;">「舗装施工機」3-3-2(3)による。</td> <td style="width: 55%;"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 ・中規模以上の工事とは、管理区を備えた上での管理が可能な工事を含む。舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が30,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を含む。同一工種が毎日連続する場合は、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が300t以上、3,000t未満(コンクリートでは200㎥以上、1,000㎥未満)。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の割合が100%以上のもの </td> </tr> </table>	骨材のふるい分け試験	JIS A 1102	「舗装施工機」3-3-2(3)による。	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 ・中規模以上の工事とは、管理区を備えた上での管理が可能な工事を含む。舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が30,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を含む。同一工種が毎日連続する場合は、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が300t以上、3,000t未満(コンクリートでは200㎥以上、1,000㎥未満)。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の割合が100%以上のもの	II-40
	骨材のふるい分け試験	JIS A 1102	「舗装施工機」3-3-2(3)による。	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 ・中規模以上の工事とは、管理区を備えた上での管理が可能な工事を含む。舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が30,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を含む。同一工種が毎日連続する場合は、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満)。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の割合が100%以上のもの							
骨材のふるい分け試験	JIS A 1102	「舗装施工機」3-3-2(3)による。	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 ・中規模以上の工事とは、管理区を備えた上での管理が可能な工事を含む。舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が30,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を含む。同一工種が毎日連続する場合は、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が300t以上、3,000t未満(コンクリートでは200㎥以上、1,000㎥未満)。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の割合が100%以上のもの								
種別：材料、試験区分：その他	種別：材料、試験区分：その他	II-40									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">骨化点試験</td> <td style="width: 15%;">JIS K 2207</td> <td style="width: 15%;">80.0℃以上</td> <td style="width: 55%;"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 ・中規模以上の工事とは、管理区を備えた上での管理が可能な工事を含む。舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が30,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を含む。同一工種が毎日連続する場合は、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満)。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の割合が100%以上のもの </td> </tr> </table>	骨化点試験	JIS K 2207	80.0℃以上	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 ・中規模以上の工事とは、管理区を備えた上での管理が可能な工事を含む。舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が30,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を含む。同一工種が毎日連続する場合は、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満)。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の割合が100%以上のもの	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">骨化点試験</td> <td style="width: 15%;">JIS K 2207</td> <td style="width: 15%;">80.0℃以上</td> <td style="width: 55%;"> ・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 ・中規模以上の工事とは、管理区を備えた上での管理が可能な工事を含む。舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が30,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を含む。同一工種が毎日連続する場合は、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が300t以上、3,000t未満(コンクリートでは200㎥以上、1,000㎥未満)。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の割合が100%以上のもの </td> </tr> </table>	骨化点試験	JIS K 2207	80.0℃以上	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 ・中規模以上の工事とは、管理区を備えた上での管理が可能な工事を含む。舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が30,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を含む。同一工種が毎日連続する場合は、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が300t以上、3,000t未満(コンクリートでは200㎥以上、1,000㎥未満)。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の割合が100%以上のもの	II-40	
骨化点試験	JIS K 2207	80.0℃以上	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 ・中規模以上の工事とは、管理区を備えた上での管理が可能な工事を含む。舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が30,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を含む。同一工種が毎日連続する場合は、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満)。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の割合が100%以上のもの								
骨化点試験	JIS K 2207	80.0℃以上	・中規模以上の工事：施工前、材料変更時 ・小規模以下の工事：施工前 ・中規模以上の工事とは、管理区を備えた上での管理が可能な工事を含む。舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が30,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を含む。同一工種が毎日連続する場合は、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が300t以上、3,000t未満(コンクリートでは200㎥以上、1,000㎥未満)。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の割合が100%以上のもの								
33 排水性舗装工・透水性舗装工	種別：プラント、試験区分：必須	種別：プラント、試験区分：必須	II-40								
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">粒度 (2.36mm フライ)</td> <td style="width: 15%;">測定回数・試験区分 (2) -14</td> <td style="width: 15%;">2.36mmふるい：≦12%以内(振動処理)</td> <td style="width: 55%;"> ・中規模以上の工事：定期的または維持時 ・小規模以下の工事：異常が認められたとき、印字記録の場合：全数または抽出・ふるい分け試験 1～2回/日 ・中規模以上の工事とは、管理区を備えた上での管理が可能な工事を含む。舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が30,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を含む。同一工種が毎日連続する場合は、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満)。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の割合が100%以上のもの </td> </tr> </table>	粒度 (2.36mm フライ)	測定回数・試験区分 (2) -14	2.36mmふるい：≦12%以内(振動処理)	・中規模以上の工事：定期的または維持時 ・小規模以下の工事：異常が認められたとき、印字記録の場合：全数または抽出・ふるい分け試験 1～2回/日 ・中規模以上の工事とは、管理区を備えた上での管理が可能な工事を含む。舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が30,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を含む。同一工種が毎日連続する場合は、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満)。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の割合が100%以上のもの	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">粒度 (2.36mm フライ)</td> <td style="width: 15%;">測定回数・試験区分 (2) -16</td> <td style="width: 15%;">2.36mmふるい：≦12%以内(基準処理)</td> <td style="width: 55%;"> ・中規模以上の工事：定期的または維持時 ・小規模以下の工事：異常が認められたとき、印字記録の場合：全数または抽出・ふるい分け試験 1～2回/日 ・中規模以上の工事とは、管理区を備えた上での管理が可能な工事を含む。舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が30,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を含む。同一工種が毎日連続する場合は、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が300t以上、3,000t未満(コンクリートでは200㎥以上、1,000㎥未満)。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の割合が100%以上のもの </td> </tr> </table>	粒度 (2.36mm フライ)	測定回数・試験区分 (2) -16	2.36mmふるい：≦12%以内(基準処理)	・中規模以上の工事：定期的または維持時 ・小規模以下の工事：異常が認められたとき、印字記録の場合：全数または抽出・ふるい分け試験 1～2回/日 ・中規模以上の工事とは、管理区を備えた上での管理が可能な工事を含む。舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が30,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を含む。同一工種が毎日連続する場合は、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が300t以上、3,000t未満(コンクリートでは200㎥以上、1,000㎥未満)。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の割合が100%以上のもの	II-40
	粒度 (2.36mm フライ)	測定回数・試験区分 (2) -14	2.36mmふるい：≦12%以内(振動処理)	・中規模以上の工事：定期的または維持時 ・小規模以下の工事：異常が認められたとき、印字記録の場合：全数または抽出・ふるい分け試験 1～2回/日 ・中規模以上の工事とは、管理区を備えた上での管理が可能な工事を含む。舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が30,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を含む。同一工種が毎日連続する場合は、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で10,000㎡未満 ②使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が3,000t未満(コンクリートでは1,000㎥未満)。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の割合が100%以上のもの							
粒度 (2.36mm フライ)	測定回数・試験区分 (2) -16	2.36mmふるい：≦12%以内(基準処理)	・中規模以上の工事：定期的または維持時 ・小規模以下の工事：異常が認められたとき、印字記録の場合：全数または抽出・ふるい分け試験 1～2回/日 ・中規模以上の工事とは、管理区を備えた上での管理が可能な工事を含む。舗装施工面積が10,000㎡あるいは使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が30,000㎡以上の場合が該当する。 ・小規模工事は管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を含む。同一工種が毎日連続する場合は、以下のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満 ②使用する基礎及び実用混雑合物の総使用量が300t以上、3,000t未満(コンクリートでは200㎥以上、1,000㎥未満)。 ただし、以下に該当するものについても小規模工事として取り扱うものとする。 ①アスファルト舗装：同一配合の割合が100%以上のもの								
種別：プラント、試験区分：必須	種別：プラント、試験区分：必須	II-40									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">かさばり深さ</td> <td style="width: 15%;">「舗装再生機」付 除-6に準じる</td> <td style="width: 15%;">1,000㎜</td> <td style="width: 55%;"></td> </tr> </table>	かさばり深さ	「舗装再生機」付 除-6に準じる	1,000㎜		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">かさばり深さ</td> <td style="width: 15%;">「舗装再生機」付 除-6に準じる</td> <td style="width: 15%;">1,000㎜</td> <td style="width: 55%;"></td> </tr> </table>	かさばり深さ	「舗装再生機」付 除-6に準じる	1,000㎜		II-40	
かさばり深さ	「舗装再生機」付 除-6に準じる	1,000㎜									
かさばり深さ	「舗装再生機」付 除-6に準じる	1,000㎜									

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																																																
	種別：プラント、試験区分：その他 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>水浸 ホイールラッキング試験 [3]-57</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td>設計図書による。</td> <td>設計図書による。</td> <td>アスファルト混合物の耐摩耗性の確認</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>ホイールラッキング試験 [3]-39</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td></td> <td></td> <td>アスファルト混合物の耐流動性の確認</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>ラベリング試験 [3]-17</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td></td> <td></td> <td>アスファルト混合物の耐摩耗性の確認</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>カンタブロ試験 [3]-111</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td></td> <td></td> <td>アスファルト混合物の骨材飛散阻定性の確認</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	水浸 ホイールラッキング試験 [3]-57	継続調査・試験法使用	設計図書による。	設計図書による。	アスファルト混合物の耐摩耗性の確認	<input type="checkbox"/>	ホイールラッキング試験 [3]-39	継続調査・試験法使用			アスファルト混合物の耐流動性の確認	<input type="checkbox"/>	ラベリング試験 [3]-17	継続調査・試験法使用			アスファルト混合物の耐摩耗性の確認	<input type="checkbox"/>	カンタブロ試験 [3]-111	継続調査・試験法使用			アスファルト混合物の骨材飛散阻定性の確認	<input type="checkbox"/>	種別：プラント、試験区分：その他 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>水浸 ホイールラッキング試験 [3]-65</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td>設計図書による。</td> <td>設計図書による。</td> <td>アスファルト混合物の耐摩耗性の確認</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>ホイールラッキング試験 [3]-44</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td></td> <td></td> <td>アスファルト混合物の耐流動性の確認</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>ラベリング試験 [3]-18</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td></td> <td></td> <td>アスファルト混合物の耐摩耗性の確認</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>カンタブロ試験 [3]-110</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td></td> <td></td> <td>アスファルト混合物の骨材飛散阻定性の確認</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	水浸 ホイールラッキング試験 [3]-65	継続調査・試験法使用	設計図書による。	設計図書による。	アスファルト混合物の耐摩耗性の確認	<input type="checkbox"/>	ホイールラッキング試験 [3]-44	継続調査・試験法使用			アスファルト混合物の耐流動性の確認	<input type="checkbox"/>	ラベリング試験 [3]-18	継続調査・試験法使用			アスファルト混合物の耐摩耗性の確認	<input type="checkbox"/>	カンタブロ試験 [3]-110	継続調査・試験法使用			アスファルト混合物の骨材飛散阻定性の確認	<input type="checkbox"/>	II-40
	水浸 ホイールラッキング試験 [3]-57	継続調査・試験法使用	設計図書による。	設計図書による。	アスファルト混合物の耐摩耗性の確認	<input type="checkbox"/>																																													
ホイールラッキング試験 [3]-39	継続調査・試験法使用			アスファルト混合物の耐流動性の確認	<input type="checkbox"/>																																														
ラベリング試験 [3]-17	継続調査・試験法使用			アスファルト混合物の耐摩耗性の確認	<input type="checkbox"/>																																														
カンタブロ試験 [3]-111	継続調査・試験法使用			アスファルト混合物の骨材飛散阻定性の確認	<input type="checkbox"/>																																														
水浸 ホイールラッキング試験 [3]-65	継続調査・試験法使用	設計図書による。	設計図書による。	アスファルト混合物の耐摩耗性の確認	<input type="checkbox"/>																																														
ホイールラッキング試験 [3]-44	継続調査・試験法使用			アスファルト混合物の耐流動性の確認	<input type="checkbox"/>																																														
ラベリング試験 [3]-18	継続調査・試験法使用			アスファルト混合物の耐摩耗性の確認	<input type="checkbox"/>																																														
カンタブロ試験 [3]-110	継続調査・試験法使用			アスファルト混合物の骨材飛散阻定性の確認	<input type="checkbox"/>																																														
	種別：舗装現場、試験区分：必須 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>現場透水試験 [1]-122</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td>X₁₀ 100mL/15sec以上 X₁₀ 300mL/15sec以上 (歩道箇所)</td> <td>1,000㎡ごと。</td> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>現場密度の測定 [3]-97</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td>基準密度の94%以上。 X₆ 98%以上 X₃ 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による</td> <td> ・締めの日は、個々の測定値が基準密度の94%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締めの日は、10個の測定値の平均値(X₁₀)が規格値を満足するものとする。また、10個の測定値の平均値(X₆)の測定値の平均値(X₃)が規格値を満足するものとするが、X₃が規格値をはずした場合は、さらに3%のゲージを加えた平均値(X₃)が規格値を満足してはならない。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10個(10孔)で測定する。 (例) 3,001～10,000㎡：10個 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10個追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例として2,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10個、合計20個 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3孔(5孔)以上で測定する。 </td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	現場透水試験 [1]-122	継続調査・試験法使用	X ₁₀ 100mL/15sec以上 X ₁₀ 300mL/15sec以上 (歩道箇所)	1,000㎡ごと。		<input type="checkbox"/>	現場密度の測定 [3]-97	継続調査・試験法使用	基準密度の94%以上。 X ₆ 98%以上 X ₃ 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による	・締めの日は、個々の測定値が基準密度の94%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締めの日は、10個の測定値の平均値(X ₁₀)が規格値を満足するものとする。また、10個の測定値の平均値(X ₆)の測定値の平均値(X ₃)が規格値を満足するものとするが、X ₃ が規格値をはずした場合は、さらに3%のゲージを加えた平均値(X ₃)が規格値を満足してはならない。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10個(10孔)で測定する。 (例) 3,001～10,000㎡：10個 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10個追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例として2,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10個、合計20個 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3孔(5孔)以上で測定する。	<input type="checkbox"/>	種別：舗装現場、試験区分：必須 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>現場透水試験 [1]-154</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td>X₁₀ 1,000mL/15sec以上 X₁₀ 300mL/15sec以上 (歩道箇所)</td> <td>1,000㎡ごと。</td> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>現場密度の測定 [3]-224</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td>基準密度の94%以上。 X₆ 98%以上 X₃ 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による</td> <td> ・締めの日は、個々の測定値が基準密度の94%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締めの日は、10個の測定値の平均値(X₁₀)が規格値を満足するものとする。また、10個の測定値の平均値(X₆)の測定値の平均値(X₃)が規格値を満足するものとするが、X₃が規格値をはずした場合は、さらに3%のゲージを加えた平均値(X₃)が規格値を満足してはならない。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10孔で測定する。 (例) 3,001～10,000㎡：10孔 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10孔追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例として2,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10孔、合計20孔 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3孔以上で測定する。 </td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	現場透水試験 [1]-154	継続調査・試験法使用	X ₁₀ 1,000mL/15sec以上 X ₁₀ 300mL/15sec以上 (歩道箇所)	1,000㎡ごと。		<input type="checkbox"/>	現場密度の測定 [3]-224	継続調査・試験法使用	基準密度の94%以上。 X ₆ 98%以上 X ₃ 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による	・締めの日は、個々の測定値が基準密度の94%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締めの日は、10個の測定値の平均値(X ₁₀)が規格値を満足するものとする。また、10個の測定値の平均値(X ₆)の測定値の平均値(X ₃)が規格値を満足するものとするが、X ₃ が規格値をはずした場合は、さらに3%のゲージを加えた平均値(X ₃)が規格値を満足してはならない。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10孔で測定する。 (例) 3,001～10,000㎡：10孔 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10孔追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例として2,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10孔、合計20孔 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3孔以上で測定する。	<input type="checkbox"/>	II-40 II-41																										
	現場透水試験 [1]-122	継続調査・試験法使用	X ₁₀ 100mL/15sec以上 X ₁₀ 300mL/15sec以上 (歩道箇所)	1,000㎡ごと。		<input type="checkbox"/>																																													
現場密度の測定 [3]-97	継続調査・試験法使用	基準密度の94%以上。 X ₆ 98%以上 X ₃ 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による	・締めの日は、個々の測定値が基準密度の94%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締めの日は、10個の測定値の平均値(X ₁₀)が規格値を満足するものとする。また、10個の測定値の平均値(X ₆)の測定値の平均値(X ₃)が規格値を満足するものとするが、X ₃ が規格値をはずした場合は、さらに3%のゲージを加えた平均値(X ₃)が規格値を満足してはならない。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10個(10孔)で測定する。 (例) 3,001～10,000㎡：10個 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10個追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例として2,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10個、合計20個 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3孔(5孔)以上で測定する。	<input type="checkbox"/>																																															
現場透水試験 [1]-154	継続調査・試験法使用	X ₁₀ 1,000mL/15sec以上 X ₁₀ 300mL/15sec以上 (歩道箇所)	1,000㎡ごと。		<input type="checkbox"/>																																														
現場密度の測定 [3]-224	継続調査・試験法使用	基準密度の94%以上。 X ₆ 98%以上 X ₃ 96.5%以上 歩道箇所：設計図書による	・締めの日は、個々の測定値が基準密度の94%以上を満足するものとし、かつ平均値について以下を満足するものとする。 ・締めの日は、10個の測定値の平均値(X ₁₀)が規格値を満足するものとする。また、10個の測定値の平均値(X ₆)の測定値の平均値(X ₃)が規格値を満足するものとするが、X ₃ が規格値をはずした場合は、さらに3%のゲージを加えた平均値(X ₃)が規格値を満足してはならない。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下を1ロットとし、1ロットあたり10孔で測定する。 (例) 3,001～10,000㎡：10孔 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10孔追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例として2,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10孔、合計20孔 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3孔以上で測定する。	<input type="checkbox"/>																																															
33 プラント再生舗装工	種別：材料、試験区分：必須 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>再生骨材 アスファルト抽出後の骨材検定 [2]-14</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td></td> <td>再生骨材使用量500tごとに1回。</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>再生骨材 粗アスファルト含有量 [4]-238</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td>3.8%以上</td> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	再生骨材 アスファルト抽出後の骨材検定 [2]-14	継続調査・試験法使用		再生骨材使用量500tごとに1回。	<input type="checkbox"/>	再生骨材 粗アスファルト含有量 [4]-238	継続調査・試験法使用	3.8%以上		<input type="checkbox"/>	種別：材料、試験区分：必須 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>再生骨材 アスファルト抽出後の骨材検定 [2]-16</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td></td> <td>再生骨材使用量500tごとに1回。</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>再生骨材 粗アスファルト含有量 [4]-318</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td>3.8%以上</td> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	再生骨材 アスファルト抽出後の骨材検定 [2]-16	継続調査・試験法使用		再生骨材使用量500tごとに1回。	<input type="checkbox"/>	再生骨材 粗アスファルト含有量 [4]-318	継続調査・試験法使用	3.8%以上		<input type="checkbox"/>	II-41																												
	再生骨材 アスファルト抽出後の骨材検定 [2]-14	継続調査・試験法使用		再生骨材使用量500tごとに1回。	<input type="checkbox"/>																																														
再生骨材 粗アスファルト含有量 [4]-238	継続調査・試験法使用	3.8%以上		<input type="checkbox"/>																																															
再生骨材 アスファルト抽出後の骨材検定 [2]-16	継続調査・試験法使用		再生骨材使用量500tごとに1回。	<input type="checkbox"/>																																															
再生骨材 粗アスファルト含有量 [4]-318	継続調査・試験法使用	3.8%以上		<input type="checkbox"/>																																															
	種別：プラント、試験区分：必須 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>粒度 (2.36mmフルイ) [2]-14</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td>2.36mmふるい：±12%以内 再アス処理の場合、2.36mm：±18%以内 目字記録による場合は、舗装再生使用表-2.9.5による。</td> <td>抽出ふるい分け試験の場合：1～2回/日 ・中規模以上の工事：定期的または1回時。 ・小規模以下の工事：異常が認められるとき、目字記録の場合：全数</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	粒度 (2.36mmフルイ) [2]-14	継続調査・試験法使用	2.36mmふるい：±12%以内 再アス処理の場合、2.36mm：±18%以内 目字記録による場合は、舗装再生使用表-2.9.5による。	抽出ふるい分け試験の場合：1～2回/日 ・中規模以上の工事：定期的または1回時。 ・小規模以下の工事：異常が認められるとき、目字記録の場合：全数	<input type="checkbox"/>	種別：プラント、試験区分：必須 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>粒度 (2.36mmフルイ) [2]-16</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td>2.36mmふるい：±12%以内 再アス処理の場合、2.36mm：±18%以内 目字記録による場合は、舗装再生使用表-2.9.5による。</td> <td>抽出ふるい分け試験の場合：1～2回/日 ・中規模以上の工事：定期的または1回時。 ・小規模以下の工事：異常が認められるとき、目字記録の場合：全数</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	粒度 (2.36mmフルイ) [2]-16	継続調査・試験法使用	2.36mmふるい：±12%以内 再アス処理の場合、2.36mm：±18%以内 目字記録による場合は、舗装再生使用表-2.9.5による。	抽出ふるい分け試験の場合：1～2回/日 ・中規模以上の工事：定期的または1回時。 ・小規模以下の工事：異常が認められるとき、目字記録の場合：全数	<input type="checkbox"/>	II-41																																						
	粒度 (2.36mmフルイ) [2]-14	継続調査・試験法使用	2.36mmふるい：±12%以内 再アス処理の場合、2.36mm：±18%以内 目字記録による場合は、舗装再生使用表-2.9.5による。	抽出ふるい分け試験の場合：1～2回/日 ・中規模以上の工事：定期的または1回時。 ・小規模以下の工事：異常が認められるとき、目字記録の場合：全数	<input type="checkbox"/>																																														
粒度 (2.36mmフルイ) [2]-16	継続調査・試験法使用	2.36mmふるい：±12%以内 再アス処理の場合、2.36mm：±18%以内 目字記録による場合は、舗装再生使用表-2.9.5による。	抽出ふるい分け試験の場合：1～2回/日 ・中規模以上の工事：定期的または1回時。 ・小規模以下の工事：異常が認められるとき、目字記録の場合：全数	<input type="checkbox"/>																																															
	種別：プラント、試験区分：必須 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>再生アスファルト量 [4]-238</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td>アスファルト量：±0.9%以内 再アス処理の場合、アスファルト量：±1.2%以内 目字記録による場合は、舗装再生使用表-2.9.5による。</td> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	再生アスファルト量 [4]-238	継続調査・試験法使用	アスファルト量：±0.9%以内 再アス処理の場合、アスファルト量：±1.2%以内 目字記録による場合は、舗装再生使用表-2.9.5による。		<input type="checkbox"/>	種別：プラント、試験区分：必須 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>再生アスファルト量 [4]-318</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td>アスファルト量：±0.9%以内 再アス処理の場合、アスファルト量：±1.2%以内 目字記録による場合は、舗装再生使用表-2.9.5による。</td> <td></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	再生アスファルト量 [4]-318	継続調査・試験法使用	アスファルト量：±0.9%以内 再アス処理の場合、アスファルト量：±1.2%以内 目字記録による場合は、舗装再生使用表-2.9.5による。		<input type="checkbox"/>	II-41																																						
	再生アスファルト量 [4]-238	継続調査・試験法使用	アスファルト量：±0.9%以内 再アス処理の場合、アスファルト量：±1.2%以内 目字記録による場合は、舗装再生使用表-2.9.5による。		<input type="checkbox"/>																																														
再生アスファルト量 [4]-318	継続調査・試験法使用	アスファルト量：±0.9%以内 再アス処理の場合、アスファルト量：±1.2%以内 目字記録による場合は、舗装再生使用表-2.9.5による。		<input type="checkbox"/>																																															
	種別：プラント、試験区分：その他 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>水浸 ホイールラッキング試験 [3]-57</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td>設計図書による。</td> <td>同左</td> <td>耐水性の確認</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>ホイールラッキング試験 [3]-39</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td></td> <td></td> <td>耐流動性の確認</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>ラベリング試験 [3]-17</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td></td> <td></td> <td>耐摩耗性の確認</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	水浸 ホイールラッキング試験 [3]-57	継続調査・試験法使用	設計図書による。	同左	耐水性の確認	<input type="checkbox"/>	ホイールラッキング試験 [3]-39	継続調査・試験法使用			耐流動性の確認	<input type="checkbox"/>	ラベリング試験 [3]-17	継続調査・試験法使用			耐摩耗性の確認	<input type="checkbox"/>	種別：プラント、試験区分：必須 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>水浸 ホイールラッキング試験 [3]-65</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td>設計図書による。</td> <td>同左</td> <td>耐水性の確認</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>ホイールラッキング試験 [3]-44</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td></td> <td></td> <td>耐流動性の確認</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>ラベリング試験 [3]-18</td> <td>継続調査・試験法使用</td> <td></td> <td></td> <td>耐摩耗性の確認</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>	水浸 ホイールラッキング試験 [3]-65	継続調査・試験法使用	設計図書による。	同左	耐水性の確認	<input type="checkbox"/>	ホイールラッキング試験 [3]-44	継続調査・試験法使用			耐流動性の確認	<input type="checkbox"/>	ラベリング試験 [3]-18	継続調査・試験法使用			耐摩耗性の確認	<input type="checkbox"/>	II-41												
	水浸 ホイールラッキング試験 [3]-57	継続調査・試験法使用	設計図書による。	同左	耐水性の確認	<input type="checkbox"/>																																													
ホイールラッキング試験 [3]-39	継続調査・試験法使用			耐流動性の確認	<input type="checkbox"/>																																														
ラベリング試験 [3]-17	継続調査・試験法使用			耐摩耗性の確認	<input type="checkbox"/>																																														
水浸 ホイールラッキング試験 [3]-65	継続調査・試験法使用	設計図書による。	同左	耐水性の確認	<input type="checkbox"/>																																														
ホイールラッキング試験 [3]-44	継続調査・試験法使用			耐流動性の確認	<input type="checkbox"/>																																														
ラベリング試験 [3]-18	継続調査・試験法使用			耐摩耗性の確認	<input type="checkbox"/>																																														

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

品質管理基準及び規格値

項目	現行	改定【改定箇所：赤字】	頁番号												
	種別：舗装現場、試験区分：必須 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">現場密度の測定</td> <td style="width: 25%;"> 舗装調査・試験の概要 (3) -91 基準密度の94%以上 X10 96%以上 X9 96%以上 X3 96.5%以上 再アスファルトの場合、基準密度の93%以上 X10 95%以上 X9 95.5%以上 X3 96.5%以上 </td> <td style="width: 25%;"> ・縦断密度は、個々の測定値が基準密度の94%以上(再アスファルトの場合は基準密度の93%以上)を測定するものとし、かつ平均値について以下を測定するものとする。 ・縦断密度は、10個の測定値の平均値10%規格値を満足するものとする。また、10個の測定値が平均値の場合には個々の測定値の平均値が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をばりした場合は、さらに2個のデータを加えた平均値が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下をロットとし、1ロットあたり10個(10孔)で測定する。 (9) 3,001～10,000㎡：10個 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10個追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例：又は12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10個、合計20個 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3個(3孔)以上で測定する。 </td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> </table>	現場密度の測定	舗装調査・試験の概要 (3) -91 基準密度の94%以上 X10 96%以上 X9 96%以上 X3 96.5%以上 再アスファルトの場合、基準密度の93%以上 X10 95%以上 X9 95.5%以上 X3 96.5%以上	・縦断密度は、個々の測定値が基準密度の94%以上(再アスファルトの場合は基準密度の93%以上)を測定するものとし、かつ平均値について以下を測定するものとする。 ・縦断密度は、10個の測定値の平均値10%規格値を満足するものとする。また、10個の測定値が平均値の場合には個々の測定値の平均値が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をばりした場合は、さらに2個のデータを加えた平均値が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下をロットとし、1ロットあたり10個(10孔)で測定する。 (9) 3,001～10,000㎡：10個 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10個追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例：又は12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10個、合計20個 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3個(3孔)以上で測定する。		種別：舗装現場、試験区分：必須 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">現場密度の測定</td> <td style="width: 25%;"> 舗装調査・試験の概要 (3) -218 基準密度の94%以上 X10 96%以上 X9 96%以上 X3 96.5%以上 再アスファルトの場合、基準密度の93%以上 X10 95%以上 X9 95.5%以上 X3 96.5%以上 </td> <td style="width: 25%;"> ・縦断密度は、個々の測定値が基準密度の94%以上を測定するものとし、かつ平均値について以下を測定するものとする。 ・縦断密度は、10個の測定値の平均値10%規格値を満足するものとする。また、10個の測定値が平均値の場合には個々の測定値の平均値が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をばりした場合は、さらに2個のデータを加えた平均値が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下をロットとし、1ロットあたり10孔で測定する。 (9) 3,001～10,000㎡：10孔 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10孔追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例：又は12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10孔、合計20孔 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3孔以上で測定する。 </td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> </table>	現場密度の測定	舗装調査・試験の概要 (3) -218 基準密度の94%以上 X10 96%以上 X9 96%以上 X3 96.5%以上 再アスファルトの場合、基準密度の93%以上 X10 95%以上 X9 95.5%以上 X3 96.5%以上	・縦断密度は、個々の測定値が基準密度の94%以上を測定するものとし、かつ平均値について以下を測定するものとする。 ・縦断密度は、10個の測定値の平均値10%規格値を満足するものとする。また、10個の測定値が平均値の場合には個々の測定値の平均値が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をばりした場合は、さらに2個のデータを加えた平均値が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下をロットとし、1ロットあたり10孔で測定する。 (9) 3,001～10,000㎡：10孔 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10孔追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例：又は12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10孔、合計20孔 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3孔以上で測定する。		II-42				
現場密度の測定	舗装調査・試験の概要 (3) -91 基準密度の94%以上 X10 96%以上 X9 96%以上 X3 96.5%以上 再アスファルトの場合、基準密度の93%以上 X10 95%以上 X9 95.5%以上 X3 96.5%以上	・縦断密度は、個々の測定値が基準密度の94%以上(再アスファルトの場合は基準密度の93%以上)を測定するものとし、かつ平均値について以下を測定するものとする。 ・縦断密度は、10個の測定値の平均値10%規格値を満足するものとする。また、10個の測定値が平均値の場合には個々の測定値の平均値が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をばりした場合は、さらに2個のデータを加えた平均値が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下をロットとし、1ロットあたり10個(10孔)で測定する。 (9) 3,001～10,000㎡：10個 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10個追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例：又は12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10個、合計20個 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3個(3孔)以上で測定する。													
現場密度の測定	舗装調査・試験の概要 (3) -218 基準密度の94%以上 X10 96%以上 X9 96%以上 X3 96.5%以上 再アスファルトの場合、基準密度の93%以上 X10 95%以上 X9 95.5%以上 X3 96.5%以上	・縦断密度は、個々の測定値が基準密度の94%以上を測定するものとし、かつ平均値について以下を測定するものとする。 ・縦断密度は、10個の測定値の平均値10%規格値を満足するものとする。また、10個の測定値が平均値の場合には個々の測定値の平均値が規格値を満足するものとするが、X3が規格値をばりした場合は、さらに2個のデータを加えた平均値が規格値を満足していればよい。 ・1工事あたり3,000㎡を超える場合は、10,000㎡以下をロットとし、1ロットあたり10孔で測定する。 (9) 3,001～10,000㎡：10孔 10,001㎡以上の場合、10,000㎡毎に10孔追加し、測定箇所が均等になるように設定すること。 例：又は12,000㎡の場合：6,000㎡/1ロット毎に10孔、合計20孔 なお、1工事あたり3,000㎡以下の場合(維持工事を除く)は、1工事あたり3孔以上で測定する。													
38.鉄筋挿入工		種別：材料、試験区分：必須 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">品質検査(芯材・サット・プレート等)</td> <td style="width: 25%;">モルシート</td> <td style="width: 25%;">設計図書による。</td> <td style="width: 25%;">材料入荷時</td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td>定置材のフローシート</td> <td>JIS C-F521-2018</td> <td>9-22P</td> <td>施工開始前</td> <td>施工開始前および施工日ごと(1回)</td> <td>定置材をセメントミルクまたはセメントミルクとする場合</td> </tr> </table>	品質検査(芯材・サット・プレート等)	モルシート	設計図書による。	材料入荷時			定置材のフローシート	JIS C-F521-2018	9-22P	施工開始前	施工開始前および施工日ごと(1回)	定置材をセメントミルクまたはセメントミルクとする場合	II-45
品質検査(芯材・サット・プレート等)	モルシート	設計図書による。	材料入荷時												
定置材のフローシート	JIS C-F521-2018	9-22P	施工開始前	施工開始前および施工日ごと(1回)	定置材をセメントミルクまたはセメントミルクとする場合										
		種別：材料、試験区分：その他 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">品質検査(芯材・サット・プレート等)</td> <td style="width: 25%;">目録・仕様書</td> <td style="width: 25%;">設計図書による。</td> <td style="width: 25%;">材料入荷時</td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> </table>	品質検査(芯材・サット・プレート等)	目録・仕様書	設計図書による。	材料入荷時			II-45						
品質検査(芯材・サット・プレート等)	目録・仕様書	設計図書による。	材料入荷時												
		種別：材料、試験区分：必須 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">圧縮強度試験</td> <td style="width: 25%;">JIS A 1108</td> <td style="width: 25%;">設計図書による。</td> <td style="width: 25%;">施工開始前</td> <td style="width: 25%;">施工日ごと(1回)</td> <td style="width: 25%;">定置材をセメントミルクまたはセメントミルクとする場合</td> </tr> </table>	圧縮強度試験	JIS A 1108	設計図書による。	施工開始前	施工日ごと(1回)	定置材をセメントミルクまたはセメントミルクとする場合	II-45						
圧縮強度試験	JIS A 1108	設計図書による。	施工開始前	施工日ごと(1回)	定置材をセメントミルクまたはセメントミルクとする場合										
		種別：施工、試験区分：必須 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">引き抜き試験</td> <td style="width: 25%;">岡山県土木設計・施工マニュアル</td> <td style="width: 25%;">設計図書による。</td> <td style="width: 25%;">施工全数量の95%以上を標準とする。 ・載荷サイクルは1サイクルとする。</td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> </table>	引き抜き試験	岡山県土木設計・施工マニュアル	設計図書による。	施工全数量の95%以上を標準とする。 ・載荷サイクルは1サイクルとする。			II-45						
引き抜き試験	岡山県土木設計・施工マニュアル	設計図書による。	施工全数量の95%以上を標準とする。 ・載荷サイクルは1サイクルとする。												
		種別：施工、試験区分：その他 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">適合性試験</td> <td style="width: 25%;">岡山県土木設計・施工マニュアル</td> <td style="width: 25%;">設計図書による。</td> <td style="width: 25%;">地層ごとに24本以上を標準とする。 ・載荷サイクルは多サイクルを原則とする。 ・初期荷重は、5.0kNもしくは計画最大荷重の0.1倍程度とする。</td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> </table>	適合性試験	岡山県土木設計・施工マニュアル	設計図書による。	地層ごとに24本以上を標準とする。 ・載荷サイクルは多サイクルを原則とする。 ・初期荷重は、5.0kNもしくは計画最大荷重の0.1倍程度とする。			II-45						
適合性試験	岡山県土木設計・施工マニュアル	設計図書による。	地層ごとに24本以上を標準とする。 ・載荷サイクルは多サイクルを原則とする。 ・初期荷重は、5.0kNもしくは計画最大荷重の0.1倍程度とする。												

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
<p>写真管理基準(案) 写真管理基準</p>	<p>(撮影) (3) 情報化施工及び3次元データによる施工管理 「T S等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「T S(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。 また、「T S・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。</p>	<p>(撮影) (3) 情報化施工及び3次元データによる施工管理 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。 また、「T S・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。</p>	2
	<p>(写真の省略) (3) 監督員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略するものとする。</p>	<p>(写真の省略) (3) 監督員または現場技術員が臨場して段階確認した箇所は、出来形管理写真の撮影を省略するものとする。臨場時の状況写真は不要。</p>	2
	<p>(工事写真の整理方法) 10. 工事写真の整理方法は次によるものとする。 (1) 電子納品の場合には、撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本のうち、「提出頻度」に該当するものを電子媒体に格納し、監督員に提出するものとする。写真ファイルの整理及び電子媒体への格納方法(各種仕様)は、国土交通省「デジタル写真管理情報基準」に準拠するものとする。(デジタル写真管理情報基準の写真管理項目にある「提出頻度写真」とは撮影箇所一覧表の「提出頻度」に該当する写真をいう) また、参考資料として、撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本すべてを別の電子媒体に格納し監督員に提出するものとする。 また、参考資料として、撮影箇所一覧表の「撮影頻度」に基づいて撮影した写真原本すべてを別の電子媒体に格納し監督員に提出するものとする。 (2) 工事写真帳の整理については、工種毎に別紙撮影箇所一覧表の整理条件に示すものを標準とする。 なお、提出頻度とは受注者が撮影頻度に基づき撮影した工事写真のうち、工事写真帳として整理し提出する枚数を示したものである。</p>	<p>(工事写真の整理方法) 10. 工事写真の整理方法は次によるものとする。 (1) 電子納品の場合には、撮影箇所一覧表の「撮影頻度[時期]」に基づいて撮影した写真原本を電子媒体に格納し、監督員に提出するものとする。写真ファイルの整理及び電子媒体への格納方法(各種仕様)は、国土交通省「デジタル写真管理情報基準」に準拠するものとする。(デジタル写真管理情報基準の写真管理項目にある「提出頻度写真」とは撮影箇所一覧表の「撮影頻度[時期]」に該当する写真をいう) (2) 工事写真帳の整理については、工種毎に別紙撮影箇所一覧表の整理条件に示すものを標準とする。</p>	3
	<p>(その他) 12. 撮影箇所一覧表の用語の定義 (1) 代表箇所とは、当該工種の代表箇所でその仕様が確認できる箇所をいう。 (2) 適宜とは、設計図書の様子が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。 (3) 不要とは、国土交通省「デジタル写真管理情報基準」の写真管理項目にある「提出頻度写真」に該当しないことをいう。</p>	<p>(その他) 12. 撮影箇所一覧表の用語の定義 (1) 適宜とは、設計図書の仕様が写真により確認できる必要最小限の箇所や枚数のことをいう。</p>	4

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

写真管理基準(案)

項目	現行				改定【改定箇所:赤字】				頁番号	
撮影箇所一覧表(全体)	区分		写真管理項目			区分		写真管理項目		I-1
			撮影項目	撮影頻度【時期】	提出頻度			撮影項目	撮影頻度【時期】	
	着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前1回 〔着手前〕	着手前 1枚	着手前・完成	着手前	全景又は代表部分写真	着手前1回 〔着手前〕	
		完成	全景又は代表部分写真	施工完了後1回 〔完成後〕	施工完了後 1枚		完成	全景又は代表部分写真	施工完了後1回 〔完成後〕	
	施工状況	工事施工中	全景又は代表部分の工事進捗状況	月1回【月末】	不要	施工状況	工事施工中	全景又は代表部分の工事進捗状況	月1回【月末】	
			施工中の写真	工種、種別毎に設計図書、施工計画書に従い施工していることが確認できるように適宜【施工中】	適宜			施工中の写真	工種、種別毎に設計図書、施工計画書に従い施工していることが確認できるように適宜【施工中】	
			創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜【施工中】	不要	高度技術・創意工夫・社会性等に関する実施状況の提出資料に添付				創意工夫・社会性等に関する実施状況が確認できるように適宜【施工中】	
		仮設(指定仮設)	使用材料、仮設状況、形状寸法	1施工箇所 〔施工前後〕	代表箇所 1枚		仮設(指定仮設)	使用材料、仮設状況、形状寸法	1施工箇所 〔施工前後〕	

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

写真管理基準(案)

項目	現行					改定【改定箇所:赤字】					頁番号		
		図面との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて【発生時】	不要	工事打合簿に添付する。		図面との不一致	図面と現地との不一致の写真	必要に応じて【発生時】	工事打合簿に添付する。	I-1	
				ただし、「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)」による場合は、撮影毎に1回【発生時】	ただし、「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)」による場合は、写真測量に使用したすべての画像					ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)における空中写真測量(UAV)」による場合は、撮影毎に1回(写真測量に使用したすべての画像(ICONフォルダに格納))【発生時】			
				ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上型レーザーキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザーキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザーキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による場合は、計測毎に1回【発生時】	ただし、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上型レーザーキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザーキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザーキャナを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による場合は、代表箇所各1枚					ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)における地上型レーザーキャナ(TLS)、地上移動体搭載型レーザーキャナ(地上移動体搭載型LS)、無人航空機搭載型レーザーキャナ(UAVレーザー)、TS(ノンプリズム方式)、TS等光波方式、RTK-GNSS」による場合は、計測毎に1回【発生時】			
安全管理	安全管理	各標識類の設置状況	各種類毎に1回【設置後】	各種類毎に1回【設置後】	不要	全景1枚		安全管理	安全管理	各標識類の設置状況	各種類毎に1回【設置後】		
		各種保安施設の設置状況	各種類毎に1回【設置後】	各種類毎に1回【設置後】						各種保安施設の設置状況	各種類毎に1回【設置後】		
		監視員交通整理状況	各1回【作業中】	各1回【作業中】						監視員交通整理状況	各1回【作業中】		
		安全訓練等の実施状況	実施毎に1回【実施中】	実施毎に1回【実施中】	不要	実施状況資料に添付する。				安全訓練等の実施状況	実施毎に1回【実施中】	実施状況資料に添付する。	

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行					改定【改定箇所: 赤字】					頁番号	
	使用材料	使用材料	形状寸法 使用数量 保管状況	各品目毎に1回 〔使用前〕	不要	品質証明に添付する。	使用材料	使用材料	形状寸法 使用数量 保管状況	各品目毎に1回 〔使用前〕	品質証明に添付する。	I-1 I-2
			品質証明 (JISマーク表示)	各品目毎に1回				品質証明 (JISマーク表示)	各品目毎に1回			
			検査実施状況	各品目毎に1回 〔検査時〕				検査実施状況	各品目毎に1回 〔検査時〕			
品質管理	別添	撮影箇所一覧表(品質管理)に準じて撮影				品質管理	別添	撮影箇所一覧表(品質管理)に準じて撮影				
		不可視部分の施工	適宜	適宜				不可視部分の施工	適宜			
出来形管理	別添	撮影箇所一覧表(出来形管理)に準じて撮影				出来形管理	別添	撮影箇所一覧表(出来形管理)に準じて撮影				
		不可視部分の施工	適宜	適宜				不可視部分の施工	適宜			
		出来形管理基準が定められていない		監督員と協議事項				出来形管理基準が定められていない		監督員と協議事項		
災害	被災状況	被災状況及び被災規模等	その都度 〔被災前〕 〔被災直後〕 〔被災後〕	適宜		災害	被災状況	被災状況及び被災規模等	その都度 〔被災前〕 〔被災直後〕 〔被災後〕			
事故	事故報告	事故の状況	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	適宜	発生前は付近の写真でも可	事故	事故報告	事故の状況	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	発生前は付近の写真でも可		
補償関係外	補償関係	被害又は被害状況等	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕	適宜		補償関係外	補償関係	被害又は被害状況等	その都度 〔発生前〕 〔発生直後〕 〔発生後〕			
	環境対策 イメージアップ等	各施設設置状況	各種毎1回 〔設置後〕	適宜			環境対策 イメージアップ等	各施設設置状況	各種毎1回 〔設置後〕			

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行				改定【改定箇所:赤字】				頁番号							
撮影箇所一覧表(品質管理)	1	セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く) (施工)	写真管理項目		概要	1	セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く) (施工)	写真管理項目		II-1						
			撮影項目	撮影頻度 [時期]				提出頻度	撮影項目		撮影頻度 [時期]	提出頻度				
			塩化物総量規制	コンクリートの種類毎に1回				不要	塩化物総量規制		コンクリートの種類毎に1回	不要				
			スランプ試験	[試験実施中]					スランプ試験		[試験実施中]					
			コンクリートの圧縮強度試験						コンクリートの圧縮強度試験			圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの				
			空気量測定	品質に変化が見られた場合 [試験実施中]					空気量測定		品質に変化が見られた場合 [試験実施中]					
			コンクリートの曲げ強度試験	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]					コンクリートの曲げ強度試験		コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	コンクリート舗装の場合適用				
			コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]					コアによる強度試験		品質に異常が認められた場合 [試験実施中]					
			コンクリートの洗い分析試験						コンクリートの洗い分析試験							
			セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く)	ひび割れ調査				対象構造物毎に1回 [試験実施中]			セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く)	ひび割れ調査	対象構造物毎に1回 [試験実施中]			
				テストハンマーによる強度推定調査								テストハンマーによる強度推定調査				
				コアによる強度試験				テストハンマー試験により必要が認められた時 [試験実施中]				コアによる強度試験	テストハンマー試験により必要が認められた時 [試験実施中]			
			2	ガス圧接				外観検査 超音波探傷検査	検査毎に1回 [検査実施中]		不要	2	ガス圧接	外観検査 超音波探傷検査	検査毎に1回 [検査実施中]	
			3	既製杭工				外観検査	検査毎に1回 [検査実施中]		不要	3	既製杭工	外観検査	検査毎に1回 [検査実施中]	
								浸透探傷試験	試験毎に1回 [試験実施中]						浸透探傷試験	試験毎に1回 [試験実施中]
		放射線透過試験					放射線透過試験									
		超音波探傷試験					超音波探傷試験									
		水セメント比試験					水セメント比試験									
		セメントミルクの圧縮強度試験					セメントミルクの圧縮強度試験									

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行				改定【改定箇所:赤字】				頁番号						
	4	下層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要										
			ブルフローリング	路盤毎に1回 [試験実施中]											
			平板載荷試験	各種路盤毎に1回 [試験実施中]											
			骨材のふるい分け試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]											
			土の液性限界・塑性限界試験												
	含水比試験														
	5	上層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要										
			粒度												
			平板載荷試験												
			骨材のふるい分け試験	観察に異常が認められた場合 [試験実施中]											
			土の液性限界・塑性限界試験												
	含水比試験														
	6	アスファルト安定処理路盤	アスファルト舗装に準拠		不要										
	7	セメント安定処理路盤(施工)	粒度	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要										
			現場密度の測定												
			含水比試験	観察により異常が認められた場合 [試験実施中]											
			セメント量試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]											
	8	アスファルト舗装(プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要										
			アスファルト量抽出粒度分析試験												
			温度測定												
			水浸ホイールラッキング試験												
		ホイールラッキング試験													
		ラベリング試験													
アスファルト舗装(舗設現場)		現場密度の測定	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要											
	温度測定														
	外観検査														
寸べり抵抗試験															
9	転圧コンクリート(施工)	コンシステンシーVC試験	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	不要											
		マーシャル突き固め試験													
		ランマー突き固め試験													
		コンクリートの曲げ強度試験													
		温度測定(コンクリート)	コンクリートの種類毎に1回 [温度測定中]												
		現場密度の測定	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]												
コアによる密度測定															
4	下層路盤	現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要											
		ブルフローリング	路盤毎に1回 [試験実施中]												
		平板載荷試験	各種路盤毎に1回 [試験実施中]												
		骨材のふるい分け試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]												
		土の液性限界・塑性限界試験													
		含水比試験													
		5	上層路盤						現場密度の測定	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要				
									粒度						
									平板載荷試験						
									骨材のふるい分け試験	観察に異常が認められた場合 [試験実施中]					
									土の液性限界・塑性限界試験						
		含水比試験													
6	アスファルト安定処理路盤	アスファルト舗装に準拠		不要											
7	セメント安定処理路盤(施工)	粒度	各種路盤毎に1回 [試験実施中]	不要											
		現場密度の測定													
		含水比試験	観察により異常が認められた場合 [試験実施中]												
		セメント量試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]												
8	アスファルト舗装(プラント)	粒度	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要											
		アスファルト量抽出粒度分析試験													
		温度測定													
		水浸ホイールラッキング試験													
	ホイールラッキング試験														
	ラベリング試験														
	アスファルト舗装(舗設現場)	現場密度の測定	合材の種類毎に1回 [試験実施中]	不要											
温度測定															
外観検査															
寸べり抵抗試験															
9	転圧コンクリート(施工)	コンシステンシーVC試験	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]	不要											
		マーシャル突き固め試験													
		ランマー突き固め試験													
		コンクリートの曲げ強度試験													
		温度測定(コンクリート)	コンクリートの種類毎に1回 [温度測定中]												
		現場密度の測定	コンクリートの種類毎に1回 [試験実施中]												
コアによる密度測定															

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行			改定【改定箇所:赤字】			頁番号
10	ゲースアスファルト舗装(プラント)	貫入試験40℃	合材の種類毎に1回	不要	貫入試験40℃	合材の種類毎に1回	
		リュエル流動性試験240℃	【試験実施中】		リュエル流動性試験240℃	【試験実施中】	
		ホイールトラック試験			ホイールトラック試験		
		曲げ試験			曲げ試験		
		粒度			粒度		
		アスファルト量抽出粒度分析試験			アスファルト量抽出粒度分析試験		
		温度測定			温度測定		
	ゲースアスファルト舗装(舗設現場)	温度測定	合材の種類毎に1回	不要	温度測定	合材の種類毎に1回	【試験実施中】
11	路床安定処理工	現場密度の測定	路床または施工箇所毎に1回	不要	現場密度の測定	路床または施工箇所毎に1回	【試験実施中】 ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する
		ブルーフローリング	路床毎に1回		ブルーフローリング	路床毎に1回	
		平板載荷試験	【試験実施中】		平板載荷試験	【試験実施中】	
		現場CBR試験			現場CBR試験		
		含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合		含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合	
		たわみ量	ブルーフローリングの不良箇所について実施		たわみ量	ブルーフローリングの不良箇所について実施	
	12	表層安定処理工(表層混合処理)	含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合	含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合	【試験実施中】
		現場密度の測定	材質毎に1回	不要	現場密度の測定	材質毎に1回	【試験実施中】 ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する
		ブルーフローリング	工種毎に1回		ブルーフローリング	工種毎に1回	【試験実施中】
		平板載荷試験	材質毎に1回		平板載荷試験	材質毎に1回	【試験実施中】
		現場CBR試験	【試験実施中】		現場CBR試験	【試験実施中】	
		たわみ量	ブルーフローリングの不良箇所について実施		たわみ量	ブルーフローリングの不良箇所について実施	【試験実施中】
	13	固結工	土の一軸圧縮試験	材質毎に1回	土の一軸圧縮試験	材質毎に1回	【試験実施中】
	14	アンカー工	モルタルのフロー値試験	適宜	アンカー工	モルタルのフロー値試験	適宜
		モルタルの圧縮強度試験	【試験実施中】	不要	モルタルの圧縮強度試験	【試験実施中】	
		多サイクル確認試験			多サイクル確認試験		
		1サイクル確認試験			1サイクル確認試験		

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行				改定【改定箇所:赤字】				頁番号	
II-3	15	補強土壁工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中]	不要	15	補強土壁工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の 締固め管理要領」による場合は、写真 管理を省略する	
	16	吹付工(施工)	塩化物総量規制	配合毎に1回 [試験実施中]	不要		モルタルを除く	コンクリートの圧縮強度試験	品質に変化がみられた場合 [試験実施中]	
			スランブ試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]						
			空気量測定	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]						
			コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]						
	17	現場吹付法砕工	コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 [試験実施中]	不要		モルタルを除く	塩化物総量規制	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]	
			スランブ試験	品質に変化がみられた場合 [試験実施中]						
			空気量測定	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]						
			ロックボルトの引抜き試験	試験毎に1回 [試験実施中]						
			コアによる強度試験	品質に異常が認められた場合 [試験実施中]						
18 19	河川・海岸土工 (施工)	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の 締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	不要			現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の 締固め管理要領」による場合は、写真 管理を省略する		
		土の含水比試験	含水比に変化が認められた場合 [試験実施中]				土の含水比試験	含水比に変化が認められた場合 [試験実施中]		
		コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]				コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]		
20	砂防土工	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の 締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	不要			現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の 締固め管理要領」による場合は、写真 管理を省略する		
II-3 II-4	21	道路土工 (施工)	現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の 締固め管理要領」による場合は、写真管理を省略する	不要			現場密度の測定	土質毎に1回 [試験実施中] ただし、「TS・GNSSを用いた盛土の 締固め管理要領」による場合は、写真 管理を省略する	
			ブルーフローリング	工種毎に1回 [試験実施中]				ブルーフローリング	工種毎に1回 [試験実施中]	
			平板載荷試験	土質毎に1回 [試験実施中]				平板載荷試験	土質毎に1回 [試験実施中]	
			現場CBR試験	現場CBR試験 [試験実施中]				現場CBR試験	現場CBR試験 [試験実施中]	
			含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]				含水比試験	降雨後又は含水比の変化が認められた場合 [試験実施中]	
			コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]				コーン指数の測定	トラフィカビリティが悪い場合 [試験実施中]	
		たわみ量	ブルーフローリングの不良箇所について実施 [試験実施中]		たわみ量	ブルーフローリングの不良箇所について実施 [試験実施中]				
	22	捨石工	岩石の見掛比重	産地又は岩質毎に1回 [試験実施中]	不要			岩石の見掛比重	産地又は岩質毎に1回 [試験実施中]	
			岩石の吸水率					岩石の吸水率		
			岩石の圧縮強さ					岩石の圧縮強さ		
	岩石の形状				岩石の形状					

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行				改定【改定箇所:赤字】				頁番号								
	23 コンクリートダム (材料)	アルカリ骨材反応対策 骨材の密度及び吸水率 試験 骨材のふるい分け試験 砂の有機不純物試験 モルタルの圧縮強度によ る砂の試験 骨材の微粒分量試験 粗骨材中の軟石量試験 骨材中の粘土塊量の試 験 硫酸ナトリウムによる骨材の 安定性試験 粗骨材のすりへり試験 骨材中の比重1.95の 液体に浮く粒子の試験 練り混ぜ水の水質試験	採取地毎に1回 【試験実施中】	不要		コンクリートダム (施工)	塩化物総量規制 スランブ試験 空気量測定 コンクリートの圧縮強度試験 温度測定 コンクリートの単位容積質量 試験 コンクリートの洗い分析試験 コンクリートのフリージング試 験 コンクリートの引張強度試験 コンクリートの曲げ強度試験	配合毎に1回 【試験実施中】 品質に変化が認められた場 合 【試験実施中】 配合毎に1回 【試験実施中】 圧縮強度試 験に使用し たコンクリ ートの供試 体が、当該 現場の供試 体であるこ とを確認で きるもの 気温・コン クリート	23 コンクリートダム (材料)	アルカリ骨材反応対策 骨材の密度及び吸水率 試験 骨材のふるい分け試験 砂の有機不純物試験 モルタルの圧縮強度によ る砂の試験 骨材の微粒分量試験 粗骨材中の軟石量試験 骨材中の粘土塊量の試 験 硫酸ナトリウムによる骨材の 安定性試験 粗骨材のすりへり試験 骨材中の比重1.95の 液体に浮く粒子の試験 練り混ぜ水の水質試験	採取地毎に1回 【試験実施中】	砂質毎に1回 【試験実施中】 骨材毎に1回 【試験実施中】		コンクリートダム (施工)	塩化物総量規制 スランブ試験 空気量測定 コンクリートの圧縮強度試験 温度測定 コンクリートの単位容積質量 試験 コンクリートの洗い分析試験 コンクリートのフリージング試 験 コンクリートの引張強度試験 コンクリートの曲げ強度試験	配合毎に1回 【試験実施中】 品質に変化が認められた場合 【試験実施中】 配合毎に1回 【試験実施中】 圧縮強度試 験に使用し たコンクリ ートの供試 体が、当該 現場の供試 体であるこ とを確認で きるもの 気温・コン クリート	II-4

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行				改定【改定箇所：赤字】				頁番号		
	24	覆工コンクリート(NATM)	スランブ試験 コンクリートの圧縮強度試験 塩化物総量規制 空気量測定	品質に変化が認められた場合 【試験実施中】 配合毎に1回 【試験実施中】 品質に変化が認められた場合 【試験実施中】 コアによる強度試験 品質に異常が認められた場合 【試験実施中】 コンクリートの洗い分析試験 【試験実施中】	不要	24	覆工コンクリート(NATM)	スランブ試験 コンクリートの圧縮強度試験 塩化物総量規制 空気量測定	品質に変化が認められた場合 【試験実施中】 配合毎に1回 【試験実施中】 品質に変化が認められた場合 【試験実施中】 コアによる強度試験 品質に異常が認められた場合 【試験実施中】 コンクリートの洗い分析試験 【試験実施中】		II-4 II-5
	25	吹付けコンクリート(NATM)	塩化物総量規制 コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 【試験実施中】 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの	不要	25	吹付けコンクリート(NATM)	塩化物総量規制 コンクリートの圧縮強度試験	配合毎に1回 【試験実施中】 圧縮強度試験に使用したコンクリートの供試体が、当該現場の供試体であることが確認できるもの		
	26	ロックボルト(NATM)	モルタルの圧縮強度試験 モルタルのフロー値試験 ロックボルトの引抜き試験	配合毎に1回 【試験実施中】 適宜	不要	26	ロックボルト(NATM)	モルタルの圧縮強度試験 モルタルのフロー値試験 ロックボルトの引抜き試験	配合毎に1回 【試験実施中】 適宜		
	27	路上再生路盤工(材料)	修正CBR試験 土の粒度試験 土の含水比試験 土の液性限界・塑性限界試験	材料毎に1回 【試験実施中】	不要	27	路上再生路盤工(材料)	修正CBR試験 土の粒度試験 土の含水比試験 土の液性限界・塑性限界試験	材料毎に1回 【試験実施中】		
		路上再生路盤工(施工)	現場密度の測定 土の一軸圧縮試験 CAEの一軸圧縮試験 含水比試験	材料毎に1回 【試験実施中】			路上再生路盤工(施工)	現場密度の測定 土の一軸圧縮試験 CAEの一軸圧縮試験 含水比試験	材料毎に1回 【試験実施中】		
	28	路上表層再生工(材料)	旧アスファルト針入度 旧アスファルトの軟化点	材料毎に1回 【試験実施中】	不要	28	路上表層再生工(材料)	旧アスファルト針入度 旧アスファルトの軟化点	材料毎に1回 【試験実施中】		
		路上表層再生工(施工)	現場密度の測定 温度測定 かきほぐし深さ 粒度 アスファルト量抽出粒度分析試験	材料毎に1回 【試験実施中】			路上表層再生工(施工)	現場密度の測定 温度測定 かきほぐし深さ 粒度 アスファルト量抽出粒度分析試験	材料毎に1回 【試験実施中】		

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行				改定【改定箇所:赤字】				頁番号
	29 排水性舗装工・透水性舗装(プラント)	粒度 アスファルト量抽出粒度分析試験 温度測定 水浸ホイールラッキング試験 ホイールラッキング試験 ラベリング試験 カンタプロ試験	合材の種類毎に1回 【試験実施中】	不要	29 排水性舗装工・透水性舗装(プラント)	粒度 アスファルト量抽出粒度分析試験 温度測定 水浸ホイールラッキング試験 ホイールラッキング試験 ラベリング試験 カンタプロ試験	合材の種類毎に1回 【試験実施中】		II-5
	排水性舗装工・透水性舗装(舗設現場)	温度測定 現場透水試験 現場密度の測定 外観検査			排水性舗装工・透水性舗装(舗設現場)	温度測定 現場透水試験 現場密度の測定 外観検査	合材の種類毎に1回 【試験実施中】		
	30 プラント再生舗装工(プラント)	粒度 再生アスファルト量 水浸ホイールラッキング試験 ホイールラッキング試験 ラベリング試験	合材の種類毎に1回 【試験実施中】	不要	30 プラント再生舗装工(プラント)	粒度 再生アスファルト量 水浸ホイールラッキング試験 ホイールラッキング試験 ラベリング試験	合材の種類毎に1回 【試験実施中】		
	プラント再生舗装工(舗設現場)	外観検査 温度測定 現場密度の測定			プラント再生舗装工(舗設現場)	外観検査 温度測定 現場密度の測定	合材の種類毎に1回 【試験実施中】		
	31 工場製作工	外観検査	1橋に1回又は1工事に1回 【現物照合時】	不要	31 工場製作工	外観検査	1橋に1回又は1工事に1回 【現物照合時】		
		在庫品切出	当初の物件で1枚 【切出時】※他は焼き増し	不要		在庫品切出	当初の物件で1枚 【切出時】※他は焼き増し		
		機械試験	1橋に1回又は1工事に1回 【試験実施中】	不要		機械試験	1橋に1回又は1工事に1回 【試験実施中】		
	32 ガス切断工	表面粗さ ノッチ深さ スラッグ 上縁の溶け 平面度 ベベル精度 真直度	試験毎に1回 【試験実施中】	不要	32 ガス切断工	表面粗さ ノッチ深さ スラッグ 上縁の溶け 平面度 ベベル精度 真直度	試験毎に1回 【試験実施中】		

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行				改定【改定箇所:赤字】				頁番号																																						
	33	溶接工	<table border="1"> <tr><td>引張試験</td><td>試験毎に1回</td></tr> <tr><td>型曲げ試験</td><td>[試験実施中]</td></tr> <tr><td>衝撃試験</td><td></td></tr> <tr><td>マクロ試験</td><td></td></tr> <tr><td>非破壊試験</td><td></td></tr> <tr><td>突合せ継手の内部欠陥 に対する検査</td><td></td></tr> <tr><td>外観検査</td><td></td></tr> <tr><td>曲げ試験</td><td></td></tr> <tr><td>ハンマー打撃試験</td><td>外観検査が不合格となった スタッドジベルについて [試験実施中]</td></tr> </table>	引張試験	試験毎に1回	型曲げ試験	[試験実施中]	衝撃試験		マクロ試験		非破壊試験		突合せ継手の内部欠陥 に対する検査		外観検査		曲げ試験		ハンマー打撃試験	外観検査が不合格となった スタッドジベルについて [試験実施中]	不要		33	溶接工	<table border="1"> <tr><td>引張試験</td><td>試験毎に1回</td></tr> <tr><td>型曲げ試験</td><td>[試験実施中]</td></tr> <tr><td>衝撃試験</td><td></td></tr> <tr><td>マクロ試験</td><td></td></tr> <tr><td>非破壊試験</td><td></td></tr> <tr><td>突合せ継手の内部欠陥 に対する検査</td><td></td></tr> <tr><td>外観検査</td><td></td></tr> <tr><td>曲げ試験</td><td></td></tr> <tr><td>ハンマー打撃試験</td><td>外観検査が不合格となったスタッドジベル について [試験実施中]</td></tr> </table>	引張試験	試験毎に1回	型曲げ試験	[試験実施中]	衝撃試験		マクロ試験		非破壊試験		突合せ継手の内部欠陥 に対する検査		外観検査		曲げ試験		ハンマー打撃試験	外観検査が不合格となったスタッドジベル について [試験実施中]			II-6
引張試験	試験毎に1回																																														
型曲げ試験	[試験実施中]																																														
衝撃試験																																															
マクロ試験																																															
非破壊試験																																															
突合せ継手の内部欠陥 に対する検査																																															
外観検査																																															
曲げ試験																																															
ハンマー打撃試験	外観検査が不合格となった スタッドジベルについて [試験実施中]																																														
引張試験	試験毎に1回																																														
型曲げ試験	[試験実施中]																																														
衝撃試験																																															
マクロ試験																																															
非破壊試験																																															
突合せ継手の内部欠陥 に対する検査																																															
外観検査																																															
曲げ試験																																															
ハンマー打撃試験	外観検査が不合格となったスタッドジベル について [試験実施中]																																														
	34	中層混合処理	<table border="1"> <tr><td>テーブルフロー試験</td><td>適宜 [試験実施中]</td></tr> <tr><td>土の一軸圧縮試験</td><td>材質毎に1回 [試験実施中]</td></tr> </table>	テーブルフロー試験	適宜 [試験実施中]	土の一軸圧縮試験	材質毎に1回 [試験実施中]	不要		34	中層混合処理	<table border="1"> <tr><td>テーブルフロー試験</td><td>適宜 [試験実施中]</td></tr> <tr><td>土の一軸圧縮試験</td><td>材質毎に1回 [試験実施中]</td></tr> </table>	テーブルフロー試験	適宜 [試験実施中]	土の一軸圧縮試験	材質毎に1回 [試験実施中]																															
テーブルフロー試験	適宜 [試験実施中]																																														
土の一軸圧縮試験	材質毎に1回 [試験実施中]																																														
テーブルフロー試験	適宜 [試験実施中]																																														
土の一軸圧縮試験	材質毎に1回 [試験実施中]																																														
						38	砂防ソイルセメント(転圧タイプ)	<table border="1"> <tr><td>ふるい分け試験 (粒度試験)</td><td>1回/1材料 [試験実施中]</td></tr> <tr><td>含水比試験</td><td></td></tr> <tr><td>現場密度の測定</td><td></td></tr> <tr><td>圧縮強度試験</td><td></td></tr> <tr><td>六価クロム溶出試験</td><td></td></tr> </table>	ふるい分け試験 (粒度試験)	1回/1材料 [試験実施中]	含水比試験		現場密度の測定		圧縮強度試験		六価クロム溶出試験																														
ふるい分け試験 (粒度試験)	1回/1材料 [試験実施中]																																														
含水比試験																																															
現場密度の測定																																															
圧縮強度試験																																															
六価クロム溶出試験																																															
						39	砂防ソイルセメント(流動タイプ)	<table border="1"> <tr><td>含水比試験</td><td>1施工箇所または 材料毎に1回</td></tr> <tr><td>密度試験 (セメントミルク密度)</td><td>1施工箇所1回</td></tr> <tr><td>圧縮強度試験</td><td>1施工箇所または 材料毎に1回</td></tr> <tr><td>六価クロム溶出試験</td><td>1回/1材料 [試験実施中]</td></tr> </table>	含水比試験	1施工箇所または 材料毎に1回	密度試験 (セメントミルク密度)	1施工箇所1回	圧縮強度試験	1施工箇所または 材料毎に1回	六価クロム溶出試験	1回/1材料 [試験実施中]																															
含水比試験	1施工箇所または 材料毎に1回																																														
密度試験 (セメントミルク密度)	1施工箇所1回																																														
圧縮強度試験	1施工箇所または 材料毎に1回																																														
六価クロム溶出試験	1回/1材料 [試験実施中]																																														

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
第4節 道路土工 1 共通編 2 土工 4 道路土工	路体盛土工、路床盛土工 3 4 路体盛土工 路床盛土工 巻出し厚 200mに1回 [巻出し時] 「TS・GNSSを用いた盛土の締め管理要領」における「締め層厚分布図」を提出する場合は写真不要 締めめ状況 転圧機械又は地質が変わる毎に1回 [締めめ時] 法長幅 ※右のいずれかで撮影する。 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による場合は 「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。	路体盛土工、路床盛土工 1 共通編 2 土工 4 道路土工 路体盛土工 路床盛土工 巻出し厚 200mに1回 [巻出し時] 「TS・GNSSを用いた盛土の締め管理要領」における「締め層厚分布図」を提出する場合は写真不要 締めめ状況 転圧機械又は地質が変わる毎に1回 [締めめ時] 法長幅 ※右のいずれかで撮影する。 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)土工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は1工事に1回 [施工後] 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)土工編 多点計測技術(面管理の場合)」に基づき写真測量に用いた全ての画像を納品する場合には、写真管理に代えることができる。	III-3
	第3編 土木工事共通編 第2章 一般施工 第3節 共通の工程 3 土木工事共通編 2 一般施工 3 共通の工程 14 1 プレキャストセグメント主桁組立工(購入工) 外面の形状寸法 1スパンに1回 [組立時] 代表箇所各1枚 3-2-3-14	プレキャストセグメント主桁組立工(購入工) 3 土木工事共通編 2 一般施工 3 共通の工程 14 1 プレキャストセグメント主桁組立工(購入工) 外面の形状寸法 1スパンに1回 [組立時] 代表箇所各1枚 3-2-3-14	プレキャストセグメント製作工(購入工) 3 土木工事共通編 2 一般施工 3 共通の工程 14 1 プレキャストセグメント製作工(購入工) 断面の外形寸法 1スパンに1回 [製作後] 3-2-3-14
3 土木工事共通編 2 一般施工 3 共通の工程 28 プレキャストカルバート工(プレキャストボックス工)(プレキャストバイブ工) 据付状況 200m又は1施工箇所に1回 [施工中] ※幅 ※高さ 200m又は1施工箇所に1回 (※印は場所打ちのある場合) [施工中]	プレキャストカルバート工 3 土木工事共通編 2 一般施工 3 共通の工程 28 プレキャストカルバート工(プレキャストボックス工)(プレキャストバイブ工) 据付状況 200m又は1施工箇所に1回 [施工中] ※幅 ※高さ 200m又は1施工箇所に1回 (※印は場所打ちのある場合) [施工中]	プレキャストカルバート工 3 土木工事共通編 2 一般施工 3 共通の工程 28 プレキャストカルバート工(プレキャストボックス工)(プレキャストバイブ工) 据付状況 200m又は1施工箇所に1回 [施工中] ※幅 ※高さ 200m又は1施工箇所に1回 (※印は場所打ちのある場合) [理戻し前]	III-7

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行								改定【改定箇所:赤字】								頁番号																																																																																
第4節 基礎工	基礎工護岸(プレキャスト) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;">3</td><td style="width:10%;">2</td><td style="width:10%;">4</td><td style="width:10%;">3</td><td style="width:10%;">2</td><td style="width:10%;">基礎工護岸(プレキャスト)</td><td style="width:10%;">据付状況</td><td style="width:10%;">40m又は1施工箇所に1回【施工後】</td><td style="width:10%;">代表箇所各1枚</td><td style="width:10%;">3-2-4-3</td></tr> </table>								3	2	4	3	2	基礎工護岸(プレキャスト)	据付状況	40m又は1施工箇所に1回【施工後】	代表箇所各1枚	3-2-4-3	基礎工護岸(プレキャスト) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;">3</td><td style="width:10%;">2</td><td style="width:10%;">4</td><td style="width:10%;">3</td><td style="width:10%;">2</td><td style="width:10%;">基礎工護岸(プレキャスト)</td><td style="width:10%;">据付状況</td><td style="width:10%;">200m又は1施工箇所に1回【施工後】</td><td style="width:10%;">代表箇所各1枚</td><td style="width:10%;">3-2-4-3</td></tr> </table>								3	2	4	3	2	基礎工護岸(プレキャスト)	据付状況	200m又は1施工箇所に1回【施工後】	代表箇所各1枚	3-2-4-3	III-9																																																												
3	2	4	3	2	基礎工護岸(プレキャスト)	据付状況	40m又は1施工箇所に1回【施工後】	代表箇所各1枚	3-2-4-3																																																																																								
3	2	4	3	2	基礎工護岸(プレキャスト)	据付状況	200m又は1施工箇所に1回【施工後】	代表箇所各1枚	3-2-4-3																																																																																								
第6節 一般舗装工	アスファルト舗装工(下層路盤工) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;">3</td><td style="width:10%;">2</td><td style="width:10%;">6</td><td style="width:10%;">7</td><td style="width:10%;">1</td><td style="width:10%;">アスファルト舗装工(下層路盤工)</td><td style="width:10%;">敷均し厚さ</td><td style="width:10%;">各層毎400mに1回【施工中】</td><td style="width:10%;">代表箇所各1枚</td><td style="width:10%;">3-2-6-7</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td style="width:10%;">転圧状況</td><td style="width:10%;">各層毎400mに1回【施工後】</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td style="width:10%;">厚さ</td><td style="width:10%;">各層毎200mに1回【施工後】</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td style="width:10%;">幅</td><td style="width:10%;">各層毎80mに1回【施工後】</td><td></td><td></td></tr> </table>								3	2	6	7	1	アスファルト舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回【施工中】	代表箇所各1枚	3-2-6-7							転圧状況	各層毎400mに1回【施工後】									厚さ	各層毎200mに1回【施工後】									幅	各層毎80mに1回【施工後】			アスファルト舗装工(下層路盤工) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;">3</td><td style="width:10%;">2</td><td style="width:10%;">6</td><td style="width:10%;">7</td><td style="width:10%;">1</td><td style="width:10%;">アスファルト舗装工(下層路盤工)</td><td style="width:10%;">敷均し厚さ</td><td style="width:10%;">各層毎400mに1回【施工中】</td><td style="width:10%;">代表箇所各1枚</td><td style="width:10%;">3-2-6-7</td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td style="width:10%;">転圧状況</td><td style="width:10%;">各層毎400mに1回【施工後】</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td style="width:10%;">厚さ</td><td style="width:10%;">各層毎200mに1回【施工後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回【施工後】</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td style="width:10%;">幅</td><td style="width:10%;">各層毎80mに1回【施工後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回【施工後】</td><td></td><td></td></tr> </table>								3	2	6	7	1	アスファルト舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回【施工中】	代表箇所各1枚	3-2-6-7							転圧状況	各層毎400mに1回【施工後】									厚さ	各層毎200mに1回【施工後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回【施工後】									幅	各層毎80mに1回【施工後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回【施工後】			III-11
3	2	6	7	1	アスファルト舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回【施工中】	代表箇所各1枚	3-2-6-7																																																																																								
						転圧状況	各層毎400mに1回【施工後】																																																																																										
						厚さ	各層毎200mに1回【施工後】																																																																																										
						幅	各層毎80mに1回【施工後】																																																																																										
3	2	6	7	1	アスファルト舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ	各層毎400mに1回【施工中】	代表箇所各1枚	3-2-6-7																																																																																								
						転圧状況	各層毎400mに1回【施工後】																																																																																										
						厚さ	各層毎200mに1回【施工後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回【施工後】																																																																																										
						幅	各層毎80mに1回【施工後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回【施工後】																																																																																										

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行							改定【改定箇所:赤字】							頁番号																																																																															
	<p>アスファルト舗装工(上層路盤工)セメント(石灰)安定処理工</p> <table border="1" data-bbox="439 209 1155 898"> <tr> <td data-bbox="439 209 472 898">3 土木 工事 共通 編</td> <td data-bbox="472 209 506 898">2 一 般 施 工</td> <td data-bbox="506 209 539 898">6 一 般 舗 装 工</td> <td data-bbox="539 209 573 898">7</td> <td data-bbox="573 209 607 898">3</td> <td data-bbox="607 209 757 898">アスファルト舗装工(上層路盤工)セメント(石灰)安定処理工</td> <td data-bbox="757 209 842 898">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td data-bbox="842 209 987 898">各層毎400mに1回 〔施工中〕</td> <td data-bbox="987 209 1072 898">代表箇所 各1枚</td> <td data-bbox="1072 209 1155 898">3-2-6-7</td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td data-bbox="757 268 842 898">整正状況</td> <td data-bbox="842 268 987 898">各層毎400mに1回 〔整正後〕</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td data-bbox="757 327 842 898">厚さ</td> <td data-bbox="842 327 987 898">1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td data-bbox="757 635 842 898">幅</td> <td data-bbox="842 635 987 898">各層毎80mに1回 〔整正後〕</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>							3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	3	アスファルト舗装工(上層路盤工)セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7							整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕									厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			<p>アスファルト舗装工(上層路盤工)セメント(石灰)安定処理工</p> <table border="1" data-bbox="1200 209 1928 898"> <tr> <td data-bbox="1200 209 1234 898">3 土木 工事 共通 編</td> <td data-bbox="1234 209 1267 898">2 一 般 施 工</td> <td data-bbox="1267 209 1301 898">6 一 般 舗 装 工</td> <td data-bbox="1301 209 1335 898">7</td> <td data-bbox="1335 209 1368 898">3</td> <td data-bbox="1368 209 1518 898">アスファルト舗装工(上層路盤工)セメント(石灰)安定処理工</td> <td data-bbox="1518 209 1603 898">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td data-bbox="1603 209 1839 898">各層毎400mに1回 〔施工中〕</td> <td data-bbox="1839 209 1921 898">3-2-6-7</td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td data-bbox="1518 268 1603 898">整正状況</td> <td data-bbox="1603 268 1839 898">各層毎400mに1回 〔整正後〕</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td data-bbox="1518 327 1603 898">厚さ</td> <td data-bbox="1603 327 1839 898">1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td data-bbox="1518 635 1603 898">幅</td> <td data-bbox="1603 635 1839 898">各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>							3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	3	アスファルト舗装工(上層路盤工)セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-7							整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕									厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			III-12
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	3	アスファルト舗装工(上層路盤工)セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7																																																																																					
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕																																																																																							
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要																																																																																							
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕																																																																																							
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	3	アスファルト舗装工(上層路盤工)セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-7																																																																																						
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕																																																																																							
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕																																																																																							
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕																																																																																							
	<p>アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工)</p> <table border="1" data-bbox="439 940 1155 1297"> <tr> <td data-bbox="439 940 472 1297">3 土木 工事 共通 編</td> <td data-bbox="472 940 506 1297">2 一 般 施 工</td> <td data-bbox="506 940 539 1297">6 一 般 舗 装 工</td> <td data-bbox="539 940 573 1297">7</td> <td data-bbox="573 940 607 1297">4</td> <td data-bbox="607 940 757 1297">アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工)</td> <td data-bbox="757 940 842 1297">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td data-bbox="842 940 987 1297">各層毎400mに1回 〔施工中〕</td> <td data-bbox="987 940 1072 1297">代表箇所 各1枚</td> <td data-bbox="1072 940 1155 1297">3-2-6-7</td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td data-bbox="757 983 842 1297">整正状況</td> <td data-bbox="842 983 987 1297">各層毎400mに1回 〔整正後〕</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td data-bbox="757 1026 842 1297">幅</td> <td data-bbox="842 1026 987 1297">各層毎80mに1回 〔整正後〕</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>							3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	4	アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7							整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			<p>アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工)</p> <table border="1" data-bbox="1200 940 1928 1297"> <tr> <td data-bbox="1200 940 1234 1297">3 土木 工事 共通 編</td> <td data-bbox="1234 940 1267 1297">2 一 般 施 工</td> <td data-bbox="1267 940 1301 1297">6 一 般 舗 装 工</td> <td data-bbox="1301 940 1335 1297">7</td> <td data-bbox="1335 940 1368 1297">4</td> <td data-bbox="1368 940 1518 1297">アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工)</td> <td data-bbox="1518 940 1603 1297">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td data-bbox="1603 940 1839 1297">各層毎400mに1回 〔施工中〕</td> <td data-bbox="1839 940 1921 1297">3-2-6-7</td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td data-bbox="1518 983 1603 1297">整正状況</td> <td data-bbox="1603 983 1839 1297">各層毎400mに1回 〔整正後〕</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="6"></td> <td data-bbox="1518 1026 1603 1297">幅</td> <td data-bbox="1603 1026 1839 1297">各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>							3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	4	アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-7							整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			III-13																				
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	4	アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-7																																																																																					
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕																																																																																							
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕																																																																																							
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	7	4	アスファルト舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	3-2-6-7																																																																																						
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕																																																																																							
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕																																																																																							

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行								改定【改定箇所:赤字】								頁番号			
	半たわみ性舗装工(下層路盤工)								半たわみ性舗装工(下層路盤工)								III-13			
	3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	8	1	半たわみ性舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-8	3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	8	1	半たわみ性舗装工(下層路盤工)		敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	3-2-6-8
							修正状況	各層毎400mに1回 【修正後】										修正状況	各層毎400mに1回 【修正後】	
							厚さ	各層毎200mに1回 【修正後】										厚さ	各層毎200mに1回 【修正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 【修正後】	
							幅	各層毎80mに1回 【修正後】										幅	各層毎80mに1回 【修正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 【修正後】	

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行										改定【改定箇所: 赤字】										頁番号
	半たわみ性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工										半たわみ性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工										III-14
	3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	2	半たわみ性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-8	3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	8	2	半たわみ性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	3-2-6-8		
							整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】								整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】				
							厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】								厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 【整正後】				
							幅	各層毎80mに1回 【整正後】								幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 【整正後】				

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																																																																				
	<p>半たわみ性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">8</td><td style="width: 2%;">3</td> <td rowspan="3">半たわみ性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工</td> <td>敷均し厚さ 転圧状況</td> <td>各層毎400mに1回 〔施工中〕</td> <td rowspan="3">代表箇所 各1枚</td> <td rowspan="3">3-2-6-8</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400mに1回 〔整正後〕</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は 写真不要</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	8	3	半たわみ性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は 写真不要							幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			<p>半たわみ性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">8</td><td style="width: 2%;">3</td> <td rowspan="3">半たわみ性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工</td> <td>敷均し厚さ 転圧状況</td> <td>各層毎400mに1回 〔施工中〕</td> <td rowspan="3">代表箇所 各1枚</td> <td rowspan="3">3-2-6-8</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>整正状況</td> <td>〔整正後〕</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」により「厚さあるいは 標高較差」を管理する場合は各層毎1工 事に1回 〔整正後〕</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎 1工事に1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	8	3	半たわみ性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8						整正状況	〔整正後〕						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」により「厚さあるいは 標高較差」を管理する場合は各層毎1工 事に1回 〔整正後〕							幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎 1工事に1回 〔整正後〕			III-14
	3	2	6	8	3	半たわみ性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工		敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕			代表箇所 各1枚	3-2-6-8																																																										
					整正状況			各層毎400mに1回 〔整正後〕																																																															
					厚さ		各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は 写真不要																																																																
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕																																																																
3	2	6	8	3	半たわみ性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8																																																														
						整正状況	〔整正後〕																																																																
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」により「厚さあるいは 標高較差」を管理する場合は各層毎1工 事に1回 〔整正後〕																																																																
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎 1工事に1回 〔整正後〕																																																																
	<p>半たわみ性舗装工(加熱アスファルト安定処理工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">8</td><td style="width: 2%;">4</td> <td rowspan="3">半たわみ性舗装工(加熱ア スファルト安定処理工)</td> <td>敷均し厚さ 転圧状況</td> <td>各層毎400mに1回 〔施工中〕</td> <td rowspan="3">代表箇所 各1枚</td> <td rowspan="3">3-2-6-8</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400mに1回 〔整正後〕</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 〔整正後〕</td> </tr> </table>	3	2	6	8	4	半たわみ性舗装工(加熱ア スファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕	<p>半たわみ性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">8</td><td style="width: 2%;">4</td> <td rowspan="3">半たわみ性舗装工(加熱ア スファルト安定処理工)</td> <td>敷均し厚さ 転圧状況</td> <td>各層毎400mに1回 〔施工中〕</td> <td rowspan="3">代表箇所 各1枚</td> <td rowspan="3">3-2-6-8</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400mに1回 〔整正後〕</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎 1工事に1回 〔整正後〕</td> </tr> </table>	3	2	6	8	4	半たわみ性舗装工(加熱ア スファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎 1工事に1回 〔整正後〕	III-14																				
3	2	6	8	4	半たわみ性舗装工(加熱ア スファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況		各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚			3-2-6-8																																																											
						整正状況		各層毎400mに1回 〔整正後〕																																																															
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕																																																																
3	2	6	8	4	半たわみ性舗装工(加熱ア スファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-8																																																														
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕																																																																
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎 1工事に1回 〔整正後〕																																																																

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																																																																																
	<p>排水性舗装工(下層路盤工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td> <td style="width: 2%;">2</td> <td style="width: 2%;">6</td> <td style="width: 2%;">9</td> <td style="width: 2%;">1</td> <td style="width: 10%;">排水性舗装工(下層路盤工)</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400mに1回 【施工中】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-9</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400mに1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	9	1	排水性舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-9							整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】									厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】									幅	各層毎80mに1回 【整正後】			<p>排水性舗装工(下層路盤工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td> <td style="width: 2%;">2</td> <td style="width: 2%;">6</td> <td style="width: 2%;">9</td> <td style="width: 2%;">1</td> <td style="width: 10%;">排水性舗装工(下層路盤工)</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400mに1回 【施工中】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-9</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400mに1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 【整正後】 ただし「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)舗装工編 多点計測技術 (面管理の場合)」により「厚さあるいは標 高較差」を管理する場合は各層毎1工事 に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎 1工事に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	9	1	排水性舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-9							整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】									厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】 ただし「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)舗装工編 多点計測技術 (面管理の場合)」により「厚さあるいは標 高較差」を管理する場合は各層毎1工事 に1回 【整正後】									幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎 1工事に1回 【整正後】			III-15
3	2	6	9	1	排水性舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-9																																																																										
						整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】																																																																												
						厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】																																																																												
						幅	各層毎80mに1回 【整正後】																																																																												
3	2	6	9	1	排水性舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-9																																																																										
						整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】																																																																												
						厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】 ただし「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)舗装工編 多点計測技術 (面管理の場合)」により「厚さあるいは標 高較差」を管理する場合は各層毎1工事 に1回 【整正後】																																																																												
						幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎 1工事に1回 【整正後】																																																																												

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																																																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 3%;">3</td> <td style="width: 3%;">2</td> <td style="width: 3%;">6</td> <td style="width: 3%;">9</td> <td style="width: 3%;">2</td> <td style="width: 30%;">排水性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400mに1回 【施工中】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-9</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400mに1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	9	2	排水性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-9							整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】									厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】									幅	各層毎80mに1回 【整正後】			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 3%;">3</td> <td style="width: 3%;">2</td> <td style="width: 3%;">6</td> <td style="width: 3%;">9</td> <td style="width: 3%;">2</td> <td style="width: 30%;">排水性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400mに1回 【施工中】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-9</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400mに1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 【整正後】 ただし「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)舗装工編 多点計測技術 (面管理の場合)」により「厚さあるいは標 高較差」を管理する場合は各層毎1工事 に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎 1工事に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	9	2	排水性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-9							整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】									厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】 ただし「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)舗装工編 多点計測技術 (面管理の場合)」により「厚さあるいは標 高較差」を管理する場合は各層毎1工事 に1回 【整正後】									幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎 1工事に1回 【整正後】			III-15
3	2	6	9	2	排水性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-9																																																																										
						整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】																																																																												
						厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】																																																																												
						幅	各層毎80mに1回 【整正後】																																																																												
3	2	6	9	2	排水性舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-9																																																																										
						整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】																																																																												
						厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】 ただし「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)舗装工編 多点計測技術 (面管理の場合)」により「厚さあるいは標 高較差」を管理する場合は各層毎1工事 に1回 【整正後】																																																																												
						幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎 1工事に1回 【整正後】																																																																												

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

写真管理基準(案)

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																																							
3 土 木 工 事 共 通 編 2 一 般 施 工 6 一 般 舗 装 工 9 3	排水性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	排水性舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	III-16																																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">排水性舗装工(上層路盤工)セメント(石灰)安定処理工</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400mに1回 【施工中】</td> <td style="width: 15%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 15%;">3-2-6-9</td> </tr> <tr> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400mに1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 【整正後】 ※コアを採取した場合は 写真不要</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	排水性舗装工(上層路盤工)セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-9		整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】				厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】 ※コアを採取した場合は 写真不要				幅	各層毎80mに1回 【整正後】			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">排水性舗装工(上層路盤工)セメント(石灰)安定処理工</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400mに1回 【施工中】</td> <td style="width: 15%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 15%;">3-2-6-9</td> </tr> <tr> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400mに1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 【整正後】 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」により「厚さあるいは 標高較差」を管理する場合は各層毎1工 事に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 【整正後】 ただし「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎1 工事に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	排水性舗装工(上層路盤工)セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-9		整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】				厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」により「厚さあるいは 標高較差」を管理する場合は各層毎1工 事に1回 【整正後】				幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎1 工事に1回 【整正後】		
排水性舗装工(上層路盤工)セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-9																																						
	整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】																																								
	厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】 ※コアを採取した場合は 写真不要																																								
	幅	各層毎80mに1回 【整正後】																																								
排水性舗装工(上層路盤工)セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-9																																						
	整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】																																								
	厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」により「厚さあるいは 標高較差」を管理する場合は各層毎1工 事に1回 【整正後】																																								
	幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎1 工事に1回 【整正後】																																								
3 土 木 工 事 共 通 編 2 一 般 施 工 6 一 般 舗 装 工 9 4	排水性舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	排水性舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	III-16																																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">排水性舗装工(加熱アスファルト安定処理工)</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400mに1回 【施工中】</td> <td style="width: 15%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 15%;">3-2-6-9</td> </tr> <tr> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400mに1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	排水性舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-9		整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】				幅	各層毎80mに1回 【整正後】			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">排水性舗装工(加熱アスファルト安定処理工)</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400mに1回 【施工中】</td> <td style="width: 15%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 15%;">3-2-6-9</td> </tr> <tr> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400mに1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎200mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎 1工事に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	排水性舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-9		整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】				幅	各層毎200mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎 1工事に1回 【整正後】			III-16									
排水性舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-9																																						
	整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】																																								
	幅	各層毎80mに1回 【整正後】																																								
排水性舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-9																																						
	整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】																																								
	幅	各層毎200mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎 1工事に1回 【整正後】																																								

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行							改定【改定箇所:赤字】							頁番号																																											
	<p>透水性舗装工 路盤工</p> <table border="1" data-bbox="439 204 1155 855"> <tr> <td data-bbox="439 204 591 855" rowspan="4">3 土木 工事 共通 編</td> <td data-bbox="591 204 629 855" rowspan="4">2 一 般 施 工</td> <td data-bbox="629 204 667 855" rowspan="4">6 一 般 舗 装 工</td> <td data-bbox="667 204 705 855" rowspan="4">10</td> <td data-bbox="705 204 743 855" rowspan="4">1</td> <td data-bbox="743 204 842 256">透水性舗装工 路盤工</td> <td data-bbox="842 204 983 256">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td data-bbox="983 204 1155 256">各層毎400mに1回 【施工中】</td> <td data-bbox="983 256 1155 309">代表箇所 各1枚</td> <td data-bbox="983 309 1155 362">3-2-6-9</td> </tr> <tr> <td data-bbox="743 256 842 309">整正状況</td> <td data-bbox="842 256 983 309">各層毎400mに1回 【整正後】</td> <td data-bbox="743 309 842 362">厚さ</td> <td data-bbox="842 309 983 362">各層毎200mに1回 【整正後】</td> </tr> <tr> <td data-bbox="743 362 842 414">幅</td> <td data-bbox="842 362 983 414">各層毎80mに1回 【整正後】</td> <td data-bbox="743 414 842 855"></td> <td data-bbox="842 414 983 855"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="743 855 842 908"></td> <td data-bbox="842 855 983 908"></td> <td data-bbox="743 908 842 944"></td> <td data-bbox="842 908 983 944"></td> </tr> </table>							3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	10	1	透水性舗装工 路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-9	整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】	厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】	幅	各層毎80mに1回 【整正後】							<p>透水性舗装工 路盤工</p> <table border="1" data-bbox="1202 204 1919 855"> <tr> <td data-bbox="1202 204 1355 855" rowspan="4">3 土木 工事 共通 編</td> <td data-bbox="1355 204 1393 855" rowspan="4">2 一 般 施 工</td> <td data-bbox="1393 204 1431 855" rowspan="4">6 一 般 舗 装 工</td> <td data-bbox="1431 204 1469 855" rowspan="4">10</td> <td data-bbox="1469 204 1507 855" rowspan="4">1</td> <td data-bbox="1507 204 1606 256">透水性舗装工 路盤工</td> <td data-bbox="1606 204 1747 256">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td data-bbox="1747 204 1919 256">各層毎400mに1回 【施工中】</td> <td data-bbox="1747 256 1919 309">3-2-6-9</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1507 256 1606 309">整正状況</td> <td data-bbox="1606 256 1747 309">各層毎400mに1回 【整正後】</td> <td data-bbox="1507 309 1606 362">厚さ</td> <td data-bbox="1606 309 1747 362">各層毎200mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」により「厚さあるいは 標高較差」を管理する場合は各層毎1工 事に1回 【整正後】</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1507 362 1606 414">幅</td> <td data-bbox="1606 362 1747 414">各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎 1工事に1回 【整正後】</td> <td data-bbox="1507 414 1606 855"></td> <td data-bbox="1606 414 1747 855"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1507 855 1606 908"></td> <td data-bbox="1606 855 1747 908"></td> <td data-bbox="1507 908 1606 944"></td> <td data-bbox="1606 908 1747 944"></td> </tr> </table>							3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	10	1	透水性舗装工 路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	3-2-6-9	整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】	厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」により「厚さあるいは 標高較差」を管理する場合は各層毎1工 事に1回 【整正後】	幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎 1工事に1回 【整正後】							III-17
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	10	1	透水性舗装工 路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】						代表箇所 各1枚	3-2-6-9																																												
					整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】	厚さ						各層毎200mに1回 【整正後】																																													
					幅	各層毎80mに1回 【整正後】																																																				
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	10	1	透水性舗装工 路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	3-2-6-9																																																		
					整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】	厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」により「厚さあるいは 標高較差」を管理する場合は各層毎1工 事に1回 【整正後】																																																		
					幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎 1工事に1回 【整正後】																																																				
	<p>グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)</p> <table border="1" data-bbox="439 887 1155 1297"> <tr> <td data-bbox="439 887 591 1297" rowspan="3">3 土木 工 事 共 通 編</td> <td data-bbox="591 887 629 1297" rowspan="3">2 一 般 施 工</td> <td data-bbox="629 887 667 1297" rowspan="3">6 一 般 舗 装 工</td> <td data-bbox="667 887 705 1297" rowspan="3">11</td> <td data-bbox="705 887 743 1297" rowspan="3">1</td> <td data-bbox="743 887 842 940">グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理 工)</td> <td data-bbox="842 887 983 940">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td data-bbox="983 887 1155 940">各層毎400mに1回 【施工中】</td> <td data-bbox="983 940 1155 992">代表箇所 各1枚</td> <td data-bbox="983 992 1155 1045">3-2-6-11</td> </tr> <tr> <td data-bbox="743 940 842 992">整正状況</td> <td data-bbox="842 940 983 992">各層毎400mに1回 【整正後】</td> <td data-bbox="743 992 842 1045">幅</td> <td data-bbox="842 992 983 1045">各層毎80mに1回 【整正後】</td> </tr> <tr> <td data-bbox="743 1045 842 1297"></td> <td data-bbox="842 1045 983 1297"></td> <td data-bbox="743 1297 842 1316"></td> <td data-bbox="842 1297 983 1316"></td> </tr> </table>							3 土木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	11	1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理 工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-11	整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】	幅	各層毎80mに1回 【整正後】					<p>グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)</p> <table border="1" data-bbox="1202 887 1919 1297"> <tr> <td data-bbox="1202 887 1355 1297" rowspan="3">3 土木 工 事 共 通 編</td> <td data-bbox="1355 887 1393 1297" rowspan="3">2 一 般 施 工</td> <td data-bbox="1393 887 1431 1297" rowspan="3">6 一 般 舗 装 工</td> <td data-bbox="1431 887 1469 1297" rowspan="3">11</td> <td data-bbox="1469 887 1507 1297" rowspan="3">1</td> <td data-bbox="1507 887 1606 940">グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理 工)</td> <td data-bbox="1606 887 1747 940">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td data-bbox="1747 887 1919 940">各層毎400mに1回 【施工中】</td> <td data-bbox="1747 940 1919 992">3-2-6-11</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1507 940 1606 992">整正状況</td> <td data-bbox="1606 940 1747 992">各層毎400mに1回 【整正後】</td> <td data-bbox="1507 992 1606 1045">幅</td> <td data-bbox="1606 992 1747 1045">各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎 1工事に1回 【整正後】</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1507 1045 1606 1297"></td> <td data-bbox="1606 1045 1747 1297"></td> <td data-bbox="1507 1297 1606 1316"></td> <td data-bbox="1606 1297 1747 1316"></td> </tr> </table>							3 土木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	11	1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理 工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	3-2-6-11	整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】	幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎 1工事に1回 【整正後】					III-17								
3 土木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	11	1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理 工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】						代表箇所 各1枚	3-2-6-11																																												
					整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】	幅						各層毎80mに1回 【整正後】																																													
3 土木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	11	1	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定処理 工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	3-2-6-11																																																		
					整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】	幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層毎 1工事に1回 【整正後】																																																		

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行	改定【改定箇所: 赤字】	頁番号																																																																																
	<p>コンクリート舗装工 (下層路盤工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td> <td style="width: 2%;">2</td> <td style="width: 2%;">6</td> <td style="width: 2%;">12</td> <td style="width: 2%;">1</td> <td style="width: 20%;">コンクリート舗装工(下層路盤工)</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400mに1回 (施工中)</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-12</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400mに1回 (整正後)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 (整正後)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 (整正後)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	12	1	コンクリート舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 (施工中)	代表箇所 各1枚	3-2-6-12							整正状況	各層毎400mに1回 (整正後)									厚さ	各層毎200mに1回 (整正後)									幅	各層毎80mに1回 (整正後)			<p>コンクリート舗装工 (下層路盤工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td> <td style="width: 2%;">2</td> <td style="width: 2%;">6</td> <td style="width: 2%;">12</td> <td style="width: 2%;">1</td> <td style="width: 20%;">コンクリート舗装工(下層路盤工)</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400mに1回 (施工中)</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-12</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400mに1回 (整正後)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 (整正後)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 (整正後)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	12	1	コンクリート舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 (施工中)	代表箇所 各1枚	3-2-6-12							整正状況	各層毎400mに1回 (整正後)									厚さ	各層毎200mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 (整正後)									幅	各層毎80mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 (整正後)			III-18
3	2	6	12	1	コンクリート舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 (施工中)	代表箇所 各1枚	3-2-6-12																																																																										
						整正状況	各層毎400mに1回 (整正後)																																																																												
						厚さ	各層毎200mに1回 (整正後)																																																																												
						幅	各層毎80mに1回 (整正後)																																																																												
3	2	6	12	1	コンクリート舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 (施工中)	代表箇所 各1枚	3-2-6-12																																																																										
						整正状況	各層毎400mに1回 (整正後)																																																																												
						厚さ	各層毎200mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 (整正後)																																																																												
						幅	各層毎80mに1回 (整正後) ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 (整正後)																																																																												

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																																																																										
	<p>コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 3%;">3</td> <td style="width: 3%;">2</td> <td style="width: 3%;">6</td> <td style="width: 3%;">12</td> <td style="width: 3%;">2</td> <td rowspan="4" style="width: 20%;">コンクリート舗装工(粒度調整路盤工)</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400mに1回 〔施工中〕</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-12</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400mに1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	12	2	コンクリート舗装工(粒度調整路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕								厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			<p>コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 3%;">3</td> <td style="width: 3%;">2</td> <td style="width: 3%;">6</td> <td style="width: 3%;">12</td> <td style="width: 3%;">2</td> <td rowspan="4" style="width: 20%;">コンクリート舗装工(粒度調整路盤工)</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400mに1回 〔施工中〕</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-12</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400mに1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	12	2	コンクリート舗装工(粒度調整路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕								厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕								幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕			III-19
3	2	6	12	2	コンクリート舗装工(粒度調整路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況		各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12																																																																			
						整正状況		各層毎400mに1回 〔整正後〕																																																																					
						厚さ		各層毎200mに1回 〔整正後〕																																																																					
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕																																																																						
3	2	6	12	2	コンクリート舗装工(粒度調整路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12																																																																				
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕																																																																						
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕																																																																						
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 〔整正後〕																																																																						

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行							改定【改定箇所:赤字】							頁番号																		
	<p>コンクリート舗装工 (セメント (石灰・瀝青) 安定処理工)</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="443 209 472 336">3 土木 工事 共通 編</td> <td data-bbox="472 209 501 304">2 一 般 施 工</td> <td data-bbox="501 209 530 304">6 一 般 舗 装 工</td> <td data-bbox="530 209 560 209">12</td> <td data-bbox="560 209 589 209">3</td> <td data-bbox="589 209 759 863">コンクリート舗装工(セメント (石灰・瀝青)安定処理工)</td> <td data-bbox="759 209 844 863"> 敷均し厚さ 転圧状況 各層毎400mに1回 〔施工中〕 修正状況 各層毎400mに1回 〔修正後〕 厚さ 1,000mmに1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は 写真不要 幅 各層毎80mに1回 〔修正後〕 </td> <td data-bbox="844 209 990 863">代表箇所 各1枚</td> <td data-bbox="990 209 1164 863">3-2-6-12</td> </tr> </table>							3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	3	コンクリート舗装工(セメント (石灰・瀝青)安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況 各層毎400mに1回 〔施工中〕 修正状況 各層毎400mに1回 〔修正後〕 厚さ 1,000mmに1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は 写真不要 幅 各層毎80mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	<p>コンクリート舗装工 (セメント (石灰・瀝青) 安定処理工)</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1209 209 1238 336">3 土木 工事 共通 編</td> <td data-bbox="1238 209 1267 304">2 一 般 施 工</td> <td data-bbox="1267 209 1296 304">6 一 般 舗 装 工</td> <td data-bbox="1296 209 1326 209">12</td> <td data-bbox="1326 209 1355 209">3</td> <td data-bbox="1355 209 1525 863">コンクリート舗装工(セメント (石灰・瀝青)安定処理工)</td> <td data-bbox="1525 209 1610 863"> 敷均し厚さ 転圧状況 各層毎400mに1回 〔施工中〕 修正状況 各層毎400mに1回 〔修正後〕 厚さ 1,000mmに1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」により「厚さあるい は標高較差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回 〔修正後〕 幅 各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層 毎1工事に1回 〔修正後〕 </td> <td data-bbox="1610 209 1756 863">代表箇所 各1枚</td> <td data-bbox="1756 209 1930 863">3-2-6-12</td> </tr> </table>							3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	3	コンクリート舗装工(セメント (石灰・瀝青)安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況 各層毎400mに1回 〔施工中〕 修正状況 各層毎400mに1回 〔修正後〕 厚さ 1,000mmに1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」により「厚さあるい は標高較差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回 〔修正後〕 幅 各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層 毎1工事に1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	III-19
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	3	コンクリート舗装工(セメント (石灰・瀝青)安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況 各層毎400mに1回 〔施工中〕 修正状況 各層毎400mに1回 〔修正後〕 厚さ 1,000mmに1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は 写真不要 幅 各層毎80mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12																									
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	3	コンクリート舗装工(セメント (石灰・瀝青)安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況 各層毎400mに1回 〔施工中〕 修正状況 各層毎400mに1回 〔修正後〕 厚さ 1,000mmに1回 〔修正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」により「厚さあるい は標高較差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回 〔修正後〕 幅 各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層 毎1工事に1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12																									
	<p>コンクリート舗装工 (アスファルト中間層)</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="443 903 472 1031">3 土木 工事 共通 編</td> <td data-bbox="472 903 501 999">2 一 般 施 工</td> <td data-bbox="501 903 530 999">6 一 般 舗 装 工</td> <td data-bbox="530 903 560 903">12</td> <td data-bbox="560 903 589 903">4</td> <td data-bbox="589 903 759 1294">コンクリート舗装工(アスファ ルト中間層)</td> <td data-bbox="759 903 844 1294"> 修正状況 400mに1回 〔修正後〕 タックコート、 プライムコート 各層毎に1回 〔散布時〕 幅 各層毎80mに1回 〔修正後〕 </td> <td data-bbox="844 903 990 1294">代表箇所 各1枚</td> <td data-bbox="990 903 1164 1294">3-2-6-12</td> </tr> </table>							3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	4	コンクリート舗装工(アスファ ルト中間層)	修正状況 400mに1回 〔修正後〕 タックコート、 プライムコート 各層毎に1回 〔散布時〕 幅 各層毎80mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	<p>コンクリート舗装工 (アスファルト中間層)</p> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1209 903 1238 1031">3 土木 工事 共通 編</td> <td data-bbox="1238 903 1267 999">2 一 般 施 工</td> <td data-bbox="1267 903 1296 999">6 一 般 舗 装 工</td> <td data-bbox="1296 903 1326 903">12</td> <td data-bbox="1326 903 1355 903">4</td> <td data-bbox="1355 903 1525 1294">コンクリート舗装工(アスファ ルト中間層)</td> <td data-bbox="1525 903 1610 1294"> 修正状況 400mに1回 〔修正後〕 タックコート、 プライムコート 各層毎に1回 〔散布時〕 幅 各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層 毎1工事に1回 〔修正後〕 </td> <td data-bbox="1610 903 1756 1294">代表箇所 各1枚</td> <td data-bbox="1756 903 1930 1294">3-2-6-12</td> </tr> </table>							3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	4	コンクリート舗装工(アスファ ルト中間層)	修正状況 400mに1回 〔修正後〕 タックコート、 プライムコート 各層毎に1回 〔散布時〕 幅 各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層 毎1工事に1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	III-19
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	4	コンクリート舗装工(アスファ ルト中間層)	修正状況 400mに1回 〔修正後〕 タックコート、 プライムコート 各層毎に1回 〔散布時〕 幅 各層毎80mに1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12																									
3 土木 工事 共通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	4	コンクリート舗装工(アスファ ルト中間層)	修正状況 400mに1回 〔修正後〕 タックコート、 プライムコート 各層毎に1回 〔散布時〕 幅 各層毎80mに1回 〔修正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層 毎1工事に1回 〔修正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12																									

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																																																																																																																								
	<p>コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">3 土木 工事 共通 編</td> <td style="width: 5%;">2 一般 施工</td> <td style="width: 5%;">6 一般 舗装 工</td> <td style="width: 5%;">12</td> <td style="width: 5%;">5</td> <td style="width: 20%;">コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工)</td> <td style="width: 15%;">石粉、 プライムコート</td> <td style="width: 15%;">各層毎に1回 【散布時】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-12</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>スリップバー、 タイバー寸 法、 位置</td> <td>80mに1回 【据付後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>鉄網寸法 位置</td> <td>80mに1回 【据付後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>平坦性</td> <td>1工事に1回 【実施中】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 【型枠据付後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>目地段差</td> <td>1工事に1回</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	5	コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工)	石粉、 プライムコート	各層毎に1回 【散布時】	代表箇所 各1枚	3-2-6-12							スリップバー、 タイバー寸 法、 位置	80mに1回 【据付後】									鉄網寸法 位置	80mに1回 【据付後】									平坦性	1工事に1回 【実施中】									厚さ	各層毎200mに1回 【型枠据付後】									目地段差	1工事に1回			<p>コンクリート舗装工 (コンクリート舗装版工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">3 土木 工事 共通 編</td> <td style="width: 5%;">2 一般 施工</td> <td style="width: 5%;">6 一般 舗装 工</td> <td style="width: 5%;">12</td> <td style="width: 5%;">5</td> <td style="width: 20%;">コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工)</td> <td style="width: 15%;">石粉、 プライムコート</td> <td style="width: 15%;">各層毎に1回 【散布時】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-12</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>スリップバー、 タイバー寸 法、 位置</td> <td>80mに1回 【据付後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>鉄網寸法 位置</td> <td>80mに1回 【据付後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>平坦性</td> <td>1工事に1回 【実施中】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 【型枠据付後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 【修正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>目地段差</td> <td>1工事に1回</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	5	コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工)	石粉、 プライムコート	各層毎に1回 【散布時】	代表箇所 各1枚	3-2-6-12							スリップバー、 タイバー寸 法、 位置	80mに1回 【据付後】									鉄網寸法 位置	80mに1回 【据付後】									平坦性	1工事に1回 【実施中】									厚さ	各層毎200mに1回 【型枠据付後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 【修正後】									目地段差	1工事に1回			III-20
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	5	コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工)	石粉、 プライムコート	各層毎に1回 【散布時】	代表箇所 各1枚	3-2-6-12																																																																																																																		
						スリップバー、 タイバー寸 法、 位置	80mに1回 【据付後】																																																																																																																				
						鉄網寸法 位置	80mに1回 【据付後】																																																																																																																				
						平坦性	1工事に1回 【実施中】																																																																																																																				
						厚さ	各層毎200mに1回 【型枠据付後】																																																																																																																				
						目地段差	1工事に1回																																																																																																																				
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	5	コンクリート舗装工(コンクリート舗装版工)	石粉、 プライムコート	各層毎に1回 【散布時】	代表箇所 各1枚	3-2-6-12																																																																																																																		
						スリップバー、 タイバー寸 法、 位置	80mに1回 【据付後】																																																																																																																				
						鉄網寸法 位置	80mに1回 【据付後】																																																																																																																				
						平坦性	1工事に1回 【実施中】																																																																																																																				
						厚さ	各層毎200mに1回 【型枠据付後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 【修正後】																																																																																																																				
						目地段差	1工事に1回																																																																																																																				
	<p>コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 下層路盤工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">3 土木 工事 共通 編</td> <td style="width: 5%;">2 一般 施工</td> <td style="width: 5%;">6 一般 舗装 工</td> <td style="width: 5%;">12</td> <td style="width: 5%;">6</td> <td style="width: 20%;">コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) 下層路盤工</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400mに1回 【施工中】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-12</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>転圧状況</td> <td>各層毎400mに1回 【修正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 【型枠据付後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 【修正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	6	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) 下層路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-12							転圧状況	各層毎400mに1回 【修正後】									厚さ	各層毎200mに1回 【型枠据付後】									幅	各層毎80mに1回 【修正後】			<p>コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工) 下層路盤工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%;">3 土木 工事 共通 編</td> <td style="width: 5%;">2 一般 施工</td> <td style="width: 5%;">6 一般 舗装 工</td> <td style="width: 5%;">12</td> <td style="width: 5%;">6</td> <td style="width: 20%;">コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) 下層路盤工</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400mに1回 【施工中】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-12</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>転圧状況</td> <td>各層毎400mに1回 【修正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 【型枠据付後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 【修正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 【修正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 【修正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	6	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) 下層路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-12							転圧状況	各層毎400mに1回 【修正後】									厚さ	各層毎200mに1回 【型枠据付後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 【修正後】									幅	各層毎80mに1回 【修正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 【修正後】			III-20																																								
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	6	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) 下層路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-12																																																																																																																		
						転圧状況	各層毎400mに1回 【修正後】																																																																																																																				
						厚さ	各層毎200mに1回 【型枠据付後】																																																																																																																				
						幅	各層毎80mに1回 【修正後】																																																																																																																				
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	6 一般 舗装 工	12	6	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) 下層路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-12																																																																																																																		
						転圧状況	各層毎400mに1回 【修正後】																																																																																																																				
						厚さ	各層毎200mに1回 【型枠据付後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 【修正後】																																																																																																																				
						幅	各層毎80mに1回 【修正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 【修正後】																																																																																																																				

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行							改定【改定箇所:赤字】							頁番号						
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	7	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) 粒度調整路盤工		敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	6 一 般 舗 装 工	12	7	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) 粒度調整路盤工		敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 【施工中】	3-2-6-12	III-21
					整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】	整正状況	各層毎400mに1回 【整正後】													
					厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】	厚さ	各層毎200mに1回 【整正後】 ただし「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回 【整正後】													
					幅	各層毎80mに1回 【整正後】	幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 【整正後】													

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																																																																				
	<p>コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工） セメント（石灰・瀝青）安定処理工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">12</td><td style="width: 2%;">8</td> <td rowspan="3" style="width: 20%;">コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400m²に1回 〔施工中〕</td> <td rowspan="3" style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td rowspan="3" style="width: 10%;">3-2-6-12</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400m²に1回 〔整正後〕</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>厚さ</td> <td>1,000m²に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は 写真不要</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	12	8	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400m ² に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12						整正状況	各層毎400m ² に1回 〔整正後〕						厚さ	1,000m ² に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は 写真不要							幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			<p>コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工） セメント（石灰・瀝青）安定処理工</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">12</td><td style="width: 2%;">8</td> <td rowspan="3" style="width: 20%;">コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400m²に1回 〔施工中〕</td> <td rowspan="3" style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td rowspan="3" style="width: 10%;">3-2-6-12</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400m²に1回 〔整正後〕</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>厚さ</td> <td>1,000m²に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」により「厚さあるい は標高較差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回 〔整正後〕</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層 毎1工事に1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	12	8	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400m ² に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12						整正状況	各層毎400m ² に1回 〔整正後〕						厚さ	1,000m ² に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」により「厚さあるい は標高較差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回 〔整正後〕							幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層 毎1工事に1回 〔整正後〕			III-21
3	2	6	12	8	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況		各層毎400m ² に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚			3-2-6-12																																																											
						整正状況		各層毎400m ² に1回 〔整正後〕																																																															
						厚さ	1,000m ² に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は 写真不要																																																																
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕																																																																
3	2	6	12	8	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) セメント(石灰・瀝青)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400m ² に1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12																																																														
						整正状況	各層毎400m ² に1回 〔整正後〕																																																																
						厚さ	1,000m ² に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」により「厚さあるい は標高較差」を管理する場合は各層毎1 工事に1回 〔整正後〕																																																																
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層 毎1工事に1回 〔整正後〕																																																																
	<p>コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工） アスファルト中間層</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">12</td><td style="width: 2%;">9</td> <td rowspan="3" style="width: 20%;">コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) アスファルト中間層</td> <td style="width: 15%;">整正状況</td> <td style="width: 15%;">400m²に1回 〔整正後〕</td> <td rowspan="3" style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td rowspan="3" style="width: 10%;">3-2-6-12</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>タックコート、 プライムコート</td> <td>各層毎に1回 〔散布時〕</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80m²に1回 〔整正後〕</td> </tr> </table>	3	2	6	12	9	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) アスファルト中間層	整正状況	400m ² に1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕						幅	各層毎80m ² に1回 〔整正後〕	<p>コンクリート舗装工（転圧コンクリート版工） アスファルト中間層</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">12</td><td style="width: 2%;">9</td> <td rowspan="3" style="width: 20%;">コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) アスファルト中間層</td> <td style="width: 15%;">整正状況</td> <td style="width: 15%;">400m²に1回 〔整正後〕</td> <td rowspan="3" style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td rowspan="3" style="width: 10%;">3-2-6-12</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>タックコート、 プライムコート</td> <td>各層毎に1回 〔散布時〕</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80m²に1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層 毎1工事に1回 〔整正後〕</td> </tr> </table>	3	2	6	12	9	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) アスファルト中間層	整正状況	400m ² に1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕						幅	各層毎80m ² に1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層 毎1工事に1回 〔整正後〕	III-21																				
3	2	6	12	9	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) アスファルト中間層	整正状況		400m ² に1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚			3-2-6-12																																																											
						タックコート、 プライムコート		各層毎に1回 〔散布時〕																																																															
						幅	各層毎80m ² に1回 〔整正後〕																																																																
3	2	6	12	9	コンクリート舗装工(転圧コンクリート版工) アスファルト中間層	整正状況	400m ² に1回 〔整正後〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12																																																														
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕																																																																
						幅	各層毎80m ² に1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)舗装工編 多点計測技 術(面管理の場合)」による場合は各層 毎1工事に1回 〔整正後〕																																																																

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

写真管理基準(案)

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																												
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	2 一 般 施 工	III-22																												
	6 一 般 舗 装 工	6 一 般 舗 装 工																													
	12	12																													
	10	10																													
	<p>コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 20%;">400mに1回 〔施工中〕</td> <td style="width: 15%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 50%;">3-2-6-12</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平坦性</td> <td>1工事に1回 〔実施中〕</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		敷均し厚さ 転圧状況	400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕			平坦性	1工事に1回 〔実施中〕																			
敷均し厚さ 転圧状況	400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12																												
厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕																														
平坦性	1工事に1回 〔実施中〕																														
	<p>コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 20%;">400mに1回 〔施工中〕</td> <td style="width: 15%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 50%;">3-2-6-12</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平坦性</td> <td>1工事に1回 〔実施中〕</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		敷均し厚さ 転圧状況	400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕			平坦性	1工事に1回 〔実施中〕																			
敷均し厚さ 転圧状況	400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12																												
厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕																														
平坦性	1工事に1回 〔実施中〕																														
3 土 木 工 事 共 通 編	2 一 般 施 工	2 一 般 施 工	III-22																												
	6 一 般 舗 装 工	6 一 般 舗 装 工																													
	12	12																													
	11	11																													
	<p>コンクリート舗装工 (連続鉄筋コンクリート舗装工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">石粉、 プライムコート</td> <td style="width: 20%;">各層毎に1回 〔散布時〕</td> <td style="width: 15%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 50%;">3-2-6-12</td> </tr> <tr> <td>鉄筋寸法、位 置</td> <td>80mに1回 〔据付後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>横膨張目地 部ダウエル バー寸法、位 置</td> <td>1施工箇所に1回 〔据付後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縦そり突合せ 目地部・縦そ りダミー目地 部タイバー寸 法、位置</td> <td>80mに1回 〔据付後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平坦性</td> <td>1工事に1回〔実施中〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム 工法の場合は打設前後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地段差</td> <td>1工事に1回</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		石粉、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	鉄筋寸法、位 置	80mに1回 〔据付後〕			横膨張目地 部ダウエル バー寸法、位 置	1施工箇所に1回 〔据付後〕			縦そり突合せ 目地部・縦そ りダミー目地 部タイバー寸 法、位置	80mに1回 〔据付後〕			平坦性	1工事に1回〔実施中〕			厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム 工法の場合は打設前後〕			目地段差	1工事に1回			
石粉、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12																												
鉄筋寸法、位 置	80mに1回 〔据付後〕																														
横膨張目地 部ダウエル バー寸法、位 置	1施工箇所に1回 〔据付後〕																														
縦そり突合せ 目地部・縦そ りダミー目地 部タイバー寸 法、位置	80mに1回 〔据付後〕																														
平坦性	1工事に1回〔実施中〕																														
厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム 工法の場合は打設前後〕																														
目地段差	1工事に1回																														
	<p>コンクリート舗装工 (転圧コンクリート版工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">石粉、 プライムコート</td> <td style="width: 20%;">各層毎に1回 〔散布時〕</td> <td style="width: 15%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 50%;">3-2-6-12</td> </tr> <tr> <td>鉄筋寸法、位 置</td> <td>80mに1回 〔据付後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>横膨張目地 部ダウエル バー寸法、位 置</td> <td>1施工箇所に1回 〔据付後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縦そり突合せ 目地部・縦そ りダミー目地 部タイバー寸 法、位置</td> <td>80mに1回 〔据付後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>平坦性</td> <td>1工事に1回 〔実施中〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工法の場合は打設前 後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目地段差</td> <td>1工事に1回</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		石粉、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12	鉄筋寸法、位 置	80mに1回 〔据付後〕			横膨張目地 部ダウエル バー寸法、位 置	1施工箇所に1回 〔据付後〕			縦そり突合せ 目地部・縦そ りダミー目地 部タイバー寸 法、位置	80mに1回 〔据付後〕			平坦性	1工事に1回 〔実施中〕			厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工法の場合は打設前 後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕			目地段差	1工事に1回			
石粉、 プライムコート	各層毎に1回 〔散布時〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-12																												
鉄筋寸法、位 置	80mに1回 〔据付後〕																														
横膨張目地 部ダウエル バー寸法、位 置	1施工箇所に1回 〔据付後〕																														
縦そり突合せ 目地部・縦そ りダミー目地 部タイバー寸 法、位置	80mに1回 〔据付後〕																														
平坦性	1工事に1回 〔実施中〕																														
厚さ	各層毎200mに1回 〔型枠据付後〕 〔スリップフォーム工法の場合は打設前 後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」により「厚さあるいは標高較差」を管理する場合は各層毎1工事に1回〔修正後〕																														
目地段差	1工事に1回																														

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

写真管理基準(案)

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																																																																																
	薄層カラー舗装工(下層路盤工) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">13</td><td style="width: 2%;">1</td> <td style="width: 15%;">薄層カラー舗装工(下層路盤工)</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400mに1回 〔施工中〕</td> <td style="width: 15%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-13</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400mに1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	13	1	薄層カラー舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13							整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			薄層カラー舗装工(下層路盤工) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">13</td><td style="width: 2%;">1</td> <td style="width: 15%;">薄層カラー舗装工(下層路盤工)</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400mに1回 〔施工中〕</td> <td style="width: 15%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-13</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400mに1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	13	1	薄層カラー舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13							整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕			III-22
	3	2	6	13	1	薄層カラー舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13																																																																									
							整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕																																																																											
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕																																																																												
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕																																																																												
3	2	6	13	1	薄層カラー舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13																																																																										
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕																																																																												
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕																																																																												
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕																																																																												
	薄層カラー舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">13</td><td style="width: 2%;">2</td> <td style="width: 15%;">薄層カラー舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400mに1回 〔施工中〕</td> <td style="width: 15%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-13</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400mに1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	13	2	薄層カラー舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13							整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			薄層カラー舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">13</td><td style="width: 2%;">2</td> <td style="width: 15%;">薄層カラー舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400mに1回 〔施工中〕</td> <td style="width: 15%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-13</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400mに1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200mに1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	13	2	薄層カラー舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13							整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕									厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕			III-23
	3	2	6	13	2	薄層カラー舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13																																																																									
							整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕																																																																											
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕																																																																												
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕																																																																												
3	2	6	13	2	薄層カラー舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13																																																																										
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕																																																																												
						厚さ	各層毎200mに1回 〔整正後〕																																																																												
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕																																																																												
	薄層カラー舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">13</td><td style="width: 2%;">3</td> <td style="width: 15%;">薄層カラー舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400mに1回 〔施工中〕</td> <td style="width: 15%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-13</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400mに1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	13	3	薄層カラー舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13							整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕									厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕			薄層カラー舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">13</td><td style="width: 2%;">3</td> <td style="width: 15%;">薄層カラー舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400mに1回 〔施工中〕</td> <td style="width: 15%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-13</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400mに1回 〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	13	3	薄層カラー舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13							整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕									厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要									幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕			III-23
	3	2	6	13	3	薄層カラー舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13																																																																									
							整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕																																																																											
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要																																																																												
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕																																																																												
3	2	6	13	3	薄層カラー舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400mに1回 〔施工中〕	代表箇所 各1枚	3-2-6-13																																																																										
						整正状況	各層毎400mに1回 〔整正後〕																																																																												
						厚さ	1,000㎡に1回 〔整正後〕 ※コアを採取した場合は写真不要																																																																												
						幅	各層毎80mに1回 〔整正後〕 ただし「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回〔整正後〕																																																																												

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																																																																																
	<p>薄層カラー舗装工(加熱アスファルト安定処理工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 3%;">3</td> <td style="width: 3%;">2</td> <td style="width: 3%;">6</td> <td style="width: 3%;">13</td> <td style="width: 3%;">4</td> <td style="width: 30%;">薄層カラー舗装工(加熱アスファルト安定処理工)</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400m²に1回 【施工中】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-13</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400m²に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	13	4	薄層カラー舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400m ² に1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-13							整正状況	各層毎400m ² に1回 【整正後】									幅	各層毎80mに1回 【整正後】			<p>薄層カラー舗装工(加熱アスファルト安定処理工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 3%;">3</td> <td style="width: 3%;">2</td> <td style="width: 3%;">6</td> <td style="width: 3%;">13</td> <td style="width: 3%;">4</td> <td style="width: 30%;">薄層カラー舗装工(加熱アスファルト安定処理工)</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400m²に1回 【施工中】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-13</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400m²に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	13	4	薄層カラー舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400m ² に1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-13							整正状況	各層毎400m ² に1回 【整正後】									幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回【整正後】			III-23																				
3	2	6	13	4	薄層カラー舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400m ² に1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-13																																																																										
						整正状況	各層毎400m ² に1回 【整正後】																																																																												
						幅	各層毎80mに1回 【整正後】																																																																												
3	2	6	13	4	薄層カラー舗装工(加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400m ² に1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-13																																																																										
						整正状況	各層毎400m ² に1回 【整正後】																																																																												
						幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回【整正後】																																																																												
	<p>薄層カラー舗装工(基層工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 3%;">3</td> <td style="width: 3%;">2</td> <td style="width: 3%;">6</td> <td style="width: 3%;">13</td> <td style="width: 3%;">5</td> <td style="width: 30%;">薄層カラー舗装工(基層工)</td> <td style="width: 15%;">整正状況</td> <td style="width: 15%;">400m²に1回 【整正後】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-13</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>タックコート、 プライムコート</td> <td>各層毎に1回 【散布時】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>1,000m²に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	13	5	薄層カラー舗装工(基層工)	整正状況	400m ² に1回 【整正後】	代表箇所 各1枚	3-2-6-13							タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 【散布時】									厚さ	1,000m ² に1回 【整正後】									幅	各層毎80mに1回 【整正後】			<p>薄層カラー舗装工(基層工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 3%;">3</td> <td style="width: 3%;">2</td> <td style="width: 3%;">6</td> <td style="width: 3%;">13</td> <td style="width: 3%;">5</td> <td style="width: 30%;">薄層カラー舗装工(基層工)</td> <td style="width: 15%;">整正状況</td> <td style="width: 15%;">400m²に1回 【整正後】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-13</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>タックコート、 プライムコート</td> <td>各層毎に1回 【散布時】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>1,000m²に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	13	5	薄層カラー舗装工(基層工)	整正状況	400m ² に1回 【整正後】	代表箇所 各1枚	3-2-6-13							タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 【散布時】									厚さ	1,000m ² に1回 【整正後】									幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回【整正後】			III-23
3	2	6	13	5	薄層カラー舗装工(基層工)	整正状況	400m ² に1回 【整正後】	代表箇所 各1枚	3-2-6-13																																																																										
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 【散布時】																																																																												
						厚さ	1,000m ² に1回 【整正後】																																																																												
						幅	各層毎80mに1回 【整正後】																																																																												
3	2	6	13	5	薄層カラー舗装工(基層工)	整正状況	400m ² に1回 【整正後】	代表箇所 各1枚	3-2-6-13																																																																										
						タックコート、 プライムコート	各層毎に1回 【散布時】																																																																												
						厚さ	1,000m ² に1回 【整正後】																																																																												
						幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回【整正後】																																																																												
	<p>ブロック舗装工(下層路盤工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 3%;">3</td> <td style="width: 3%;">2</td> <td style="width: 3%;">6</td> <td style="width: 3%;">14</td> <td style="width: 3%;">1</td> <td style="width: 30%;">ブロック舗装工(下層路盤工)</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400m²に1回 【施工中】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-14</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400m²に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200m²に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	14	1	ブロック舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400m ² に1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-14							整正状況	各層毎400m ² に1回 【整正後】									厚さ	各層毎200m ² に1回 【整正後】									幅	各層毎80mに1回 【整正後】			<p>ブロック舗装工(下層路盤工)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 3%;">3</td> <td style="width: 3%;">2</td> <td style="width: 3%;">6</td> <td style="width: 3%;">14</td> <td style="width: 3%;">1</td> <td style="width: 30%;">ブロック舗装工(下層路盤工)</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400m²に1回 【施工中】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-14</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400m²に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200m²に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	14	1	ブロック舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400m ² に1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-14							整正状況	各層毎400m ² に1回 【整正後】									厚さ	各層毎200m ² に1回 【整正後】									幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回【整正後】			III-24
3	2	6	14	1	ブロック舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400m ² に1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-14																																																																										
						整正状況	各層毎400m ² に1回 【整正後】																																																																												
						厚さ	各層毎200m ² に1回 【整正後】																																																																												
						幅	各層毎80mに1回 【整正後】																																																																												
3	2	6	14	1	ブロック舗装工(下層路盤工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400m ² に1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-14																																																																										
						整正状況	各層毎400m ² に1回 【整正後】																																																																												
						厚さ	各層毎200m ² に1回 【整正後】																																																																												
						幅	各層毎80mに1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回【整正後】																																																																												

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

写真管理基準(案)

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																																																																																
	ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	ブロック舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	III-24																																																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">14</td><td style="width: 2%;">2</td> <td style="width: 20%;">ブロック舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400㎡に1回 【施工中】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-14</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400㎡に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200㎡に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80㎡に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3		2	6	14	2	ブロック舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400㎡に1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-14							整正状況	各層毎400㎡に1回 【整正後】									厚さ	各層毎200㎡に1回 【整正後】									幅	各層毎80㎡に1回 【整正後】			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">14</td><td style="width: 2%;">2</td> <td style="width: 20%;">ブロック舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400㎡に1回 【施工中】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-14</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400㎡に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200㎡に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80㎡に1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	14	2	ブロック舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400㎡に1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-14							整正状況	各層毎400㎡に1回 【整正後】									厚さ	各層毎200㎡に1回 【整正後】									幅	各層毎80㎡に1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 【整正後】		
	3	2		6	14	2	ブロック舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400㎡に1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-14																																																																								
						整正状況	各層毎400㎡に1回 【整正後】																																																																												
						厚さ	各層毎200㎡に1回 【整正後】																																																																												
						幅	各層毎80㎡に1回 【整正後】																																																																												
3	2	6	14	2	ブロック舗装工(上層路盤工) 粒度調整路盤工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400㎡に1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-14																																																																										
						整正状況	各層毎400㎡に1回 【整正後】																																																																												
						厚さ	各層毎200㎡に1回 【整正後】																																																																												
						幅	各層毎80㎡に1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 【整正後】																																																																												
	ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	ブロック舗装工 (上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	III-24																																																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">14</td><td style="width: 2%;">3</td> <td style="width: 20%;">ブロック舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400㎡に1回 【施工中】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-14</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400㎡に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200㎡に1回 【整正後】 ※コアを採取した場合は 写真不要</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80㎡に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3		2	6	14	3	ブロック舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400㎡に1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-14							整正状況	各層毎400㎡に1回 【整正後】									厚さ	各層毎200㎡に1回 【整正後】 ※コアを採取した場合は 写真不要									幅	各層毎80㎡に1回 【整正後】			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">14</td><td style="width: 2%;">3</td> <td style="width: 20%;">ブロック舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400㎡に1回 【施工中】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-14</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400㎡に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>厚さ</td> <td>各層毎200㎡に1回 【整正後】 ※コアを採取した場合は 写真不要</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80㎡に1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	14	3	ブロック舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400㎡に1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-14							整正状況	各層毎400㎡に1回 【整正後】									厚さ	各層毎200㎡に1回 【整正後】 ※コアを採取した場合は 写真不要									幅	各層毎80㎡に1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 【整正後】		
	3	2		6	14	3	ブロック舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400㎡に1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-14																																																																								
						整正状況	各層毎400㎡に1回 【整正後】																																																																												
						厚さ	各層毎200㎡に1回 【整正後】 ※コアを採取した場合は 写真不要																																																																												
						幅	各層毎80㎡に1回 【整正後】																																																																												
3	2	6	14	3	ブロック舗装工(上層路盤工) セメント(石灰)安定処理工	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400㎡に1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-14																																																																										
						整正状況	各層毎400㎡に1回 【整正後】																																																																												
						厚さ	各層毎200㎡に1回 【整正後】 ※コアを採取した場合は 写真不要																																																																												
						幅	各層毎80㎡に1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 【整正後】																																																																												
	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	III-24																																																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">14</td><td style="width: 2%;">4</td> <td style="width: 20%;">ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400㎡に1回 【施工中】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-14</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400㎡に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80㎡に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3		2	6	14	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400㎡に1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-14							整正状況	各層毎400㎡に1回 【整正後】									幅	各層毎80㎡に1回 【整正後】			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">14</td><td style="width: 2%;">4</td> <td style="width: 20%;">ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)</td> <td style="width: 15%;">敷均し厚さ 転圧状況</td> <td style="width: 15%;">各層毎400㎡に1回 【施工中】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-14</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>整正状況</td> <td>各層毎400㎡に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> <td></td> <td>幅</td> <td>各層毎80㎡に1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 【整正後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	3	2	6	14	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400㎡に1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-14							整正状況	各層毎400㎡に1回 【整正後】									幅	各層毎80㎡に1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 【整正後】																						
	3	2		6	14	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400㎡に1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-14																																																																								
						整正状況	各層毎400㎡に1回 【整正後】																																																																												
						幅	各層毎80㎡に1回 【整正後】																																																																												
3	2	6	14	4	ブロック舗装工 (加熱アスファルト安定処理工)	敷均し厚さ 転圧状況	各層毎400㎡に1回 【施工中】	代表箇所 各1枚	3-2-6-14																																																																										
						整正状況	各層毎400㎡に1回 【整正後】																																																																												
						幅	各層毎80㎡に1回 【整正後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は各層毎1工事に1回 【整正後】																																																																												
	路面切削工	路面切削工	III-25																																																																																
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">15</td> <td style="width: 20%;">路面切削工</td> <td style="width: 15%;">幅 厚さ</td> <td style="width: 15%;">1施工箇所1回 【施工後】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-15</td> </tr> </table>	3		2	6	15	路面切削工	幅 厚さ	1施工箇所1回 【施工後】	代表箇所 各1枚	3-2-6-15	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 2%;">3</td><td style="width: 2%;">2</td><td style="width: 2%;">6</td><td style="width: 2%;">15</td> <td style="width: 20%;">路面切削工</td> <td style="width: 15%;">幅 厚さ(基準高)</td> <td style="width: 15%;">1施工箇所1回 【施工後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は1工事に1回 【施工後】</td> <td style="width: 10%;">代表箇所 各1枚</td> <td style="width: 10%;">3-2-6-15</td> </tr> </table>	3	2	6	15	路面切削工	幅 厚さ(基準高)	1施工箇所1回 【施工後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は1工事に1回 【施工後】	代表箇所 各1枚	3-2-6-15																																																														
3	2	6	15	路面切削工	幅 厚さ	1施工箇所1回 【施工後】	代表箇所 各1枚	3-2-6-15																																																																											
3	2	6	15	路面切削工	幅 厚さ(基準高)	1施工箇所1回 【施工後】 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編 多点計測技術(面管理の場合)」による場合は1工事に1回 【施工後】	代表箇所 各1枚	3-2-6-15																																																																											

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

写真管理基準(案)

項目	現行							改定【改定箇所:赤字】							頁番号																																								
第7節 地盤改良工	固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工) <table border="1"> <tr> <td>3 土木 工事 共通 編</td> <td>2 一般 施工</td> <td>7 地盤 改良 工</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)</td> <td>位置・間隔 杭径</td> <td>1施工箇所につき1回 【打込後】</td> <td>代表箇所 各1枚</td> <td>3-2-7-9</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>深度</td> <td>1施工箇所につき1回 【打込前後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	7 地盤 改良 工	9	1	固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔 杭径	1施工箇所につき1回 【打込後】	代表箇所 各1枚	3-2-7-9							深度	1施工箇所につき1回 【打込前後】			固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工) <table border="1"> <tr> <td>3 土木 工事 共通 編</td> <td>2 一般 施工</td> <td>7 地盤 改良 工</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)</td> <td>位置・間隔 杭径</td> <td>1施工箇所につき1回 【打込後】</td> <td>代表箇所 各1枚</td> <td>3-2-7-9</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>深度</td> <td>1施工箇所につき1回 【打込前後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>ただし、「(スラリー攪拌工)において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)固結工(スラリー攪拌工)編」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。</p>							3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	7 地盤 改良 工	9	1	固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔 杭径	1施工箇所につき1回 【打込後】	代表箇所 各1枚	3-2-7-9							深度	1施工箇所につき1回 【打込前後】			III-26
	3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	7 地盤 改良 工	9	1	固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔 杭径	1施工箇所につき1回 【打込後】	代表箇所 各1枚	3-2-7-9																																													
						深度	1施工箇所につき1回 【打込前後】																																																
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	7 地盤 改良 工	9	1	固結工 (粉末噴射攪拌工) (高圧噴射攪拌工) (スラリー攪拌工) (生石灰パイル工)	位置・間隔 杭径	1施工箇所につき1回 【打込後】	代表箇所 各1枚	3-2-7-9																																														
						深度	1施工箇所につき1回 【打込前後】																																																
第7節 地盤改良工	固結工 (中層混合処理) <table border="1"> <tr> <td>3 土木 工事 共通 編</td> <td>2 一般 施工</td> <td>7 地盤 改良 工</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>固結工 (中層混合処理)</td> <td>施工厚さ 幅</td> <td>1,000m3~4,000m3につ き1回、又は施工延長 40m(測点間隔25mの場 合)は50m)につき1回、 【施工厚さ 施工中】 【幅 施工後】</td> <td>代表箇所 各1枚</td> <td>3-2-7-9</td> </tr> </table>							3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	7 地盤 改良 工	9	2	固結工 (中層混合処理)	施工厚さ 幅	1,000m3~4,000m3につ き1回、又は施工延長 40m(測点間隔25mの場 合)は50m)につき1回、 【施工厚さ 施工中】 【幅 施工後】	代表箇所 各1枚	3-2-7-9	固結工 (中層混合処理) <table border="1"> <tr> <td>3 土木 工事 共通 編</td> <td>2 一般 施工</td> <td>7 地盤 改良 工</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>固結工 (中層混合処理)</td> <td>施工厚さ 幅</td> <td>1,000m³~4,000m³につ き1回、又は施工 延長40m(測点間隔25mの場 合)は50m)につ き1回、 【施工厚さ 施工中】 【幅 施工後】</td> <td>代表箇所 各1枚</td> <td>3-2-7-9</td> </tr> </table> <p>ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)表層安定処理等・固結工(中層混合処理)編」により出来形管理資料を提出する場合は、出来形管理に関わる写真管理項目を省略できる。</p>							3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	7 地盤 改良 工	9	2	固結工 (中層混合処理)	施工厚さ 幅	1,000m ³ ~4,000m ³ につ き1回、又は施工 延長40m(測点間隔25mの場 合)は50m)につ き1回、 【施工厚さ 施工中】 【幅 施工後】	代表箇所 各1枚	3-2-7-9	III-26																				
	3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	7 地盤 改良 工	9	2	固結工 (中層混合処理)	施工厚さ 幅	1,000m3~4,000m3につ き1回、又は施工延長 40m(測点間隔25mの場 合)は50m)につき1回、 【施工厚さ 施工中】 【幅 施工後】	代表箇所 各1枚	3-2-7-9																																													
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	7 地盤 改良 工	9	2	固結工 (中層混合処理)	施工厚さ 幅	1,000m ³ ~4,000m ³ につ き1回、又は施工 延長40m(測点間隔25mの場 合)は50m)につ き1回、 【施工厚さ 施工中】 【幅 施工後】	代表箇所 各1枚	3-2-7-9																																														
第10節 仮設工	法面吹付工 <table border="1"> <tr> <td>3 土木 工事 共通 編</td> <td>2 一般 施工</td> <td>10 仮設 工</td> <td>22</td> <td></td> <td>法面吹付工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	10 仮設 工	22		法面吹付工					<table border="1"> <tr> <td>3 土木 工事 共通 編</td> <td>2 一般 施工</td> <td>10 仮設 工</td> <td>22</td> <td></td> <td>法面吹付工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>第3編2-14-3吹付工に準ずる</p>							3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	10 仮設 工	22		法面吹付工					III-27																				
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	10 仮設 工	22		法面吹付工																																																		
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	10 仮設 工	22		法面吹付工																																																		
第14節 法面工	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工) <table border="1"> <tr> <td>3 土木 工事 共通 編</td> <td>2 一般 施工</td> <td>14 法面 工</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)</td> <td>法長、 幅、 高さ、 枠中心間隔</td> <td>200m又は1施工箇所 につき1回 【施工後】</td> <td>代表箇所 各1枚</td> <td>3-2-14-4</td> </tr> </table>							3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	14 法面 工	4	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長、 幅、 高さ、 枠中心間隔	200m又は1施工箇所 につき1回 【施工後】	代表箇所 各1枚	3-2-14-4	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工) <table border="1"> <tr> <td>3 土木 工事 共通 編</td> <td>2 一般 施工</td> <td>14 法面 工</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)</td> <td>法長、 幅、 高さ、 枠中心間隔</td> <td>200m又は1施工箇所 につき1回 【施工後】</td> <td>代表箇所 各1枚</td> <td>3-2-14-4</td> </tr> </table> <p>ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)法面工編」に基づき写真測量に用いた画像を納品する場合は、写真管理に代えることが出来る。</p>							3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	14 法面 工	4	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長、 幅、 高さ、 枠中心間隔	200m又は1施工箇所 につき1回 【施工後】	代表箇所 各1枚	3-2-14-4	III-31																				
	3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	14 法面 工	4	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長、 幅、 高さ、 枠中心間隔	200m又は1施工箇所 につき1回 【施工後】	代表箇所 各1枚	3-2-14-4																																													
3 土木 工事 共通 編	2 一般 施工	14 法面 工	4	1	法枠工 (現場打法枠工) (現場吹付法枠工)	法長、 幅、 高さ、 枠中心間隔	200m又は1施工箇所 につき1回 【施工後】	代表箇所 各1枚	3-2-14-4																																														
第8編 砂防編 第3章 斜面対策 第9節 抑止杭工	合成杭工 <table border="1"> <tr> <td>8 砂防 編</td> <td>3 斜面 対策</td> <td>9 抑止 杭工</td> <td>6</td> <td></td> <td>合成杭工</td> <td>偏心量</td> <td>1施工箇所につき1回 【施工後】</td> <td>代表箇所 各1枚</td> <td>8-3-9-6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>数量</td> <td>全数量 【打込後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							8 砂防 編	3 斜面 対策	9 抑止 杭工	6		合成杭工	偏心量	1施工箇所につき1回 【施工後】	代表箇所 各1枚	8-3-9-6							数量	全数量 【打込後】			合成杭工 <table border="1"> <tr> <td>8 砂防 編</td> <td>3 斜面 対策</td> <td>9 抑止 杭工</td> <td>6</td> <td></td> <td>合成杭工</td> <td>偏心量</td> <td>1施工箇所につき1回 【施工後】</td> <td>代表箇所 各1枚</td> <td>8-3-9-6</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>数量</td> <td>全数量 【打込後】</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							8 砂防 編	3 斜面 対策	9 抑止 杭工	6		合成杭工	偏心量	1施工箇所につき1回 【施工後】	代表箇所 各1枚	8-3-9-6							数量	全数量 【打込後】			III-41
8 砂防 編	3 斜面 対策	9 抑止 杭工	6		合成杭工	偏心量	1施工箇所につき1回 【施工後】	代表箇所 各1枚	8-3-9-6																																														
						数量	全数量 【打込後】																																																
8 砂防 編	3 斜面 対策	9 抑止 杭工	6		合成杭工	偏心量	1施工箇所につき1回 【施工後】	代表箇所 各1枚	8-3-9-6																																														
						数量	全数量 【打込後】																																																

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行								改定【改定箇所:赤字】								頁番号																																		
第10編 道路編 第3章 橋梁下部 第3節 工場製作工	橋台躯体工 <table border="1" data-bbox="436 209 1164 347"> <tr> <td>10 道路 編</td> <td>3 橋梁 下部</td> <td>6 橋台 工</td> <td>8</td> <td>橋台躯体工</td> <td>厚さ 天端幅(橋軸 方向) 敷幅(橋軸方 向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長</td> <td>全数量 〔型枠取外し後〕</td> <td>代表箇所 各1枚</td> <td>10-3-6-8</td> </tr> </table>								10 道路 編	3 橋梁 下部	6 橋台 工	8	橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸 方向) 敷幅(橋軸方 向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	10-3-6-8	橋台躯体工 <table border="1" data-bbox="1202 209 1930 347"> <tr> <td>10 道路 編</td> <td>3 橋梁 下部</td> <td>6 橋台 工</td> <td>8</td> <td>橋台躯体工</td> <td>厚さ 天端幅(橋軸 方向) 敷幅(橋軸方 向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長</td> <td>全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)構造物工編(試行)」に より出来形管理資料を提出する場合は、 出来形計測状況を1工事1回</td> <td>10-3-6-8</td> </tr> </table>								10 道路 編	3 橋梁 下部	6 橋台 工	8	橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸 方向) 敷幅(橋軸方 向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)構造物工編(試行)」に より出来形管理資料を提出する場合は、 出来形計測状況を1工事1回	10-3-6-8	III-46																	
	10 道路 編	3 橋梁 下部	6 橋台 工	8	橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸 方向) 敷幅(橋軸方 向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	10-3-6-8																																										
	10 道路 編	3 橋梁 下部	6 橋台 工	8	橋台躯体工	厚さ 天端幅(橋軸 方向) 敷幅(橋軸方 向) 高さ 胸壁の高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)構造物工編(試行)」に より出来形管理資料を提出する場合は、 出来形計測状況を1工事1回	10-3-6-8																																											
橋脚躯体工(張出式) <table border="1" data-bbox="436 400 1164 539"> <tr> <td>10 道路 編</td> <td>3 橋梁 下部</td> <td>7 RC 橋脚 工</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>橋脚躯体工 (張出式)</td> <td>厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長</td> <td>全数量 〔型枠取外し後〕</td> <td>代表箇所 各1枚</td> <td>10-3-7-9</td> </tr> </table>								10 道路 編	3 橋梁 下部	7 RC 橋脚 工	9	1	橋脚躯体工 (張出式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	10-3-7-9	橋脚躯体工(張出式) <table border="1" data-bbox="1202 400 1930 539"> <tr> <td>10 道路 編</td> <td>3 橋梁 下部</td> <td>7 RC 橋脚 工</td> <td>9</td> <td>1</td> <td>橋脚躯体工 (張出式)</td> <td>厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長</td> <td>全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)構造物工編(試行)」に より出来形管理資料を提出する場合は、 出来形計測状況を1工事1回</td> <td>10-3-7-9</td> </tr> </table>								10 道路 編	3 橋梁 下部	7 RC 橋脚 工	9	1	橋脚躯体工 (張出式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)構造物工編(試行)」に より出来形管理資料を提出する場合は、 出来形計測状況を1工事1回	10-3-7-9	III-46																
10 道路 編	3 橋梁 下部	7 RC 橋脚 工	9	1	橋脚躯体工 (張出式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	10-3-7-9																																										
10 道路 編	3 橋梁 下部	7 RC 橋脚 工	9	1	橋脚躯体工 (張出式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 天端長 敷長	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)構造物工編(試行)」に より出来形管理資料を提出する場合は、 出来形計測状況を1工事1回	10-3-7-9																																											
橋脚躯体工(ラーメン式) <table border="1" data-bbox="436 592 1164 730"> <tr> <td>10 道路 編</td> <td>3 橋梁 下部</td> <td>7 RC 橋脚 工</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>橋脚躯体工(ラーメン式)</td> <td>厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ</td> <td>全数量 〔型枠取外し後〕</td> <td>代表箇所 各1枚</td> <td>10-3-7-9</td> </tr> </table>								10 道路 編	3 橋梁 下部	7 RC 橋脚 工	9	2	橋脚躯体工(ラーメン式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	10-3-7-9	橋脚躯体工(ラーメン式) <table border="1" data-bbox="1202 592 1930 730"> <tr> <td>10 道路 編</td> <td>3 橋梁 下部</td> <td>7 RC 橋脚 工</td> <td>9</td> <td>2</td> <td>橋脚躯体工(ラーメン式)</td> <td>厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ</td> <td>全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)構造物工編(試行)」に より出来形管理資料を提出する場合は、 出来形計測状況を1工事1回</td> <td>10-3-7-9</td> </tr> </table>								10 道路 編	3 橋梁 下部	7 RC 橋脚 工	9	2	橋脚躯体工(ラーメン式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)構造物工編(試行)」に より出来形管理資料を提出する場合は、 出来形計測状況を1工事1回	10-3-7-9	III-46																
10 道路 編	3 橋梁 下部	7 RC 橋脚 工	9	2	橋脚躯体工(ラーメン式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕	代表箇所 各1枚	10-3-7-9																																										
10 道路 編	3 橋梁 下部	7 RC 橋脚 工	9	2	橋脚躯体工(ラーメン式)	厚さ 天端幅 敷幅 高さ 長さ	全数量 〔型枠取外し後〕 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)構造物工編(試行)」に より出来形管理資料を提出する場合は、 出来形計測状況を1工事1回	10-3-7-9																																											
その他 トンネル関係	トンネル矢板工 <table border="1" data-bbox="436 791 1164 1058"> <tr> <td rowspan="4">トンネル矢板工</td> <td>岩質</td> <td>岩質の変わる毎に1回 〔掘削中〕</td> <td>代表箇所 各1枚</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>湧水状況</td> <td>適宜〔掘削中〕</td> <td>代表箇所 各1枚</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>埋設支保工 (建込間隔、 寸法、基数)</td> <td>100m又は1施工箇所 に1回 〔建込後〕</td> <td>代表箇所 各1枚</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>湧水処理工 設置状況</td> <td>全数量〔設置後〕</td> <td>代表箇所 各1枚</td> <td>その他</td> </tr> </table>								トンネル矢板工	岩質	岩質の変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	その他	湧水状況	適宜〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	その他	埋設支保工 (建込間隔、 寸法、基数)	100m又は1施工箇所 に1回 〔建込後〕	代表箇所 各1枚	その他	湧水処理工 設置状況	全数量〔設置後〕	代表箇所 各1枚	その他	トンネル(矢板工法) <table border="1" data-bbox="1202 791 1930 1058"> <tr> <td rowspan="4">トンネル (矢板工法)</td> <td>岩質</td> <td>岩質の変わる毎に1回 〔掘削中〕</td> <td>代表箇所 各1枚</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>湧水状況</td> <td>適宜 〔掘削中〕</td> <td>代表箇所 各1枚</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>埋設支保工 (建込間隔、 寸法、基数)</td> <td>100m又は1施工箇所 に1回 〔建込後〕</td> <td>代表箇所 各1枚</td> <td>その他</td> </tr> <tr> <td>湧水処理工 設置状況</td> <td>全数量 〔設置後〕</td> <td>代表箇所 各1枚</td> <td>その他</td> </tr> </table>								トンネル (矢板工法)	岩質	岩質の変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	その他	湧水状況	適宜 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	その他	埋設支保工 (建込間隔、 寸法、基数)	100m又は1施工箇所 に1回 〔建込後〕	代表箇所 各1枚	その他	湧水処理工 設置状況	全数量 〔設置後〕	代表箇所 各1枚	その他	III-52
トンネル矢板工	岩質	岩質の変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	その他																																															
	湧水状況	適宜〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	その他																																															
	埋設支保工 (建込間隔、 寸法、基数)	100m又は1施工箇所 に1回 〔建込後〕	代表箇所 各1枚	その他																																															
	湧水処理工 設置状況	全数量〔設置後〕	代表箇所 各1枚	その他																																															
トンネル (矢板工法)	岩質	岩質の変わる毎に1回 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	その他																																															
	湧水状況	適宜 〔掘削中〕	代表箇所 各1枚	その他																																															
	埋設支保工 (建込間隔、 寸法、基数)	100m又は1施工箇所 に1回 〔建込後〕	代表箇所 各1枚	その他																																															
	湧水処理工 設置状況	全数量 〔設置後〕	代表箇所 各1枚	その他																																															

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

写真管理基準(案)

項目	現行					改定【改定箇所:赤字】					頁番号
	トンネル(矢板工法)	集水渠(幅、高さ、位置)	100m又は1施工箇所 に1回 〔設置後〕	代表箇所 各1枚	その他	トンネル(矢板工法)	集水渠(幅、高さ、位置)	100m又は1施工箇所 に1回 〔設置後〕	その他		III-53
		地下排水工 (管接合据付 状況)					地下排水工 (管接合据付 状況)				
		地下排水工 (フィルター厚 さ)	100m又は1施工箇所 に1回 〔投入前後〕	代表箇所 各1枚	その他		地下排水工 (フィルター厚 さ)	100m又は1施工箇所 に1回 〔投入前後〕	その他		
		矢板設置状 況	岩質の変わる毎に1回 〔掘削中〕		その他		矢板設置状 況	岩質の変わる毎に1回 〔設置後〕	その他		
		グラウト材料 使用量	全数量 〔設置後〕		その他		グラウト材料 使用量	全数量 〔使用前後〕	その他		
フィルムカメラを使用した場合 の写真管理基準(案)	<p>〔撮影〕</p> <p>3. 工事写真の撮影は以下の要領で行う。</p> <p>(3) 情報化施工及び3次元データによる施工管理</p> <p>「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。</p>					<p>〔撮影〕</p> <p>3. 工事写真の撮影は以下の要領で行う。</p> <p>(3) 情報化施工及び3次元データによる施工管理</p> <p>「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「RTK-GNSSを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「空中写真測量(無人航空機)を用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(土工編)(案)」、「地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS等光波方式を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」、「TS(ノンプリズム方式)を用いた出来形管理要領(舗装工事編)(案)」による出来形管理を行った場合には、出来形管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。</p> <p>また、「TS・GNSSを用いた盛土の締め管理要領」による品質管理を行った場合には、品質管理写真の撮影頻度及び撮影方法は、写真管理基準のほか、同要領の規定による。</p>					別紙-2

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号
プレキャスト製品の確認要領			
【2】総則	<p>(1) JIS製品</p> <p>① JIS製品を使用する場合は、〔4〕に示す外観確認を除いて、他の確認は省略することができる。</p> <p>② 請負業者は落札後セメントコンクリート二次製品を選定し、日本工業規格表示許可書及び表示許可品目の写しと使用報告書(別冊様式集)を提出すること。</p> <p>③ 現場においては、JISマークを確認できるよう設置すること。</p>	<p>(1) JIS製品</p> <p>① JIS製品を使用する場合は、〔4〕に示す外観確認を除いて、他の確認は省略することができる。</p> <p>② 請負業者は落札後セメントコンクリート二次製品を選定し、日本産業規格(JIS)の認証書の写しと使用報告書(別冊様式集)を提出すること。</p> <p>③ 現場においては、JISマークを確認できるよう設置すること。</p>	1
	<p>(2) JIS規格にない一部製品について</p> <p>① 岡山県コンクリート製品技術協会規格及び岡山県農林土木コンクリート製品技術協会規格の製品を使用する場合は、〔4〕に示す外観確認を除いて、他の確認は省略することができる。</p> <p>② 岡山県コンクリート製品技術協会規格の鉄筋コンクリートぶた、芝台ブロック、π型ブロック及び岡山県農林土木コンクリート製品技術協会規格の角フリューム、水路用L型、組立水路、大型フリューム、等厚側溝については、当協会認定書(別冊様式集)と使用報告書(別冊様式集)を提出すること。</p> <p>③ 現場において当協会マークを確認できるよう設置すること。</p>	<p>(1) JIS製品</p> <p>① 岡山県エココンクリート製品共同組合の製品を使用する場合は、〔4〕に示す外観確認を除いて、他の確認は省略することができる。</p> <p>② 岡山県エココンクリート製品共同組合規格の鉄筋コンクリート側溝ぶた、芝台ブロック、角フリューム、水路用L型、柵渠、大型フリューム、等厚側溝、簡易床板及びプレキャストπ型ブロック、張りブロックについては、組合認定書(別冊様式集)と使用報告書(別冊様式集)を提出すること。</p> <p>③ 現場において組合認定マークを確認できるよう設置すること。</p>	1

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行	改定【改定箇所: 赤字】	頁番号																																																																								
土工用水砕スラグの施工管理要領																																																																											
		<p>本要領において特に定めのない事項については、以下のマニュアルに従うものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高炉水砕スラグ「土工用材料としての技術資料」（平成21年1月 鐵鋼スラグ） 	1																																																																								
1. 材料	<p>1) 材料の名称 水砕スラグ</p> <p>2) 水砕スラグ 水砕スラグは高炉で生成される熔融スラグを急冷処理した砂状のもので、ごみ、どろ、有機物などを含まないものでなければならない。</p> <p>3) 材質 水砕スラグの材質は次表を標準とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 15%;">内部摩擦角 (°)</th> <th style="width: 15%;">透水係数 (cm/sec)</th> <th style="width: 20%;">単位容積重量 (t/m³) (JIS A 1104: 棒突き法)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数値</td> <td style="text-align: center;">35 以上</td> <td style="text-align: center;">10⁻¹~10⁻²</td> <td style="text-align: center;">1.3 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>4) 粒度 水砕スラグの粒度は次表を標準とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 10%;">項目</th> <th colspan="4" style="text-align: center;">通過重量百分率 (%)</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">10 mm</th> <th style="width: 15%;">5 mm</th> <th style="width: 15%;">2.5 mm</th> <th style="width: 15%;">0.3 mm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数値</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">99~100</td> <td style="text-align: center;">92~99</td> <td style="text-align: center;">5~8</td> </tr> </tbody> </table> <p>5) 化学成分 水砕スラグの化学成分は次表を標準とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">SiO₂</th> <th style="width: 10%;">CaO</th> <th style="width: 10%;">Al₂O₃</th> <th style="width: 10%;">FeO</th> <th style="width: 10%;">MgO</th> <th style="width: 10%;">S</th> <th style="width: 10%;">MnO</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数値</td> <td style="text-align: center;">30~36</td> <td style="text-align: center;">40~43</td> <td style="text-align: center;">12~15</td> <td style="text-align: center;">0.2~1.0</td> <td style="text-align: center;">5~8</td> <td style="text-align: center;">0.6~1.2</td> <td style="text-align: center;">0.4~0.9</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(単位: %)</p>	項目	内部摩擦角 (°)	透水係数 (cm/sec)	単位容積重量 (t/m ³) (JIS A 1104: 棒突き法)	数値	35 以上	10 ⁻¹ ~10 ⁻²	1.3 以下	項目	通過重量百分率 (%)				10 mm	5 mm	2.5 mm	0.3 mm	数値	—	99~100	92~99	5~8	項目	SiO ₂	CaO	Al ₂ O ₃	FeO	MgO	S	MnO	数値	30~36	40~43	12~15	0.2~1.0	5~8	0.6~1.2	0.4~0.9	<p>1) 材料の名称 高炉水砕スラグ</p> <p>2) 高炉水砕スラグ 高炉水砕スラグは高炉で生成される熔融スラグを急冷処理した砂状のもので、ごみ、どろ、有機物などを含まないものでなければならない。</p> <p>3) 材質 高炉水砕スラグの材質は表1を標準とする。</p> <p style="text-align: center; color: red;">表1 高炉水砕スラグの物理的性質</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 15%;">土粒子密度 (g/cm³)</th> <th style="width: 15%;">湿潤単位堆積重量 (kN/m³)</th> <th style="width: 20%;">せん断抵抗角 (°)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数値</td> <td style="text-align: center;">2.6~2.9</td> <td style="text-align: center;">11~16</td> <td style="text-align: center;">35 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>4) 粒度 高炉水砕スラグの粒度は表2を標準とする。</p> <p style="text-align: center; color: red;">表2 高炉水砕スラグの粒度範囲</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 10%;">項目</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">ふるいを通るものの質量分率 (%)</th> </tr> <tr> <th style="width: 15%;">10mm</th> <th style="width: 15%;">5mm</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数値</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">97~100</td> </tr> </tbody> </table> <p>5) 環境安全品質 環境安全品質は、以下の検査方法で試験する。 溶出試験方法：環境庁告示46号法 含有量試験方法：環境庁告示19号法</p> <p>高炉水砕スラグの溶出量は、表3を満足すること。基準値は、土壤環境基準に示す値を判定基準とする。</p> <p style="text-align: center; color: red;">表3 環境安全品質基準値 溶出量 (単位: mg/L)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">カドミウム</th> <th style="width: 10%;">鉛</th> <th style="width: 10%;">六価クロム</th> <th style="width: 10%;">ひ素</th> <th style="width: 10%;">水銀</th> <th style="width: 10%;">セレン</th> <th style="width: 10%;">ふっ素</th> <th style="width: 10%;">ほう素</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>数値</td> <td style="text-align: center;">0.003 以下</td> <td style="text-align: center;">0.01 以下</td> <td style="text-align: center;">0.05 以下</td> <td style="text-align: center;">0.01 以下</td> <td style="text-align: center;">0.0005 以下</td> <td style="text-align: center;">0.01 以下</td> <td style="text-align: center;">0.8 以下</td> <td style="text-align: center;">1 以下</td> </tr> </tbody> </table>	項目	土粒子密度 (g/cm ³)	湿潤単位堆積重量 (kN/m ³)	せん断抵抗角 (°)	数値	2.6~2.9	11~16	35 以下	項目	ふるいを通るものの質量分率 (%)		10mm	5mm	数値	100	97~100	項目	カドミウム	鉛	六価クロム	ひ素	水銀	セレン	ふっ素	ほう素	数値	0.003 以下	0.01 以下	0.05 以下	0.01 以下	0.0005 以下	0.01 以下	0.8 以下	1 以下	1
項目	内部摩擦角 (°)	透水係数 (cm/sec)	単位容積重量 (t/m ³) (JIS A 1104: 棒突き法)																																																																								
数値	35 以上	10 ⁻¹ ~10 ⁻²	1.3 以下																																																																								
項目	通過重量百分率 (%)																																																																										
	10 mm	5 mm	2.5 mm	0.3 mm																																																																							
数値	—	99~100	92~99	5~8																																																																							
項目	SiO ₂	CaO	Al ₂ O ₃	FeO	MgO	S	MnO																																																																				
	数値	30~36	40~43	12~15	0.2~1.0	5~8	0.6~1.2	0.4~0.9																																																																			
項目	土粒子密度 (g/cm ³)	湿潤単位堆積重量 (kN/m ³)	せん断抵抗角 (°)																																																																								
数値	2.6~2.9	11~16	35 以下																																																																								
項目	ふるいを通るものの質量分率 (%)																																																																										
	10mm	5mm																																																																									
数値	100	97~100																																																																									
項目	カドミウム	鉛	六価クロム	ひ素	水銀	セレン	ふっ素	ほう素																																																																			
数値	0.003 以下	0.01 以下	0.05 以下	0.01 以下	0.0005 以下	0.01 以下	0.8 以下	1 以下																																																																			

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																																																																									
		<p style="color: red;">高炉水砕スラグの含有量は、表4を満足すること。基準値は、土壤汚染対策法の含有量基準に示す値を判断基準とする。</p> <p style="text-align: center; color: red;">表4 環境安全品質基準値 含有量 (単位: mg/kg)</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="font-size: small;">項目</th> <th style="font-size: small;">カドミウム</th> <th style="font-size: small;">鉛</th> <th style="font-size: small;">六価クロム</th> <th style="font-size: small;">ひ素</th> <th style="font-size: small;">水銀</th> <th style="font-size: small;">セレン</th> <th style="font-size: small;">ふっ素</th> <th style="font-size: small;">ほう素</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="font-size: small;">数値</td> <td style="color: red;">45</td> <td style="color: red;">150</td> <td style="color: red;">250</td> <td style="color: red;">150</td> <td style="color: red;">15</td> <td style="color: red;">150</td> <td style="color: red;">4,000</td> <td style="color: red;">4,000</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="color: red;">以下</td> <td style="color: red;">以下</td> <td style="color: red;">以下</td> <td style="color: red;">以下</td> <td style="color: red;">以下</td> <td style="color: red;">以下</td> <td style="color: red;">以下</td> <td style="color: red;">以下</td> </tr> </tbody> </table>	項目	カドミウム	鉛	六価クロム	ひ素	水銀	セレン	ふっ素	ほう素	数値	45	150	250	150	15	150	4,000	4,000		以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下																																															
項目	カドミウム	鉛	六価クロム	ひ素	水銀	セレン	ふっ素	ほう素																																																																				
数値	45	150	250	150	15	150	4,000	4,000																																																																				
	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下	以下																																																																				
2. 適用範囲	<p>1. 水砕スラグの適用範囲は下表のとおりである。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">工種</th> <th style="width: 15%;">分類</th> <th style="width: 70%;">主たる用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">土工</td> <td>路体</td> <td>軽量盛土、盤強化</td> </tr> <tr> <td>埋立及び埋戻材</td> <td>構造物、土地造成埋戻し、埋設管保護、地業</td> </tr> <tr> <td>裏込め</td> <td>排水層、擁壁工事、ブロック工事</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">地盤改良</td> <td>パイル工法</td> <td>ドレーン、パイル</td> </tr> <tr> <td>表層改良</td> <td>軟弱地盤処理</td> </tr> <tr> <td>撒き出し工法</td> <td>軟弱地盤処理、覆土、仮設道路</td> </tr> <tr> <td>港湾</td> <td>埋立</td> <td></td> </tr> <tr> <td>道路</td> <td>路床</td> <td>遮断材、路床改良材</td> </tr> <tr> <td>建築</td> <td>基礎工</td> <td>軽量盛土</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">その他</td> <td>鉄道</td> <td>地盤下層の強化材</td> </tr> <tr> <td>運動競技施設</td> <td>ドレーン材及び盤強化</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>斜面保護、軽舗装(セメント安定処理)</td> </tr> <tr> <td>軟弱土の改良 垂直盛土工法</td> </tr> </tbody> </table>	工種	分類	主たる用途	土工	路体	軽量盛土、盤強化	埋立及び埋戻材	構造物、土地造成埋戻し、埋設管保護、地業	裏込め	排水層、擁壁工事、ブロック工事	地盤改良	パイル工法	ドレーン、パイル	表層改良	軟弱地盤処理	撒き出し工法	軟弱地盤処理、覆土、仮設道路	港湾	埋立		道路	路床	遮断材、路床改良材	建築	基礎工	軽量盛土	その他	鉄道	地盤下層の強化材	運動競技施設	ドレーン材及び盤強化	その他	斜面保護、軽舗装(セメント安定処理)	軟弱土の改良 垂直盛土工法	<p>1. 高炉水砕スラグの適用範囲 土工用水砕スラグの用途及び特性を表5に示す。高炉水砕スラグと接触した水は、アルカリ性となる。そのため、土工用水砕スラグ施行後の表面は、コンクリート、アスファルト・コンクリート等で遮水されていること。</p> <p style="text-align: center; color: red;">表5 土工用水砕スラグの用途</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">分類</th> <th rowspan="2">用途</th> <th colspan="3">特性</th> </tr> <tr> <th>軽量である</th> <th>せん断抵抗角が大きい</th> <th>水硬性を有する</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">土工</td> <td>軽量盛土</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>構造物の埋め戻し</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>法面保護</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>擁壁などの裏込め</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地盤改良</td> <td>サンドコンパクションパイル</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>軟弱地盤の覆土</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>道路</td> <td>路床</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	分類	用途	特性			軽量である	せん断抵抗角が大きい	水硬性を有する	土工	軽量盛土	○			構造物の埋め戻し	○	○	○	法面保護		○	○	擁壁などの裏込め	○	○	○	地盤改良	サンドコンパクションパイル		○	○	軟弱地盤の覆土	○	○	○	道路	路床		○	○	2
工種	分類	主たる用途																																																																										
土工	路体	軽量盛土、盤強化																																																																										
	埋立及び埋戻材	構造物、土地造成埋戻し、埋設管保護、地業																																																																										
	裏込め	排水層、擁壁工事、ブロック工事																																																																										
地盤改良	パイル工法	ドレーン、パイル																																																																										
	表層改良	軟弱地盤処理																																																																										
	撒き出し工法	軟弱地盤処理、覆土、仮設道路																																																																										
港湾	埋立																																																																											
道路	路床	遮断材、路床改良材																																																																										
建築	基礎工	軽量盛土																																																																										
その他	鉄道	地盤下層の強化材																																																																										
	運動競技施設	ドレーン材及び盤強化																																																																										
	その他	斜面保護、軽舗装(セメント安定処理)																																																																										
		軟弱土の改良 垂直盛土工法																																																																										
分類	用途	特性																																																																										
		軽量である	せん断抵抗角が大きい	水硬性を有する																																																																								
土工	軽量盛土	○																																																																										
	構造物の埋め戻し	○	○	○																																																																								
	法面保護		○	○																																																																								
	擁壁などの裏込め	○	○	○																																																																								
地盤改良	サンドコンパクションパイル		○	○																																																																								
	軟弱地盤の覆土	○	○	○																																																																								
道路	路床		○	○																																																																								

岡山県土木工事共通仕様書(令和4年度版) 改定内容

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																																																																																																																												
4. 品質管理	品質管理基準	表6 品質管理基準	6																																																																																																																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工種別</th> <th rowspan="2">重要度</th> <th rowspan="2">試験(測定)項目</th> <th colspan="4">管 理 基 準</th> <th rowspan="2">処 理</th> </tr> <tr> <th>試験(測定)の方法</th> <th>様式</th> <th>試験標準</th> <th>品質規格</th> <th>管理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">水 砕 ス ラ グ に よ る 土 工</td> <td style="text-align: center;">II</td> <td>スラグの粒度試験</td> <td>JIS A-1102</td> <td style="text-align: center;">31</td> <td>1回/年</td> <td></td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(1) 溶出試験及び内部摩擦角試験以外は、製造会社の試験表又は試験による(2) 試験値は、それぞれの様式に記載する</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">II</td> <td>スラグ粒子の比重試験</td> <td>JIS A-1202</td> <td style="text-align: center;">10</td> <td>1回/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">II</td> <td>スラグの単位容積質量(棒突き法)試験</td> <td>JIS A-1104</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td>1回/年</td> <td>1.3t/m³以下</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">II</td> <td>スラグの透水試験</td> <td>JIS A-1218</td> <td style="text-align: center;">24</td> <td>1回/年</td> <td>10⁻¹~10⁻² cm/sec</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">II</td> <td>スラグの内部摩擦角試験</td> <td>土質学会の方法による</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td>1回/年</td> <td>35°以上</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">II</td> <td>スラグの化学成分分析</td> <td>JIS M-8213, 8214, 8215, 8217, 8220, 8222</td> <td style="text-align: center;">3-1</td> <td>1回/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">II</td> <td>スラグの溶出試験</td> <td>環境庁告示13号による</td> <td style="text-align: center;">3-2</td> <td>1回/年</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">I</td> <td>スラグの現場到着時の密度測定</td> <td>JIS A-1214(砂置換法)</td> <td style="text-align: center;">26</td> <td>現場密度の測定時に合わせて実施する</td> <td>1箇所以上から採取し1回は3コの平均とする</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">I</td> <td>スラグの現場密度測定</td> <td>JIS A-1214(砂置換法)</td> <td style="text-align: center;">26</td> <td>(1) 路床工事が1,000 m²を超えて1,000 m²以上とするに1回の割合で行う(2) 路床工事が1,000 m²に満たないものについて1回以上行う</td> <td>現場到着時の密度に対する変率は30%以上とする。超軟弱地盤への覆土の場合は別途監督員の指示による</td> </tr> </tbody> </table>	工種別	重要度	試験(測定)項目	管 理 基 準				処 理	試験(測定)の方法	様式	試験標準	品質規格	管理方法	水 砕 ス ラ グ に よ る 土 工	II	スラグの粒度試験	JIS A-1102	31	1回/年		(1) 溶出試験及び内部摩擦角試験以外は、製造会社の試験表又は試験による(2) 試験値は、それぞれの様式に記載する	II	スラグ粒子の比重試験	JIS A-1202	10	1回/年		II	スラグの単位容積質量(棒突き法)試験	JIS A-1104	30	1回/年	1.3t/m ³ 以下	II	スラグの透水試験	JIS A-1218	24	1回/年	10 ⁻¹ ~10 ⁻² cm/sec	II	スラグの内部摩擦角試験	土質学会の方法による	-	1回/年	35°以上	II	スラグの化学成分分析	JIS M-8213, 8214, 8215, 8217, 8220, 8222	3-1	1回/年		II	スラグの溶出試験	環境庁告示13号による	3-2	1回/年		I	スラグの現場到着時の密度測定	JIS A-1214(砂置換法)	26	現場密度の測定時に合わせて実施する	1箇所以上から採取し1回は3コの平均とする	I	スラグの現場密度測定	JIS A-1214(砂置換法)	26	(1) 路床工事が1,000 m ² を超えて1,000 m ² 以上とするに1回の割合で行う(2) 路床工事が1,000 m ² に満たないものについて1回以上行う	現場到着時の密度に対する変率は30%以上とする。超軟弱地盤への覆土の場合は別途監督員の指示による	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工種別</th> <th rowspan="2">重要度</th> <th rowspan="2">試験(測定)項目</th> <th colspan="4">管 理 基 準</th> <th rowspan="2">処 理</th> </tr> <tr> <th>試験(測定)の方法</th> <th>試験標準</th> <th>品質規格</th> <th>管理方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">水 砕 ス ラ グ に よ る 土 工</td> <td style="text-align: center;">II</td> <td style="color: red;">粒度試験</td> <td>JIS A 1102</td> <td>1回/年</td> <td style="color: red;">表 2</td> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">試験成績表を提出すること</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">II</td> <td style="color: red;">粒子の密度試験</td> <td>JIS A 1202</td> <td>1回/年</td> <td style="color: red;">表 1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">II</td> <td style="color: red;">単位体積重量試験</td> <td>JIS A-1104</td> <td>1回/年</td> <td style="color: red;">表 1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">II</td> <td style="color: red;">せん断抵抗角試験</td> <td>JGS 0524</td> <td>1回/年</td> <td style="color: red;">表 1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">II</td> <td style="color: red;">環境安全品質試験(溶出)</td> <td>環境庁告示 46号法</td> <td>1回/年</td> <td style="color: red;">表 3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">II</td> <td style="color: red;">環境安全品質試験(含有)</td> <td>環境庁告示 19号法</td> <td>1回/年</td> <td style="color: red;">表 4</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">I</td> <td>スラグの現場到着時の密度測定</td> <td>JIS A 1214(砂置換法)</td> <td>現場密度の測定時に合わせて実施する</td> <td></td> <td>1箇所以上から採取し1回は3コの平均とする</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">I</td> <td>スラグの現場密度測定</td> <td>JIS A 1214(砂置換法)</td> <td>(1) 路床工事が1,000 m²を超えて1,000 m²以上とするに1回の割合で行う(2) 路床工事が1,000 m²に満たないものについて1回以上行う</td> <td>現場到着時の密度に対する変率は30%以上とする。超軟弱地盤への覆土の場合は別途監督員の指示による</td> <td>1回につき元の表層付近における密度測定は表層から10cmの位置で行う</td> </tr> </tbody> </table>	工種別	重要度	試験(測定)項目	管 理 基 準				処 理	試験(測定)の方法	試験標準	品質規格	管理方法	水 砕 ス ラ グ に よ る 土 工	II	粒度試験	JIS A 1102	1回/年	表 2	試験成績表を提出すること	II	粒子の密度試験	JIS A 1202	1回/年	表 1	II	単位体積重量試験	JIS A-1104	1回/年	表 1	II	せん断抵抗角試験	JGS 0524	1回/年	表 1	II	環境安全品質試験(溶出)	環境庁告示 46号法	1回/年	表 3	II	環境安全品質試験(含有)	環境庁告示 19号法	1回/年	表 4	I	スラグの現場到着時の密度測定	JIS A 1214(砂置換法)	現場密度の測定時に合わせて実施する		1箇所以上から採取し1回は3コの平均とする	I	スラグの現場密度測定	JIS A 1214(砂置換法)	(1) 路床工事が1,000 m ² を超えて1,000 m ² 以上とするに1回の割合で行う(2) 路床工事が1,000 m ² に満たないものについて1回以上行う	現場到着時の密度に対する変率は30%以上とする。超軟弱地盤への覆土の場合は別途監督員の指示による	1回につき元の表層付近における密度測定は表層から10cmの位置で行う
工種別	重要度				試験(測定)項目	管 理 基 準				処 理																																																																																																																					
		試験(測定)の方法	様式	試験標準		品質規格	管理方法																																																																																																																								
水 砕 ス ラ グ に よ る 土 工	II	スラグの粒度試験	JIS A-1102	31	1回/年		(1) 溶出試験及び内部摩擦角試験以外は、製造会社の試験表又は試験による(2) 試験値は、それぞれの様式に記載する																																																																																																																								
	II	スラグ粒子の比重試験	JIS A-1202	10	1回/年																																																																																																																										
	II	スラグの単位容積質量(棒突き法)試験	JIS A-1104	30	1回/年	1.3t/m ³ 以下																																																																																																																									
	II	スラグの透水試験	JIS A-1218	24	1回/年	10 ⁻¹ ~10 ⁻² cm/sec																																																																																																																									
	II	スラグの内部摩擦角試験	土質学会の方法による	-	1回/年	35°以上																																																																																																																									
	II	スラグの化学成分分析	JIS M-8213, 8214, 8215, 8217, 8220, 8222	3-1	1回/年																																																																																																																										
	II	スラグの溶出試験	環境庁告示13号による	3-2	1回/年																																																																																																																										
	I	スラグの現場到着時の密度測定	JIS A-1214(砂置換法)	26	現場密度の測定時に合わせて実施する	1箇所以上から採取し1回は3コの平均とする																																																																																																																									
	I	スラグの現場密度測定	JIS A-1214(砂置換法)	26	(1) 路床工事が1,000 m ² を超えて1,000 m ² 以上とするに1回の割合で行う(2) 路床工事が1,000 m ² に満たないものについて1回以上行う	現場到着時の密度に対する変率は30%以上とする。超軟弱地盤への覆土の場合は別途監督員の指示による																																																																																																																									
	工種別	重要度	試験(測定)項目	管 理 基 準				処 理																																																																																																																							
試験(測定)の方法				試験標準	品質規格	管理方法																																																																																																																									
水 砕 ス ラ グ に よ る 土 工	II	粒度試験	JIS A 1102	1回/年	表 2	試験成績表を提出すること																																																																																																																									
	II	粒子の密度試験	JIS A 1202	1回/年	表 1																																																																																																																										
	II	単位体積重量試験	JIS A-1104	1回/年	表 1																																																																																																																										
	II	せん断抵抗角試験	JGS 0524	1回/年	表 1																																																																																																																										
	II	環境安全品質試験(溶出)	環境庁告示 46号法	1回/年	表 3																																																																																																																										
	II	環境安全品質試験(含有)	環境庁告示 19号法	1回/年	表 4																																																																																																																										
	I	スラグの現場到着時の密度測定	JIS A 1214(砂置換法)	現場密度の測定時に合わせて実施する			1箇所以上から採取し1回は3コの平均とする																																																																																																																								
	I	スラグの現場密度測定	JIS A 1214(砂置換法)	(1) 路床工事が1,000 m ² を超えて1,000 m ² 以上とするに1回の割合で行う(2) 路床工事が1,000 m ² に満たないものについて1回以上行う	現場到着時の密度に対する変率は30%以上とする。超軟弱地盤への覆土の場合は別途監督員の指示による		1回につき元の表層付近における密度測定は表層から10cmの位置で行う																																																																																																																								

項目	現行	改定【改定箇所:赤字】	頁番号																																																																																																														
様式-1	<p>分析・試験結果報告書</p> <p style="text-align: right;">〇〇株式会社</p> <p>依頼者: _____ 日付: _____ 報告書番号: _____ 受付番号: _____</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">試験番号</th> <th style="width: 10%;">化学成分</th> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">〇〇事業所 総合検査・試験センター 所長</p>	試験番号	化学成分																																																																																																														
試験番号	化学成分																																																																																																																
様式-2	<p>計量証明書</p> <p>依頼者 _____ 採取場所 _____ 品名 _____ 採取者 _____ 依頼年月日 平成 年 月 日 採取年月日 平成 年 月 日</p> <p>上記供試品について分析結果を下記のとおり証明します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">項目</th> <th style="width: 10%;">単位</th> <th style="width: 10%;">検体</th> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;"></th> <th style="width: 10%;">方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カドミウム</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td>環告13号改正</td> </tr> <tr> <td>シアン</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>鉛</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>クロム(VI)</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>ヒ素</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td>環告13号改正</td> </tr> <tr> <td>総水銀</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>アルキル水銀</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>P.C.B.</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td>"</td> </tr> <tr> <td>有機りん</td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td>"</td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td colspan="6">溶出試験</td> </tr> </tbody> </table> <p>平成 年 月 日 計量証明事業登録・岡山県第6-1号及び7-1号 理事長 坂井俊英 財団法人 岡山県環境保全事業団 岡山市内尾665-1 環境調査部 TEL (086)298-2616 (代) 環境計量士 氏名 _____</p>	項目	単位	検体				方法	カドミウム						環告13号改正	シアン						"	鉛						"	クロム(VI)							ヒ素						環告13号改正	総水銀						"	アルキル水銀						"	P.C.B.						"	有機りん						"															備考	溶出試験																										
項目	単位	検体				方法																																																																																																											
カドミウム						環告13号改正																																																																																																											
シアン						"																																																																																																											
鉛						"																																																																																																											
クロム(VI)																																																																																																																	
ヒ素						環告13号改正																																																																																																											
総水銀						"																																																																																																											
アルキル水銀						"																																																																																																											
P.C.B.						"																																																																																																											
有機りん						"																																																																																																											
備考	溶出試験																																																																																																																

工事提出書類様式新旧対照

－ 契約関係様式 －

様式契-2の1 請負金額内訳書の提出について

- <改定>
- ・押印の省略
 - ・「平成」の削除

新様式

様式契-2の1 (契第3条関係)

年 月 日

(発注者) 殿

請負者 住 所
会 社 名
代 表 者 名

請負代金内訳書の提出について

〇年〇月〇日付けで請負契約を締結した〇〇工事の、請負代金内訳書を提出します。

備考 1. 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番タテ

旧様式

様式契-2の1 (契第3条関係)

年 月 日

(発注者) 殿

請負者 住 所
会 社 名
代 表 者 名

印

請負代金内訳書の提出について

平成〇年〇月〇日付けで請負契約を締結した〇〇工事の、請負代金内訳書を提出します。

備考 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番タテ

様式契-3 現場代理人等の指名通知書

<改定>

- ・ 押印の省略
- ・ 契約書条ずれの修正

新様式				旧様式																																																							
<p>様式契-3 (契第11条関係)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">受注者 住 所 会 社 名 代 表 者 名</p> <p style="text-align: center;">現場代理人等の指名通知書</p> <p>年 月 日付けで請負契約を締結した 工事 (工事番号 工事場 所 路線・河川名 請負代金額 円) に係る現場 代理人等を下記のとおり定めたので、請負契約書第11条の規定により通知します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>名 称</th> <th>氏 名</th> <th>資格内容及び資格者証番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>現 場 代 理 人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>主 任 技 術 者</td> <td>専 任 非専任</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>監 理 技 術 者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>専 門 技 術 者</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>他の公共工事の受注状況 (発注者、工事名、工事番号)</th> <th>主任技術者又は監理技術者名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名 称	氏 名	資格内容及び資格者証番号	1	現 場 代 理 人			2	主 任 技 術 者	専 任 非専任		3	監 理 技 術 者			4	専 門 技 術 者				他の公共工事の受注状況 (発注者、工事名、工事番号)	主任技術者又は監理技術者名	5			<p>様式契-3 (契第10条関係)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">受注者 住 所 会 社 名 代 表 者 名</p> <p style="text-align: right;">印</p> <p style="text-align: center;">現場代理人等の指名通知書</p> <p>年 月 日付けで請負契約を締結した 工事 (工事番号 工事場 所 路線・河川名 請負代金額 円) に係る現場 代理人等を下記のとおり定めたので、請負契約書第10条の規定により通知します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>名 称</th> <th>氏 名</th> <th>資格内容及び資格者証番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>現 場 代 理 人</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>主 任 技 術 者</td> <td>専 任 非専任</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>監 理 技 術 者</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>専 門 技 術 者</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>他の公共工事の受注状況 (発注者、工事名、工事番号)</th> <th>主任技術者又は監理技術者名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					名 称	氏 名	資格内容及び資格者証番号	1	現 場 代 理 人			2	主 任 技 術 者	専 任 非専任		3	監 理 技 術 者			4	専 門 技 術 者				他の公共工事の受注状況 (発注者、工事名、工事番号)	主任技術者又は監理技術者名	5		
	名 称	氏 名	資格内容及び資格者証番号																																																								
1	現 場 代 理 人																																																										
2	主 任 技 術 者	専 任 非専任																																																									
3	監 理 技 術 者																																																										
4	専 門 技 術 者																																																										
	他の公共工事の受注状況 (発注者、工事名、工事番号)	主任技術者又は監理技術者名																																																									
5																																																											
	名 称	氏 名	資格内容及び資格者証番号																																																								
1	現 場 代 理 人																																																										
2	主 任 技 術 者	専 任 非専任																																																									
3	監 理 技 術 者																																																										
4	専 門 技 術 者																																																										
	他の公共工事の受注状況 (発注者、工事名、工事番号)	主任技術者又は監理技術者名																																																									
5																																																											

様式契-4 現場代理人等の変更通知書

<改定>

- ・ 押印の省略
- ・ 契約書条ずれの修正

新様式	旧様式																																
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="font-size: small;">様式契-4 (契第11条関係)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">受注者 住 所 会 社 名 代 表 者 名</p> <p style="text-align: center;">現場代理人等の変更通知書</p> <p style="font-size: x-small;">年 月 日付けで請負契約を締結した 工事 (工事番号 工事場 所 路線・河川名 請負代金額 円) に係る現場代 理人等を下記のとおり変更したいので、契約書第11条の規定により通知します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%; font-size: x-small;">変更する現場代理人等の区分 (名称)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">現場代理人等の変更年月日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">旧現場代理人等の氏名</td> <td style="font-size: x-small;">新現場代理人等の氏名及び番号</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">氏 名</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">変 更 事 由</td> <td style="font-size: x-small;">資格内容及び資格者証番号</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 10px;">備考 1. 日本産業規格A列4番タテとする。</p> </div>	変更する現場代理人等の区分 (名称)		現場代理人等の変更年月日	年 月 日	旧現場代理人等の氏名	新現場代理人等の氏名及び番号		氏 名	変 更 事 由	資格内容及び資格者証番号							<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="font-size: small;">様式契-4 (契第10条関係)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">受注者 住 所 会 社 名 代 表 者 名</p> <p style="text-align: center;">現場代理人等の変更通知書</p> <p style="font-size: x-small;">年 月 日付けで請負契約を締結した 工事 (工事番号 工事場 所 路線・河川名 請負代金額 円) に係る現場代 理人等を下記のとおり変更したいので、契約書第10条の規定により通知します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%; font-size: x-small;">変更する現場代理人等の区分 (名称)</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">現場代理人等の変更年月日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">旧現場代理人等の氏名</td> <td style="font-size: x-small;">新現場代理人等の氏名及び番号</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">氏 名</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">変 更 事 由</td> <td style="font-size: x-small;">資格内容及び資格者証番号</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 10px;">備考 1. 日本工業規格A列4番タテとする。</p> </div>	変更する現場代理人等の区分 (名称)		現場代理人等の変更年月日	年 月 日	旧現場代理人等の氏名	新現場代理人等の氏名及び番号		氏 名	変 更 事 由	資格内容及び資格者証番号						
変更する現場代理人等の区分 (名称)																																	
現場代理人等の変更年月日	年 月 日																																
旧現場代理人等の氏名	新現場代理人等の氏名及び番号																																
	氏 名																																
変 更 事 由	資格内容及び資格者証番号																																
変更する現場代理人等の区分 (名称)																																	
現場代理人等の変更年月日	年 月 日																																
旧現場代理人等の氏名	新現場代理人等の氏名及び番号																																
	氏 名																																
変 更 事 由	資格内容及び資格者証番号																																

様式契-5 現場発生品調書

<改定>

- ・ 押印の省略
- ・ 仕様書条ずれの修正

新様式					旧様式																																																																																								
<p style="font-size: small;">様式契-5 (仕第1-1-1-18条関係)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(担当課長) 殿</p> <p style="text-align: right;">受注者 住 所 会 社 名 代表者名</p> <p style="text-align: center;">現場発生品調書</p> <p style="font-size: x-small;">下記のとおり発生品が生じたので納入します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <tr> <td style="width: 15%;">工事番号</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">工 事 名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>路線・河川名</td> <td></td> <td>工事場所</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <th>品 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>発生工種</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; margin-top: 5px;">資料添付欄</div> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">備考 1. 日本産業規格A列4版タテ 2. 発生品納入のとき</p>					工事番号		工 事 名				路線・河川名		工事場所				品 名	規 格	単 位	数 量	発生工種	摘 要																									<p style="font-size: small;">様式契-5 (仕第1-1-1-17条関係)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(担当課長) 殿</p> <p style="text-align: right;">受注者 住 所 会 社 名 代表者名</p> <p style="text-align: center;">現場発生品調書</p> <p style="font-size: x-small;">下記のとおり発生品が生じたので納入します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <tr> <td style="width: 15%;">工事番号</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">工 事 名</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td>路線・河川名</td> <td></td> <td>工事場所</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <th>品 名</th> <th>規 格</th> <th>単 位</th> <th>数 量</th> <th>発生工種</th> <th>摘 要</th> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <div style="border: 1px solid black; height: 100px; margin-top: 5px;">資料添付欄</div> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">備考 1. 日本工業規格A列4版タテ 2. 発生品納入のとき</p>					工事番号		工 事 名				路線・河川名		工事場所				品 名	規 格	単 位	数 量	発生工種	摘 要																								
工事番号		工 事 名																																																																																											
路線・河川名		工事場所																																																																																											
品 名	規 格	単 位	数 量	発生工種	摘 要																																																																																								
工事番号		工 事 名																																																																																											
路線・河川名		工事場所																																																																																											
品 名	規 格	単 位	数 量	発生工種	摘 要																																																																																								

様式契-6の1 天災その他不可抗力による損害の通知について

- <改定>
- ・ 押印の省略
 - ・ 契約書条ずれの修正

新様式	旧様式
<p>様式契-6の1 (契第31条関係)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">受注者 住 所 会 社 名 代 表 者 名</p> <p style="text-align: center;">天災その他の不可抗力による損害の通知について</p> <p>年 月 日付で請負契約を締結した 工事について、下記のとおり天災、その他の不可抗力により損害を生じたので、契約書第31条により通知します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 工 事 番 号 2. 工 事 名 3. 路 線 ・ 河 川 名 4. 工 事 場 所 5. 天 災 発 生 年 月 日 年 月 日 6. 天 然 現 象 7. 被 災 概 要 (別紙内訳書及び写真) 8. 受注者のとった処置 <p>備考 1. 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番タテ 2. ①天然現象は、降雨(24時間雨量、1時間雨量)、強風、地震、津波、高潮及び豪雪に起因するものを記載する。 ②被災概要は別紙内訳書</p>	<p>様式契-6の1 (契第29条関係)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">受注者 住 所 会 社 名 代 表 者 名</p> <p style="text-align: right;">印</p> <p style="text-align: center;">天災その他の不可抗力による損害の通知について</p> <p>年 月 日付で請負契約を締結した 工事について、下記のとおり天災、その他の不可抗力により損害を生じたので、契約書第29条により通知します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 工 事 番 号 2. 工 事 名 3. 路 線 ・ 河 川 名 4. 工 事 場 所 5. 天 災 発 生 年 月 日 年 月 日 6. 天 然 現 象 7. 被 災 概 要 (別紙内訳書及び写真) 8. 受注者のとった処置 <p>備考 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番タテ 2. ①天然現象は、降雨(24時間雨量、1時間雨量)、強風、地震、津波、高潮及び豪雪に起因するものを記載する。 ②被災概要は別紙内訳書</p>

様式契-6の2 被災内訳
 <改定> ・押印の省略

新様式

様式契-6の2

被災内訳										
費目	工種	種別	細別	規格	単位	被災額			確認数量	摘要
						員数	単価	金額		

上記のとおり確認したので通知します。

年 月 日

(発注者)

旧様式

様式契-6の2

被災内訳										
費目	工種	種別	細別	規格	単位	被災額			確認数量	摘要
						員数	単価	金額		

上記のとおり確認したので通知します。

年 月 日

(発注者) 印

様式契-7 天災その他の不可抗力による損害額の協議について

<改定>

- ・ 押印の省略
- ・ 契約書条ずれの修正

新様式

様式契-7 (契第31条関係)

年 月 日

(発注者) 殿

受注者 住 所
会 社 名
代 表 者 名

**天災その他の不可抗力による損害額の
協議について**

標記について、下記のとおり協議します。

記

1. 工 事 番 号
2. 工 事 名
3. 路 線 ・ 河 川 名
4. 工 事 場 所
5. 損 害 額
6. 工 期 年 月 日から 年 月 日まで
7. 工 期 延 長

備考 1. 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番タテ
2. 算出根拠の内訳を添付すること。

旧様式

様式契-7 (契第29条関係)

年 月 日

(発注者) 殿

受注者 住 所
会 社 名
代 表 者 名 印

**天災その他の不可抗力による損害額の
協議について**

標記について、下記のとおり協議します。

記

1. 工 事 番 号
2. 工 事 名
3. 路 線 ・ 河 川 名
4. 工 事 場 所
5. 損 害 額
6. 工 期 年 月 日から 年 月 日まで
7. 工 期 延 長

備考 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番タテ
2. 算出根拠の内訳を添付すること。

様式契-8 工期延期願

<改定>

- ・ 押印の省略
- ・ 契約書条ずれの修正

新様式	旧様式																																																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">様式契-8 (契第23条関係)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">受注者 住 所 会 社 名 代 表 者 名</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">工 期 延 期 願</p> <p>年 月 日付で請負契約を締結した 工事について、契約書第23条による 工期の延期を下記のとおりお願いします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <tr> <td style="width: 15%;">工 事 番 号</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">工 事 名</td> <td style="width: 55%;"></td> </tr> <tr> <td>路 線 ・ 河 川 名</td> <td></td> <td>工 事 場 所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>契 約 年 月 日</td> <td colspan="3">年 月 日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">工 期</td> <td>年 月 日 から</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>年 月 日 まで</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">延 長 工 期</td> <td>年 月 日 から</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>年 月 日 まで</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>理 由</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> <p style="font-size: 0.8em;">備考 1. 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番タテとする。 2. ①必要により下記書類を添付すること。 A) 工程表 (契約当初工程と現在迄の実際の工程及び延長工程の3工程を対照させ、詳細に記入) B) 天候表、気温表、湿度表、雨量表、積雪表、風速表等工期中と過去の平均とを対照し最寄気象台等の証明等をうけること。 C) 写真、図面等 ②理由は詳細に記入すること。</p> </div>	工 事 番 号		工 事 名		路 線 ・ 河 川 名		工 事 場 所		契 約 年 月 日	年 月 日			工 期	年 月 日 から			年 月 日 まで			延 長 工 期	年 月 日 から			年 月 日 まで			理 由				<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: right;">様式契-8 (契第21条関係)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">受注者 住 所 会 社 名 代 表 者 名</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">工 期 延 期 願</p> <p>年 月 日付で請負契約を締結した 工事について、契約書第21条による 工期の延期を下記のとおりお願いします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 5px;"> <tr> <td style="width: 15%;">工 事 番 号</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">工 事 名</td> <td style="width: 55%;"></td> </tr> <tr> <td>路 線 ・ 河 川 名</td> <td></td> <td>工 事 場 所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>契 約 年 月 日</td> <td colspan="3">年 月 日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">工 期</td> <td>年 月 日 から</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>年 月 日 まで</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">延 長 工 期</td> <td>年 月 日 から</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>年 月 日 まで</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td>理 由</td> <td colspan="3"></td> </tr> </table> <p style="font-size: 0.8em;">備考 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番タテとする。 2. ①必要により下記書類を添付すること。 A) 工程表 (契約当初工程と現在迄の実際の工程及び延長工程の3工程を対照させ、詳細に記入) B) 天候表、気温表、湿度表、雨量表、積雪表、風速表等工期中と過去の平均とを対照し最寄気象台等の証明等をうけること。 C) 写真、図面等 ②理由は詳細に記入すること。</p> </div>	工 事 番 号		工 事 名		路 線 ・ 河 川 名		工 事 場 所		契 約 年 月 日	年 月 日			工 期	年 月 日 から			年 月 日 まで			延 長 工 期	年 月 日 から			年 月 日 まで			理 由			
工 事 番 号		工 事 名																																																											
路 線 ・ 河 川 名		工 事 場 所																																																											
契 約 年 月 日	年 月 日																																																												
工 期	年 月 日 から																																																												
	年 月 日 まで																																																												
延 長 工 期	年 月 日 から																																																												
	年 月 日 まで																																																												
理 由																																																													
工 事 番 号		工 事 名																																																											
路 線 ・ 河 川 名		工 事 場 所																																																											
契 約 年 月 日	年 月 日																																																												
工 期	年 月 日 から																																																												
	年 月 日 まで																																																												
延 長 工 期	年 月 日 から																																																												
	年 月 日 まで																																																												
理 由																																																													

様式契-9 工事請負契約書第25条に係る変更について（協議）

<改定>

- ・ 押印の省略
- ・ 契約書条ずれの修正

新様式	旧様式																
<p>様式契-9（契第25条関係）</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(発注者)</p> <p style="text-align: center;">工事請負契約書第25条に係る変更について（協議）</p> <p>年 月 日付けで請負契約を締結した下記工事について、別紙工事請負変更契約書（案）により契約変更したく協議する。 なお、承諾のうえは同契約書 部に記名押印のうえ提出されたい。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 工事番号 工事名 路線・河川名 工事場所 請負金額 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">事 項</th> <th style="width: 35%;">既 契 約</th> <th style="width: 50%;">変 更</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">工 期</td> <td style="text-align: center;">年 月 日から</td> <td style="text-align: center;">年 月 日から</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">年 月 日まで</td> <td style="text-align: center;">年 月 日まで</td> </tr> </tbody> </table> 協議理由 協議開始日 年 月 日 協議が整わない場合 協議開始日から14日以内に協議が整わない場合には、契約書第25条第1項に基づき、当該協議事項を決定し、通知したものとす。 	事 項	既 契 約	変 更	工 期	年 月 日から	年 月 日から	年 月 日まで	年 月 日まで	<p>様式契-9（契第23条関係）</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(発注者) 印</p> <p style="text-align: center;">工事請負契約書第23条に係る変更について（協議）</p> <p>年 月 日付けで請負契約を締結した下記工事について、別紙工事請負変更契約書（案）により契約変更したく協議する。 なお、承諾のうえは同契約書 部に記名押印のうえ提出されたい。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 工事番号 工事名 路線・河川名 工事場所 請負金額 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">事 項</th> <th style="width: 35%;">既 契 約</th> <th style="width: 50%;">変 更</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">工 期</td> <td style="text-align: center;">年 月 日から</td> <td style="text-align: center;">年 月 日から</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">年 月 日まで</td> <td style="text-align: center;">年 月 日まで</td> </tr> </tbody> </table> 協議理由 協議開始日 年 月 日 協議が整わない場合 協議開始日から14日以内に協議が整わない場合には、契約書第23条第1項に基づき、当該協議事項を決定し、通知したものとす。 	事 項	既 契 約	変 更	工 期	年 月 日から	年 月 日から	年 月 日まで	年 月 日まで
事 項	既 契 約	変 更															
工 期	年 月 日から	年 月 日から															
	年 月 日まで	年 月 日まで															
事 項	既 契 約	変 更															
工 期	年 月 日から	年 月 日から															
	年 月 日まで	年 月 日まで															

様式契-10 工事請負契約書第26条に係る変更について（協議）

- <改定>
- ・ 押印の省略
 - ・ 契約書条ずれの修正

新様式	旧様式
<p>様式契-10（契第26条関係）</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>（受注者） 殿</p> <p style="text-align: right;">（発注者）</p> <p style="text-align: center;">工事請負契約書第26条に係る変更について（協議）</p> <p>年 月 日付けで、請負契約を締結した下記工事について、別紙工事請負変更契約書（案）により契約変更したく協議する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none">1. 工 事 番 号2. 工 事 名3. 路 線 ・ 河 川 名4. 工 事 場 所5. 工 期 年 月 日から 年 月 日まで6. 図面及び仕様書7. そ の 他 協議開始日 年 月 日	<p>様式契-10（契第24条関係）</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>（受注者） 殿</p> <p style="text-align: right;">（発注者） 印</p> <p style="text-align: center;">工事請負契約書第24条に係る変更について（協議）</p> <p>年 月 日付けで、請負契約を締結した下記工事について、別紙工事請負変更契約書（案）により契約変更したく協議する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none">1. 工 事 番 号2. 工 事 名3. 路 線 ・ 河 川 名4. 工 事 場 所5. 工 期 年 月 日から 年 月 日まで6. 図面及び仕様書7. そ の 他 協議開始日 年 月 日

様式契-11 工事請負契約書第26条に係る協議が整わなかった場合の通知について

<改定>

- ・ 押印の省略
- ・ 契約書条ずれの修正

新様式	旧様式
<p>様式契-11 (契第26条関係)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(発注者) 印</p> <p>工事請負契約書第26条に係る協議が整わなかった場合の通知について</p> <p>年 月 日付けで協議した事項について、協議開始日から14日以内に協議が整わないので協議事項を決定し通知する。 なお、別紙工事請負変更契約書により契約変更するので、同契約書 部に記名押印のうえ提出されたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 工 事 番 号 2. 工 事 名 3. 路 線 ・ 河 川 名 4. 工 事 場 所 5. 協 議 開 始 日 年 月 日 6. 請 負 代 金 額 の 変 更 額 円 (内消費税額 円) 7. 変 更 工 期 年 月 日から 年 月 日まで 8. 図 面 及 び 仕 様 書 	<p>様式契-11 (契第24条関係)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(発注者) 印</p> <p>工事請負契約書第24条に係る協議が整わなかった場合の通知について</p> <p>年 月 日付けで協議した事項について、協議開始日から14日以内に協議が整わないので協議事項を決定し通知する。 なお、別紙工事請負変更契約書により契約変更するので、同契約書 部に記名押印のうえ提出されたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 工 事 番 号 2. 工 事 名 3. 路 線 ・ 河 川 名 4. 工 事 場 所 5. 協 議 開 始 日 年 月 日 6. 請 負 代 金 額 の 変 更 額 円 (内消費税額 円) 7. 変 更 工 期 年 月 日から 年 月 日まで 8. 図 面 及 び 仕 様 書

様式契-12 賃金又は物価変動に基づく請負代金の変更請求について

<改定>

- ・ 押印の省略
- ・ 契約書条ずれの修正

新様式	旧様式
<p>様式契-12 (契第27条関係)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者又は受注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(発注者又は受注者)</p> <p style="text-align: center;">賃金又は物価変動に基づく請負代金額 の変更請求について</p> <p>年 月 日付けで請負契約を締結し、現在施工中の 工事について、賃金水準又は物価水準の変動により請負代金額が不適当となったと認めたので、契約書第27条により請負代金額を変更されるよう請求します。</p> <p>また、変動前残工事代金額の算定の基礎となる当該請求時の出来形部分の確認の日を定めたく下記のとおり協議します。</p> <p style="text-align: center;">確認予定年月日 年 月 日</p> <hr/> <p>上記確認予定年月日については、承諾します。</p> <p style="text-align: right;">(発注者又は受注者)</p> <hr/> <p>備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番タテ</p>	<p>様式契-12 (契第25条関係)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者又は受注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(発注者又は受注者) 印</p> <p style="text-align: center;">賃金又は物価変動に基づく請負代金額 の変更請求について</p> <p>年 月 日付けで請負契約を締結し、現在施工中の 工事について、賃金水準又は物価水準の変動により請負代金額が不適当となったと認めたので、契約書第25条により請負代金額を変更されるよう請求します。</p> <p>また、変動前残工事代金額の算定の基礎となる当該請求時の出来形部分の確認の日を定めたく下記のとおり協議します。</p> <p style="text-align: center;">確認予定年月日 年 月 日</p> <hr/> <p>上記確認予定年月日については、承諾します。</p> <p style="text-align: right;">(発注者又は受注者) 印</p> <hr/> <p>備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番タテ</p>

様式契-13 賃金又は物価変動に基づく請負代金の協議日について

- <改定>
- ・ 押印の省略
 - ・ 契約書条ずれの修正

新様式	旧様式
<p>様式契-13 (契第27条関係)</p> <p>年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p>(発注者)</p> <p>賃金又は物価変動に基づく請負代金額 変更の協議日について</p> <p>年 月 日付けで請負契約を締結した 工事に係る、標記について請負代金額 の変更の協議開始日を下記のとおりとするので通知します。</p> <p>記</p> <ul style="list-style-type: none">1. 工事番号2. 工事名3. 路線・河川名4. 工事場所5. 協議開始日 年 月 日	<p>様式契-13 (契第25条関係)</p> <p>年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p>(発注者) 印</p> <p>賃金又は物価変動に基づく請負代金額 変更の協議日について</p> <p>年 月 日付けで請負契約を締結した 工事に係る、標記について請負代金額 の変更の協議開始日を下記のとおりとするので通知します。</p> <p>記</p> <ul style="list-style-type: none">1. 工事番号2. 工事名3. 路線・河川名4. 工事場所5. 協議開始日 年 月 日

様式契-14 賃金又は物価変動に基づく請負金額の変更について

- <改定>
- ・ 押印の省略
 - ・ 契約書条ずれの修正

新様式	旧様式
<div data-bbox="324 491 840 1380"> <p>様式契-14 (契第27条関係)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">受注者 住 所 会 社 名 代 表 者 名</p> <p style="text-align: center;">賃金又は物価変動に基づく請負代金額の変更について</p> <p>年 月 日付けで請負契約を締結した 工事に係る標記について、下記のとおり協議します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 工 事 番 号 2. 工 事 名 3. 路 線 ・ 河 川 名 4. 工 事 場 所 5. 協 議 額 6. 変動前残工事代金額 7. 変動後残工事代金額 (比 率) 8. 基 準 日 年 月 日 9. 協 議 開 始 日 年 月 日 <p>備考 1. 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番タテ 2. 受注者の見積内訳書を添付する。</p> </div>	<div data-bbox="1422 491 1937 1380"> <p>様式契-14 (契第25条関係)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">受注者 住 所 会 社 名 代 表 者 名</p> <p style="text-align: right;">印</p> <p style="text-align: center;">賃金又は物価変動に基づく請負代金額の変更について</p> <p>年 月 日付けで請負契約を締結した 工事に係る標記について、下記のとおり協議します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 工 事 番 号 2. 工 事 名 3. 路 線 ・ 河 川 名 4. 工 事 場 所 5. 協 議 額 6. 変動前残工事代金額 7. 変動後残工事代金額 (比 率) 8. 基 準 日 年 月 日 9. 協 議 開 始 日 年 月 日 <p>備考 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番タテ 2. 受注者の見積内訳書を添付する。</p> </div>

様式契-15 賃金又は物価変動に基づく請負金額の変更に係る協議が整わなかった場合の通知について

- <改定>
- ・ 押印の省略
 - ・ 契約書条ずれの修正

新様式	旧様式
<p>様式契-15 (契第27条関係)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(発注者)</p> <p style="text-align: center;">賃金又は物価変動に基づく請負代金額の変更 に係る協議が整わなかった場合の通知について</p> <p>年 月 日付けで協議していた 工事に係る請負代金額の変更については、協議開始日から14日以内に協議が整わないので、下記のとおり決定し通知する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 工 事 番 号 2. 工 事 名 3. 路 線 ・ 河 川 名 4. 工 事 場 所 5. 変動前残工事代金額 6. 変動後残工事代金額 7. 基 準 日 年 月 日 8. 協 議 開 始 日 年 月 日 	<p>様式契-15 (契第25条関係)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(発注者) 印</p> <p style="text-align: center;">賃金又は物価変動に基づく請負代金額の変更 に係る協議が整わなかった場合の通知について</p> <p>年 月 日付けで協議していた 工事に係る請負代金額の変更については、協議開始日から14日以内に協議が整わないので、下記のとおり決定し通知する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 工 事 番 号 2. 工 事 名 3. 路 線 ・ 河 川 名 4. 工 事 場 所 5. 変動前残工事代金額 6. 変動後残工事代金額 7. 基 準 日 年 月 日 8. 協 議 開 始 日 年 月 日

様式契-16 請負工事既済部分検査要求書

- <改定>
- ・ 押印の省略
 - ・ 契約書条ずれの修正

新様式				旧様式																																																																																									
<p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">受注者 住 所 会 社 名 代 表 者 名</p> <p style="text-align: center;">請負工事既済部分検査要求書</p> <p>年 月 日付けで請負契約を締結した 工事について、契約書第39条2項により既済部分の検査を要求します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">工事番号</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">工事名</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td>路線・河川名</td> <td></td> <td>工事場所</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">工 事 の 概 要</td> </tr> <tr> <td colspan="4">請 負 金 額</td> </tr> <tr> <td>契 約 年 月 日</td> <td colspan="3">年 月 日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">工 期</td> <td colspan="3">年 月 日から</td> </tr> <tr> <td colspan="3">年 月 日まで</td> </tr> <tr> <td>前 回 既 済 部 分 検 査</td> <td colspan="3">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>前 回 まで 既 済 部 分 検 査 高</td> <td colspan="3">%</td> </tr> <tr> <td>今 回 見 込 み</td> <td colspan="3">% (年 月 日)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番タテ</td> </tr> </table>				工事番号		工事名		路線・河川名		工事場所		工 事 の 概 要				請 負 金 額				契 約 年 月 日	年 月 日			工 期	年 月 日から			年 月 日まで			前 回 既 済 部 分 検 査	年 月 日			前 回 まで 既 済 部 分 検 査 高	%			今 回 見 込 み	% (年 月 日)			備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番タテ				<p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">受注者 住 所 会 社 名 代 表 者 名</p> <p style="text-align: center;">請負工事既済部分検査要求書</p> <p>年 月 日付けで請負契約を締結した 工事について、契約書第37条2項により既済部分の検査を要求します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">工事番号</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;">工事名</td> <td style="width: 15%;"></td> </tr> <tr> <td>路線・河川名</td> <td></td> <td>工事場所</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">工 事 の 概 要</td> </tr> <tr> <td colspan="4">請 負 金 額</td> </tr> <tr> <td>契 約 年 月 日</td> <td colspan="3">年 月 日</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">工 期</td> <td colspan="3">年 月 日から</td> </tr> <tr> <td colspan="3">年 月 日まで</td> </tr> <tr> <td>前 回 既 済 部 分 検 査</td> <td colspan="3">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>前 回 まで 既 済 部 分 検 査 高</td> <td colspan="3">%</td> </tr> <tr> <td>今 回 見 込 み</td> <td colspan="3">% (年 月 日)</td> </tr> <tr> <td colspan="4">備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番タテ</td> </tr> </table>				工事番号		工事名		路線・河川名		工事場所		工 事 の 概 要				請 負 金 額				契 約 年 月 日	年 月 日			工 期	年 月 日から			年 月 日まで			前 回 既 済 部 分 検 査	年 月 日			前 回 まで 既 済 部 分 検 査 高	%			今 回 見 込 み	% (年 月 日)			備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番タテ			
工事番号		工事名																																																																																											
路線・河川名		工事場所																																																																																											
工 事 の 概 要																																																																																													
請 負 金 額																																																																																													
契 約 年 月 日	年 月 日																																																																																												
工 期	年 月 日から																																																																																												
	年 月 日まで																																																																																												
前 回 既 済 部 分 検 査	年 月 日																																																																																												
前 回 まで 既 済 部 分 検 査 高	%																																																																																												
今 回 見 込 み	% (年 月 日)																																																																																												
備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番タテ																																																																																													
工事番号		工事名																																																																																											
路線・河川名		工事場所																																																																																											
工 事 の 概 要																																																																																													
請 負 金 額																																																																																													
契 約 年 月 日	年 月 日																																																																																												
工 期	年 月 日から																																																																																												
	年 月 日まで																																																																																												
前 回 既 済 部 分 検 査	年 月 日																																																																																												
前 回 まで 既 済 部 分 検 査 高	%																																																																																												
今 回 見 込 み	% (年 月 日)																																																																																												
備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番タテ																																																																																													

様式契-17 指定部分完成届

<改定>

- ・ 押印の省略
- ・ 契約書条ずれの修正

新様式	旧様式																																																
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="font-size: small;">様式契-17 (契第40条関係)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center; margin-left: 100px;">受注者 住 所 会 社 名 代 表 者 名</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">指 定 部 分 完 成 届</p> <p style="font-size: x-small;">年 月 日付けで請負契約を締結した 工事について、下記のとおり指定部分 が完成したのでお届けします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <tr> <td style="width: 20%;">工 事 番 号</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">工 事 名</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>路 線 ・ 河 川 名</td> <td></td> <td>工 事 場 所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>請 負 金 額</td> <td></td> <td>指 定 部 分 完 成 金 額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>契 約 年 月 日</td> <td colspan="3">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>着 工 年 月 日</td> <td colspan="3">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>指 定 部 分 完 成 期 限</td> <td>年 月 日</td> <td>指 定 部 分 完 成 年 月 日</td> <td>年 月 日</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 10px;">備考 1. 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番タテ 2. ①完成期限は契約書記載の完成期限 ②完成年月日は実際に完成した年月日</p> </div>	工 事 番 号		工 事 名		路 線 ・ 河 川 名		工 事 場 所		請 負 金 額		指 定 部 分 完 成 金 額		契 約 年 月 日	年 月 日			着 工 年 月 日	年 月 日			指 定 部 分 完 成 期 限	年 月 日	指 定 部 分 完 成 年 月 日	年 月 日	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="font-size: small;">様式契-17 (契第38条関係)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center; margin-left: 100px;">受注者 住 所 会 社 名 代 表 者 名</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">指 定 部 分 完 成 届</p> <p style="font-size: x-small;">年 月 日付けで請負契約を締結した 工事について、下記のとおり指定部 分が完成したのでお届けします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <tr> <td style="width: 20%;">工 事 番 号</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">工 事 名</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>路 線 ・ 河 川 名</td> <td></td> <td>工 事 場 所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>請 負 金 額</td> <td></td> <td>指 定 部 分 完 成 金 額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>契 約 年 月 日</td> <td colspan="3">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>着 工 年 月 日</td> <td colspan="3">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>指 定 部 分 完 成 期 限</td> <td>年 月 日</td> <td>指 定 部 分 完 成 年 月 日</td> <td>年 月 日</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 10px;">備考 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番タテ 2. ①完成期限は契約書記載の完成期限 ②完成年月日は実際に完成した年月日</p> </div>	工 事 番 号		工 事 名		路 線 ・ 河 川 名		工 事 場 所		請 負 金 額		指 定 部 分 完 成 金 額		契 約 年 月 日	年 月 日			着 工 年 月 日	年 月 日			指 定 部 分 完 成 期 限	年 月 日	指 定 部 分 完 成 年 月 日	年 月 日
工 事 番 号		工 事 名																																															
路 線 ・ 河 川 名		工 事 場 所																																															
請 負 金 額		指 定 部 分 完 成 金 額																																															
契 約 年 月 日	年 月 日																																																
着 工 年 月 日	年 月 日																																																
指 定 部 分 完 成 期 限	年 月 日	指 定 部 分 完 成 年 月 日	年 月 日																																														
工 事 番 号		工 事 名																																															
路 線 ・ 河 川 名		工 事 場 所																																															
請 負 金 額		指 定 部 分 完 成 金 額																																															
契 約 年 月 日	年 月 日																																																
着 工 年 月 日	年 月 日																																																
指 定 部 分 完 成 期 限	年 月 日	指 定 部 分 完 成 年 月 日	年 月 日																																														

様式契-18の1 掛金出納書提出用台紙

- <改定>
- ・ 押印の省略
 - ・ 国の様式へ統一

新様式	旧様式																
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>様式契-18の1(仕様1-1-1-41条関係)</p> <p>発注者 岡山県 〇〇 殿</p> <p>工事番号および工事名</p> <p>建設キャリアアップシステム現場ID <input type="text"/> 総工事費 <input type="text"/> 円</p> <p>受注者(元請)</p> <p>住所 <input type="text"/></p> <p>名称 <input type="text"/></p> <p>共済契約者番号 <input type="text"/></p> <p>建設キャリアアップシステム事業者ID <input type="text"/></p> <p>共済証紙購入金額 <input type="text"/> 円</p> <p style="text-align: center;">掛金収納書提出用台紙</p> <p style="text-align: right;">(掛金収納書は台紙に貼り付ける)</p> <p>当該工事における共済証紙購入の考え方 (該当する□に✓をチェックして下さい)</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 発注者の指示のとおり</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 対象労働者数と当該労働者の就労日数を的確に把握している場合</p> <p style="margin-left: 20px;">就労予定延人数 <input type="text"/> 販売価格 <input type="text"/> 円 = <input type="text"/> 円</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 対象労働者数と当該労働者の就労日数の把握が困難な場合</p> <p style="margin-left: 20px;">総工事費 <input type="text"/> 円 × $\frac{\text{購入率}}{1,000}$ × $\frac{\text{※加入率}}{70\%}$ = <input type="text"/> 円</p> <p style="margin-left: 20px;">※対象工事における労働者の建退共加入率</p> <p><input type="checkbox"/> 4. その他</p> <p style="margin-left: 20px;">購入額の根拠を記入 <input style="width: 100%;" type="text"/></p> <p>(参考)</p> <p>建設キャリアアップシステム登録情報</p> <p>共済契約者である元請負人の建設キャリアアップシステム事業者登録の有無 (有・無)</p> <p>本工事について、現場・契約情報の建設キャリアアップシステムへの登録の有無 (有・無)</p> <p>本工事について、カードリーダーの設置等、就業履歴が蓄積可能な環境の有無 (有・無)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>様式契-18 (仕様1-1-1-40条関係)</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 〇〇 殿</p> <p style="text-align: right;">受注者 住所 会社名 代表者名</p> <p style="text-align: right;">印</p> <p style="text-align: center;">建設業退職金共済組合証紙購入状況報告書</p> <p>下記の通り証紙を購入したので、当該掛金収納書をちょう付して報告します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>工事名</td> <td><input type="text"/></td> <td>工事場所</td> <td><input type="text"/></td> </tr> <tr> <td>契約年月日</td> <td>年 月 日</td> <td>請負金額</td> <td>円</td> </tr> <tr> <td>標準</td> <td>設工事 (請負金額 × $\frac{2.5}{1,000}$)</td> <td>円</td> <td>共済証紙購入額 <input type="text"/> 円</td> </tr> <tr> <td>購入費</td> <td>木工事 (請負金額 × $\frac{3.5}{1,000}$)</td> <td>円</td> <td>共済証紙購入額 (共済証紙購入額 × 1,000) <input type="text"/> 円</td> </tr> </table> <p>共済証紙購入額が標準購入額を下回った理由</p> <p><input style="width: 100%; height: 50px;" type="text"/></p> <p>掛金収納書 (発注官公庁等用) 添付欄</p> <p style="font-size: small;">の り し ろ</p> </div>	工事名	<input type="text"/>	工事場所	<input type="text"/>	契約年月日	年 月 日	請負金額	円	標準	設工事 (請負金額 × $\frac{2.5}{1,000}$)	円	共済証紙購入額 <input type="text"/> 円	購入費	木工事 (請負金額 × $\frac{3.5}{1,000}$)	円	共済証紙購入額 (共済証紙購入額 × 1,000) <input type="text"/> 円
工事名	<input type="text"/>	工事場所	<input type="text"/>														
契約年月日	年 月 日	請負金額	円														
標準	設工事 (請負金額 × $\frac{2.5}{1,000}$)	円	共済証紙購入額 <input type="text"/> 円														
購入費	木工事 (請負金額 × $\frac{3.5}{1,000}$)	円	共済証紙購入額 (共済証紙購入額 × 1,000) <input type="text"/> 円														

様式契-18の2 掛金出納書（電子申請方式）

<改定> ・ 国の様式へ統一

新様式	旧様式																				
<div data-bbox="380 486 772 1380"> <p>様式契-18の2 (仕様1-1-1-4) (発注者用)</p> <p>掛金収納書（電子申請方式） (共済契約者が発注者へ)</p> <p>共済契約者番号 <input type="text"/></p> <p>共済契約者名 (法人または事業主様) J Vの場合は 共同企業体名 <input type="text"/></p> <p>掛金収納書番号 (お間違いの恐れは、この番号と共済契約者名をお知らせください。) <input type="text"/></p> <p>収納年月日 <input type="text"/></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">退職金ポイント購入額</th> </tr> <tr> <th>単価</th> <th>購入日数</th> <th colspan="2">購入額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>320円 (中小企業用)</td> <td><input type="text"/></td> <td>日</td> <td><input type="text"/>円</td> </tr> <tr> <td>320円 (大企業用)</td> <td><input type="text"/></td> <td>日</td> <td><input type="text"/>円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td><input type="text"/></td> <td>日</td> <td><input type="text"/>円</td> </tr> </tbody> </table> <p>工事情報</p> <p>工事の区分 <input type="checkbox"/> 全労 <input type="checkbox"/> 長労 <input type="checkbox"/> その他</p> <p>発注者名 <input type="text"/></p> <p>元請契約の工事番号および工事名 <input type="text"/></p> <p>総工事費 <input type="text"/>円</p> <p>当該工事の退職金ポイント購入の受取方 <input type="text"/></p> <p>この掛金収納書は、電子申請方式の退職金ポイントの購入を証する書です。 建設業に在籍している場合は、発注官 または、公共工事を受け負った場合には、発注官 庁等からこの掛金収納書の提出を求められる場 合がありますので、大切に管理・保管願いま (参考) 建設キャリアアップシステム登録情報</p> <p>本工事を施工する下請負人を含めた 建設キャリアアップシステムへの登録の有無 (有) (無)</p> <p>元請負人の建設キャリア アップシステム事業者ID <input type="text"/></p> <p>本工事について、下請負人を含めた施工体制登録の有無 (有) (無)</p> <p>本現場の建設キャリア アップシステム現場ID <input type="text"/></p> <p>本工事について、カードリーダーの設置等、就業履歴が蓄積可能な環境の有 (有) (無)</p> </div>	退職金ポイント購入額				単価	購入日数	購入額		320円 (中小企業用)	<input type="text"/>	日	<input type="text"/> 円	320円 (大企業用)	<input type="text"/>	日	<input type="text"/> 円	合計	<input type="text"/>	日	<input type="text"/> 円	<div data-bbox="1545 486 1792 534"> <p>(様式なし)</p> </div>
退職金ポイント購入額																					
単価	購入日数	購入額																			
320円 (中小企業用)	<input type="text"/>	日	<input type="text"/> 円																		
320円 (大企業用)	<input type="text"/>	日	<input type="text"/> 円																		
合計	<input type="text"/>	日	<input type="text"/> 円																		

様式契-18の3 建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表

<改定> ・ 国の様式へ統一

新様式	旧様式
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>様式契-18の3</p> <p style="text-align: center;">建設業退職金共済制度掛金充当実績総括表</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>発注者 岡山県 殿</p> <p style="text-align: right;">受注者 住所</p> <p style="text-align: right;">名称</p> <p>共済契約者番号</p> <p>建設キャリアアップシステム事業者ID</p> <p>工事番号および工事名</p> <p>建設キャリアアップシステム現場ID</p> <p>工事期間 年 月 日 ~ 年 月 日</p> <p>上記工事に係る建設業退職金共済制度の掛金充当実績について、以下のとおり報告します。</p> <p>(1) 工事全体</p> <p>労働者延べ就労日数 人日</p> <p>本工事に従事した事業者数 (元請を含む) 者</p> <p>本工事に従事した労働者数 人</p> <p>(2) 建退共対象労働者</p> <p>建退共対象労働者延べ就労日数 (掛金充当日数) 人日</p> <p>採用した方式 <input type="checkbox"/> 電子申請方式 <input type="checkbox"/> 証紙貼付方式</p> <p>・ 事業者数 (元請を含む) 者</p> <p>・ 対象労働者数 人</p> <p>(参考：工事全体の数を記入すること)</p> <p>・ 建設キャリアアップシステムによる就労履歴数 人日</p> <p>・ 建設キャリアアップシステムの施工体制に登録した事業者数 者</p> <p>・ 建設キャリアアップシステムの作業員登録を行った労働者数 人</p> </div>	<p style="text-align: center;">(様式なし)</p>

様式契-19 入札辞退届

<改定>

- ・ 押印の省略
- ・ 書類発行責任者等記載欄の新設

新様式	旧様式																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="font-size: small;">様式契-19</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold; margin: 20px 0;">入 札 辞 退 届</p> <p style="text-align: right; margin-right: 50px;">年 月 日</p> <p>岡山県 殿</p> <p style="text-align: center; margin: 10px 0;">住 所</p> <p style="text-align: center; margin: 10px 0;">氏 名</p> <p style="margin-top: 20px;">年 月 日 時 分執行の指名競争入札を、次の理由により 辞退いたしますのでよろしくお願いいたします。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 15%; font-size: x-small;">1 工 事 番 号</td> <td style="width: 85%;"></td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">2 工 事 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">3 入札を辞退する理由</td> <td></td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 10px;">(注) この届けは、入札執行の前日までに契約担当者に直接持参するか、又は 郵送(入札執行の前日までに必着)して下さい。 ※押印を省略する場合は、「書類発行責任者」及び「担当者」の氏名及び連絡先等を記 入すること。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%; font-size: x-small;">書類発行責任者</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; font-size: x-small;">連絡先</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="font-size: x-small;">E-mail</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">担 当 者</td> <td></td> <td style="font-size: x-small;">連絡先</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="font-size: x-small;">E-mail</td> <td></td> </tr> </table> </div>	1 工 事 番 号		2 工 事 名		3 入札を辞退する理由		書類発行責任者		連絡先				E-mail		担 当 者		連絡先				E-mail		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="font-size: small;">様式契-19</p> <p style="text-align: center; font-weight: bold; margin: 20px 0;">入 札 辞 退 届</p> <p style="text-align: right; margin-right: 50px;">年 月 日</p> <p>岡山県 殿</p> <p style="text-align: center; margin: 10px 0;">住 所</p> <p style="text-align: center; margin: 10px 0;">氏 名 印</p> <p style="margin-top: 20px;">年 月 日 時 分執行の指名競争入札を、次の理由により 辞退いたしますのでよろしくお願いいたします。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 15%; font-size: x-small;">1 工 事 番 号</td> <td style="width: 85%;"></td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">2 工 事 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">3 入札を辞退する理由</td> <td></td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 10px;">(注) この届けは、入札執行の前日までに契約担当者に直接持参するか、又は 郵送(入札執行の前日までに必着)して下さい。</p> </div>	1 工 事 番 号		2 工 事 名		3 入札を辞退する理由	
1 工 事 番 号																													
2 工 事 名																													
3 入札を辞退する理由																													
書類発行責任者		連絡先																											
		E-mail																											
担 当 者		連絡先																											
		E-mail																											
1 工 事 番 号																													
2 工 事 名																													
3 入札を辞退する理由																													

様式契-20 工事関係者に関する措置請求

<改定>

- ・ 押印の省略
- ・ 契約書条ずれの修正

新様式		旧様式																			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>様式契-20</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">発注者 又は 監督員 所 属 職・氏名</p> <p style="text-align: center;">工事関係者に関する措置請求について</p> <p>次の事項について、必要な措置をとるよう工事請負契約書第13条第1項（第2項）の規定により請求します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">1 工事名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 工事場所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 契約年月日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>4 請求事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 理由</td> <td></td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">注1 現場代理人に対する措置請求：発注者 注2 主任技術者等への措置請求：発注者又は監督員</p> </div>	1 工事名		2 工事場所		3 契約年月日	年 月 日	4 請求事項		5 理由		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>様式契-20</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">発注者 又は 監督員 所 属 職・氏名</p> <p style="text-align: center;">工事関係者に関する措置請求について</p> <p>次の事項について、必要な措置をとるよう工事請負契約書第12条第1項（第2項）の規定により請求します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">1 工事名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 工事場所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 契約年月日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>4 請求事項</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5 理由</td> <td></td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">注1 現場代理人に対する措置請求：発注者 注2 主任技術者等への措置請求：発注者又は監督員</p> </div>	1 工事名		2 工事場所		3 契約年月日	年 月 日	4 請求事項		5 理由	
1 工事名																					
2 工事場所																					
3 契約年月日	年 月 日																				
4 請求事項																					
5 理由																					
1 工事名																					
2 工事場所																					
3 契約年月日	年 月 日																				
4 請求事項																					
5 理由																					

様式契-21 工事関係者に関する措置決定

<改定>

- ・ 押印の省略
- ・ 契約書条ずれの修正

新様式		旧様式																	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="font-size: small;">様式契-21</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">受注者 住所</p> <p style="text-align: center;">氏名</p> <p style="text-align: center;">工事関係者に関する措置決定について</p> <p>年 月 日付けで請求のありました標記のことについては、次のとおり措置しましたので、工事請負契約書第13条第3項の規定により通知します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; font-size: x-small;">1 工事名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">2 工事場所</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">3 契約年月日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">4 措置決定事項</td> <td></td> </tr> </table> </div>		1 工事名		2 工事場所		3 契約年月日	年 月 日	4 措置決定事項		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="font-size: small;">様式契-21</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">受注者 住所</p> <p style="text-align: center;">氏名</p> <p style="text-align: right;">印</p> <p style="text-align: center;">工事関係者に関する措置決定について</p> <p>年 月 日付けで請求のありました標記のことについては、次のとおり措置しましたので、工事請負契約書第12条第3項の規定により通知します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; font-size: x-small;">1 工事名</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">2 工事場所</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">3 契約年月日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td style="font-size: x-small;">4 措置決定事項</td> <td></td> </tr> </table> </div>		1 工事名		2 工事場所		3 契約年月日	年 月 日	4 措置決定事項	
1 工事名																			
2 工事場所																			
3 契約年月日	年 月 日																		
4 措置決定事項																			
1 工事名																			
2 工事場所																			
3 契約年月日	年 月 日																		
4 措置決定事項																			

様式契-22 監督員に関する措置請求

<改定>

- ・ 押印の省略
- ・ 契約書条ずれの修正

新様式

様式契-22	
年 月 日	
(発注者) 殿	
受注者 住所	
氏名	
監督員に関する措置請求について	
次の事項について、必要な措置をとるよう工事請負契約書第13条第4項の規定により請求します。	
1 工事名	
2 工事場所	
3 契約年月日	年 月 日
4 請求事項	
5 理由	

旧様式

様式契-22	
年 月 日	
(発注者) 殿	
受注者 住所	
氏名	
印	
監督員に関する措置請求について	
次の事項について、必要な措置をとるよう工事請負契約書第12条第4項の規定により請求します。	
1 工事名	
2 工事場所	
3 契約年月日	年 月 日
4 請求事項	
5 理由	

様式契-23 監督員に関する措置決定

- <改定>
- ・ 押印の省略
 - ・ 契約書条ずれの修正

新様式		旧様式																	
<p>様式契-23</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(発注者)</p> <p style="text-align: center;">工事関係者に関する措置決定について</p> <p>年 月 日付けで請求のありました標記のことについては、次のとおり措置しましたので、工事請負契約書第13条第5項の規定により通知します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">1 工事名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 工事場所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 契約年月日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>4 措置決定事項</td> <td></td> </tr> </table>		1 工事名		2 工事場所		3 契約年月日	年 月 日	4 措置決定事項		<p>様式契-23</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(発注者) 印</p> <p style="text-align: center;">工事関係者に関する措置決定について</p> <p>年 月 日付けで請求のありました標記のことについては、次のとおり措置しましたので、工事請負契約書第12条第5項の規定により通知します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">1 工事名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2 工事場所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 契約年月日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>4 措置決定事項</td> <td></td> </tr> </table>		1 工事名		2 工事場所		3 契約年月日	年 月 日	4 措置決定事項	
1 工事名																			
2 工事場所																			
3 契約年月日	年 月 日																		
4 措置決定事項																			
1 工事名																			
2 工事場所																			
3 契約年月日	年 月 日																		
4 措置決定事項																			

様式契-24 工事現場内に搬入した工事材料の工事現場外搬出について

<改定>

- ・ 押印の省略
- ・ 契約書条ずれの修正

新様式		旧様式																											
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>様式契-24</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">受注者 住所 氏名</p> <p style="text-align: center;">工事現場内に搬入した工事材料の工事現場外搬出について</p> <p>工事現場内に搬入した次の工事材料について、工事現場外に搬出したいので、承諾願いたく、工事請負契約書第14条第4項の規定により申請します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">1. 工事名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 工事場所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 契約年月日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>4. 工事現場外へ搬出する工事材料の品名、規格、数量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 搬出先</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 搬出時期</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>7. 搬出理由</td> <td></td> </tr> </table> </div>	1. 工事名		2. 工事場所		3. 契約年月日	年 月 日	4. 工事現場外へ搬出する工事材料の品名、規格、数量		5. 搬出先		6. 搬出時期	年 月 日	7. 搬出理由		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>様式契-24</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">受注者 住所 氏名</p> <p style="text-align: right;">印</p> <p style="text-align: center;">工事現場内に搬入した工事材料の工事現場外搬出について</p> <p>工事現場内に搬入した次の工事材料について、工事現場外に搬出したいので、承諾願いたく、工事請負契約書第13条第4項の規定により申請します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">1. 工事名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 工事場所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 契約年月日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>4. 工事現場外へ搬出する工事材料の品名、規格、数量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 搬出先</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 搬出時期</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>7. 搬出理由</td> <td></td> </tr> </table> </div>	1. 工事名		2. 工事場所		3. 契約年月日	年 月 日	4. 工事現場外へ搬出する工事材料の品名、規格、数量		5. 搬出先		6. 搬出時期	年 月 日	7. 搬出理由	
1. 工事名																													
2. 工事場所																													
3. 契約年月日	年 月 日																												
4. 工事現場外へ搬出する工事材料の品名、規格、数量																													
5. 搬出先																													
6. 搬出時期	年 月 日																												
7. 搬出理由																													
1. 工事名																													
2. 工事場所																													
3. 契約年月日	年 月 日																												
4. 工事現場外へ搬出する工事材料の品名、規格、数量																													
5. 搬出先																													
6. 搬出時期	年 月 日																												
7. 搬出理由																													

様式契-25 支給材料又は貸与品の不適當について

- <改定>
- ・ 押印の省略
 - ・ 契約書条ずれの修正

新様式		旧様式																			
<p>様式契-25</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">住所 氏名</p> <p style="text-align: center;">支給材料又は貸与品の不適當について</p> <p>次のとおり支給材料又は貸与品が適當でない認められたので、工事請負契約書第16条第2項(第4項)の規定により通知します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">1. 工 事 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 工 事 場 所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 契 約 年 月 日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>4. 不 適 当 な 支 給 材 料 又 は 貸 与 品</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 理 由</td> <td></td> </tr> </table>	1. 工 事 名		2. 工 事 場 所		3. 契 約 年 月 日	年 月 日	4. 不 適 当 な 支 給 材 料 又 は 貸 与 品		5. 理 由		<p>様式契-25</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">住所 氏名 印</p> <p style="text-align: center;">支給材料又は貸与品の不適當について</p> <p>次のとおり支給材料又は貸与品が適當でない認められたので、工事請負契約書第15条第2項(第4項)の規定により通知します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">1. 工 事 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 工 事 場 所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 契 約 年 月 日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>4. 不 適 当 な 支 給 材 料 又 は 貸 与 品</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. 理 由</td> <td></td> </tr> </table>	1. 工 事 名		2. 工 事 場 所		3. 契 約 年 月 日	年 月 日	4. 不 適 当 な 支 給 材 料 又 は 貸 与 品		5. 理 由	
1. 工 事 名																					
2. 工 事 場 所																					
3. 契 約 年 月 日	年 月 日																				
4. 不 適 当 な 支 給 材 料 又 は 貸 与 品																					
5. 理 由																					
1. 工 事 名																					
2. 工 事 場 所																					
3. 契 約 年 月 日	年 月 日																				
4. 不 適 当 な 支 給 材 料 又 は 貸 与 品																					
5. 理 由																					

様式契-29 設計図書等との不一致等確認事項に関する措置について

- <改定>
- ・ 押印の省略
 - ・ 契約書条ずれの修正

新様式		旧様式															
<p>様式契-29</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(発注者)</p> <p style="text-align: center;">設計図書等との不一致等確認事項に関する措置について</p> <p>年 月 日付けで確認請求のありました事項については、次のとおり措置することになりましたので、工事請負契約書第19条第3項の規定により通知します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">1. 工 事 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 工 事 場 所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 契 約 年 月 日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>4. 措 置 決 定 事 項</td> <td></td> </tr> </table>	1. 工 事 名		2. 工 事 場 所		3. 契 約 年 月 日	年 月 日	4. 措 置 決 定 事 項		<p>様式契-29</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(発注者) 印</p> <p style="text-align: center;">設計図書等との不一致等確認事項に関する措置について</p> <p>年 月 日付けで確認請求のありました事項については、次のとおり措置することになりましたので、工事請負契約書第18条第3項の規定により通知します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">1. 工 事 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 工 事 場 所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 契 約 年 月 日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>4. 措 置 決 定 事 項</td> <td></td> </tr> </table>	1. 工 事 名		2. 工 事 場 所		3. 契 約 年 月 日	年 月 日	4. 措 置 決 定 事 項	
1. 工 事 名																	
2. 工 事 場 所																	
3. 契 約 年 月 日	年 月 日																
4. 措 置 決 定 事 項																	
1. 工 事 名																	
2. 工 事 場 所																	
3. 契 約 年 月 日	年 月 日																
4. 措 置 決 定 事 項																	

様式契-30 工事の全部又は一部の施行の一時中止について

- <改定>
- ・ 押印の省略
 - ・ 契約書条ずれの修正

新様式		旧様式																	
<p>様式契-30</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(発注者)</p> <p style="text-align: center;">工事の全部又は一部の施工の一時中止について</p> <p>次のとおり工事の全部又は一部の施工を一時中止したいので、工事請負契約書第21条第1項(第2項)の規定により通知します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">1. 工事名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 工事場所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 契約年月日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>4. 工事施工の中止内容</td> <td></td> </tr> </table>		1. 工事名		2. 工事場所		3. 契約年月日	年 月 日	4. 工事施工の中止内容		<p>様式契-30</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(発注者) 印</p> <p style="text-align: center;">工事の全部又は一部の施工の一時中止について</p> <p>次のとおり工事の全部又は一部の施工を一時中止したいので、工事請負契約書第20条第1項(第2項)の規定により通知します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">1. 工事名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 工事場所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 契約年月日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>4. 工事施工の中止内容</td> <td></td> </tr> </table>		1. 工事名		2. 工事場所		3. 契約年月日	年 月 日	4. 工事施工の中止内容	
1. 工事名																			
2. 工事場所																			
3. 契約年月日	年 月 日																		
4. 工事施工の中止内容																			
1. 工事名																			
2. 工事場所																			
3. 契約年月日	年 月 日																		
4. 工事施工の中止内容																			

様式契-31 工期の短縮について

<改定>

- ・ 押印の省略
- ・ 契約書条ずれの修正

新様式		旧様式																									
<p>様式契-31</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(発注者)</p> <p style="text-align: center;">工期の短縮等について</p> <p>次のとおり工期を短縮する必要が生じたため、工事請負契約書第24条第1項の規定により工期短縮変更を請求します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">1. 工事名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 工事場所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 契約年月日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>4. 現工期</td> <td style="text-align: center;">年 月 日から 年 月 日まで</td> </tr> <tr> <td>5. 変更予定工期</td> <td style="text-align: center;">年 月 日から 年 月 日まで</td> </tr> <tr> <td>6. 工期短縮変更理由</td> <td></td> </tr> </table>		1. 工事名		2. 工事場所		3. 契約年月日	年 月 日	4. 現工期	年 月 日から 年 月 日まで	5. 変更予定工期	年 月 日から 年 月 日まで	6. 工期短縮変更理由		<p>様式契-31</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(発注者) 印</p> <p style="text-align: center;">工期の短縮等について</p> <p>次のとおり工期を短縮する必要が生じたため、工事請負契約書第22条第1項の規定により工期短縮変更を請求します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">1. 工事名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 工事場所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 契約年月日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>4. 現工期</td> <td style="text-align: center;">年 月 日から 年 月 日まで</td> </tr> <tr> <td>5. 変更予定工期</td> <td style="text-align: center;">年 月 日から 年 月 日まで</td> </tr> <tr> <td>6. 工期短縮変更理由</td> <td></td> </tr> </table>		1. 工事名		2. 工事場所		3. 契約年月日	年 月 日	4. 現工期	年 月 日から 年 月 日まで	5. 変更予定工期	年 月 日から 年 月 日まで	6. 工期短縮変更理由	
1. 工事名																											
2. 工事場所																											
3. 契約年月日	年 月 日																										
4. 現工期	年 月 日から 年 月 日まで																										
5. 変更予定工期	年 月 日から 年 月 日まで																										
6. 工期短縮変更理由																											
1. 工事名																											
2. 工事場所																											
3. 契約年月日	年 月 日																										
4. 現工期	年 月 日から 年 月 日まで																										
5. 変更予定工期	年 月 日から 年 月 日まで																										
6. 工期短縮変更理由																											

様式契-32 引渡書

- <改定>
- ・ 押印の省略
 - ・ 契約書条ずれの修正

新様式	旧様式												
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>様式契-32</p> <p style="text-align: center;">引 渡 書</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">住所 氏名</p> <p>年 月 日付けで契約締結した次の工事目的物（指定部分に係る工事目的物）を、工事請負契約書第33条第4項（第40条第1項）の規定により、年 月 日引渡します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">1. 工 事 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 工 事 場 所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 引 渡 し 部 分 名</td> <td></td> </tr> </table> </div>	1. 工 事 名		2. 工 事 場 所		3. 引 渡 し 部 分 名		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>様式契-32</p> <p style="text-align: center;">引 渡 書</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">住所 氏名 印</p> <p>年 月 日付けで契約締結した次の工事目的物（指定部分に係る工事目的物）を、工事請負契約書第31条第4項（第38条第1項）の規定により、年 月 日引渡します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">1. 工 事 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 工 事 場 所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 引 渡 し 部 分 名</td> <td></td> </tr> </table> </div>	1. 工 事 名		2. 工 事 場 所		3. 引 渡 し 部 分 名	
1. 工 事 名													
2. 工 事 場 所													
3. 引 渡 し 部 分 名													
1. 工 事 名													
2. 工 事 場 所													
3. 引 渡 し 部 分 名													

様式契-33 工事目的物の使用について（協議）

- <改定>
- ・ 押印の省略
 - ・ 契約書条ずれの修正

新様式		旧様式																									
<p>様式契-33</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(発注者)</p> <p style="text-align: center;">工事目的物の使用について（協議）</p> <p>次の工事について引渡し前に使用したいので、工事請負契約書第35条第1項の規定により同意を得たく協議します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">1. 工事名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 工事場所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 契約年月日</td> <td>年 月 日</td> </tr> <tr> <td>4. 工期</td> <td>年 月 日 から 年 月 日 まで</td> </tr> <tr> <td>5. 請負代金額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 使用したい範囲</td> <td></td> </tr> </table>		1. 工事名		2. 工事場所		3. 契約年月日	年 月 日	4. 工期	年 月 日 から 年 月 日 まで	5. 請負代金額		6. 使用したい範囲		<p>様式契-33</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(発注者) 印</p> <p style="text-align: center;">工事目的物の使用について（協議）</p> <p>次の工事について引渡し前に使用したいので、工事請負契約書第33条第1項の規定により同意を得たく協議します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">1. 工事名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 工事場所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 契約年月日</td> <td>年 月 日</td> </tr> <tr> <td>4. 工期</td> <td>年 月 日 から 年 月 日 まで</td> </tr> <tr> <td>5. 請負代金額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 使用したい範囲</td> <td></td> </tr> </table>		1. 工事名		2. 工事場所		3. 契約年月日	年 月 日	4. 工期	年 月 日 から 年 月 日 まで	5. 請負代金額		6. 使用したい範囲	
1. 工事名																											
2. 工事場所																											
3. 契約年月日	年 月 日																										
4. 工期	年 月 日 から 年 月 日 まで																										
5. 請負代金額																											
6. 使用したい範囲																											
1. 工事名																											
2. 工事場所																											
3. 契約年月日	年 月 日																										
4. 工期	年 月 日 から 年 月 日 まで																										
5. 請負代金額																											
6. 使用したい範囲																											

様式契-34 工事目的物の使用について（同意）

- <改定>
- ・ 押印の省略
 - ・ 契約書条ずれの修正

新様式		旧様式																									
<p>様式契-34</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">住所 氏名</p> <p style="text-align: center;">工事目的物の使用について（同意）</p> <p>年 月 日付けで協議のありました次の工事目的物の使用については、工事請負契約書第35条第1項の規定により同意します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">1. 工 事 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 工 事 場 所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 契 約 年 月 日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>4. 工 期</td> <td style="text-align: center;">年 月 日 から 年 月 日 まで</td> </tr> <tr> <td>5. 請 負 代 金 額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 同意する使用範囲</td> <td></td> </tr> </table>		1. 工 事 名		2. 工 事 場 所		3. 契 約 年 月 日	年 月 日	4. 工 期	年 月 日 から 年 月 日 まで	5. 請 負 代 金 額		6. 同意する使用範囲		<p>様式契-34</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">住所 氏名 印</p> <p style="text-align: center;">工事目的物の使用について（同意）</p> <p>年 月 日付けで協議のありました次の工事目的物の使用については、工事請負契約書第33条第1項の規定により同意します。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;">1. 工 事 名</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2. 工 事 場 所</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3. 契 約 年 月 日</td> <td style="text-align: center;">年 月 日</td> </tr> <tr> <td>4. 工 期</td> <td style="text-align: center;">年 月 日 から 年 月 日 まで</td> </tr> <tr> <td>5. 請 負 代 金 額</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6. 同意する使用範囲</td> <td></td> </tr> </table>		1. 工 事 名		2. 工 事 場 所		3. 契 約 年 月 日	年 月 日	4. 工 期	年 月 日 から 年 月 日 まで	5. 請 負 代 金 額		6. 同意する使用範囲	
1. 工 事 名																											
2. 工 事 場 所																											
3. 契 約 年 月 日	年 月 日																										
4. 工 期	年 月 日 から 年 月 日 まで																										
5. 請 負 代 金 額																											
6. 同意する使用範囲																											
1. 工 事 名																											
2. 工 事 場 所																											
3. 契 約 年 月 日	年 月 日																										
4. 工 期	年 月 日 から 年 月 日 まで																										
5. 請 負 代 金 額																											
6. 同意する使用範囲																											

様式契-35 天災その他の不可抗力による損害の認定について

- <改定>
- ・ 押印の省略
 - ・ 契約書条ずれの修正

新様式	旧様式
<p>様式契-35</p> <p>年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p>(発注者)</p> <p>天災その他の不可抗力による損害の認定について</p> <p>標記について、貴社より 年 月 日付けで通知のありました「天災その他の不可抗力による損害の通知について」について、調査を行った結果、下記工事について「天災その他の不可抗力による損害」と認定しましたので、工事請負契約書第31条第2項に基づき通知します。</p> <p>なお、損害額については、別途協議願います。</p> <p>記</p> <p>工 事 名</p> <p>工 期 年 月 日から 年 月 日まで</p>	<p>様式契-35</p> <p>年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p>(発注者) 印</p> <p>天災その他の不可抗力による損害の認定について</p> <p>標記について、貴社より 年 月 日付けで通知のありました「天災その他の不可抗力による損害の通知について」について、調査を行った結果、下記工事について「天災その他の不可抗力による損害」と認定しましたので、工事請負契約書第29条第2項に基づき通知します。</p> <p>なお、損害額については、別途協議願います。</p> <p>記</p> <p>工 事 名</p> <p>工 期 年 月 日から 年 月 日まで</p>

様式契-36 天災その他の不可抗力による損害について（協議・承諾）

- <改定>
- ・ 契約書条ずれの修正
 - ・ 押印の省略
 - ・ 「…押印記名のうえ…」 → 「…記名のうえ…」

新様式	旧様式
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>様式契-36</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(発注者)</p> <p style="text-align: center;">天災その他の不可抗力による損害について（協議・承諾）</p> <p>標記について、貴社より提出の工事請負契約書第31条に基づく天災その他不可抗力による損害額の協議については、当局において細部について検討した結果、下記のとおりその金額を算定したので協議します。</p> <p>なお、この金額に異存がない場合には下記に記名のうえ返送願います。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>工 事 名</p> <p>協 議 金 額</p> <p>貴 社 要 求 額</p> <p>工 期 年 月 日から 年 月 日まで</p> <p>工 期 延 期 年 月 日から 年 月 日まで</p> <hr/> <p>上記協議金額については承諾しました。</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(受注者)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>様式契-36</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(受注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(発注者) 印</p> <p style="text-align: center;">天災その他の不可抗力による損害について（協議・承諾）</p> <p>標記について、貴社より提出の工事請負契約書第29条に基づく天災その他不可抗力による損害額の協議については、当局において細部について検討した結果、下記のとおりその金額を算定したので協議します。</p> <p>なお、この金額に異存がない場合には下記に記名押印のうえ返送願います。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>工 事 名</p> <p>協 議 金 額</p> <p>貴 社 要 求 額</p> <p>工 期 年 月 日から 年 月 日まで</p> <p>工 期 延 期 年 月 日から 年 月 日まで</p> <hr/> <p>上記協議金額については承諾しました。</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">(受注者)</p> </div>

様式契-37 天災その他の不可抗力による損害額の請求

- <改定>
- ・ 押印の省略
 - ・ 契約書条ずれの修正

新様式	旧様式
<p>様式契-37</p> <p>年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p>(受注者)</p> <p>天災その他の不可抗力による損害額の請求</p> <p>標記について、工事請負契約書第31条第3項に基づき、下記のとおり請求します。</p> <p>記</p> <p>工 事 名 請 求 金 額 支 払 口 座 等</p> <p>備考 1. 用紙はA4版縦。 2. 監督員に提出</p>	<p>様式契-37</p> <p>年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p>(受注者) 印</p> <p>天災その他の不可抗力による損害額の請求</p> <p>標記について、工事請負契約書第29条第3項に基づき、下記のとおり請求します。</p> <p>記</p> <p>工 事 名 請 求 金 額 支 払 口 座 等</p> <p>備考 1. 用紙はA4版縦。 2. 監督員に提出。</p>

様式契-38 支給品引渡書

<改定> ・押印の省略

新様式							旧様式						
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="font-size: small; margin: 0;">様式契-38</p> <p style="text-align: center; margin: 10px 0;">支 給 品 引 渡 書</p> <p style="margin: 10px 0;">(受注者) 殿 年 月 日</p> <p style="text-align: right; margin: 10px 0;">(発注者) _____</p> <p style="font-size: x-small; margin: 10px 0;">下記のとおり物品を支給するから通知する。</p> <p style="text-align: center; margin: 10px 0;">記</p> </div>							<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="font-size: small; margin: 0;">様式契-38</p> <p style="text-align: center; margin: 10px 0;">支 給 品 引 渡 書</p> <p style="margin: 10px 0;">(受注者) 殿 年 月 日</p> <p style="text-align: right; margin: 10px 0;">(発注者) _____ 印</p> <p style="font-size: x-small; margin: 10px 0;">下記のとおり物品を支給するから通知する。</p> <p style="text-align: center; margin: 10px 0;">記</p> </div>						
工 事 名							工 事 名						
引 渡 時 期	年 月 日						引 渡 時 期	年 月 日					
引 渡 場 所							引 渡 場 所						
引渡の相手方							引渡の相手方						
引 渡 者							引 渡 者						
分 類	品 目	規 格	単 位	数 量	備 考	分 類	品 目	規 格	単 位	数 量	備 考		
摘 要							摘 要						

様式契-39 支給品精算書

<改定> ・押印の省略

新様式										旧様式									
様式契-39 支 給 品 精 算 書 年 月 日 (発注者) 殿 受注者 (住所) (氏名) (現場代理人氏名) 下記のとおり支給品を精算します。 記																			
工事名					契約年月日					年 月 日									
品 目	規 格	単 位	数 量			備 考													
			支給数量	使用数量	残数量														
※ 監督員 証明欄	上記精算について調査したところ事実と相違ないことを証明する。														※物品管理簿登記				
	年月日： 年 月 日														年 月 日				
	(官職氏名)														印				
備考 ※は監督員が記入する。																			

様式契-40 建設機械借用・返納書

<改定> ・押印の省略

新様式								旧様式							
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 様式契-40 年 月 日 </div> <p style="text-align: center;">(発注者) 殿 受注者 (住所)</p> <p style="text-align: center;">(氏名) (現場代理人氏名)</p> <p style="text-align: center;">建設機械 借用 返納 書</p> <p>下記工事に使用 する した 下記建設機械を機能現況確認の上、借用 返納 しました。</p>								<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 様式契-40 年 月 日 </div> <p style="text-align: center;">(発注者) 殿 受注者 (住所)</p> <p style="text-align: center;">(氏名) (現場代理人氏名) 印</p> <p style="text-align: center;">建設機械 借用 返納 書</p> <p>下記工事に使用 する した 下記建設機械を機能現況確認の上、借用 返納 しました。</p>							
工事名								工事名							
建設機械名	型式	機械番号	付属品			引渡しを 受けた場所	備考	建設機械名	型式	機械番号	付属品			引渡しを 受けた場所	備考
			名称	規格	数量						名称	規格	数量		
引渡し立会者 岡山県 (官職氏名) 借 受 人 (氏名)								引渡し立会者 岡山県 (官職氏名) 借 受 人 (氏名) 印							
備考 借用・返納、する・した、の文字は該当するもののみ記入すること。								備考 借用・返納、する・した、の文字は該当するもののみ記入すること。							

様式-5 入札書

- <改定>
- ・ 押印の省略
 - ・ 書類発行責任者等記載欄の新設

新様式	旧様式																																																												
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="font-size: small;">様式第 5号 (工執第13条関係)</p> <p style="text-align: center; font-size: large;">第 回 入 札 書</p> <p>工事番号 第 号</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="font-size: x-small;">金</td> <td style="font-size: x-small;">億</td> <td style="font-size: x-small;">千</td> <td style="font-size: x-small;">百</td> <td style="font-size: x-small;">拾</td> <td style="font-size: x-small;">万</td> <td style="font-size: x-small;">千</td> <td style="font-size: x-small;">百</td> <td style="font-size: x-small;">拾</td> <td style="font-size: x-small;">円</td> <td style="font-size: x-small;">円</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small;">ただし 市 町 地内 郡 村</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">工事入札金額</p> <p style="text-align: center; font-size: large;">上記のとおり入札書を提出します</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">年 月 日</p> <p style="font-size: large; text-align: center;">岡山県 殿</p> <p style="font-size: x-small; text-align: center;">住 所 氏 名</p> <p style="font-size: x-small;">※押印を省略する場合は、「書類発行責任者」及び「担当者」の氏名及び連絡先等を記入すること。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; font-size: x-small;"> <tr> <td style="width: 20%;">書類発行責任者</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 10%;">連絡先</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>E-mail</td> <td></td> </tr> <tr> <td>担 当 者</td> <td></td> <td>連絡先</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>E-mail</td> <td></td> </tr> </table> </div>	金	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円	円												書類発行責任者		連絡先				E-mail		担 当 者		連絡先				E-mail		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="font-size: small;">様式第 5号 (工執第13条関係)</p> <p style="text-align: center; font-size: large;">第 回 入 札 書</p> <p>工事番号 第 号</p> <table border="1" style="margin: 10px auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="font-size: x-small;">金</td> <td style="font-size: x-small;">億</td> <td style="font-size: x-small;">千</td> <td style="font-size: x-small;">百</td> <td style="font-size: x-small;">拾</td> <td style="font-size: x-small;">万</td> <td style="font-size: x-small;">千</td> <td style="font-size: x-small;">百</td> <td style="font-size: x-small;">拾</td> <td style="font-size: x-small;">円</td> <td style="font-size: x-small;">円</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small;">ただし 市 町 地内 郡 村</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">工事入札金額</p> <p style="text-align: center; font-size: large;">上記のとおり入札書を提出します</p> <p style="text-align: center; font-size: x-small;">年 月 日</p> <p style="font-size: large; text-align: center;">岡山県 殿</p> <p style="font-size: x-small; text-align: center;">住 所 氏 名</p> <p style="text-align: right; font-size: x-small;">印</p> </div>	金	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円	円											
金	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円	円																																																			
書類発行責任者		連絡先																																																											
		E-mail																																																											
担 当 者		連絡先																																																											
		E-mail																																																											
金	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円	円																																																			

様式-12 工事完成届

<改定> ・押印の省略

新様式

様式第12号（工執第28条関係）

年 月 日

工 事 完 成 届

岡山県 殿

受注者 住 所
氏 名

下記工事は、 年 月 日に完成しましたので、お届けします。

- 1 工 事 名
- 2 工 事 場 所
- 3 工 期 年 月 日から
年 月 日まで
- 4 請 負 金 額
- 5 契 約 年 月 日 年 月 日

旧様式

様式第12号（工執第28条関係）

年 月 日

工 事 完 成 届

岡山県 殿

受注者 住 所
氏 名 印

下記工事は、 年 月 日に完成しましたので、お届けします。

- 1 工 事 名
- 2 工 事 場 所
- 3 工 期 年 月 日から
年 月 日まで
- 4 請 負 金 額
- 5 契 約 年 月 日 年 月 日

様式-16 部分払金請求書

- <改定>
- ・ 押印の省略
 - ・ 書類発行責任者等記載欄の新設

新様式	旧様式																																																																																																																																																																																
<p style="text-align: center;">様式第16号 (工執第38条関係)</p> <h2 style="text-align: center;">請 負 代 金 請 求 書</h2> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>岡山県 殿</p> <p style="text-align: center;">住 所 氏 名</p> <p>下記請負代金を支払っていただきたいので、工事のしゅん功検査済証を添えて請求します。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">請 求 額</td> <td style="width: 40%; border: 1px solid black; text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table> </td> <td style="width: 10%;">円</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>請 負 金 額</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table> </td> <td>円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>受 領 済 請 負 代 金</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table> </td> <td>円</td> <td>年 月 日受領済</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table> </td> <td>円</td> <td>年 月 日受領済</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table> </td> <td>円</td> <td>年 月 日受領済</td> </tr> </table> <p>ただし、年 月 日契約締結による 市 町 村 地内</p> <p style="text-align: center;">工事請負代金</p> <p>なお、請負代金は下記口座へ振替え願います。</p> <p style="text-align: center;">銀行 本店 普通 預金 号</p> <p>口座名義人 請求人</p> <p>※押印を省略する場合は、「書類発行責任者」及び「担当者」の氏名及び連絡先等を記入すること。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 5px;"> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center;">書類発行責任者</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">連絡先</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">E-mail</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">担 当 者</td> <td></td> <td style="text-align: center;">連絡先</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">E-mail</td> <td></td> </tr> </table>	請 求 額	<table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table>													円		請 負 金 額	<table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table>													円		受 領 済 請 負 代 金	<table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table>													円	年 月 日受領済	"	<table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table>													円	年 月 日受領済	"	<table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table>													円	年 月 日受領済	書類発行責任者		連絡先				E-mail		担 当 者		連絡先				E-mail		<p style="text-align: center;">様式第16号 (工執第38条関係)</p> <h2 style="text-align: center;">請 負 代 金 請 求 書</h2> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>岡山県 殿</p> <p style="text-align: center;">住 所 氏 名</p> <p style="text-align: right;">印</p> <p>下記請負代金を支払っていただきたいので、工事のしゅん功検査済証を添えて請求します。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">請 求 額</td> <td style="width: 40%; border: 1px solid black; text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table> </td> <td style="width: 10%;">円</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>請 負 金 額</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table> </td> <td>円</td> <td></td> </tr> <tr> <td>受 領 済 請 負 代 金</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table> </td> <td>円</td> <td>年 月 日受領済</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table> </td> <td>円</td> <td>年 月 日受領済</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table> </td> <td>円</td> <td>年 月 日受領済</td> </tr> </table> <p>ただし、年 月 日契約締結による 市 町 村 地内</p> <p style="text-align: center;">工事請負代金</p> <p>なお、請負代金は下記口座へ振替え願います。</p> <p style="text-align: center;">銀行 本店 普通 預金 号</p> <p>口座名義人 請求人</p>	請 求 額	<table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table>													円		請 負 金 額	<table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table>													円		受 領 済 請 負 代 金	<table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table>													円	年 月 日受領済	"	<table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table>													円	年 月 日受領済	"	<table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table>													円	年 月 日受領済
請 求 額	<table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table>													円																																																																																																																																																																			
請 負 金 額	<table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table>													円																																																																																																																																																																			
受 領 済 請 負 代 金	<table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table>													円	年 月 日受領済																																																																																																																																																																		
"	<table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table>													円	年 月 日受領済																																																																																																																																																																		
"	<table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table>													円	年 月 日受領済																																																																																																																																																																		
書類発行責任者		連絡先																																																																																																																																																																															
		E-mail																																																																																																																																																																															
担 当 者		連絡先																																																																																																																																																																															
		E-mail																																																																																																																																																																															
請 求 額	<table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table>													円																																																																																																																																																																			
請 負 金 額	<table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table>													円																																																																																																																																																																			
受 領 済 請 負 代 金	<table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table>													円	年 月 日受領済																																																																																																																																																																		
"	<table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table>													円	年 月 日受領済																																																																																																																																																																		
"	<table border="1" style="width: 100%; height: 15px;"> <tr><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td><td style="width: 5%;"> </td></tr> </table>													円	年 月 日受領済																																																																																																																																																																		

工事提出書類様式新旧対照

－ 施工関係様式 －

様式施-4 使用承諾願
 <改定> ・押印の省略

新様式	旧様式																																																
<p style="text-align: center;">様式施-4</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 90%;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">使用承諾願</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(建設部長) 殿</p> <p style="text-align: center;">受注者 住 所 会 社 名 現場代理人</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 工 事 名 2. 工 事 番 号 3. 河 川 ・ 路 線 名 4. 工 事 場 所 5. 請 負 金 額 <p>年 月 日に請負を締結いたしました上記工事について下記のとおり使用したいので御承諾願います。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">名 称</th> <th style="width: 25%;">会 社 名</th> <th style="width: 25%;">規 格</th> <th style="width: 25%;">数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">上記については願出のとおり承諾する</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">建設部長</p> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">備考 1. 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦書きとする。</p>	名 称	会 社 名	規 格	数 量																					<p style="text-align: center;">様式施-4</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 90%;"> <p style="text-align: center; font-weight: bold;">使用承諾願</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(建設部長) 殿</p> <p style="text-align: center;">受注者 住 所 会 社 名 現場代理人</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 工 事 名 2. 工 事 番 号 3. 河 川 ・ 路 線 名 4. 工 事 場 所 5. 請 負 金 額 <p>年 月 日に請負を締結いたしました上記工事について下記のとおり使用したいので御承諾願います。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">名 称</th> <th style="width: 25%;">会 社 名</th> <th style="width: 25%;">規 格</th> <th style="width: 25%;">数 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">上記については願出のとおり承諾する</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">建設部長</p> <p style="text-align: right;">印</p> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 10px;">備考 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番縦書きとする。</p>	名 称	会 社 名	規 格	数 量																				
名 称	会 社 名	規 格	数 量																																														
名 称	会 社 名	規 格	数 量																																														

様式施-5 工事履行報告書
 <改定> ・ 契約書条ずれの修正

新様式					旧様式				
様式施-5 (契第12条関係)					様式施-5 (契第11条関係)				
工事履行報告書					工事履行報告書				
工事名					工事名				
工期	年 月 日 ~ 年 月 日				工期	年 月 日 ~ 年 月 日			
日付	年 月 日				日付	年 月 日			
月 別	予定工程 % () は工程変更後	実施工程 %	備 考		月 別	予定工程 % () は工程変更後	実施工程 %	備 考	

様式施-6 段階確認書

- <改定>
- ・ 押印の省略
 - ・ 仕様書条ずれの修正

新様式	旧様式																														
<p style="font-size: small; margin-bottom: 5px;">様式施-6 (仕第1-1-1-22条関係)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">検査・段階確認書 (監督日誌に綴る)</p> <p style="text-align: center; margin: 5px 0 0 0;">施工予定表</p> <p style="text-align: right; margin: 0 0 0 100px;">年 月 日</p> <p style="font-size: x-small; margin: 5px 0 0 0;">設計図書に基づき、下記のとおり施工段階の予定時期を報告します。</p> <p style="margin: 0 0 0 100px;">受注業者名：</p> <p style="margin: 0 0 0 0;">工事名： 現場代理人名等：</p> <p style="margin: 0 0 0 0;">種 別： 細 別：</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px 0 0 0;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="font-size: x-small;">受注者記入欄</th> <th colspan="2" style="font-size: x-small;">監督員記入欄</th> </tr> <tr> <th style="font-size: x-small;">検査・段階確認項目</th> <th style="font-size: x-small;">検査・確認予定時期</th> <th style="font-size: x-small;">備考</th> <th style="font-size: x-small;">検査・確認予定時期</th> <th style="font-size: x-small;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin: 0 0 0 100px;">年 月 日</p> <p style="text-align: center; margin: 5px 0 0 0;">確認書</p> <p style="font-size: x-small; margin: 5px 0 0 0;">上記種別について、検査・段階確認を実施し確認した。</p> <p style="text-align: right; margin: 0 0 0 100px;">監督員名：</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px; min-height: 100px;"> <p style="font-size: x-small; margin: 0;">資料添付欄</p> </div> <p style="font-size: x-small; margin-top: 10px;">備考 1. 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番タテ</p>	受注者記入欄			監督員記入欄		検査・段階確認項目	検査・確認予定時期	備考	検査・確認予定時期	備考						<p style="font-size: small; margin-bottom: 5px;">様式施-6 (仕第1-1-1-21条関係)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p style="text-align: center; margin: 0;">検査・段階確認書 (監督日誌に綴る)</p> <p style="text-align: center; margin: 5px 0 0 0;">施工予定表</p> <p style="text-align: right; margin: 0 0 0 100px;">年 月 日</p> <p style="font-size: x-small; margin: 5px 0 0 0;">設計図書に基づき、下記のとおり施工段階の予定時期を報告します。</p> <p style="margin: 0 0 0 100px;">受注業者名：</p> <p style="margin: 0 0 0 0;">工事名： 現場代理人名等： 印</p> <p style="margin: 0 0 0 0;">種 別： 細 別：</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 5px 0 0 0;"> <thead> <tr> <th colspan="3" style="font-size: x-small;">受注者記入欄</th> <th colspan="2" style="font-size: x-small;">監督員記入欄</th> </tr> <tr> <th style="font-size: x-small;">検査・段階確認項目</th> <th style="font-size: x-small;">検査・確認予定時期</th> <th style="font-size: x-small;">備考</th> <th style="font-size: x-small;">検査・確認予定時期</th> <th style="font-size: x-small;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin: 0 0 0 100px;">年 月 日</p> <p style="text-align: center; margin: 5px 0 0 0;">確認書</p> <p style="font-size: x-small; margin: 5px 0 0 0;">上記種別について、検査・段階確認を実施し確認した。</p> <p style="text-align: right; margin: 0 0 0 100px;">監督員名： 印</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px; min-height: 100px;"> <p style="font-size: x-small; margin: 0;">資料添付欄</p> </div> <p style="font-size: x-small; margin-top: 10px;">備考 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番タテ</p>	受注者記入欄			監督員記入欄		検査・段階確認項目	検査・確認予定時期	備考	検査・確認予定時期	備考					
受注者記入欄			監督員記入欄																												
検査・段階確認項目	検査・確認予定時期	備考	検査・確認予定時期	備考																											
受注者記入欄			監督員記入欄																												
検査・段階確認項目	検査・確認予定時期	備考	検査・確認予定時期	備考																											

様式施-8 確認・立会依頼書

<改定>

- ・ 押印の省略
- ・ 仕様書条ずれの修正

新様式

様式施-8 (仕第1-1-1-22条関係)

立 会 書 (監督日誌に綴じる)				
年 月 日				
設計図書に基づき、下記のとおり立会われたい。				
工事名：		受注業者名：		
		現場代理人名等：		
受注者記入欄			監督員記入欄	
立会項目	立会予定時期	備考	立会予定時期	備考
年 月 日				
確 認 書				
上記種別について立会い確認した。				
監督員名：				

資料添付欄

備考 1. 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番タテ

旧様式

様式施-8 (仕第1-1-1-21条関係)

立 会 書 (監督日誌に綴じる)				
年 月 日				
設計図書に基づき、下記のとおり立会われたい。				
工事名：		受注業者名：		
		現場代理人名等：		
受注者記入欄			監督員記入欄	
立会項目	立会予定時期	備考	立会予定時期	備考
年 月 日				
確 認 書				
上記種別について立会い確認した。				
監督員名：				
印				

資料添付欄

備考 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番タテ

様式 下請負選定一覧届出書（いわゆる下請予定一覧表）

<改定> ・押印の省略

新様式	旧様式																																																																																				
<p>(別紙様式) 年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">受注者 住 所 会 社 名 現場代理人</p> <p style="text-align: center;">下請負人選定一覧届出書</p> <p>工 事 番 号 工 事 名 路線・河川名 工 事 場 所 市、郡 町、村 地内 請 負 金 額</p> <p>上記工事の一部を次の者に下請負に付しますのでお届けします。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">下請負人の 住所・氏名</th> <th style="width: 10%;">許可番号・業種 許可年月日</th> <th style="width: 20%;">社会保険等加入状況</th> <th style="width: 10%;">下請区分 1次2次等</th> <th style="width: 10%;">下請工事内容</th> <th style="width: 10%;">下請負に付す理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td>健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p>(注1) やむを得ず、専外業者を下請負相手として選定した場合には、下請負人ごとにその理由を記した別途理由書を添付すること。</p> <p>(注2) 下請負業者が社会保険等に未加入であった場合や、事後において、下請負業者が社会保険等に未加入であることが判明した場合には、元請負業者に対し、制裁金の請求や指名停止等の措置が行われる場合があるので、元請負業者においては、下請負の相手先選定にあたって、社会保険等の加入状況を十分に確認すること。</p> <p>なお、適用除外は、労働者の就業形態等によって適用除外とならない場合もあることから、年金事務所等に適用除外となる要件を確認しておくこと。</p> <p>【社会保険等加入状況欄の記入要領】</p> <p>① 社会保険等加入状況の保険加入欄の「健康」「年金」「雇用」は、それぞれ以下の保険を示す。 健康：健康保険 年金：厚生年金保険 雇用：雇用保険</p> <p>② 各保険の適用を受ける営業所について届出を行っている場合には「加入」、行っていない場合（適用を受ける営業所が複数あり、そのうち一部について行っていない場合を含む）は「未加入」、従業員規模等により各保険の適用が除外される場合は「適用除外」を○で囲む。</p>	下請負人の 住所・氏名	許可番号・業種 許可年月日	社会保険等加入状況	下請区分 1次2次等	下請工事内容	下請負に付す理由			健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外						健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外						健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外						健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外						健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外						健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外				<p>(別紙様式) 年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">受注者 住 所 会 社 名 現場代理人 印</p> <p style="text-align: center;">下請負人選定一覧届出書</p> <p>工 事 番 号 工 事 名 路線・河川名 工 事 場 所 市、郡 町、村 地内 請 負 金 額</p> <p>上記工事の一部を次の者に下請負に付しますのでお届けします。</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">下請負人の 住所・氏名</th> <th style="width: 10%;">許可番号・業種 許可年月日</th> <th style="width: 20%;">社会保険等加入状況</th> <th style="width: 10%;">下請区分 1次2次等</th> <th style="width: 10%;">下請工事内容</th> <th style="width: 10%;">下請負に付す理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td>健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td>健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外</td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p>(注1) やむを得ず、専外業者を下請負相手として選定した場合には、下請負人ごとにその理由を記した別途理由書を添付すること。</p> <p>(注2) 下請負業者が社会保険等に未加入であった場合や、事後において、下請負業者が社会保険等に未加入であることが判明した場合には、元請負業者に対し、制裁金の請求や指名停止等の措置が行われる場合があるので、元請負業者においては、下請負の相手先選定にあたって、社会保険等の加入状況を十分に確認すること。</p> <p>なお、適用除外は、労働者の就業形態等によって適用除外とならない場合もあることから、年金事務所等に適用除外となる要件を確認しておくこと。</p> <p>【社会保険等加入状況欄の記入要領】</p> <p>① 社会保険等加入状況の保険加入欄の「健康」「年金」「雇用」は、それぞれ以下の保険を示す。 健康：健康保険 年金：厚生年金保険 雇用：雇用保険</p> <p>② 各保険の適用を受ける営業所について届出を行っている場合には「加入」、行っていない場合（適用を受ける営業所が複数あり、そのうち一部について行っていない場合を含む）は「未加入」、従業員規模等により各保険の適用が除外される場合は「適用除外」を○で囲む。</p>	下請負人の 住所・氏名	許可番号・業種 許可年月日	社会保険等加入状況	下請区分 1次2次等	下請工事内容	下請負に付す理由			健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外						健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外						健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外						健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外						健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外						健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外			
下請負人の 住所・氏名	許可番号・業種 許可年月日	社会保険等加入状況	下請区分 1次2次等	下請工事内容	下請負に付す理由																																																																																
		健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外																																																																																			
		健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外																																																																																			
		健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外																																																																																			
		健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外																																																																																			
		健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外																																																																																			
		健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外																																																																																			
下請負人の 住所・氏名	許可番号・業種 許可年月日	社会保険等加入状況	下請区分 1次2次等	下請工事内容	下請負に付す理由																																																																																
		健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外																																																																																			
		健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外																																																																																			
		健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外																																																																																			
		健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外																																																																																			
		健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外																																																																																			
		健康：加入・未加入・適用除外 年金：加入・未加入・適用除外 雇用：加入・未加入・適用除外																																																																																			

様式施-9の1添付書類 施工体制台帳添付書類

<改定> ・改定なし

新様式										旧様式									
施工体制台帳添付資料（仕第1-1-1-10条関係） ◎下請負の相手方及び内容										施工体制台帳添付資料（仕第1-1-1-10条関係） ◎下請負の相手方及び内容									
No.	下請負契約の次数	下請負契約を履行するために必要となる建設業の種類	建設業許可番号	下請負業者名 (代表者名)	住所 電話番号	契約年月日	下請負に付した金額 (うち消費税相当額)	主任技術者の氏名 (現場代理人を置いた場合はその氏名)	備考	No.	下請負契約の次数	下請負契約を履行するために必要となる建設業の種類	建設業許可番号	下請負業者名 (代表者名)	住所 電話番号	契約年月日	下請負に付した金額 (うち消費税相当額)	主任技術者の氏名 (現場代理人を置いた場合はその氏名)	備考
						工期 現場着手予定日										工期 現場着手予定日			
1	○次	とび・土工・コンクリート工事業	第00000号	(〇〇 〇〇)	〒 - () -	〇年〇月〇日 〇年〇月〇日 ～ 〇年〇月〇日 〇年〇月〇日	¥000,000,000 (¥00,000)	〇〇 〇〇 ()		1	○次	とび・土工・コンクリート工事業	第00000号	(〇〇 〇〇)	〒 - () -	〇年〇月〇日 〇年〇月〇日 ～ 〇年〇月〇日 〇年〇月〇日	¥000,000,000 (¥00,000)	〇〇 〇〇 ()	
2	○次			(〇〇 〇〇)	〒 - () -	〇年〇月〇日 〇年〇月〇日 ～ 〇年〇月〇日 〇年〇月〇日	¥000,000,000 (¥00,000)	〇〇 〇〇 ()		2	○次			(〇〇 〇〇)	〒 - () -	〇年〇月〇日 〇年〇月〇日 ～ 〇年〇月〇日 〇年〇月〇日	¥000,000,000 (¥00,000)	〇〇 〇〇 ()	
3	○次			(〇〇 〇〇)	〒 - () -	〇年〇月〇日 〇年〇月〇日 ～ 〇年〇月〇日 〇年〇月〇日	¥000,000,000 (¥00,000)	〇〇 〇〇 ()		3	○次			(〇〇 〇〇)	〒 - () -	〇年〇月〇日 〇年〇月〇日 ～ 〇年〇月〇日 〇年〇月〇日	¥000,000,000 (¥00,000)	〇〇 〇〇 ()	
4	○次			(〇〇 〇〇)	〒 - () -	〇年〇月〇日 〇年〇月〇日 ～ 〇年〇月〇日 〇年〇月〇日	¥000,000,000 (¥00,000)	〇〇 〇〇 ()		4	○次			(〇〇 〇〇)	〒 - () -	〇年〇月〇日 〇年〇月〇日 ～ 〇年〇月〇日 〇年〇月〇日	¥000,000,000 (¥00,000)	〇〇 〇〇 ()	
						一次下請に付した金額の合計額 (うち消費税相当額)	¥000,000,000 (¥00,000)	※左記の合計額が4,000万円（建築一式工事においては6,000万円）を超える時点で、元請業者の建設業の許可証の写し及び技術者の監理技術者証の写しを添付すること。 (許可証等の写しの提出は工事毎に一度で良い。)								一次下請に付した金額の合計額 (うち消費税相当額)	¥000,000,000 (¥00,000)	※左記の合計額が4,000万円（建築一式工事においては6,000万円）を超える時点で、元請業者の建設業の許可証の写し及び技術者の監理技術者証の写しを添付すること。 (許可証等の写しの提出は工事毎に一度で良い。)	

様式施-9の3 工事担当技術者台帳

<改定> ・ 様式廃止

新様式

(廃止)

旧様式

様式施-9の3(仕第 1-1-1-10 条関係)

施工体制台帳

工事担当技術者台帳

元請会社名		会社名		会社名		会社名		会社名	
主任技術者名		主任技術者名		主任技術者名		主任技術者名		主任技術者名	
監理技術者名		生年月日		生年月日		生年月日		生年月日	
生年月日		専任・非専任		専任・非専任		専任・非専任		専任・非専任	
【写真添付欄】		【写真添付欄】		【写真添付欄】		【写真添付欄】		【写真添付欄】	

会社名		会社名		会社名		会社名	
主任技術者名		主任技術者名		主任技術者名		主任技術者名	
生年月日		生年月日		生年月日		生年月日	
専任・非専任		専任・非専任		専任・非専任		専任・非専任	
【写真添付欄】		【写真添付欄】		【写真添付欄】		【写真添付欄】	

会社名		会社名		会社名		会社名	
主任技術者名		主任技術者名		主任技術者名		主任技術者名	
生年月日		生年月日		生年月日		生年月日	
専任・非専任		専任・非専任		専任・非専任		専任・非専任	
【写真添付欄】		【写真添付欄】		【写真添付欄】		【写真添付欄】	

会社名		会社名		会社名		会社名	
主任技術者名		主任技術者名		主任技術者名		主任技術者名	
生年月日		生年月日		生年月日		生年月日	
専任・非専任		専任・非専任		専任・非専任		専任・非専任	
【写真添付欄】		【写真添付欄】		【写真添付欄】		【写真添付欄】	

【注意事項】

- ※ 添付する写真は、
縦 3cm
横 2.5cm
程度の大きさとし、
顔が判別できるものとする。
- ※ 番号は、施工体系図の番号とする。
- ※ 本様式は、2部作成し、
1部保管し、1部提出する。
ただし、カラーコピーもしくは
デジタルカメラ写真を印刷し
たものを提出してもよい。

様式施-10の1 再下請負通知書

<改定> ・改定なし

新様式

様式施-10の1 (仕第 1-1-1-10 条関係) 年 月 日

建設業法・雇用改善法等に基づく届出書 (変更届)
(再下請負通知書様式)

直近上位の注文者名

現場代理人名 (所長名) 限 住所 TEL FAX

元請名称・事業者ID 会社名・事業者ID 代表者名

【報告下請負業者】

工事名称及び工事内容

工期 自 年 月 日 至 年 月 日 注文者との契約日 年 月 日

建設業の許可 施工に必要な許可業種 許可番号 許可(更新)年月日

健康保険等の加入状況

現場代理人名 安全衛生責任者名

権限及び意見申出方法 安全衛生推進者名

※主任技術者名 専任/非専任 雇用管理責任者名

資格内容 ※専門技術者名

資格内容 担当工事内容

監督員名 安全衛生責任者名

権限及び意見申出方法 安全衛生推進者名

現場代理人名 雇用管理責任者名

権限及び意見申出方法 ※専門技術者名

※主任技術者名 専任/非専任 資格内容

資格内容 担当工事内容

※1 多国籍建設業(外国人)の従事状況(有無) 有 無 ※2 外国人建設業(外国人)の従事状況(有無) 有 無 ※3 外国人建設業(外国人)の従事状況(有無) 有 無

【(記入要領)】

- 再下請負契約がある場合、報告下請負業者は、直近上位の注文者に提出すること。
- 再下請負契約がある場合、報告下請負業者は、直近上位の注文者に提出すること。なお、再下請負契約がある場合は、「再下請負関係」欄をコピーして使用する。
- 一次下請負業者は、二次下請負業者以下の業者から提出された書類とともに下請負業者編成表を作成の上、文書に提出すること。
- この届出事項に変更があった場合は、直ちに再提出すること。

※1 主任技術者の職名(専任/非専任) 専任/非専任

※2 主任技術者の職名(専任/非専任) 専任/非専任

※3 主任技術者の職名(専任/非専任) 専任/非専任

旧様式

様式施-10の1 (仕第 1-1-1-10 条関係) 年 月 日

建設業法・雇用改善法等に基づく届出書 (変更届)
(再下請負通知書様式)

直近上位の注文者名

現場代理人名 (所長名) 限 住所 TEL FAX

元請名称・事業者ID 会社名・事業者ID 代表者名

【報告下請負業者】

工事名称及び工事内容

工期 自 年 月 日 至 年 月 日 注文者との契約日 年 月 日

建設業の許可 施工に必要な許可業種 許可番号 許可(更新)年月日

健康保険等の加入状況

現場代理人名 安全衛生責任者名

権限及び意見申出方法 安全衛生推進者名

※主任技術者名 専任/非専任 雇用管理責任者名

資格内容 ※専門技術者名

資格内容 担当工事内容

監督員名 安全衛生責任者名

権限及び意見申出方法 安全衛生推進者名

現場代理人名 雇用管理責任者名

権限及び意見申出方法 ※専門技術者名

※主任技術者名 専任/非専任 資格内容

資格内容 担当工事内容

※1 多国籍建設業(外国人)の従事状況(有無) 有 無 ※2 外国人建設業(外国人)の従事状況(有無) 有 無 ※3 外国人建設業(外国人)の従事状況(有無) 有 無

【(記入要領)】

- 再下請負契約がある場合、報告下請負業者は、直近上位の注文者に提出すること。
- 再下請負契約がある場合、報告下請負業者は、直近上位の注文者に提出すること。なお、再下請負契約がある場合は、「再下請負関係」欄をコピーして使用する。
- 一次下請負業者は、二次下請負業者以下の業者から提出された書類とともに下請負業者編成表を作成の上、文書に提出すること。
- この届出事項に変更があった場合は、直ちに再提出すること。

※1 主任技術者の職名(専任/非専任) 専任/非専任

※2 主任技術者の職名(専任/非専任) 専任/非専任

※3 主任技術者の職名(専任/非専任) 専任/非専任

様式施-10の2 下請負業者編成表

<改定> ・ 様式廃止

新様式

(廃止)

旧様式

様式施-10の2 (仕第 1-1-1-10 条関係)

年 月 日

下請負業者編成表
(一次下請負業者=作成下請負業者)

会社名	
安全衛生責任者	
主任技術者	
専門技術者	
工事	担当工事内容
工期	年月日～年月日

(二次下請負業者)		(二次下請負業者)		(二次下請負業者)	
会社名		会社名		会社名	
安全衛生責任者		安全衛生責任者		安全衛生責任者	
主任技術者		主任技術者		主任技術者	
専門技術者		専門技術者		専門技術者	
工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容
工期	年月日～年月日	工期	年月日～年月日	工期	年月日～年月日

(三次下請負業者)		(三次下請負業者)		(三次下請負業者)	
会社名		会社名		会社名	
安全衛生責任者		安全衛生責任者		安全衛生責任者	
主任技術者		主任技術者		主任技術者	
専門技術者		専門技術者		専門技術者	
工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容
工期	年月日～年月日	工期	年月日～年月日	工期	年月日～年月日

(四次下請負業者)		(四次下請負業者)		(四次下請負業者)	
会社名		会社名		会社名	
安全衛生責任者		安全衛生責任者		安全衛生責任者	
主任技術者		主任技術者		主任技術者	
専門技術者		専門技術者		専門技術者	
工事	担当工事内容	工事	担当工事内容	工事	担当工事内容
工期	年月日～年月日	工期	年月日～年月日	工期	年月日～年月日

- (記入要領) 1 一次下請負業者は、二次下請負業者以下の業者から提出された「届出書」(様式1号-甲)に基づいて本表を作成の上、元請に届出ること。
2 この下請負業者編成表でまとめきれない場合には、本様式をコピーするなどして適宜使用すること。

様式施-11 事故等速報

<改定> ・仕様書条ずれの修正

新様式

様式施-11 (仕第 1-1-1-30 条関係)

事故速報【発注者用】

所 属

速報者 受理 年 月 日 時 分

発 生 年 月 日	年	月	日	時	分	ご ろ
発 生 場 所	市	町	村	地 内		
発 注 者 名						
工 事 名						
路 河 川 名						
関 係 業 者 名	元 請					
	下 請					
	当 事 者					
住 所						
氏 名						
生 年 月 日 (年 令 ・ 性 別)						
所 属						
職 種						
負 傷 の 程 度						
事故等の概要及び原因						
発生後の措置						

- 備考
1. 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番タテ
 2. 下請けが複数の場合は系統図を添付すること。
 3. 被害状況の略図を添付すること。
 4. 提出先：土木部監理課建設業班、担当事業課、技術管理課
 5. 提出期限：事故発生後速やかに

旧様式

様式施-11 (仕第 1-1-1-29 条関係)

事故速報【発注者用】

所 属

速報者 受理 年 月 日 時 分

発 生 年 月 日	年	月	日	時	分	ご ろ
発 生 場 所	市	町	村	地 内		
発 注 者 名						
工 事 名						
路 河 川 名						
関 係 業 者 名	元 請					
	下 請					
	当 事 者					
住 所						
氏 名						
生 年 月 日 (年 令 ・ 性 別)						
所 属						
職 種						
負 傷 の 程 度						
事故等の概要及び原因						
発生後の措置						

- 備考
1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番タテ
 2. 下請けが複数の場合は系統図を添付すること。
 3. 被害状況の略図を添付すること。
 4. 提出先：土木部監理課建設業班、担当事業課、技術管理課
 5. 提出期限：事故発生後速やかに

様式施-15-1 生コンクリート配合の報告について
<改定> ・押印の省略

新様式

様式施-15-1 要領第3条-2-①

生コンクリート配合の報告について

年 月 日

農林水産事業部長
建設部長

殿

住 所
氏 名

当社において生産される生コンクリートの内、JIS認証を得ているものは、別添の
認証書の写しのとおりでありますので、管内各種工事の使用方をお願いします。

旧様式

様式施-15-1 要領第3条-2-①

生コンクリート配合の報告について

年 月 日

農林水産事業部長
建設部長

殿

住 所
氏 名

印

当社において生産される生コンクリートの内、JIS認証を得ているものは、別添の
認証書の写しのとおりでありますので、管内各種工事の使用方をお願いします。

様式施-16 生コンクリート配合の承認について
 <改定> ・押印の省略

新様式	旧様式
<p>様式施-16 要領第3条-1-①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px;"> <p style="text-align: center;">生コンクリート配合の承認について</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>農林水産事業部長 建設部長</p> <p style="text-align: center;"> 殿</p> <p style="text-align: center;">住 所 氏 名</p> <p>当社において生産される生コンクリートのうち御指定の配合設計を別添のとおり作成しましたので御承認願います。</p> <p style="text-align: center;">上記について願出のとおり承認する。</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">農林水産事業部長 建設部長</p> </div>	<p>様式施-16 要領第3条-1-①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px;"> <p style="text-align: center;">生コンクリート配合の承認について</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>農林水産事業部長 建設部長</p> <p style="text-align: center;"> 殿</p> <p style="text-align: center;">住 所 氏 名</p> <p style="text-align: right;">印</p> <p>当社において生産される生コンクリートのうち御指定の配合設計を別添のとおり作成しましたので御承認願います。</p> <p style="text-align: center;">上記について願出のとおり承認する。</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p style="text-align: center;">農林水産事業部長 建設部長</p> <p style="text-align: right;">印 印</p> </div>

様式施-17 生コンクリート使用承認願

<改定> ・押印の省略

新様式	旧様式																																																										
<p style="text-align: center;">生コンクリート使用承認願</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>農林水産事業部長 } 殿 建設部長</p> <p style="text-align: right;">受注者 住 所 社 会 名 現場代理人</p> <p>1 工 事 名 2 工 事 番 号 3 河川・路線名 4 位 置 5 請 負 金</p> <p>年 月 日に請負を締結いたしました上記工事について、下記のとおり使用したいので御承認願います。</p> <p>1 起工設計書採用生コンクリート 2 " 使用生コンクリート 3 " 使用生コンクリート会社名 4 生コンクリートの使用数量 5 生コンクリートの種類</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">呼び強度 (※)</th> <th rowspan="2">粗骨材の最大寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">スラブ (cm)</th> <th rowspan="2">水セメント比 W/C (%)</th> <th rowspan="2">空気量 (%)</th> <th rowspan="2">細骨材率 (%)</th> <th colspan="5">単位量 (kg/m³)</th> </tr> <tr> <th>水 (W)</th> <th>セメント (C)</th> <th>混和材 (F)</th> <th>細骨材 (S)</th> <th>粗骨材 (G)</th> <th>混和剤 (A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>備考1 (※)については、上段に設計、下段に使用値を記入すること。 上記については願出のとおり承認する。</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p style="text-align: right;">農林水産事業部長 建設部長</p>	呼び強度 (※)	粗骨材の最大寸法 (mm)	スラブ (cm)	水セメント比 W/C (%)	空気量 (%)	細骨材率 (%)	単位量 (kg/m ³)					水 (W)	セメント (C)	混和材 (F)	細骨材 (S)	粗骨材 (G)	混和剤 (A)													<p style="text-align: center;">生コンクリート使用承認願</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>農林水産事業部長 } 殿 建設部長</p> <p style="text-align: right;">受注者 住 所 社 会 名 現場代理人</p> <p style="text-align: right;">印</p> <p>1 工 事 名 2 工 事 番 号 3 河川・路線名 4 位 置 5 請 負 金</p> <p>年 月 日に請負を締結いたしました上記工事について、下記のとおり使用したいので御承認願います。</p> <p>1 起工設計書採用生コンクリート 2 " 使用生コンクリート 3 " 使用生コンクリート会社名 4 生コンクリートの使用数量 5 生コンクリートの種類</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">呼び強度 (※)</th> <th rowspan="2">粗骨材の最大寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">スラブ (cm)</th> <th rowspan="2">水セメント比 W/C (%)</th> <th rowspan="2">空気量 (%)</th> <th rowspan="2">細骨材率 (%)</th> <th colspan="5">単位量 (kg/m³)</th> </tr> <tr> <th>水 (W)</th> <th>セメント (C)</th> <th>混和材 (F)</th> <th>細骨材 (S)</th> <th>粗骨材 (G)</th> <th>混和剤 (A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>備考1 (※)については、上段に設計、下段に使用値を記入すること。 上記については願出のとおり承認する。</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p style="text-align: right;">農林水産事業部長 } 印 建設部長 } 印</p>	呼び強度 (※)	粗骨材の最大寸法 (mm)	スラブ (cm)	水セメント比 W/C (%)	空気量 (%)	細骨材率 (%)	単位量 (kg/m ³)					水 (W)	セメント (C)	混和材 (F)	細骨材 (S)	粗骨材 (G)	混和剤 (A)												
呼び強度 (※)							粗骨材の最大寸法 (mm)	スラブ (cm)	水セメント比 W/C (%)	空気量 (%)	細骨材率 (%)	単位量 (kg/m ³)																																															
	水 (W)	セメント (C)	混和材 (F)	細骨材 (S)	粗骨材 (G)	混和剤 (A)																																																					
呼び強度 (※)	粗骨材の最大寸法 (mm)	スラブ (cm)	水セメント比 W/C (%)	空気量 (%)	細骨材率 (%)	単位量 (kg/m ³)																																																					
						水 (W)	セメント (C)	混和材 (F)	細骨材 (S)	粗骨材 (G)	混和剤 (A)																																																

様式施-18 生コンクリート使用報告

<改定> ・押印の省略

新様式	旧様式																																																										
<p style="text-align: center;">生コンクリート使用報告</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>農林水産事業部長 } 殿 建設部長</p> <p style="text-align: right; margin-right: 100px;">受注者 住 所 会 社 名 現場代理人</p> <p>1 工 事 名 2 工 事 番 号 3 河川・路線名 4 位 置 5 請 負 金</p> <p>年 月 日に請負を締結いたしました上記工事について、下記のとおり使用する ので報告します。</p> <p>1 起工設計書採用生コンクリート 2 " 使用生コンクリート 3 " 使用生コンクリート会社名 4 生コンクリートの使用数量 5 生コンクリートの種類</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">呼び 強度 (※)</th> <th rowspan="2">粗骨材の 最大寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">スラ ンプ (cm)</th> <th rowspan="2">水セメ ント比 W/C (%)</th> <th rowspan="2">空気 量 (%)</th> <th rowspan="2">細骨 材率 (%)</th> <th colspan="5">単位数 (kg/m³)</th> </tr> <tr> <th>水 (W)</th> <th>セメント (C)</th> <th>混和材 (F)</th> <th>細骨材 (S)</th> <th>粗骨材 (G)</th> <th>混和剤 (A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>備考1 (※)については、上段に設計、下段に使用値を記入すること。</p>	呼び 強度 (※)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	スラ ンプ (cm)	水セメ ント比 W/C (%)	空気 量 (%)	細骨 材率 (%)	単位数 (kg/m ³)					水 (W)	セメント (C)	混和材 (F)	細骨材 (S)	粗骨材 (G)	混和剤 (A)													<p style="text-align: center;">生コンクリート使用報告</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>農林水産事業部長 } 殿 建設部長</p> <p style="text-align: right; margin-right: 100px;">受注者 住 所 会 社 名 現場代理人</p> <p style="text-align: right;">印</p> <p>1 工 事 名 2 工 事 番 号 3 河川・路線名 4 位 置 5 請 負 金</p> <p>年 月 日に請負を締結いたしました上記工事について、下記のとおり使用する ので報告します。</p> <p>1 起工設計書採用生コンクリート 2 " 使用生コンクリート 3 " 使用生コンクリート会社名 4 生コンクリートの使用数量 5 生コンクリートの種類</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">呼び 強度 (※)</th> <th rowspan="2">粗骨材の 最大寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">スラ ンプ (cm)</th> <th rowspan="2">水セメ ント比 W/C (%)</th> <th rowspan="2">空気 量 (%)</th> <th rowspan="2">細骨 材率 (%)</th> <th colspan="5">単位数 (kg/m³)</th> </tr> <tr> <th>水 (W)</th> <th>セメント (C)</th> <th>混和材 (F)</th> <th>細骨材 (S)</th> <th>粗骨材 (G)</th> <th>混和剤 (A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </tbody> </table> <p>備考1 (※)については、上段に設計、下段に使用値を記入すること。</p>	呼び 強度 (※)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	スラ ンプ (cm)	水セメ ント比 W/C (%)	空気 量 (%)	細骨 材率 (%)	単位数 (kg/m ³)					水 (W)	セメント (C)	混和材 (F)	細骨材 (S)	粗骨材 (G)	混和剤 (A)												
呼び 強度 (※)							粗骨材の 最大寸法 (mm)	スラ ンプ (cm)	水セメ ント比 W/C (%)	空気 量 (%)	細骨 材率 (%)	単位数 (kg/m ³)																																															
	水 (W)	セメント (C)	混和材 (F)	細骨材 (S)	粗骨材 (G)	混和剤 (A)																																																					
呼び 強度 (※)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	スラ ンプ (cm)	水セメ ント比 W/C (%)	空気 量 (%)	細骨 材率 (%)	単位数 (kg/m ³)																																																					
						水 (W)	セメント (C)	混和材 (F)	細骨材 (S)	粗骨材 (G)	混和剤 (A)																																																

様式施-19 レディーミクストコンクリート配合計画書

<改定> ・改定なし

新様式

様式施-19 (JIS A 5308 表8)

レディーミクストコンクリート配合計画書 No. 年 月 日										
廠 製造会社名・工事名 配合計画者名										
工事名称										
所在地										
納入予定時期										
本配合の適用期間 ^{a)}										
コンクリートの打込み箇所										
配合の設計条件										
呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スラブ厚 ^{c)} cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号					
セメントの種類	呼び方欄に記載	空気量	%							
骨材の種類	使用材料欄に記載	経量 ^{b)} コンクリートの単位容積質量	kg/m ³							
粗骨材の最大寸法	呼び方欄に記載	コンクリートの温度	最高・最低							
アルカリシリカ反応抑制対策の方法 ^{b)}		水セメント比の目標値の上限值	%							
骨材のアルカリシリカ反応性による区分	使用材料欄に記載	単位セメント量の目標値の上限值	kg/m ³							
水の区分	使用材料欄に記載	単位セメント量の目標値の下限值又は目標値の上限值	kg/m ³							
混和材料の種類及び使用量	使用材料及び配合表欄に記載	流動化後のスランプ増大量	cm							
塩化物含有量	kg/m ³ 以下									
呼び強度を保證する材齢	日									
使用材料 ^{c)}										
セメント	生産者名	密度 g/cm ³	Na ₂ Oeq ^{d)} %							
混和材	製品名	種類	密度 g/cm ³	Na ₂ Oeq ^{d)} %						
骨材	No	種類	産地又は品名	アルカリシリカ反応性による区分 ^{e)}		粒の大きさの範囲 ^{a)}	粗粒率又は実粗率 ^{b)}	密度 g/cm ³	微粒分量の範囲 ^{f)}	%
				区分	試験方法					
①										
②										
③										
粗骨材	①	②	③	水の区分 ^{h)}		Na ₂ Oeq ^{h)} %				
				区分	試験方法		目標スラッジ固形分 ⁱ⁾	%		
①										
②										
③										
④										
⑤										
⑥										
⑦										
⑧										
⑨										
⑩										
⑪										
⑫										
⑬										
⑭										
⑮										
⑯										
⑰										
⑱										
⑲										
⑳										
㉑										
㉒										
㉓										
㉔										
㉕										
㉖										
㉗										
㉘										
㉙										
㉚										
㉛										
㉜										
㉝										
㉞										
㉟										
㊱										
㊲										
㊳										
㊴										
㊵										
㊶										
㊷										
㊸										
㊹										
㊺										
㊻										
㊼										
㊽										
㊾										
㊿										
備考										

様式施-19 (続き)

アルカリ総量の計算表 ^{a)}			
アルカリ総量の計算		判定基準	計算及び判定
コンクリート中のセメントに含まれる全アルカリ量 (kg/m ³) R _c	① =	—	
R _c = (単位セメント量kg/m ³) × (セメント中の全アルカリ量Na ₂ Oeq; %/100)			
コンクリート中の混和材に含まれる全アルカリ量 (kg/m ³) R _a	② =	—	
R _a = (単位混和材量kg/m ³) × (混和材中の全アルカリ量; %/100)			
コンクリート中の骨材に含まれる全アルカリ量 (kg/m ³) R _f	③ =	—	
R _f = (単位骨材量kg/m ³) × 0.53 × (骨材中のNa ₂ O C1の量; %/100)			
コンクリート中の混和剤に含まれる全アルカリ量 (kg/m ³) R _m	④ =	—	
R _m = (単位混和剤量kg/m ³) × (混和剤中の全アルカリ量; %/100)			
流動化剤を添加する場合は、コリアー中の流動化剤に含まれる全アルカリ量 (kg/m ³) R _p ^{f)}	⑤ =	—	
R _p = (単位流動化剤量kg/m ³) × (流動化剤中の全アルカリ量; %/100)			
コンクリート中のアルカリ総量 (kg/m ³) R _t	⑥ =	3.0 kg/m ³ 以下	適・否
R _t = ①+②+③+④+⑤			

- 注 a) 本配合の適用期間に加え、標準配合、又は修正標準配合の別を記入する。
 なお、標準配合とは、レディーミクストコンクリート工場で社内標準を基本にしている配合で、標準状態の運輸時間における標準期の配合として標準化されているものとする。また、修正標準配合とは、出荷時のコンクリート温度が標準配合で想定した温度より大幅に相違する場合、運輸時 JIS A 5308 表B.1の記号欄の記載事項を、そのまま記入する。
 c) 配合設計に用いた材料について記入する。
 d) ボルトランドセメント及び普通エセメントを使用した場合に記入する。JIS R 5210の全アルカリ量の値を記入する。
 e) 最新版の混和材試験成績表の値を記入する。
 f) アルカリシリカ反応性による区分、及び判定に用いた試験方法を記入する。
 g) 細骨材に対しては、砕砂、スラグ骨材、人工軽量骨材、及び再生細骨材Hでは粒の大きさの範囲を記入する。
 粗骨材に対しては、砕石、スラグ骨材、人工軽量骨材、及び再生粗骨材Hでは粒の大きさの範囲を記入する。
 h) 砕石及び砕砂を使用する場合に記入する。
 i) 最新版の混和剤試験成績表の値を記入する。
 j) 最新版の骨材試験成績表の値 (NaClとして) を記入する。
 k) 回収水のうちスラッジ水を使用する場合は、“回収水 (スラッジ水)” と記入する。
 m) スラッジ水を使用する場合に記入する。目標スラッジ固形分率とは、3%以下のスラッジ固形分率の値を記入する。
 n) 人工軽量骨材の場合は、絶対乾燥状態の質量で、その他の骨材の場合は表面乾燥状態の質量で、高炉スラグ微粉などを結合材として使用した場合にだけ記入する。
 p) 全骨材の質量に対する各骨材の計量設定割合をいう。
 q) コンクリート中のアルカリ総量を規制する抑制対策の方法を講じる場合にだけ別表に記入する。
 r) 購入者から通知を受けたアルカリ量を用いて計算をする。

旧様式

様式施-19 (JIS A 5308 表8)

レディーミクストコンクリート配合計画書 No. 年 月 日										
廠 製造会社名・工事名 配合計画者名										
工事名称										
所在地										
納入予定時期										
本配合の適用期間 ^{a)}										
コンクリートの打込み箇所										
配合の設計条件										
呼び方	コンクリートの種類による記号	呼び強度	スラブ厚 ^{c)} cm	粗骨材の最大寸法 mm	セメントの種類による記号					
セメントの種類	呼び方欄に記載	空気量	%							
骨材の種類	使用材料欄に記載	経量 ^{b)} コンクリートの単位容積質量	kg/m ³							
粗骨材の最大寸法	呼び方欄に記載	コンクリートの温度	最高・最低							
アルカリシリカ反応抑制対策の方法 ^{b)}		水セメント比の目標値の上限值	%							
骨材のアルカリシリカ反応性による区分	使用材料欄に記載	単位セメント量の目標値の上限值	kg/m ³							
水の区分	使用材料欄に記載	単位セメント量の目標値の下限值又は目標値の上限值	kg/m ³							
混和材料の種類及び使用量	使用材料及び配合表欄に記載	流動化後のスランプ増大量	cm							
塩化物含有量	kg/m ³ 以下									
呼び強度を保證する材齢	日									
使用材料 ^{c)}										
セメント	生産者名	密度 g/cm ³	Na ₂ Oeq ^{d)} %							
混和材	製品名	種類	密度 g/cm ³	Na ₂ Oeq ^{d)} %						
骨材	No	種類	産地又は品名	アルカリシリカ反応性による区分 ^{e)}		粒の大きさの範囲 ^{a)}	粗粒率又は実粗率 ^{b)}	密度 g/cm ³	微粒分量の範囲 ^{f)}	%
				区分	試験方法					
①										
②										
③										
粗骨材	①	②	③	水の区分 ^{h)}		Na ₂ Oeq ^{h)} %				
				区分	試験方法		目標スラッジ固形分 ⁱ⁾	%		
①										
②										
③										
④										
⑤										
⑥										
⑦										
⑧										
⑨										
⑩										
⑪										
⑫										
⑬										
⑭										
⑮										
⑯										
⑰										
⑱										
⑲										
⑳										
㉑										
㉒										
㉓										
㉔										
㉕										
㉖										
㉗										
㉘										
㉙										
㉚										
㉛										
㉜										
㉝										
㉞										
㉟										
㊱										
㊲										
㊳										
㊴										
㊵										
㊶										
㊷										
㊸										
㊹										
㊺										
㊻										
㊼										
㊽										
㊾										
㊿										
備考										

様式施-19 (続き)

アルカリ総量の計算表 ^{a)}			
アルカリ総量の計算		判定基準	計算及び判定
コンクリート中のセメントに含まれる全アルカリ量 (kg/m ³) R _c	① =	—	
R _c = (単位セメント量kg/m ³) × (セメント中の全アルカリ量Na ₂ Oeq; %/100)			
コンクリート中の混和材に含まれる全アルカリ量 (kg/m ³) R _a	② =	—	
R _a = (単位混和材量kg/m ³) × (混和材中の全アルカリ量; %/100)			
コンクリート中の骨材に含まれる全アルカリ量 (kg/m ³) R _f	③ =	—	
R _f = (単位骨材量kg/m ³) × 0.53 × (骨材中のNa ₂ O C1の量; %/100)			
コンクリート中の混和剤に含まれる全アルカリ量 (kg/m ³) R _m	④ =	—	
R _m = (単位混和剤量kg/m ³) × (混和剤中の全アルカリ量; %/100)			
流動化剤を添加する場合は、コリアー中の流動化剤に含まれる全アルカリ量 (kg/m ³) R _p ^{f)}	⑤ =	—	
R _p = (単位流動化剤量kg/m ³) × (流動化剤中の全アルカリ量; %/100)			
コンクリート中のアルカリ総量 (kg/m ³) R _t	⑥ =	3.0 kg/m ³ 以下	適・否
R _t = ①+②+③+④+⑤			

- 注 a) 本配合の適用期間に加え、標準配合、又は修正標準配合の別を記入する。
 なお、標準配合とは、レディーミクストコンクリート工場で社内標準を基本にしている配合で、標準状態の運輸時間における標準期の配合として標準化されているものとする。また、修正標準配合とは、出荷時のコンクリート温度が標準配合で想定した温度より大幅に相違する場合、運輸時 JIS A 5308 表B.1の記号欄の記載事項を、そのまま記入する。
 c) 配合設計に用いた材料について記入する。
 d) ボルトランドセメント及び普通エセメントを使用した場合に記入する。JIS R 5210の全アルカリ量の値を記入する。
 e) 最新版の混和材試験成績表の値を記入する。
 f) アルカリシリカ反応性による区分、及び判定に用いた試験方法を記入する。
 g) 細骨材に対しては、砕砂、スラグ骨材、人工軽量骨材、及び再生細骨材Hでは粒の大きさの範囲を記入する。
 粗骨材に対しては、砕石、スラグ骨材、人工軽量骨材、及び再生粗骨材Hでは粒の大きさの範囲を記入する。
 h) 砕石及び砕砂を使用する場合に記入する。
 i) 最新版の混和剤試験成績表の値を記入する。
 j) 最新版の骨材試験成績表の値 (NaClとして) を記入する。
 k) 回収水のうちスラッジ水を使用する場合は、“回収水 (スラッジ水)” と記入する。
 m) スラッジ水を使用する場合に記入する。目標スラッジ固形分率とは、3%以下のスラッジ固形分率の値を記入する。
 n) 人工軽量骨材の場合は、絶対乾燥状態の質量で、その他の骨材の場合は表面乾燥状態の質量で、高炉スラグ微粉などを結合材として使用した場合にだけ記入する。
 p) 全骨材の質量に対する各骨材の計量設定割合をいう。
 q) コンクリート中のアルカリ総量を規制する抑制対策の方法を講じる場合にだけ別表に記入する。
 r) 購入者から通知を受けたアルカリ量を用いて計算をする。

様式施-20 JIS規格外コンクリートブロック使用承諾願
 <改定> ・押印の省略

新様式	旧様式
<p style="text-align: center;">様式施-20 (使用・確認要領)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">J I S 規格外コンクリートブロック使用承諾願</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">受注者 住 所 会 社 名 現場代理人</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 工 事 名 2. 工 事 番 号 3. 河川・路線名 4. 工 事 場 所 5. 請 負 金 額 <p>年 月 日に請負契約を締結いたしました上記工事について下記のとおり使用するので承諾願います。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 使用ブロック規格 2. 名称、製作工場 3. 使用量 4. 提出書類 <ol style="list-style-type: none"> (1) J I S 製品以外の確認基準に基づく、品質管理、出来形管理資料 (2) 積ブロック工場又は二次製品工場の日本工業規格表示許可書の写 (3) その他監督員から特に指示のあった資料 <p style="text-align: center;">上記について願出のとおり承諾する。</p> <p style="text-align: right;">年 月 日 建設部長</p> </div>	<p style="text-align: center;">様式施-20 (使用・確認要領)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">J I S 規格外コンクリートブロック使用承諾願</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: center;">受注者 住 所 会 社 名 現場代理人</p> <p style="text-align: right;">印</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 工 事 名 2. 工 事 番 号 3. 河川・路線名 4. 工 事 場 所 5. 請 負 金 額 <p>年 月 日に請負契約を締結いたしました上記工事について下記のとおり使用するので承諾願います。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 使用ブロック規格 2. 名称、製作工場 3. 使用量 4. 提出書類 <ol style="list-style-type: none"> (1) J I S 製品以外の確認基準に基づく、品質管理、出来形管理資料 (2) 積ブロック工場又は二次製品工場の日本工業規格表示許可書の写 (3) その他監督員から特に指示のあった資料 <p style="text-align: center;">上記について願出のとおり承諾する。</p> <p style="text-align: right;">年 月 日 建設部長</p> <p style="text-align: right;">印</p> </div>

様式施-21 セメントコンクリートJIS製品使用報告書

<改定> ・押印の省略

新様式

様式施-21 (使用・確認要領)

セメントコンクリートJIS製品使用報告書

年 月 日

(発注者) 殿

受注者 住 所
会 社 名
現場代理人

1. 工 事 名
2. 工 事 番 号
3. 河川・路線名
4. 工 事 場 所
5. 請 負 金 額

年 月 日に請負契約を締結いたしました上記工事について下記のとおり使用するので報告します。

記

1. 使用製品品目
2. 製作工場
3. 使用量
4. その他

旧様式

様式施-21 (使用・確認要領)

セメントコンクリートJIS製品使用報告書

年 月 日

(発注者) 殿

受注者 住 所
会 社 名
現場代理人

印

1. 工 事 名
2. 工 事 番 号
3. 河川・路線名
4. 工 事 場 所
5. 請 負 金 額

年 月 日に請負契約を締結いたしました上記工事について下記のとおり使用するので報告します。

記

1. 使用製品品目
2. 製作工場
3. 使用量
4. その他

様式施-22 セメントコンクリートJIS規格外製品使用承諾願
 <改定> ・押印の省略

新様式	旧様式
<p>様式施-22 (使用・確認要領)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">セメントコンクリートJIS規格外製品使用承諾願</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">受注者 住 所 会 社 名 現場代理人</p> <p>1. 工 事 名 2. 工 事 番 号 3. 河川・路線名 4. 工 事 場 所 5. 請 負 金 額</p> <p>年 月 日に請負契約を締結いたしました上記工事について下記のとおり使用するので御承諾願います。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 使 用 製 品 品 目 2. 製 作 工 場 3. 使 用 量 4. そ の 他</p> </div>	<p>様式施-22 (使用・確認要領)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">セメントコンクリートJIS規格外製品使用承諾願</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>(発注者) 殿</p> <p style="text-align: right;">受注者 住 所 会 社 名 現場代理人</p> <p style="text-align: right;">印</p> <p>1. 工 事 名 2. 工 事 番 号 3. 河川・路線名 4. 工 事 場 所 5. 請 負 金 額</p> <p>年 月 日に請負契約を締結いたしました上記工事について下記のとおり使用するので御承諾願います。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 使 用 製 品 品 目 2. 製 作 工 場 3. 使 用 量 4. そ の 他</p> </div>

様式施-23 認定書

- <改定>
- ・岡山県コンクリート製品技術協会→岡山県エココンクリート製品協同組合
 - ・会長→理事長
 - ・押印の省略

新様式

様式施-23 (使用・確認要領)

認 定 証	
年 月 日	
〇 〇 会 社 殿	
岡山県エココンクリート製品共同組合 理事長	
下記製品について、検査の結果、協会規格に合格している製品であることを認定する。	
記	
1. 検査品名	
2. 種類	
3. 検定年月日	
4. 認定番号	
5. 認定期間	

旧様式

様式施-23 (使用・確認要領)

認 定 証	
年 月 日	
〇 〇 会 社 殿	
岡山県コンクリート製品技術協会 会長 印	
下記製品について、検査の結果、協会規格に合格している製品であることを認定する。	
記	
1. 検査品名	
2. 種類	
3. 検定年月日	
4. 認定番号	
5. 認定期間	

様式施-24 岡山県エココンクリート共同製品組合規格使用報告書

<改定>

・ 押印の省略

・ 岡山県コンクリート製品技術協会→岡山県エココンクリート製品共同組合

新様式

様式施-24 (使用・確認要領)

岡山県エココンクリート製品共同組合規格使用報告書

年 月 日

(発注者) 殿

受注者 住 所
会 社 名
現場代理人

1. 工 事 名
2. 工 事 番 号
3. 河川・路線名
4. 工 事 場 所
5. 請 負 金 額

年 月 日に請負契約を締結いたしました上記工事について下記のとおり使用するので報告します。

記

1. 使用製品品目
2. 製作工場
3. 使用量
4. その他

旧様式

様式施-24 (使用・確認要領)

岡山県コンクリート製品技術協会規格使用報告書

年 月 日

(発注者) 殿

受注者 住 所
会 社 名
現場代理人

印

1. 工 事 名
2. 工 事 番 号
3. 河川・路線名
4. 工 事 場 所
5. 請 負 金 額

年 月 日に請負契約を締結いたしました上記工事について下記のとおり使用するので報告します。

記

1. 使用製品品目
2. 製作工場
3. 使用量
4. その他

様式施-26 加熱アスファルト混合物使用報告

<改定> ・押印の省略

新様式

様式施-26 要領第5条-1

加熱アスファルト混合物使用報告

年 月 日

○〇県民局
建設部長 } 殿
(又は) 農林水産事業部長 }

受注者 住 所
会 社 名
現場代理人

1 工 事 名
2 工 事 番 号
3 路河川(地区)名
4 工 事 場 所
5 請 負 代 金 額
6 工 期

年 月 日に請負を締結いたしました上記工事について、下記のとおり使用するので報告します。

1 アスファルト混合所名
2 加熱アスファルト混合物の種類及び数量(下表に記入)

加熱アスファルト混合物の種類	基準密度 (g/cm ³)	アスファルト量 (%)	粒度 (2.36mm)	粒度 (75μm)	使用数量 (t)	備考

備考 密度は、アスファルト混合所配合試験時の値を記入すること。
溶融スラグ入り再生混合物の場合は、備考欄に使用する溶融スラグの産地を記載すること。

旧様式

様式施-26 要領第5条-1

加熱アスファルト混合物使用報告

年 月 日

○〇県民局
建設部長 } 殿
(又は) 農林水産事業部長 }

受注者 住 所
会 社 名
現場代理人 印

1 工 事 名
2 工 事 番 号
3 路河川(地区)名
4 工 事 場 所
5 請 負 代 金 額
6 工 期

年 月 日に請負を締結いたしました上記工事について、下記のとおり使用するので報告します。

1 アスファルト混合所名
2 加熱アスファルト混合物の種類及び数量(下表に記入)

加熱アスファルト混合物の種類	基準密度 (g/cm ³)	アスファルト量 (%)	粒度 (2.36mm)	粒度 (75μm)	使用数量 (t)	備考

備考 密度は、アスファルト混合所配合試験時の値を記入すること。
溶融スラグ入り再生混合物の場合は、備考欄に使用する溶融スラグの産地を記載すること。

様式施-27 加熱アスファルト混合物使用承諾願

<改定> ・押印の省略

新様式

様式施-27 要領第5条-2

加熱アスファルト混合物使用承諾願

年 月 日

〇〇県民局
建設部長
(又は) 農林水産事業部長 } 殿

受注者 住 所
会 社 名
現場代理人

1 工 事 名
2 工 事 番 号
3 路 河 川 (地 区) 名
4 工 事 場 所
5 請 負 代 金 額
6 工 期

年 月 日に請負を締結いたしました上記工事について、下記のとおり使用したいので御承諾願います。

1 アスファルト混合所名
2 加熱アスファルト混合物の種類及び数量 (下表に記入)

加熱アスファルト 混合物の種類	基準密度 (g/cm3)	アスファルト量 (%)	粒度 (2.36mm)	粒度 (75μm)	使用数量 (t)	備 考

備考 密度は、アスファルト混合所配合試験時の値を記入すること。
溶融スラグ入り再生混合物の場合は、備考欄に使用する溶融スラグの産地を記載すること。

上記について願出のとおり承諾する。

年 月 日

〇〇県民局 建設部長
農林水産事業部長

旧様式

様式施-27 要領第5条-2

加熱アスファルト混合物使用承諾願

年 月 日

〇〇県民局
建設部長
(又は) 農林水産事業部長 } 殿

受注者 住 所
会 社 名
現場代理人

印

1 工 事 名
2 工 事 番 号
3 路 河 川 (地 区) 名
4 工 事 場 所
5 請 負 代 金 額
6 工 期

年 月 日に請負を締結いたしました上記工事について、下記のとおり使用したいので御承諾願います。

1 アスファルト混合所名
2 加熱アスファルト混合物の種類及び数量 (下表に記入)

加熱アスファルト 混合物の種類	基準密度 (g/cm3)	アスファルト量 (%)	粒度 (2.36mm)	粒度 (75μm)	使用数量 (t)	備 考

備考 密度は、アスファルト混合所配合試験時の値を記入すること。
溶融スラグ入り再生混合物の場合は、備考欄に使用する溶融スラグの産地を記載すること。

上記について願出のとおり承諾する。

年 月 日

〇〇県民局 建設部長
農林水産事業部長

印

様式 建設資材等使用報告書

<改定> ・押印の省略

新様式	旧様式																				
<p>建設資材等使用報告書（砕石等）</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>〇〇県民局 建設部長 (又は) 農林水産事業部長 } 殿</p> <p style="text-align: right;">受注者 住 所 社 会 社 名 現 場 代 理 人</p> <p>1. 工 事 名 2. 工 事 番 号 3. 路 線 名 4. 工 事 場 所 5. 請 負 金 額</p> <p>年 月 日に請負を締結いたしました、上記工事について下記のとおり使用するので報告します。</p> <p>1. プラント名 2. 砕石等の種類</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">砕石等の種類</th> <th style="width: 10%;">修正CBR (%)</th> <th style="width: 10%;">塑性指数</th> <th style="width: 15%;">最大乾燥密度 (g/cm³)</th> <th style="width: 45%;">使用数量 (t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 30px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	砕石等の種類	修正CBR (%)	塑性指数	最大乾燥密度 (g/cm ³)	使用数量 (t)						<p>建設資材等使用報告書（砕石等）</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>〇〇県民局 建設部長 (又は) 農林水産事業部長 } 殿</p> <p style="text-align: right;">受注者 住 所 社 会 社 名 現 場 代 理 人</p> <p style="text-align: right;">印</p> <p>1. 工 事 名 2. 工 事 番 号 3. 路 線 名 4. 工 事 場 所 5. 請 負 金 額</p> <p>年 月 日に請負を締結いたしました、上記工事について下記のとおり使用するので報告します。</p> <p>1. プラント名 2. 砕石等の種類</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">砕石等の種類</th> <th style="width: 10%;">修正CBR (%)</th> <th style="width: 10%;">塑性指数</th> <th style="width: 15%;">最大乾燥密度 (g/cm³)</th> <th style="width: 45%;">使用数量 (t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 30px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	砕石等の種類	修正CBR (%)	塑性指数	最大乾燥密度 (g/cm ³)	使用数量 (t)					
砕石等の種類	修正CBR (%)	塑性指数	最大乾燥密度 (g/cm ³)	使用数量 (t)																	
砕石等の種類	修正CBR (%)	塑性指数	最大乾燥密度 (g/cm ³)	使用数量 (t)																	

様式 建設資材等使用報告書

<改定> ・押印の省略

新様式	旧様式																				
<p>建設資材等使用報告書（砕石等）</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>〇〇県民局 建設部長 (又は) 農林水産事業部長 } 殿</p> <p style="text-align: right;">受注者 住 所 社 会 名 現 場 代 理 人</p> <p>1. 工 事 名 2. 工 事 番 号 3. 路 線 名 4. 工 事 場 所 5. 請 負 金 額</p> <p>年 月 日に請負を締結いたしました、上記工事について下記のとおり使用するので報告します。</p> <p>1. プラント名 2. 砕石等の種類</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">砕石等の種類</th> <th style="width: 10%;">修正CBR (%)</th> <th style="width: 10%;">塑性指数</th> <th style="width: 15%;">最大乾燥密度 (g/cm³)</th> <th style="width: 45%;">使用数量 (t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 30px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	砕石等の種類	修正CBR (%)	塑性指数	最大乾燥密度 (g/cm ³)	使用数量 (t)						<p>建設資材等使用報告書（砕石等）</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>〇〇県民局 建設部長 (又は) 農林水産事業部長 } 殿</p> <p style="text-align: right;">受注者 住 所 社 会 名 現 場 代 理 人</p> <p style="text-align: right;">印</p> <p>1. 工 事 名 2. 工 事 番 号 3. 路 線 名 4. 工 事 場 所 5. 請 負 金 額</p> <p>年 月 日に請負を締結いたしました、上記工事について下記のとおり使用するので報告します。</p> <p>1. プラント名 2. 砕石等の種類</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">砕石等の種類</th> <th style="width: 10%;">修正CBR (%)</th> <th style="width: 10%;">塑性指数</th> <th style="width: 15%;">最大乾燥密度 (g/cm³)</th> <th style="width: 45%;">使用数量 (t)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 30px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	砕石等の種類	修正CBR (%)	塑性指数	最大乾燥密度 (g/cm ³)	使用数量 (t)					
砕石等の種類	修正CBR (%)	塑性指数	最大乾燥密度 (g/cm ³)	使用数量 (t)																	
砕石等の種類	修正CBR (%)	塑性指数	最大乾燥密度 (g/cm ³)	使用数量 (t)																	

様式 資材調達結果報告

<改定> ・押印の省略

新様式					旧様式							
(別紙)		年 月 日			(別紙)		年 月 日					
資 材 調 達 結 果 報 告					資 材 調 達 結 果 報 告							
(発 注 者) 殿					(発 注 者) 殿							
受注者 住 所： 会 社 名： 現場代理人：					受注者 住 所： 会 社 名： 現場代理人： 印							
下記資材について、調達を試みましたが、指定資材の入手が困難と判断されるので、報告いたします。					下記資材について、調達を試みましたが、指定資材の入手が困難と判断されるので、報告いたします。							
記					記							
調達資材名		規格等			調達資材名		規格等					
\	調達調査 実施会社名	所 在 地	電 話	確 認 月 日	確 認 相 手	\	調達調査 実施会社名	所 在 地	電 話	確 認 月 日	確 認 相 手	備 考
調 達 調 査 対 象 者 名						調 達 調 査 対 象 者 名						
調 達 調 査 対 象 者 名						調 達 調 査 対 象 者 名						
調 達 調 査 対 象 者 名						調 達 調 査 対 象 者 名						
調 達 調 査 対 象 者 名						調 達 調 査 対 象 者 名						
調 達 調 査 対 象 者 名						調 達 調 査 対 象 者 名						
調 達 調 査 対 象 者 名						調 達 調 査 対 象 者 名						

様式 照査報告書

<改定> ・押印の省略

新様式

(別紙様式) (仕第1-1-1-3条関係)

年 月 日

(発注者) 殿

住所

氏名

照 査 報 告 書

次の工事を施工するにあたり実施した、設計図書の照査結果を報告します。

1 工 事 名	
2 工 事 場 所	
3 契 約 年 月 日	年 月 日
4 工 期	年 月 日 から 年 月 日まで
5 照 査 の 結 果	(記入例) ・不一致等はありませんでした。 ・次のとおり不一致が生じたため、確認を願いたく、工事 請負契約書第19条第1項の規定により申請します。

旧様式

(別紙様式) (仕第1-1-1-3条関係)

年 月 日

(発注者) 殿

住所

氏名

印

照 査 報 告 書

次の工事を施工するにあたり実施した、設計図書の照査結果を報告します。

1 工 事 名	
2 工 事 場 所	
3 契 約 年 月 日	年 月 日
4 工 期	年 月 日 から 年 月 日まで
5 照 査 の 結 果	(記入例) ・不一致等はありませんでした。 ・次のとおり不一致が生じたため、確認を願いたく、工事 請負契約書第18条第1項の規定により申請します。

工事提出書類様式新旧対照

－ 検査関係様式 －

様式検-1 修補指示書

<改定>

- ・ 押印の省略
- ・ 仕様書条ずれの修正

新様式

様式検-1 (工執第29条関係、仕第1-1-1-21条関係)

(現場代理人) 殿		年 月 日
		(検査員)
下記について修補を指示する。		
修 補 指 示 書		
工事名		
修補箇所及び修補内容		
修補の期限	年 月 日	

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番タテ

旧様式

様式検-1 (工執第29条関係、仕第1-1-1-20条関係)

(現場代理人) 殿		年 月 日
		(検査員) 印
下記について修補を指示する。		
修 補 指 示 書		
工事名		
修補箇所及び修補内容		
修補の期限	年 月 日	

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番タテ

様式検-2 修補完了報告書

<改定>

- ・ 押印の省略
- ・ 仕様書条ずれの修正

新様式

様式検-2 (工執第29条関係、仕第1-1-1-21条関係)

(検査員) 殿		年 月 日
受注者 住 所 会 社 名 現場代理人		
年 月 日の()検査において、修補指示されました部分につきましては、下記のとおり完了しましたので報告します。		
修 補 完 了 報 告 書		
工事名		
検査員の修補指示箇所及び修補内容		

備考 1. 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番タテ

旧様式

様式検-2 (工執第29条関係、仕第1-1-1-20条関係)

(検査員) 殿		年 月 日
受注者 住 所 会 社 名 現場代理人		
印		
年 月 日の()検査において、修補指示されました部分につきましては、下記のとおり完了しましたので報告します。		
修 補 完 了 報 告 書		
工事名		
検査員の修補指示箇所及び修補内容		

備考 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番タテ

様式検-3 工事不合格通知書

<改定>

- ・ 押印の省略
- ・ 契約書条ずれの修正

新様式

様式検-3 (契第33条関係)

年 月 日

(受注者) 殿

(発注者)

工事不合格通知書

1. 工事番号
2. 工事名
3. 路線・河川名
4. 工事場所
5. 工期 年 月 日から
年 月 日まで
6. 請負金額 円
7. 契約年月日 年 月 日
8. 工事完成年月日 年 月 日

上記工事は 年 月 日 () 検査の結果、下記部分について不合格と認められるので契約書第33条5項により処理されるよう通知する。

記

備考 1. 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番タテ
本文 () 内には検査種類を記入する。

旧様式

様式検-3 (契第31条関係)

年 月 日

(受注者) 殿

(発注者) 印

工事不合格通知書

1. 工事番号
2. 工事名
3. 路線・河川名
4. 工事場所
5. 工期 年 月 日から
年 月 日まで
6. 請負金額 円
7. 契約年月日 年 月 日
8. 工事完成年月日 年 月 日

上記工事は 年 月 日 () 検査の結果、下記部分について不合格と認められるので契約書第31条5項により処理されるよう通知する。

記

備考 1. 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番タテ
本文 () 内には検査種類を記入する。

様式検-4 工事修補完了届

<改定> ・押印の省略

新様式

様式第13号（工執第29条関係）

年 月 日

工事修補完了届

（発注者） 殿

受注者 住 所
氏 名

下記工事について、修補を完了しましたので、お届けします。

記

- 1 工 事 名
- 2 工 事 場 所
- 3 工 期 年 月 日 から
年 月 日 まで
- 4 請 負 金 額 円
- 5 契 約 年 月 日 年 月 日
- 6 工 事 完 成 年 月 日 年 月 日
- 7 検 査 年 月 日 年 月 日
- 8 手 直 し 事 項

旧様式

様式第13号（工執第29条関係）

年 月 日

工事修補完了届

（発注者） 殿

受注者 住 所
氏 名

印

下記工事について、修補を完了しましたので、お届けします。

記

- 1 工 事 名
- 2 工 事 場 所
- 3 工 期 年 月 日 から
年 月 日 まで
- 4 請 負 金 額 円
- 5 契 約 年 月 日 年 月 日
- 6 工 事 完 成 年 月 日 年 月 日
- 7 検 査 年 月 日 年 月 日
- 8 手 直 し 事 項